愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第 175 集

下津宿遺跡

2013

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛 知 県 埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第 175 集

下津宿遺跡（おりづしゅく）

2013

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター



10Ec 区 0900SE 出土「応永廿五年七月卅日」銘 宝篋印塔（4106）



10Ec 区 0900SE 出土 宝篋印塔（4105・4106）



10Ec 区 0900SE 出土 宝篋印塔（4107・4108）



10Ec 区 0900SE 出土「良全」銘五輪塔（4109）

序

愛知県稲沢市の下津は、かつて尾張守護所があったことでよく知られています。京と鎌倉を結んだ鎌倉街道が町の中央を南北に貫き、この街道に面して大きな寺院がいくつも甍を並べていたことが、当時の貴族たちが残した日記などからもわかっています。

このほど、当センターが発掘調査を実施した下津宿遺跡におきましても、当時の下津の繁栄ぶりを偲ばせる、さまざまな遺構と遺物が確認されました。

なかでも「応永廿五年七月卅日」と記された宝篋印塔は、今後この地域の歴史を考えるうえで、欠くべからざる貴重な発見といえます。

この下津宿遺跡の発掘調査ならびに報告書作成に多大なるご尽力を賜った下津を愛する地元住民の方々や、関係各位に深く感謝を申し上げるとともに、本報告書が愛知県の歴史の解明に役立つことを願ってやみません。

平成 25 年 3 月

公益財団法人　愛知県教育・スポーツ振興財団

理事長　加藤髙明

例言

1. 本書は、愛知県稲沢市下津宮西町・下津本郷町に所在する下津宿遺跡（おりづしゅくいせき：県遺跡番号 090001）の発掘調査報告書である。遺跡の所在地は、北緯 35 度 25 分 53 秒、東経 136 度 83 分 20 秒（世界測地系）である。
2. 調査は、県道名古屋豊山稲沢線建設にともなう事前調査として、愛知県埋蔵文化財センターが愛知県教育委員会を通じて委託を受けて実施した。調査対象面積は 8,830 ㎡である。
3. 発掘調査は、平成 22 年 5 月から平成 23 年 3 月と、平成 23 年 4 月から 6 月にかけて実施し、整理および報告書作成作業は平成 22 年 5 月から平成 24 年 3 月にかけて実施した。
4. 現地における発掘調査は、平成 22 年度が（株）アコード、平成 23 年度は東海アナース（株）の支援を受けて、樋上　昇・鈴木正貴（以上、調査研究専門員）・加藤雅士（調査研究主事－現・京都府埋蔵文化財調査研究センター）・奥野絵美（調査研究主事－現・愛知県埋蔵文化財調査センター）・鵜飼雅弘（愛知県埋蔵文化財調査センター）が担当しておこなった。なお、現地調査に際しては、名古屋大学大学院生の大塚友恵（現・刈谷市教育委員会）、ツォグゾルマー・バトツェンゲルの助力を得た。
5. 調査にあたっては、愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室、愛知県埋蔵文化財調査センター、稲沢市教育委員会、愛知県建設部道路建設課をはじめとして、多くの関係諸機関のご協力を得た。
6. 本書の執筆は、樋上　昇・鈴木正貴・鬼頭　剛・蔭山誠一・永井邦仁（以上、愛知県埋蔵文化財センター）・鵜飼雅弘（愛知県埋蔵文化財調査センター）・黒沼保子（パレオ・ラボ）が分担し、編集は樋上がおこなった。執筆分担については、目次に執筆者名を記した。
7. 整理作業は、樋上　昇が担当した。作業にあたっては次の方々、諸機関の助力を得た。
   三浦里美、時田典子（整理補助員）、金子知久（写真工房　遊）、
   （株）アコード、橋本技術（株）、国際文化財（株）、（有）アルケーリサーチ
8. 本書に示す座標数値は、国土交通省に定められた平面直角座標第 VII 系に準拠し、表記は世界地系を用いている。海抜表記は東京湾平均海面（T.P.）の数値である。
9. 遺物の登録は、本書図版の掲載番号を元に整理をおこなった。
10. 写真および図面などの調査にかかわる記録類は、愛知県埋蔵文化財センターで保管している。
    （公財）愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター
    〒 498-0017　愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24（0567-67-4161）
11. 出土遺物は、愛知県埋蔵文化財調査センターで保管している。
    愛知県埋蔵文化財調査センター
    〒 498-0017　愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24（0567-67-4164）
12. 本書を作成するにあたり、次の方々から多くのご指導とご助言を得た。記して感謝したい。
    愛甲昇寛・井口喜晴・上村喜久子・小野木　学・榎原雅治・梶原義実・黒嶋　敏・下村信博・鋤柄俊夫・田中俊輔・土本典生・福島金治・藤澤良祐・藤原良章・北條献示・松本　彩・山村亜希・山本浩樹（敬称略、50 音順）

目　次

第１章　　調査の概要
１．調査にいたる経緯と調査の経過（樋上　昇）……1
２．位置と歴史的環境（鵜飼雅弘）　……6

第２章　　遺構と遺物
１．概要（樋上）　……10
２．A区（樋上 ）　……11
３．B区（樋上）　……28
４．C区（樋上）　……40
５．D区（樋上）　……105
６．E区（樋上）　……209
７．墨書土器（樋上）　……283
８．瓦（永井邦仁）　……299
９．金属製品（蔭山誠一）　……302

第３章　　自然科学分析
１．稲沢市、下津宿遺跡の地下層序と地形解析（鬼頭　剛）　……311
２．下津宿遺跡出土木材の樹種同定（黒沼保子）　……317

第４章　　総括
１．下津宿遺跡の遺構変遷とその歴史的意義（樋上）……321
２．下津宿遺跡の土師器皿の変遷（鈴木正貴）　……333

遺構写真図版

遺物写真図版

抄録

挿図　目次

図 1-1　下津宿遺跡の位置 ……3
図 1-2　下津宿遺跡周辺の都市計画図と調査区 ……4
図 1-3　下津宿遺跡周辺の地籍図と調査区 ……5
図 2-1　A 区第 1 面遺構全体図……11
図 2-2　A 区第 2 面遺構全体図……12
図 2-3　10Aa 区北壁土層断面図 ……14
図 2-4　10Ab 区西壁・北壁土層断面図 ……15
図 2-5　10Aa 区 0021・0096SK 遺構図・
同遺物出土状態図 ……16
図 2-6　10Aa 区 0047SD 遺構図……17
図 2-7　10Aa 区 0090・0100・0150SD 遺構図 ……18
図 2-8　10Aa 区 0076SK・0151SD 遺構図・
0076SK/0090・0100・0150・0151SD
出土遺物実測図……19
図 2-9　10Aa 区 0127SD 遺構図・同出土遺物実測図‥20
図 2-10 10Ab 区 0240SK 遺構図・同出土遺物実測図‥21
図 2-11 10Ab 区 0270SD 遺構図・同出土遺物実測図‥22
図 2-12 10A 区出土遺物実測図 ……23
図 2-13 11Aa・11Ab 区北壁・北東壁土層断面図 ‥‥24
図 2-14 11Aa 区 0097SK/0167SP 遺構図・
同出土遺物実測図 ……25
図 2-15 11Aa 区 0202SB 遺構図 ……26
図 2-16 11Aa 区 0167SP 遺構図・同出土遺物実測図 ‥27
図 2-17 B 区第 1 面遺構全体図……28
図 2-18 B 区第 2 面遺構全体図……29
図 2-19 10Ba 区東壁土層断面図 ……29
図 2-20 10Ba 区北壁土層断面図 ……31
図 2-21 10Ba 区 0130SK/10Bb 区 0213・
0215・0330SK 遺構図 ……32
図 2-22 10B 区出土遺物実測図 -1 ……33
図 2-23 10B 区出土遺物実測図 -2 ……34
図 2-24 11Ba 区西壁・北東壁土層断面図 ……34
図 2-25 11Bb 区南壁・西壁土層断面図 ……35
図 2-26 11Ba 区 2001SD 遺構図 ……36
図 2-27 11Ba 区 2023SI 遺構図 ……37
図 2-28 11Bb 区 2069SD 遺構図・同出土遺物実測図 ‥37
図 2-29 11Bb 区 2123SK 遺構図 ……38
図 2-30 11Bb 区 2153SK 遺構図・同出土遺物実測図 ‥38
図 2-31 11B 区出土遺物実測図……39
図 2-32 C 区第 1 面遺構全体図……44
図 2-33 C 区第 2 面遺構全体図……45
図 2-34 10Ca 区北壁土層断面図 -1 ……46
図 2-35 10Ca 区北壁土層断面図 -2 ……47
図 2-36 10Ca 区北壁土層断面図 -3 ……48
図 2-37 10Cb 区北壁土層断面図 ……49
図 2-38 10Cb 区北東壁・東壁土層断面図 ……50
図 2-39 10Cc 区北壁・東壁土層断面図 ……51
図 2-40 10Ca 区ベルト南面土層断面図 ……52
図 2-41 10Ca 区西壁（0001SD）土層断面図 ……53
図 2-42 10Ca 区 0001SD 中層遺物出土状況 ……54
図 2-43 10Ca 区 0001SD 出土遺物実測図 -1 ……55
図 2-44 10Ca 区 0001SD 出土遺物実測図 -2 ……56
図 2-45 10Ca 区 0001SD 出土遺物実測図 -3 ……57
図 2-46 10Ca 区 0001SD 出土遺物実測図 -4 ……58
図 2-47 10Ca 区 0001SD 出土遺物実測図 -5 ……59
図 2-48 10Ca 区 1300・1320SD 遺構図・
同出土遺物実測図 ……60
図 2-49 10Ca 区 0051・0052SK/0055SD 遺構図・
同出土遺物実測図 ……61
図 2-50 10Ca 区 0240・1968SD/0354SK 遺構図・
同出土遺物実測図 ……62
図 2-51 10Ca 区 0363SD 遺構図・同出土遺物実測図‥63
図 2-52 10Ca 区 1304SP 遺構図・同出土遺物実測図‥64
図 2-53 10Ca 区 1490SK・1510SD 遺構図・
同出土遺物実測図 ……65
図 2-54 10Ca 区 1960SE 遺構図 -1・
同出土遺物実測図 ……66
図 2-55 10Ca 区 1960SE 遺構図 -2……67
図 2-56 10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -1……68
図 2-57 10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -2……69
図 2-58 10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -3……70
図 2-59 10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -4……71
図 2-60 10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -5……72
図 2-61 10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -6……73
図 2-62 10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -7……74
図 2-63 10Ca 区 1961SE 遺構図・同出土遺物実測図 ‥75
図 2-64 10Cb 区 0110SK・0111SD 遺構図・
同出土遺物実測図 ……76
図 2-65 10Cb 区 0122・0124SD/0139SK 遺構図 …… 77
図 2-66 10Cb 区 0122SD 出土遺物実測図……78
図 2-67 10Cb 区 0147・0149SK 遺構図・
0124SD/0139・0147・0149SK 出土遺物実測図‥‥79
図 2-68 10Cb 区 1008・1016SD/1025SK 遺構図・
同出土遺物実測図 ……80
図 2-69 10Cb 区 1027・1028・1029SD 遺構図 ……81
図 2-70 10Cb 区 1027・1028SD 出土遺物実測図 …… 82
図 2-71 10Cb 区 1029SD 出土遺物実測図 -1……83
図 2-72 10Cb 区 1029SD 出土遺物実測図 -2……84
図 2-73 10Cb 区 1037SP・1096SK 遺構図・
同出土遺物実測図 ……85
図 2-74 10Cb 区 1042・1048SX 遺構図・
同出土遺物実測図 ……86
図 2-75 10Cb 区 1052・1072SD/1071SK 遺構図 ‥‥87
図 2-76 10Cb 区 1108SE 遺構図 -1……88
図 2-77 10Cb 区 1108SE 遺構図 -2……89
図 2-78 10Cb 区 1108SE 遺構図 -3……90
図 2-79 10Cb 区 1108SE 遺構図 -4……91
図 2-80 10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -1……92
図 2-81 10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -2……93
図 2-82 10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -3……94
図 2-83 10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -4……95
図 2-84 10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -5……96
図 2-85 10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -6……97
図 2-86 10Cb 区 1052・1072SD/1071SK/1108SE

出土遺物実測図……97
図 2-87　10C 区出土遺物実測図 -1……98
図 2-88　10C 区出土遺物実測図 -2……99
図 2-89　10C 区出土遺物実測図 -3 ……100
図 2-90　10C 区出土遺物実測図 -4 ……101
図 2-91　10C 区出土遺物実測図 -5 ……102
図 2-92　10C 区出土遺物実測図 -6 ……103
図 2-93　10C 区出土遺物実測図 -7 ……104
図 2-94　D 区第 1 面遺構全体図 ……113
図 2-95　D 区第 2 面遺構全体図 ……114
図 2-96　D 区第 3 面遺構全体図 ……115
図 2-97　10Da 区北壁土層断面図 -1……116
図 2-98　10Da 区北壁土層断面図 -2……117
図 2-99　10Da 区西壁、突出部北壁・
東壁土層断面図……118
図 2-100 10Db 区北壁土層断面図……119
図 2-101 10Db 区南壁・東壁土層断面図……120
図 2-102 10Da・Db 区 0001SD 出土遺物実測図 -1 ‥121
図 2-103 10Da・Db 区 0001SD 出土遺物実測図 -2 ‥122
図 2-104 10Da 区 1117・1250・
1430・1550SD 遺構図 ……123
図 2-105 10Da 区 1117SD 出土遺物実測図 -1 ……124
図 2-106 10Da 区 1117SD 出土遺物実測図 -2 ……125
図 2-107 10Da 区 1056SD 出土遺物
/1250・1440SD/1681SK 遺構図……126
図 2-108 10Da 区 1250SD 出土遺物実測図 -1 ……127
図 2-109 10Da 区 1250SD 出土遺物実測図 -2 ……128
図 2-110 10Da 区 1250SD-3/
同上層出土遺物実測図 -1……129
図 2-111 10Da 区 1250SD 上層出土遺物実測図 -2 ‥130
図 2-112 10Da 区 1250SD 上層出土遺物実測図 -3 ‥131
図 2-113 10Da 区 1250SD 上層出土遺物実測図 -4 ‥132
図 2-114 10Da 区 1250SD 上層出土遺物実測図 -5 ‥133
図 2-115 10Da 区 1250SD 上層 -6/
同南北トレンチ / 同下層出土遺物実測図 ‥134
図 2-116 10Da 区 1440SD 出土遺物実測図 ……135
図 2-117 10Da 区 1449SK/1550SD 遺構図・
同出土遺物実測図……136
図 2-118 10Da 区 1710SD 遺構図 …… 137
図 2-119 10Da 区 1710SD・同下層 /
1720SD 出土遺物実測図‥‥138
図 2-120 10Da 区 0004SK・0121SK 遺構図・
同出土遺物実測図……139
図 2-121 10Da 区 0127SK 遺構図・
同出土遺物実測図 -1 ……140
図 2-122 10Da 区 0127SK 出土遺物実測図 -2 …… 141
図 2-123 10Da 区 0130・0150SK 遺構図 …… 142
図 2-124 10Da 区 0130SK 出土遺物実測図……143
図 2-125 10Da 区 0150SK 出土遺物実測図……144
図 2-126 10Da 区 0160・0170・0437・
0438SK 遺構図・同出土遺物実測図……145
図 2-127 10Da 区 0161・0435・0436・
0440SK 遺構図・同出土遺物実測図……146
図 2-128 10Da 区 0161SK 出土遺物実測図……147
図 2-129 10Da 区 0162・0200SK 遺構図・
同出土遺物実測図……148
図 2-130 10Da 区 0511・0686・0785SK 遺構図・
同出土遺物実測図……149
図 2-131 10Da 区 0600SK 遺構図・
同出土遺物実測図……150
図 2-132 10Da 区 0707SK 遺構図……151
図 2-133 10Da 区 0707SK 出土遺物実測図 -1 ……152
図 2-134 10Da 区 0707SK 出土遺物実測図 -2 ……153
図 2-135 10Da 区 0790・0905SK 遺構図・
同出土遺物実測図……154
図 2-136 10Da 区 0932SK・1411SD 遺構図・
同出土遺物実測図……155
図 2-137 10Da 区 0947SK・0950SD 遺構図・
同出土遺物実測図……156
図 2-138 10Da 区 1000・1009・1028・
1032SK 遺構図・同出土遺物実測図……157
図 2-139 10Da 区 1000SK 出土遺物実測図 -1 ……158
図 2-140 10Da 区 1000SK 出土遺物実測図 -2 ……159
図 2-141 10Da 区 1005SK 遺構図・
同出土遺物実測図……160
図 2-142 10Da 区 1047・1091SK/
1103SD 遺構図・同出土遺物実測図……161
図 2-143 10Da 区 1106・1705SK/
1543SD 遺構図・同出土遺物実測図……162
図 2-144 10Da 区 1705SK 出土遺物実測図 -1 ……163
図 2-145 10Da 区 1705SK 出土遺物実測図 -2 ……164
図 2-146 10Da 区 0975SK 遺構図・
同出土遺物実測図……164
図 2-147 10Da 区 1256SD/
1532・1538SK 遺構図・同出土遺物実測図 ……165
図 2-148 10Da 区 1435SD・1730SK 遺構図・
同出土遺物実測図……166
図 2-149 10Da 区 1436SD 遺構図・
同出土遺物実測図……167
図 2-150 10Da 区 1405・1449SK 遺構図・
同出土遺物実測図……168
図 2-151 10Da 区 1501・1508SK 遺構図・
同出土遺物実測図……169
図 2-152 10Da 区 1501SK 出土遺物実測図……170
図 2-153 10Da 区 1706・1718SK 遺構図・
同出土遺物実測図……171
図 2-154 10Db 区 1185・1203SK 遺構図・
同出土遺物実測図……172
図 2-155 10Db 区 1231SD 出土遺物実測図 ……173
図 2-156 10Db 区 1231SD 上層出土遺物実測図 -1 ‥174
図 2-157 10Db 区 1231SD 上層 -2/
1231SD 下層出土遺物実測図 ……175
図 2-158 10Db 区 1264・1269・1290SK 遺構図・
同出土遺物実測図……176
図 2-159 10Db 区 1348・1619SK 遺構図・
同出土遺物実測図……177
図 2-160 10Db 区 1608・1621・1622・1624・
1626SK 遺構図・1608SK 出土遺物実測図 ‥‥178
図 2-161 10D 区出土遺物実測図 -1 ……179
図 2-162 10D 区出土遺物実測図 -2 ……180
図 2-163 10D 区出土遺物実測図 -3 ……181
図 2-164 10D 区出土遺物実測図 -4 ……182
図 2-165 10D 区出土遺物実測図 -5 ……183
図 2-166 10D 区出土遺物実測図 -6 ……184

図 2-167 10D 区出土遺物実測図 -7 ……185
図 2-168 10D 区出土遺物実測図 -8 ……186
図 2-169 10D 区出土遺物実測図 -9 ……187
図 2-170 10D 区出土遺物実測図 -10 ……188
図 2-171 10D 区出土遺物実測図 -11 ……189
図 2-172 10D 区出土遺物実測図 -12 ……190
図 2-173 10D 区出土遺物実測図 -13 ……191
図 2-174 11D 区北壁土層断面図 -1 ……192
図 2-175 11D 区北壁 -2/
南壁・東壁土層断面図土層断面図……193
図 2-176 11D 区 1028SP・1186SK 遺構図・
同出土遺物実測図……194
図 2-177 11D 区 1092SK 遺構図・
同出土遺物実測図……195
図 2-178 11D 区 1221・1226SK 遺構図・
同出土遺物実測図……196
図 2-179 11D 区 1249SK 遺構図・
同出土遺物実測図……197
図 2-180 11D 区 1324SK 出土遺物実測図 ……198
図 2-181 11D 区 1460SK 遺構図・
同出土遺物実測図……199
図 2-182 11D 区 1484SE 出土井戸枠材・
出土遺物実測図……200
図 2-183 11D 区 1490SK 遺構図 ……201
図 2-184 11D 区 1490SK 出土遺物実測図 ……202
図 2-185 11D 区出土遺物実測図 -1 ……203
図 2-186 11D 区出土遺物実測図 -2 ……204
図 2-187 11D 区出土遺物実測図 -3 ……205
図 2-188 11D 区出土遺物実測図 -4 ……206
図 2-189 11D 区出土遺物実測図 -5 ……207
図 2-190 11D 区出土遺物実測図 -6 ……208
図 2-191 E 区第 1 面遺構全体図 ……214
図 2-192 E 区第 2 面遺構全体図 ……215
図 2-193 E 区第 3 面遺構全体図 ……216
図 2-194 10Ea 区北壁土層断面図……217
図 2-195 10Eb 区北壁土層断面図……218
図 2-196 10Ec 区北壁上段土層断面図……219
図 2-197 10Ec 区北壁下段土層断面図……220
図 2-198 10Ed 区北壁土層断面図……221
図 2-199 10Ee 区南壁土層断面図……222
図 2-200 10Ec 区東西ベルト土層断面図……223
図 2-201 10Ec 区南北ベルト土層断面図……224
図 2-202 10Ea・Ec 区 0290SD 出土遺物実測図 ‥‥225
図 2-203 10Ea・Ec 区 0300SD 出土遺物実測図 -1 ‥226
図 2-204 10Ea・Ec 区 0300SD 出土遺物実測図 -2 ‥227
図 2-205 10Ea・Ec 区 0300SD 出土遺物実測図 -3 ‥228
図 2-206 10Ec 区整地層出土遺物実測図 -1……229
図 2-207 10Ec 区整地層出土遺物実測図 -2……230
図 2-208 10Ec 区整地層出土遺物実測図 -3……231
図 2-209 10Ec 区整地層出土遺物実測図 -4……232
図 2-210 10Ec 区整地層出土遺物実測図 -5……233
図 2-211 10Ec 区 0900・0901SE 遺構図 ……234
図 2-212 10Ec 区 0900SE 井戸枠材実測図 -1 ……235
図 2-213 10Ec 区 0900SE 井戸枠材実測図 -2 ……236
図 2-214 10Ec 区 0900SE 出土遺物実測図 -1 ……237
図 2-215 10Ec 区 0900SE 出土遺物実測図 -2 ……238
図 2-216 10Ec 区 0901SE 出土井戸枠材実測図 -1‥‥239
図 2-217 10Ec 区 0901SE 出土井戸枠材実測図 -2‥‥240
図 2-218 10Ec 区 09001E 出土井戸枠材実測図 -3‥‥241
図 2-219 10Ec 区 0901SE 出土井戸枠材 -4/
0665SK 下層出土遺物実測図‥‥242
図 2-220 10Ec 区 0568SD・0665SK
出土遺物実測図……243
図 2-221 10Ea 区 0672SK・10Eb 区 1417SK 遺構図
・同出土遺物実測図……244
図 2-222 10Ea 区 0832・0833・0956・
0975SK 遺構図・同出土遺物実測図……245
図 2-223 10Ec 区 0110SK 遺構図・
同出土遺物実測図……246
図 2-224 10Ec 区 0171・0248SK 遺構図・
同出土遺物実測図……247
図 2-225 10Ec 区 0679・0688・0700SK 遺構図・
同出土遺物実測図……248
図 2-226 10Ec 区 0698SE 遺構図 -1……249
図 2-227 10Ec 区 0698SE 遺構図 -2・
同出土遺物実測図……250
図 2-228 10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -1‥‥251
図 2-229 10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -2‥‥252
図 2-230 10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -3‥‥253
図 2-231 10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -4‥‥254
図 2-232 10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -5‥‥255
図 2-233 10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -6‥‥256
図 2-234 10Ec 区 0720SK 遺構図・
同出土遺物実測図……257
図 2-235 10Ec 区 0714・0742・0767・
0768SK 遺構図・同出土遺物実測図……258
図 2-236 10Ec 区 0778SD 遺構図・
同出土遺物実測図 -1……259
図 2-237 10Ec 区 0778SD 出土遺物実測図 -2……260
図 2-238 10Ec 区 0778SD 出土遺物実測図 -3……261
図 2-239 10Ed 区 1013・1069SK 遺構図・
同出土遺物実測図……262
図 2-240 10Ed 区 1070・1200SK 遺構図・
同出土遺物実測図……263
図 2-241 10Ed 区 1131・1307SD 遺構図・
同出土遺物実測図……264
図 2-242 10Ed 区 1280SD 遺構図・
同出土遺物実測図……265
図 2-243 10Ed 区 1287SD 遺構図・
同出土遺物実測図……266
図 2-244 10Ed 区 1193SK 遺構図・
同出土遺物実測図……267
図 2-245 10Ed 区 1277SK 遺構図・
同出土遺物実測図……268
図 2-246 10Ed 区 1453・1458SK/1499SE 遺構図・
同出土遺物実測図……269
図 2-247 10Ed 区 1499SE 遺構図……270
図 2-248 10Ed 区 1458SK・1499SE
出土遺物実測図……271
図 2-249 10E 区出土遺物実測図 -1 ……272
図 2-250 10E 区出土遺物実測図 -2 ……273
図 2-251 10E 区出土遺物実測図 -3 ……274
図 2-252 10E 区出土遺物実測図 -4 ……275
図 2-253 10E 区出土遺物実測図 -5 ……276

図 2-254 10E 区出土遺物実測図 -6 ……277
図 2-255 10E 区出土遺物実測図 -7 ……278
図 2-256 10E 区出土遺物実測図 -8 ……279
図 2-257 10E 区出土遺物実測図 -9 ……280
図 2-258 10E 区出土遺物実測図 -10……281
図 2-259 10E 区出土遺物実測図 -11……282
図 2-260 10C 区出土墨書土器実測図 ……286
図 2-261 10D 区出土墨書土器実測図 -1 ……287
図 2-262 10D 区出土墨書土器実測図 -2 ……288
図 2-263 10D 区出土墨書土器実測図 -3 ……289
図 2-264 10D-4・10E 区出土墨書土器実測図 -1 ……290
図 2-265 10E 区出土墨書土器実測図 -2 ……291
図 2-266 10E 区出土墨書土器実測図 -3 ……292
図 2-267 10E 区出土墨書土器実測図 -4 ……293
図 2-268 10E 区出土墨書土器実測図 -5 ……294
図 2-269 10E 区出土墨書土器実測図 -6 ……295
図 2-270 10E 区出土墨書土器実測図 -7 ……296
図 2-271 10E 区出土墨書土器実測図 -8 ……297
図 2-272 11A・11D 区出土墨書土器実測図 ……298
図 2-273 下津宿遺跡出土瓦実測図 -1 ……300
図 2-274 下津宿遺跡出土瓦実測図 -2 ……301
図 2-275 下津宿遺跡出土鉄製品実測図 -1 ……303
図 2-276 下津宿遺跡出土鉄製品実測図 -2 ……304
図 2-277 下津宿遺跡出土鉄製品実測図 -3 ……305
図 2-278 下津宿遺跡出土銅製品実測図 ……308
図 2-279 下津宿遺跡出土鉄滓実測図 -1 ……309
図 2-280 下津宿遺跡出土鉄滓実測図 -2 ……310
図 3-1 下津宿遺跡周辺の等高線図 ……312
図 3-2 等高線図を基にした鳥瞰図 ……313
図 3-3 下津宿遺跡出土木材の光学顕微鏡写真 ……320
図 4-1 金属製品・鍛冶関連遺物の出土地点分布図 ‥324
図 4-2 漆付き土器の時期別出土地点分布変遷図 ‥‥325
図 4-3 墨書土器の時期別出土量グラフ ……327
図 4-4 墨書土器の調査区別出土量グラフ ……327
図 4-5 下津宿遺跡の時期別変遷 -1……328
図 4-6 下津宿遺跡の時期別変遷 -2……329
図 4-7 下津宿遺跡の全体像 ……330・331
図 4-8 下津宿遺跡出土土師器皿の編年……335

表 目次

表 1-1 下津城跡関連の発掘調査歴…… 1
表 1-2 下津宿遺跡の発掘調査・整理業務体制…… 2
表 1-3 下津の歴史年表 ……7
表 2-1 A 区遺構一覧……13
表 2-2 B 区遺構一覧……30
表 2-3 C 区遺構一覧 -1 ……40
表 2-4 C 区遺構一覧 -2 ……41
表 2-5 C 区遺構一覧 -3 ……42
表 2-6 C 区主要遺構の変遷 …… 43
表 2-7 D 区遺構一覧 -1……105
表 2-8 D 区遺構一覧 -2……106
表 2-9 D 区遺構一覧 -3……107
表 2-10 D 区遺構一覧 -4 …… 108
表 2-11 D 区遺構一覧 -5 …… 109
表 2-12 D 区遺構一覧 -6 …… 110
表 2-13 D 区遺構一覧 -7 …… 111
表 2-14 D 区主要遺構の変遷 …… 112
表 2-15 E 区遺構一覧 -1 ……209
表 2-16 E 区遺構一覧 -2 ……210
表 2-17 E 区遺構一覧 -3 ……211
表 2-18 E 区遺構一覧 -4 ……212
表 2-19 E 区主要遺構の変遷 ……213
表 2-20 墨書土器の時期別出土点数……283
表 2-21 墨書土器一覧表 -1 ……284
表 2-22 墨書土器一覧表 -2 ……285
表 3-1 遺構別の樹種構成 ……317
表 4-1 下津宿遺跡の遺構変遷と歴史的事象 ……322

巻頭写真図版

巻頭写真図版 1　10Ec 区 0900SE 出土 「応永廿五年七月卅日」銘 宝篋印塔
巻頭写真図版 2　10Ec 区 0900SE 出土 宝篋印塔
巻頭写真図版 3　10Ec 区 0900SE 出土 宝篋印塔
巻頭写真図版 4　10Ec 区 0900SE 出土「良全」銘 五輪塔

写真図版

遺構写真図版 1　A 区上面
遺構写真図版 2　A 区上面
遺構写真図版 3　A 区下面
遺構写真図版 4　A 区下面
遺構写真図版 5　A 区下面
遺構写真図版 6　B 区上面
遺構写真図版 7　B 区下面
遺構写真図版 8　B 区下面
遺構写真図版 9　C 区上面
遺構写真図版 10　C 区上面
遺構写真図版 11　C 区上面
遺構写真図版 12　C 区下面
遺構写真図版 13　C 区下面
遺構写真図版 14　C 区下面
遺構写真図版 15　C 区下面
遺構写真図版 16　D 区最上面
遺構写真図版 17　D 区上面
遺構写真図版 18　D 区上面
遺構写真図版 19　D 区上面
遺構写真図版 20　D 区中面
遺構写真図版 21　D 区下面
遺構写真図版 22　D 区下面
遺構写真図版 23　D 区下面
遺構写真図版 24　D 区下面
遺構写真図版 25　E 区上面
遺構写真図版 26　E 区上面
遺構写真図版 27　E 区上面
遺構写真図版 28　E 区上面
遺構写真図版 29　E 区下面
遺構写真図版 30　E 区下面
遺構写真図版 31　E 区下面
遺構写真図版 32　E 区下面
遺物写真図版 1　A・B・C 区土器 (1)
遺物写真図版 2　C 区土器 (2)
遺物写真図版 3　C 区土器 (3)
遺物写真図版 4　D 区土器 (1)
遺物写真図版 5　D 区土器 (2)
遺物写真図版 6　D 区土器 (3)
遺物写真図版 7　D 区土器 (4)
遺物写真図版 8　D 区土器 (5)
遺物写真図版 9　D 区土器 (6)
遺物写真図版 10　E 区土器 (1)
遺物写真図版 11　E 区土器 (2)
遺物写真図版 12　E 区土器 (3)
遺物写真図版 13　E 区土器 (4)
遺物写真図版 14　E 区土器 (5)
遺物写真図版 15　E 区土器 (6)
遺物写真図版 16　墨書土器 (1)
遺物写真図版 17　墨書土器 (2)
遺物写真図版 18　墨書土器 (3)
遺物写真図版 19　墨書土器 (4)
遺物写真図版 20　墨書土器 (5)
遺物写真図版 21　石器 (1)
遺物写真図版 22　石器 (2)
遺物写真図版 23　木製品 (1)
遺物写真図版 24　木製品 (2)
遺物写真図版 25　木製品 (3)
遺物写真図版 26　金属製品 (1)
遺物写真図版 27　金属製品 (2)

第１章　調査の概要

1. 調査にいたる経緯と調査の経過

下津宿遺跡は愛知県稲沢市に所在する遺跡である。これまでの愛知県遺跡地図および稲沢市教育委員会作成の遺跡地図では、鎌倉街道周辺遺跡という名称で登録されており、今回の発掘調査でもこの名称を用いて調査をおこなった。

しかし、鎌倉街道は日本列島の各地に所在するために、本遺跡のみを指す名称としてはふさわしくないこと、尾張の中世史においてきわめて重要な位置を占める「下津」の名を遺跡名に冠するべきとの意見が強かったことに鑑み、この報告書作成から遺跡名を改めることについて、稲沢市教育委員会と協議を諮った。

結果、この鎌倉街道周辺遺跡が中世鎌倉街道（京−鎌倉往還道）に面する「宿」であったこと、さらに本来は下津とその北の赤池に分別することが可能であることから、等澍寺以南を「下津宿遺跡」、以北を「赤池宿遺跡」と呼称することとなった。

なお、この「下津宿遺跡」の範囲には、15 世紀代に尾張守護所が置かれたことで知られる「下津城跡」と、その下層で縄文後期末〜晩期前葉の遺物が出土する「下津遺跡（下津城跡下層遺跡）」を内包している。下津城跡および下津遺跡については、昭和 55（1980）年から平成 13（2001）年にかけて、稲沢市教育委員会が断続的に発掘調査を実施し、現・青木川左岸に本丸・二ノ丸・三ノ丸を有する下津城の姿が明らかにされている（表 1-1）。

今回の調査は、県道 62 号線の渋滞を緩和するために愛知県建設部道路建設課によって計画された県道名古屋豊山稲沢線の建設に伴う事前調査で、愛知県教育委員会の委託を受けて発掘調査を

表 1-1　下津城跡関連の発掘調査歴

調査年度	調査原因	主要遺構	主要遺物	文献
1980〜82年	県道井之口・江南線拡幅舗装	下津城堀・土塁・井戸・鍛冶遺構ほか	土師器・須恵器・中世陶器・中国陶磁・漆椀・木簡・下駄・石製硯・砥石・銭貨・鞴羽口・人骨ほか 縄文土器・弥生土器・	稲沢市教育委員会1980〜82『下津城跡発掘調査概要報告（Ⅰ）〜（Ⅲ）』
1984〜87年	下津城跡の範囲確認	下津城堀・溝・土坑ほか	石鏃・土師器・須恵器・中世陶器・瓦質土器・中国陶磁・漆椀・木札・下駄・石製硯・砥石・銭貨・鉄滓ほか	稲沢市教育委員会1985〜1988『下津城跡発掘調査報告（Ⅰ）〜（Ⅳ）』
2001年	下津公民館建設	竪穴建物・溝・土坑ほか	弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・中世陶器・中国陶磁・砥石・銭貨ほか	稲沢市教育委員会・稲沢市内遺跡発掘調査委員会2003『下津公民館用地埋蔵文化財発掘調査報告書―下津城跡・下津城跡下層遺跡―』

実施した。

まず、平成 21（2009）年の 5 月と 10 月に 12 ヵ所 200 ㎡の範囲確認調査を実施し、調査範囲を確定した。

翌平成 22（2010）年に本調査を開始し、同年 5 月から平成 23 年 3 月にかけて 8,000 ㎡、さらに平成 23（2011）年 4 月から 6 月にかけて 830 ㎡を調査した。

発掘調査は、平成 22 年度が(株)アコード、平成 23 年度は東海アナース（株）の業務支援を受けて実施し、鎌倉～室町期の遺構群とコンテナ約 300 箱の遺物が出土した（表 1-2 上段）。

また、平成 22 年度は 9 月 23 日に地元説明会を開催し、一般市民 50 名の参加者を得た。23 年度は 5 月 15 日に下津市民センターにて検討会「中世下津を考える」を開催し、研究者と一般市民合わせて 47 名の方々が参加して下さった。

県道名古屋豊山稲沢線は平成 24 年度の供用開始がすでに決定していたために、出土遺物の整理と報告書作成業務は予算の関係上、発掘調査中の平成 22 年度より開始することとなった。

平成 23 年度にかけての 2 カ年で土器・陶磁器類・木製品・石製品・金属製品合わせて 4,000 点を超える膨大な遺物量について選別・接合・復元・実測・トレース・写真撮影と、図版作成・原稿執筆をおこなうという、きわめてタイトなスケジュールをこなすために、愛知県埋蔵文化財センターの整理補助員 2 名のほか、表 1-2 下段のような業務委託を実施した。

表 1-2　下津宿遺跡の発掘調査・整理作業体制

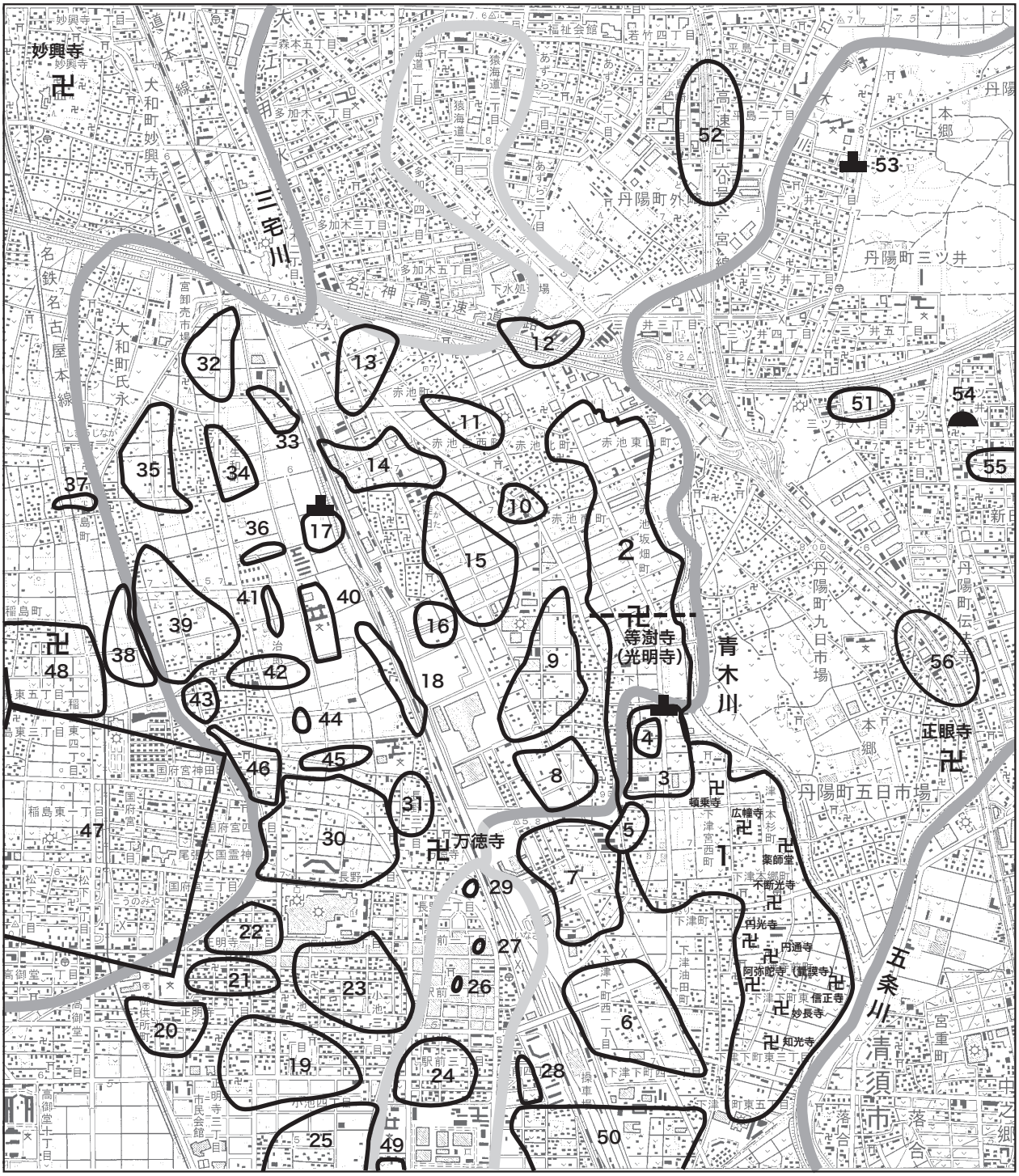
発掘調査業務		
	平成22年度	平成23年度
調査面積	8,000㎡	830㎡
調査期間	平成22年5月1日～ 平成23年3月18日	平成23年4月18日～ 6月29日
調査担当者	樋上　昇 加藤雅士 奥野絵美 鵜飼雅弘	鈴木正貴
支援業者	(株)アコード	東海アナース(株)
現場代理人	中本成一郎	池内章浩
調査補助員	中村　毅 島軒　満	村尾政人
土木測量技師	星　英司 稲垣耕作	尾嵜祐司
職長	大熊勝政	岡田義行

整理・報告書作成業務		
	平成22年度	平成23年度
報告書編集者	樋上　昇	
整理補助員		三浦里美 時田典子
遺物接合・復元・実測・トレース 遺物実測・トレース	(株)アコード	(株)アコード 橋本技術(株)
遺物図版レイアウト		国際文化財(株)
都市計画図・地籍図トレース		国際文化財(株)
遺物写真撮影		金子知久
写真図版レイアウト		(有)アルケーリサーチ

現地調査に際しては、愛甲昇寛・鋤柄俊夫・藤澤良祐・北條献示・山村亜希の各氏から貴重なご助言を賜った。

整理業務に際しては、出土遺物の器種認定と時期決定を藤澤良祐氏に、墨書土器の釈読を上村喜久子・下村信博・福島金治の各氏にお願いした。

本報告書の第 2・4 章で用いる土器型式名ならびに暦年代に関しては、『愛知県史 別編 中世・近世 窯業編』を参考にしている。



1. 下津宿遺跡
2. 赤池宿遺跡
3. 下津城跡
4. 下津遺跡 (下津城跡下層遺跡)
5. 下津新町遺跡
6. 北丹波・東流遺跡
7. 下津北山遺跡
8. 下津小井戸遺跡
9. 下津長田遺跡
10. 赤池壱里山遺跡
11. 赤池前山遺跡
12. 赤池真崎遺跡
13. 赤池西出遺跡
14. 陸田白山遺跡
15. 陸田東出遺跡
16. 陸田宮前遺跡
17. 陸田城跡
18. 陸田馬山遺跡
19. ハサバ遺跡
20. 上間遺跡
21. 正明寺市場遺跡
22. 正明寺花池遺跡
23. 地蔵寺東遺跡
24. シノギ遺跡
25. 長東北浦遺跡
26. 上石田遺跡
27. 駅前神明社遺跡
28. 西細廻遺跡
29. 追取遺跡
30. 塔の越遺跡
31. 長野北浦遺跡
32. 子生和山王遺跡
33. 子生和神明遺跡
34. 子生和八島遺跡
35. 子安賀遺跡
36. 子生和坂田遺跡
37. 島寺西遺跡
38. 北山ノ内遺跡
39. 高須賀遺跡
40. 北流田遺跡
41. 治郎丸神木遺跡
42. 治郎丸元屋敷遺跡
43. 平助前遺跡
44. 治郎丸土井遺跡
45. 清敷遺跡
46. 天神前遺跡
47. 尾張国府推定地
48. 東畑廃寺
49. 八軒屋遺跡
50. 大宮・北畑遺跡
51. 池之上遺跡
52. 島崎遺跡
53. 重吉城跡
54. 稲荷山古墳
55. 伝法寺廃寺
56. 伝法寺本郷遺跡

図 1-1　下津宿遺跡の位置 (国土地理院 1:25,000 一宮を使用)



図 1-2　下津宿遺跡周辺の都市計画図と調査区（1:5,000）



図 1-3　下津宿遺跡周辺の地籍図と調査区（1:5,000）

2．文献資料からみた下津の歴史

はじめに

下津は中世鎌倉街道の宿として紀行文などに紹介される交通の要衝であり、15 世紀初頭から後半にかけて守護所が置かれ、領国支配の拠点であったことが知られる。下津の基礎的な検討はすでに『新修稲沢市史』、『稲沢の街道Ⅰ』等でなされており、筆者も共同研究「中世下津宿を考える」で、文献や下津周辺を含めた寺院の分布について検討を試みたことがある。

ここでは、『愛知県史』資料編に紹介された史料などを加えて、下津の歴史的景観の再現を試みるものである。

下津宿の成立

下津は折戸、またはおりどとも呼ばれ、京・鎌倉を結ぶ中世鎌倉街道の宿駅として成立した。折戸の名が見られる最古の文献は、源行家の軍勢が折戸の宿に陣を取ったとする『源平盛衰記』の記述となる（『稲沢の街道Ⅰ』）。しかし『吾妻鏡』建久元 (1190) 年源頼朝上洛の記事（『愛知県史』資料編 8 – 50 号、以下『県史』と略す）では小熊宿、暦仁元 (1238) 年藤原頼経上洛の記事（『県史』8 – 262 号）では萱津宿・小熊宿が記されているが、折戸（もしくは下津）に関わる記述はみられない。

つぎに、承久の乱を題材とした慈光寺本『承久記』には、相模守（北条時房）の軍勢が「赤池ノ宿」に到着したとする記述が見られる（『県史』8 – 177 号）。赤池は下津の北隣に位置し、『宗尊親王鎌倉御下向記』（『県史』8 – 322 号）に「ひるのおまうけの所」と記されている。また『沙石集』巻二には、承久の乱で朝廷方について敗れた右馬允明長が、「下津河」の増水で行く手を阻まれ幕府方に捕えられたとする記述（『県史』8 – 181 号）があるが、宿の存在を証明するものではない。したがって弘長二 (1262) 年二月十日叡尊一行が僧道筐の要請を受け尾張国長母寺へ向かう途上、折戸宿にて中食をとったとする『関東往還記』の記述（『県史』8 – 378 号）が、下津宿の存在を記す確実なものとなり、折戸宿は 13 世紀半ばには成立したと考えられる。その後弘安二 (1279) 年に阿仏尼が折戸を出発し（『十六夜日記』、『県史』8 – 459 号）、弘安三 (1280) 年には飛鳥井雅有が折戸を通過する（『春の深山路』、『県史』8 – 466 号）など、紀行文に折戸の記述がみられる。

この段階の下津宿の景観を推測できることはなにか。『関東往還記』によると、叡尊一行は折戸宿から「大道」を経ず長母寺へ向かう。大道は鎌倉街道をさすと考えられ、下津宿と尾張各地を結ぶ交通の結節点であったことを示す。また市が開かれていたことは『沙石集』に記されているほか、正和三 (1314) 年 6 月 29 日付け六波羅御教書案（『県史』8 – 722 号）では、下津五日市の存在が確認できる。

現在下津に残る寺院のうち、天台宗円光寺は仁王門が弘長二 (1262) 年創建と伝えられ、真言宗曩謨寺の創建が延応二 (1239) 年と伝えられている。このほか真福寺文書のうち、嘉暦四 (1329) 年下津宿において書写された尊勝法奥書が残されている（『県史』8 – 886 号）ことから、後世の記録に残らない寺院の存在が考えられる。また宿の西には、建長六 (1254) 年再興と伝えられる真言宗万徳寺があり、16 世紀には尾張における田舎大寺としての地位を確立する。

下津守護所の成立

正慶二 (元弘三、1333) 年、鎌倉幕府の崩壊に端を発した混乱は尾張にも波及した。建武二 (1335) 年足利尊氏は中先代の乱鎮圧の途上、下津で宿泊した（「足利尊氏関東下向宿次・合戦注文」、『県史』8-981 号）。また建武五 (延元三、1338) 年、幕府が下津で北畠顕家の軍勢との合戦に勝利したことが、少弐頼尚施行状（『県史』8 – 1074 号）などに記されている。

土岐頼康は観応二 (1351) 年ごろ尾張国守護に

時代	西暦	年号	下津に関する事項	一般事項
	1180	治承４		源頼朝、伊豆で挙兵する
	1181	養和元	源行家、墨俣の合戦で平家の軍勢に敗れ、折戸に陣を構える（『源平盛衰記』）	
鎌	1221	承久３	承久の乱に際し、北条時房が赤池宿に到着する（『承久記』）	承久の乱
			右馬允明長（朝廷方の武士）下津河を渡れず、幕府方に捕えられる（『沙石集』）	
	1239	延応２	曩謨寺（阿弥陀寺の前身）創建される	
倉	1254	建長６	□平尼仏生年四十九造之、□長六年甲寅六月（下津住吉町出土石硯銘）	
	1262	弘長２	西大寺の僧叡尊、折戸宿で中食をとる（『関東往還記』）	
時	1270	文永７	七月十七日、下津の宿に雷が落ちる（『沙石集』）	
	1279	弘安２	（十月）二十日、阿仏尼がおりどを通る（『十六夜日記』）	
代	1314	正和３	下津五日市の地頭代、大成荘乱入について六波羅から召喚される（東寺百合文書）	
	1329	嘉暦４	下津宿において、尊勝法書写される（真福寺文書）	
	1333			鎌倉幕府滅亡
	1335	建武２	足利尊氏、関東へ向かう途中下津で宿泊（「足利尊氏関東下向宿次・合戦注文」）	中先代の乱
／	1336			室町幕府成立
南	1338	建武５	幕府（北朝方）と北畠顕家（南朝方）が下津で争う（「少弐頼尚施行状」ほか）	
北	1347	貞和３	頓乗寺創建される	
朝	1348	貞和４	妙興寺創建される	
時	1351	観応２	この年、土岐頼康尾張国守護に任命される	
代	1388	元中５	足利義満、富士遊覧の途中頓乗寺に宿泊（「日什大師伝」、『愛知県史』所収）	
	1391	明徳２	尾張国守護土岐満貞失脚、以後守護職を今川氏、畠山氏が勤める	
室	1394	応永元	中島郡稲木庄下津保（現一宮市伝法寺）に正眼寺が成立する（「正眼寺開闢幷天鷹和尚行記」）	
	1400	応永７	斯波義重、尾張国守護に任命される	
町	1411	応永18	下津に守護所が存在（「織田常松書状」、妙興寺文書）	
	1418	応永25	正徹、下津に10日間滞在する(『なぐさめ草』)	
時	1419	応永26	織田信継、一保薬師堂に定燈田を寄付（妙興寺文書）	
	1432	永享４	足利義教（室町幕府６代将軍）、富士山遊覧の途中下津に宿泊（「九条満家引付」ほか）	
代	1466	文正元	織田敏広（守護代）、下津の防備を固める（『文正記』）	
／	1471	文明３	円光寺が炎焼する	┃
	1475	文明７	斯波義廉（守護）下津城に下向する（『和漢合符』）	┃ 応仁の乱(1467～77)
	1476	文明８	織田敏定、下津城を落とす（『和漢合符』）	┃
	1478	文明10	織田敏定と織田敏広の争いに斉藤妙椿（美濃国守護代）が介入、敏定と清須で争う	┃
			…守護所、この頃までに下津から清須へ	
戦	1485	文明17	織田敏定、幕府政所執事伊勢貞宗に下津引目廿を贈る	
			法華堂（のち妙長寺）が創建される	
国				
				美濃国で船田合戦
時	1524	大永４	円光寺が炎焼する	
	1529	享禄２	広幢寺が創建される	
代	1531	享禄４	法華堂が妙長寺となる（天正十四(1586)年、清須へ移転）	
	1541	天文10	円通寺が川井村（現岩倉市）から移転する	
	1550	天文19	阿弥陀寺に、本願寺證如から阿弥陀如来画像が下付される（阿弥陀如来画像裏書）	
	1562	永禄５	織田信長、阿弥陀寺を安堵する	
	1570	元亀７	阿弥陀寺が炎焼する	
安	1574	天正２	織田信長、木村弥左衛門の闕所地のうち、下津を岩室小十蔵に与える（『美作古簡集』）	
土	1582	天正10		本能寺の変
桃	1583	天正11	織田信雄、生駒家長らに清須城周辺の検地を命じる（生駒文書）	
山	1584	天正12	下津を雑賀松庵が支配する（「織田信雄分限帳」）	小牧・長久手の戦い
時代	1600	慶長５	下津宿の住人、起宿へ引き移る（『起宿文書抄』）	関ヶ原の戦い

表 1-3　下津の歴史年表

任命され、以後 40 年に渡り土岐氏が守護を勤めた。明徳二 (1391) 年に土岐満貞が失脚すると守護職は今川氏、畠山氏に相次いで移った。応永七 (1400) 年斯波義重が守護に任命され、同十八 (1411) 年守護代織田常松書状（『県史』9 – 974 号）により、下津に守護所が存在したことが明らかとなる。守護所が設置された年代は史料上の制約もあり明らかではないが、国衙正税地である一保（市保とも）が、応永七年以前から守護の家臣により横領されていたことが、史料から確認できる。応永四 (1397) 年、国衙領主醍醐寺三宝院による初任検注の際目代から提出された注進状(『県史』9 – 725 号）では今川仲秋の守護代、同九 (1402) 年尾張国目代光守注進状(『県史』9-812 号) では甲斐美濃、同十 (1403) 年の尾張国国衙領当知行分注文（『県史』9-835 号）では富田方の支配下、年未詳尾張国国衙荘当知行分注文（『県史』9-838 号) ではさかい彦左衛門の支配下にあった。これらのことから、守護所の成立が応永四年以前にさかのぼる可能性があることを指摘したい。

また一保には薬師堂が含まれる。応永廿六 (1419) 年十月八日付け織田教継寄進状（『県史』9-1130 号）では、長野田が定燈田として薬師堂に寄進され、嘉吉三 (1443) 年には坂井春智が薬師堂坊主職を長福寺重専に宛行っている（『県史』9 – 1728 号)。

一保のほかに確認できる下津の地名としては、文和二 (1353) 年尾張国在庁注進状案（『県史』8 – 1384 号）に中下津が見られる。下町屋は年未詳尾張国国衙領内福阿給分注文(『県史』9-839 号) によると、十七貫をさかい彦左衛門が支配した。また尾張国国衙領注文（『県史』9 – 840 号）によると、安保註進分として十七貫が一円支配を受けていた。下津畠は国衙領馬場散在勘定状(『県史』9-2093 号）に、二貫三百文が「マチハリノ損免」として計上されている。その「国郡の政」をつかさどり繁栄する守護所下津の様子は、正徹が応永二十五 (1418) 年頃記した『なぐさめ草』からもうかがえる。足利義教は永享四 (1432) 年、富士山遊覧の途中下津を宿所としている（『覧富士記』など)。

下津には御厨も存在した。延文五 (1360) 年、伊勢神宮の遷宮を控え諸国の神戸・御厨・御園など所在をまとめた『神鳳鈔』に、陸田御厨、赤池など周辺の地名とともに見られる（『県史』9 – 1508 号)。下津の名は約 1 世紀のちの享徳元 (1452) 年に出された庁宣注文にも見られる（『県史』9 – 1927 号)。

この間創建された寺院に目を向けると、時宗頓乗寺が貞和四 (1347) 年創建の寺伝を持ち、足利義満が嘉慶二 (1388) 年に宿泊したとする記録がある。また下津の北に貞和四 (1348) 年臨済宗妙興寺、東に応永元 (1394) 年曹洞宗正眼寺が創建される（正眼寺開闢幷天鷹和尚行状記)。先に述べた万徳寺を含め、下津周辺の鎌倉街道沿いに、各宗派の拠点とも呼ぶべき寺院がそろうことに注意を払いたい。ことに正眼寺が中島郡稲木庄下津保、伝法寺址に立てられたとする伝承は、下津の範囲を考える上で問題をはらむ。

応仁の乱と下津

15 世紀半ば斯波義敏と義廉は家督を巡り対立したが、文正元 (1466) 年、守護代織田伊勢守敏広は出陣していた遠江から下津へ戻り、警固を固くして義敏派の襲撃に備えた（『県史』9 – 2232 号)。この事件は、家督争いの余波が尾張国内にも波及したことを意味する。やがて幕政をめぐる山名持豊と細川勝元の主導権争いや、将軍職をめぐる足利義視・義尚の争いは応仁の乱に発展し、義廉は西軍、義敏は東軍に分かれ対立した。文明七 (1475) 年、義廉は尾張へ下向した(『和漢合符』、『県史』10 – 79 号）が、翌八年十一月織田敏定と織田敏広は尾張国内で争い、敏定が下津を焼く事態に発展した (『和漢合符』、『県史』10 – 92 号)。

文明十 (1477) 年、美濃の斎藤妙椿は婿の敏広を支援して敏定を攻め、敏定は清須城にこもって抵抗した（『県史』10 – 143 号など)。翌年妙椿は敏定と和睦して美濃に戻り、敏定は尾張に郡を

領有した（『県史』10－150 号、151 号、152 号）。この結果敏定は中島・海東の二郡を領有したと考えられているが、応仁の乱により一色氏の分郡であった海東郡が斯波氏の管轄に入ったことが影響したと推定されている（鳥居和之「織田信秀の尾張支配」）。守護所が下津から清須へ移ったのはこの間と考えられる。ただし、守護所の移転が直ちに下津の衰退につながった訳ではない。文明十七 (1485) 年、織田敏定が幕府政所執事伊勢貞宗に下津引目を贈ったことが知られる（『県史』10－273 号）。このことは岩倉に近い下津が敏定の支配下にあることを示す。

寺院の動向を見ると、15 世紀後葉から 16 世紀にかけて浄土真宗・日蓮宗・曹洞宗の各宗派で寺院の創建、周辺からの下津への移転がみられることが寺伝により判明する。文明年中に法華堂が創建され、のちに享禄四 (1531) 年、日蓮宗妙長寺となる。さきにあげた曩謨寺は浄土真宗に転じ、阿弥陀寺に改称している。この阿弥陀寺には本願寺證如から天文十九 (1550) 年ごろ、阿弥陀如来画像が下付されている（『新編稲沢市史』研究編二）。享禄二 (1529) 年には曹洞宗広幢寺が創建され、天文十 (1541) 年以降、丹羽郡川井村（現岩倉市）から浄土真宗円通寺が移転してきた。

16 世紀後半以降、下津に関する記録は限られてくる。天正二 (1574) 年、織田信長は木村弥左衛門の闕所地のうち、下津を岩室小十蔵に与えている（『県史』11－921 号）。天正十二 (1584) 年織田信雄により知行地再編が行われ、下津は信雄の奉行人、雑賀松庵の支配下に置かれた（『県史』12－1040 号）。

参考文献

『愛知県史』資料編８　中世１　2001
資料編９　中世２　2006
資料編 10　中世３　2009
資料編 11　織豊１　2004
資料編 12　織豊２　2008
『新修稲沢市史』本文編上　1990
『新編一宮市史』本文編上　1977
『稲沢の街道Ⅰ―鎌倉街道と岐阜街道―』稲沢市史資料第３４編　1999
鳥居和之 1996「織田信秀の尾張支配」『名古屋市博物館研究紀要』第１９巻
下村信博 2006「戦国期尾張の動向」 内堀信雄ほか『守護所と戦国城下町』高志書院

第２章　遺構と遺物

1. 概 要

本遺跡で確認された遺構の数はとにかく膨大であり、本章で全遺構について詳述することはできない。ゆえに各調査区で確認された遺構のうち遺物が出土しているものについて、検出された遺構面・規模・形状・出土遺物の内容と所属時期を一覧表で示したうえで、特に記述が必要なものについてのみ、説明を加えることとする。

あらかじめ記しておくが、本遺跡においては検出面および出土遺物の所属時期が、単純にその遺構の掘削時期や機能していた時期を示すものではない。調査区によっては遺構の検出がきわめて困難で、最終検出面でようやく確認することができた遺構（10Da 区南端の大溝群など）や、上面の掘り残しが下面で検出された遺構、整地層や遺構の再掘削による古い遺物の巻き上げなどの現象が各調査区において認められるゆえである。

そのため、本章ではあらかじめ遺構の時期区分を明示したうえでの記述はおこなわず、調査区ごとに基本的に遺構番号の若い順に解説を加える。ただし、溝群などまとめての説明が必要な箇所については、その限りではない。

遺物で最も古いものは、10Da 区の 1706SK より古墳時代前期の高杯脚部である（図 2-153-2192）。次いで 10Ca 区西半部の深掘りで旧河道とみられる厚く堆積した砂層中より 9 世紀代の濃尾型長胴甕（図 2-91-0729）が出土した。本遺跡周辺が地形的に安定し、継続して人が居住できる環境が整ったのはそれ以降とみられ、須恵器や灰釉陶器も若干出土している。

遺物量が増加するのは、東山 72 号窯式期（10 世紀後半～ 11 世紀第 2 四半期）および百代寺窯式期（11 世紀第 2 四半期～第 3 四半期）で、B・C 区を中心に出土がめだち、11Ba 区で確認した竪穴建物 2013SI も当該期の遺構である可能性が高い。

12 世紀後半～ 13 世紀代には、ようやく A ～ E 区の全面に遺構が展開するようになる。この時期は青木川が頻繁に氾濫を繰り返したようで、10Ca 区の中央を南北方向に走る下面の大溝（1501・1510・174SD）がいずれも 13 世紀中葉の遺物を含む砂層で埋没している。これらの大溝群はその形状からみて、現在の下津小学校が所在する地点（下津城跡）で急激に屈曲する青木川の本流が破堤したことによって生じた小規模な河道の一部である可能性が高い。

前述の整地層はのちに詳述する 10Ec 区の推定鎌倉街道以外に、10Ca 区西端や 10Da 区においても認められる。これらの整地層から出土する遺物の下限はおおむね 15 世紀第 2 四半期頃であることから、この時期に下津宿遺跡全体で大規模な造作がおこなわれた可能性が高い。このことは、1411（応永 18）年に文献上初出する尾張守護所の成立と密接に関わっていると考えて差し支えなかろう。この時期に本遺跡の旧名（鎌倉街道周辺遺跡）の由来である鎌倉街道とみられる道路状遺構が整備され、守護所や大寺院が建ち並ぶといった都市的景観が完成する。15 世紀後半には守護代である織田氏が居城とした下津城が文献上で現れるが、その織田氏の内紛によって 1476（文明 8）年に下津城が落城し、守護所が清須に移転するとともに本遺跡は急速に寂れたようで 16 世紀以降の遺物は激減し、当該期の遺物が出土する遺構は街道に面する D・E 区のごくわずかとなる。さらに江戸時代に入ると、本遺跡の西に今も残る岐阜街道が整備されるとともに、鎌倉街道は廃絶して地籍図にその痕跡を残すのみとなった。

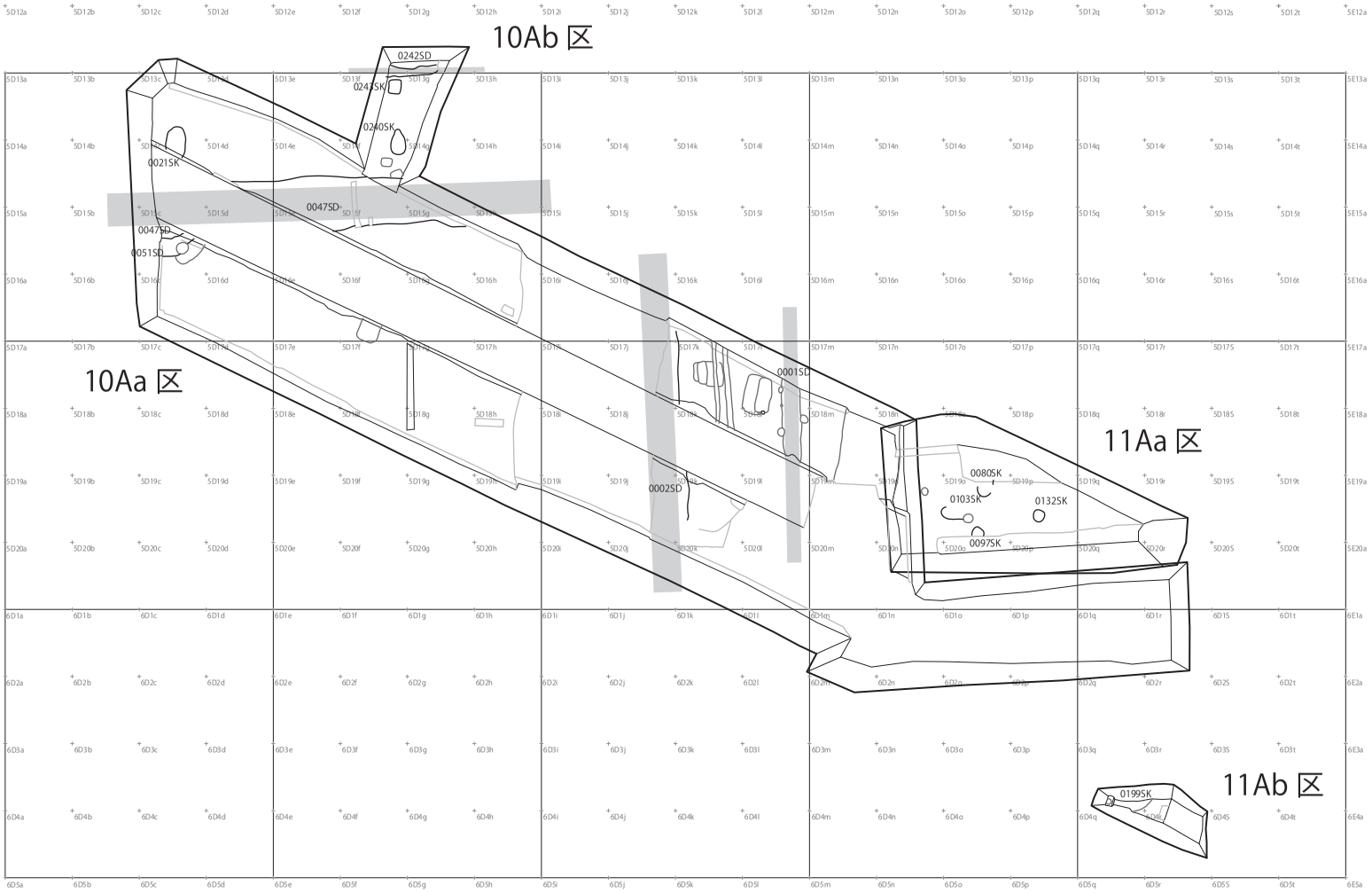


図 2-1　A 区第 1 面遺構全体図（1:500）

目次
終了

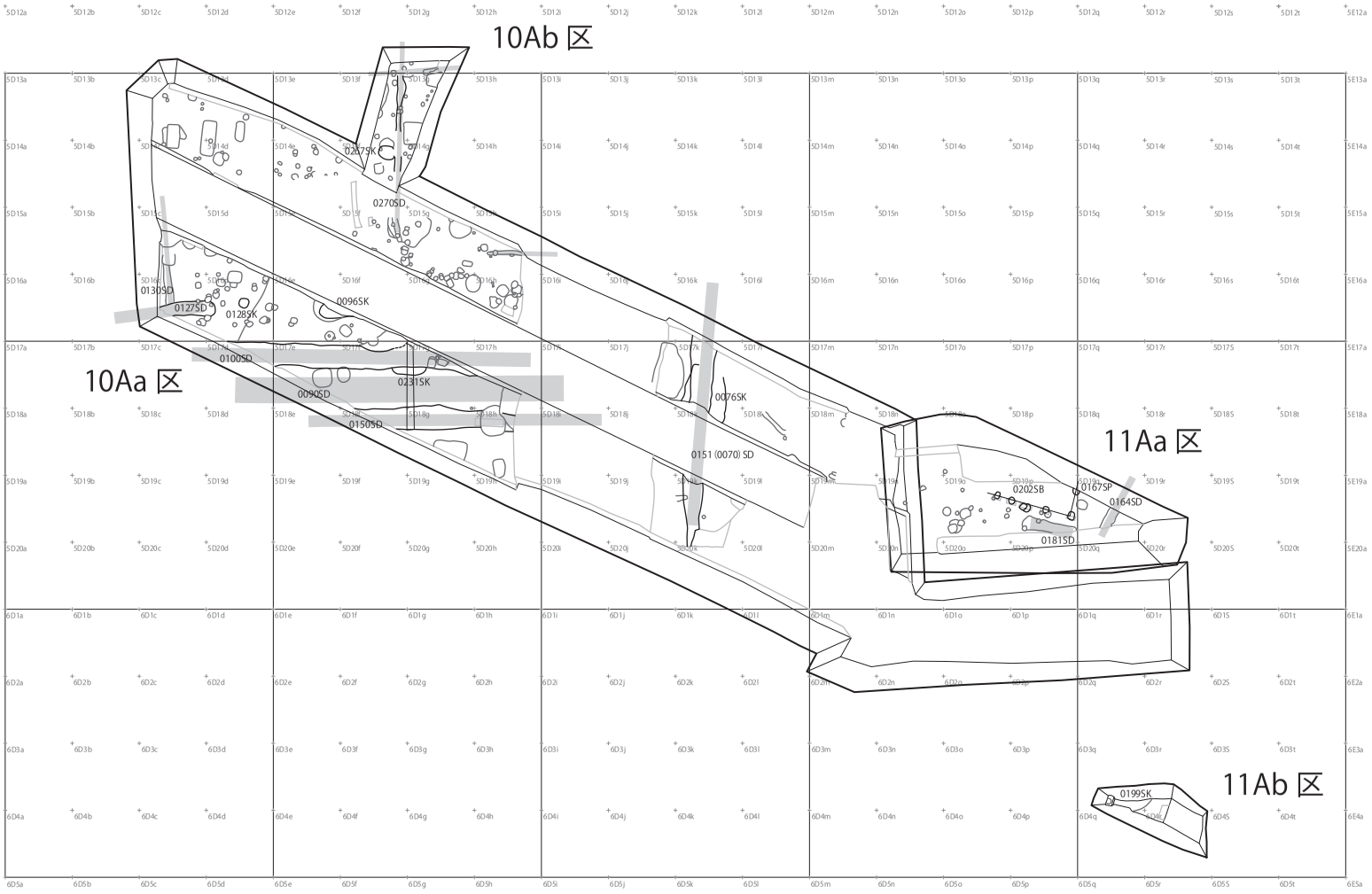


図 2-2　A 区第 2 面遺構全体図（1:500）

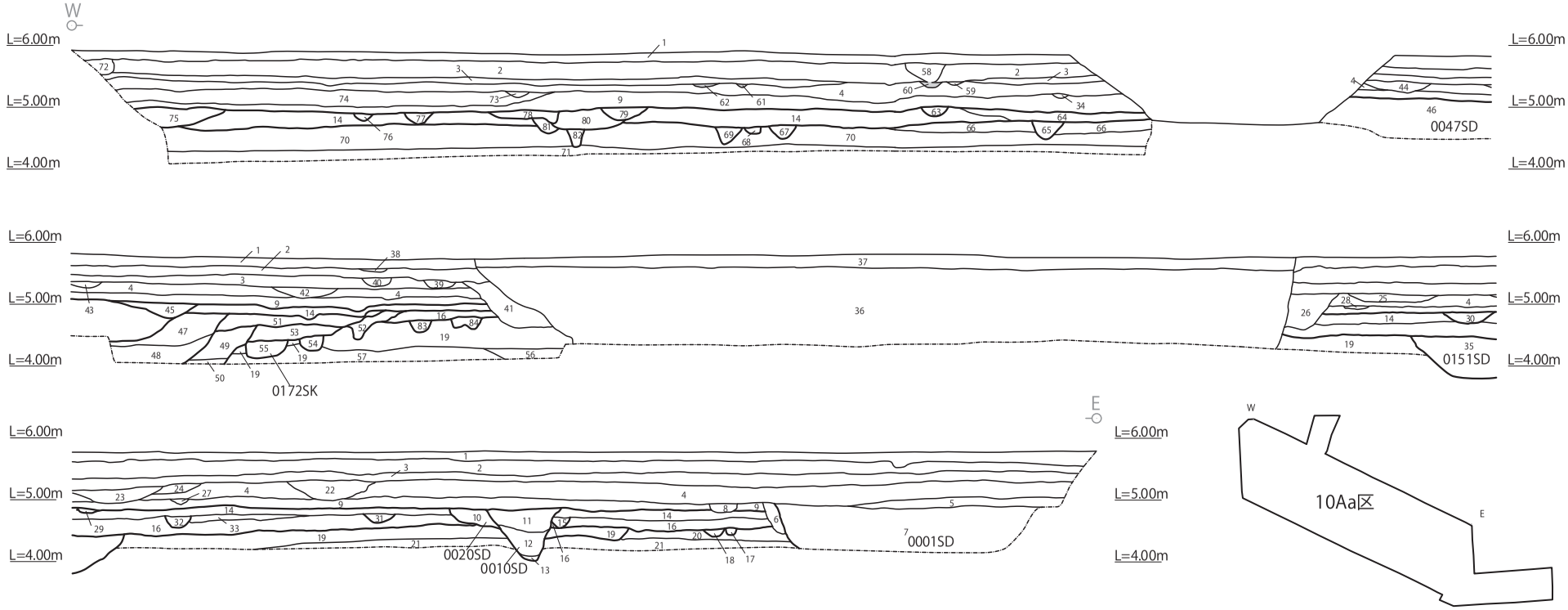
目次
終了

表 2-1　A 区遺構一覧

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Aa	0002	SD	東濃型山茶碗　古瀬戸天目茶碗　陶丸　釘　椀型滓	0001～0003	脇之島	15c第2四半期	1面	5D17j	-455	-103	42	溝	弧状
10Aa	0010	SD	土師器非ロクロ皿　椀型滓	0004			1面	5D18l	-553	97	77	溝	V字状
10Aa	0021	SK	土師器ロクロ皿　古瀬戸卸目付大皿　釘	0005～0016	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	5D13c	-215	140	16	楕円形	弧状
10Aa	0047	SD	瓦器風炉　釘　椀型滓	0017			1面	5D15f	-848	278	93	溝	弧状
10Aa	0051	SD	釘	—			1面	5D15c	-202	95	38	溝	弧状
10Aa	0076	SK	砥石	4001			2面	5D17l	-295	315	20	不明	弧状
10Aa	0090	SD	須恵器（杯B　盤）	0027・0028	古代		2面	5D17f,g	-1315	295	72	溝	弧状
10Aa	0096	SK	土師器（非ロクロ皿　ロクロ皿）　中国産青磁鉢　須恵器杯B	0029～0033		15c	2面	5D16e	192	-72	62	不明	U字状
10Aa	0100	SD	土師器内鬱羽釜　東濃型山茶碗　古瀬戸（灰釉天目茶碗　袴腰形香炉）　釘　椀型滓	0034～0037	脇之島・後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	5D17e,f	-1325	172	88	溝	V字状
10Aa	0127	SD	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型）　古瀬戸（縁釉小皿　擂鉢　卸目付大皿）　瓦器火鉢or風炉　須恵器杯B　釘	0038～0063	後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	5D16c	-410	97	71	溝	U字状
10Aa	0128	SK	尾張型山茶碗	0064・0065	6・7型式	13c第2四半期～第3四半期	2面	5D16d	72	70	7	方形	弧状
10Aa	0150	SD	土師器（非ロクロ皿　内鬱羽釜）　東濃型山茶碗　古瀬戸（縁釉小皿　仏供　合子　袴腰形香炉）	0034・0066～0071	脇之島新・後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	5D18g	-940	178	22	溝	弧状
10Aa	0151（0070）	SD	灰釉陶器碗　尾張型（小皿　山茶碗）　古瀬戸灰釉広口瓶　加工円盤	0018～0026	6・7型式	13c第2四半期～第3四半期	2面	5D19k	-470	128	41	溝	U字状
10Aa	0231	SK	—	—			2面	5D17g	254	-60	16	不明	弧状
10Aa	0240	SK	土師器ロクロ皿	0072～0074		15c	1面	5D14f	185	108	11	楕円形	弧状
10Ab	0242	SD	古瀬戸筒形香炉	0075	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	5D12g	-372	112	43	溝	弧状
10Ab	0243	SK	土師器ロクロ皿　釘	0076		15c	1面	5D13f	-108	91	22	方形	弧状
10Aa	0267	SK	東濃型山茶碗　常滑甕	0077・0078	白土原・中野5型式	13c第2四半期	2面	5D14f	102	-62	18	楕円形	弧状
10Ab	0270	SD	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型　ロクロ皿）古瀬戸筒形香炉	0079～0085	後Ⅳ期	15c第2四半期～第4四半期	2面	5D13,14f	-700	32	10	溝	弧状
11Aa	0080	SK	尾張型山茶碗墨書	3017	5型式	12c第4四半期～13c第1四半期	1面	5D19o	-133	105	18	楕円形	皿状
11Aa	0097	SK	尾張型山茶碗	3018	5型式	12c第4四半期～13c第1四半期	1面	5D19o	84	-62	19	楕円形	U字状
11Aa	0103	SK	尾張型山茶碗	3019	5型式	12c第4四半期～13c第1四半期	1面	5D19n・19o	-248	-53	11	楕円形	皿状
11Aa	0132	SK	尾張型小皿　砥石	3020～3022・4133	5型式	12c第4四半期～13c第1四半期	1面	5D19p	89	76	20	楕円形	U字状
11Aa	0167	SP	尾張型山茶碗	3023	5型式	12c第4四半期～13c第1四半期	2面	5D19p・19q	43	-35	27	楕円形	U字状
11Aa	0202	SB	—	—			2面	5D19o・19p					

目次
終了

10Aa区北壁土層断面図　1:100



1,　2.5Y5/1黄灰色シルト質粘土（表土）
2,　2.5Y5/3黄褐色シルト質粘土（旧耕作土）
3,　2.5Y6/4にぶい黄色シルト質粘土（旧耕作土）
4,　10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト
5,　10YR5/4にぶい褐色粘土質シルト
6,　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト（水田の落ち込み）
7,　10YR6/4にぶい黄橙色シルトと10YR6/1褐灰色シルト質粘土の斑土（0001SD）
8,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土
9,　10YR5/3にぶい黄褐色シルト質粘土（14と類似の層、中央分離帯はこの層で止める）
10,　7.5YR5/4にぶい褐色シルト質粘土（0020SD）
11,　7.5YR5/3にぶい褐色粘土質シルト（0010SD）
12,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト（0010SD）
13,　10YR6/1褐灰色粘土（滞水限）
14,　10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト（10YR8/2灰白色粘土質シルト含む）
15,　10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト
16,　2.5Y7/2灰黄色粘土質シルト（7.5YR6/8橙色シルト質粘土含む）
17,　10YR5/6黄褐色シルト質粘土
18,　10YR5/6黄褐色シルト質粘土
19,　2.5Y7/2灰黄色粘土質シルト（16より粘性強い、19はⅡ層）
20,　10YR6/4にぶい黄橙色シルト質粘土（19より砂質強い）
21,　7.5YR5/8明褐色シルト（7.5YR7/1明褐灰色シルト10%含む）
22,　10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト（10YR7/2にぶい黄橙色粘土質シルトブロック含む）
23,　10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト（10YR7/2にぶい黄橙色粘土質シルトブロック含む）
24,　10YR6/3にぶい黄橙色シルト質粘土
25,　10YR6/3にぶい黄橙色シルト質粘土
26,　10YR4/2灰黄褐色シルト質粘土
27,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト
28,　10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト
29,　7.5YR4/4褐色シルト質粘土
30,　7.5YR4/4褐色シルト質粘土
31,　10YR7/4にぶい黄橙色粘土質シルト
32,　10YR6/3にぶい黄橙色シルト質粘土
33,　10YR7/4にぶい黄橙色粘土質シルト
34,　記録なし
35,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト（0151SD）
36,　撹乱（1cm～人頭大の礫、ガラ、ゴミ入る）
37,　2.5Y8/2灰白色細粒砂（客土、撹乱の上の入れ土）
38,　10YR6/4にぶい黄橙色シルト質粘土
39,　10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土
40,　2.5Y7/4浅黄色シルト
41,　2.5Y8/3淡黄色シルト質粘土
42,　7.5YR6/6橙色シルト
43,　10YR7/4にぶい黄橙色シルト
44,　10YR7/3にぶい黄橙色シルト
45,　10YR7/3にぶい黄橙色シルト質粘土
46,　2.5Y6/3にぶい黄色シルト質粘土（2.5Y8/4淡黄色シルト質粘土のブロック含む）（0047SD）
47,　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト
48,　2.5Y6/2灰黄色粘土質シルト
49,　10YR7/6明黄褐色粘土質シルト
50,　2.5Y7/3浅黄色シルト質粘土
51,　10YR6/3にぶい黄橙色シルト質粘土
52,　10YR4/1褐灰色粘土質シルト
53,　10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト
54,　10YR8/3浅黄橙色粘土質シルト
55,　2.5Y7/3浅黄色粘土質シルト（0172SKの一部）
56,　2.5Y7/2灰黄色粘土質シルト
57,　2.5Y7/2灰黄色粘土質シルト（56より砂質弱い）
58,　10YR5/3にぶい黄褐色シルト質粘土
59,　2.5Y5/3黄褐色シルト質粘土
60,　10YR7/3にぶい黄橙色極細粒砂
61,　10YR7/3にぶい黄橙色極細粒砂
62,　10YR7/3にぶい黄橙色極細粒砂
63,　2.5Y6/3にぶい黄色粘土質シルト
64,　10YR6/3にぶい黄橙色粘土質シルト
65,　10YR7/4にぶい黄橙色シルト質粘土
66,　10YR7/3にぶい黄橙色粘土質シルト
67,　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト（炭化物少量含む）
68,　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト（炭化物少量含む）
69,　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト（炭化物少量含む）
70,　2.5Y8/4淡黄色粘土質シルト（19に同じ）
71,　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト
72,　10YR7/4にぶい黄橙色シルト質粘土
73,　2.5Y5/3黄褐色シルト質粘土
74,　2.5Y5/3黄褐色シルト質粘土（土器細片含む）
75,　10YR6/4にぶい黄橙シルト質粘土（10YR7/6明黄褐色シルトブロック含む、炭化物少量含む、46に似る）
76,　10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト
77,　10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト
78,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（土器細片含む、炭化物多量含む、焼成土坑か）
79,　10YR6/3にぶい黄橙色シルト質粘土
80,　2.5Y6/3にぶい黄色シルト質粘土
81,　2.5Y6/2灰黄色シルト質粘土
82,　10YR6/3にぶい黄橙色粘土質シルト
83,　10YR7/4にぶい黄橙色粘土質シルト
84,　10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト

図 2-3　10Aa 区北壁土層断面図（1:100）

目次
終了

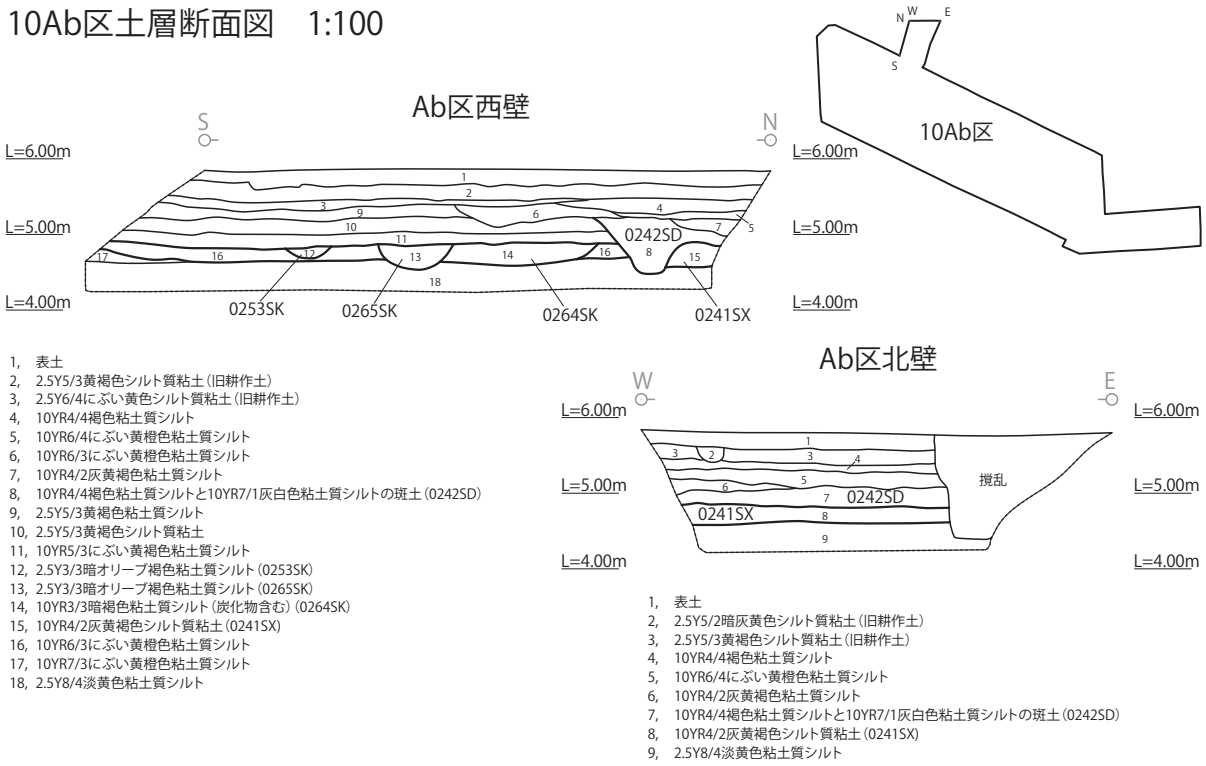


図 2-4　10Ab 区西壁・北壁土層断面図（1:100）

2．A 区

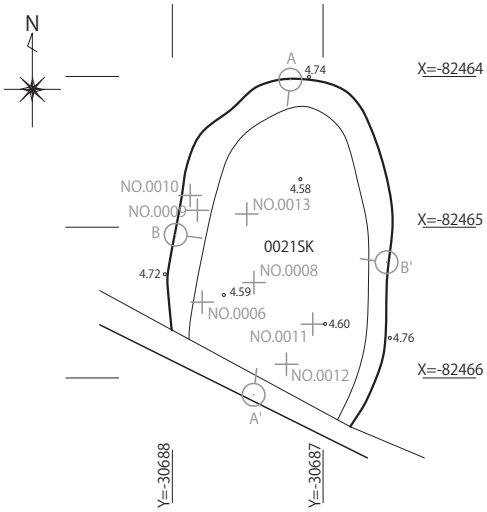
A 区は上面・下面ともに東西・南北方向の大溝を数条と土坑･小柱穴を確認している（図 2-1･2）。上面では 10Aa 区の 00001・0002・0047SD、10Ab 区の 0242SD、下面では 10Aa 区の 0090・0100・0130・0150・0151SD が東西および南北方向の区画溝である。出土遺物では古代の須恵器が 10Aa 区 0090SD から、13 世紀第 2 ～第 3 四半期の遺物が 0151SD（図 2-11）、0128・0267SK から出土している以外は、15 世紀第 2 四半期を主体としている（図 2-12）。特に 10Aa 区西端の東西溝 0127SD からは当該期の土師器非ロクロ皿を主体とする良好な一括資料が出土している（図 2-9）。0047SD からは瓦器の風炉が出土しているが詳細な時期は不明（図 2-6）。

0090・0100・0150SD の関係は、0090SD が 0100・0150SD に切られている（図 2-7）。また、0151SD は 0076SK に切られている（図 2-8）。

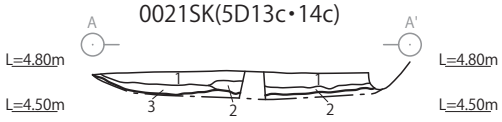
10Aa 区上面の 0021SK（図 2-5）と 10Ab 区 0240SK（図 2-10）は長軸 2m 前後の長楕円形を呈する土坑で、それぞれに土師器ロクロ皿、0021SK からは銅銭が出土している。その形状 k から、いずれも土坑墓である可能性を有する。

11Aa 区では上面・下面ともに、おおむね 12 世紀第 4 四半期～ 13 世紀第 1 四半期を主体とする遺構群が確認されている。なかでも掘立柱建物 0202SB は桁行 4 間以上 × 梁間 2 間以上の規模をもつ（図 2-16）。0164・0181SD は、この 0202SB の東と南にある溝で、建物に近似した方位をとること、さらに 0202SB の柱穴区画溝である可能性を有する。この 0202SB とそれにともなうとみられる溝 0164・0181SD は、ほぼ真北方向である 15 世紀代の遺構群に対して、北で 20 ～ 30°東に振れている。10Aa 区 0151SD もまた、北で約 10°東に振れていることから、この調査区で真北方向を意識した地割が施行されたのは 15 世紀第 2 四半期段階と考えられる。

10Aa-0021SK

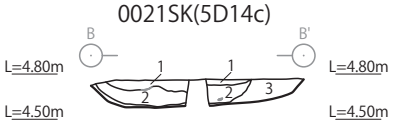


0021SK(5D13c・14c)

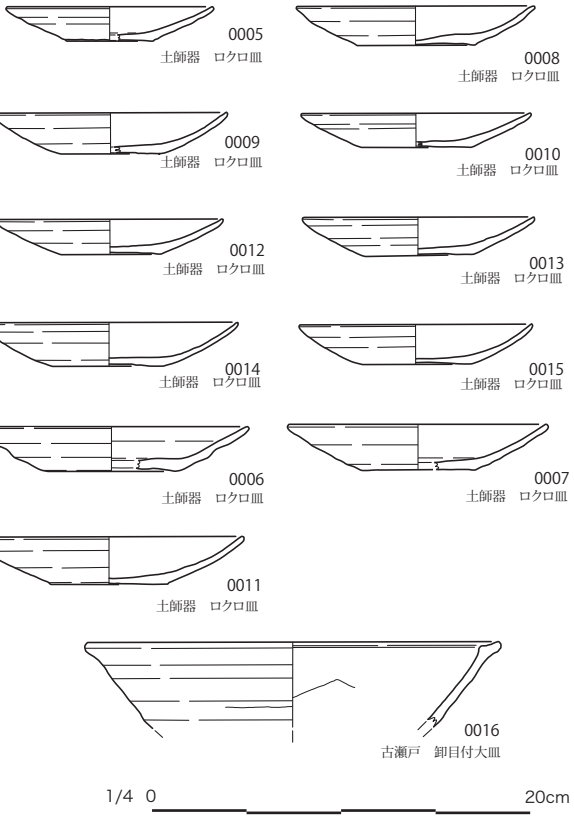


1, 2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物少量含む）
2, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物、土器細片多量含む）
3, 2.5Y5/4　黄褐色粘土質シルト

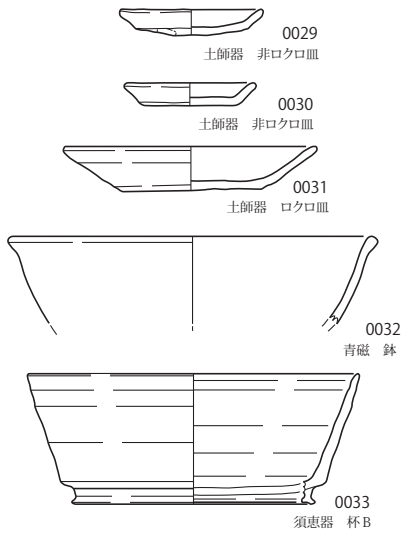
0021SK(5D14c)

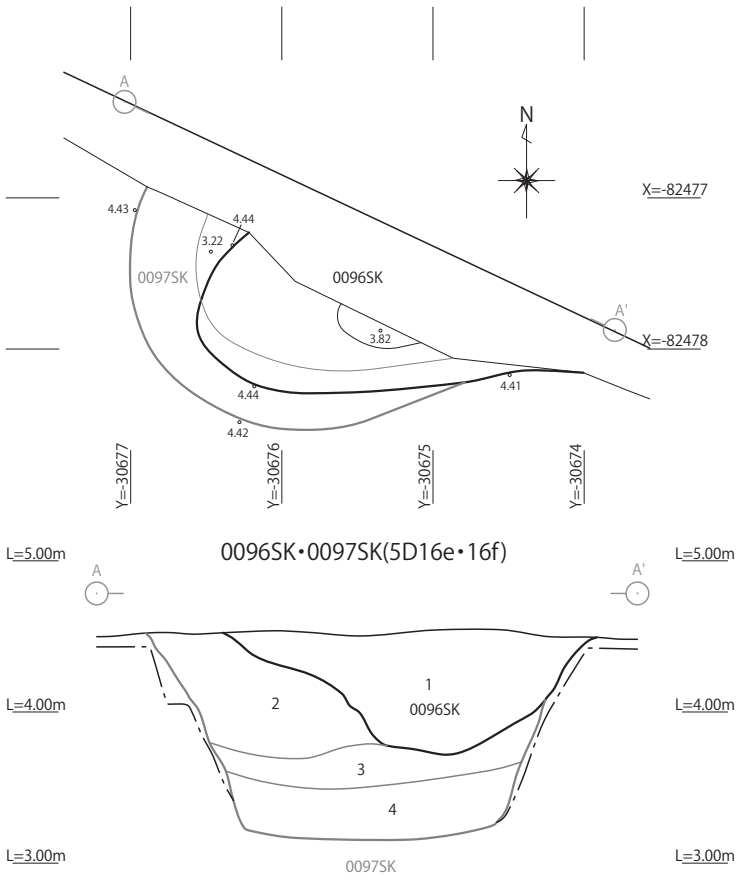


1, 2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物少量含む）
2, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物、土器細片多量含む）
3, 2.5Y5/4　黄褐色粘土質シルト



10Aa-0096SK

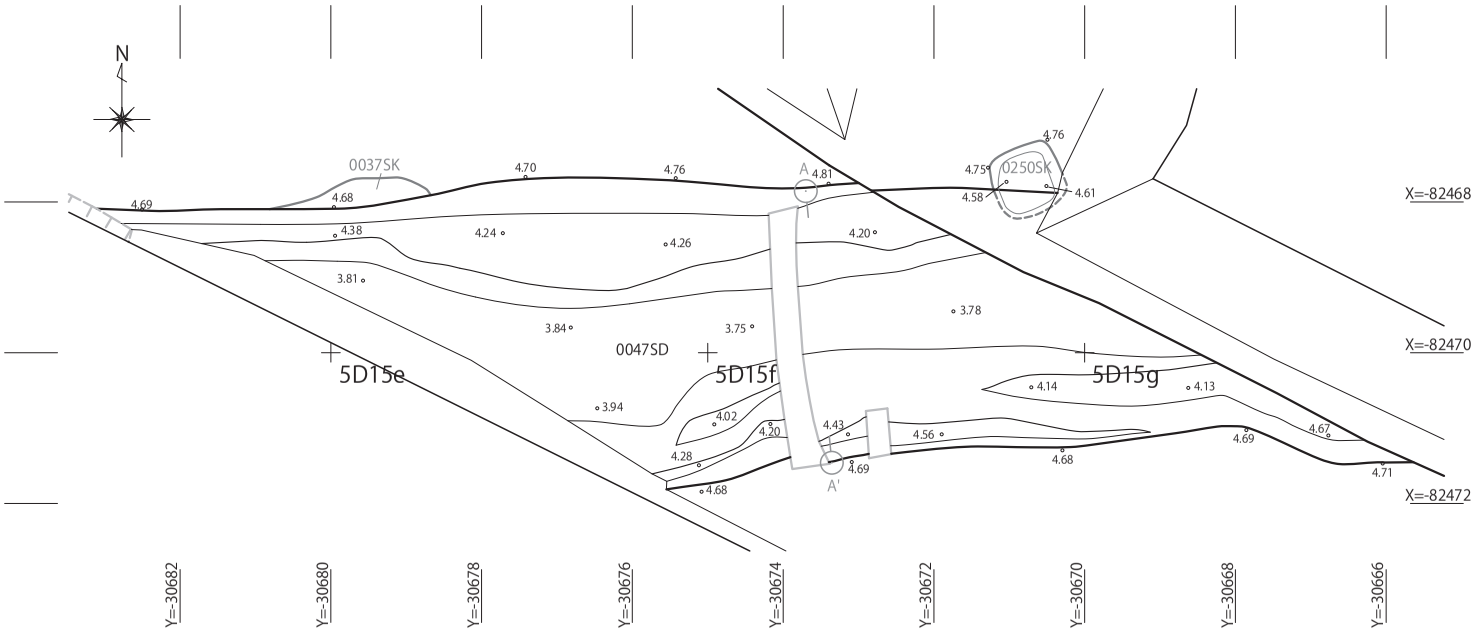


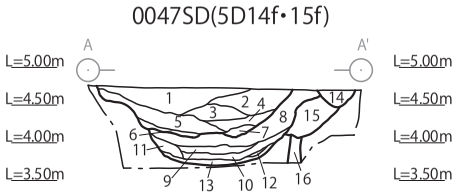


0096SK・0097SK(5D16e・16f)

1, 10YR5/4　にぶい黄褐色シルト質粘土（0096SK）
2, 10YR7/4　にぶい黄橙色粘土質シルト（0097SK）
3, 2.5Y7/2　灰黄色粘土質シルト（0097SK）
4, 2.5Y7/1　灰色粘土質シルト（還元層）（0097SK）

図 2-5　10Aa 区 0021・0096SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）





1, 2.5Y7/3 浅黄色シルト質粘土(10YR5/3にぶい 黄褐色シルト質粘土ブロック含む、人為埋め戻し)
2, 2.5Y7/3 浅黄シルト質粘土(10YR5/3にぶい 黄褐色粘土ブロック含む、人為埋め戻し)
3, 2.5Y6/3 にぶい黄色シルト質粘土(人為埋め戻し)
4, 2.5Y7/1 灰白色シルト質粘土(自然堆積、滞水有)
5, 10YR4/4 褐色シルト(自然堆積、滞水有)
6, 10YR6/1 褐灰色シルト質粘土(自然堆積、滞水(還元))
7, 10YR6/2 灰黄褐色シルト(自然堆積、滞水有)
8, 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(自然堆積、一定の流水有)
9, 10YR7/1 灰白色粘土質シルト(自然堆積、一定の流水有、滞水(還元))
10, 10YR6/1 褐灰色シルト(自然堆積、一定の流水有)
11, 10YR7/4 にぶい黄橙色粘土質シルト(自然堆積、一定の流水有)
12, 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土(溝、自然堆積、一定の流水有)
13, 10YR4/3 にぶい黄褐色極細粒砂(自然堆積、一定の流水有)
14, 10YR8/4 浅黄橙色粘土質シルト
15, 10YR4/2 灰黄褐色極細粒砂(均質、杭状遺構)
16, 10YR6/4 にぶい黄橙色粘土質シルト

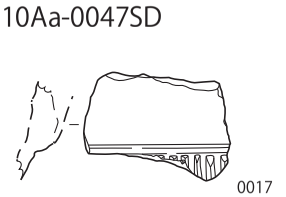
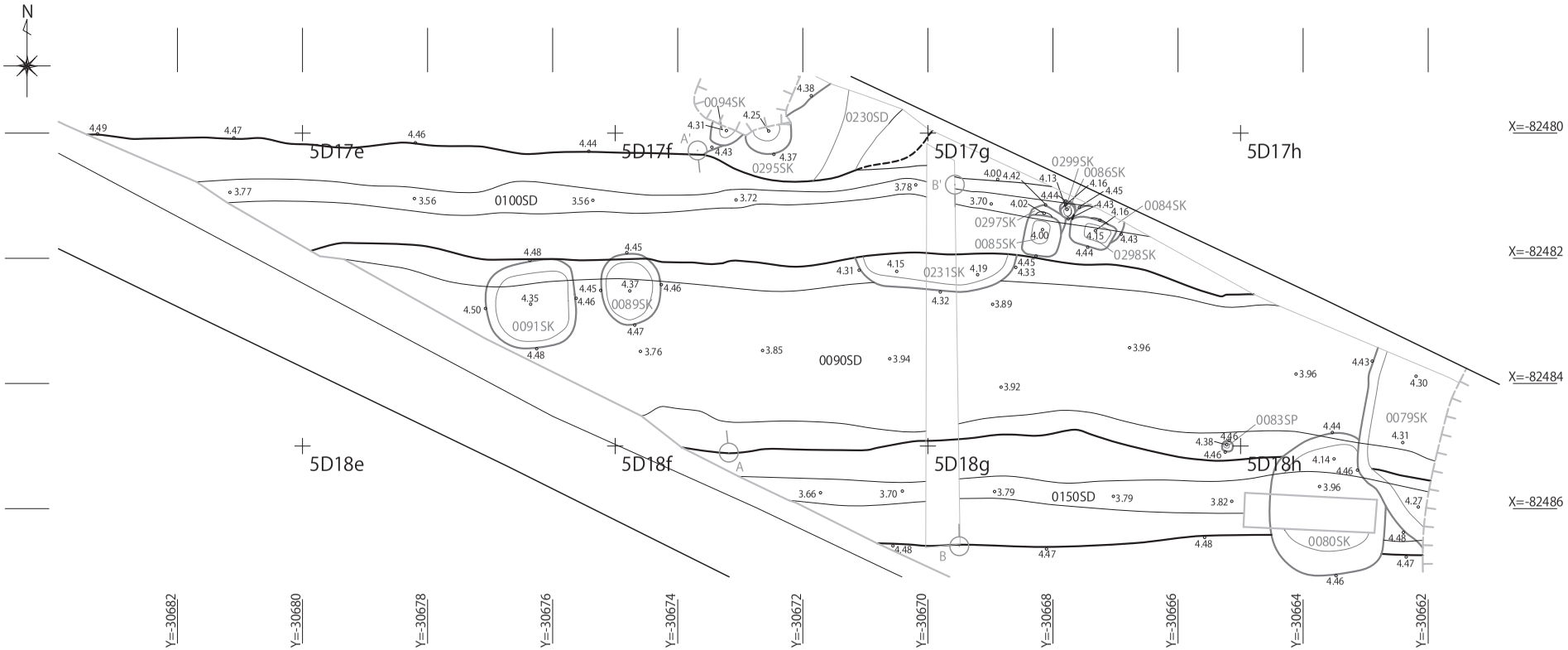
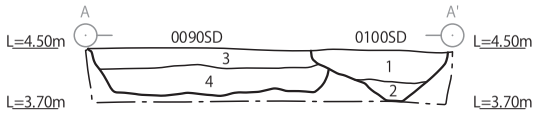


図 2-6 10Aa 区 0047SD 遺構図（1:100）・同遺物実測図（1:4）

目次
終了

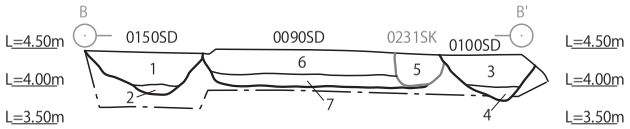


0090SD・0100SD(5D17f)



1, 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト（炭化物少量含む）（0100SD）
2, 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土（0100SD）
3, 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト（炭化物少量含む）（0090SD）
4, 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土2.5Y5/4　黄褐色粘土質シルト（0090SD）

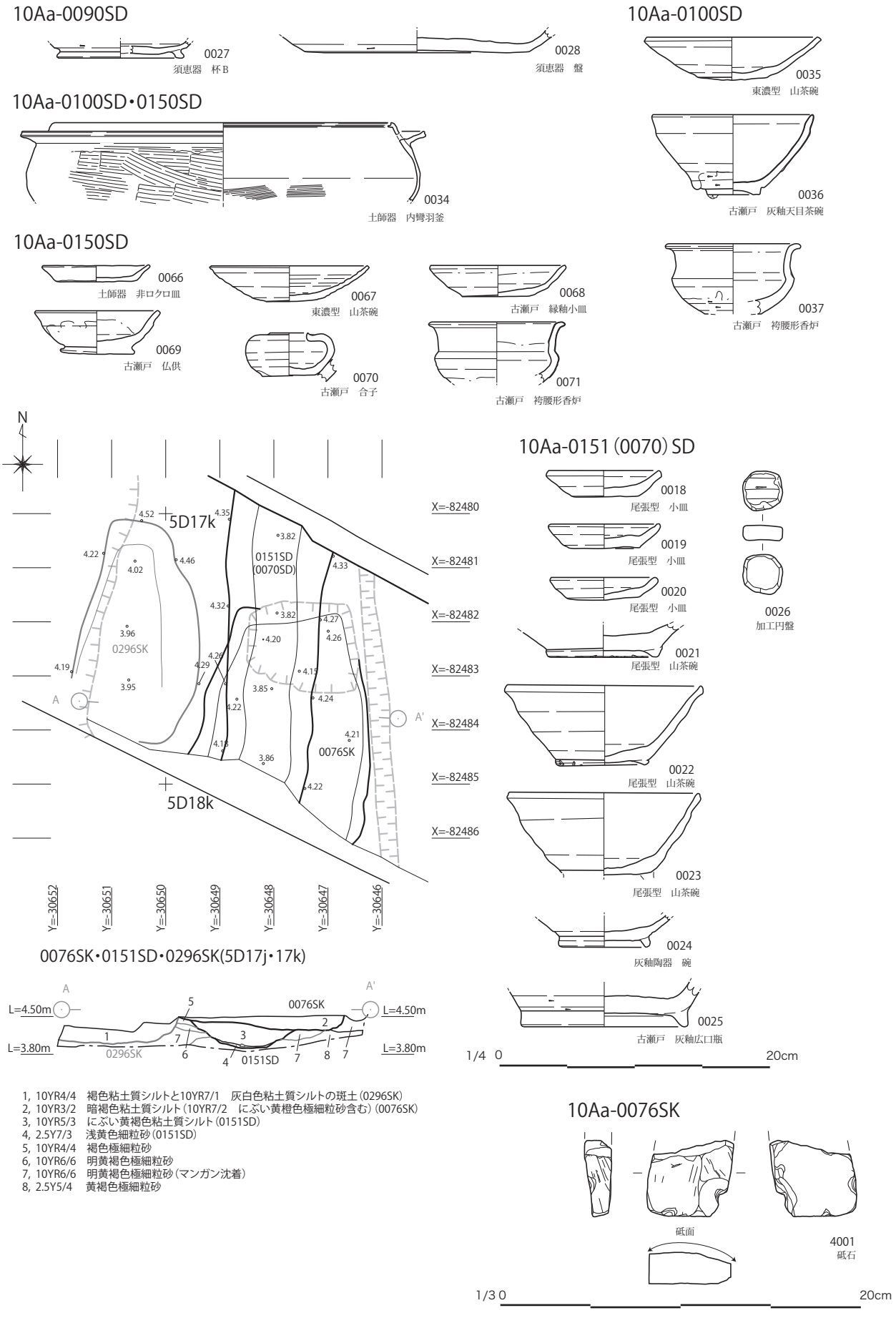
0090SD・0100SD・0150SD・0231SK(5D17g・18g)



1, 7.5YR6/4 にぶい橙色シルト質粘土（0150SD）
2, 10YR6/1　褐灰色粘土（0150SD）
3, 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト（炭化物少量含む）（0100SD）
4, 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土（0100SD）
5, 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト（0231SK）
6, 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト（炭化物少量含む）（0090SD）
7, 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土2.5Y5/4　黄褐色粘土質シルト（0090SD）

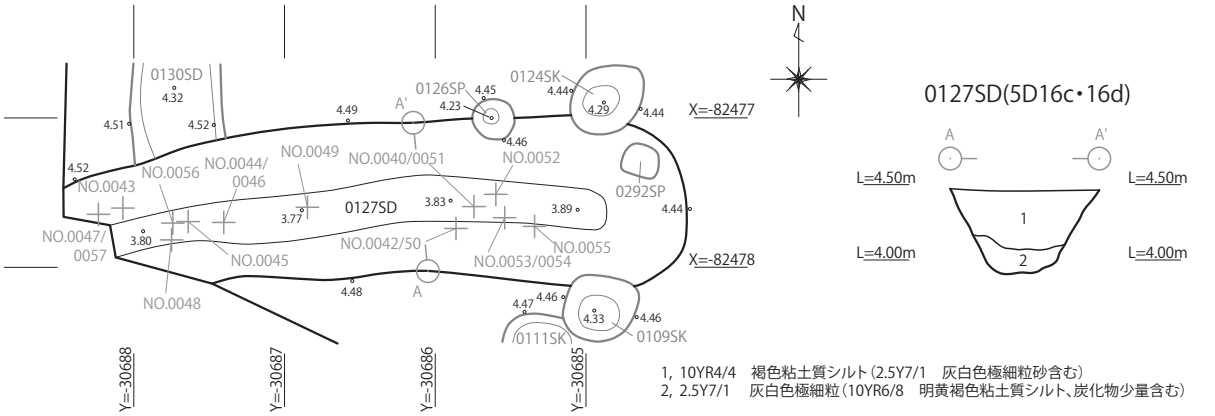
図 2-7　10Aa 区 0090・0100・0150SD 遺構図（1:100）

目次
終了



1, 10YR4/4　褐色粘土質シルトと10YR7/1　灰白色粘土質シルトの斑土(0296SK)
2, 10YR3/2　暗褐色粘土質シルト(10YR7/2　にぶい黄橙色極細粒砂含む)(0076SK)
3, 10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルト(0151SD)
4, 2.5Y7/3　浅黄色細粒砂(0151SD)
5, 10YR4/4　褐色極細粒砂
6, 10YR6/6　明黄褐色極細粒砂
7, 10YR6/6　明黄褐色極細粒砂(マンガン沈着)
8, 2.5Y5/4　黄褐色極細粒砂

図 2-8　10Aa 区 0076SK・0151SD 遺構図（1:100）・
0076SK/0090・0100・0150・0151SD 出土遺物実測図（1:4）



10Aa-0127SD

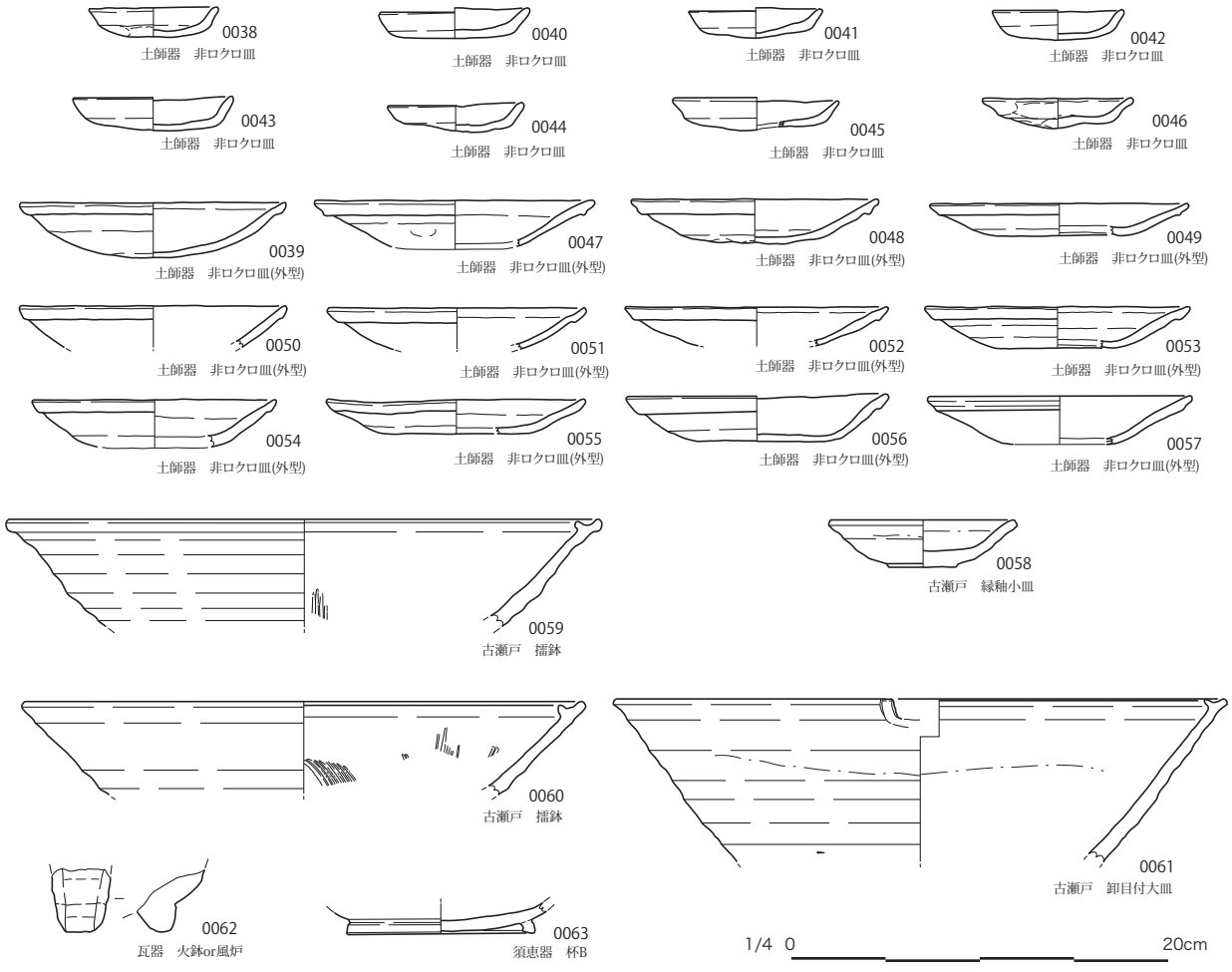


図 2-9　10Aa 区 0127SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

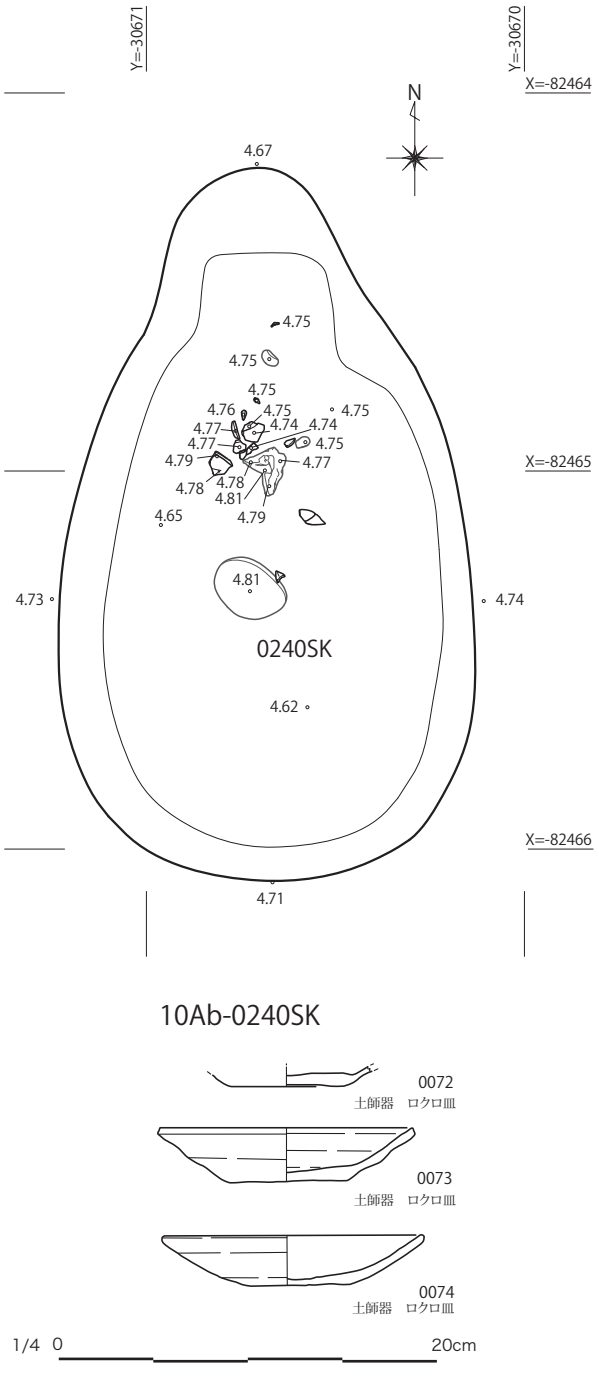


図 2-10　10Ab 区 0240SK 遺構図（1:20）・同出土遺物実測図（1:4）

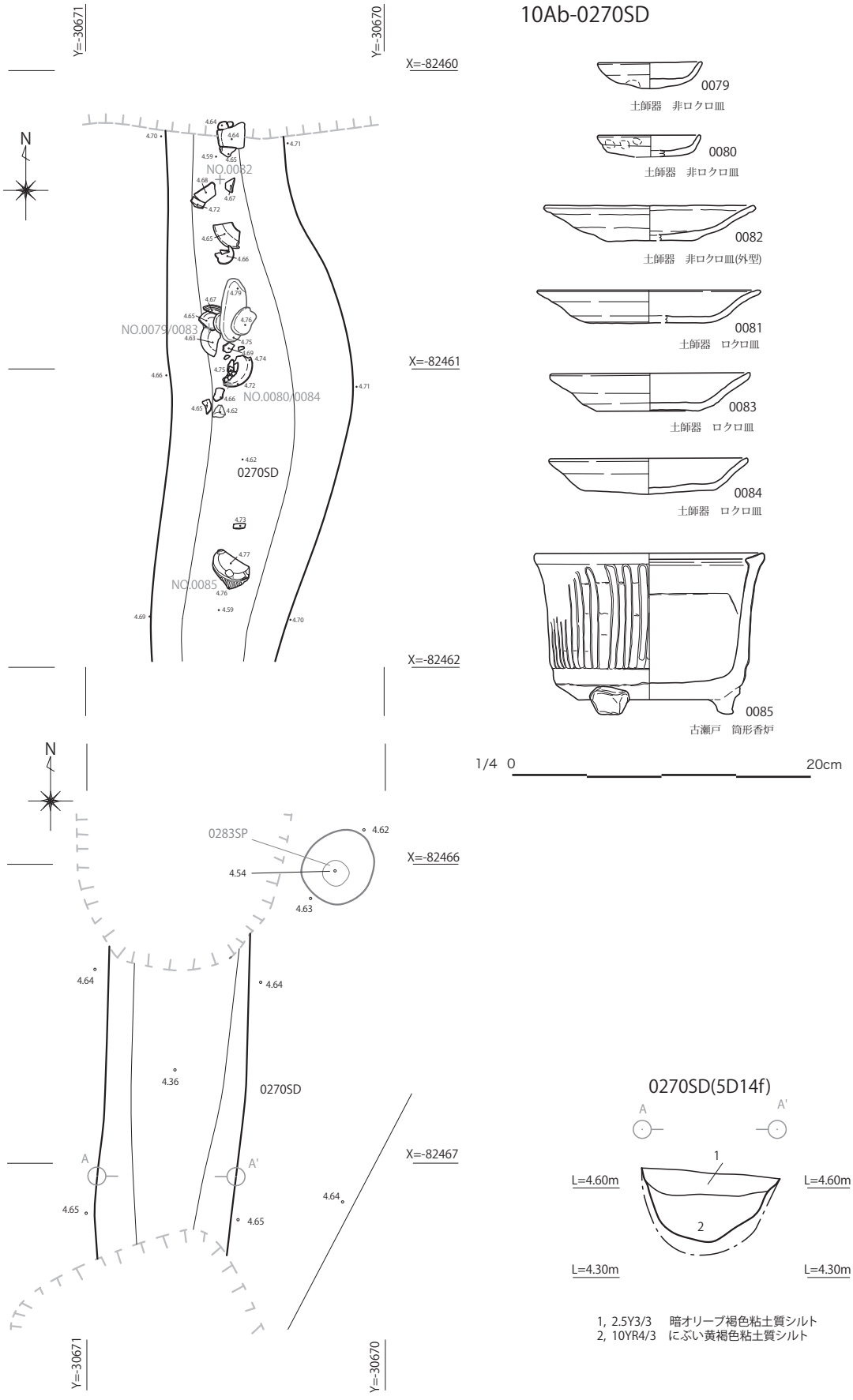


図 2-11　10Ab 区 0270SD 遺構図（1:20）・同出土遺物実測図（1:4）

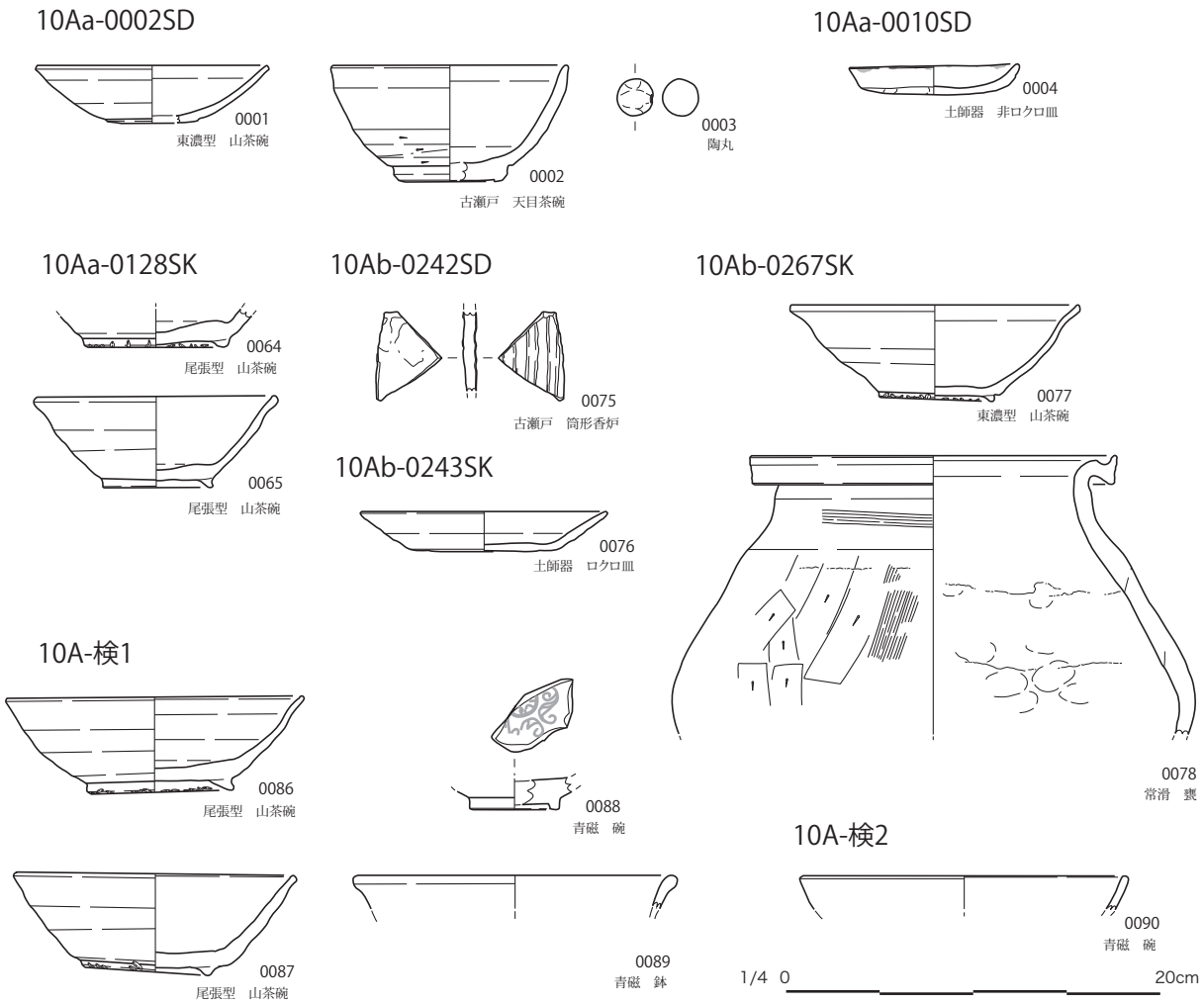
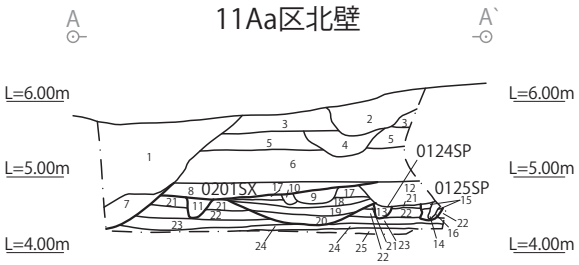
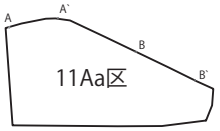


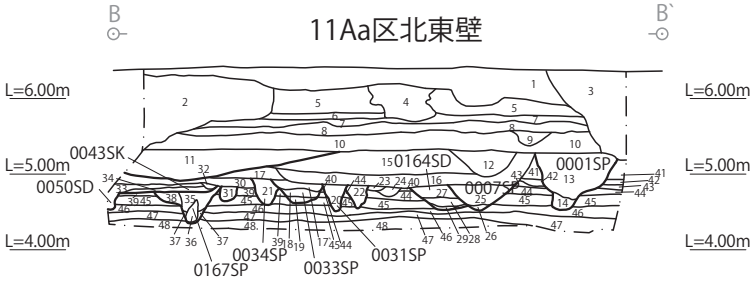
図 2-12　10A 区出土遺物実測図（1:4）

11Aa区北壁土層断面図　1:100



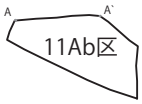


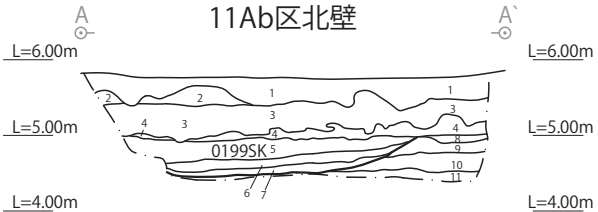
1. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト(表土・攪乱)
2. 10YR3/4　暗褐色粘質シルト(表土・攪乱)
3. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト(表土)
4. 10YR4/4　褐色粘質シルト(表土・攪乱)
5. 10YR4/6　褐色シルト質粘土(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む)
6. 10YR4/4　褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
7. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土(10YR4/4褐色粘質シルトブロック含む)
8. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、0201SX埋土)
9. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土)
10. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、ピット埋土)
11. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、ピット埋土)
12. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR5/3にぶい黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土)
13. 10YR4/4 褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、0124SP埋土)
14. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR4/4褐色粘質シルトブロック含む、0125SP柱痕埋土)
15. 10YR3/3 暗褐色粘質シルト(10YR4/4褐色粘質シルトブロック含む、0125SP埋土)
16. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、0125SP埋土)
17. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
18. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物・10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土)
19. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物・10YR5/8黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土)
20. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物・10YR5/6黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土)
21. 10YR5/2 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
22. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む)
23. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
24. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質シルト(地山)
25. 10YR6/3 にぶい黄褐色粘質シルト(地山)



1. 10YR3/4　暗褐色粘質シルト
2. 10YR5/6　黄褐色粘質シルト
3. 10YR5/8　黄褐色粘質シルト
4. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト
5. 10YR4/4　褐色粘質シルト
6. 10YR4/6　褐色シルト質粘土
7. 10YR4/4　褐色シルト質粘土
8. 10YN5/0　灰色粘質シルト
9. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト
10. 10YR4/4　褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
11. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む)
12. 10YR5/8　黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
13. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR5/8黄褐色粘質シルトブロック含む、0001SP埋土)
14. 10YR4/4　褐色シルト質粘土(10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む、0001SP埋土)
15. 10YR5/6　黄褐色シルト質粘土(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
16. 10YR3/3　暗褐色シルト質粘土(炭化物・10YR5/8黄褐色粘質シルトブロック含む)
17. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土(炭化物・10YR5/8黄褐色粘質シルトブロック含む)
18. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、0033SP埋土)
19. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土(炭化物・10YR5/8黄褐色粘質シルトブロック含む、0033SP埋土)
20. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む、0031SP埋土)
21. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、0034SP埋土)
22. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
23. 10YR6/4　にぶい黄橙色シルト質粘土(10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む、ピット埋土)
24. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む、ピット埋土)
25. 10YR5/4　にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、0007SP埋土)
26. 10YR6/4　にぶい黄橙色シルト質粘土(10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む、0007SP埋土)
27. 10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、0164SD埋土)
28. 10YR5/4　にぶい黄褐色粘質シルト(10YR6/6黄褐色シルトブロック含む、0164SD埋土)
29. 10YR6/4　にぶい黄褐色粘質シルト(10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む、0164SD埋土)
30. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
31. 10YR3/2　黒褐色粘質シルト(10YR4/4褐色粘質シルトブロック含む、ピット埋土)
32. 10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、0050SD埋土)
33. 10YR5/3　にぶい黄褐色粘質シルト(10YR5/8黄褐色粘質シルトブロック含む、0050SD埋土)
34. 10YR3/4　暗褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、0050SD埋土)
35. 10YR6/4　にぶい黄橙色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、0167SP埋土)
36. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、0167SP柱痕埋土)
37. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR4/4褐色粘質シルトブロック含む、0167SP埋土)
38. 10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、ピット埋土)
39. 10YR4/4　褐色シルト質粘土(10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む)
40. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土(10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む)
41. 10YR5/3　にぶい黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む)
42. 10YR3/4　暗褐色粘質シルト(炭化物・10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む)
43. 10YR4/4　褐色粘質シルト(10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む、遺物包含層)
44. 10YR3/4　暗褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
45. 10YR6/3　にぶい黄橙色粘質シルト(10YR5/1褐灰色粘質シルトブロック含む)
46. 10YR6/4　にぶい黄橙色粘質シルト(地山)
47. 10YR7/6　明褐色粘質シルト(地山)
48. 10YR7/4　にぶい黄橙色粘質シルト(地山)
17`. 10YR4/4　褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、0033SP埋土)

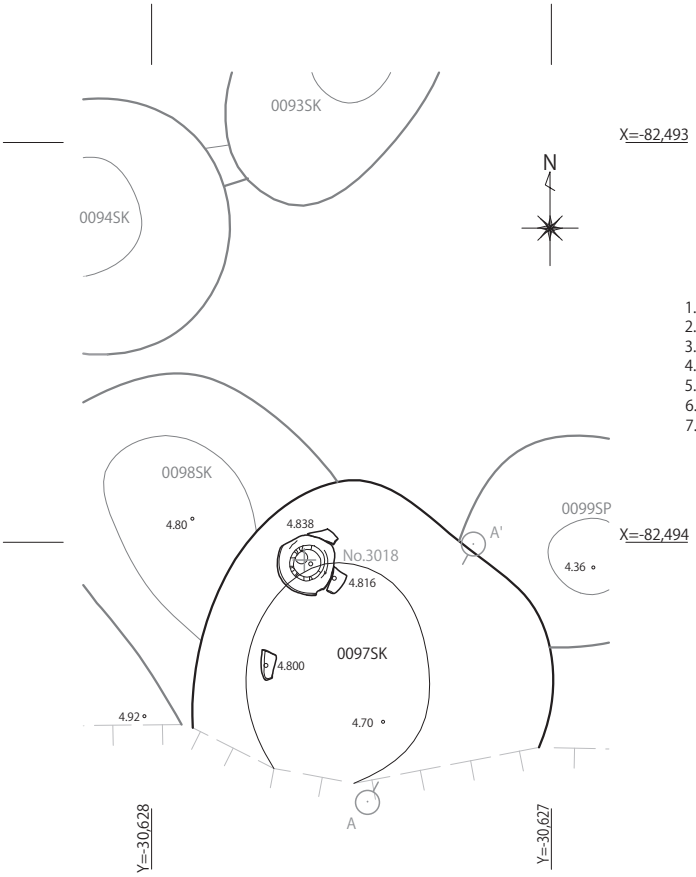
11Ab区北壁土層断面図　1:100

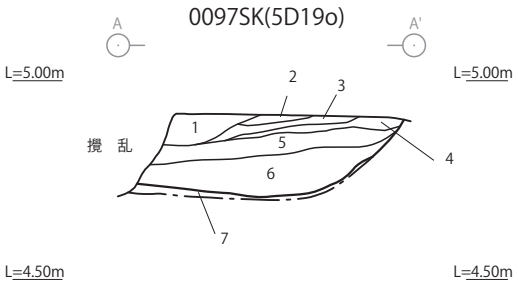




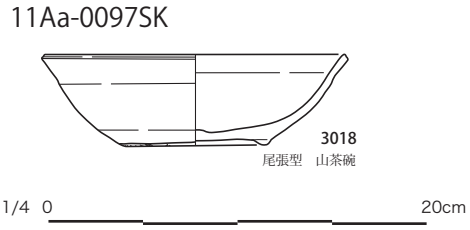
1. 10YR4/6　褐色粘質シルト（盛土、小礫、砂粒含む）
2. 10YR5/1　褐灰色粘質シルト（耕作土）
3. 10YR4/1　褐灰色シルト質粘土（耕作土）
4. 10YR5/3　にぶい黄褐色粘質シルト
5. 10YR5/4　にぶい黄褐色粘質シルト(0199SK埋土)
6. 10YR3/4　暗褐色粘質シルト(0199SK埋土)
7. 10YR7/6　明黄褐色粘質シルト(0199SK埋土)
8. 10YR5/4　にぶい黄褐色粘質シルト
9. 10YR4/6　褐色粘質シルト(10YR5/1褐灰シルト)
10. 10YR3/4 暗褐色粘土(10YR5/1褐灰シルト小ブロック含む)
11. 10YR6/6 明黄褐色粘土(地山)

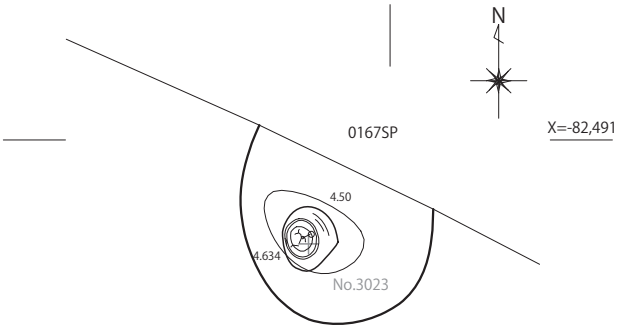
図 2-13　11Aa・11Ab 区北壁・北東壁土層断面図（1:100）

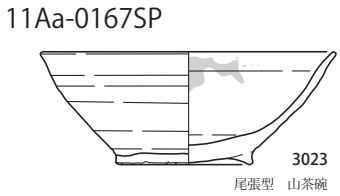




1. 10YR3/2 黒褐色粘質シルト(10YR2/1黒色粘質土ブロック1cm大、炭化物多く含む)
2. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR5/2黒褐色粘質土ブロック5mm大、炭化物含む)
3. 10YR3/3 暗褐色粘質シルト(10YR5/2黒褐色粘質土ブロック1cm大、炭化物、焼土含む)
4. 10YR3/4 暗褐色粘質シルト(10YR4/6褐色粘土ブロック1～3cm大、炭化物、焼土含む)
5. 10YR4/4 褐色粘質シルト(10YR4/6褐色粘土ブロック1～3cm大、炭化物、焼土含む)
6. 10YR3/4 暗褐色粘質シルト(10YR4/6褐色粘土ブロック1cm大含む)
7. 10YR7/8 黄褐色粘質シルト(地山)







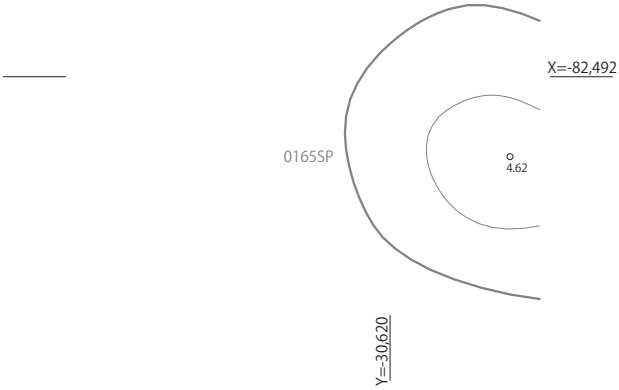
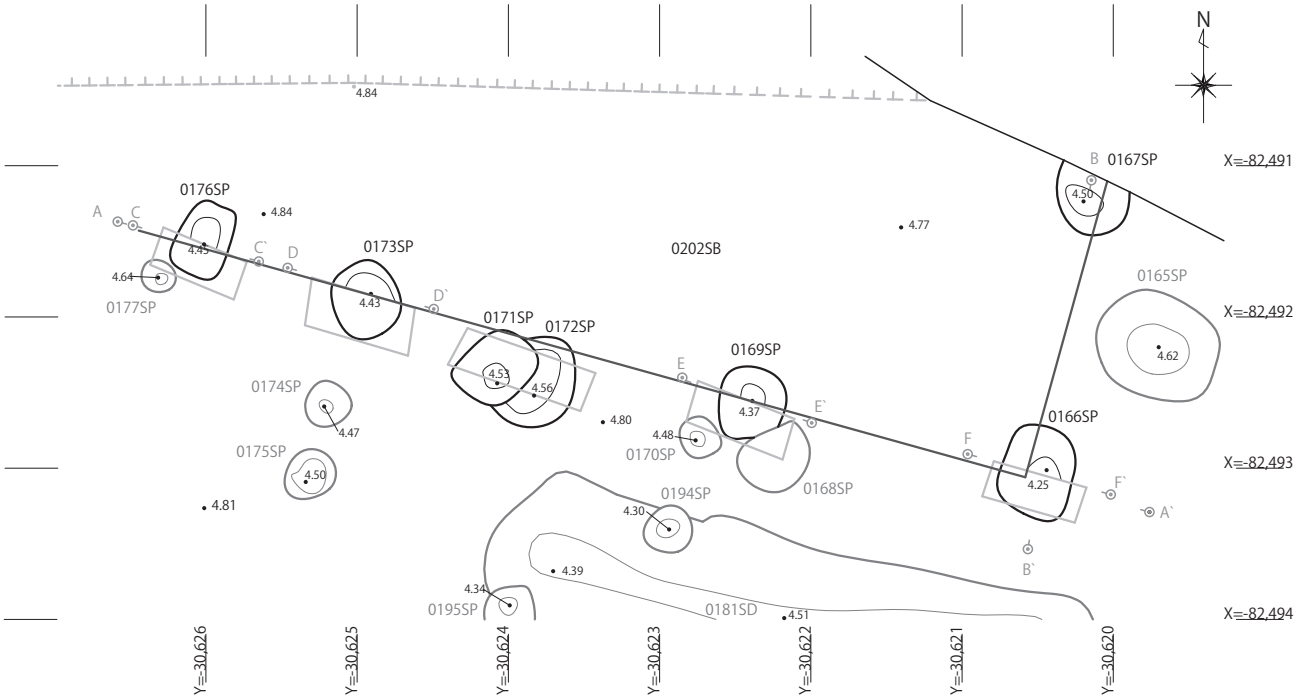
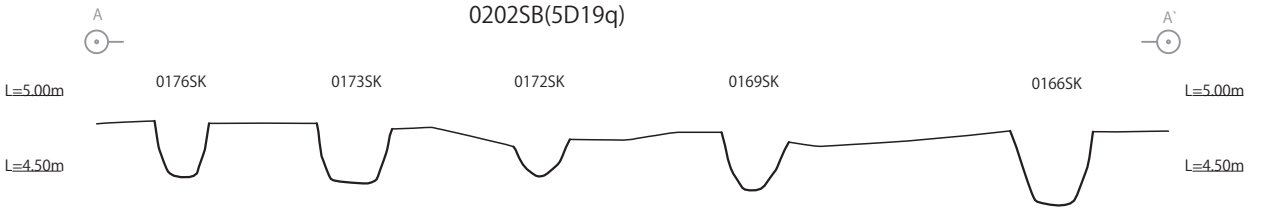
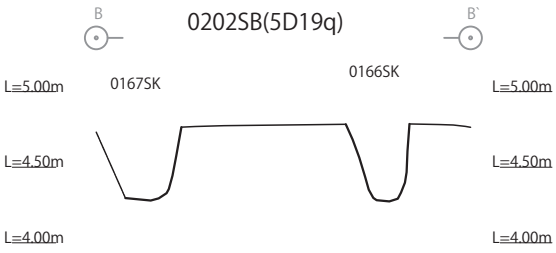
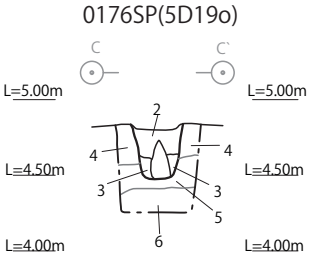


図2-14 11Aa区0097SK/0167SP遺構図(1:20)・
同出土遺物実測図 (1:4)

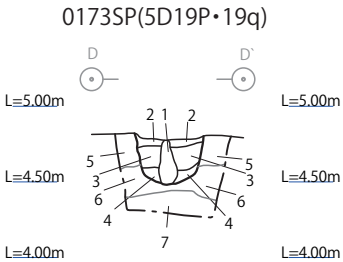




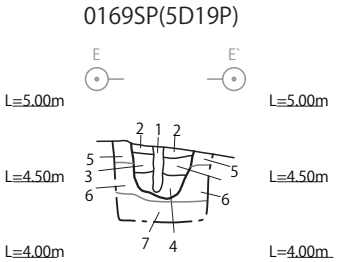




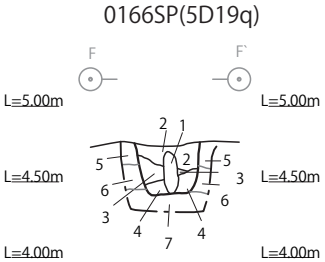
1. 10YR5/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR7/6明黄褐色粘土ブロック含む)(柱痕)
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR7/6明黄褐色粘土ブロック含む)
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR5/4にぶい黄橙色粘土ブロック含む)
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘質シルト
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト
6. 10YR6/6 明黄褐色粘質シルト



1. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘質シルト(柱痕)
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質シルト
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト質粘土
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR3/3暗褐色粘土ブロック含む)
5. 10YR4/6 褐色粘質シルト
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土
7. 10YR6/6 明黄褐色粘質シルト(地山)



1. 10YR4/4 褐色粘質シルト(柱痕)
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR3/4暗褐色粘土ブロック含む)
3. 10YR4/2 灰黄褐色シルト質粘土
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR5/3にぶい黄褐色粘土ブロック含む)
5. 10YR3/4 暗褐色粘質シルト
6. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト
7. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質シルト(地山)



1. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘質土(柱痕)
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質シルト
3. 10YR4/4 褐色粘質シルト
4. 10YR4/6 褐色粘質シルト
5. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質シルト
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト
7. 10YR6/4 にぶい黄橙色粘質シルト質粘土(地山)

図 2-15　11Aa 区 0202SB 遺構図（1:50）

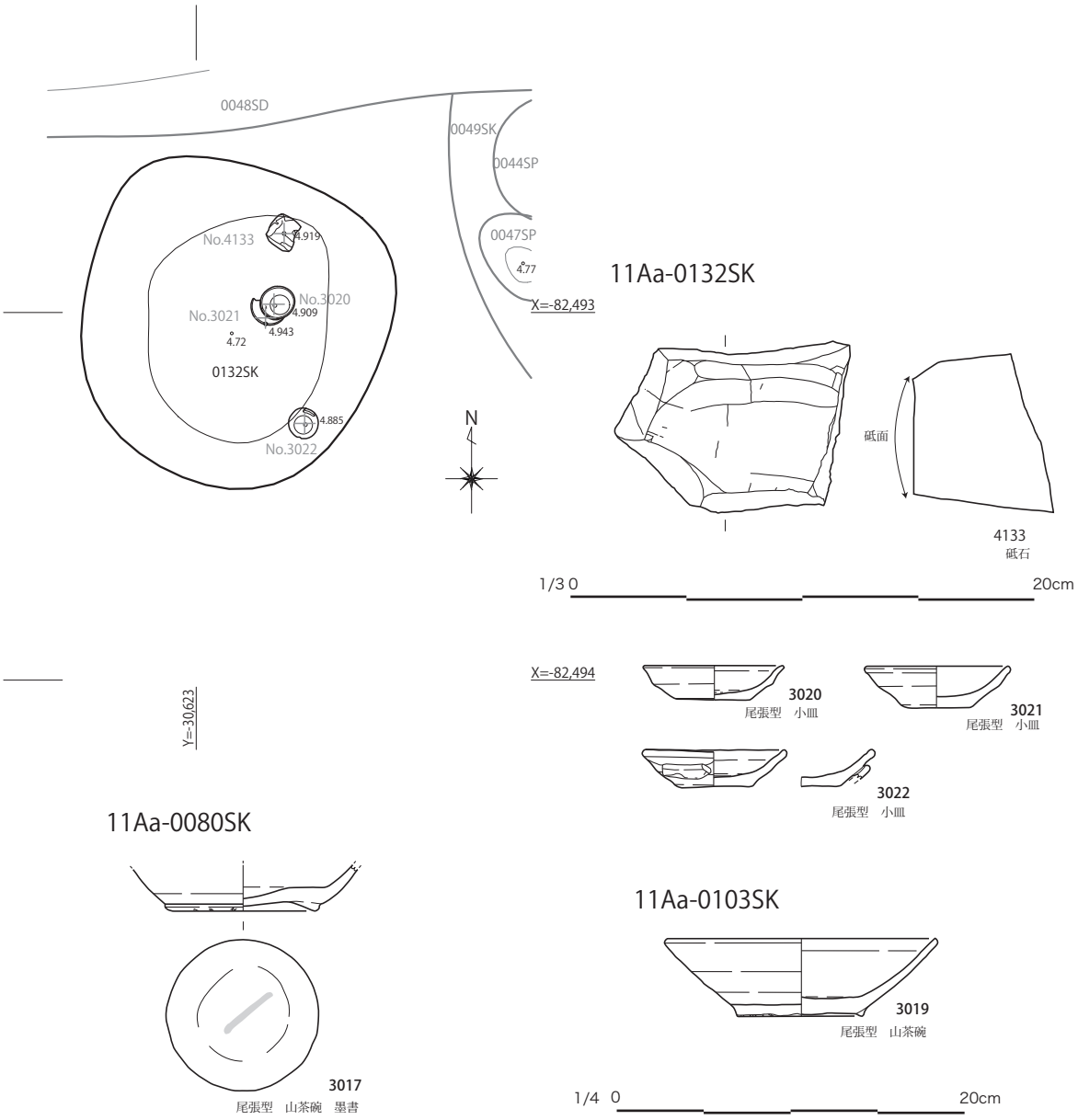


図 2-16　11Aa 区 0167SP 遺構図（1:20）・同出土遺物ほか（1:4）

3．B区

B区は10Ba・Bb区と11Ba・Bb区からなる。うち10Ba・Bb区は調査前に撤去移転した工場の建設による遺構面の破壊が著しく、確認できた遺構はわずかであった。それに対して、用水路をはさんだ西側に位置する11Ba・Bb区は遺構面の残存状況が比較的良好で、遺構面の確認も3面以上におよんでいる。

A区では砂層の堆積は認められなかったが、10Ba区では上面・下面ともに遺構掘削面を覆う砂層の堆積があり（図2-20）、11Ba区では基盤層と2038SD埋土の最下層で（図2-24）、11Bb区では上層遺構を覆う砂層の堆積が認められる（図2-26）。

確認した遺構の所属時期はおおよそ12～13世紀のものと15世紀代に分けられる（図2-17・18）。10Ba・Bb区の0014・0096SKから12世紀第2～第3四半期、11Bb区の2153SKから13世紀第2四半期の山茶碗が出土している（図2-22・30）。その他10Ba・Bb区の0103・0145SP、0330SK（図2-22）と、11Ba・Bb区2047・2102SK、2030・2187SPから古代～12世紀第1四半期の遺物が出土する（図2-31）。また、11Ba区では竪穴建物の可能性を有する2023・2269SIが確認されているが、時期を決定しうる遺物は出土していない（図2-27）。

15世紀代の遺構群はA区同様、東西・南北方向に走る溝と土坑・柱穴群である（図2-18）。11Ba区の2001・2038SDは遺物こそ出土していないが、おそらく当該期の区画溝と考えられる。調査時の所見では、2001SDが先行し、2038SDがのちに掘削されたと考えている。さらに11Bb区では東西溝2058SDに、南北溝2062・2129・2142・2168SDが取りついている。2058SDの東延長上が10Ba区の撹乱にぶつかるために、こ

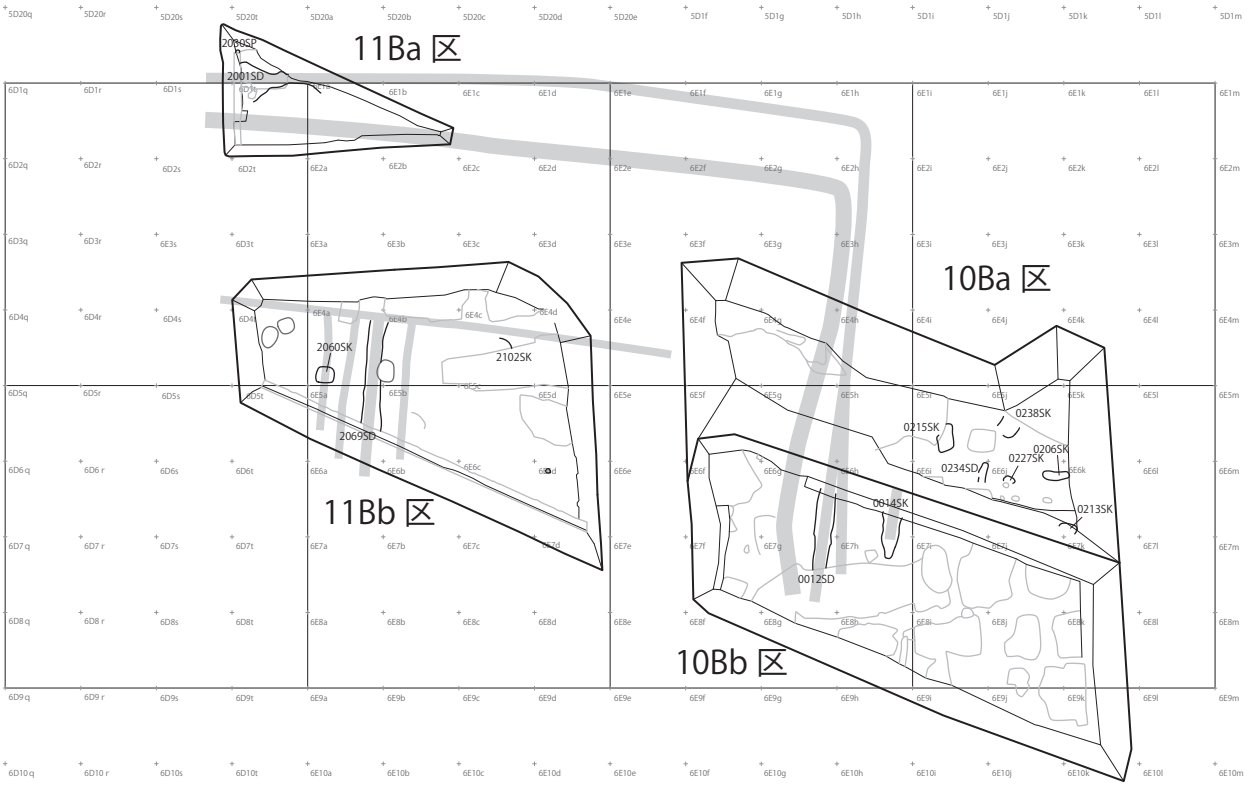


図2-17　B区第1面遺構全体図（1:500）

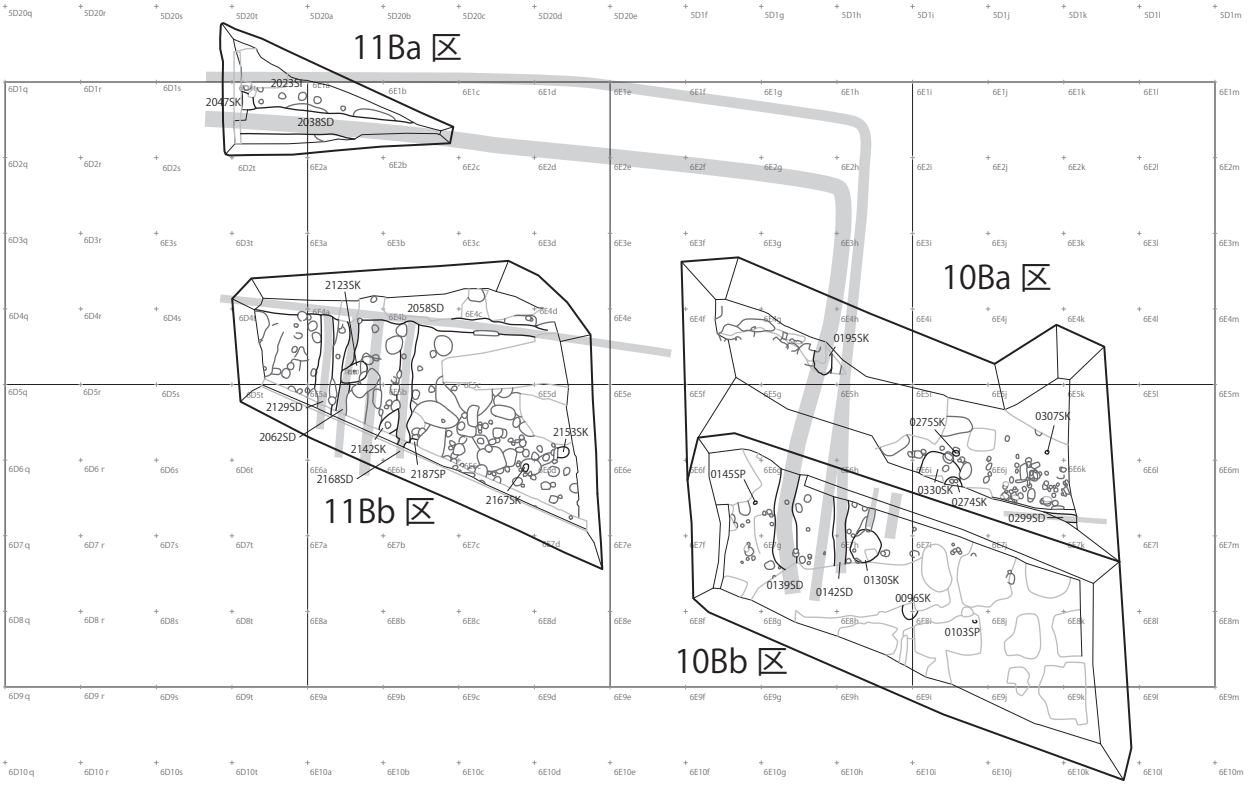
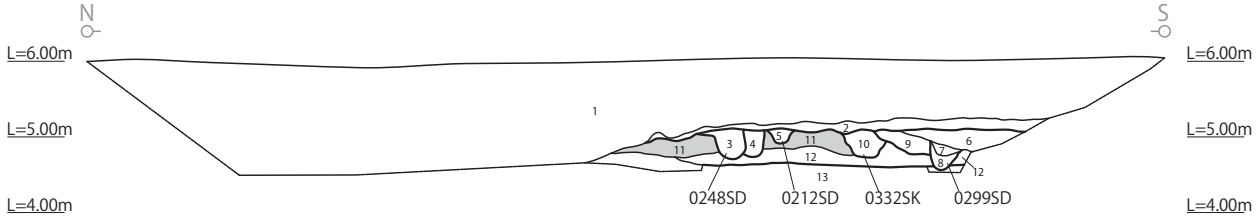


図 2-18　B 区第 2 面遺構全体図（1:500）

10Ba区東壁土層断面図　1:100



1,　表土
2,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（砂質強い）
3,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土（0248SD）
4,　10YR4/4褐色シルト
5,　10YR3/2黒褐色シルト質粘土（0212SD）
6,　10YR4/4褐色粘土質シルト
7,　10YR4/4褐色シルト質粘土（0299SD）
8,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（0299SD）
9,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（土器細片少量含む）
10,　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト（0332SK）
11,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂
12,　10YR3/2黒褐色粘土質シルト（炭化物多量含む、土器細片多量含む）
13,　2.5Y8/4淡黄色粘土質シルト

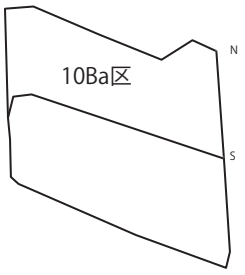
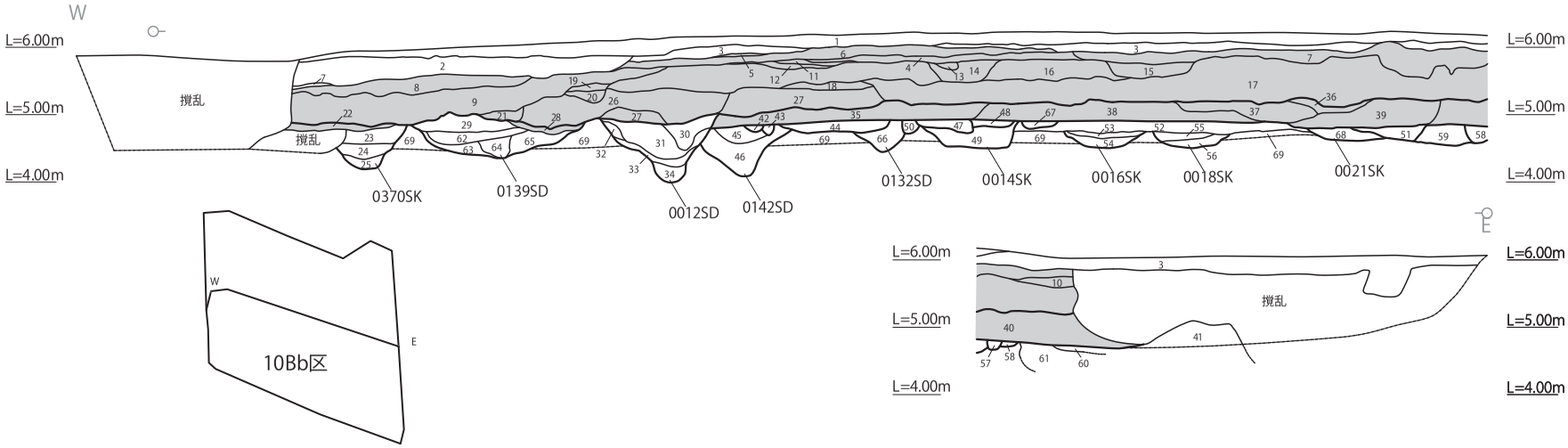


図 2-19　10Ba 区東壁土層断面図（1:100）

表 2-2　B 区遺構一覧

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Bb	0012	SD	古瀬戸（仏飾具　根来形瓶子）　銭貨　釘	0091・0092	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	6E6,7g	-525	120	66	溝	U字状
10Bb	0014	SK		0093～0095	4型式	12c第2四半期～第3四半期	1面	6E6h	-280	113	19	不明	弧状
10Bb	0096	SK	小碗	0096	4型式	12c第2四半期～第3四半期	1面	6E7h	-120	101	42	不明	弧状
10Bb	0103	SP	加工円盤（山茶碗）	0097	4型式	12c第2四半期～第3四半期	1面	6E8i	30	20	19	楕円形	U字状
10Bb	0130	SK	土師器非ロクロ皿	0098		14～15c後半	2面	6E7h	222	180	46	楕円形	弧状
10Bb	0142	SD	土師器非ロクロ皿	0099		14～15c後半	2面	6E6,7h	-437	85	34	溝	弧状
10Bb	0145	SP	小碗	0100	3型式	11c第4四半期～12c第1四半期	2面	6E6f	23	18	-	楕円形	
10Ba	0206	SK	陶丸　刀子	0101			1面	6E6j	173	55	47	不定形	U字状
10Ba	0213	SK	土師器ロクロ皿　含鉄遺物	0102		15c	1面	6E6k	117	-46	41	不明	U字状
10Ba	0215	SK	土師器非ロクロ皿　砥石	0103・4002		15c	1面	6E5i	185	108	19	方形	弧状
10Ba	0227	SK	加工円盤（古瀬戸鉄釉不明）	0104	後期	14c第3四半期～15c第4四半期	1面	6E6j	73	-25	40	楕円形	2段落ち
10Ba	0234	SD	陶丸	0105			1面	6E6i	-130	52	13	溝	弧状
10Ba	0238	SK	陶丸　釘	0106			1面	6E5j	128	-110	55	不明	2段落ち
10Ba	0274	SK	陶丸	0107			2面	6E6i	115	-55	41	不明	U字状
10Ba	0275	SK	砥石	4003			2面	6E6i	110	68	39	楕円形	U字状
10Ba	0299	SD	硯	4004			2面	6E6j,k	-145	52	35	溝	U字状
10Ba	0307	SK	砥石	4005			2面	6E6j	56	32	23	方形	U字状
10Bb	0330	SK	山茶碗	0110	百代寺（2型式）	11c第2四半期～第3四半期	2面	6E6i	272	-180	42	不明	弧状
11Ba	2023	SI	―	―			3面	6D1t・6E1a	385	-134	9	長方形	皿状
11Ba	2030	SP	灰釉陶器碗	3024	O-53	10c前半	3面	5D20t	27	-17	8	不定形	U字状
11Ba	2038	SD	―	―			4面	6D1t・6E1a・1b	-1400	181	57	直線状	U字状
11Ba	2047	SK	須恵器短頸壺	3025		古代	4面	6D1t	-120	-71	29	不定形	U字状
11Bb	2060	SK	東濃型山茶碗　古瀬戸緑釉小皿	3026・3027	後Ⅳ期古・脇之島	15c第2四半期	1面	6E4a	120	105	71	方形	U字状
11Bb	2069	SD	土師器非（ロクロ皿外型　ロクロ皿）	3028・3029			1面	6E4a・5a・4b	-690	112	16	直線状	皿状
11Bb	2102	SK	山茶碗	3030～3033	3型式	11c第4四半期～12c第1四半期	1面	6E4c	-53	-38	30	楕円形	U字状
11Bb	2129	SD	土師器非ロクロ皿　東濃型山茶碗　古瀬戸（平碗　緑釉小皿　直縁大皿）鉄鏃	3034～3042	後Ⅲ期・脇之島	15c第1四半期～第2四半期	2面	6E4a・6E5a	-600	82	46	直線状	U字状
11Bb	2142	SK	古瀬戸平碗	3043	後Ⅲ期	15c第1四半期	2面	6E5a・6E5b	-150	-87	21	不定形	皿状
11Bb	2153	SK	尾張型山茶碗	3044～3046	6型式	13c第2四半期	2面	6E5d	119	69	3	楕円形	皿状
11Bb	2167	SK	尾張型小皿	3047	5型式	12c第4四半期～13c第1四半期	2面	6E6c	50	-24	15	楕円形	U字状
11Bb	2187	SP	小碗	3048	3型式	11c第4四半期～12c第1四半期	2面	6E5b	-52	-35	57	不定形	U字状

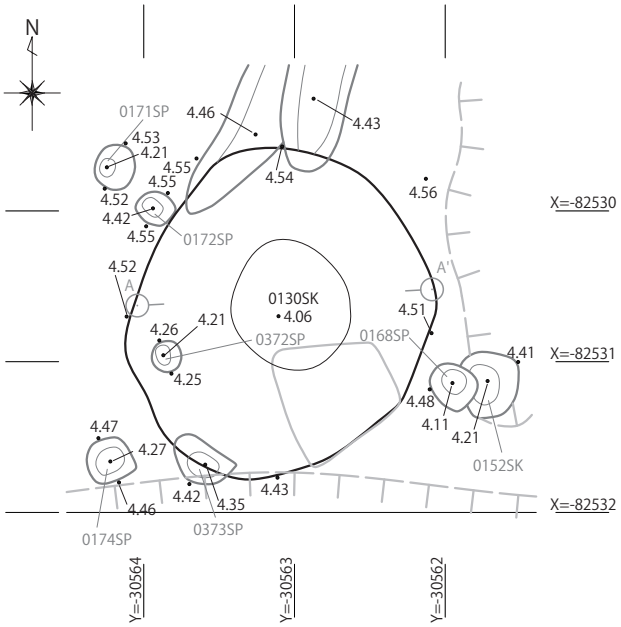
10Bb区北壁土層断面図　1:100



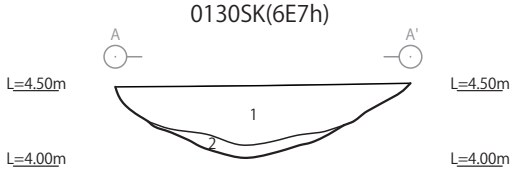
1, 2.5Y3/1黒褐色極細粒砂（礫多量含む）
2, 2.5Y3/1黒褐色極細粒砂（2.5Y6/6明黄褐色粘土ブロック多量含む）
3, 2.5Y3/1黒褐色極細粒砂
4, 2.5Y4/6オリーブ色極細粒砂
5, 2.5Y4/6オリーブ褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
6, 2.5Y4/6オリーブ褐色極細粒砂（炭化物少量含む）
7, 2.5Y7/3浅黄色粘土
8, 7.5YR4/1褐灰色極細粒砂
9, 10YR4/4褐色極細粒砂（炭化物多量含む、土器細片多量含む）
10, 2.5Y4/6オリーブ褐色極細粒砂（雲母多量含む）
11, 2.5Y4/6オリーブ褐色極細粒砂
12, 2.5Y4/6オリーブ褐色極細粒砂（酸化鉄多量含む）
13, 2.5Y4/6オリーブ褐色極細粒砂（炭化物少量含む）
14, 2.5Y4/6オリーブ褐色極細粒砂（炭化物少量含む、酸化鉄多量含む）
15, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂（炭化物少量含む）
16, 2.5Y4/6オリーブ褐色極細粒砂（炭化物多量含む）
17, 2.5Y4/6オリーブ褐色細粒砂（砂質強い）
18, 2.5Y4/6オリーブ褐色極細粒砂（砂質弱い）
19, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂
20, 2.5Y4/6オリーブ褐色極細粒砂
21, 10YR4/4褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
22, 10YR4/4褐色極細粒砂
23, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（炭化物少量含む）（0370SK）
24, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土シルト（炭化物多量含む）（0370SK）
25, 2.5Y5/4黄褐色粘土シルト（酸化鉄多量含む）（0370SK）
26, 5Y4/4暗オリーブ色極細粒砂（炭化物少量含む）
27, 5Y4/4暗オリーブ色極細粒砂（酸化鉄多量含む）
28, 5Y4/4暗オリーブ色極細粒砂（炭化物少量含む）（0139SD）
29, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルトと5Y6/1灰色シルトの斑土（0139SD）
30, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルト（土器細片少量含む）（0012SD）
31, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルト（5Y6/1灰色シルト少量含む）（0012SD）
32, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルト（0012SD）
33, 5Y6/1灰色粘土質シルト（炭化物少量含む）（0012SD）
34, 5Y6/1灰色粘土質シルト（炭化物多量含む、酸化鉄少量含む）（0012SD）
35, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂（酸化鉄多量含む）
36, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
37, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂（炭化物多量含む）
38, 2.5Y3/3暗オリーブ褐極細粒砂
39, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂（炭化物多量含む、酸化鉄少量含む）
40, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
41, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色シルト（5Y6/1灰色粘土質シルト含む、炭化物多量含む、酸化鉄少量含む）
42, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色シルト（5Y6/1灰色粘土多量含む）
43, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色シルト（炭化物少量含む）
44, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色シルト（炭化物少量含む）
45, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルト（5Y6/1灰色シルト含む、酸化鉄多量含む）（0142SD）
46, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色シルトと5Y6/1灰色粘土の斑土（0142SD）
47, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色シルト
48, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色シルト（酸化鉄多量含む）
49, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルト（0014SK）
50, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルト
51, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルト
52, 7.5YR4/3褐色粘土質シルト（酸化鉄多量含む、土器細片少量含む）
53, 7.5YR4/3褐色粘土質シルト（0016SK）
54, 7.5YR4/3褐色粘土質シルト（0016SK）
55, 7.5YR4/3褐色粘土質シルト（酸化鉄含む）（0018SK）
56, 7.5YR4/3褐色粘土質シルト（0018SK）
57, 7.5YR4/3褐色粘土質シルト（酸化鉄多量含む）
58, 7.5YR4/3褐色粘土質シルト（炭化物多量含む）
59, 7.5YR4/3褐色粘土質シルト
60, 7.5YR4/3褐色粘土質シルト（酸化鉄多量含む）
61, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルト（5Y6/1灰色シルト少量含む、炭化物多量含む）
62, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルトと5Y6/1灰色シルトの斑土（酸化鉄多量含む）（0139SD）
63, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルトと5Y6/1灰色シルトの斑土（0139SD）
64, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルトと5Y6/1灰色シルトの斑土（2.5Y6/6明黄褐色粘土少量含む）（0139SD）
65, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルトと5Y6/1灰色シルトの斑土（0139SD）
66, 2.5Y3/2黒褐色シルト（2.5Y5/4黄褐色シルト含む）（0132SD）
67, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色シルト
68, 7.5YR4/3褐色粘土質シルト（0021SK）
69, 2.5Y3/2黒褐色シルトと2.5Y5/4黄褐色シルトの斑土（地山）

図 2-20　10Ba 区北壁土層断面図（1:100）

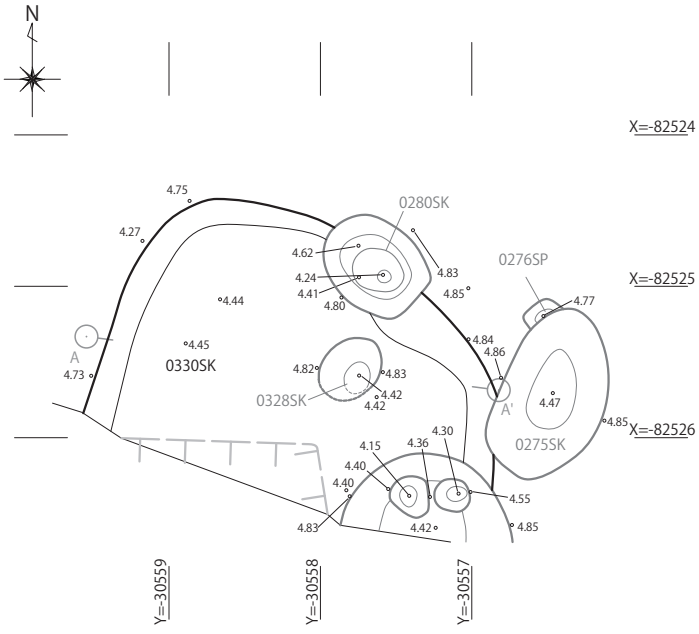
目次
終了



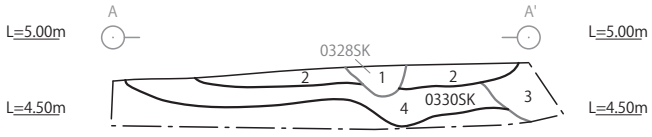
0130SK(6E7h)



1, 2.5Y3/2　黒褐色粘土質シルト（炭化物多量含む）
2, 2.5Y5/4　黄褐色シルト質粘土

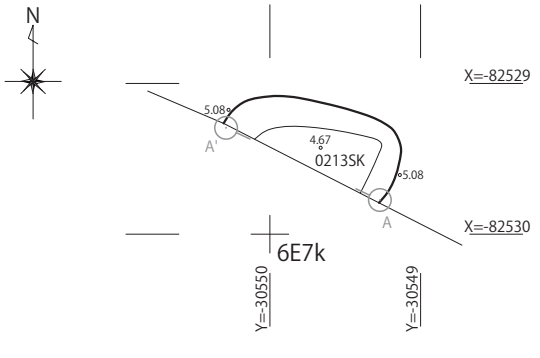


0328SK・0330SK(6E6i)

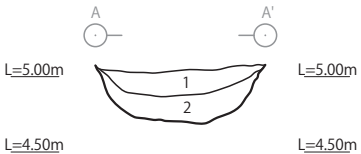


※　平面的には１つととらえたが、断面を観察の結果３つの土坑であると確認

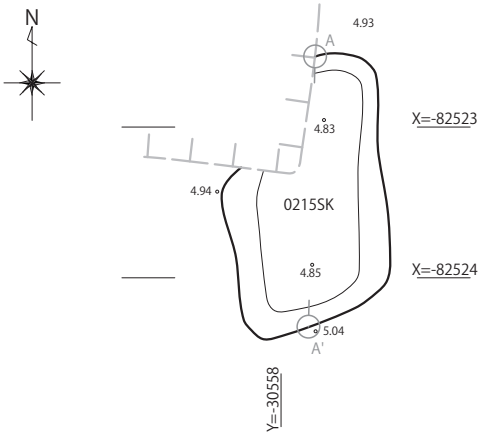
1, 10YR4/2　灰黄褐色粘土質シルト（0328SK）
2, 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土
3, 10YR3/3　暗褐色粘土質シルト
4, 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR5/6　黄褐色粘土質シルト含む）（0330SK）



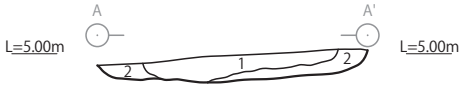
0213SK(6E6k)



1, 10YR4/3　黄褐色粘土質シルト
2, 10YR3/2　黒褐色粘土質シルトと10YR4/3　黄褐色粘土質シルトの斑土



0215SK(6E5i)



1, 10YR4/3　黄褐色粘土質シルト
2, 10YR3/2　黒褐色粘土質シルト

図 2-21　10Ba 区 0130SK/10Bb 区 0213・0215・0330SK 遺構図（1:50）

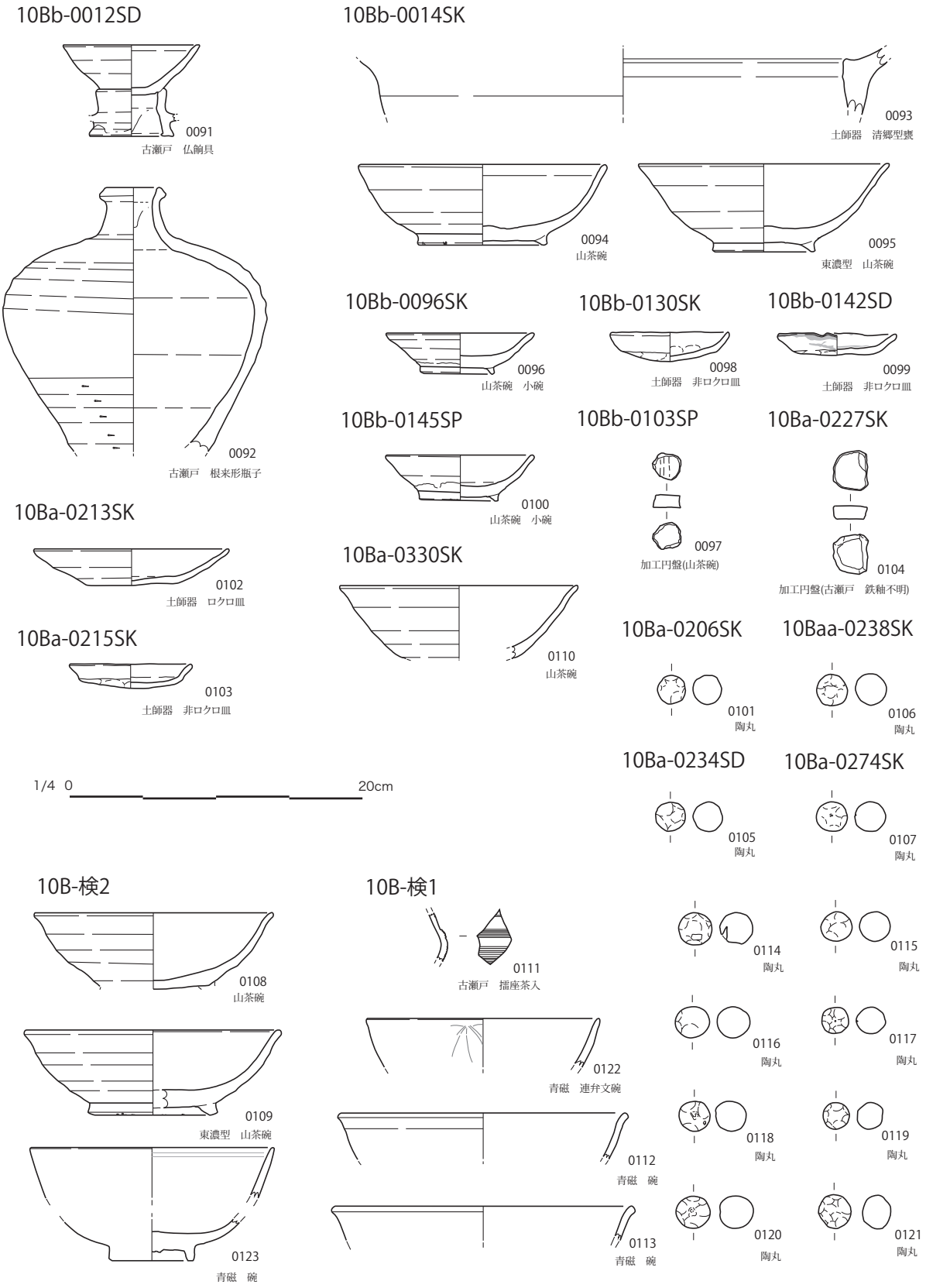


図 2-22　10B 区出土遺物実測図 -1（1:4）

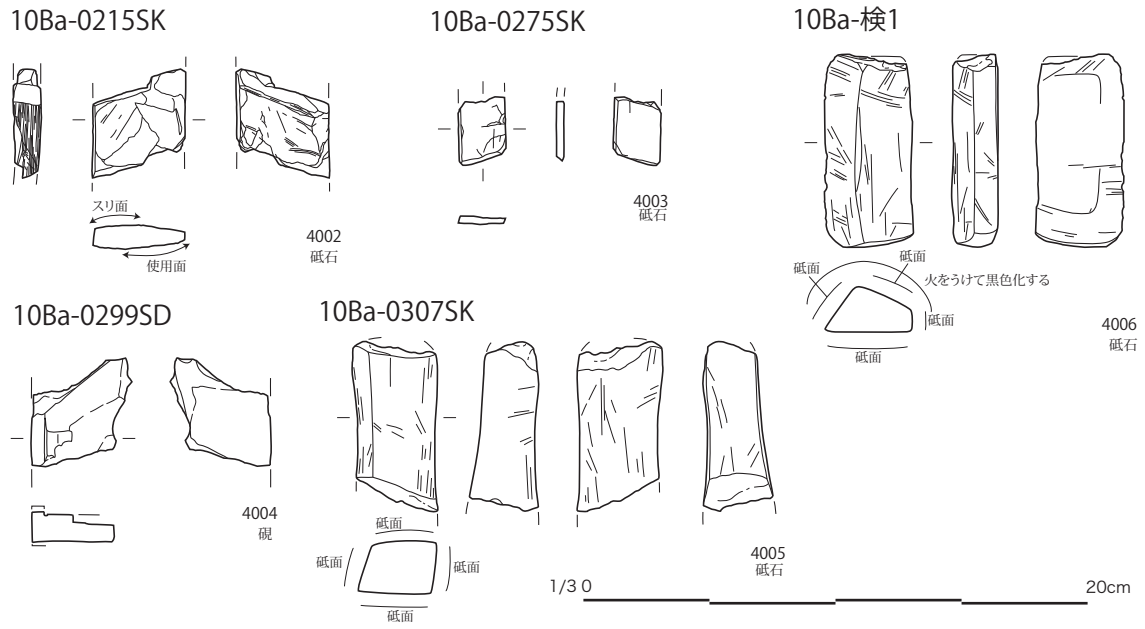
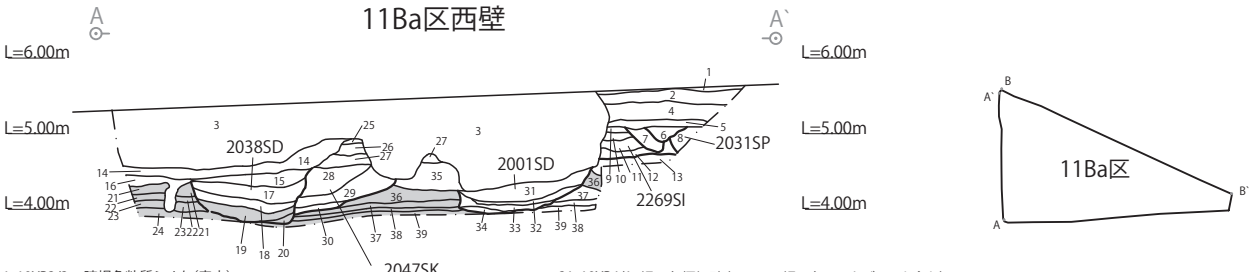
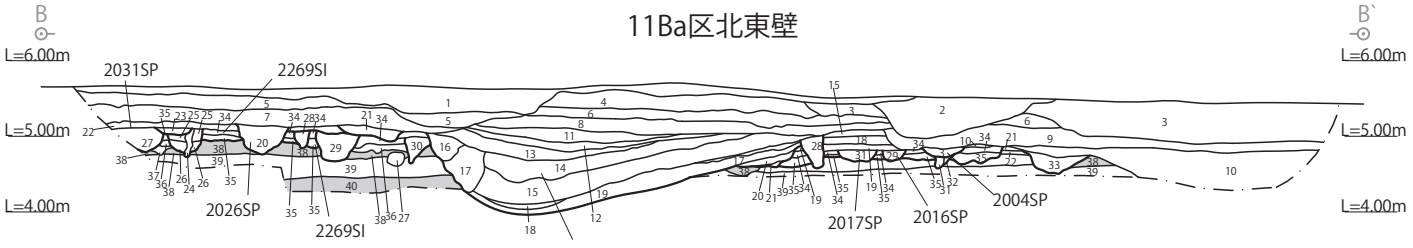


図 2-23　10B 区出土遺物実測図 -2（1:3）

11Ba区土層断面図　1:100



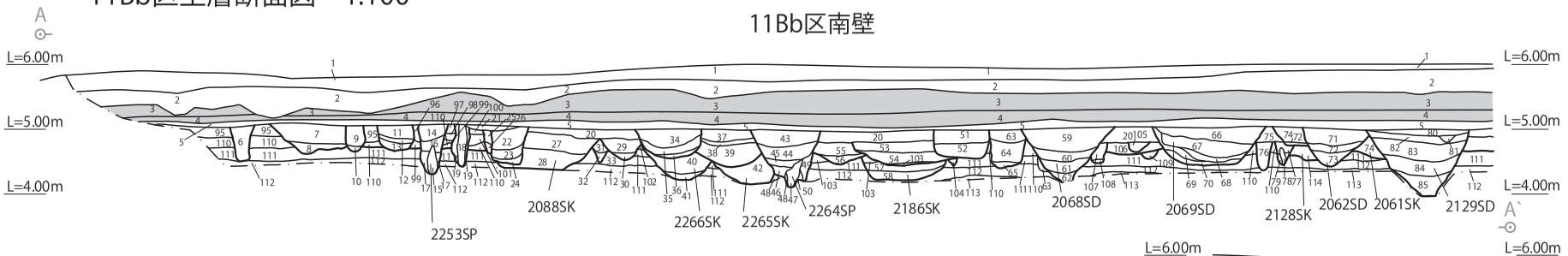
1. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト（表土）
2. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト（盛土）
3. 10YR3/2　黒褐色粘質シルト（多量の廃棄物含む、撹乱）
4. 10YR5/6　黄褐色シルト質粘土
5. 10YR5/4　褐色シルト質粘土
6. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト（10YR6/6明黄褐色シルトブロック含む）
7. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト（10YR6/6明黄褐色シルトブロック含む）
8. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト（10YR6/6明黄褐色シルトブロック含む、2031SP埋土）
9. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト
10. 10YR4/4　褐色粘質シルト
11. 10YR5/4　にぶい黄褐色粘質シルト
12. 10YR5/3　にぶい黄褐色粘質シルト(2269SI埋土)
13. 10YR5/6　黄褐色粘質シルト
14. 10YR5/1　褐灰色粘質シルト（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、水路または水田跡）
15. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2038SD埋土）
16. 10YR6/1　褐灰色粘質シルト（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2038SD埋土）
17. 10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2038SD埋土）
18. 10YR4/4　褐色粘質シルト（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2038SD埋土）
19. 10YR5/1　褐灰色シルト極細砂（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2038SD埋土）
20. 10YR4/2　灰黄褐色極細砂（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2038SD埋土）
21. 10YR4/1　褐灰色極細砂（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む）
22. 10YR5/1　褐灰色極細砂（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む）
23. 10YR6/1　褐灰色細砂（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む）
24. 10YR5/1　褐灰色粘質細砂（地山）
25. 10YR5/4　にぶい黄褐色シルト質粘土
26. 10YR5/6　黄褐色シルト質粘土
27. 10YR6/6　明黄褐色シルト質粘土
28. 10YR4/6　褐色シルト質粘土（2047SK埋土）
29. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（2047SK埋土）
30. 10YR4/6　褐色シルト質粘土（2047SK埋土）
31. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR4/6褐色シルトブロック含む、2001SD埋土）
32. 10YR3/3　暗褐色シルト質粘土（2001SD埋土）
33. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（2001SD埋土）
34. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（2001SD埋土）
35. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む）
36. 10YR5/2　灰黄褐色シルト極細粒砂（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む）
37. 10YR5/4　にぶい黄褐色極細粒砂（地山）
38. 10YR4/1　褐灰色極細粒砂（地山）
39. 10YR6/1　褐灰色極細粒砂（地山）

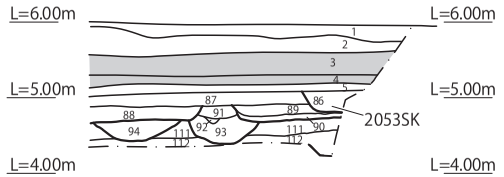


1. 10YR5/4　にぶい黄褐色砂質シルト（表土：耕作土）
2. 10YR5/2　灰黄褐色粘質シルト（撹乱）
3. 10YR4/1　褐灰色砂質シルト（撹乱）
4. 10YR5/3　にぶい黄褐色粘質シルト
5. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト
6. 10YR6/6　明黄褐色粘質シルト
7. 10YR5/6　黄褐色シルト質粘土（10YR6/6明黄褐色シルトを少量含む）
8. 10YR3/3　暗褐色シルト質粘土
9. 10YR5/4　にぶい黄褐色シルト質粘土
10. 10YR5/2　灰黄褐色粘質シルト（撹乱）
11. 10YR6/3　にぶい黄褐色シルト（2001SD上層埋土）
12. 10YR6/4　にぶい黄褐色シルト質粘土（10mm以下の10YR4/6褐色シルトブロックを少量含む、2001SD上層埋土）
13. 10YR6/3　にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/6褐色シルトブロックを少量含む、2001SD上層埋土）
14. 10YR6/4　にぶい黄褐色粘質シルト（10YR4/6褐色シルトブロックを少量含む、2001SD中層埋土）
15. 10YR5/4　にぶい黄褐色粘質シルト（10YR4/6褐色シルトブロックを少量含む、2001SD下層埋土）
16. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト（10YR6/6褐色シルトブロックを少量含む、2001SD内ブロック堆積）
17. 10YR6/4　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR6/6褐色シルトブロックを少量含む、2001SD下層埋土）
18. 10YR5/6　にぶい黄橙色シルト質粘土（2001SD下層埋土）
19. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（2.5Y5/1黄灰色シルトを多く含む、2001SD最下層埋土）
20. 10YR3/3　暗褐色シルト質粘土（2026SP埋土）
21. 10YR4/1　褐灰色シルト質粘土（1cm以下の7.7YR3/4暗褐色粘質シルトブロックを多く含む）
22. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト（10YR3/3暗褐色粘質シルトやや多く含む）
23. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（土坑埋土）
24. 10YR6/4　にぶい黄褐色シルト質粘土（柱穴埋土、柱痕の可能性あり）
25. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（2.5Y5/1黄灰色シルトを多く含む、柱穴埋土）
26. 10YR6/4　にぶい黄橙色砂質シルト（2.5Y5/1黄灰色シルトを多く含む、柱穴埋土）
27. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（2.5Y5/1黄灰色シルトを多く含む、2031SP埋土）
28. 10YR3/2　黒褐色細砂質シルト（10YR4/4褐色砂質シルトブロックを含む、ピット埋土）
29. 10YR3/2　黒褐色粘質シルト（10mm以下の10YR4/6褐色シルトブロックを少量含む、土坑埋土）
30. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト（柱穴埋土）
31. 10YR3/2　暗褐色シルト質粘土（10mm以下の10YR4/6褐色シルトブロックを少量含む、柱穴柱痕埋土）
32. 10YR3/3　暗褐色シルト質粘土（柱穴下層埋土）
33. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（10mm以下の10YR4/6褐色シルトブロックを少量含む、土坑埋土）
34. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト（10mm以下の10YR4/6褐色シルトブロックを少量含む、竪穴貼り床）
35. 10YR3/3　暗褐色シルト質粘土（10mm以下の10YR4/6褐色シルトブロックを少量含む、竪穴貼り床下層）
36. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（2.5Y5/1黄灰色シルトを多く含む）
37. 10YR6/4　にぶい黄橙色粘質シルト（5mm以下の10YR5/8黄褐色シルトブロックをやや多く含む）
38. 10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト（10mm以下の2.5Y6/4にぶい黄色シルト質極細砂を少量含む）
39. 10YR6/6　明黄褐色砂質シルト（10mm以下の10YR5/8黄褐色砂質シルトブロックを少量含む）
40. 10YR4/1　褐灰色シルト質粘土（10YR4/2灰黄褐色シルト質極細砂、7.5YR3/4暗褐色シルト質極細砂ブロックを含む）

図 2-24　11Ba 区西壁・北東壁土層断面図（1:100）

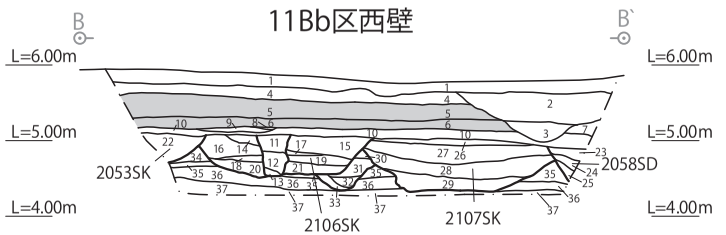
11Bb区土層断面図　1:100

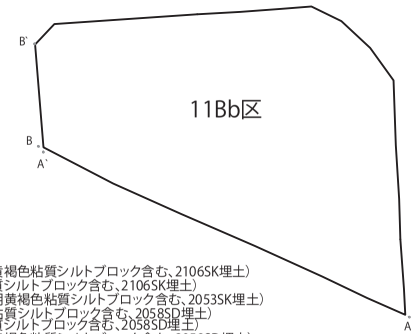




1. 10YR4/1　褐灰色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、表土）
2. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト（盛土）
3. 10YR5/6　黄褐色粘質シルト（細砂含む）
4. 10YR4/4　褐色粘質細砂（10YR4/2褐色粘土ブロック含む）
5. 10YR4/6　褐色粘質シルト（10YR4/2褐色粘土ブロック含む）
6. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、ピット埋土）
7. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
8. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
9. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、ピット埋土）
10. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、ピット埋土）
11. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土）
12. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、土坑埋土）
13. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
14. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト（炭化物、10YR4/2褐色粘土ブロック含む、ピット埋土）
15. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（炭化物、10YR4/2褐色粘土ブロック含む、ピット埋土）
16. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（炭化物、10YR4/2褐色粘土ブロック含む、ピット埋土）
17. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘シルトブロック含む、ピット埋土）
18. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、ピット埋土）
19. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（炭化物、10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、ピット埋土）
20. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
21. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、土坑埋土）
22. 10YR3/3　暗褐色シルト質粘土（炭化物、10YR4/2褐色粘土ブロック含む、土坑埋土）
23. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（炭化物、10YR4/2褐色粘土ブロック含む、土坑埋土）
24. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
25. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
26. 10YR5/6　黄褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土）
27. 10YR3/3　暗褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
28. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
29. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
30. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土）
31. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、ピット埋土）
32. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、ピット埋土）
33. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、ピット埋土）
34. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
35. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
36. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
37. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土）
38. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
39. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土）
40. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2266SK）
41. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、2266SK）
42. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2265SK）
43. 10YR3/3　暗褐色シルト質粘土（10YR/1褐灰色シルトブロック含む、2264SP）
44. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、2264SP）
45. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、2264SP）
46. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、2264SP）
47. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、2264SP）
48. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2264SP）
49. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、ピット埋土）
50. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、ピット埋土）
51. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
52. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土）
53. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土）
54. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土）
55. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
56. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
57. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、2186SK）
58. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、2186SK）
59. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
60. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
61. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
62. 10YR4/6　褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
63. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
64. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土）
65. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
66. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
67. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
68. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
69. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
70. 10YR5/2　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
71. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、土坑埋土）
72. 10YR5/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
73. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
74. 10YR5/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
75. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
76. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
77. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
78. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
79. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
80. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2129SD）
81. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2129SD）
82. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、2129SD）
83. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、2129SD）
84. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、2129SD）
85. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、2129SD）
86. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
87. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
88. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
89. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
90. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
91. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
92. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、土坑埋土）
93. 10YR4/6　褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、土坑埋土）
94. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
95. 10YR3/2　黒褐色粘質シルト（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
96. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む）
97. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
98. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
99. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む）
100. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
101. 10YR4/6　褐色シルト質粘土（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む）
102. 10YR3/4　暗褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む）
103. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
104. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
105. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
106. 10YR4/6　褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
107. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、土坑埋土）
108. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
109. 10YR4/6　褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む、土坑埋土）
110. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）
111. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（地山）
112. 10YR5/2　灰黄褐色シルト質粘土（地山）
113. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（地山）
114. 10YR5/2　にぶい黄褐色シルト質粘土　（10YR7/1灰白色シルトブロック含む）

11Bb区西壁





1. 10YR4/1　褐灰色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
2. 10YR5/6　黄褐色粘質シルト（撹乱）
3. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（撹乱）
4. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト
5. 10YR5/6　黄褐色粘質シルト（細砂含む）
6. 10YR4/4　褐色粘質細砂
7. 10YR4/4　褐色粘質シルト
8. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土
9. 10YR4/6　褐色粘質シルト
10. 10YR4/6　褐色粘質シルト
11. 10YR5/2　灰黄褐色粘質シルト（10YR7/1灰白シルトブロック含む）
12. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む）
13. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
14. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（炭化物、10YR7/1灰白色シルトブロック含む、2106SK埋土）
15. 10YR5/3　にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2106SK埋土）
16. 10YR5/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、2106SK埋土）
17. 10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、2106SK埋土）
18. 10YR5/2　灰黄褐色粘質シルト（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、2106SK埋土）
19. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト（10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2106SK埋土）
20. 10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、2106SK埋土）
21. 10YR4/4　褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、2106SK埋土）
22. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、2053SK埋土）
23. 10YR5/6　黄褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、2058SD埋土）
24. 10YR4/4　褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、2058SD埋土）
25. 10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、2058SD埋土）
26. 10YR4/4　褐色粘質シルト（炭化物、10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、2107SK埋土）
27. 10YR5/4　にぶい黄褐色シルト質粘土（炭化物、10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2107SK埋土）
28. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（炭化物、10YR6/1褐灰色シルトブロック含む、2107SK埋土）
29. 10YR3/4　暗褐色粘質シルト（10YR7/1灰白色シルトブロック含む、土坑埋土）
30. 10YR5/3　にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
31. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR4/2褐色粘土ブロック含む）
32. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト（10YR4/2褐色粘土ブロック含む）
33. 10YR3/4　暗褐色粘質シルト（10YR4/2褐色粘土ブロック含む）
34. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
35. 10YR4/4　褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
36. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土（地山）
37. 10YR5/2　灰黄褐色シルト質粘土（地山）

図 2-25　11Bb 区南壁・西壁土層断面図（1:100）

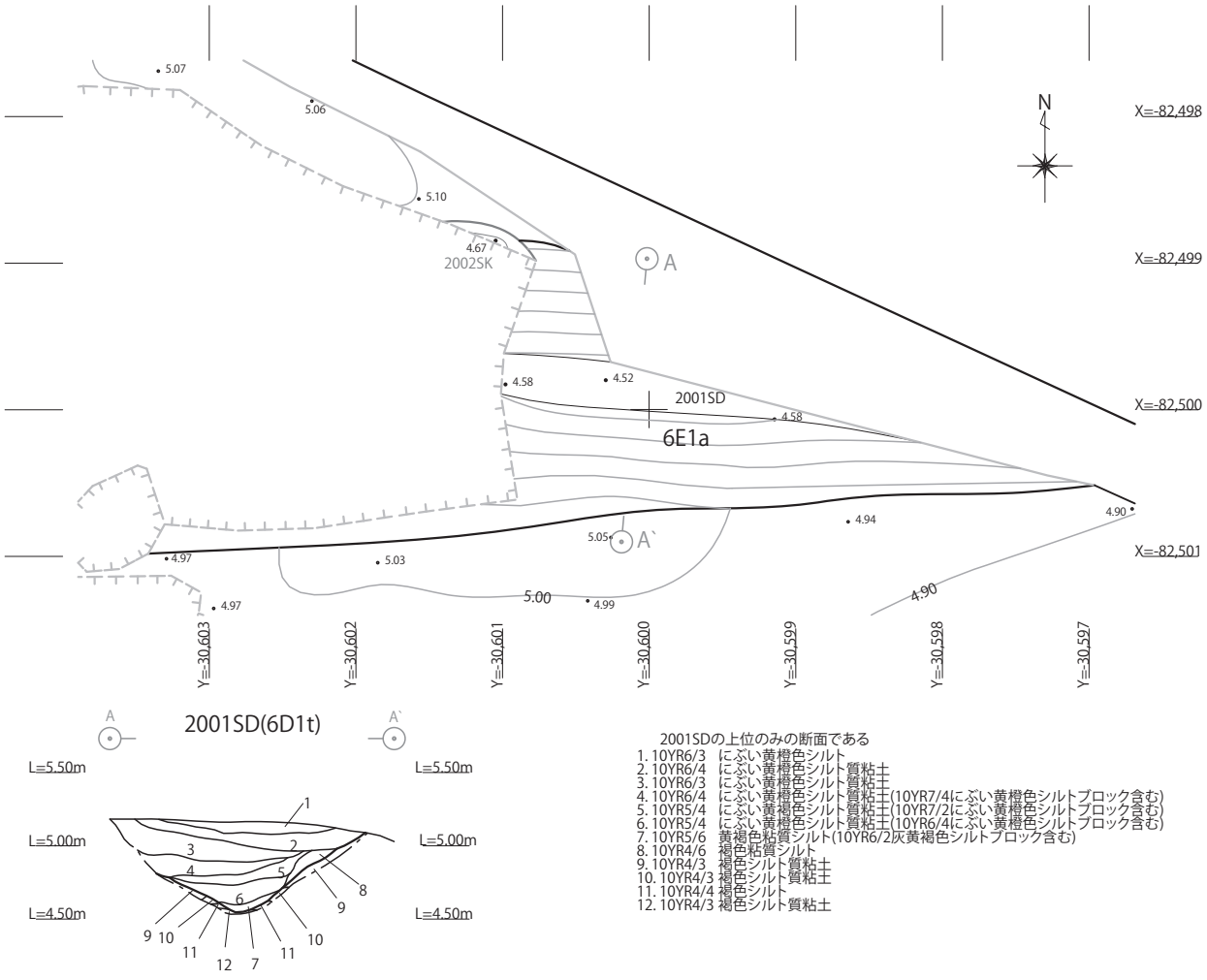


図 2-26　11Ba 区 2001SD 遺構図（1:50）

の溝がどこまで延びるかは不明だが、10Bb 区の南北溝 0012・0139・0142SD も、11Bb 区の 2058SD に取りついていた可能性が高い。これらの溝群は、A 区に較べて、南北方向の溝は北でわずかに東に、東西方向の溝は東で若干南に振れている。この方位の振れは、東隣の 10Ca 区中央付近まで続いている。

これら確認された遺構から出土している遺物はおおむね 15 世紀第 1 ～第 2 四半期を中心としている。溝の規模からみて、11Ba 区の 2001SD と 2038SD は方形区画の外郭を囲繞する基幹的な溝で、その機能は現在の用水路に引き継がれている。さらに明治 14 年の地籍図と重ね合わせると、10Bb 区の 0012・0139SD もまた基幹的な溝であった可能性が高く、それ以外の溝は方形区画内をさらに細分する溝と考えられる。

土坑・柱穴群のなかで注目されるのは、11Bb 区の 2123SK である。長軸約 2m、短軸約 1.3m の楕円形の浅い土坑内に、約 200 点におよぶ扁平な玉石がほぼ 1m 四方の範囲で密に敷き詰められていたが、その機能は不明である（図 2-29）。

B 区の出土遺物では、古瀬戸の仏餉具（図 2-23-0091）と擂座茶入の破片（図 2-22-0111）が注目されるが、土師器皿の出土量は少ない。

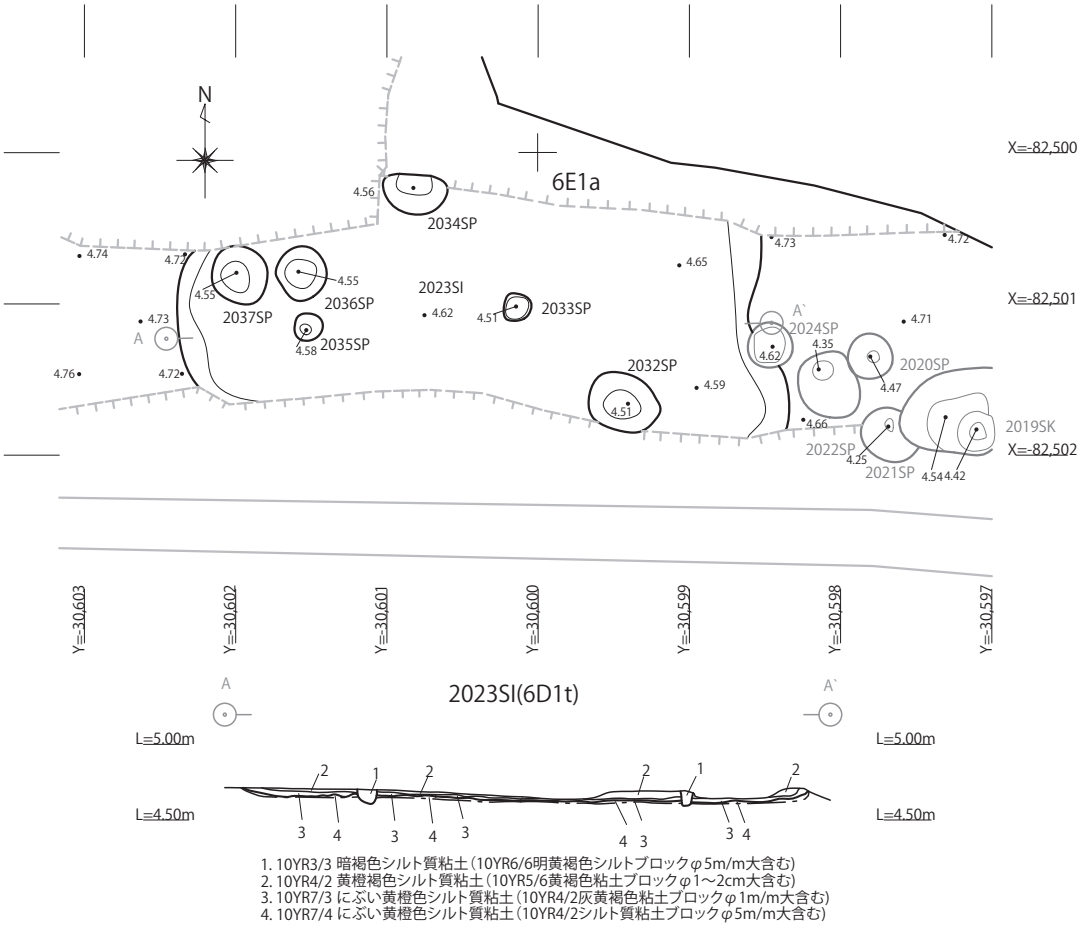


図 2-27　11Ba 区 2023SI 遺構図（1:50）

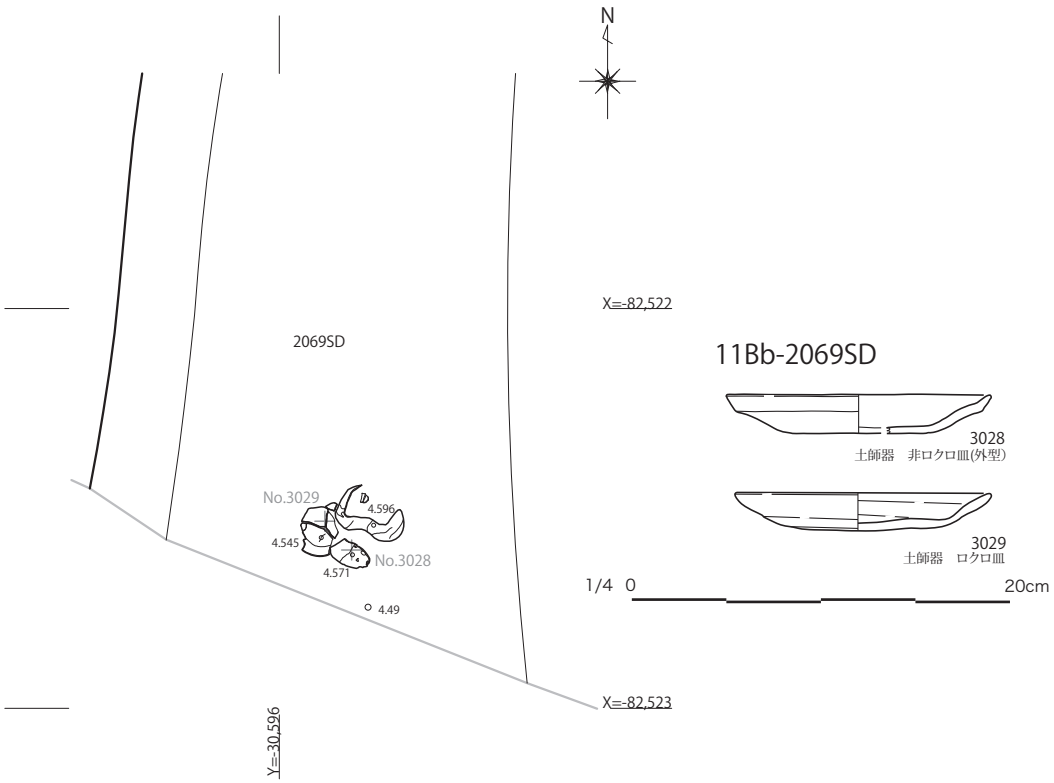
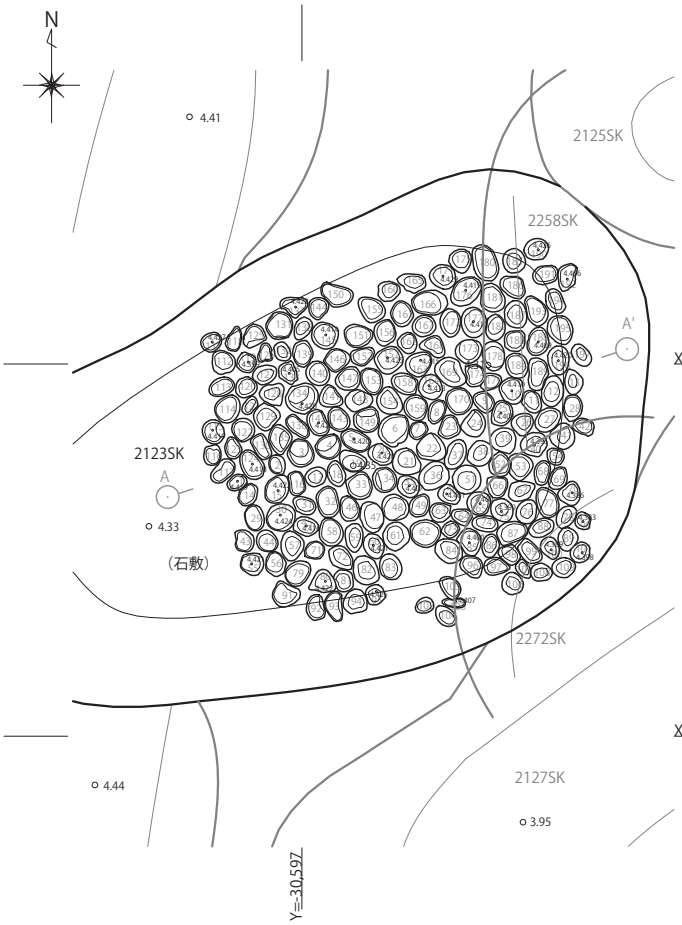
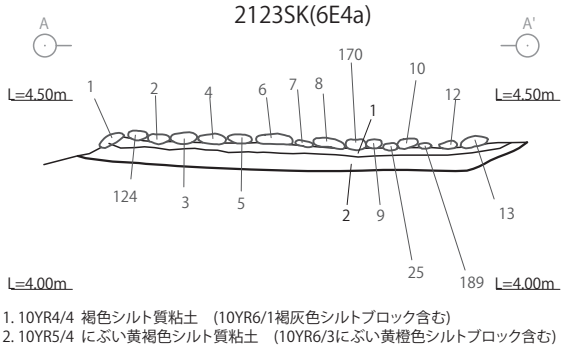


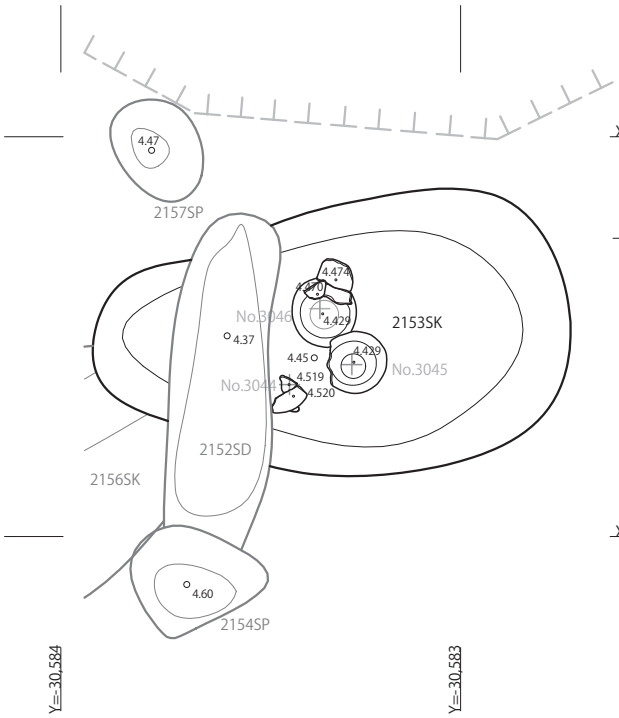
図 2-28　11Bb 区 2069SD 遺構図（1:20）・同出土遺物実測図（1:4）





1. 10YR4/4 褐色シルト質粘土　(10YR6/1褐灰色シルトブロック含む)
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質粘土　(10YR6/3にぶい黄橙色シルトブロック含む)

図 2-29　11Bb 区 2123SK 遺構図（1:20）



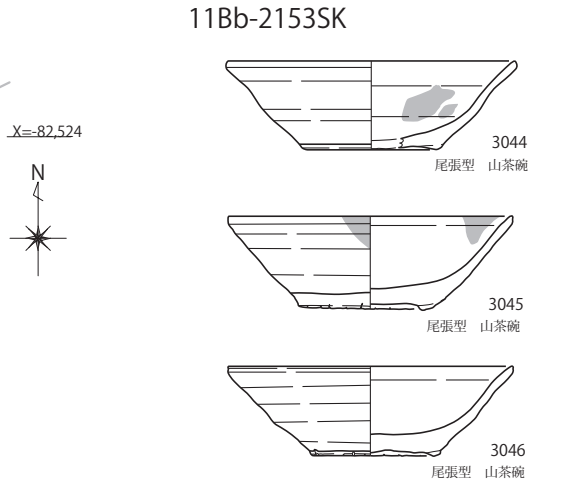


図 2-30　11Bb 区 2153SK 遺構図（1:20）・同出土遺物実測図（1:4）

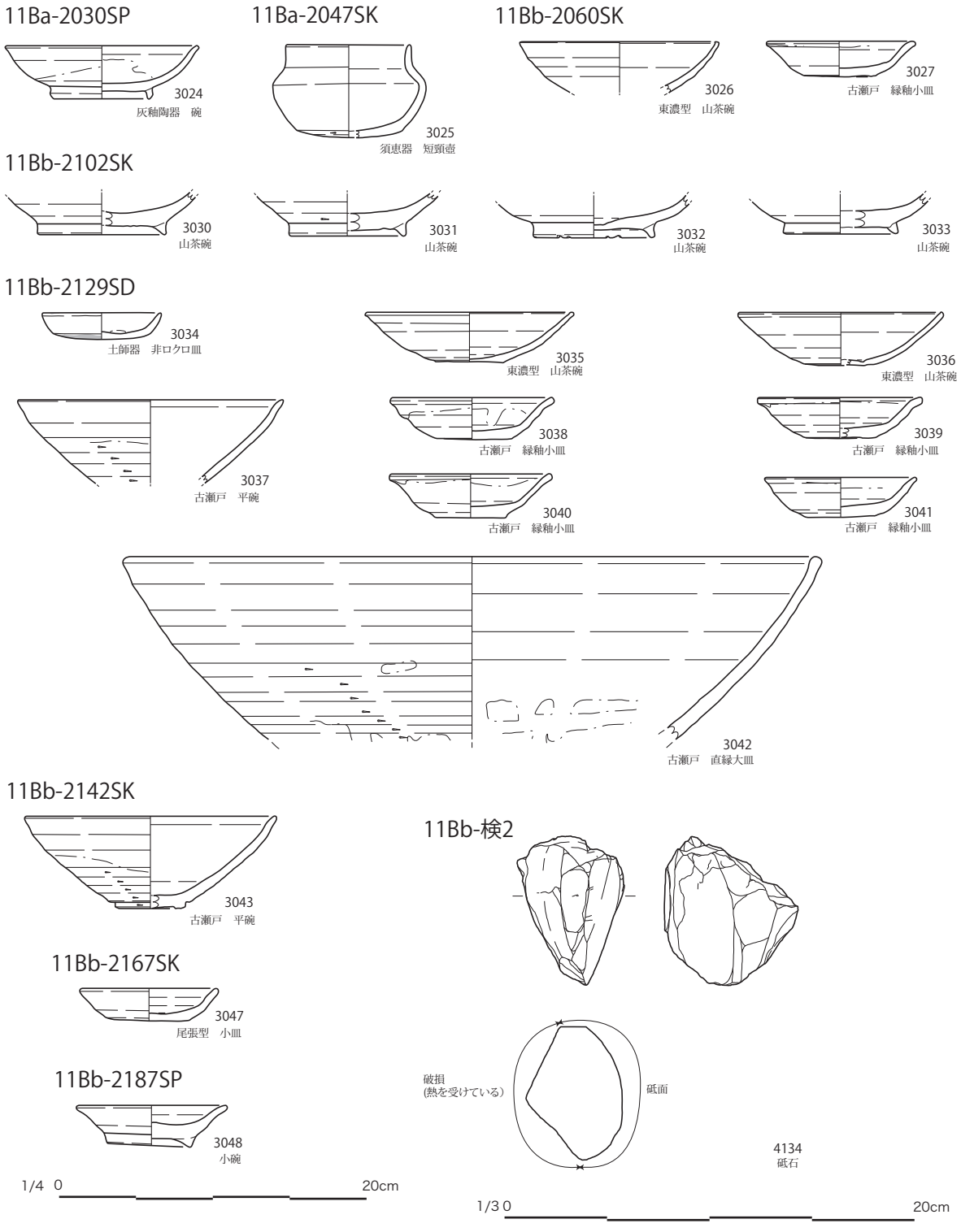


図 2-31　11B 区出土遺物実測図（1:4/1:3）

4．C区

全長約130mにおよぶ本遺跡で最も長い調査区である。西から10Ca・Cb・Cc区に分かれる。遺構面は2面で、下面遺構の一部は埋土中に洪水性の砂層を含む。10Ca区西端と10Cb・Cc区東端に南北方向の大溝が集中し、地籍図からみて、少なくとも上面遺構に関しては、これら大溝群に囲繞された一辺が約100mの方形区画（屋敷地）である可能性がきわめて高い。

遺構群の時期変遷に関しては、大きく3ないし4時期に分けることができる（表2-6）。出土遺物から確実に時期が把握できる遺構群のうち、10Ca区の中央に位置する1490SK、1501・1510・1740SDが最も古い遺構群で、おおむね13世紀第2～14世紀第3四半期に属する。

このうち1501・1510・1740SDについては人為的に掘削された溝ではなく、現下津小学校付近

表2-3　C区遺構一覧-1

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Ca	0001	SD	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型　内鴛羽釜　伊勢型鍋）　灰釉陶器碗　山茶碗　尾張型（山茶碗　片口鉢）　東濃型（山茶碗　山茶碗朱付き）　古瀬戸（天目茶碗　平碗　縁釉小皿　擂鉢形小皿　卸皿　直縁大皿　折縁深皿　卸目付大皿　盤類　盤類墨書　四耳壺　筒形容器　擂鉢　根形瓶子　茶釜　内耳鍋）　常滑片口鉢　産地不明甕　中国産青磁碗　加工円盤（白磁碗　灰釉）　陶丸　砥石（硯転用？）　釘	0124～0313・4007	4～10型式・脇之島・後Ⅳ期古	12c第2四半期～15c第2四半期	1面	6E7～11m	-2000	-200	108	溝	U字状
10Ca	0003	SD	土犬	0314			1面	6E9,10n				溝	
10Ca	0005	SP	ー	ー			1面	6E11m	30	25	9	楕円形	弧状
10Ca	0038	SD	中国産青白磁瓶類	0315			1面	6E9o	430	420	15	溝	弧状
10Ca	0051	SK	古瀬戸楠	0316	後Ⅳ期	15c第2四半期～第4四半期	1面	6E9r	128	127	32	円形	弧状
10Ca	0052	SK	土師器非ロクロ皿外型	0317		15c	1面	6E9r	53	39	11	楕円形	弧状
10Ca	0055	SD	中国産玉縁碗	0318			1面	6E8q	-670	117	18	溝	弧状
10Cb	0100	SD	椀型滓	ー			1面	6F18q	-400			溝	
10Cb	0110	SK	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型）　山茶碗　尾張型山茶碗　古瀬戸（擂鉢　小壺）　加工円盤　陶丸　土錘　釘	0319～0342	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	6F17q	150	131	30	方形	弧状
10Cb	0111	SD	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型）　尾張型片口鉢　古瀬戸（擂鉢　小壺）　加工円盤　陶丸　土錘　砥石（硯転用？）　釘　含鉄遺物	0337～0357・4008	10型式	14c第4四半期～15c第1四半期	2面	6F17q	-450	210	108	溝	U字状
10Cb	0120	SD	中国産青白磁瓶類（耳）　硯？　釘　椀型滓	0358・4009			1面	6F17,18p	-760	197	66	溝	弧状
10Cb	0122	SD	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型　ロクロ皿　内鴛羽釜）　山茶碗　尾張型（山茶碗　片口鉢）　東濃型（小皿墨書　山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸（天目茶碗　端反碗　平碗　縁釉小皿　折縁深皿　擂鉢　筒形容器）　常滑壺　中国産（白磁碗　青磁碗）　陶丸　瓦器火鉢or風炉　砥石？　釘　椀型滓　含鉄遺物	0359～0391・4010・4011	脇之島・後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	6F16,17m	-733	187	54	溝	
10Cb	0124	SD	尾張型山茶碗　東濃型（小皿　山茶碗）	0392～0396	明和	13c第2四半期～第3四半期	1面	6F16l	-253	103	32	溝	弧状
10Cb	0129	SD	瓦器風炉　椀型滓	0397			1面	6F16n	-230	117	36	溝	弧状
10Cb 10Cc	0130	SD	加工円盤（古瀬戸盤類）　硯　砥石（硯転用？）　釘	0398・4012・4013	後期	14c第3四半期～15c第4四半期	1面	6F15～18o	-1110	273	22	溝	弧状
10Cb	0135	SD	尾張型片口鉢　古瀬戸水注　瓦器風炉　中国産（白磁玉縁碗　白磁壺類）　瓦器火鉢or風炉　椀型滓	0399～0403	中期	14c第1四半期～第2四半期	1面	6F17n	-380	140	30	溝	弧状
10Cb	0139	SK	東濃型山茶碗	0404	明和	13c第2四半期～第3四半期	1面	6F16m	-202	141	8	不定形	弧状
10Cb	0147	SK	東濃型小皿	0405	明和	13c第2四半期～第3四半期	1面	6F15h	-90	125	33	不明	弧状
10Cb	0149	SK	塼　釘　含鉄遺物	0406			1面	6F15i	-124	150	120	不明	U字状
10Cb	0153	SK	東濃型小皿	0407	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	1面	6F16i	-143	82	52	不明	U字状
10Cb	0163	SK	土錘	0408			1面	6F16i	103	42	12	楕円形	弧状
10Cb	0172	SK	東濃型小皿	0409	明和	13c第2四半期～第3四半期	1面	6F16j	62	25	30	楕円形	U字状
10Ca	0200	SK	中国産青磁皿墨書　釘	0410			1面	6E9,10p	257	200	31	不定形	弧状
10Ca	0208	SK	東濃型山茶碗　釘　椀型滓	0411	脇之島	15c第2四半期	1面	6E8,9o	-335	170	19	不明	弧状
10Ca	0235	SK	中国産青磁蓮弁文碗　炉壁滓　椀型滓	0412			1面	6E8p	-250	-173	31	不明	弧状

表 2-4　C 区遺構一覧 -2

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Ca	0240	SD	中国産青磁碗　釘	0413			1面	6E8,9q	-760	153	38	溝	弧状
10Ca	0250	SK	中国産白磁碗	0414			1面	6E8p	-140	180	48	不明	弧状
10Ca	0260	SD	古瀬戸天目茶碗	0415	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	6E10q,r	1140	35	24	溝	U字状
10Ca	0333	SK	古瀬戸緑釉小皿	0416	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	6E10r	60	42	17	楕円形	弧状
10Ca	0354	SK	土師器（非ロクロ皿　内臺羽釜）　中国産（青磁蓮弁文碗　白磁皿？）　釘　椀型滓	0417～0425		15c中葉	1面	6E9r	203	127	109	不定形	U字状
10Ca	0363	SD	東濃型小皿　陶丸	0426～0428	明和	13c第2四半期～	1面	6E9s	540	95	33	溝	弧状
10Cb	0403	SK	尾張型小皿　東濃型小皿	0429・0430	7型式・明和	13c第2四半期～第3四半期	1面	6F16j	-163	90	28	不明	弧状
10Cb	0406	SK	東濃型（小皿　小皿墨書）　中国産（白磁小杯　青磁蓮弁文碗）	0431～0434	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	1面	6F15j	188	123	29	方形	弧状
10Cb	0407	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型山茶碗	0435・0436	明和	13c第2四半期～第3四半期 13c第2四半期～	1面	6F17k	-192	125	76	不明	U字状
10Cb	0409	SK	土師器非ロクロ皿　尾張型小皿　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸水注　陶丸　釘　含鉄遺物	0437～0445	明和・大洞東	第3四半期・14c第4四半期～15c第1四半期	1面	6F16k	150	110	15	楕円形	弧状
10Cb	0410	SK	土師器内臺羽釜　東濃型（小皿　山茶碗）　含鉄遺物	0446～0454	明和・大畑大洞古	13c第2四半期～第3四半期・13c第4四半期～14c第1四半期	1面	6F16k	130	83	27	楕円形	弧状
10Cc	0417	SD	尾張型（小皿　山茶碗）　東濃型山茶碗　常滑甕	0455～0460	5型式・浅間窯下	12c第4四半期～13c第1四半期	1面	6F15p	-500	395	92	溝	弧状
10Cc	0418	SK	尾張型小皿　含鉄遺物	0461	5型式	12c第4四半期～13c第1四半期	1面	6F15q	100	81	29	方形	弧状
10Cc	0419	SK	土師器ロクロ皿	0462・0463		15c	1面	6F15q	45	43	15	方形	弧状
10Cc	0426	SK	土師器ロクロ皿	0464		15c	1面	6F14q	-152	-80	12	不明	弧状
10Cb	0431	SK	東濃型小皿	0465	明和	13c第2四半期～第3四半期	1面	6F16k	69	35	29	楕円形	U字状
10Cc	0445	SP	常滑鉢	0466			1面	6F15p	20	12	6	方形	U字状
10Cb	0468	SK	陶丸	0467			2面	6F15g	122	118	40	方形	弧状
10Cb	0487	SK	東濃型小皿	0468・0469	白土原・明和	13c第2四半期～第3四半期	2面	6F16i	267	142	33	方形	弧状
10Ca	0537	SK	砥石	4015			1面	6E11q	50	50	12	円形	弧状
10Ca	0604	SP	山茶碗	0470	4型式	12c第2四半期～第3四半期	1面	6E12s	40	35	50	不定形	
10Ca	0630	SK	東濃型小皿　椀型滓	0471	明和	13c第2四半期～第3四半期	1面	6E9,10t	-285	122	52	不明	弧状
10Ca	0650	SK	古瀬戸卸目付大皿　加工円盤	0472・0473	後期	14c第3四半期～15c第4四半期	1面	6E10t	82	60	29	楕円形	弧状
10Ca	0809	SP	砥石　釘	4016			1面	6E13t	32	30	25	円形	U字状
10Ca	0868	SK	東濃型小皿	0474	7型式	13c第2四半期～第3四半期	1面	6E11s	88	32	6	楕円形	弧状
10Ca	0887	SK	土師器非ロクロ皿　釘　椀型滓	0475		14c	1面	6F13a	120	100	32	方形	弧状
10Cb	1008	SD	土師器（非ロクロ皿　内臺羽釜）　尾張型山茶碗　東濃型（小皿　山茶碗）　陶丸　銭貨　釘　椀型滓　含鉄遺物	0476～0502	明和・大畑大洞古	13c第2四半期～第3四半期・13c第4四半期～14c第1四半期	2面	6F16j～16m	-1790	130	79	溝	U字状
10Cb	1016	SD	東濃型（小皿　山茶碗）　瓦器火鉢or風炉　椀型滓	0503～0505	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	2面	6F16j	-370	102	37	溝	弧状
10Cb	1025	SK	東濃型山茶碗墨書	0506	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	2面	6F16j	188	-38	-	不明	不明
10Cb 10Cc	1027	SD	尾張型（山茶碗　山茶碗漆付き　片口鉢）　東濃型（小皿　山茶碗墨書）　古瀬戸花瓶　須恵器甕　中国産（青磁碗　青磁皿）　陶丸　砥石or硯　椀型滓　含鉄遺物	0507～0522・4017	5～6型式・明和～大畑大洞新	12c第4四半期～14c第3四半期	2面	6F15n～17n	-1395	103	51	溝	弧状
10Cb 10Cc	1028	SD	山茶碗墨書　東濃型（山茶碗墨書　山茶碗漆付き）　常滑甕　中国産白磁碗　陶丸　塼　砥石	0523～0530・4018	4型式・中野6a型式・大畑大洞新・脇之島	12c第2四半期～第3四半期・13c第3四半期・14c第2四半期～第3四半期・15c第2四半期	2面	6F15n～17n	-1410	115	57	溝	弧状
10Cb 10Cc	1029	SD	土師器（非ロクロ皿　ロクロ皿）　灰釉陶器（碗　短頸壺）　山茶碗　尾張型（小皿　山茶碗　山茶碗漆付き　片口鉢）　渥美（山茶碗　甕）　東濃型山茶碗　古瀬戸（天目茶碗　緑釉小皿　卸皿　直縁大皿　折縁深皿　盤類　擂鉢　袴腰形香炉　筒形容器　広口壺　水注　瓶子　尊式花瓶　茶釜　燭台）　常滑壺　甕　中国産（白磁玉縁碗　白磁碗）　瓦器火鉢　加工円盤（広口瓶）　加工円盤　陶丸　釘　椀型滓	0531～0606	5～6型式・大畑大洞新・脇之島・後Ⅳ期古	12c第4四半期～14c第1四半期・14c第3四半期～15c第2四半期	2面	6F15o～17o	-1415	251	51	溝	弧状

表 2-5　C 区遺構一覧 -3

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Cb	1037	SP	瓦器火鉢	0607			2面	6F16k	38	30	35	楕円形	U字状
10Cb	1038	SD	—	—			2面	6F18q	-520	-85	32	溝	弧状
10Cb	1042	SX	中国産青磁蓮弁文碗　砥石or硯　釘	0608・4019			2面	6F16l	-204	173	82	楕円形	弧状
10Cb	1048	SX	瓦器火鉢or風炉	0609			2面	6F16k	-150	205	65	不明	弧状
10Cb	1049	SX	砥石（硯転用？）	4020			2面	6F17k	-260	-62	62	不明	U字状
10Cb 10Cc	1052	SD	尾張型山茶碗墨書　釘　椀型滓	0610	6型式	13c第2四半期	2面	6F15p～ 18p	-1780	310	39	溝	弧状
10Cb	1071	SK	東濃型山茶碗	0611	脇之島	15c第2四半期	2面	6F18o	-140	85	18	不明	弧状
10Cb 10Cc	1072	SD	土師器非ロクロ皿　中国産青磁碗　陶丸	0612～0615		15c	2面	15o～ 18o	-1595	80	74	溝	U字状
10Cc	1073	SK	山茶碗　尾張型小皿　東濃型（小皿　山茶碗　山茶碗墨書）　常滑壺　陶丸　硯　含鉄遺物	0616～0625・ 4021	大畑大洞古	13c第4四半期～ 14c第1四半期	2面	6F15q	141	120	5	楕円形	弧状
10Cc	1094	SK	—	—			2面	6F15q	53	44	25	楕円形	U字状
10Cc	1096	SK	土師器伊勢型鍋	0626		13c？	2面	6F15q	85	62	35	楕円形	U字状
10Cb	1107	SK	東濃型山茶碗	0627	大畑大洞古	13c第4四半期～ 14c第1四半期	2面	6F16m	138	68	59	楕円形	U字状
10Cb	1108	SE	土師器（非ロクロ皿　ロクロ皿）　古瀬戸擂鉢　陶丸　井戸枠材　角棒　鉄製品	0628～0633・ 5001～5090	後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	6F17o	435	-292	-200	不明	U字状
10Cb	1113	SD	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型）　東濃型小皿	0634～0642	大畑大洞古	13c第4四半期～ 14c第1四半期	2面	6F18p	172	30	7	溝	弧状
10Ca	1234	SK	中国産白磁碗	0643			1面	6F12c	48	48	36	円形	二段落ち
10Ca	1245	SD	—	—			2面	6E7,8n	-920	100	77	溝	U字状
10Ca	1246	SD	山茶椀　東濃型山茶碗漆付き　釘	0644・0645	谷迫間	12c第3四半期	2面	6E7n	-360	124	20	溝	弧状
10Ca	1249	SP	砥石or硯	4022			1面	6F13c	22	18	11	方形	U字状
10Ca	1300	SD	土師器（非ロクロ皿　ロクロ皿）　古瀬戸（直縁大皿　仏花瓶）　銭貨　椀型滓	0646～0658	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	6E9,10o	-950	113	31	溝	弧状
10Ca	1304	SP	土師器（非ロクロ皿　ロクロ皿）	0659～0664	7・8型式併行	13c第2四半期～ 14c第2四半期	2面	6E10o	20	19	35	円形	U字状
10Ca	1320	SD	土師器非ロクロ皿　東濃型小皿墨書　古瀬戸卸皿　中国産青磁蓮弁文碗　椀型滓	0665～0668	後期	14c第3四半期～ 15c第4四半期	2面	6E9,10n	1035	182	62	溝	弧状
10Ca	1333	SX	東濃型小皿墨書	0669			2面	6E9,10p	725	-420	-	不定形	
10Ca	1345	SD	古瀬戸（縁釉小皿　卸目付大皿）　瓦器火鉢	0670～0672	後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	6E7m,n	-345	-152	53	不明	弧状
10Ca	1346	SK	山茶碗	0673	3型式	11c第4四半期～ 12c第1四半期	2面	6E8n	395	208	71	不定形	弧状
10Ca	1352	SK	中国産青磁蓮弁文碗	0674			2面	6E9p	90	89	32	円形	弧状
10Ca	1361	SP	砥石（硯転用？）	4023			2面	6E9p	39	37	21	円形	U字状
10Ca	1438	SK	土師器非ロクロ皿	0675		15c	2面	6F11a	-96	-	47	不明	
10Ca	1490	SK	小碗　尾張型（小皿　山茶碗　山茶碗墨書）　東濃型小皿　砥石　刀　鉄製品	0676～0682・ 4024	6～7型式・ 明和	13c第2四半期～ 第3四半期	2面	6F12c	825	-610	86	不定形	弧状
10Ca	1500	SD	古瀬戸縁釉小皿墨書　椀型滓	0683	後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	6E12s					
10Ca	1501	SD	尾張型山茶碗　東濃型山茶碗　砥石　椀型滓	0684～0686・ 4025	7型式・明和	13c第2四半期～ 第3四半期	2面	6E11,12 t	-1710	138	38	溝	弧状
10Ca	1508	SD	東濃型（小皿　小皿墨書）　中国産（白磁碗　青磁碗）	0687～0694	明和・ 大畑大洞新	13c第2四半期～ 第3四半期・14c 第2四半期～第3 四半期	2面	6F12g	-400	160	37	溝	弧状
10Ca	1510	SD	土師器（非ロクロ皿　伊勢型鍋）　尾張型山茶碗墨書　東濃型（小皿　山茶碗　山茶碗墨書）　中国産（白磁四耳壺　青磁蓮弁文碗　緑釉盤）　釘	0695～0704	白土原	13c第2四半期	2面	6F11,12 b	-1520	165	72	溝	弧状
10Ca	1740	SD	土師器非ロクロ皿　東濃型山茶碗	0705～0707	明和	13c第2四半期～ 第3四半期	2面	6E10t					
10Ca	1755	SK	砥石	4026			2面	6F12e	56	44	62	方形	U字状
10Ca	1783	SP	東濃型山茶碗	0708	明和	13c第2四半期～ 第3四半期	2面	6F13d	34	32	23	円形	U字状
10Ca	1788	SD	土師器非ロクロ皿墨書	0709			2面	6F12e	-280	50	17	溝	弧状
10Ca	1954	SK	土師器ロクロ皿	0710		15c？	2面	6E9q	-53	40	15	楕円形	弧状
10Ca	1960	SE	土師器非ロクロ皿　東濃型（山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸（卸皿　花盆）　井戸枠材　板	0711～0716・ 5091～5170	脇之島	15c第2四半期	2面	6E10n,o	450	355	110	楕円形	
10Ca	1961	SE	古瀬戸仏供	0717			2面	6E10o,p	350	268	170	不定形	U字状
10Ca	1964	SD	土師器非ロクロ皿　瓦器火鉢or風炉　中国産青磁碗　陶丸	0718～0725	6型式併行	13c第2四半期	2面	6E10t	-542	132	43	溝	弧状
10Ca	1968	SD	中国産青磁蓮弁文碗	0726			1面	6E8q	-150	46	5	溝	弧状

で大きく蛇行する青木川の破堤による洪水で形成された可能性がある。1490SK は 1510SD を切って掘削された長軸 8.3m、短軸 6.5m 以上、深さ 1m 以上を測る、池状の大型土坑(図 2-53)である。最下層から全長 31cm の短刀が出土しており（図 2-276-6020)、屋敷地内の庭園施設の一部であった可能性がある。

このほか、すでに井戸枠が抜き取られて痕跡しかとどめていなかったが、10Ca 区の 1961SE も当該期の遺構と考えられる。この 1961SE のすぐ南には同じく井戸状遺構 1966SE がある。また、この 10Ca 区西端一帯は地形的にやや低く、基盤層に凹凸があり、これらの井戸状遺構はいったん窪地（1333SX）を埋め立てたのちに掘削されている（図 2-63)。

10Ca 区 1508・1964SD、1304SP、10Cb 区 1008・1016SD、1025・1073・1107SK や、上面遺構である 10Ca 区 0363SD、10Cb

表 2-6　C 区主要遺構の変遷

	13 第 2 四半期～14c 第 3 四半期	14c 第 4 四半期～15c 第 1 四半期	15c 第 2～第 4 四半期			
10Ca		(0001SD 下層) →	0001SD 中層 →			0001SD 上層
		(1345SD)				
	1333SX			1347SD		
	1961SE →	1960SE →	1320SD 下層 →	1320SD →	1246SD →	0002SD-A
	1966SE		1245SD		1300SD	0002SD-B
	1304SP		1976SK			
	1501SD					
	1508SD					
	1510SD					
	1964SD					
	1490SK					
	1740SD					
	(0363SD)					
10Cb 10Cc	1008SD	(0111SD) →	0110SK			
	1016SD					
	1025SK		0122SD			
	1073SK					
	1027SD →		1029SD →	1028SD →		0129SD
	1107SK					0135SD
	1069SX		1038SD（Da-1530SD） →			0125SD
	(0124SD)		1108SE →	1072SD →	1109SD →	0130SD
	(0139SK)		1071SK →	1116SD →	1052SD	0120SD
	(0147SK)					
	(0410SK)					

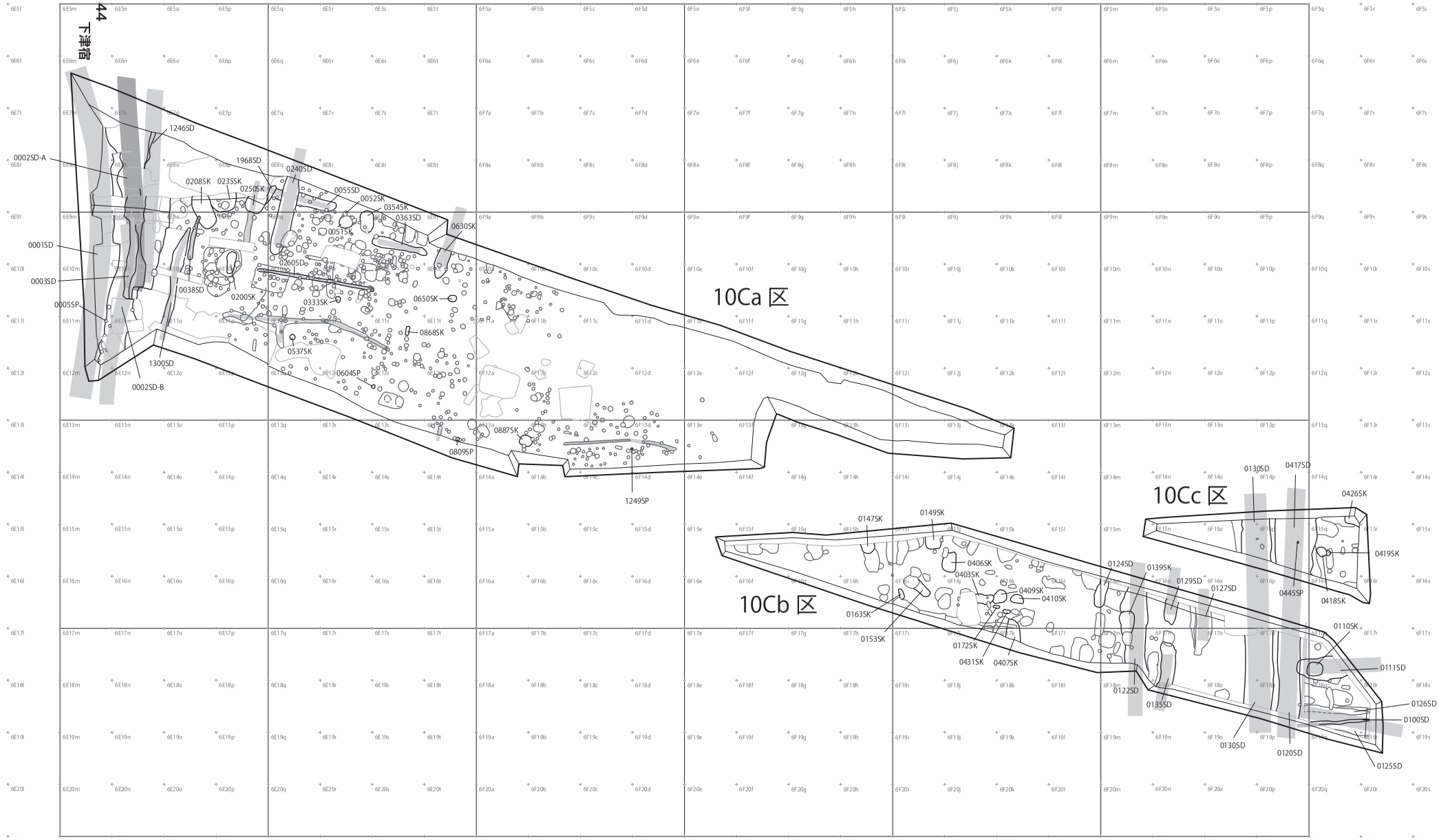


図 2-32　C 区第 1 面遺構全体図（1:500）

目次
終了

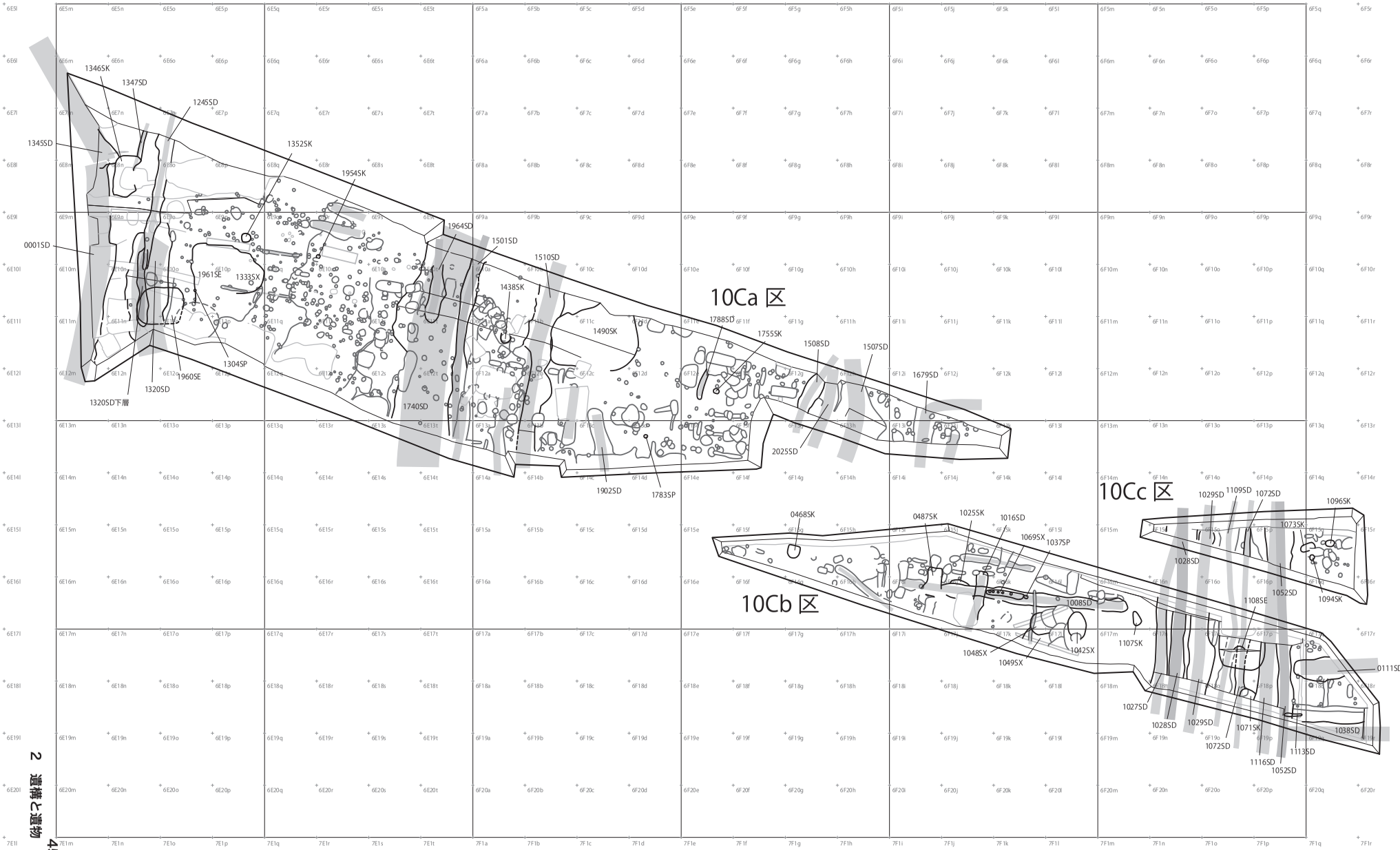
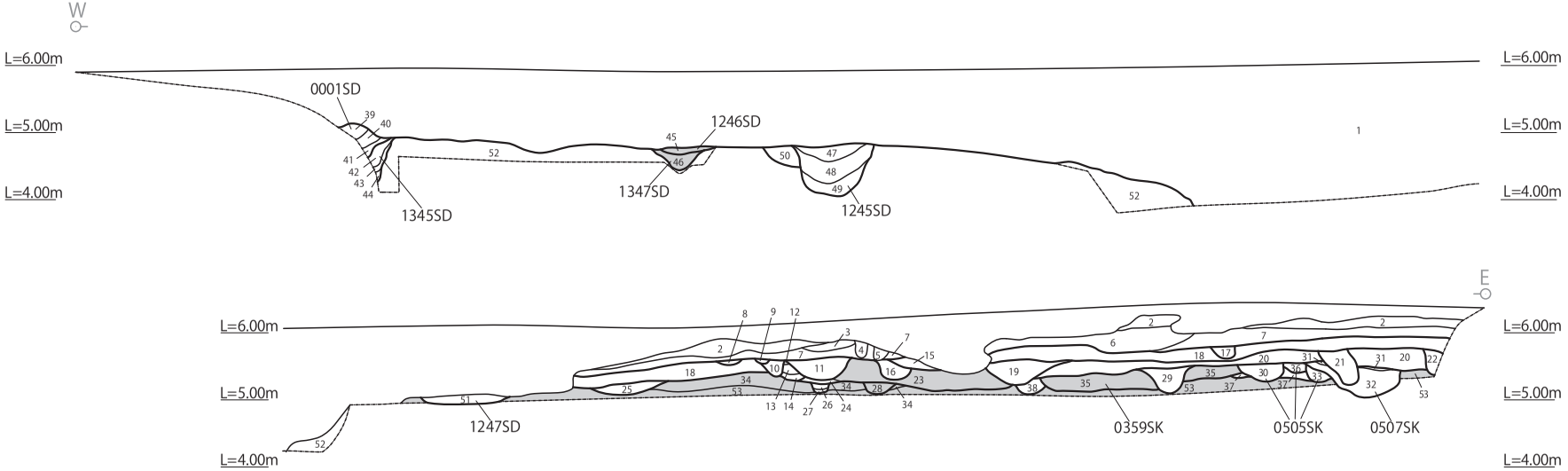


図 2-33　C 区第 2 面遺構全体図（1:500）

目次
終了

10Ca区北壁土層断面図１　1:100



1,　表土・撹乱
2,　10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト（旧耕作土）
3,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト
4,　10YR4/4褐色粘土質シルト
5,　10YR4/4褐色粘土質シルト
6,　10YR5/6黄褐色粘土質シルト
7,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト（旧耕作土）
8,　10YR4/6褐色粘土質シルト
9,　10YR4/6褐色粘土質シルト
10,　10YR4/6褐色粘土質シルト
11,　10YR4/6褐色粘土質シルト（炭化物、土器細片含む）
12,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
13,　10YR4/4褐色粘土質シルト
14,　10YR4/6褐色粘土質シルト
15,　10YR4/6褐色粘土質シルト
16,　10YR4/4褐色粘土質シルト
17,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（炭化物含む）
18,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
19,　10YR4/4褐色粘土質シルト
20,　10YR4/4褐色粘土質シルト（しまり強い）
21,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
22,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
23,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂と10YR4/4褐色粘土質シルトの互層
24,　2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト
25,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
26,　10YR4/4褐色粘土質シルト
27,　10YR4/6褐色粘土質シルト
28,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂と10YR4/4褐色粘土質シルトの互層
29,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
30,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（0505SK）
31,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
32,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト（0507SK）
33,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（炭化物含む）（0505SK）
34,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂と10YR4/4褐粘土質シルトの互層
35,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂と10YR4/4褐粘土質シルトの互層（0359SK）
36,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物含む）（0505SK）
37,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
38,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
39,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト（0001SD）
40,　2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト（0001SD）
41,　2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む）（0001SD）
42,　2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト（1345SK）
43,　**2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土**（5Y4/1灰色シルト質粘土含む）（1345SD）
44,　2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト（1345SK）
45,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂と2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの混在土（1246SD）
46,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂と2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの互層（1347SD）
47,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（1245SD）
48,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土（1245SD）
49,　5Y3/2オリーブ黒色シルト質粘土（1245SD）
50,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
51,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（0240SD）
52,　2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土
53,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂と10YR4/4褐粘土質シルトの互層

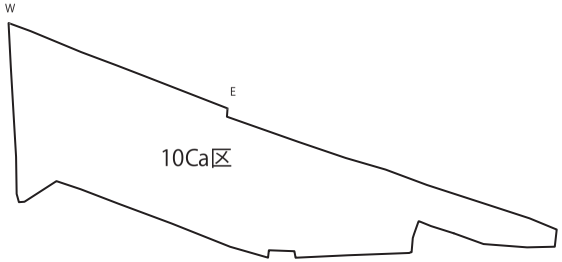
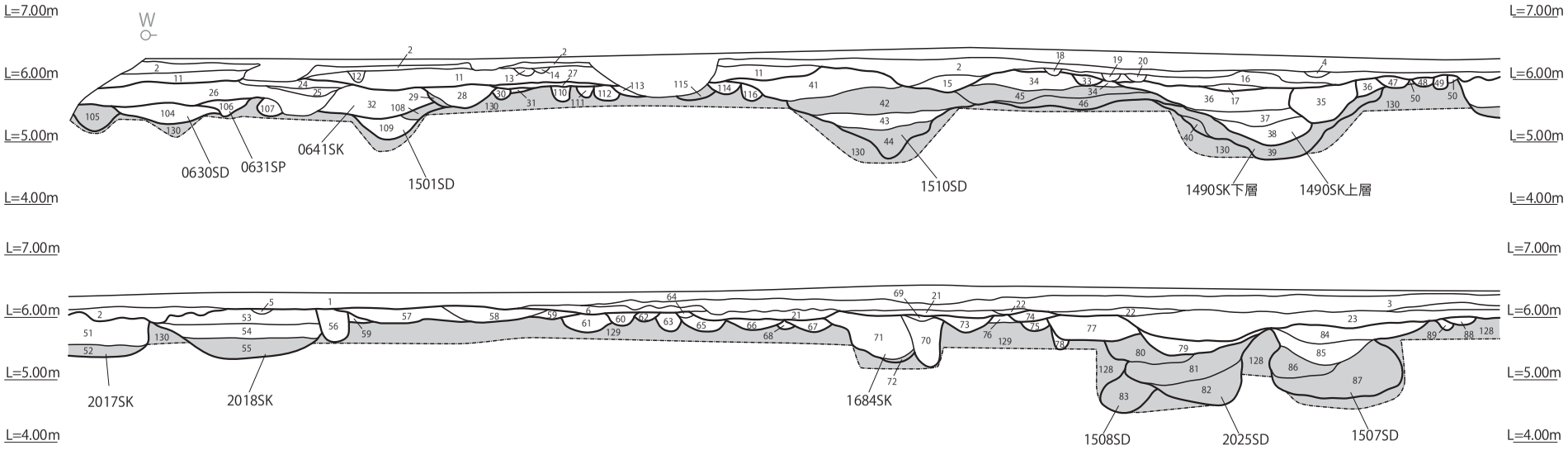


図 2-34　10Ca 区北壁土層断面図 -1（1:100）

目次
終了

10Ca区北壁土層断面図２　1:100



1,　表土・撹乱
2,　10YR5/6黄褐色粘土質シルト（旧耕作土）
3,　10YR4/4褐色粘土質シルト（しまり弱い、旧耕作土）
4,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト
5,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト
6,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（旧耕作土）
7,　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト
8,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
9,　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト
10,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（しまり弱い、旧耕作土）
11,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト（旧耕作土）
12,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト（しまり弱い）
13,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト（しまり弱い）
14,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト（しまり弱い）
15,　10YR4/4褐色粘土質シルト
16,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト（10YR4/4褐色粘土質シルト含む）
17,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト
18,　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト
19,　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト
20,　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト
21,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（しまり強い、旧耕作土）
22,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（しまり弱い、旧耕作土）
23,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
24,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
25,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（炭化物含む）
26,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
27,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト（旧耕作土）
28,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
29,　10YR4/4褐色極細粒砂
30,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
31,　10YR4/6褐色粘土質シルト
32,　10YR4/4褐色粘土質シルト（0641SK）
33,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
34,　10YR4/4褐色粘土質シルト（炭化物含む）
35,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト
36,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（炭化物、焼土、土器細片含む）（1490SK上層）
37,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（1490SK上層）
38,　10YR3/3にぶい暗褐色粘土質シルト（2.5Y5/3黄褐色シルト質粘土ブロック含む）（1490SK上層）
39,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/3黄褐色シルト質粘土ブロック、2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）（1490SK下層）
40,　2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂（2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト含む）（1490SK下層）
41,　10YR4/4褐色粘土質シルト（炭化物、土器細片多量含む）（1510SD）
42,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂と10YR4/4褐色粘土質シルトの互層（1510SD）
43,　10YR4/6褐色粘土質シルト（1510SD）
44,　10YR4/4褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）（1510SD）
45,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（10YR4/4褐色粘土質シルト含む）
46,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂と10YR4/4褐色粘土質シルトの互層
47,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色粘土質含む）
48,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色粘土質含む）
49,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色粘土質含む）
50,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト
51,　10YR4/4褐色粘土質シルト（炭化物含む）（2017SK）
52,　10YR4/4褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）（2017SK）
53,　10YR4/4褐色粘土質シルト（炭化物含む）（2018SK）
54,　10YR4/4褐色粘土質シルト（2018SK）
55,　10YR4/4褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）（2018SK）
56,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色粘土質含む）
57,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質（10YR4/4褐色粘土質シルト含む）
58,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色粘土質含む）
59,　10YR4/4褐色粘土質シルト
60,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト

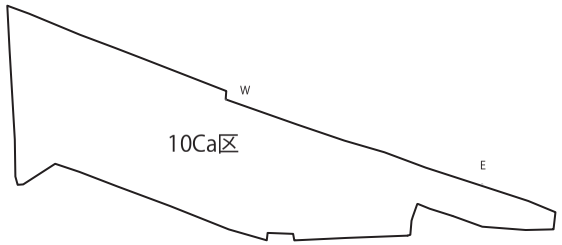
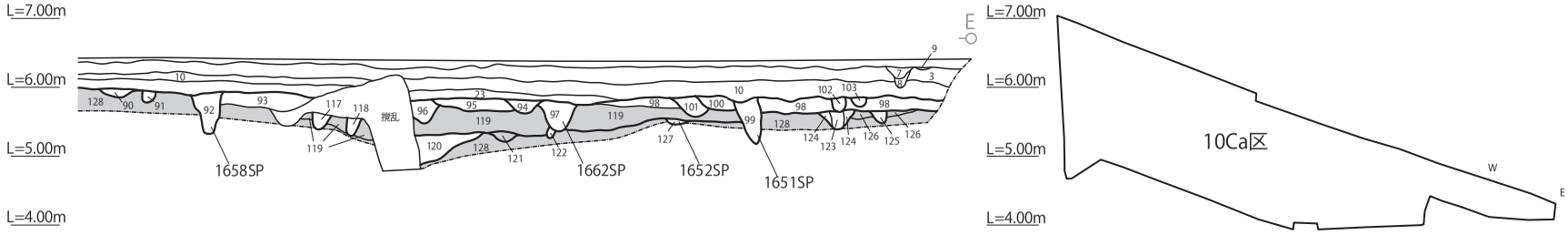


図 2-35　10Ca 区北壁土層断面図 -2（1:100）

10Ca区北壁土層断面図3　1:100

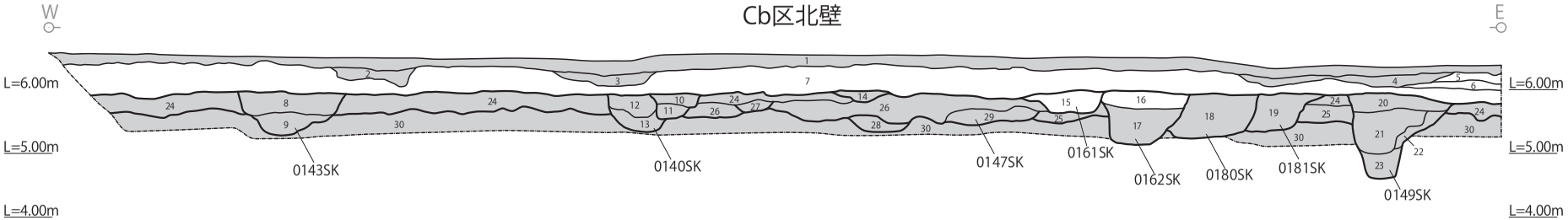


61, 10YR4/4褐色粘土質シルト
62, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
63, 10YR4/4褐色粘土質シルト
64, 10YR4/4褐色粘土質シルト
65, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
66, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
67, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
68, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
69, 10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト（1684SK）
70, 10YR4/4褐色粘土質シルト（炭化物含む）（1684SK）
71, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物含む）（1684SK）
72, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）（1684SK）
73, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
74, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
75, 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
76, 10YR4/4褐色シルト質粘土
77, 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
78, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）
79, 10YR4/4褐色粘土質シルト（炭化物含む）
80, 10YR5/4にぶい黄褐色粘土質（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）（2025SD）
81, 10YR4/4褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）（2025SD）
82, 2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂（2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト含む）（2025SD）
83, 2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂（2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（1508SD）
84, 10YR4/4褐色粘土質シルト（1507SD）
85, 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（1507SD）
86, 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）（1507SD）
87, 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂多量含む）（1507SD）
88, 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
89, 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
90, 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
91, 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
92, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（1658SP）
93, 10YR4/4褐色粘土質シルト
94, 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト
95, 10YR4/4褐色粘土質シルト
96, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
97, 10YR4/4褐色粘土質シルト（1662SP）
98, 10YR4/4褐色粘土質シルト（しまり弱い）
99, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（1651SP）
100, 10YR3/4暗褐色粘土質シルト（焼土、炭化物、土器細片含む）
101, 10YR4/4褐色粘土質シルト
102, 10YR3/4暗褐色粘土質シルト（焼土、炭化物、土器細片含む）
103, 10YR3/4暗褐色粘土質シルト（焼土、炭化物、土器細片含む）
104, 10YR4/4褐色粘土質シルト（0630SD）
105, 10YR4/4褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）
106, 2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂と10YR4/4褐色粘土質シルトの互層（0631SP）
107, 10YR4/6褐色粘土質シルト
108, 10YR4/4褐色極細粒砂（1501SD）
109, 10YR4/4褐色粘土質シルト（1501SD）
110, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
111, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
112, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物含む）
113, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
114, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
115, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）
116, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
117, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
118, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
119, 2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂（10YR4/4褐色シルト質粘土含む）
120, 2.5Y4/6オリーブ褐色粘土質シルト
121, 10YR4/4褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む）
122, 10YR4/4褐色粘土質シルト
123, 10YR4/4褐色シルト質粘土
124, 10YR4/4褐色粘土質シルト
125, 2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂（10YR4/4褐色シルト質粘土多量含む）
126, 10YR4/4褐色極細粒砂
127, 2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土（1652SP）
128, 10YR5/4にぶい黄褐色細粒砂
129, 2.5Y5/4オリーブ褐色中粒砂
130, 2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂と10YR4/4褐色粘土質シルトの互層

図 2-36　10Ca 区北壁土層断面図 -3（1:100）

目次
終了

10Cb区北壁土層断面図　1:100



1,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(炭化物含む)
2,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(炭化物含む)
3,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(炭化物含む)
4,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
5,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(10YR6/2灰黄褐色粘土質シルト含む)
6,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(10YR6/2灰黄褐色粘土質シルト含む)
7,　10Y4/2灰黄褐色粘土質シルト(炭化物含む)
8,　10Y4/3にぶい黄褐色粘土質シルト(10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂が縞状に入る)(0143SK)
9,　10Y4/3にぶい黄褐色粘土質シルト(10YR4/4褐色中粒砂粒砂含む、炭化物含む)(0143SK)
10,　10Y4/3にぶい黄褐色極細粒砂(10YR4/4褐色中粒砂含む、炭化物含む)
11,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(10YR4/4褐色中粒砂含む、炭化物含む)
12,　10Y4/3にぶい黄褐色極細粒砂(10YR4/4褐色中粒砂含む、炭化物含む)(0140SK)
13,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0140SK)
14,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂
15,　10Y4/2灰黄褐色粘土質シルト(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0161SK)
16,　10Y4/3にぶい黄褐色粘土質シルト(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0162SK)
17,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(10YR4/4褐色中粒砂含む、炭化物含む)(0162SK)
18,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0180SK)
19,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0181SK)
20,　10YR4/4褐色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0149SK)
21,　10YR4/4褐色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0149SK)
22,　10YR4/4褐色極細粒砂(10YR4/4褐色中粒砂含む)(0149SK)
23,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0149SK)
24,　10YR5/3にぶい黄褐色極細粒砂(10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂が縞状に入る)
25,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂
26,　10YR5/2灰黄褐色極細粒砂
27,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)
28,　2.5YR6/6明黄褐色粘土質シルト
29,　2.5YR6/6明黄褐色粘土質シルト(0147SK)
30,　10YR4/4褐色極細粒砂

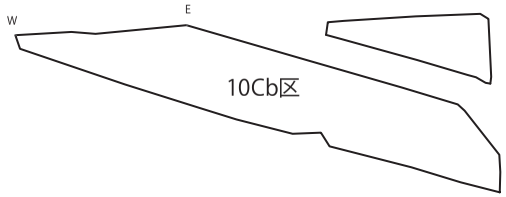
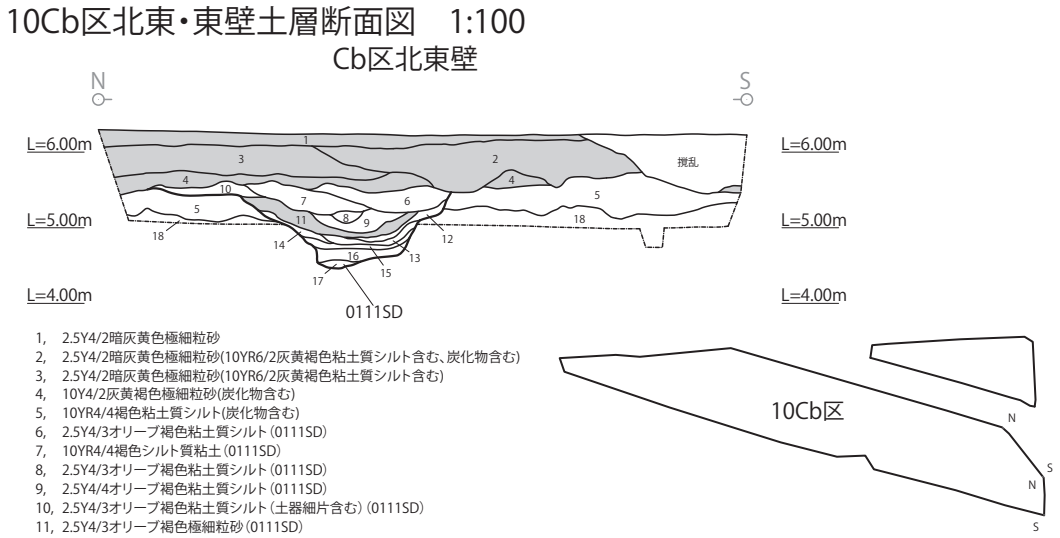
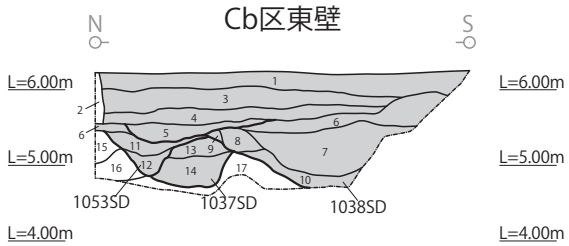


図 2-37　10Cb 区北壁土層断面図（1:100）

目次
終了



1, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
2, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(10YR6/2灰黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)
3, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(10YR6/2灰黄褐色粘土質シルト含む)
4, 10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(炭化物含む)
5, 10YR4/4褐色粘土質シルト(炭化物含む)
6, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(0111SD)
7, 10YR4/4褐色シルト質粘土(0111SD)
8, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(0111SD)
9, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト(0111SD)
10, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(土器細片含む)(0111SD)
11, 2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂(0111SD)
12, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト(0111SD)
13, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト(0111SD)
14, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(0111SD)
15, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0111SD)
16, 2.5Y5/4黄褐色シルト質粘土と2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの斑土(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0111SD)
17, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(0111SD)
18, 10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト



1, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
2, 攪乱
3, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)
4, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)
5, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)
6, 10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(炭化物含む)(1038SD)
7, 10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(1038SD)
8, 10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR4/4褐色中粒砂粒が縞状に入る)(1038SD)
9, 10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1038SD)
10, 10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR4/4褐色中粒砂含む、炭化物含む)(1038SD)
11, 10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR6/2灰黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)(1053SD)
12, 10Y4/2灰黄褐色細粒砂(10YR6/2灰黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)(1053SD)
13, 10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR4/4褐色中粒砂含む、炭化物含む)(1037SD)
14, 10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR4/4褐色中粒砂含む、炭化物含む)(1037SD)
15, 10YR4/4褐色粘土質シルト(炭化物含む)
16, 10YR4/4褐色粘土質シルト(炭化物含む)
17, 10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト

図 2-38　10Cb 区北東壁・東壁土層断面図（1:100）

区 0124SD、0139・0147・0410SK、10Cc 区 0417SD からも当該期か、やや溯る時期の遺物が出土している。

このうち、10Ca 区 1304SP は直径約 20cm の柱穴掘り方内から土師器非ロクロ皿のみ 6 点がまとまって出土しており、注目される（図 2-52）。

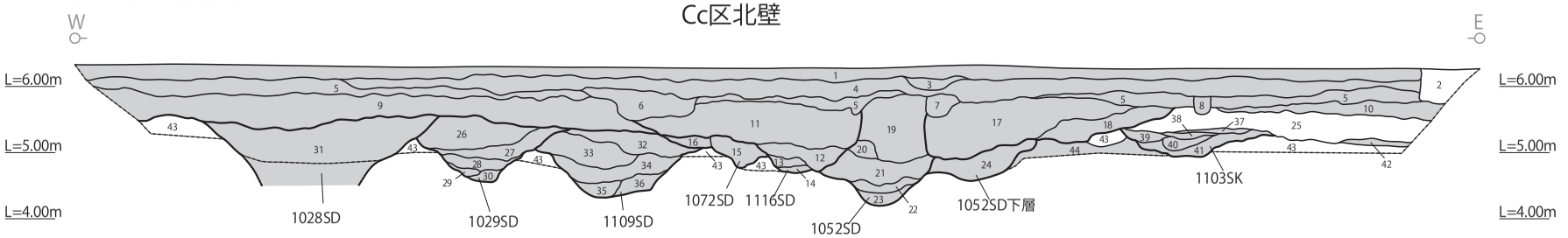
また、10Ca 区 1964SD、10Cb 区 1008・1016SD（図 2-68）は、屋敷地内の区画溝であった可能性が想定できる。このうち 1008SD の中央付近には、5 つの柱穴と布掘りの掘り方をもつ柵状施設 1069SX が設けられている（図 2-73）。

続く 14 世紀第 4 四半期～ 15 世紀第 1 四半期には、10Ca 区西端付近に井戸 1960SE（図 2-54～62）が掘削される。これは隅柱をもたない方形縦板組みの井戸で、横桟にはスギ、縦板本体にはコウヤマキ、さらにその周囲にめぐらせた薄板にはヒノキ・サワラ・コウヤマキを用いている。井戸枠内からは古瀬戸中期に属する花盆（図 2-54）が、井戸枠第 1 段の抜き取り穴から脇之島期の東濃型山茶碗が出土している。後述する 15 世紀代の溝群がこの井戸の廃絶後に掘削されていることから、15 世紀第 2 四半期には廃絶していたことがわかる。

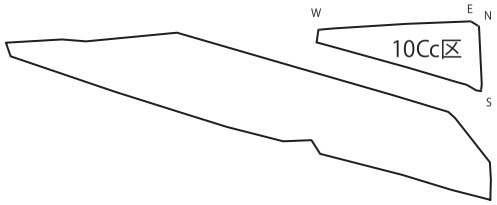
この 1960SE の西に幅 3m 以上、深さは検出面から 1.2m を測る、断面が逆台形を呈する南北方向の大溝 10Ca 区 0001SD がある。土層断面をみる限り、最低で 3 回の掘り直しが認められる（図 2-40・41）。この大溝からは、本報告書に掲載しただけで、土師器非ロクロ皿を主体に 190 点もの遺物が出土している。このうち最も遺物が集中して出土する中層の一括資料は 15 世紀第 2 四半

10Cc区土層断面図　1:100

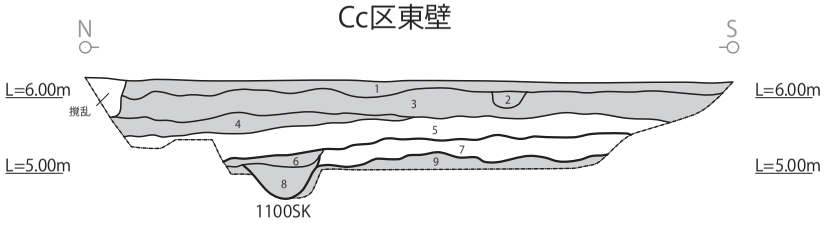
Cc区北壁



1,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
2,　撹乱
3,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
4,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)
5,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)
6,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂
7,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)
8,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)
9,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(炭化物含む)
10,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(炭化物含む)
11,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)(1116SD)
12,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)(1116SD)
13,　2.5Y5/1黄灰色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)(1116SD)
14,　2.5Y5/1黄灰色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)(1116SD)
15,　2.5Y5/1黄灰色細粒砂(1072SD)
16,　2.5Y5/1黄灰色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)(1072SD)
17,　10Y4/2灰黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)
18,　10Y4/2灰黄褐色細粒砂(炭化物含む)
19,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR4/4褐色中粒粒が縞状に入る)(1052SD)
20,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1052SD)
21,　10Y4/2灰黄褐色細粒砂(1052SD)
22,　2.5Y5/1黄灰色細粒砂(炭化物含む)(1052SD)
23,　10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト(炭化物含む)(1052SD)
24,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1052SD下層)
25,　10YR4/4褐色粘土質シルト
26,　10Y4/2灰黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1029SD)
27,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1029SD)
28,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1029SD)
29,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1029SD)
30,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂と10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルトの斑土(1029SD)
31,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)(1028SD)
32,　10Y4/2灰黄褐色細粒砂(1109SD)
33,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1109SD)
34,　2.5Y5/1黄灰色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1109SD)
35,　2.5Y5/1黄灰色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1109SD)
36,　2.5Y5/1黄灰色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1109SD)
37,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(炭化物含む)(1103SK)
38,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(1103SK)
39,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂と10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルトの斑土(1103SK)
40,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1103SK)
41,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1103SK)
42,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(炭化物含む)
43,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト
44,　10YR4/4褐色中粒砂



Cc区東壁



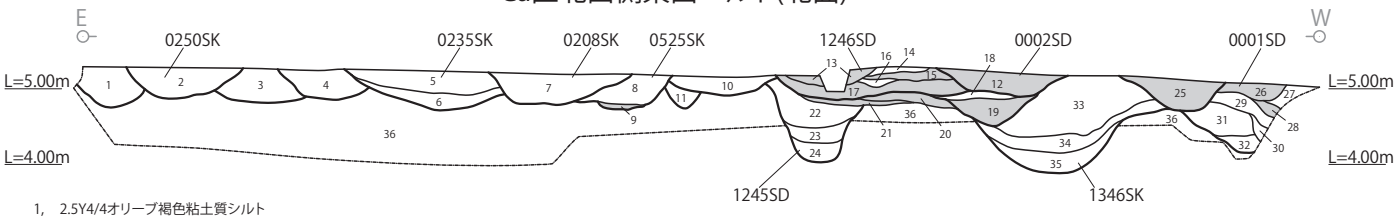
1,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
2,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(炭化物含む)
3,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(10YR6/2灰黄褐色粘土質シルト含む)
4,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(炭化物含む)
5,　10YR4/4褐色粘土質シルト(炭化物含む)
6,　10Y4/2灰黄褐色極細粒砂(炭化物含む)
7,　10YR5/3にぶい黄褐色粘質土シルト
8,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト含む、炭化物含む)(1100SK)
9,　10YR4/4褐色中粒砂

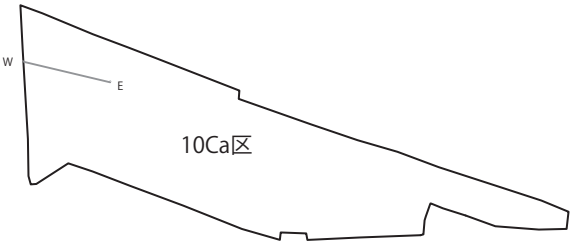
図 2-39　10Cc 区北壁・東壁土層断面図（1:100）

目次
終了

10Ca区ベルト土層断面図　1:100

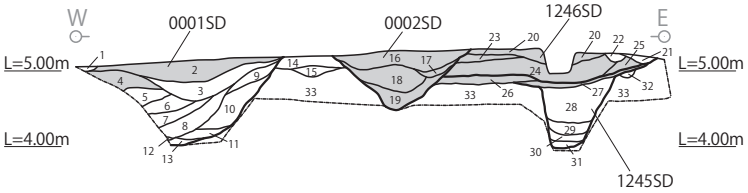
Ca区北西側東西ベルト(北面)

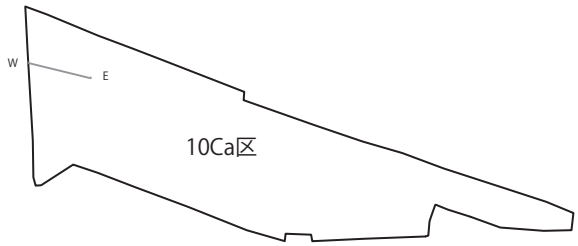




1,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト
2,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(0250SK)
3,　2.5Y4/6オリーブ褐色粘土質シルト
4,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト
5,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(0235SK)
6,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(0235SK)
7,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト(0208SK)
8,　5Y4/1灰色粘土質シルト(炭化物含む)(0525SK)
9,　5Y4/2灰オリーブ色極細粒砂(炭化物含む)(0525SK)
10,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト
11,　10YR4/4褐色粘土質シルト
12,　10YR5/4にぶい黄褐色極細粒砂(0002SD)
13,　2.5Y5/3黄褐色極細粒砂(1246SD)
14,　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト(1246SD)
15,　10YR5/4にぶい黄褐色極細粒砂(1246SD)
16,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト(1246SD)
17,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂と2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの斑土(1246SD)
18,　10YR4/4褐色粘土質シルト
19,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂と2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの斑土
20,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂と2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの互層
21,　2.5Y3/2黒褐色粘土質シルトと10Y4/3にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂の互層
22,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(1245SD)
23,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土(1245SD)
24,　5Y3/2オリーブ黒色シルト質粘土(1245SD)
25,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)
26,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)(0001SD)
27,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(0001SD)
28,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)(0001SD)
29,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(0001SD)
30,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト(0001SD)
31,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(0001SD)
32,　7.5Y4/1灰色シルト質粘土(0001SD)
33,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(1346SK)
34,　10YR5/6黄褐色粘土質シルト(2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土含む)(1346SK)
35,　2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土含む)(1346SK)
36,　2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土

Ca区北西側東西ベルト(南面)

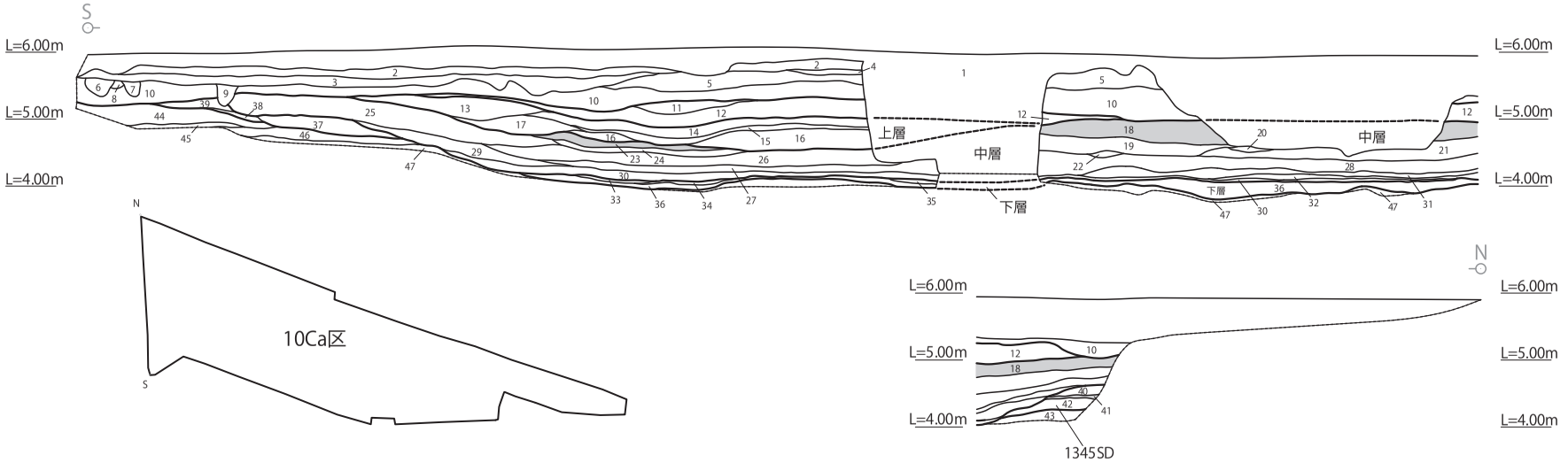




1,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルトと2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの斑土(0001SD)
2,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)(0001SD)
3,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(炭化物含む)(0001SD)
4,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)(0001SD)
5,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(0001SD)
6,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト(0001SD)
7,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト(0001SD)
8,　5Y4/2灰オリーブ色シルト質粘土(0001SD)
9,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(0001SD)
10,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土含む)(0001SD)
11,　5Y4/1灰色シルト質粘土(2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土含む)(0001SD)
12,　5Y4/1灰色シルト質粘土(0001SD)
13,　7.5Y4/1灰色シルト質粘土(0001SD)
14,　2.5Y4/6オリーブ褐色粘土質シルト
15,　10YR5/6黄褐色粘土質シルト
16,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂の斑土(0002SD)
17,　10YR4/4褐色極細粒砂(0002SD)
18,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂と2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの斑土(0002SD)
19,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂と2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの互層(0002SD)
20,　2.5Y5/3黄褐色極細粒砂(1246SD)
21,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト(1246SD)
22,　2.5Y4/6オリーブ褐色粘土質シルト(1246SD)
23,　2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂(1246SD)
24,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂と2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの斑土(1246SD)
25,　2.5Y3/2黒褐色粘土質シルトと10Y4/3にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂の互層(1246SD)
26,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂と2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの斑土
27,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂と2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの互層(1245SD)
28,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(炭化物含む)(1245SD)
29,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土(1245SD)
30,　5Y3/2オリーブ黒色シルト質粘土(1245SD)
31,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(1245SD)
32,　2.5Y4/6オリーブ褐色粘土質シルト
33,　2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土

図 2-40　10Ca 区ベルト南面土層断面図（1:100）

10Ca区西壁土層断面図　1:100



1,　現代表土・撹乱
2,　7.5Y4/1灰色粘土質シルト
3,　10YR5/6黄褐色粘土質シルト（耕作土）
4,　10YR5/6黄褐色粘土質シルト（耕作土）
5,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト（耕作土）
6,　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト
7,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
8,　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト
9,　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト
10,　10YR4/4褐色粘土質シルト
11,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト含む）
12,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルトと2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトの斑土
13,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（0001SD上層）
14,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（0001SD上層）
15,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト（0001SD上層）
16,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（0001SD上層）
17,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（0001SD上層）
18,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む）（0001SD中層）
19,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（炭化物含む）（0001SD中層）
20,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（0001SD中層）
21,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物含む）（0001SD中層）
22,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（0001SD中層）
23,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂少量含む、炭化物含む、土器多量含む）（0001SD中層）
24,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（炭化物多量含む、土器多量含む）（0001SD中層）
25,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（炭化物含む、土器細片含む）（0001SD中層）
26,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（0001SD中層）
27,　5Y4/3暗オリーブ色粘土質シルト（0001SD中層）
28,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト（0001SD中層）
29,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（0001SD中層）
30,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト（0001SD中層）
31,　炭化物層（5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト含む）（0001SD中層）
32,　5Y4/1灰色シルト質粘土（炭化物含む、土器細片含む）（0001SD中層）
33,　5Y4/1灰色シルト質粘土（2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土含む）（0001SD下層）
34,　2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土（5Y4/1灰色シルト質粘土含む）（0001SD下層）
35,　5Y4/2灰オリーブ色シルト質粘土（0001SD下層）
36,　5Y4/1灰色シルト質粘土（0001SD下層）
37,　5Y4/1灰色シルト質粘土（2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土含む）（0001SD下層）
38,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土含む）（0001SD下層）
39,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（0001SD最下層）
40,　2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト（1345SD）
41,　2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む）（1345SD）
42,　2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト（1345SD）
43,　2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土（5Y4/1灰色シルト質粘土含む）
44,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
45,　2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土
46,　2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト
47,　2.5Y5/4オリーブ褐色シルト質粘土

図 2-41　10Ca 区西壁（0001SD）土層断面図（1:100）

目次
終了

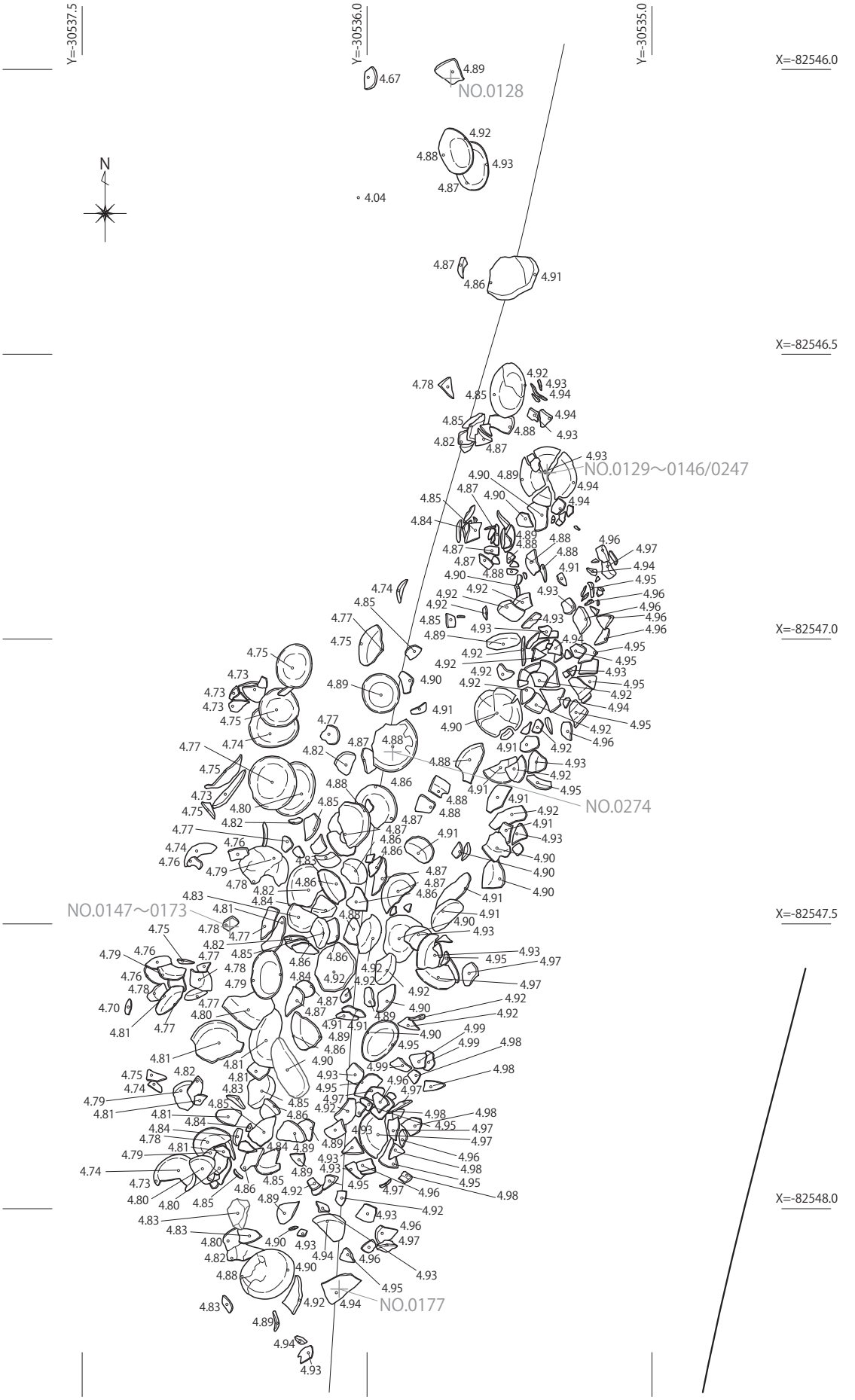


図 2-42　10Ca 区 0001SD 中層遺物出土状況（1:10）

10Ca-0001SD-1

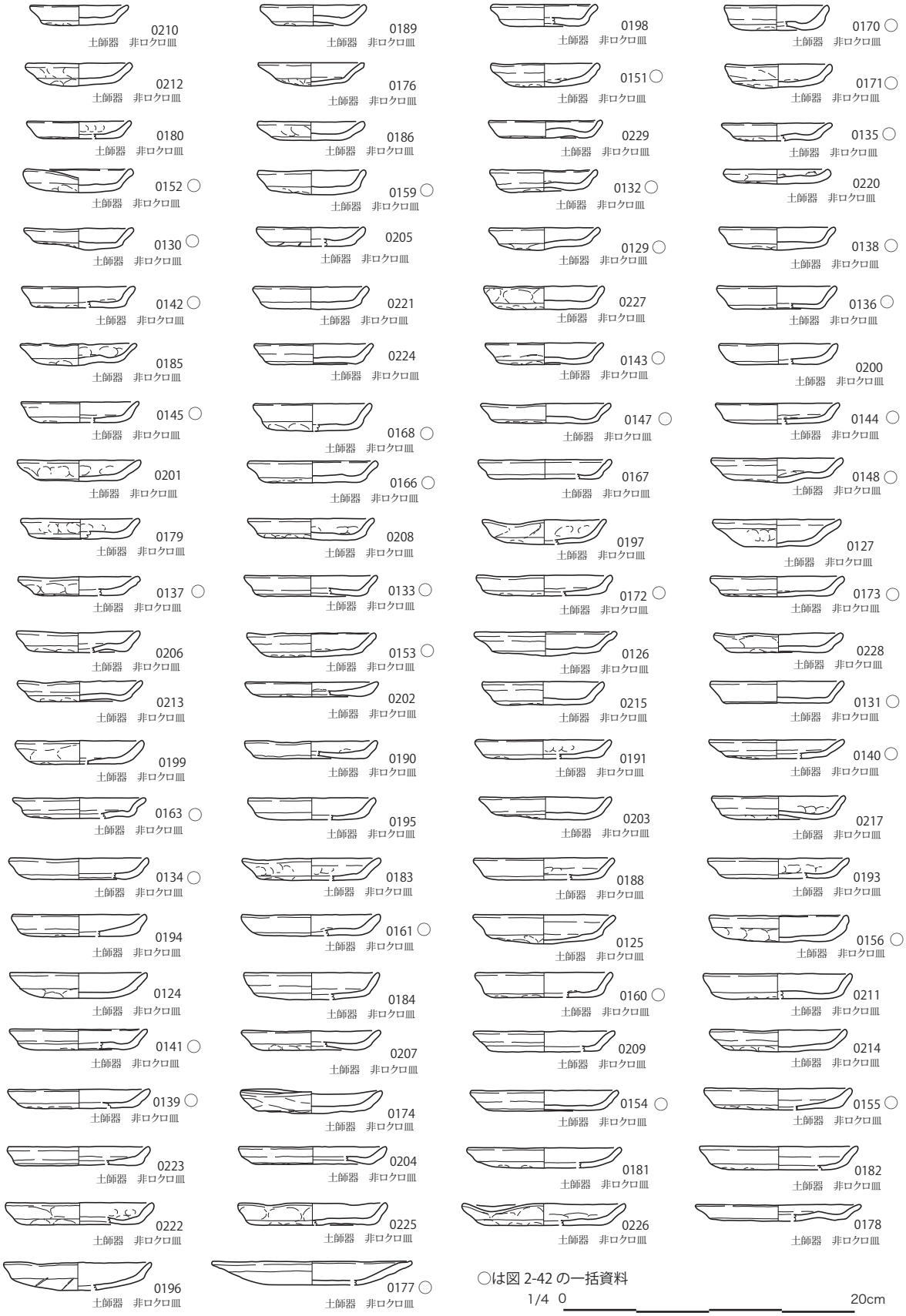
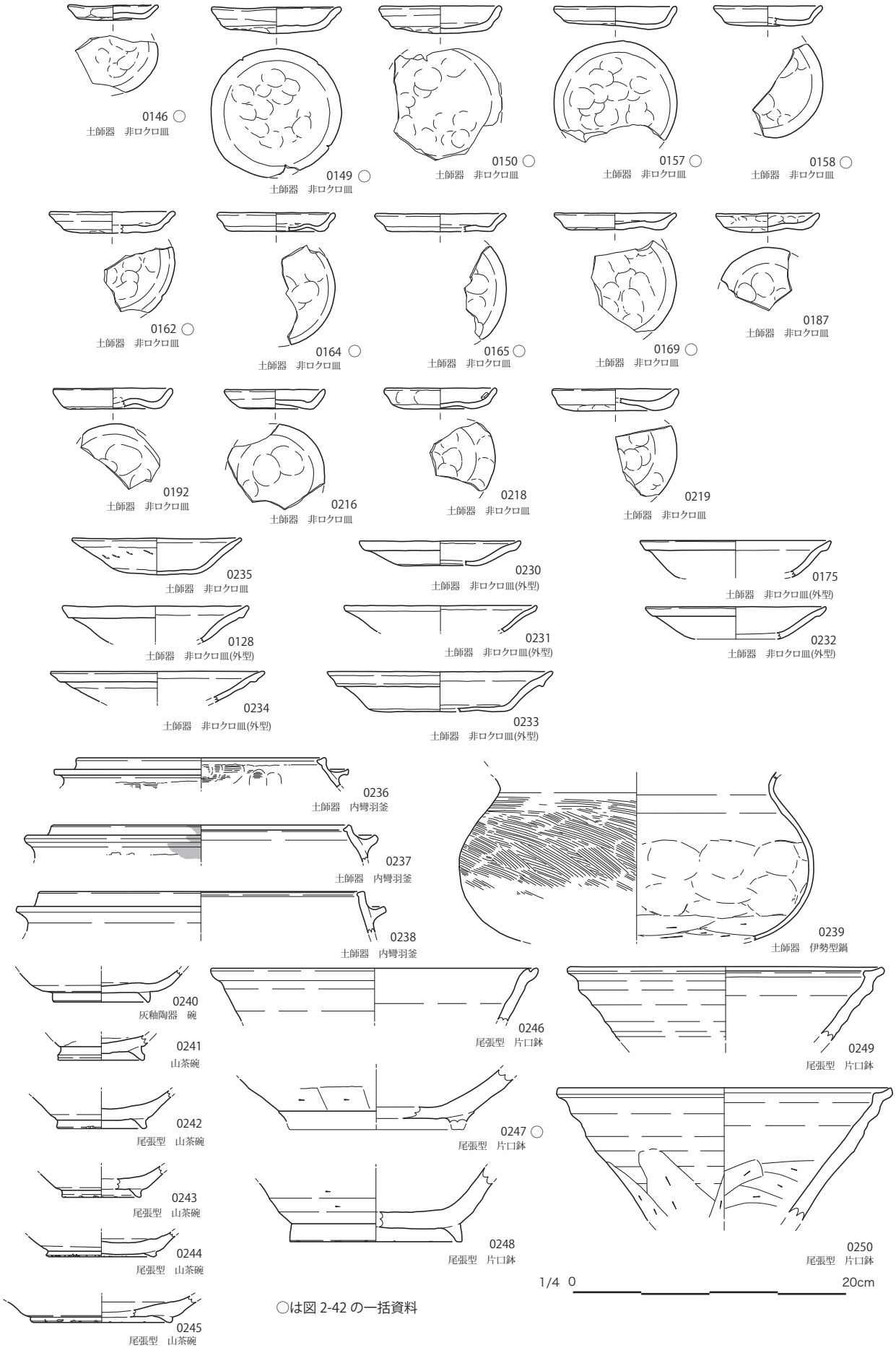


図 2-43　10Ca 区 0001SD 出土遺物実測図 -1（1:4）

10Ca-0001SD-2



○は図 2-42 の一括資料

図 2-44　10Ca 区 0001SD 出土遺物実測図 -2（1:4）

10Ca-0001SD-3

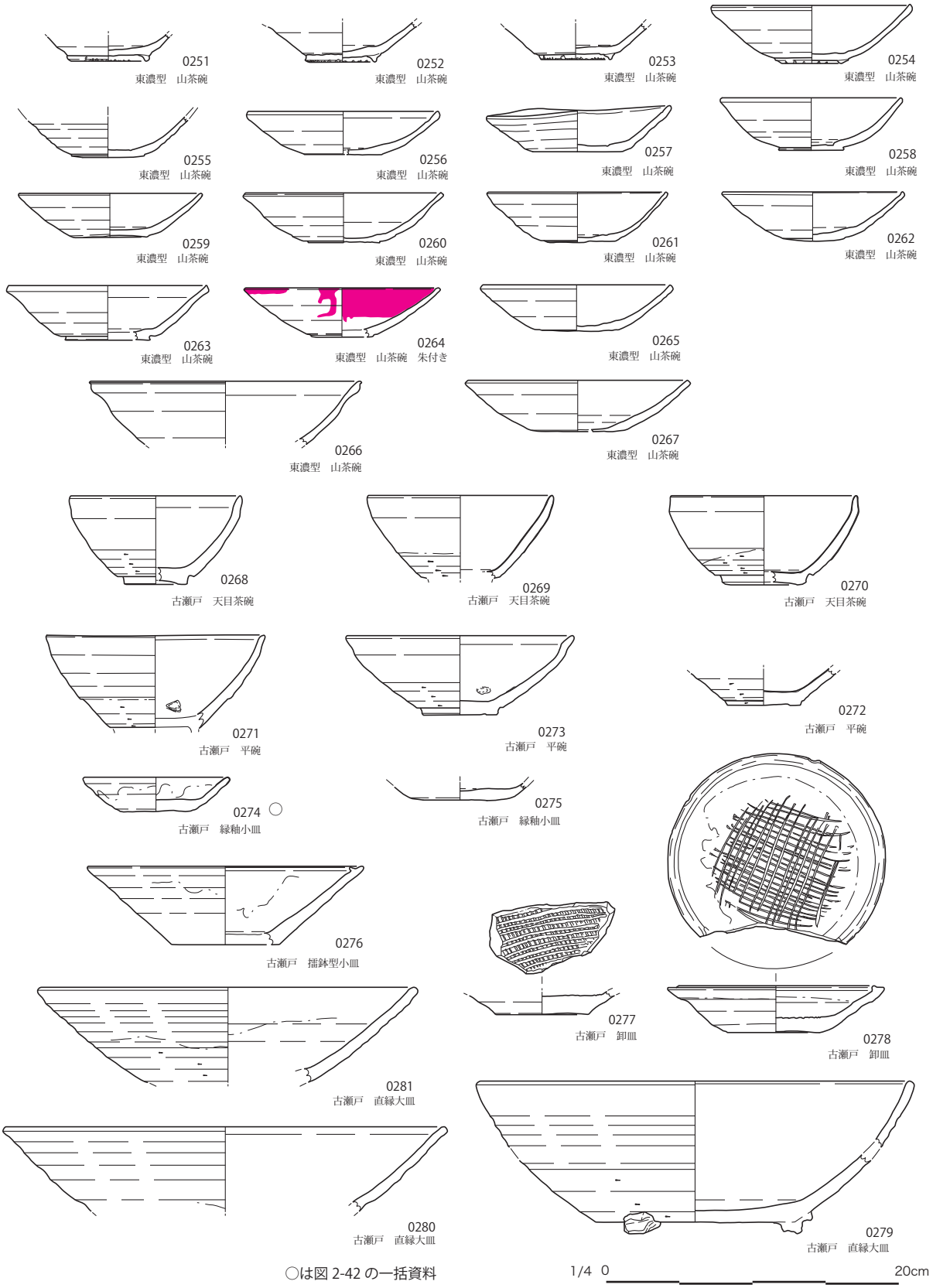


図 2-45　10Ca 区 0001SD 出土遺物実測図 -3（1:4）

10Ca-0001SD-4

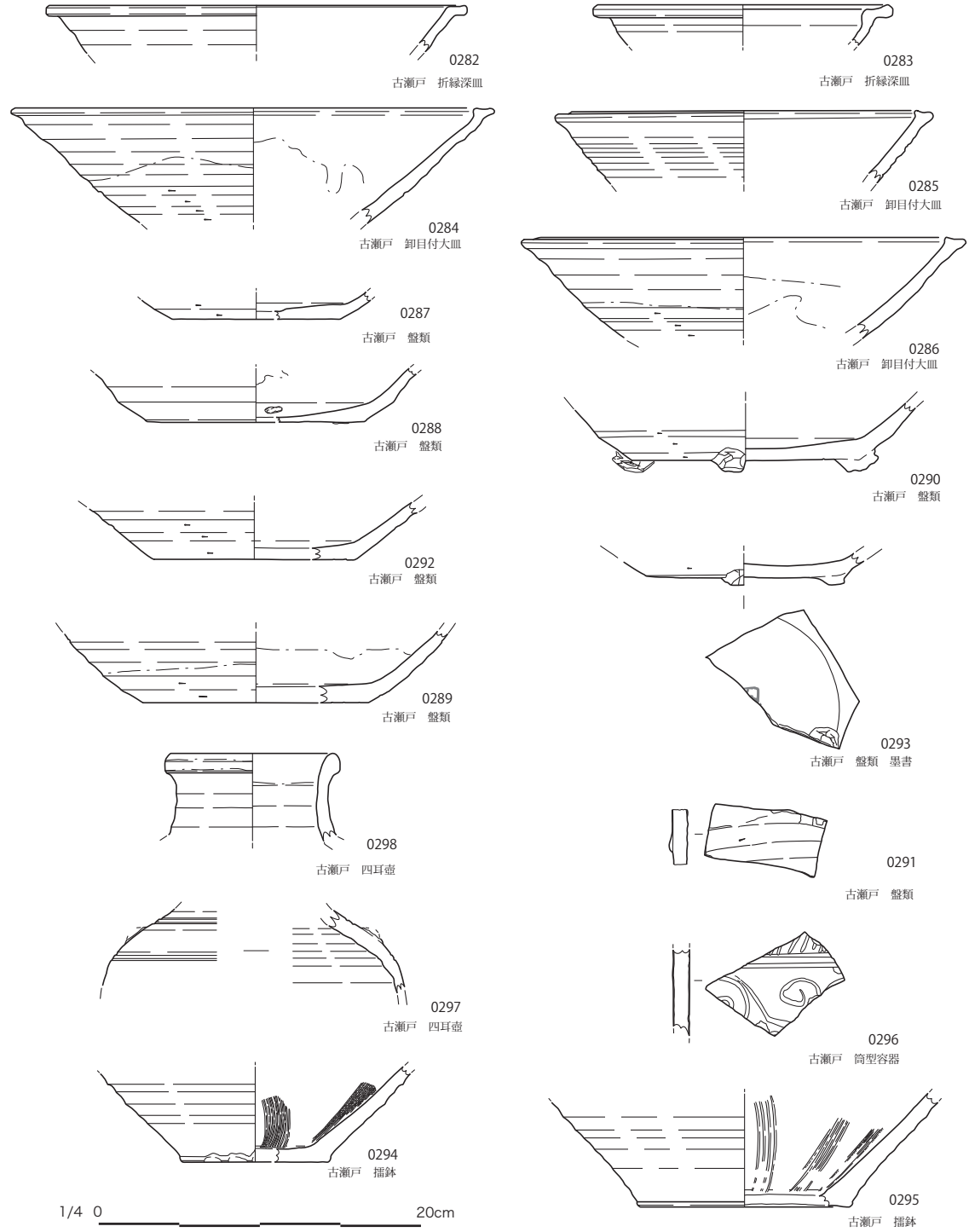


図 2-46　10Ca 区 0001SD 出土遺物実測図 -4（1:4）

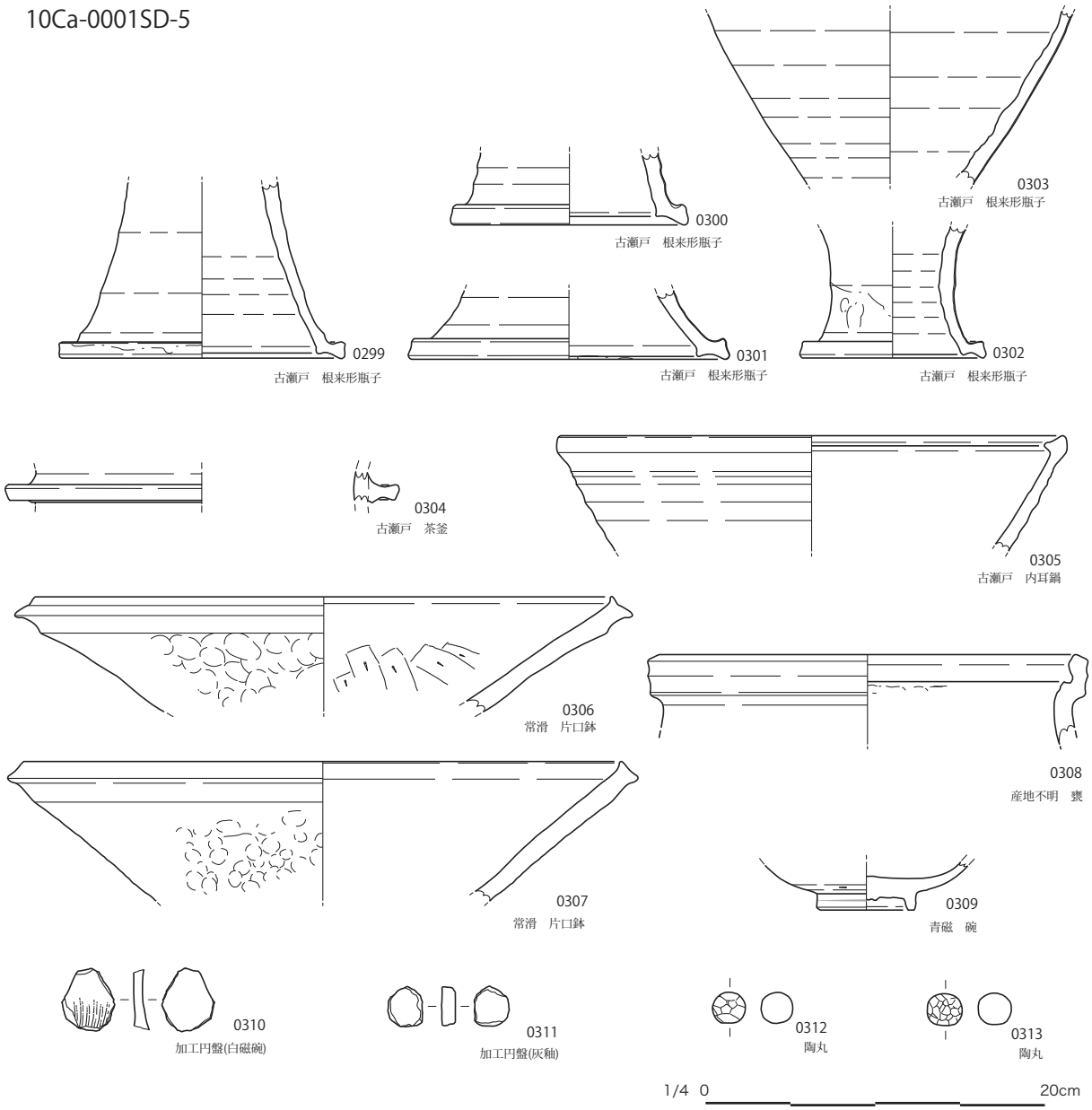


図 2-47　10Ca 区 0001SD 出土遺物実測図 -5（1:4）

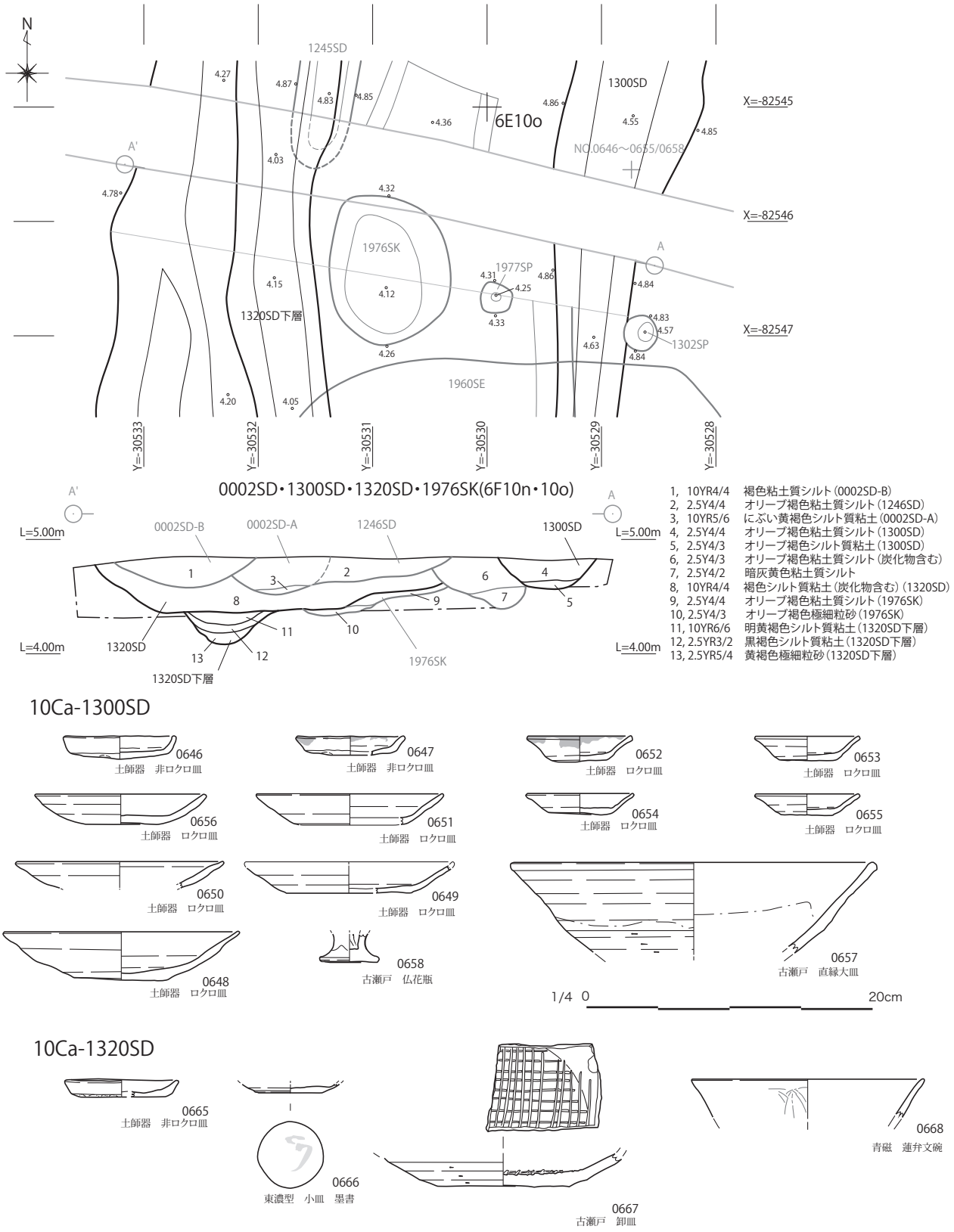


図 2-48　10Ca 区 1300・1320SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

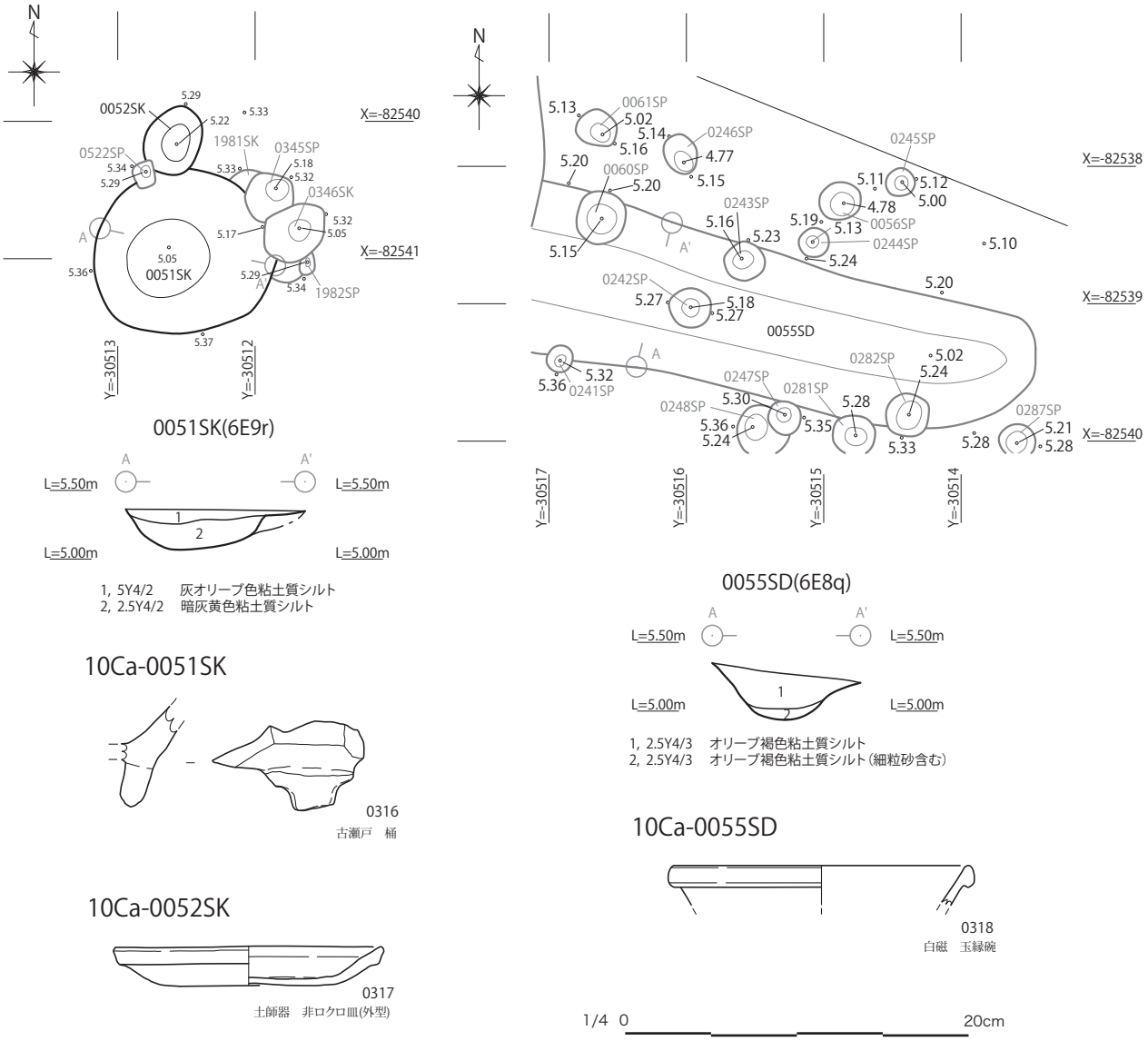


図 2-49　10Ca 区 0051・0052SK/0055SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

期（古瀬戸後Ⅲ期～後Ⅳ期古段階）に属することから、消極的ではあるが、掘削されたのは 15 世紀第 1 四半期以前と考えられる。前述の井戸 1969SE の掘り方と重複しない点においても矛盾はないと考える。

この 0001SD 下層は、北でやや方向を異にする溝 1345SD に接続しているが、再掘削（中層）時には、この 2 本の溝を 1 本の溝として掘り直している。0001SD 上層からは、尾張型 10 型式の片口鉢が出土していることから、15 世紀第 3～第 4 四半期には埋没したと考えられる。

10Cb・Cc 区の 1027SD は、すぐ東に接する 1028SD に切られる幅 1.5m 以上、深さは検出面から約 0.7m を測る断面が V 字状の南北溝である（図 2-69）。この溝からは 12 世紀第 4 四半期～ 14 世紀第 3 四半期（尾張型 5･6 型式の山茶碗、明和～大畑大洞新の東濃型小皿・山茶碗）の遺物が出土している（図 2-70）。10Ca 区 0001SD

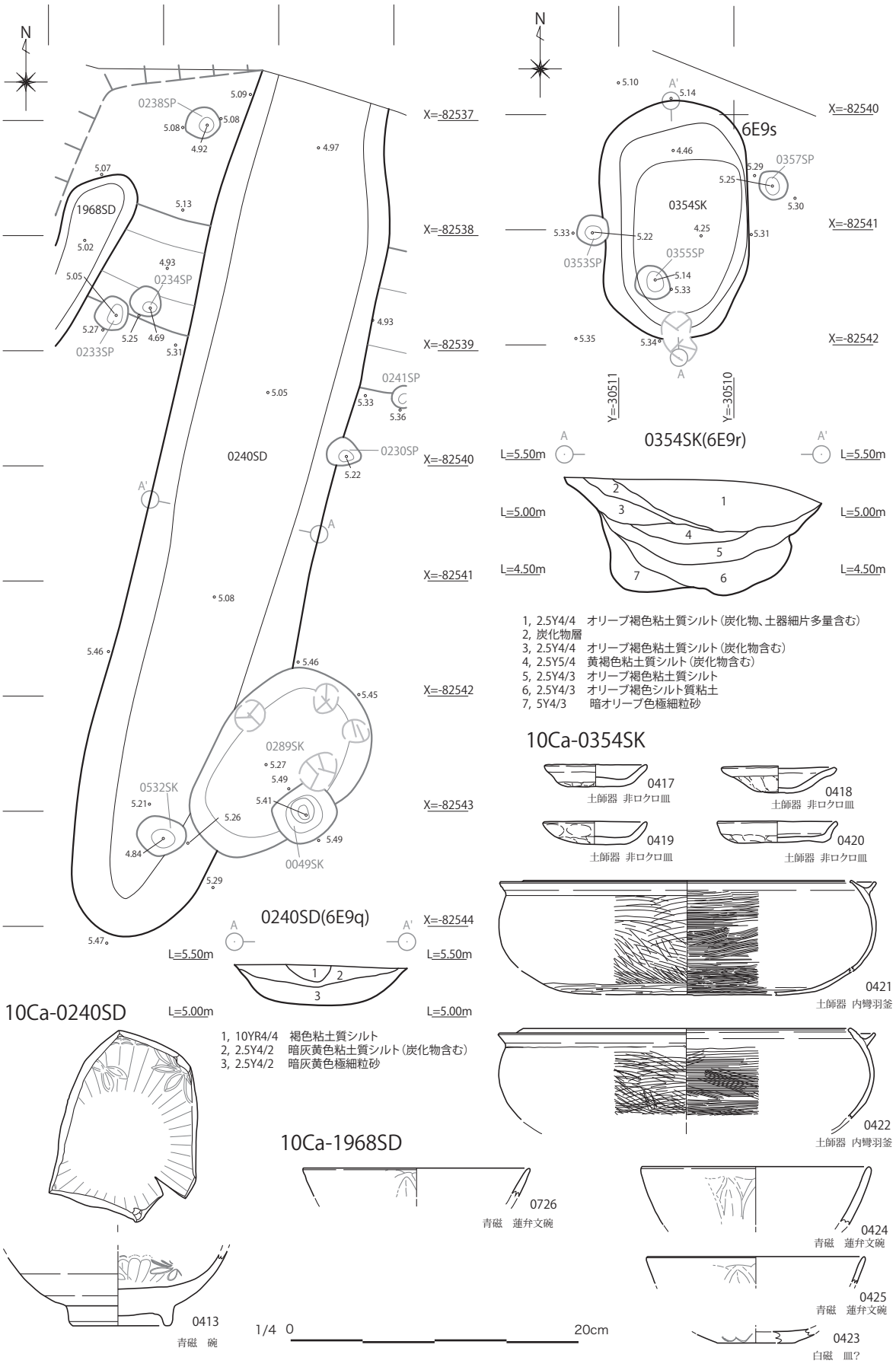


図 2-50 10Ca 区 0240・1968SD/0354SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

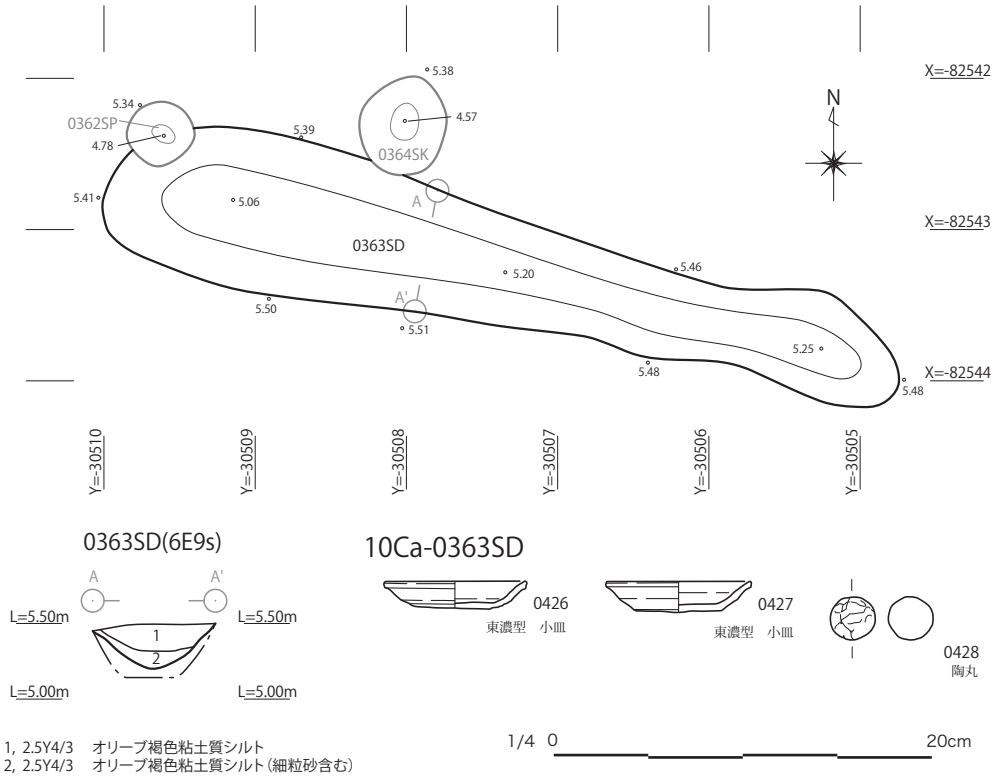


図 2-51　10Ca 区 0363SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

よりもやや小規模だが、この間が約 107m（約 1 町）ことや、10Ca 区西半部を中心に多数の柱穴が認められることから、1 町四方の方形区画（屋敷地）の外郭をなす溝であったと考えられる。この 1027SD は、14 世紀第 4 四半期以降の遺物を含んでいないことから、10Ca 区 0001SD の掘削時期も 14 世紀第 3 四半期まで溯る可能性がある。1027SD は 15 世紀第 2 四半期以降、1029SD → 1028SD と変遷する。

このほか、10Cb 区の東西溝 0111SD も当該期に属する可能性がある。この 0111SD は、15 世紀第 2 四半期の遺物を含む土坑 0110SK に切られる。

15 世紀第 2 四半期には、10Ca・Cb・Cc 区の東西両端にある外郭の南北溝が更新される。まず 10Ca 区では、西端の大溝 0001SD が再掘削される。次いで井戸 1960SE が廃絶し、その上に 1320SD 下層と 1245SD が新たに掘削される。この 2 本の溝はいずれも幅 1m 以下、深さ 0.5m 以下の規模だが、前段階の 0001SD と 1345SD と同様に、若干重複しながらも、一続きの溝として 10Ca 区を南北に貫いている。

この地区では 1320SD 下層・1245SD に続いて、1320･1347SD → 1246･1300SD → 0002SD-A･B、というように、15 世紀第 4 四半期まで溝の再掘削が続く（図 2-40・48）。これらはいずれも 1 本の溝を長く掘るのではなく、全長 5 ～ 15m 程度の溝を少しずつ重複させながらつなげて掘削しているのが特徴である。こういった溝の掘削方法は、後述する 10Da 区の東西溝にも認められる。

10Cb・Cc 区では 1027SD に続いて 15 世紀第 2 四半期には 1029SD → 1028SD、さらに 15 世紀第 3 ～第 4 四半期には 0129･0130SD と続く。そして、おそらく 1029SD が機能していた時期に井戸 1108SE が掘削されている。1108SE は桶組みの井戸で、タガで締めた桶を 3 段分確認し

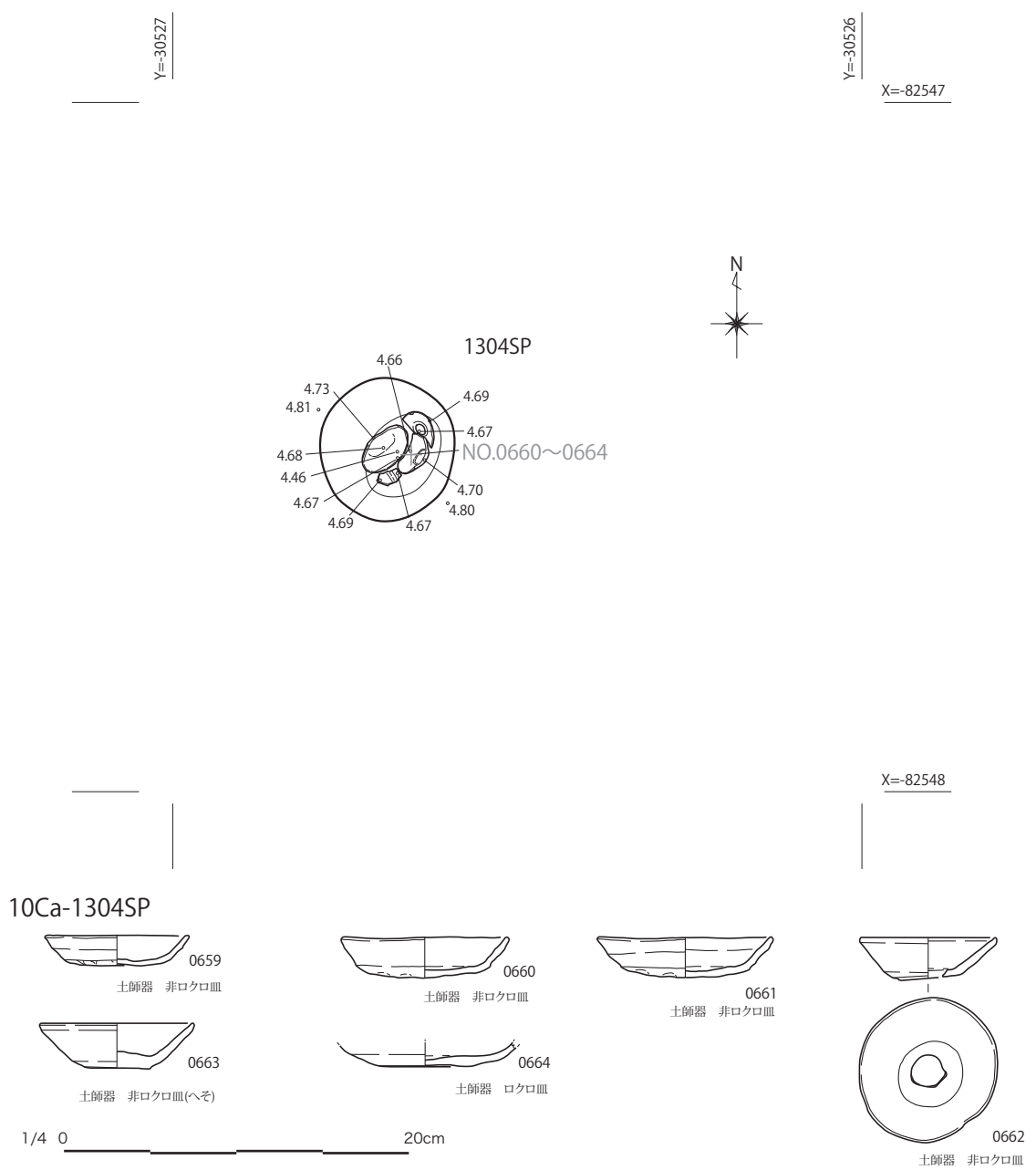
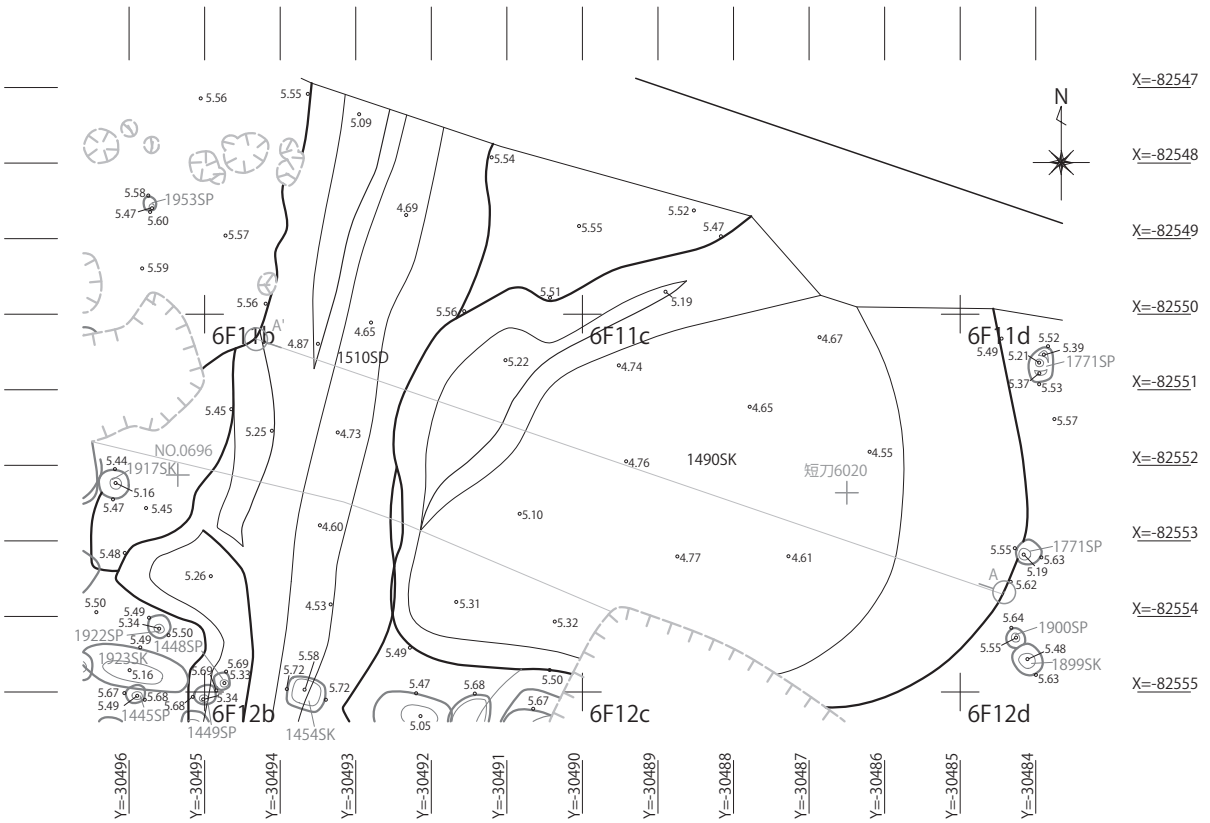
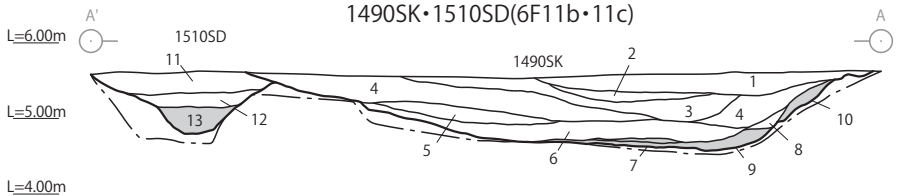


図 2-52　10Ca 区 1304SP 遺構図（1:10）・同出土遺物実測図（1:4）

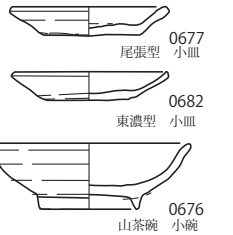
たが、土層断面図（図 2-76）をみる限り、さらにもう 1・2 段分上の桶板が抜き取られている。桶板そのものは、1 段目と 3 段目がわずかに湾曲した幅 8 ～ 15cm ほどのヒノキ・コウヤマキ・スギの板で、2 段目のみは幅 20cm、厚さ 4cm ほどの平坦な板で、両側面に長方形のほぞ穴を開け、栓で留めて結合している。このタイプの桶板のみ、樹種はすべてスギで、表面に鋸で挽いた痕跡か、さらにその後チョウナではつった痕が認められ、下端には釘が残っている例もわずかながら存在する。クサビはスギとヒノキを用いる（図 2-80 ～ 85）。

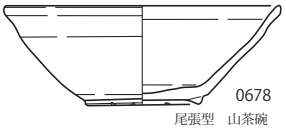


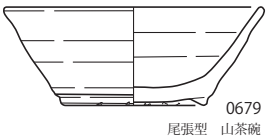


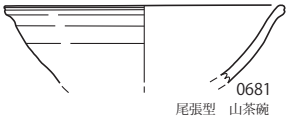
1, 10YR4/4 褐色粘土質シルト（炭化物含む）（1490SK）
2, 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト（1490SK）
3, 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト（炭化物多量含む）（1490SK）
4, 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト（炭化物含む）（1490SK）
5, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト（1490SK）
6, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト（2.5Y5/4 黄褐色シルト質粘土、ブロック含む）（1490SK）
7, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/4 黄褐色細粒砂含む）（1490SK）
8, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト（1490SK）
9, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト（2.5Y5/4 黄褐色シルト質粘土、ブロック含む、2.5Y5/4 黄褐色細粒砂含む）（1490SK）
10, 2.5Y5/4 黄褐色細粒砂（2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト含む）（1490SK）
11, 10YR4/6 褐色粘土質シルト（1510SD）
12, 10YR4/4 褐色粘土質シルト（1510SD）
13, 10YR4/4 褐色粘土質シルト（2.5Y5/4 黄褐色極細粒砂含む）（1510SD）

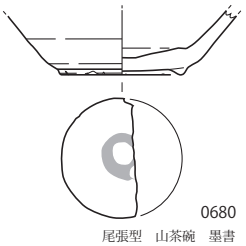
10Ca-1490SK



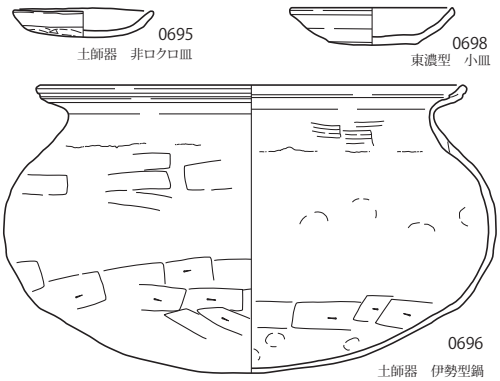


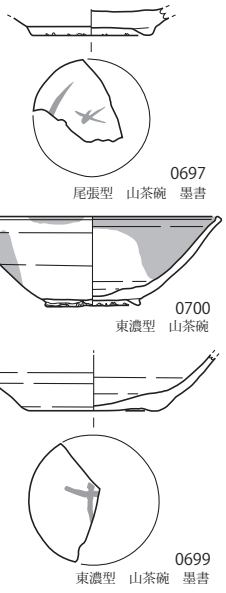


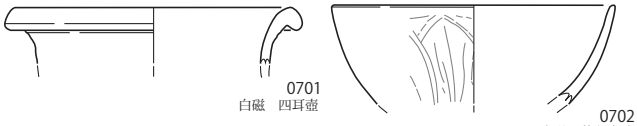




10Ca-1510SD

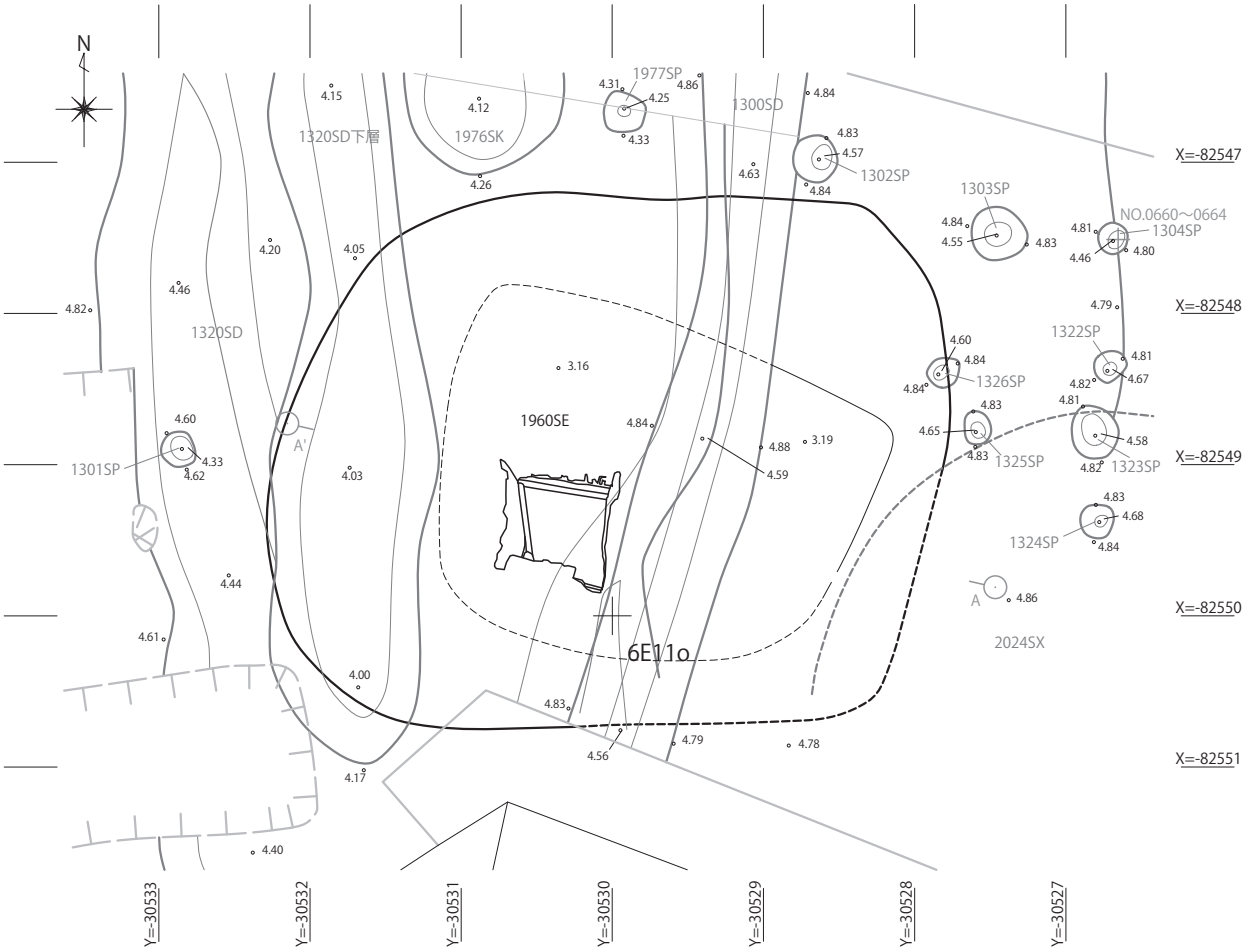






1/4 0 20cm

図 2-53 10Ca 区 1490SK・1510SD 遺構図（1:100）・同出土遺物実測図（1:4）





1, 5Y4/2　灰オリーブ色シルト質粘土（枠内上層）
2, 7.5Y3/1　オリーブ黒色粘土（枠内下層）
3, 5Y4/2　灰オリーブ色シルト質粘土と5Y5/2　灰オリーブ色シルト質粘土の斑土（掘り方）
4, 2.5Y4/3　オリーブ褐色シルト質粘土と2.5Y5/6　黄褐色シルト質粘土の斑土（別遺構か）
5, 2.5Y4/6　オリーブ褐色粘土質シルトと2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルトの斑土（抜き取り）
6, 2.5Y5/6　黄褐色極細粒砂

10Ca-1960SE

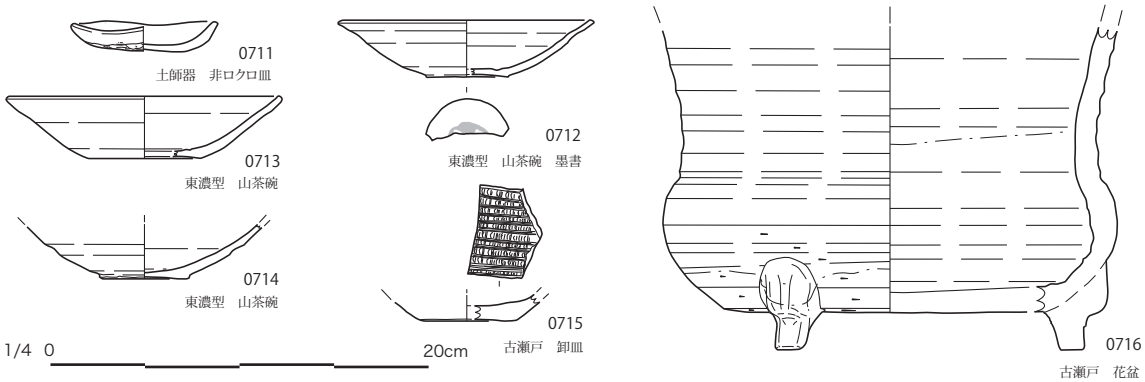
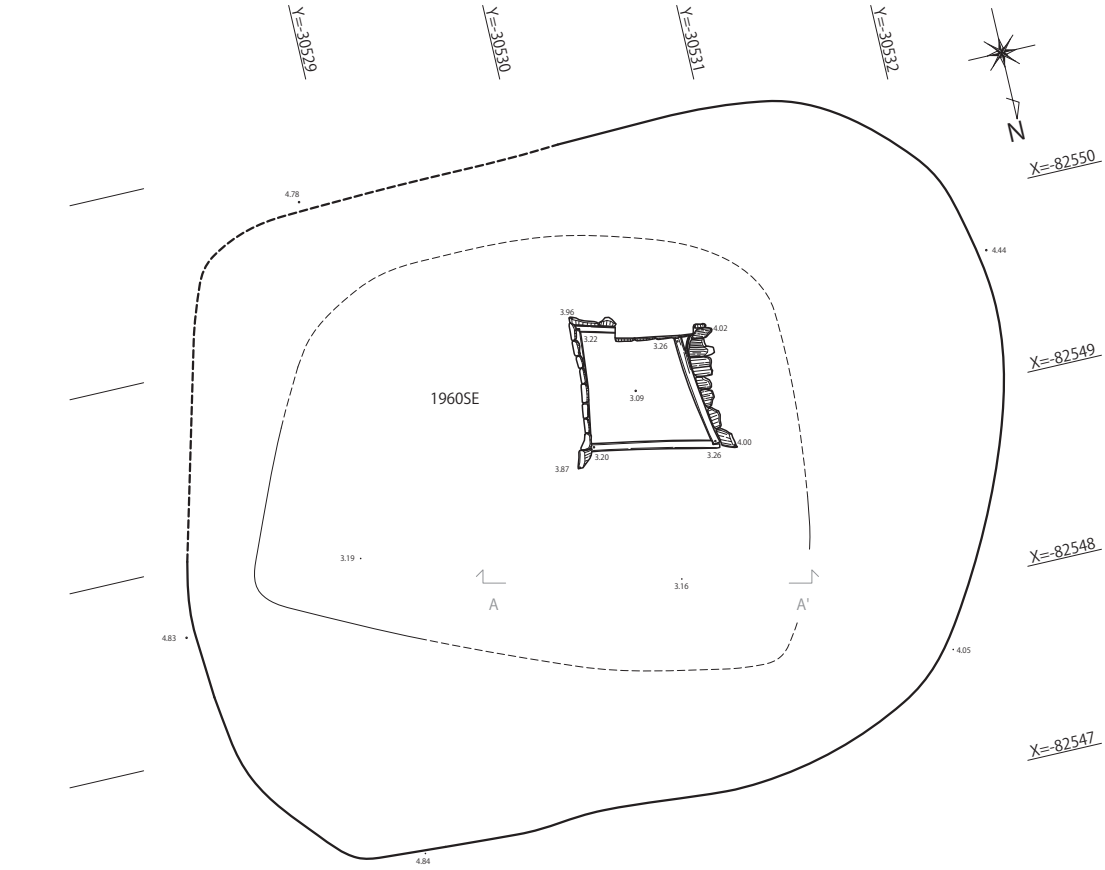
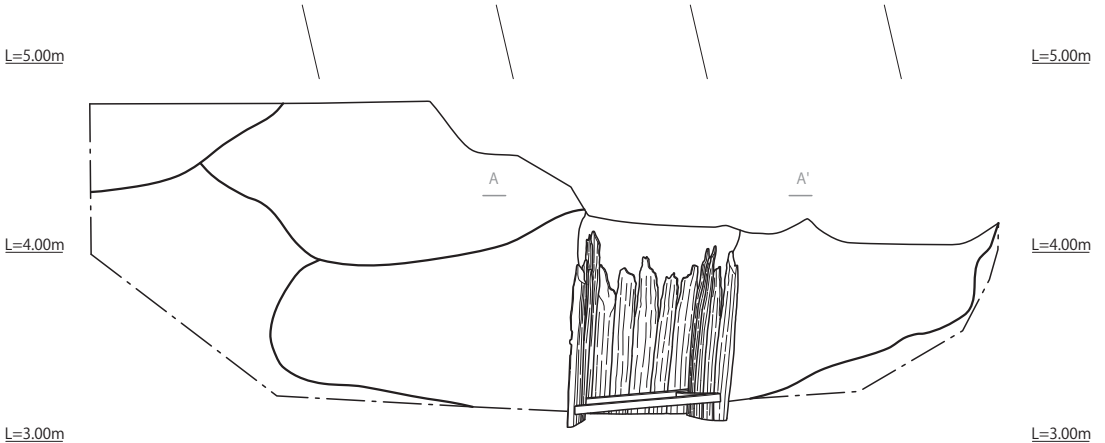
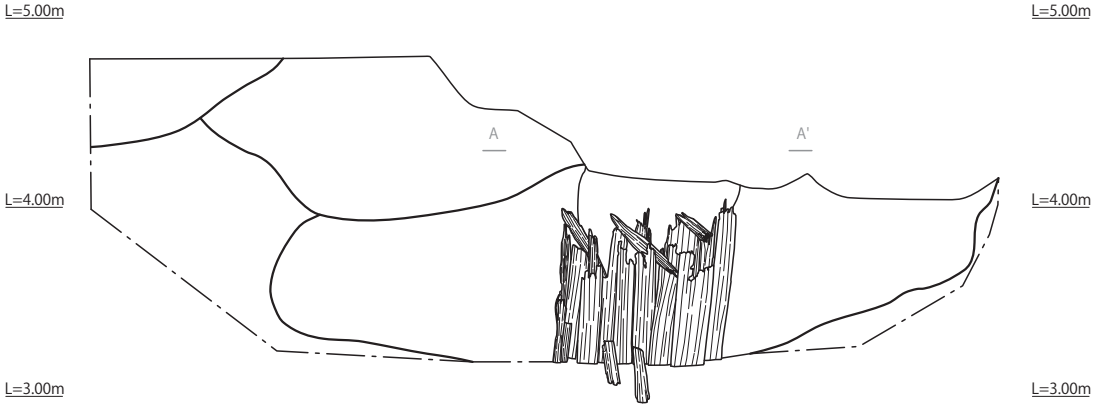


図 2-54　10Ca 区 1960SE 遺構図 -1（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）





1960SE 井戸枠内面



1960SE 井戸枠外面

図 2- 55　10Ca 区 1960SE 遺構図 -2（1:40）

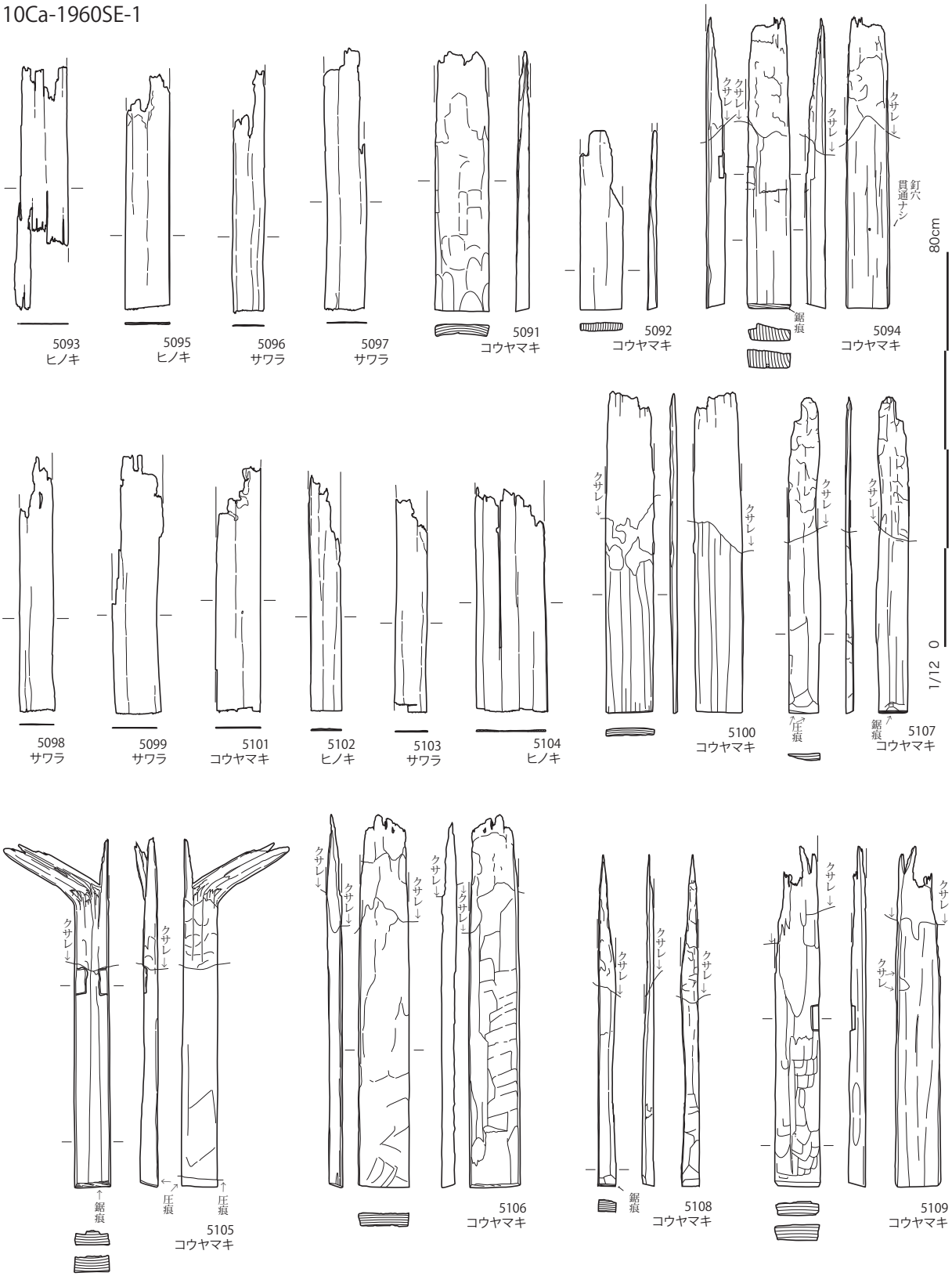


図 2-56　10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -1（1:12）

10Ca-1960SE-2

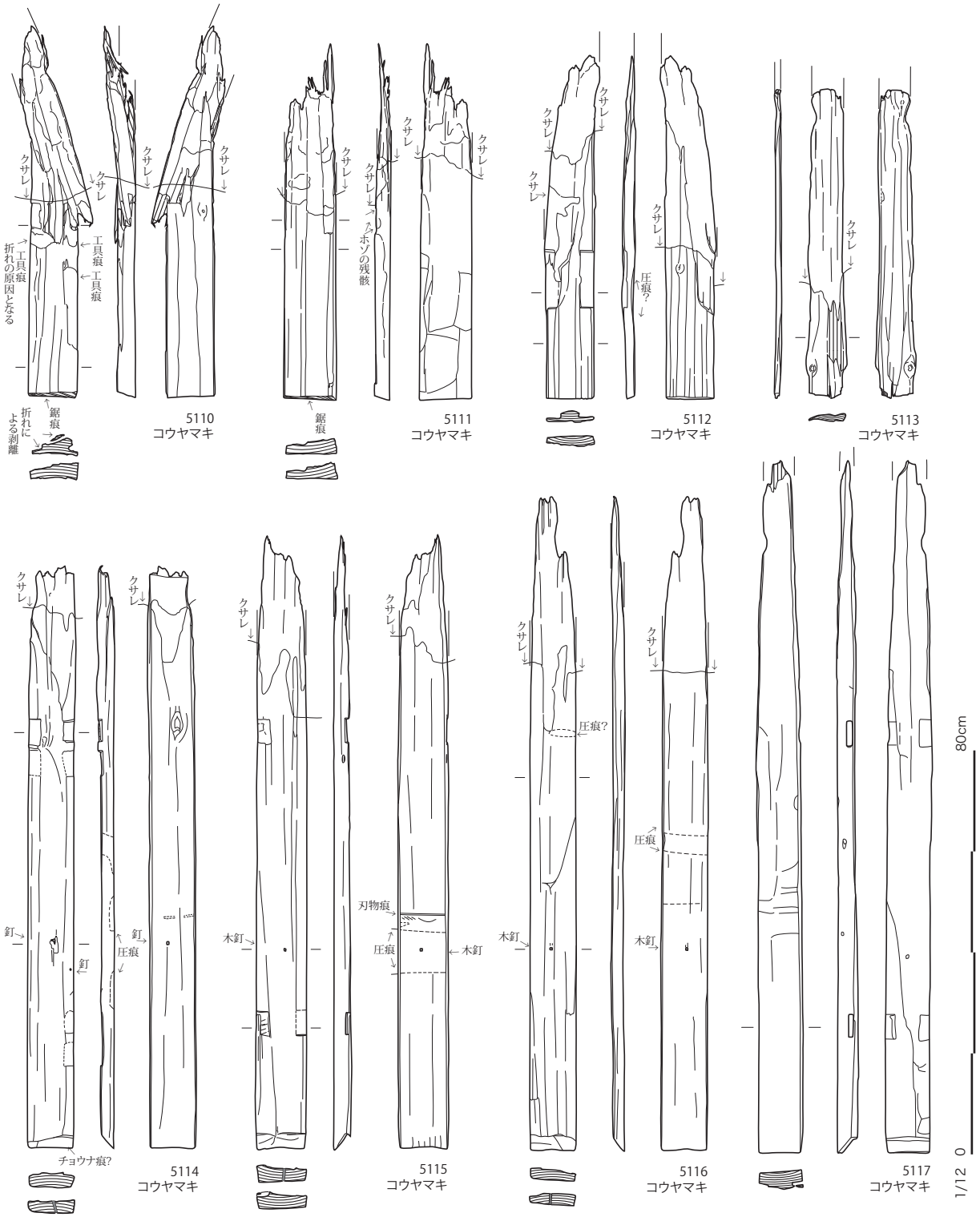


図 2-57　10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -2（1:12）

10Ca-1960SE-3

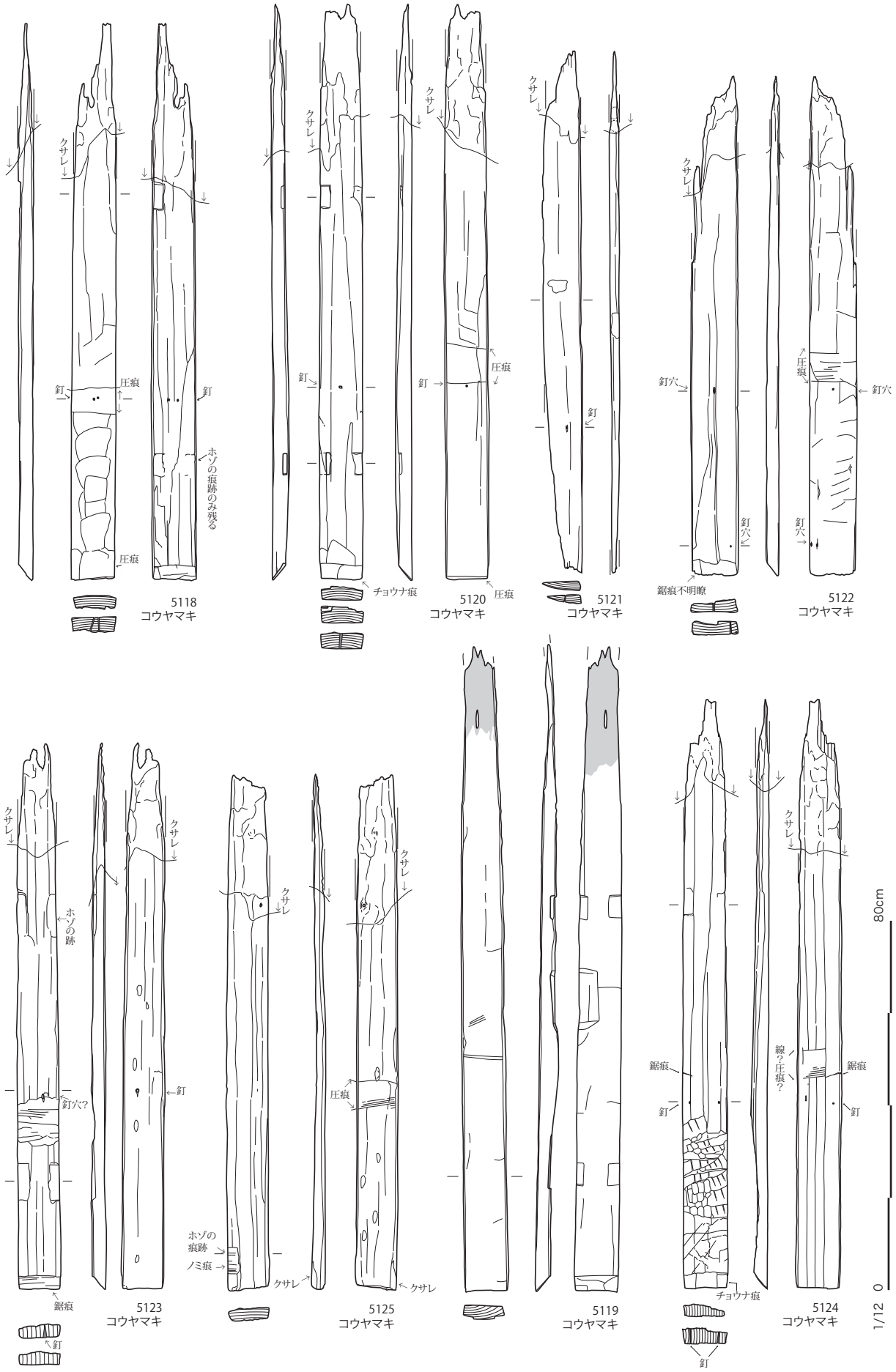


図 2-58　10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -3（1:12）

10Ca-1960SE-4

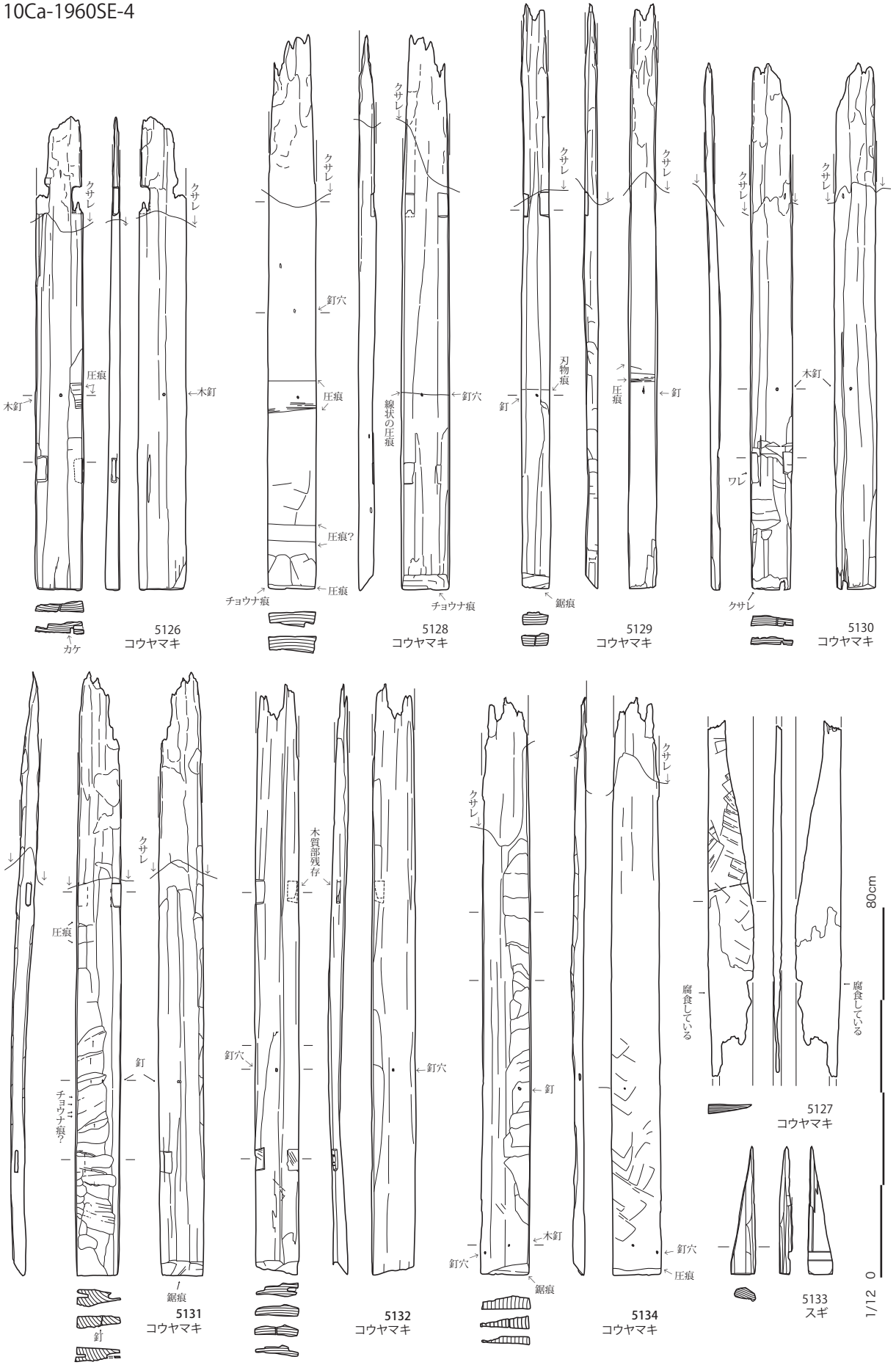


図 2-59　10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -4（1:12）

10Ca-1960SE-5

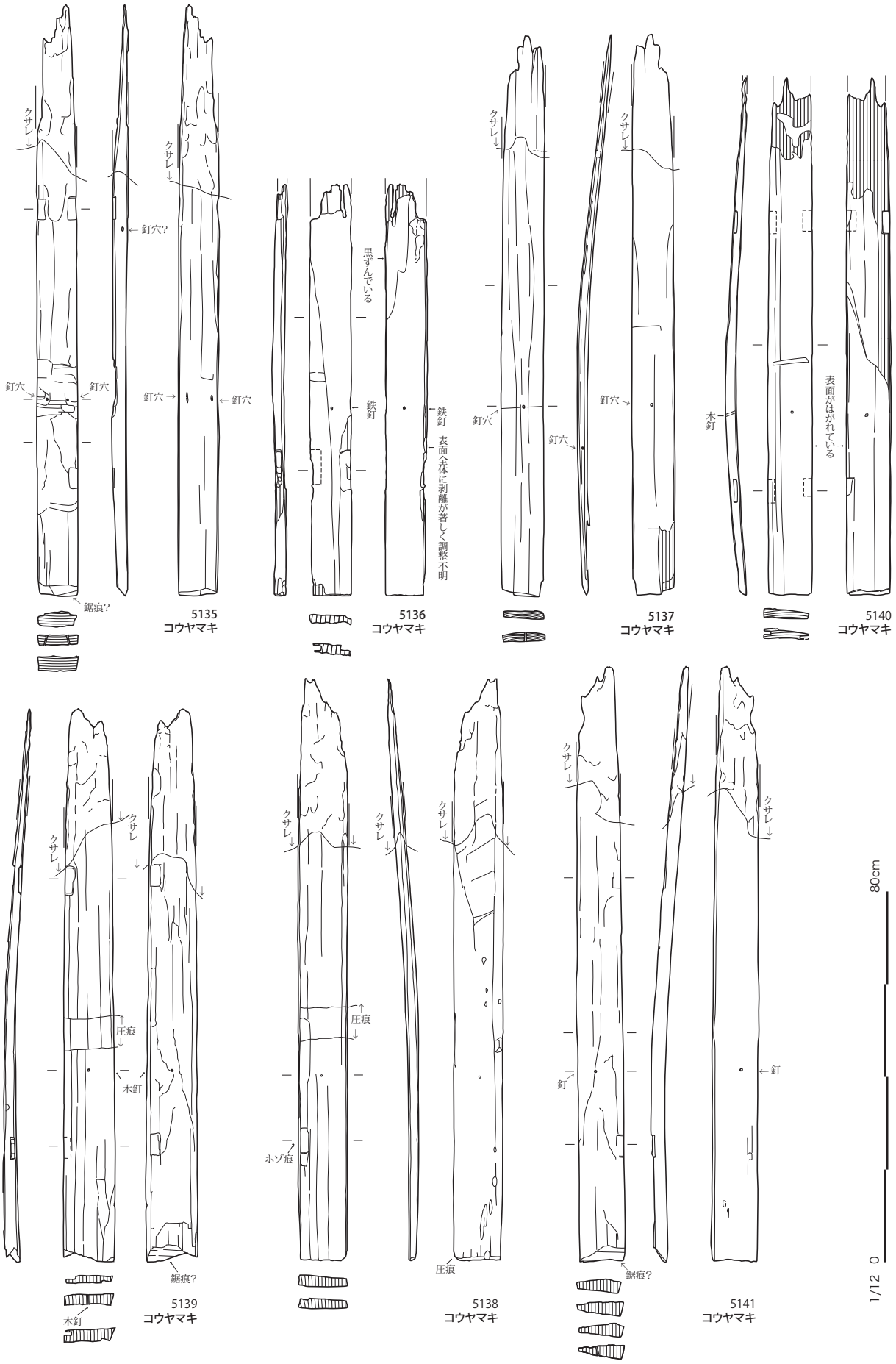


図 2-60　10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -5（1:12）

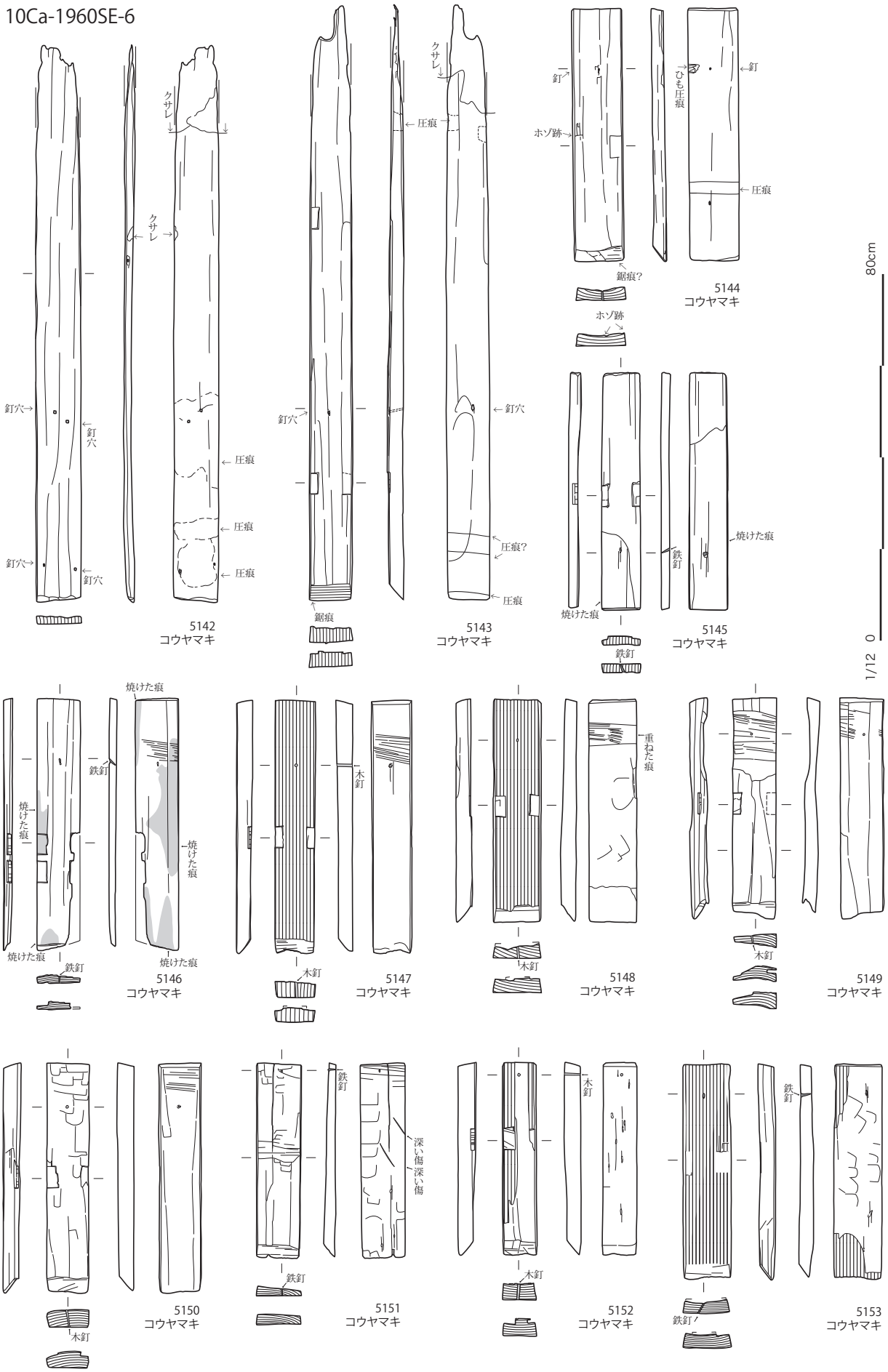


図 2-61　10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -6（1:12）

10Ca-1960SE-7

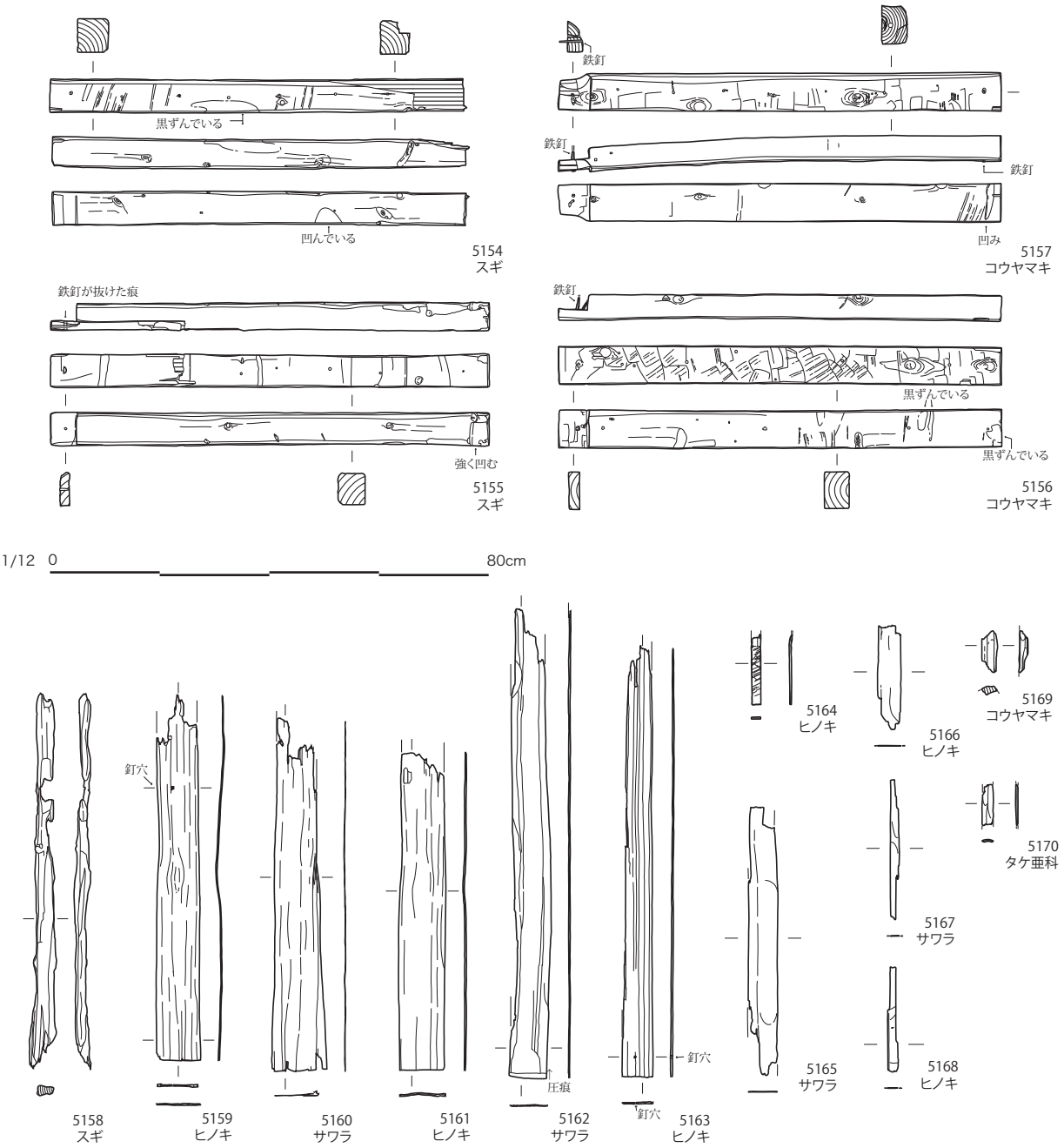
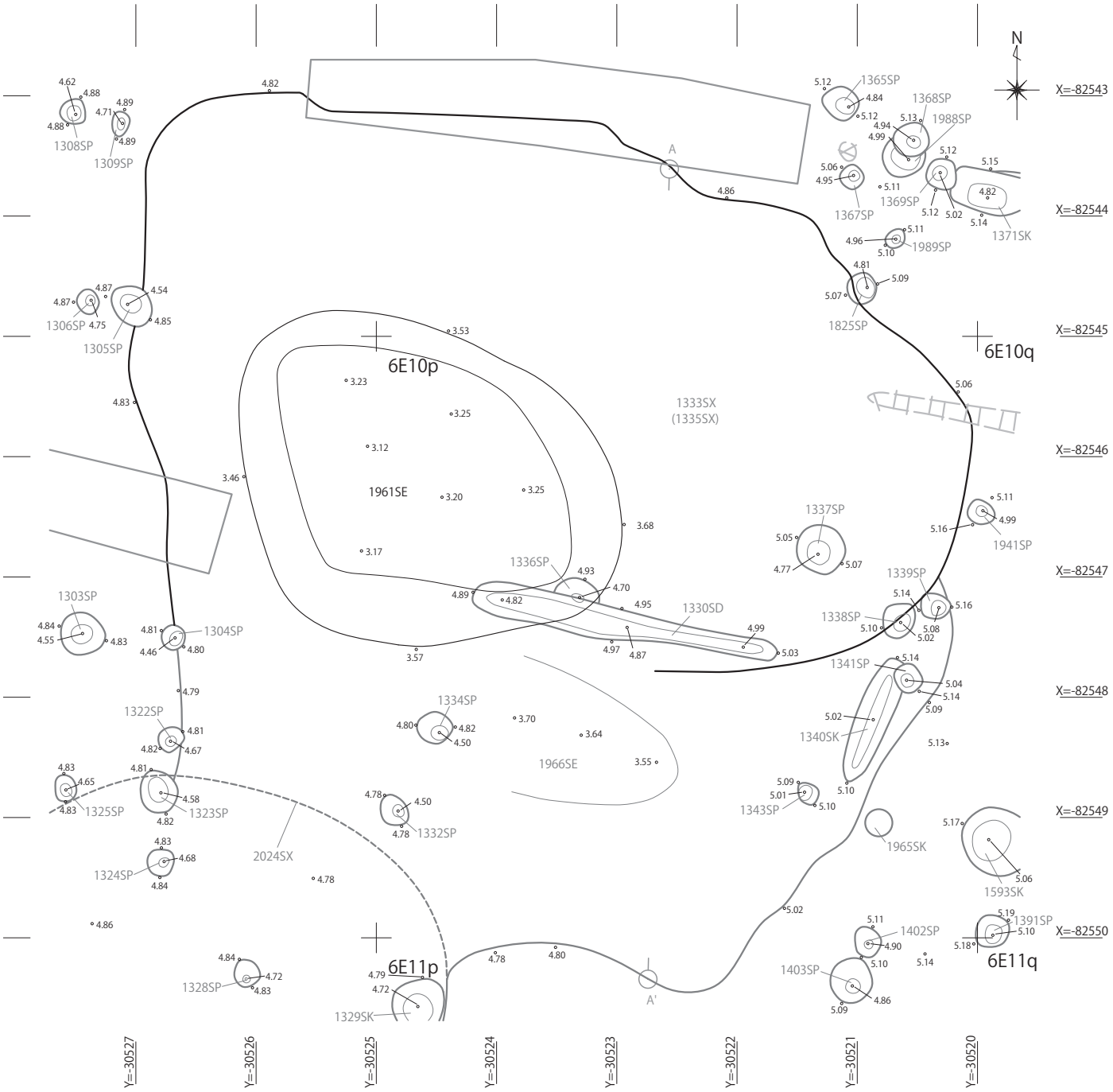
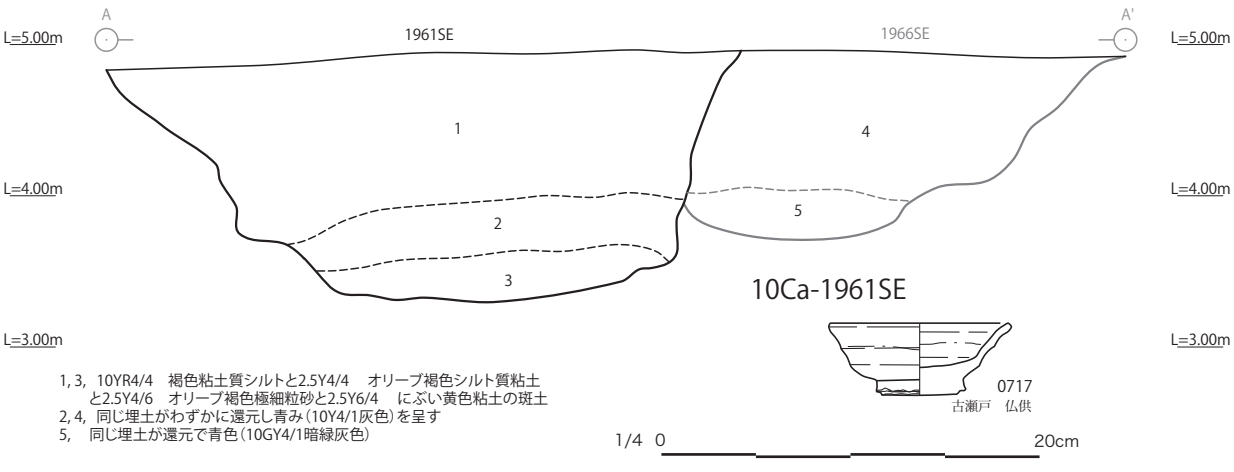


図 2-62　10Ca 区 1960SE 出土井戸枠材実測図 -7（1:12）

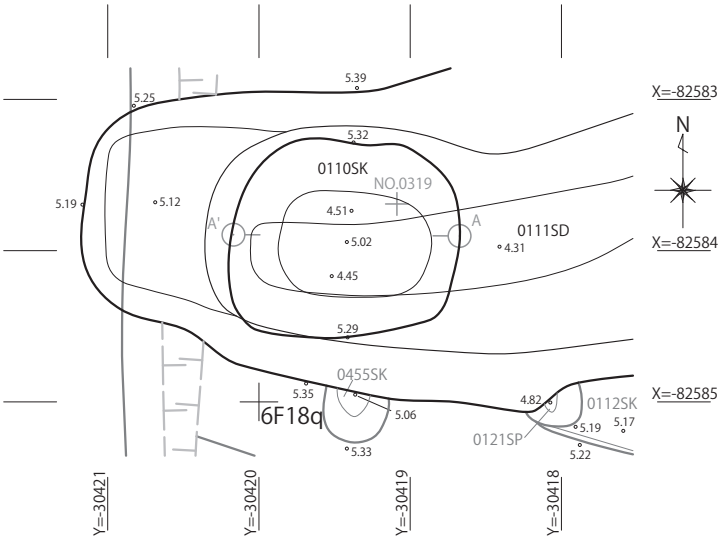


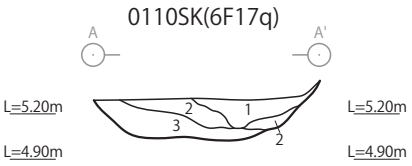
1961SE・1966SE・(6E9P・10P)



1, 3, 10YR4/4　褐色粘土質シルトと2.5Y4/4　オリーブ褐色シルト質粘土
　　と2.5Y4/6　オリーブ褐色極細粒砂と2.5Y6/4　にぶい黄色粘土の斑土
2, 4, 同じ埋土がわずかに還元し青み（10Y4/1灰色）を呈す
5, 同じ埋土が還元で青色（10GY4/1暗緑灰色）

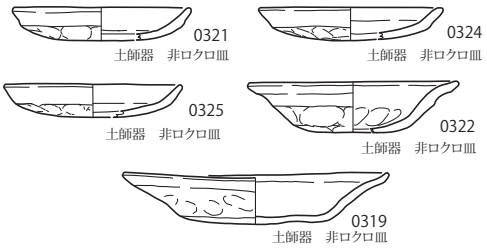
図 2-63　10Ca 区 1961SE 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

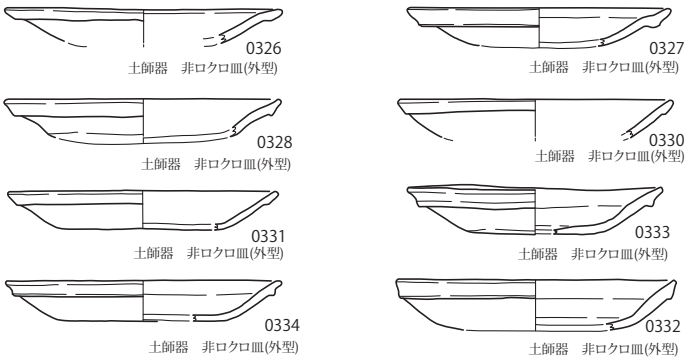




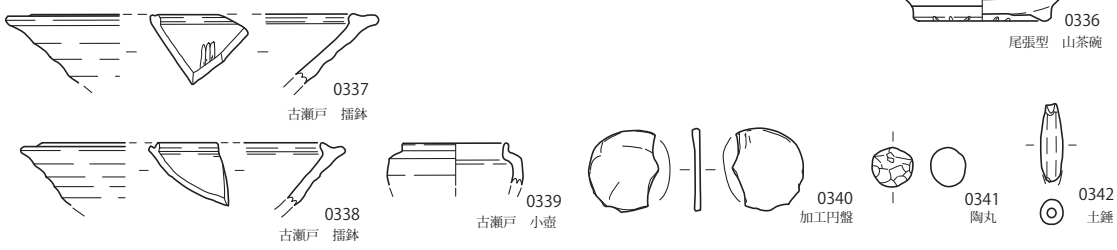
1, 2.5Y6/6　明黄褐色粘土質シルト（土器細片、炭化物含む）
2, 2.5Y6/6　明黄褐色極細粒砂
3, 2.5Y6/6　明黄褐色極細粒砂（炭化物含む）

10Cb-0110SK

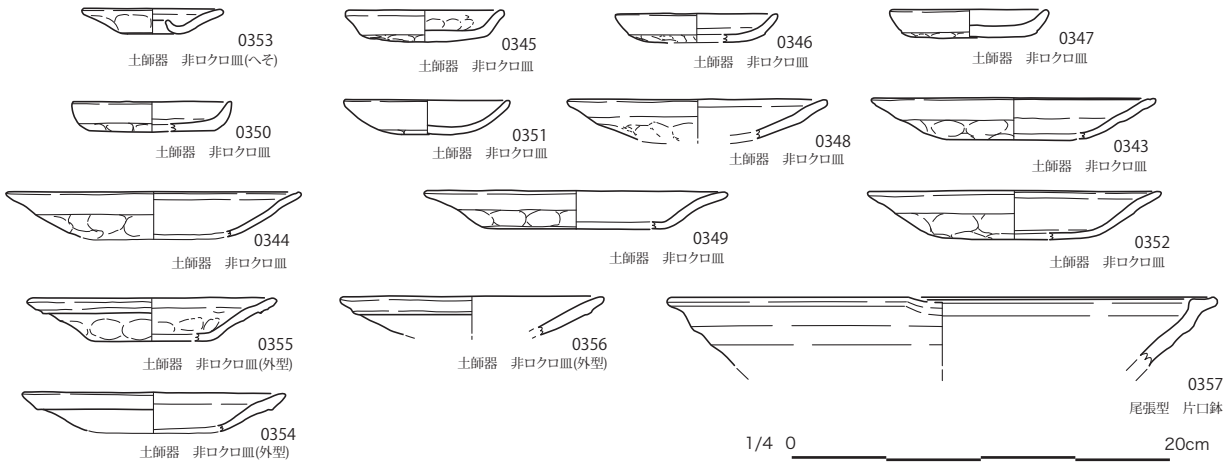




10Cb-0110SK・0111SD上層

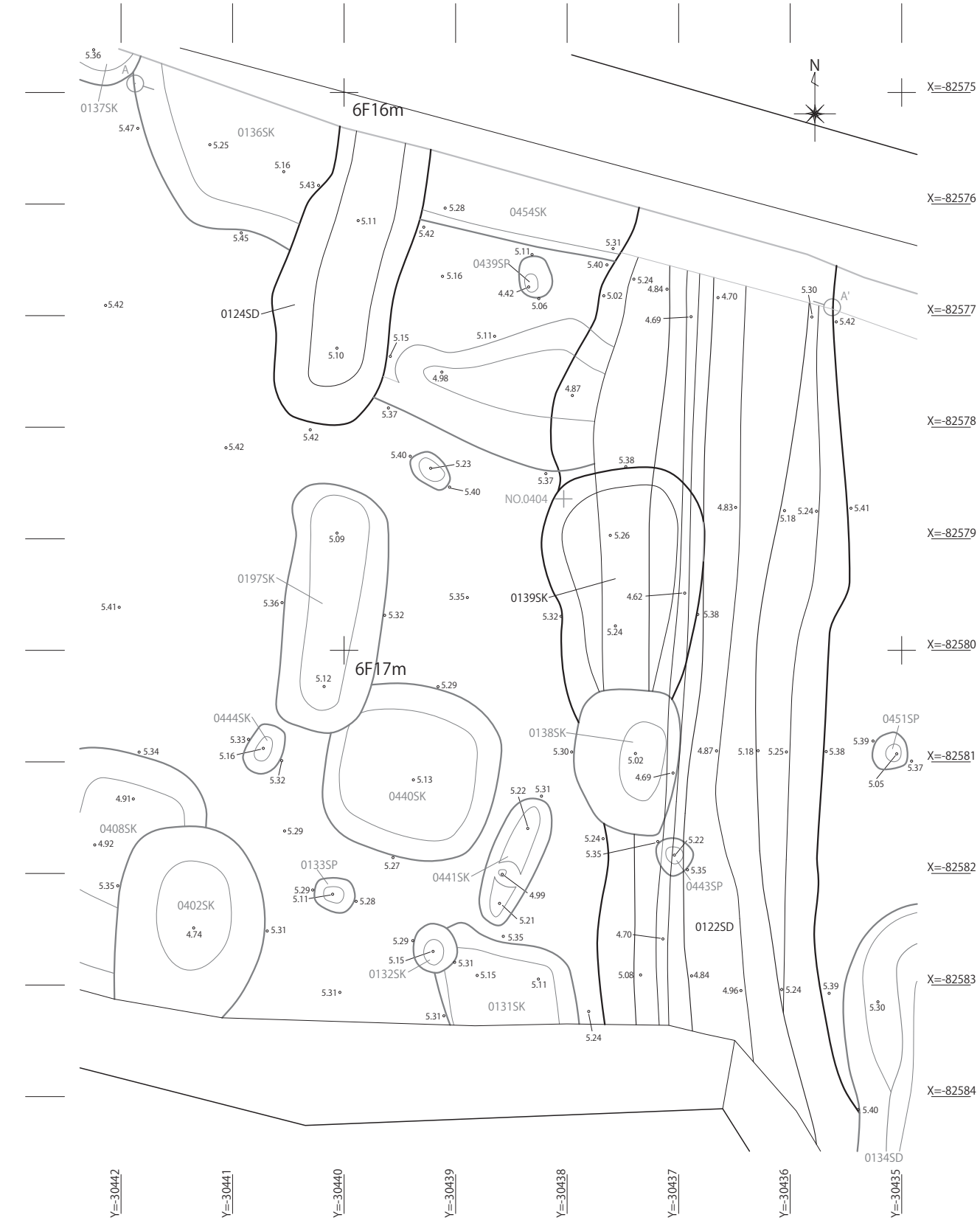


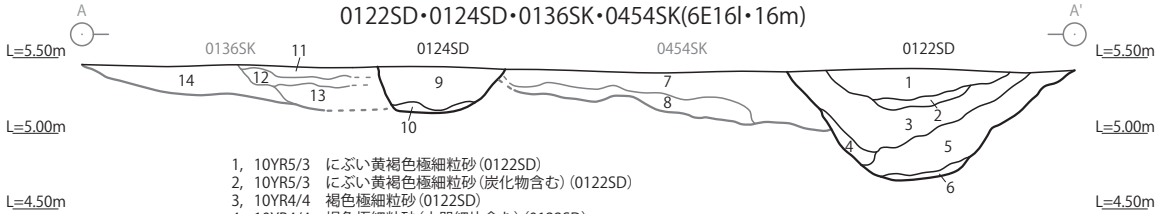
10Cb-0111SD



1/4　0　20cm

図 2-64　10Cb 区 0110SK・0111SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）





1, 10YR5/3 にぶい黄褐色極細粒砂(0122SD)
2, 10YR5/3 にぶい黄褐色極細粒砂(炭化物含む)(0122SD)
3, 10YR4/4 褐色極細粒砂(0122SD)
4, 10YR4/4 褐色極細粒砂(土器細片含む)(0122SD)
5, 10YR4/4 褐色極細粒砂(土器細片、炭化物含む)(0122SD)
6, 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト(0122SD)
7, 10YR4/4 褐色粘土質シルト(0454SK)
8, 10YR4/4 褐色極細粒砂(0454SK)
9, 10YR4/4 褐色粘土質シルト(土器細片含む)(0124SD)
10, 10YR4/4 褐色極細粒砂(0124SD)
11, 10YR6/2 灰黄褐色粘土質シルト(0136SK)
12, 10YR6/2 灰黄褐色極細粒砂(0136SK)
13, 10YR6/2 灰黄褐色極細粒砂と10YR4/4 褐色粘土質シルトの斑土(0136SK)
14, 10YR4/4 褐色粘土質シルト(0136SK)

図 2-65 10Cb 区 0122・0124SD/0139SK 遺構図（1:50）

10Cb-0122SD

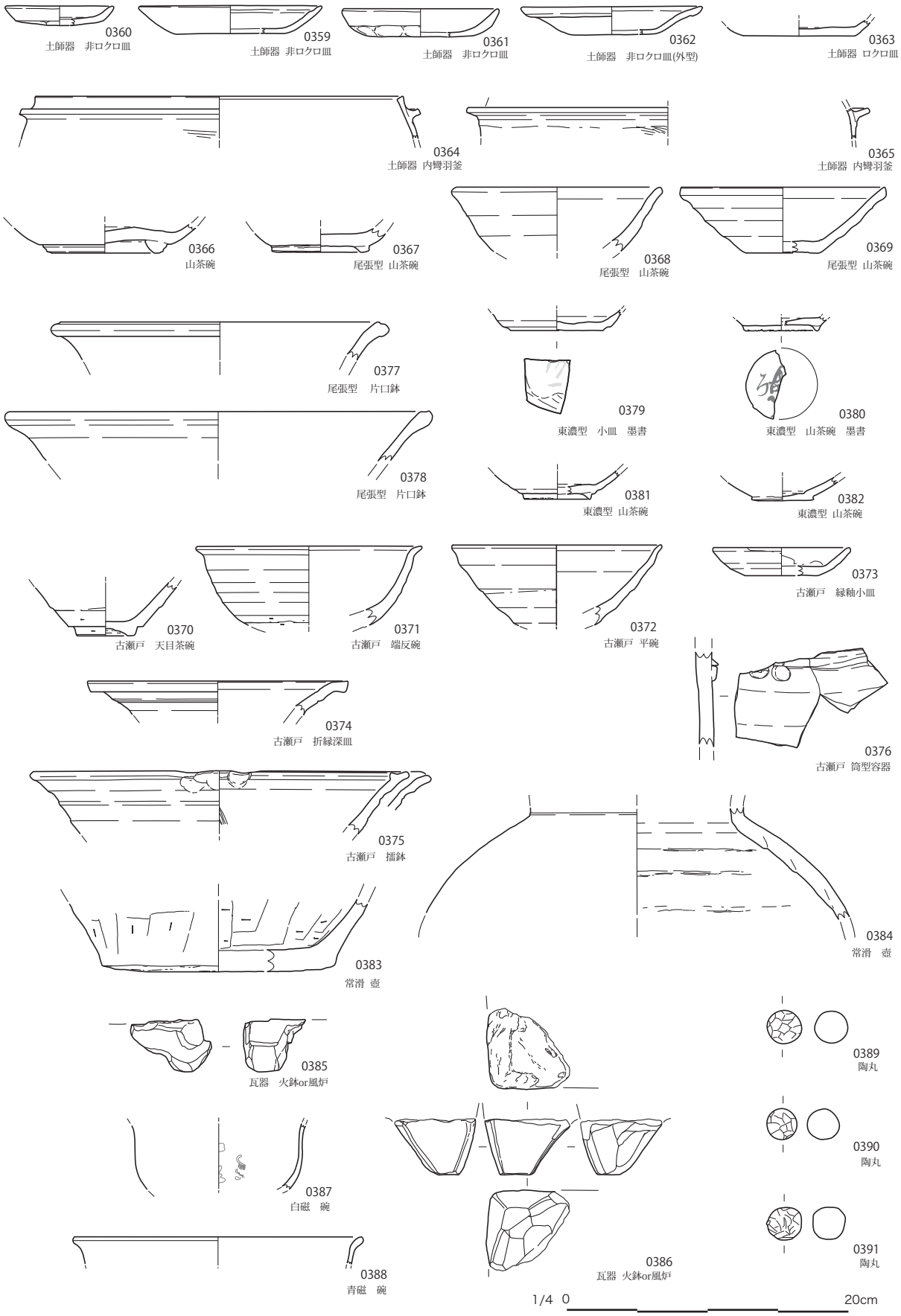


図 2-66　10Cb 区 0122SD 出土遺物実測図（1:4）

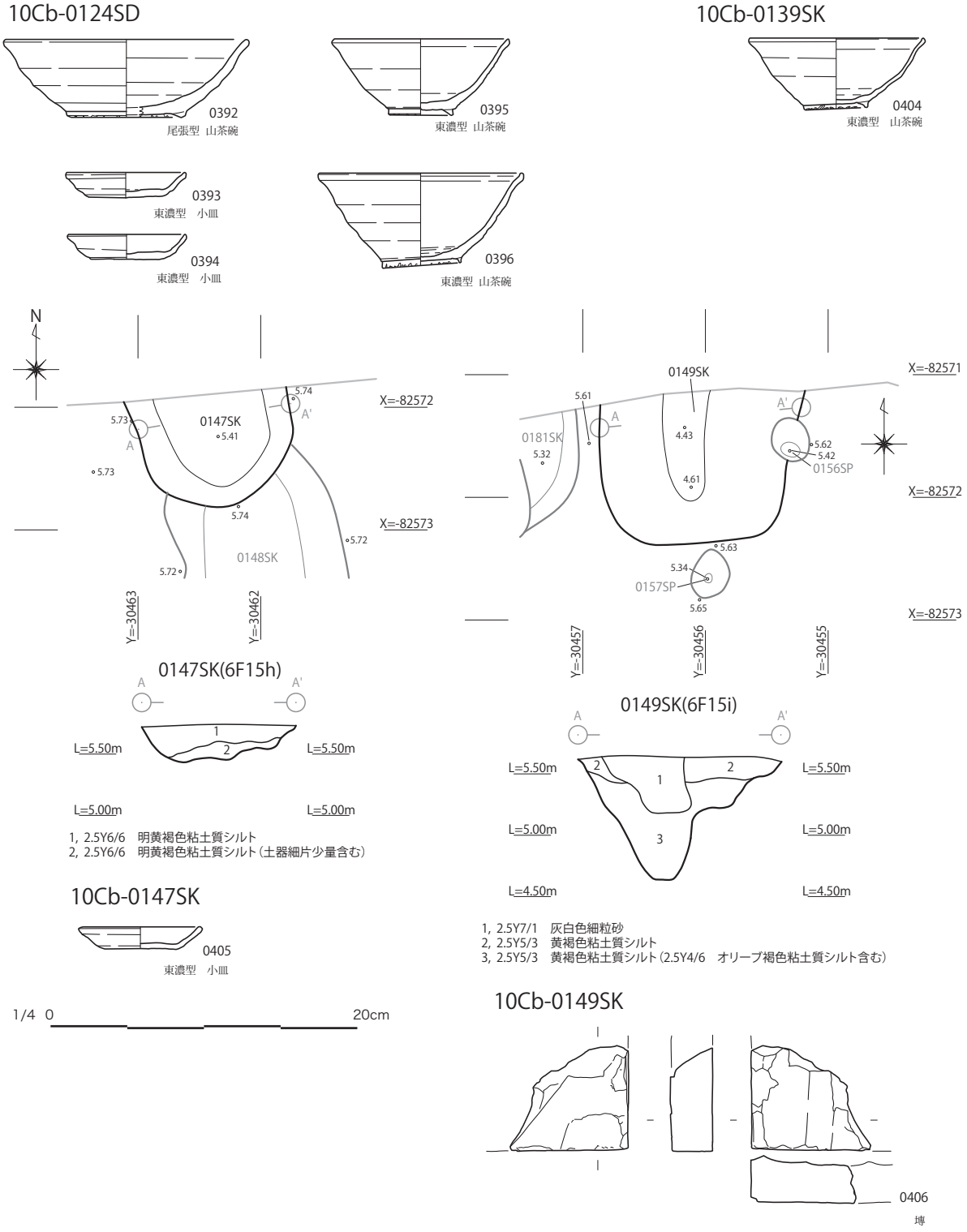


図 2-67　10Cb 区 0147・0149SK 遺構図（1:50）・0124SD/0139・0147・0149SK 出土遺物実測図（1:4）

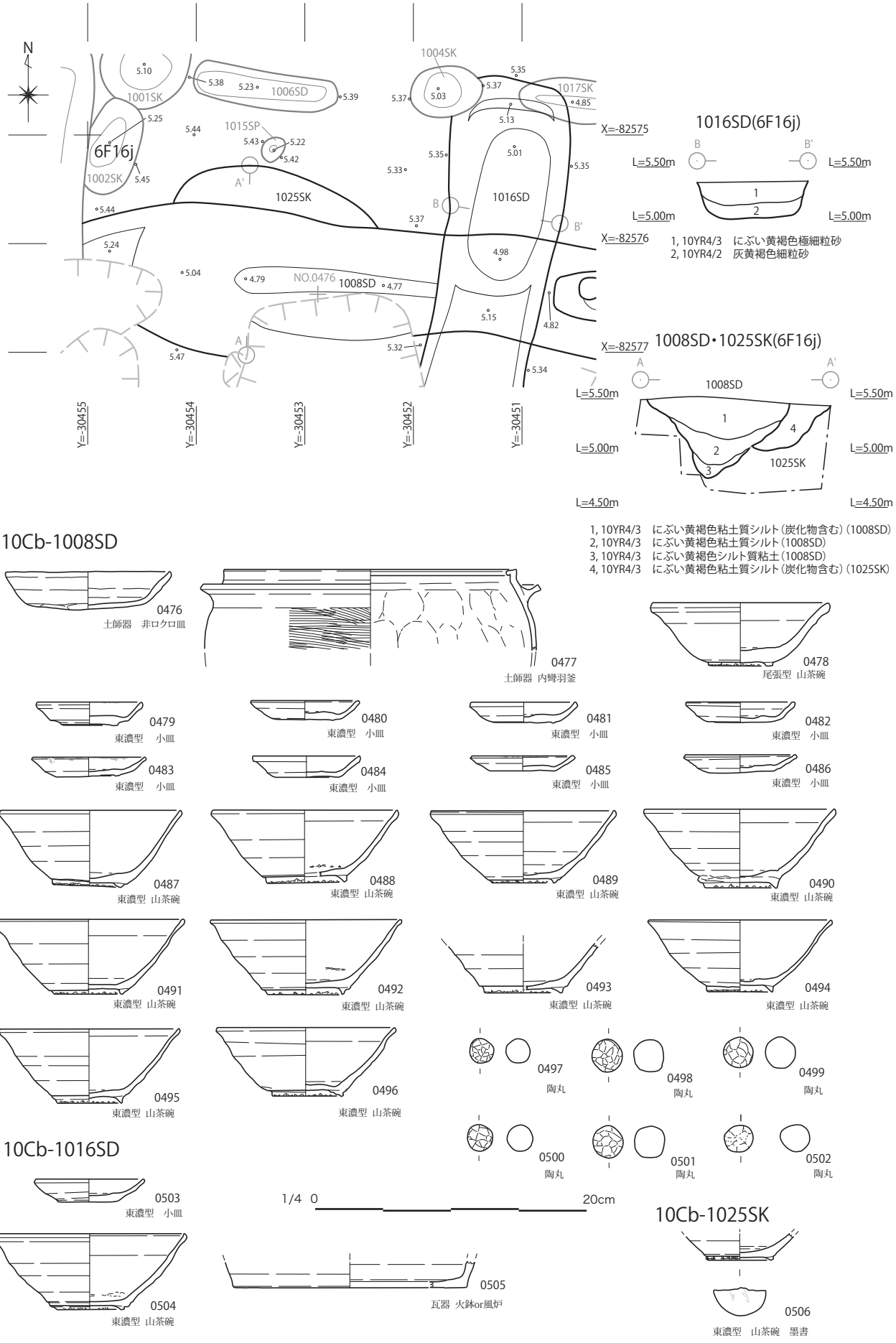
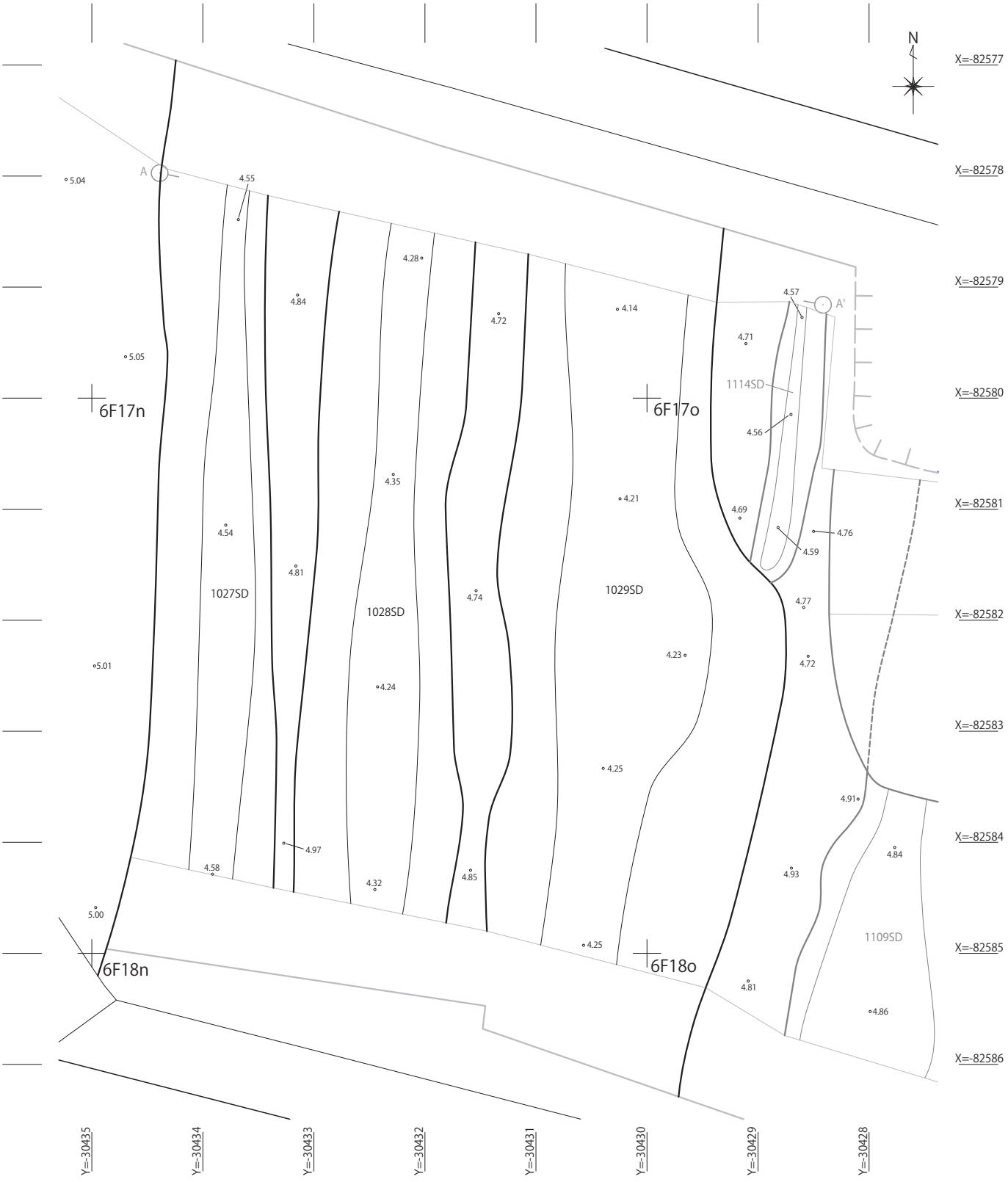
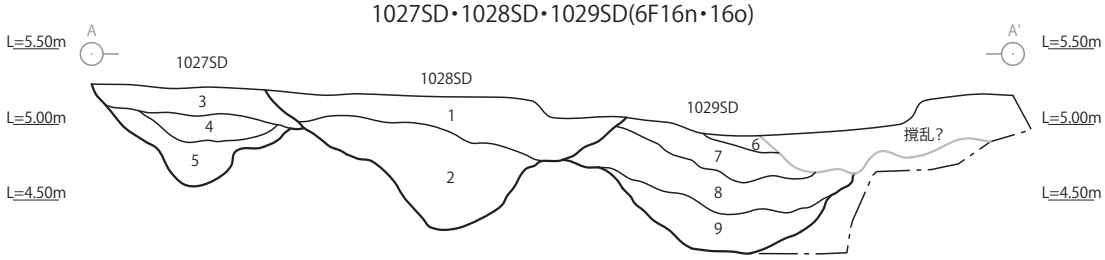


図 2-68　10Cb 区 1008・1016SD/1025SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）



1027SD・1028SD・1029SD(6F16n・16o)



1, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1028SD)
2, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂(10YR4/4 褐色中粒砂含む)(1028SD)
3, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂(10YR4/4 褐色中粒砂含む)(1027SD)
4, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1027SD)
5, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト、炭化物含む)(1027SD)
6, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂(1029SD)
7, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂(10YR4/4 褐色細粒砂をラミナ状に含む)(1029SD)
8, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂(10YR4/4 褐色細粒砂、炭化物含む)(1029SD)
9, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(1029SD)

図 2-69 10Cb 区 1027・1028・1029SD 遺構図 (1:50)

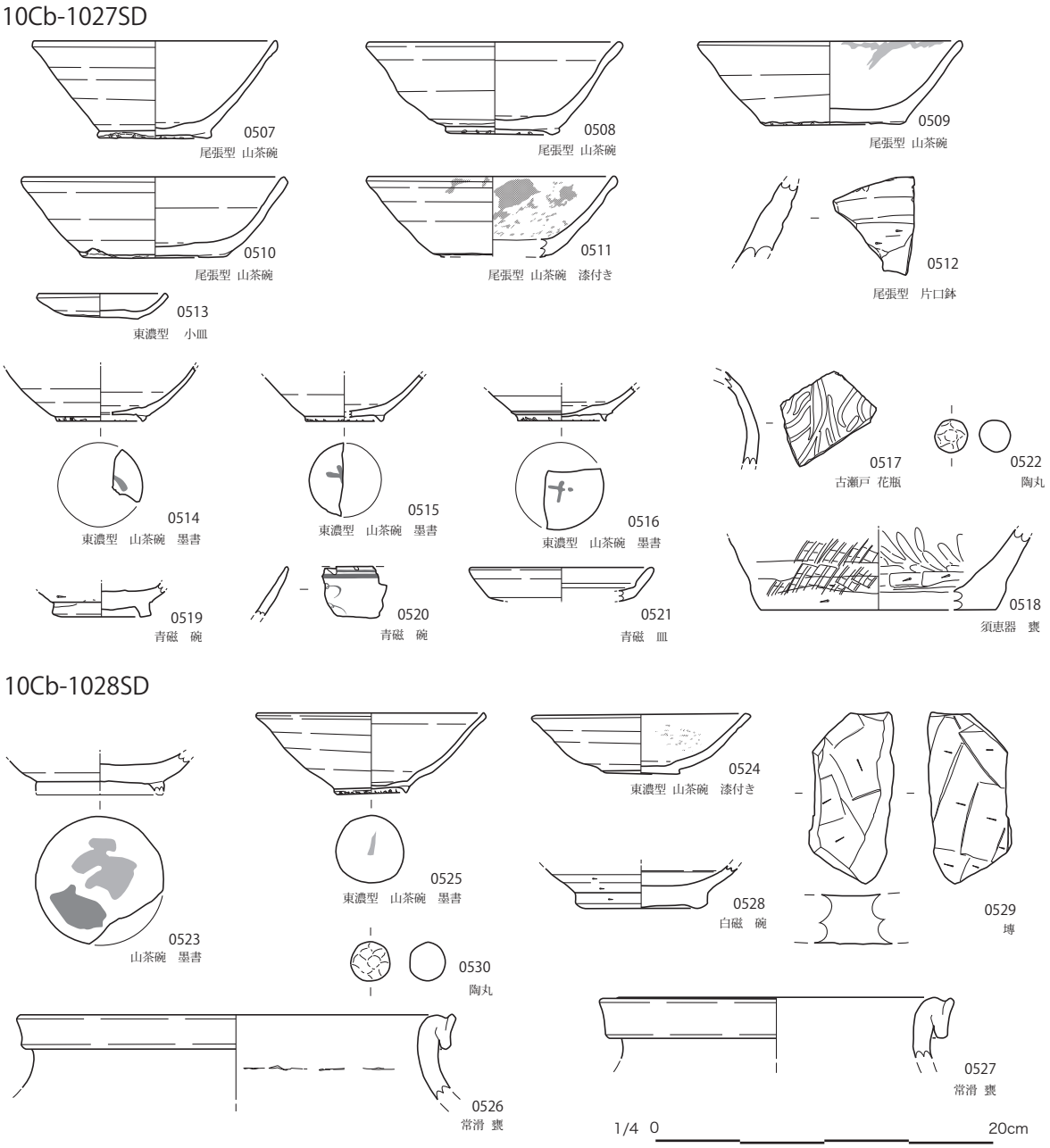


図 2-70　10Cb 区 1027・1028SD 出土遺物実測図（1:4）

この井戸 1108SE の井戸枠上段を抜き取り、埋め戻したのちに、1072・1109・1116・1052SD が掘削されている。さらに、これらの溝が埋没したのちに、0120（0417）・0130SD が掘削される。このうち、下面の 1052SD および上面の 0120SD が 10Ca・Cb・Cc 区を方 1 町の規模で囲繞する南北大溝群の東端で、これより東は 10Da 区につながる東西溝群が掘削されている。前述の 0111SD およびその南の 1038SD、上面遺構の 0100・0125・0126SD がそれである。こ

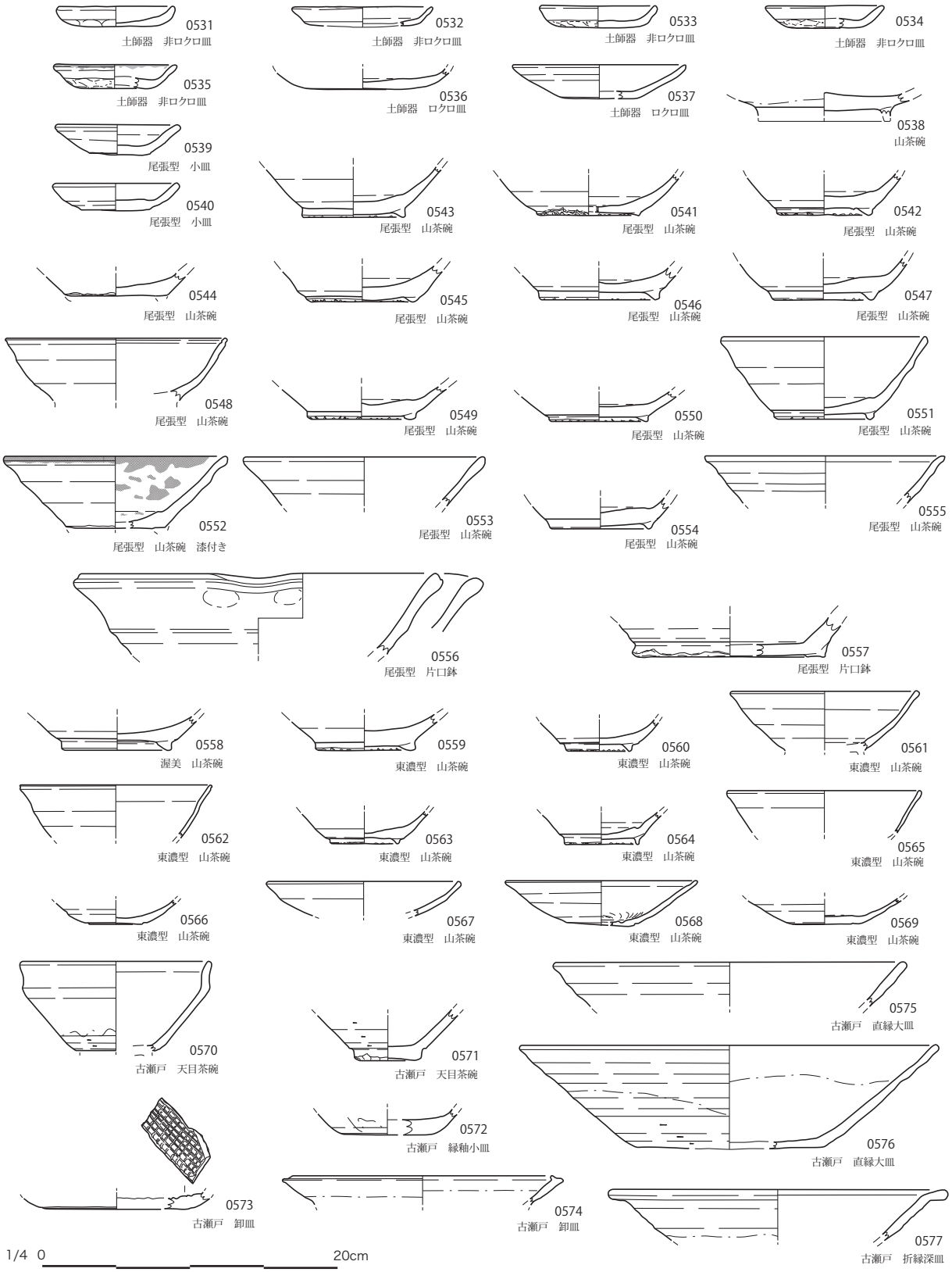


図 2-71　10Cb 区 1029SD 出土遺物実測図 -1（1:4）

10Cb-1029SD-2

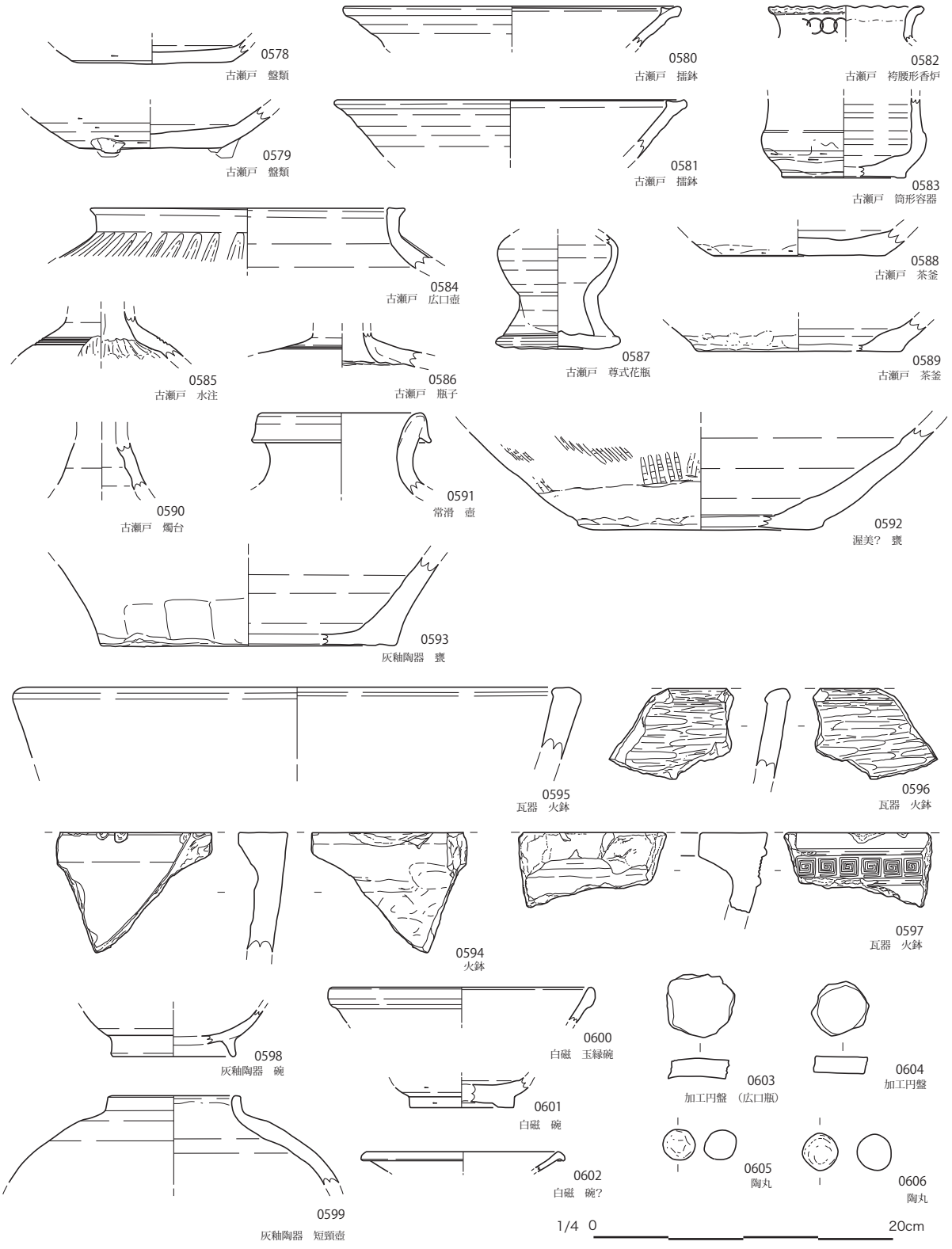


図 2-72　10Cb 区 1029SD 出土遺物実測図 -2（1:4）

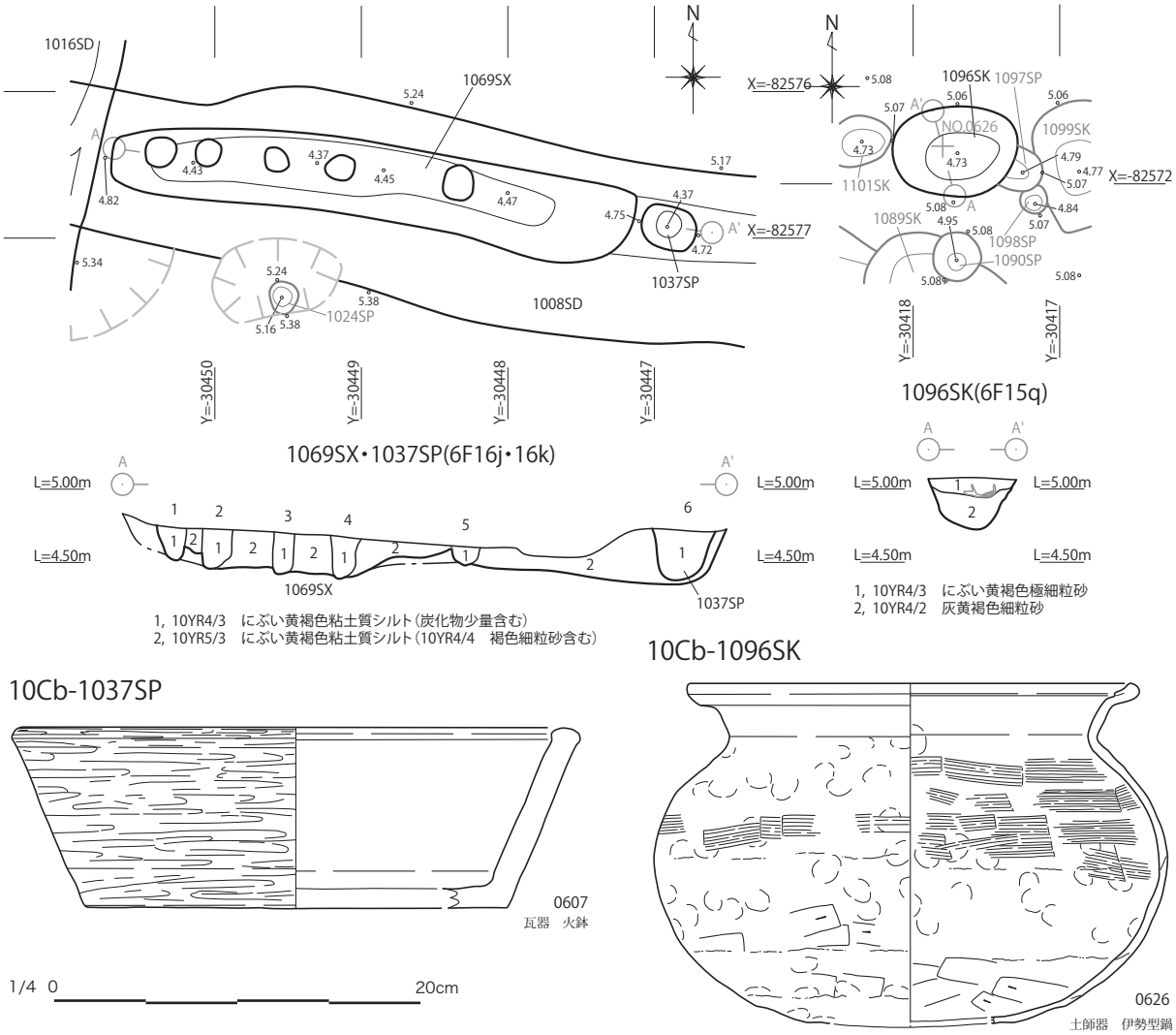


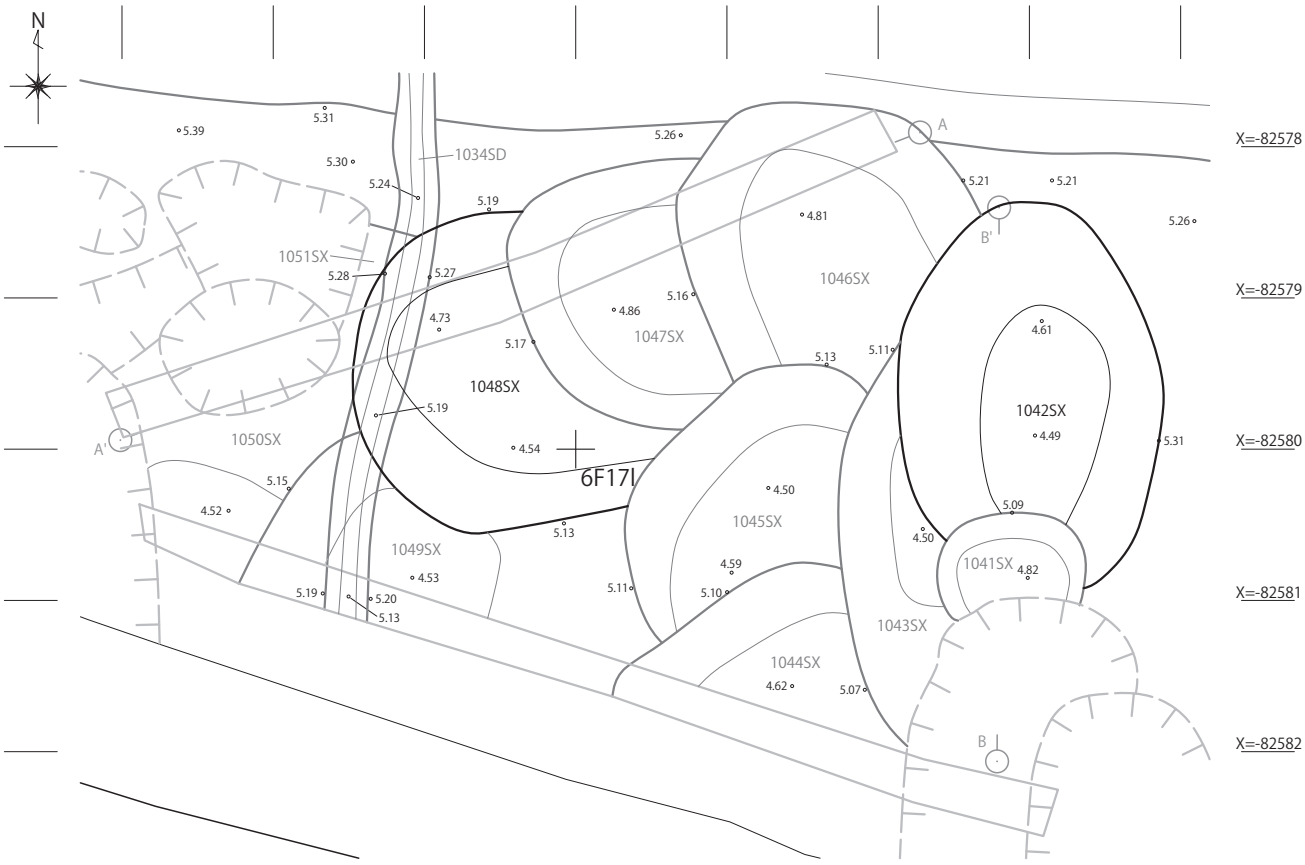
図 2-73　10Cb 区 1037SP・1096SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

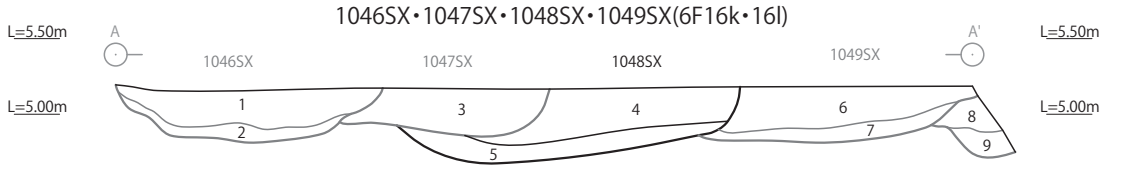
のうち、1038SD は、後述する 10Da 区 1530SD につながるものと思われる。

10Cb 区の井戸 1108SE が機能している段階では、その西に 1029SD が存在する一方、この井戸より東には南北方向の区画溝がないことから、1108SE は 10Ca 区から続く方 1 町の屋敷地に付属するものとみるよりは、後述する 10Da 区の区画にともなう井戸と考える方が自然であろう。そして井戸廃絶後は南北方向の区画溝が繰り返し掘削されることとなる。

このＣ区全体で特筆すべき遺物としては、10Ca 区 0001SD の赤色顔料が付着した山茶碗（図 2-45-064）、0003SD の土犬（図 2-87-0314）、10Cb 区 0149SK・1028SD・機械掘削の塼（図 2-67-0406・　図 2-70-0529・　図 2-91-732）、10Ca 区 1246SD・10Cb 区 1027・1029SD の漆付き山茶碗（図 2-89-0645・図 2-70-511・図 2-71-0552）があげられる。

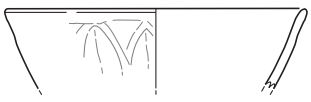
また、石製品では硯と砥石（硯転用砥石を含む）が出土している（図 2-92・93）。



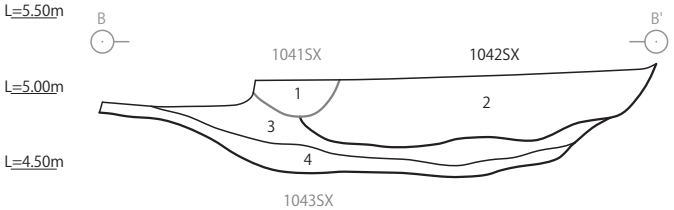


1, 10YR4/2　灰黄褐色極細粒砂（10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルト含む）（1046SX）
2, 10YR4/2　灰黄褐色極細粒砂（10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルトブロック含む）（1046SX）
3, 10YR4/2　灰黄褐色極細粒砂（1047SX）
4, 10YR4/2　灰黄褐色極細粒砂（10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルト含む）（1048SX）
5, 10YR4/2　灰黄褐色極細粒砂（炭化物含む）（1048SX）
6, 10YR4/2　灰黄褐色極細粒砂（1049SX）
7, 10YR4/2　灰黄褐色極細粒砂（10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルト含む）（1049SX）
8, 10YR4/2　灰黄褐色極細粒砂（10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルト含む）
9, 10YR4/2　灰黄褐色極細粒砂（炭化物含む）

10Cb-1042SX

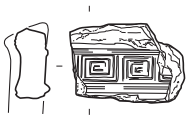


0608
青磁　蓮弁文碗



1, 10YR4/2　灰黄褐色細粒砂（10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルト、炭化物含む）（1041SX）
2, 10YR4/2　灰黄褐色細粒砂（1042SX）
3, 10YR4/2　灰黄褐色細粒砂（10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルト、炭化物含む）（1043SX）
4, 10YR4/2　灰黄褐色細粒砂（10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土ブロック含む）（1043SX）

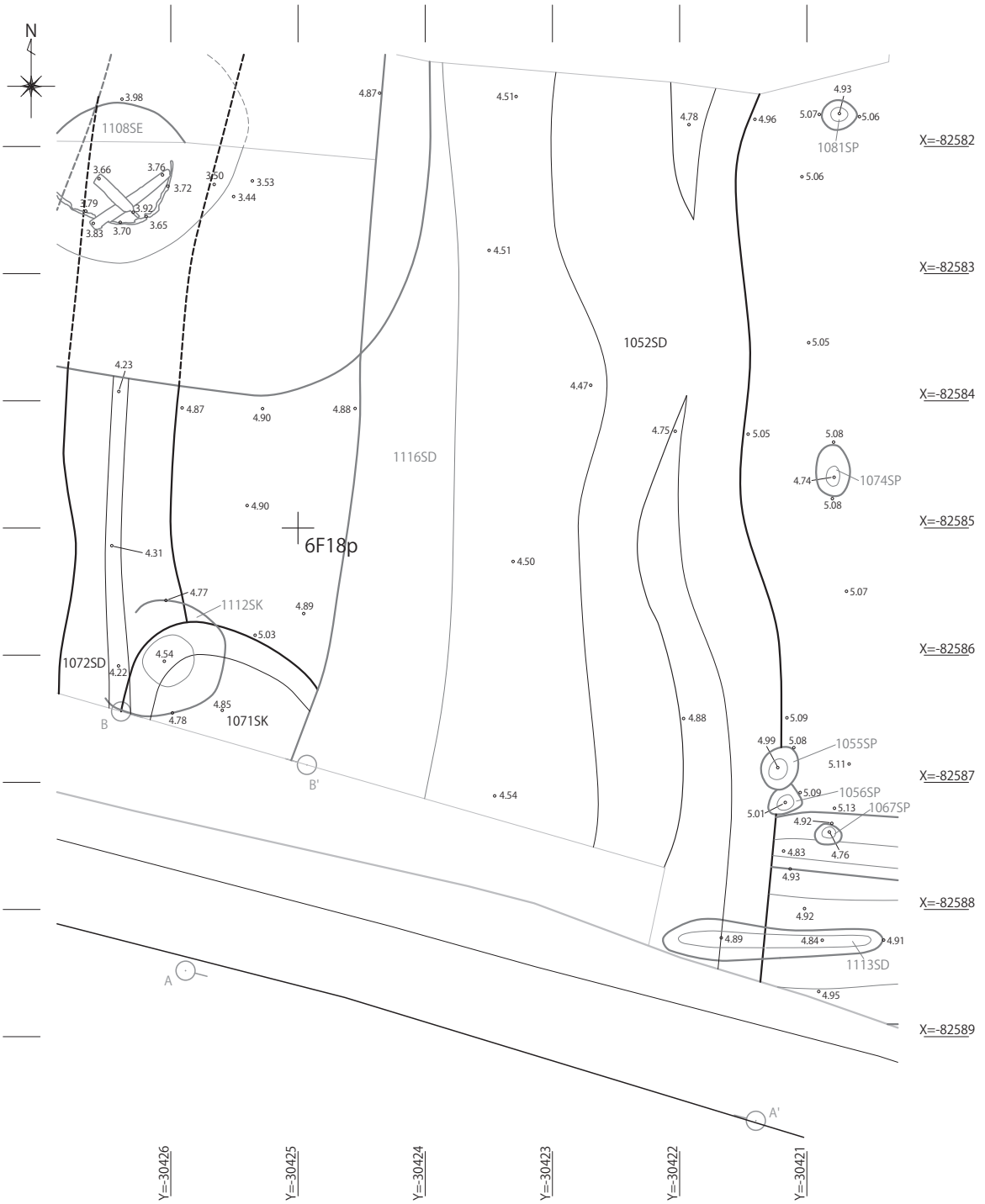
10Cb-1048SX

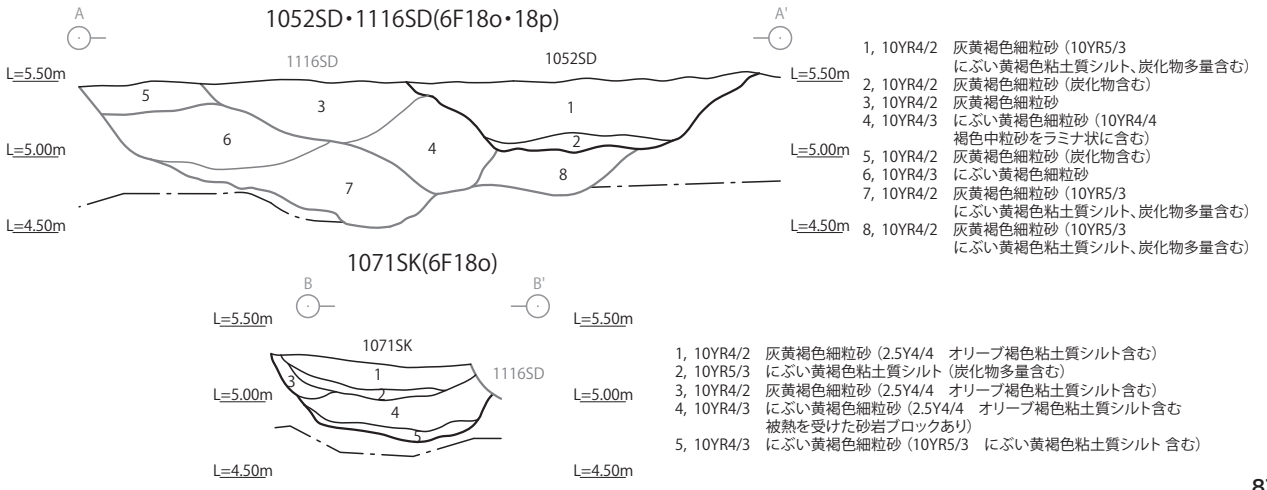


0609
瓦器　火鉢or風炉

1/4 0　20cm

図 2-74　10Cb 区 1042・1048SX 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

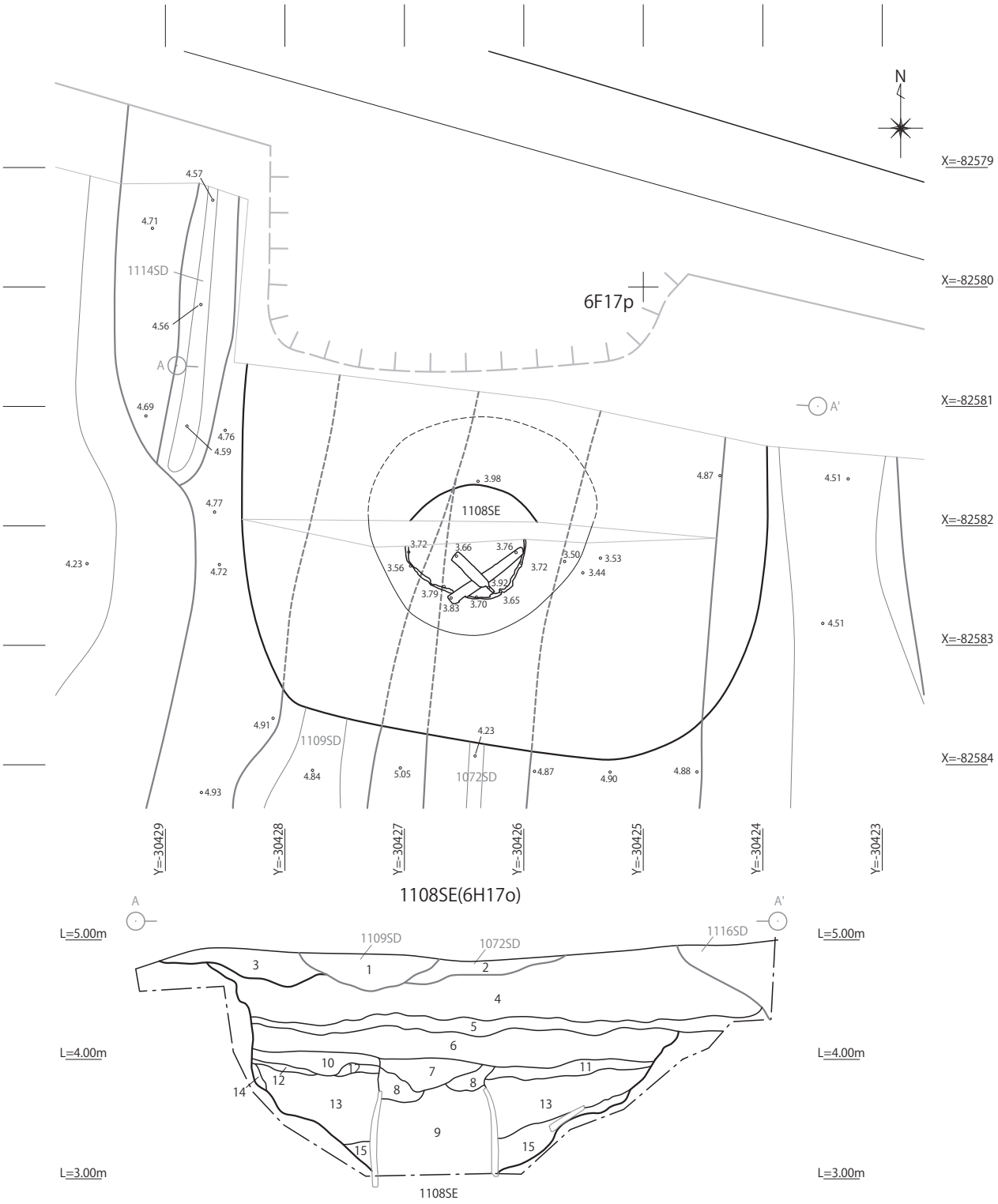




1, 10YR4/2 灰黄褐色細粒砂（10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト、炭化物多量含む）
2, 10YR4/2 灰黄褐色細粒砂（炭化物含む）
3, 10YR4/2 灰黄褐色細粒砂
4, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂（10YR4/4 褐色中粒砂をラミナ状に含む）
5, 10YR4/2 灰黄褐色細粒砂（炭化物含む）
6, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂
7, 10YR4/2 灰黄褐色細粒砂（10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト、炭化物多量含む）
8, 10YR4/2 灰黄褐色細粒砂（10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト、炭化物多量含む）

1, 10YR4/2 灰黄褐色細粒砂（2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト含む）
2, 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト（炭化物多量含む）
3, 10YR4/2 灰黄褐色細粒砂（2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト含む）
4, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂（2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト含む 被熱を受けた砂岩ブロックあり）
5, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂（10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト 含む）

図 2-75 10Cb 区 1052・1072SD/1071SK 遺構図（1:50）



1108SE(6H17o)

1, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂（10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルトを多量、炭化物少量含む）（1109SD）
2, 10YR4/7 にぶい黄褐色細粒砂（10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルトを多量、炭化物少量含む）（1072SD）
3, 10YR4/4 褐色極細粒砂（10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルトを多量、炭化物少量含む）
4, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂（10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルトを多量、炭化物多量含む、井戸枠抜き取り後の埋め立て土）
5, 中粒砂（噴砂）
6, 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂（10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルトを多量、炭化物多量含む、井戸枠抜き取り後の埋め立て土）
7, 10YR4/4 褐色シルト質粘土
8, 2.5Y4/6 オリーブ褐色シルト質粘土
9, 2.5Y7/1 灰白色砂
10, 10YR4/4 褐色シルトと10YR5/1　褐灰色シルトの斑土（植物質微量含む）
11, 10YR4/4 褐色シルトと10YR5/1　褐灰色シルトの斑土
12, 10YR4/4 褐色シルト質粘土（植物質少量含む）
13, 2.5Y6/6 明黄褐色粘土と2.5Y3/3　暗オリーブ褐色粘土の斑土（植物質多量含む）
14, 2.5Y6/2 灰黄色砂（酸化鉄多量含む）
15, 2.5Y7/1 灰白色砂（地山）

図 2-76　10Cb 区 1108SE 遺構図 -1（1:50）

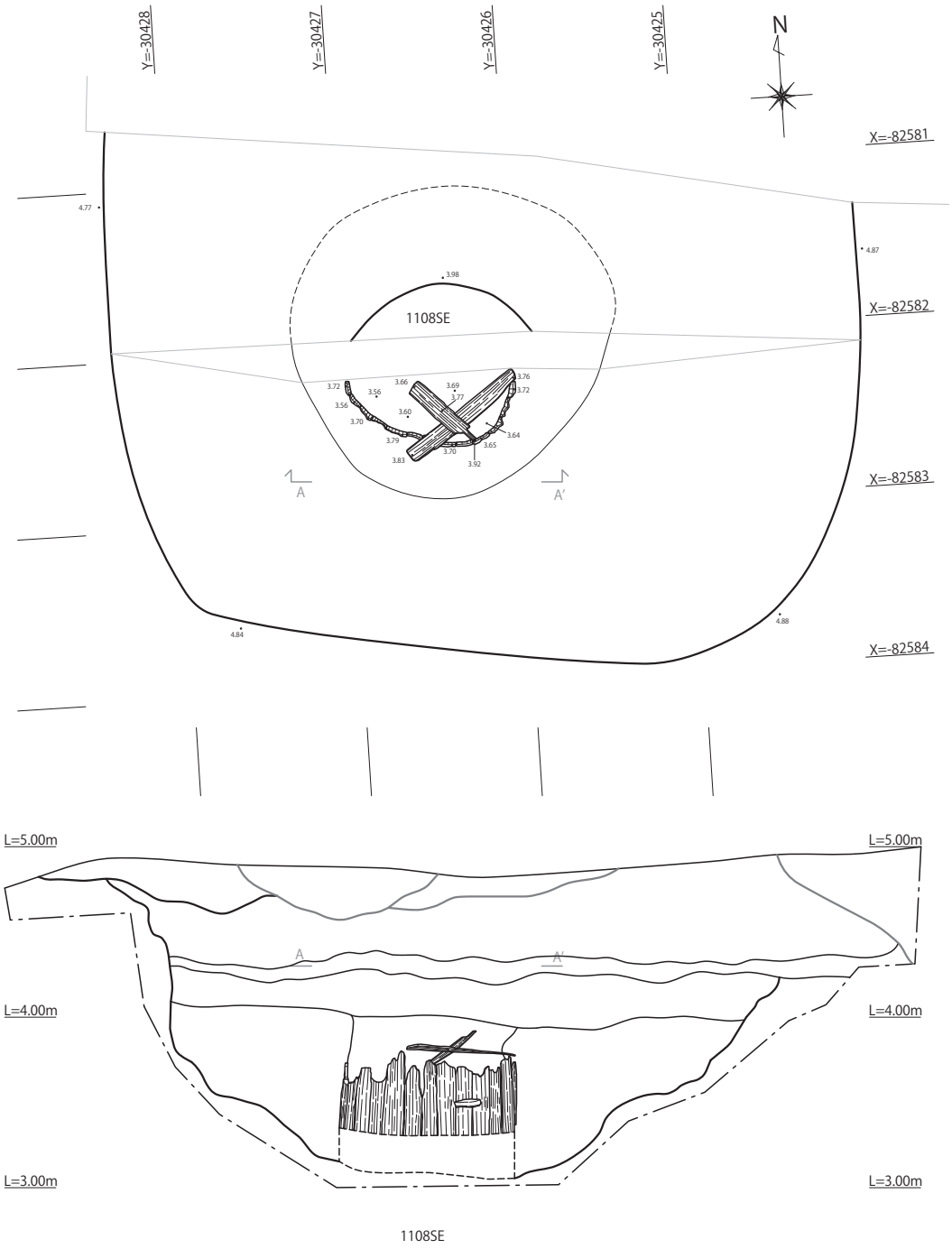


図 2-77　10Cb 区 1108SE 遺構図 -2（1:40）

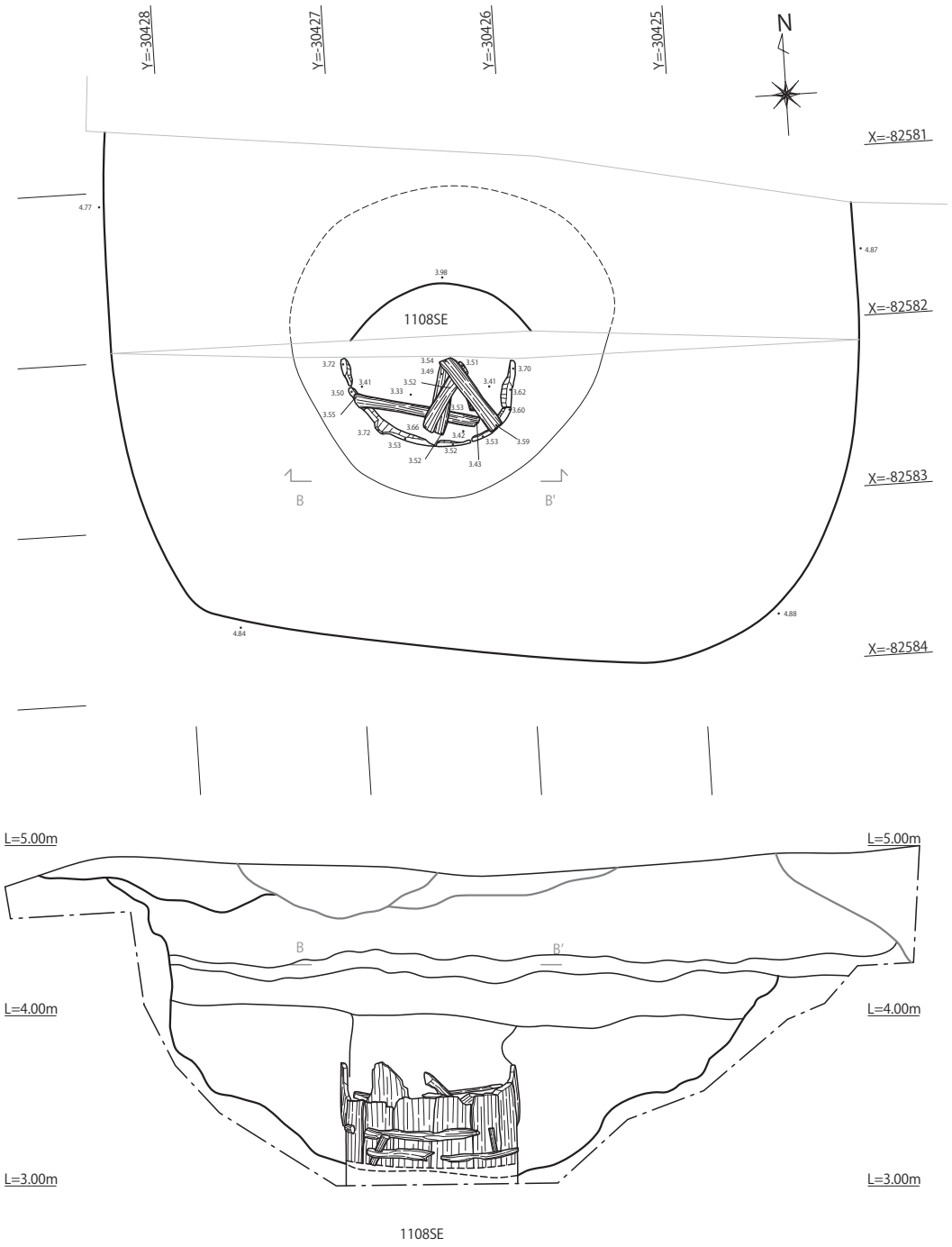


図 2-78　10Cb 区 1108SE 遺構図 -3（1:40）

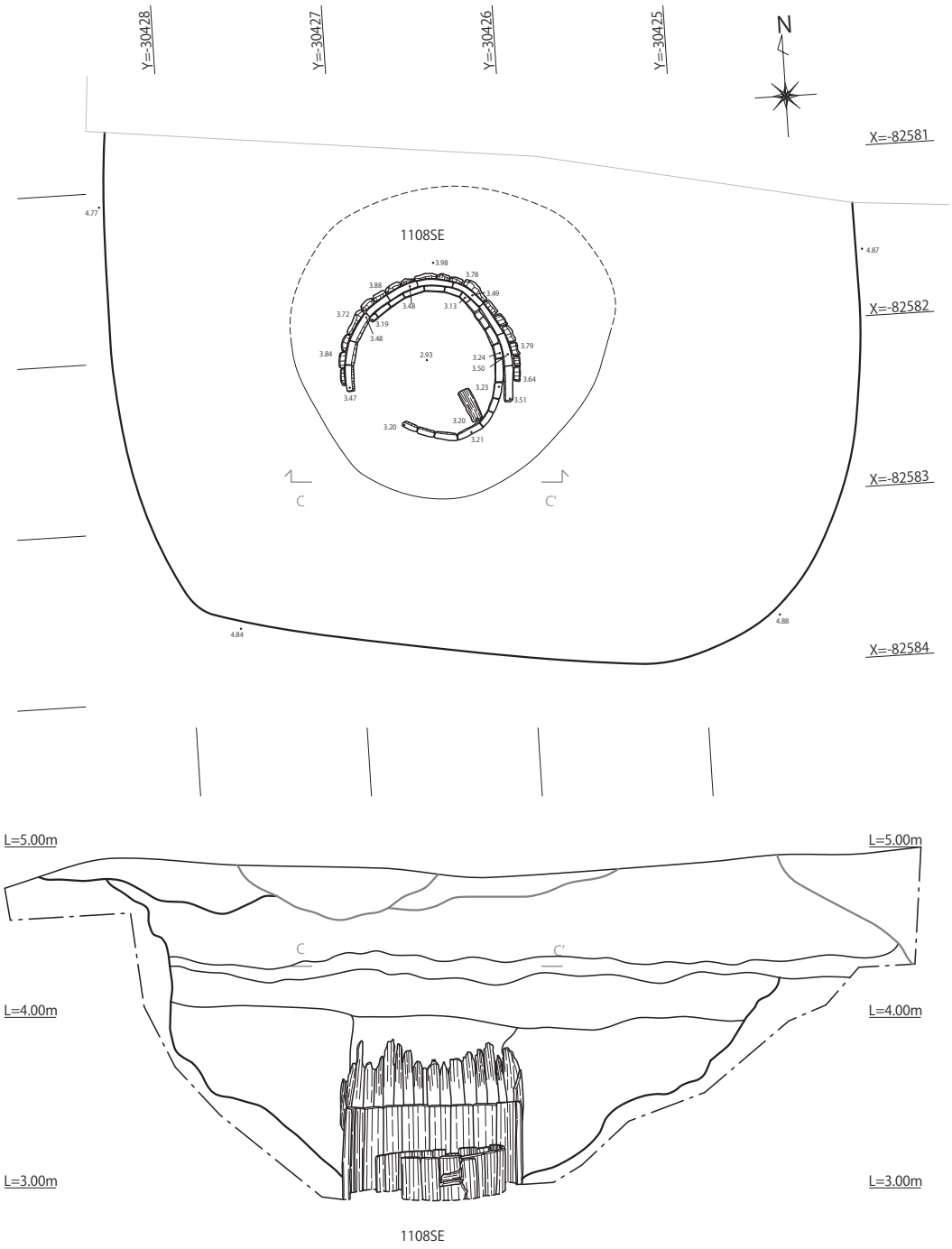


図 2-79　10Cb 区 1108SE 遺構図 -4（1:40）

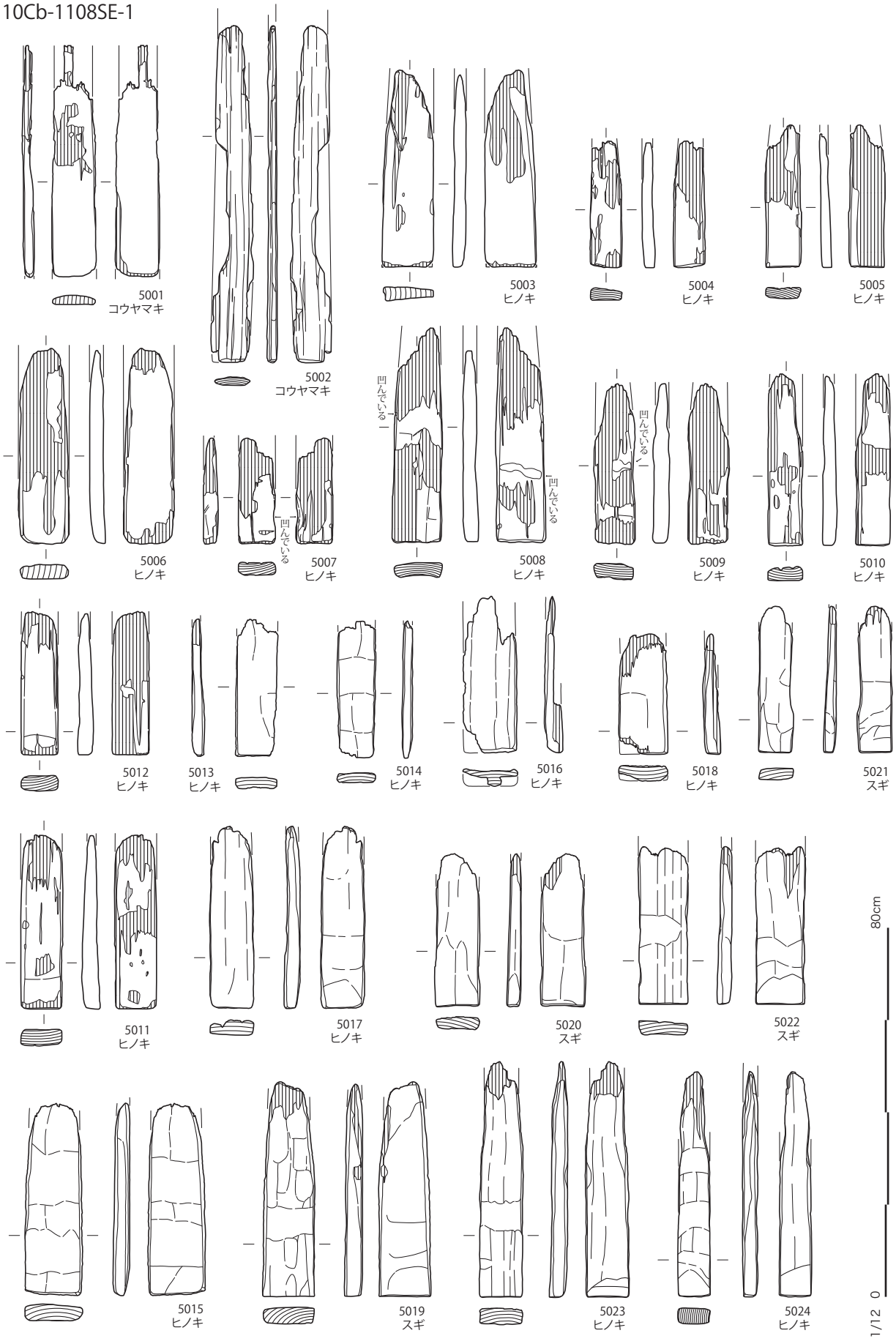


図 2-80　10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -1（1:12）

10Cb-1108SE-2

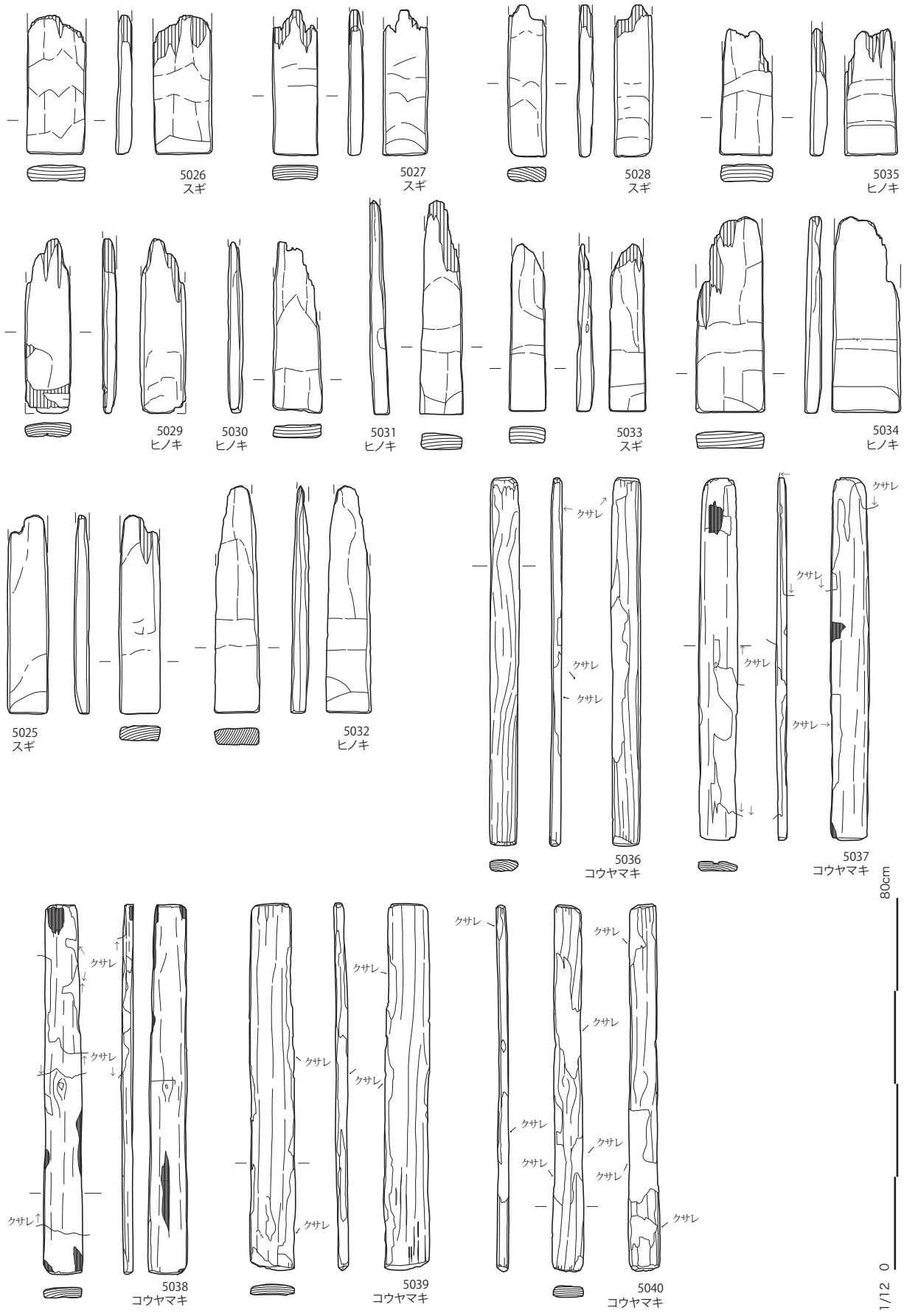


図 2-81　10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -2（1:12）

10Cb-1108SE-3

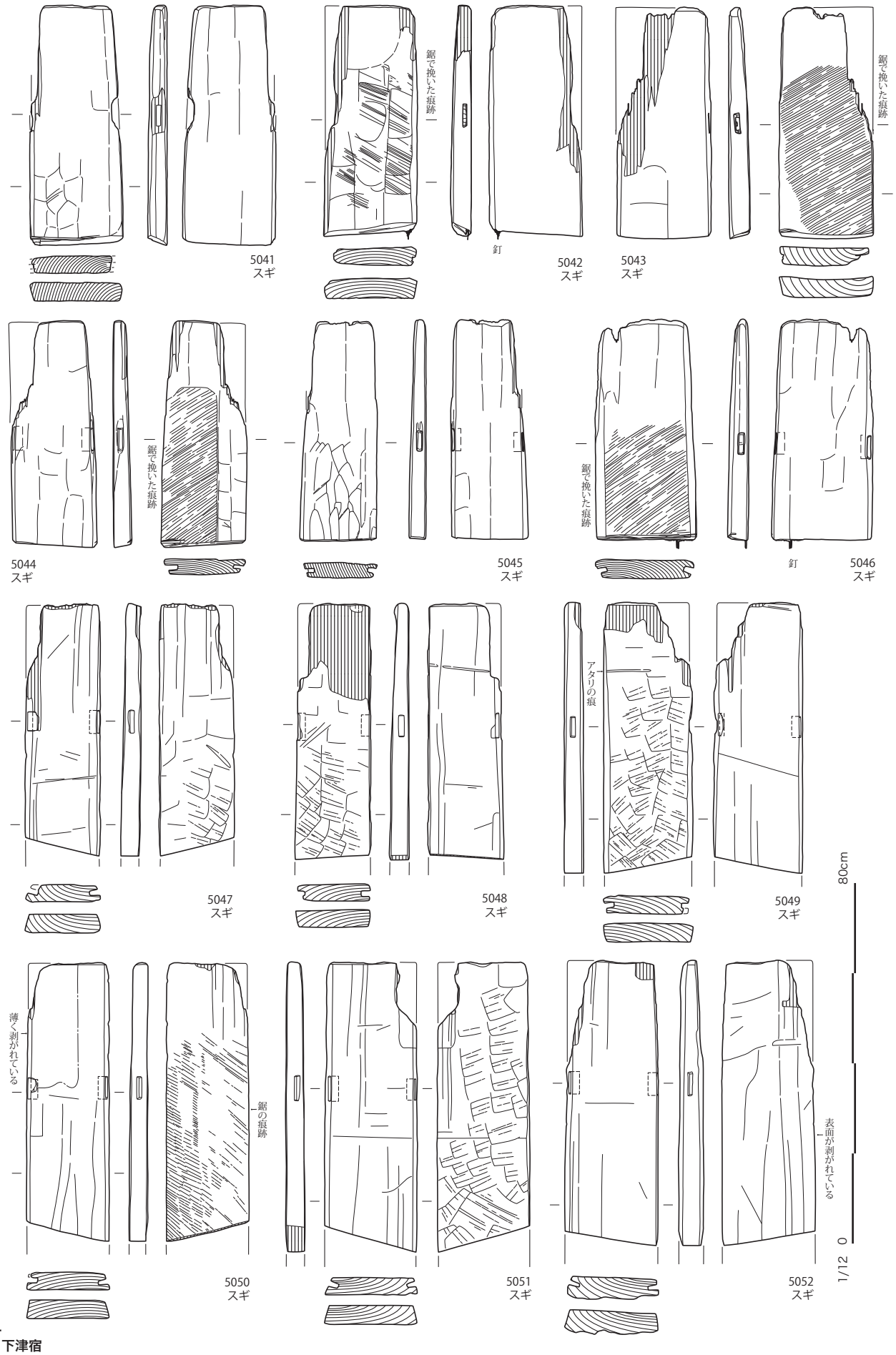


図 2-82　10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -3（1:12）

10Cb-1108SE-4

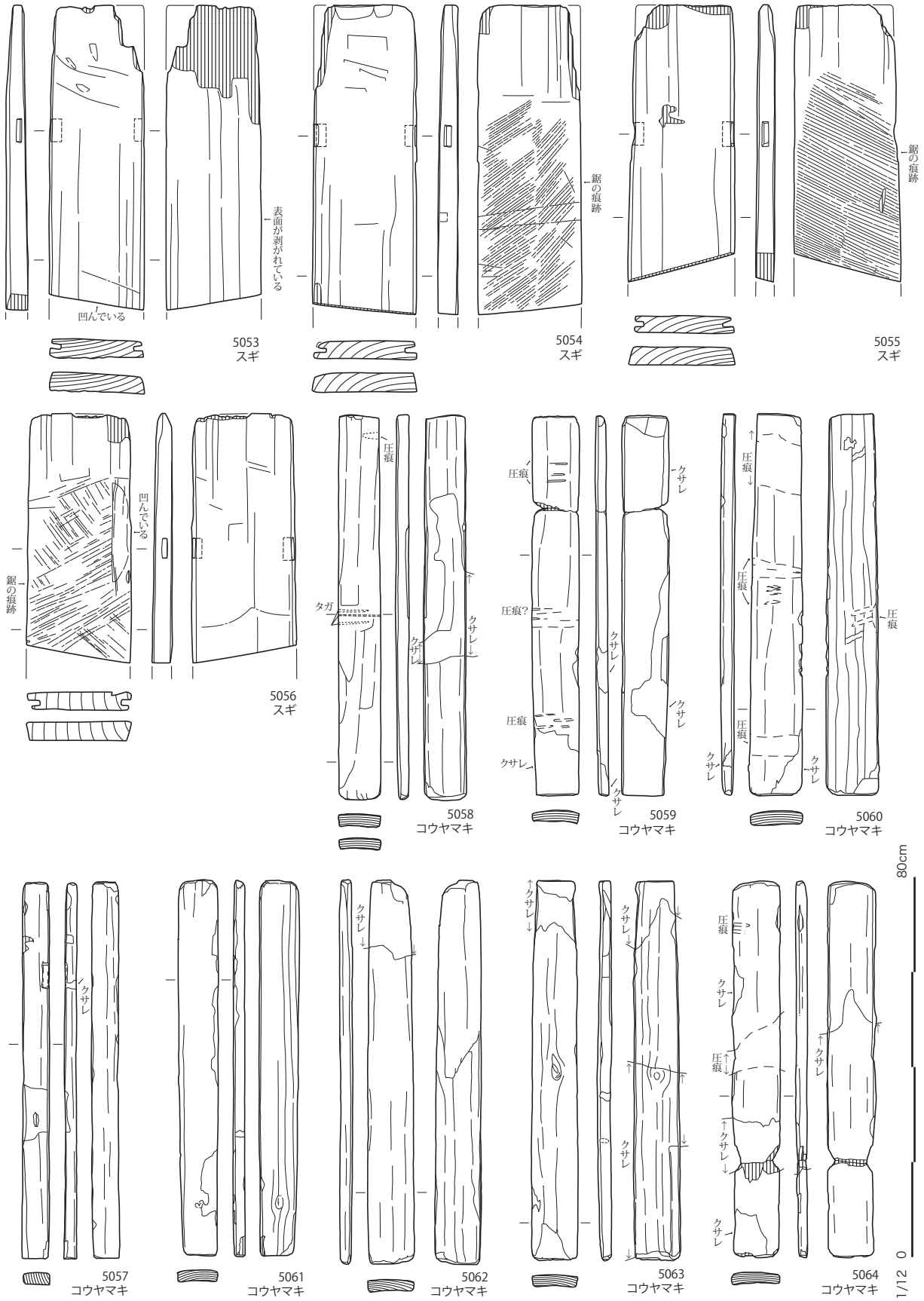


図 2-83　10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -4（1:12）

10Cb-1108SE-5

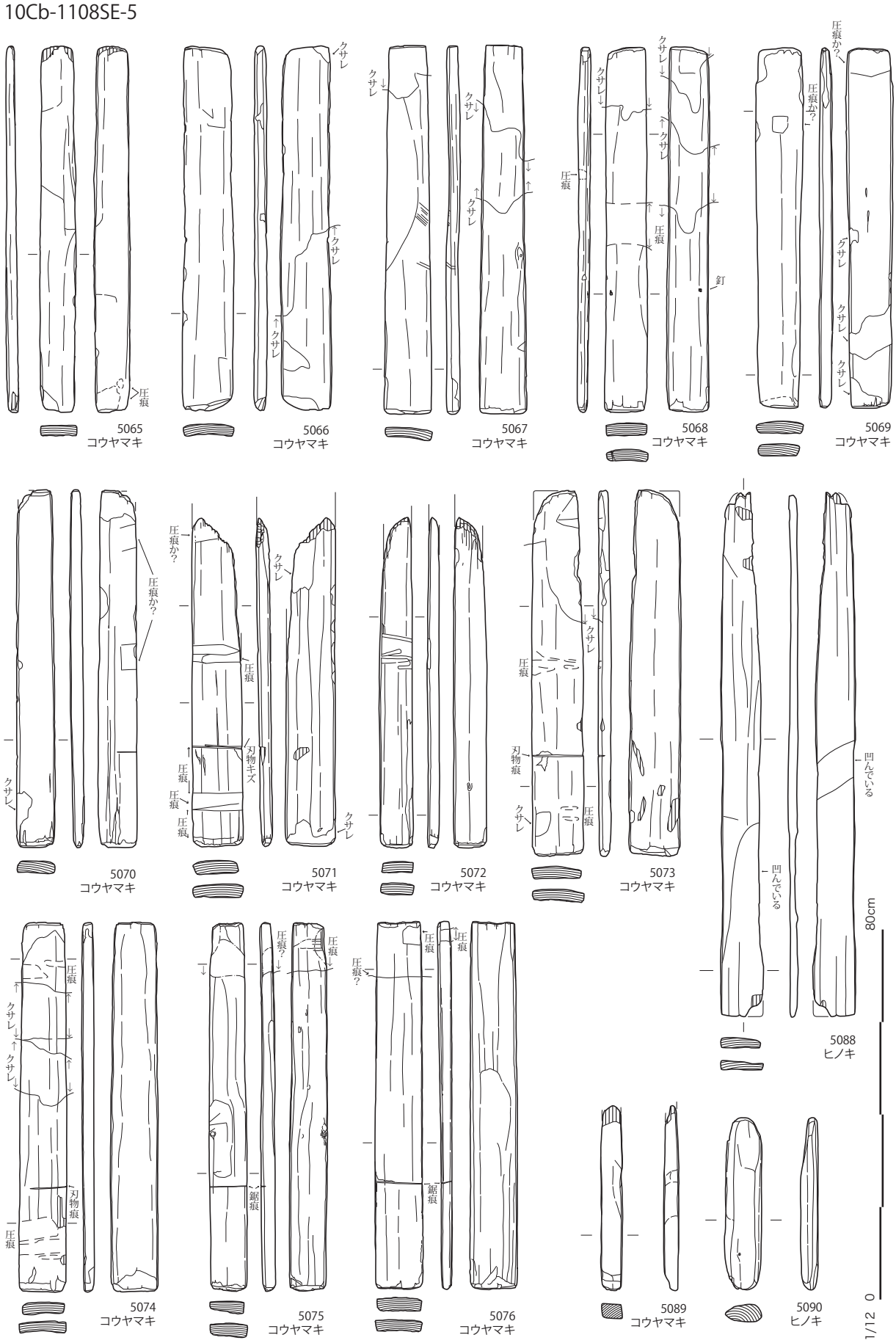


図 2-84　10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -5（1:12）

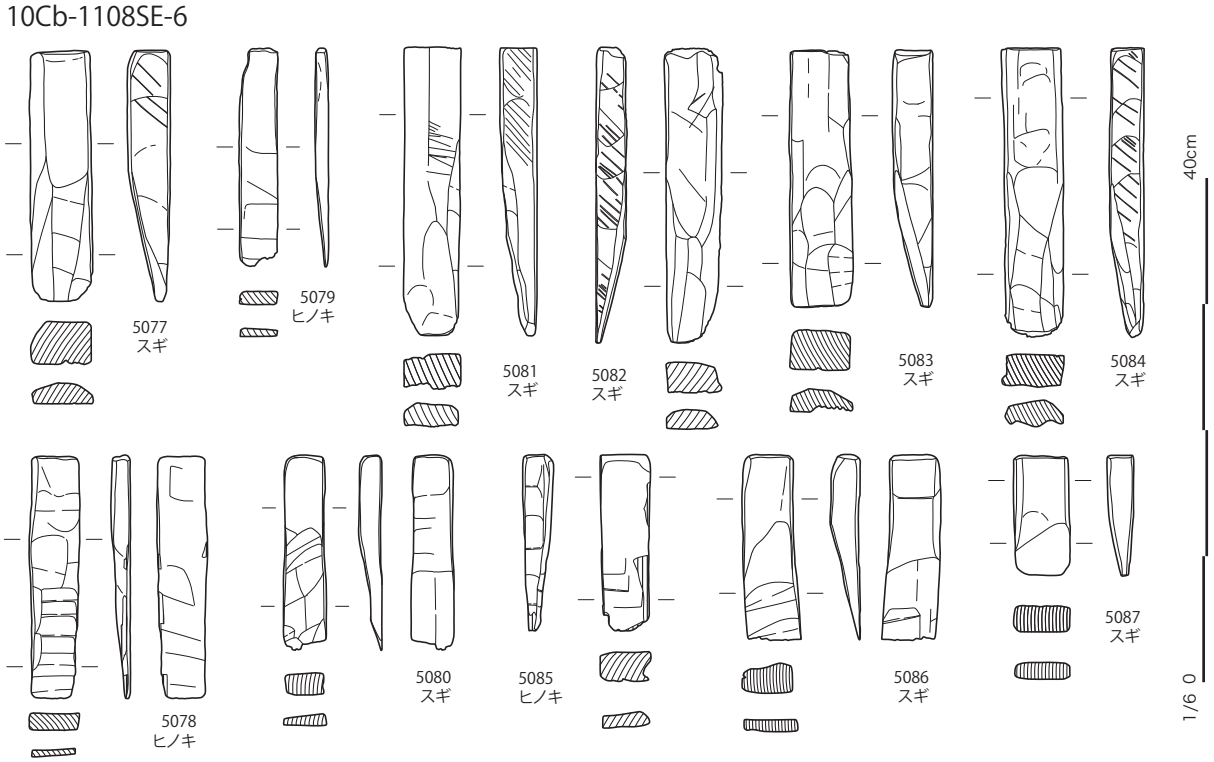


図 2-85　10Cb 区 1108SE 出土井戸枠材実測図 -6（1:6）

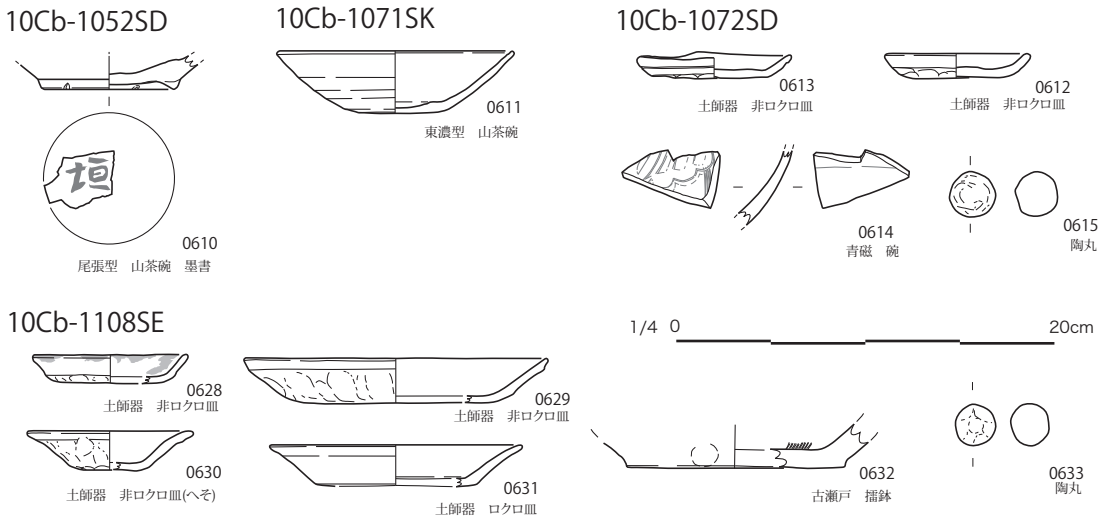


図 2-86　10Cb 区 1052・1072SD/1071SK/1108SE 出土遺物実測図（1:4）

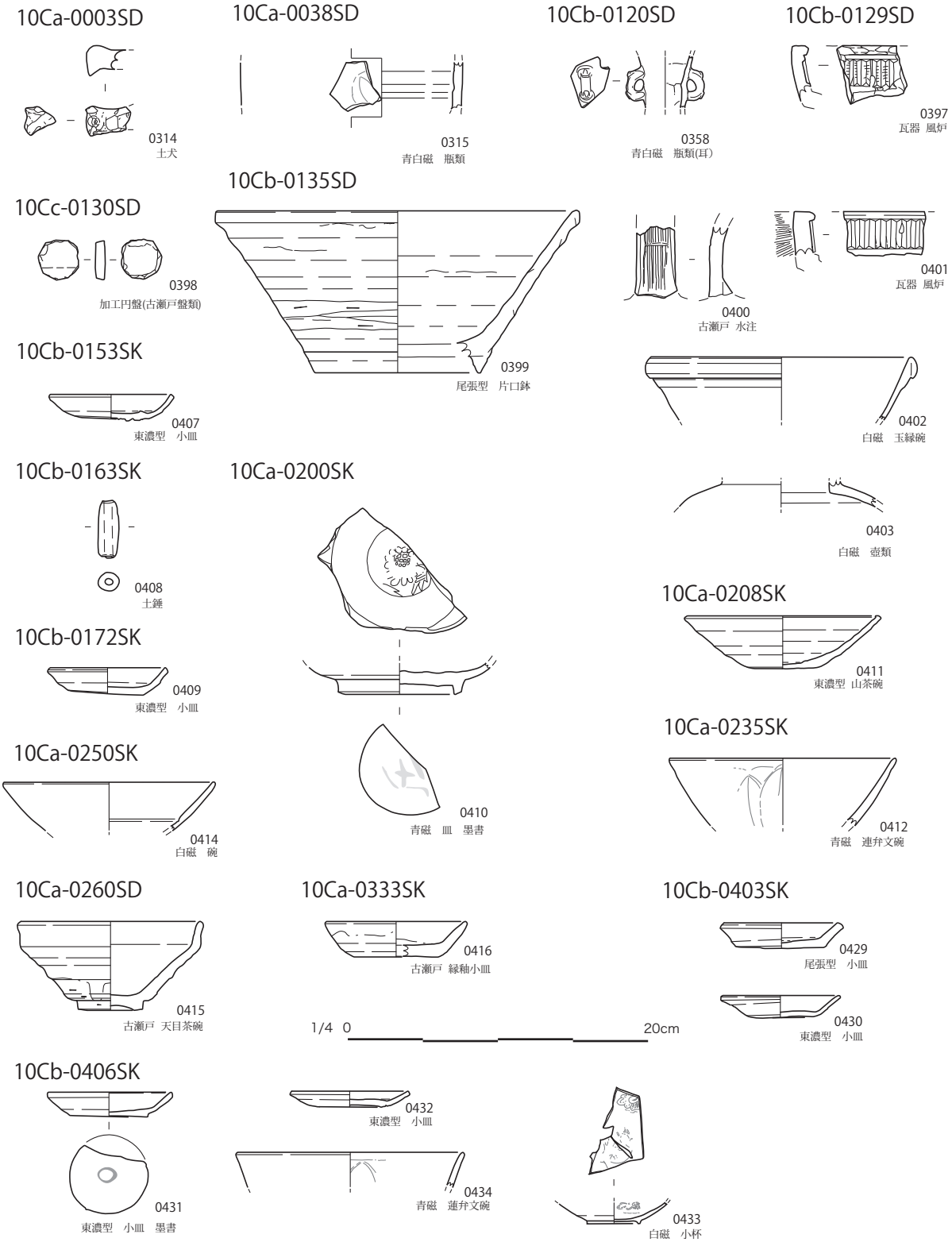


図 2-87　10C 区出土遺物実測図 -1（1:4）

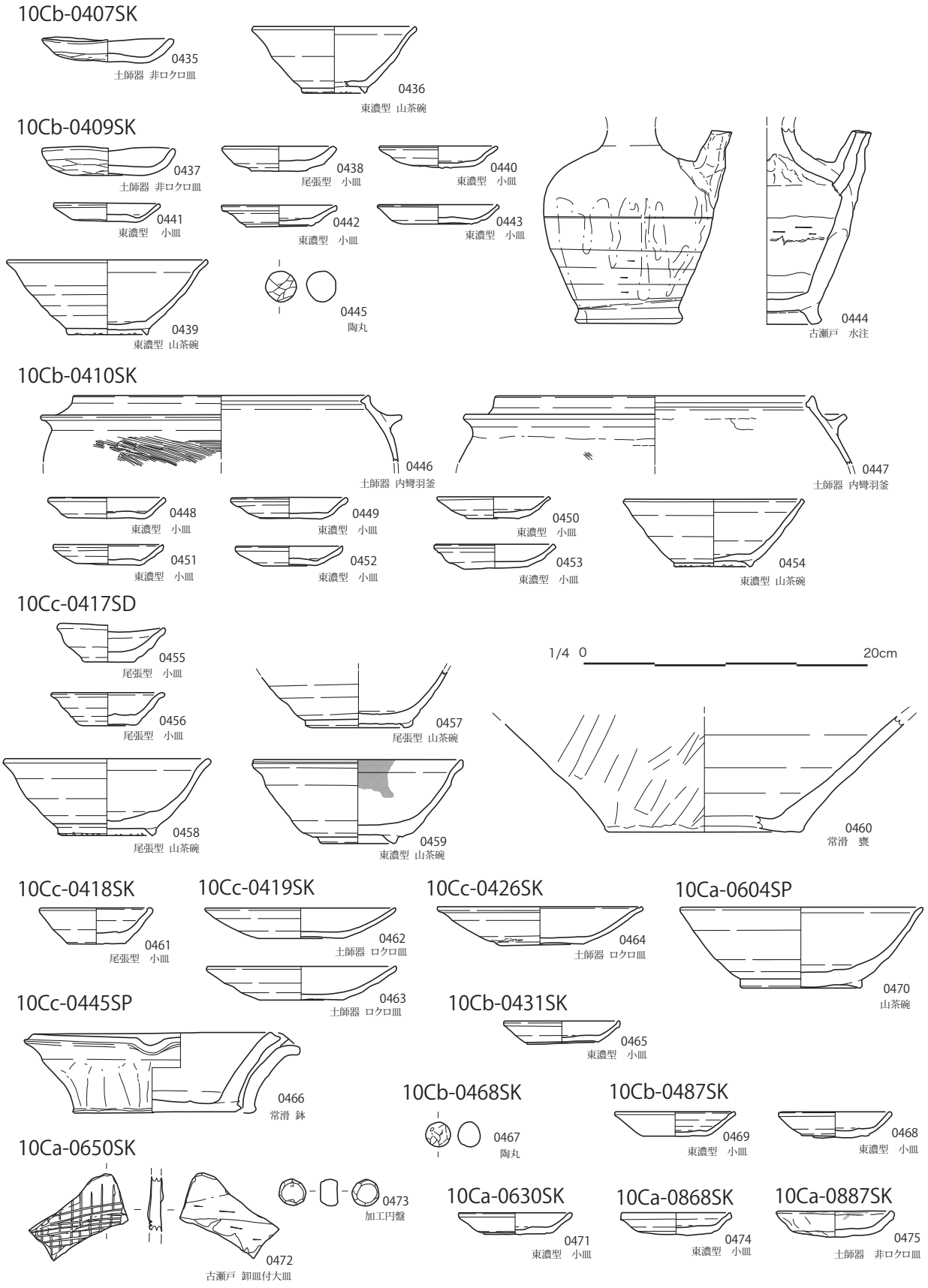


図 2-88　10C 区出土遺物実測図 -2（1:4）

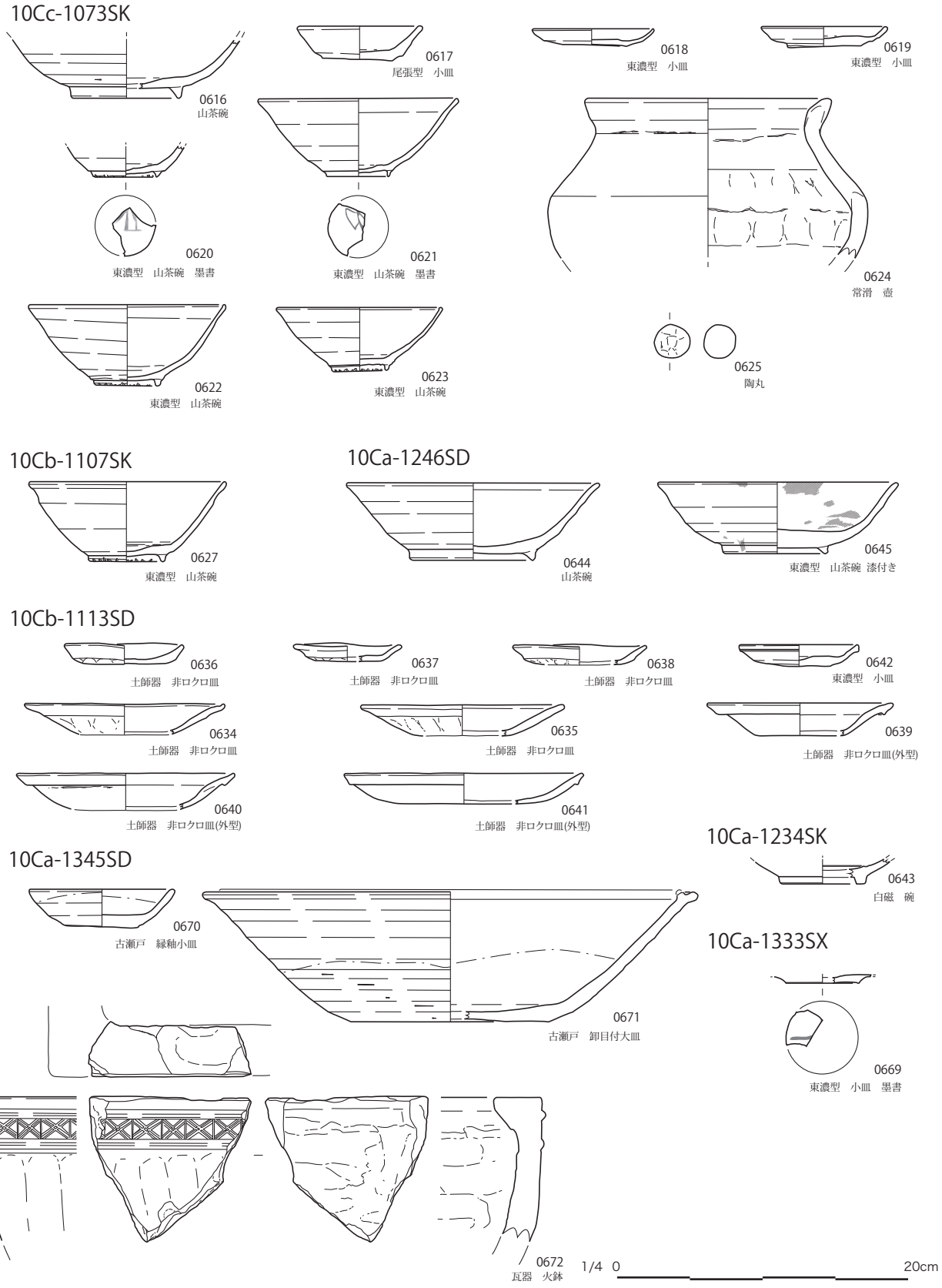


図 2-89　10C 区出土遺物実測図 -3（1:4）

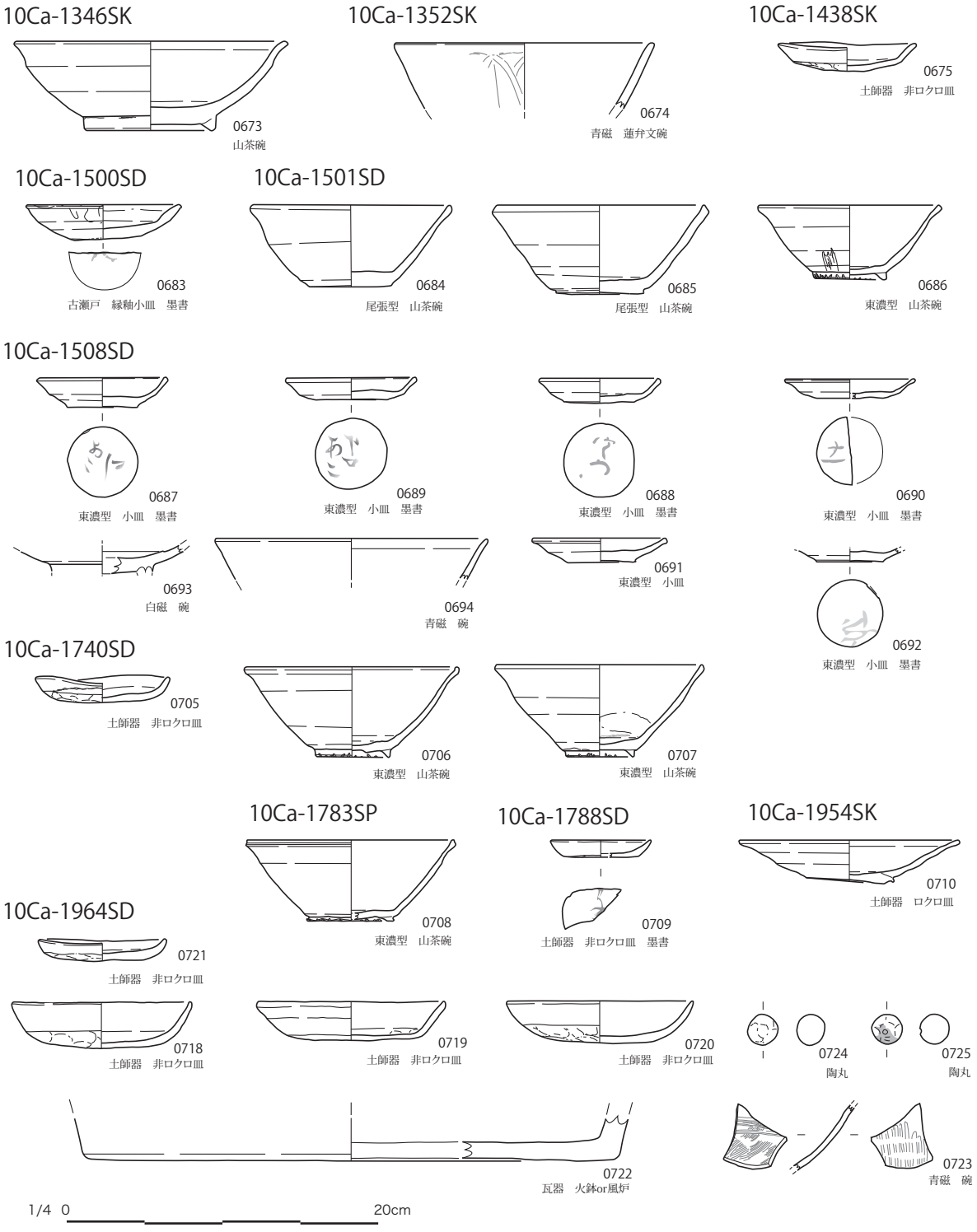


図 2-90　10C 区出土遺物実測図 -4（1:4）

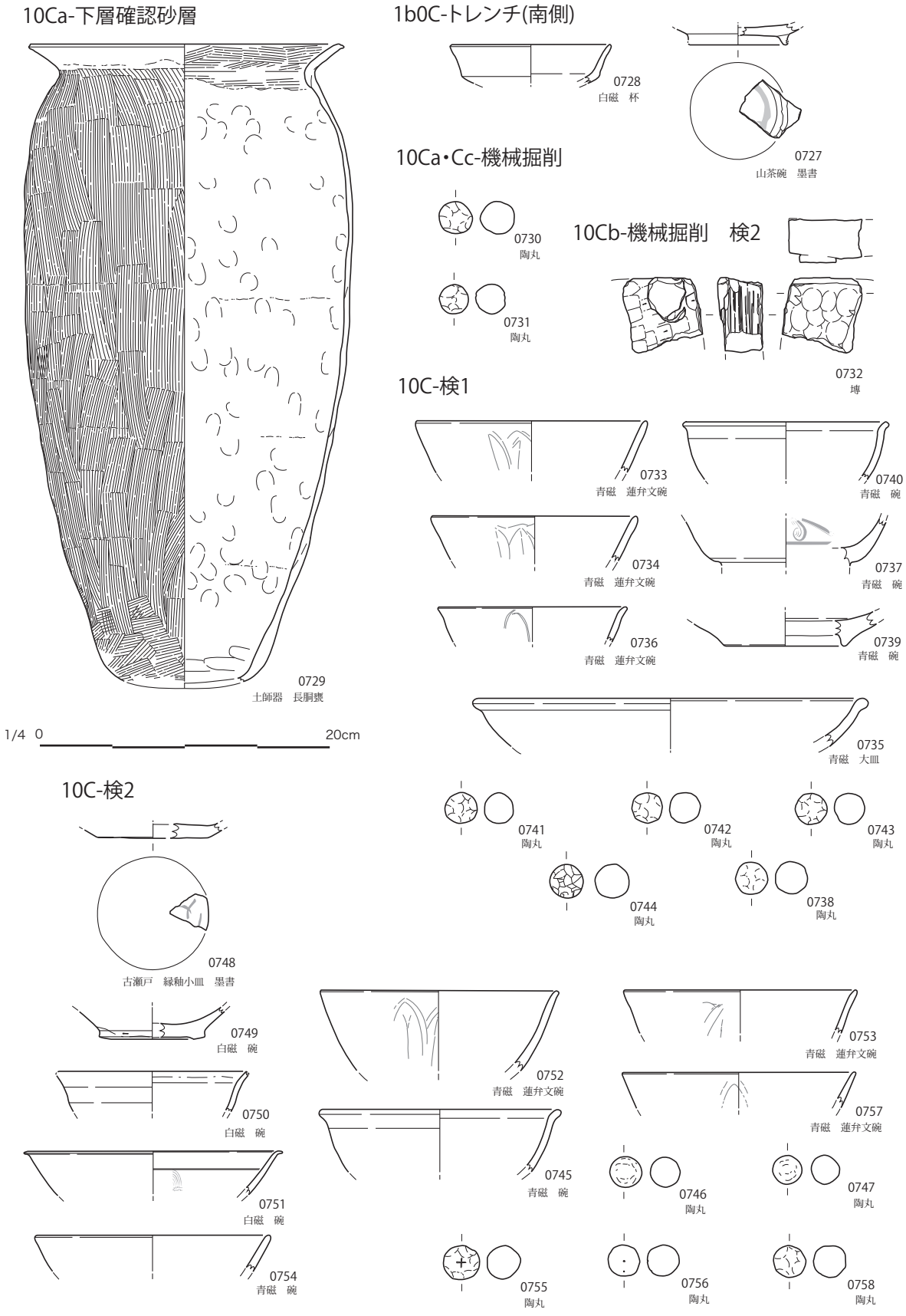


図 2-91　10C 区出土遺物実測図 -5（1:4）

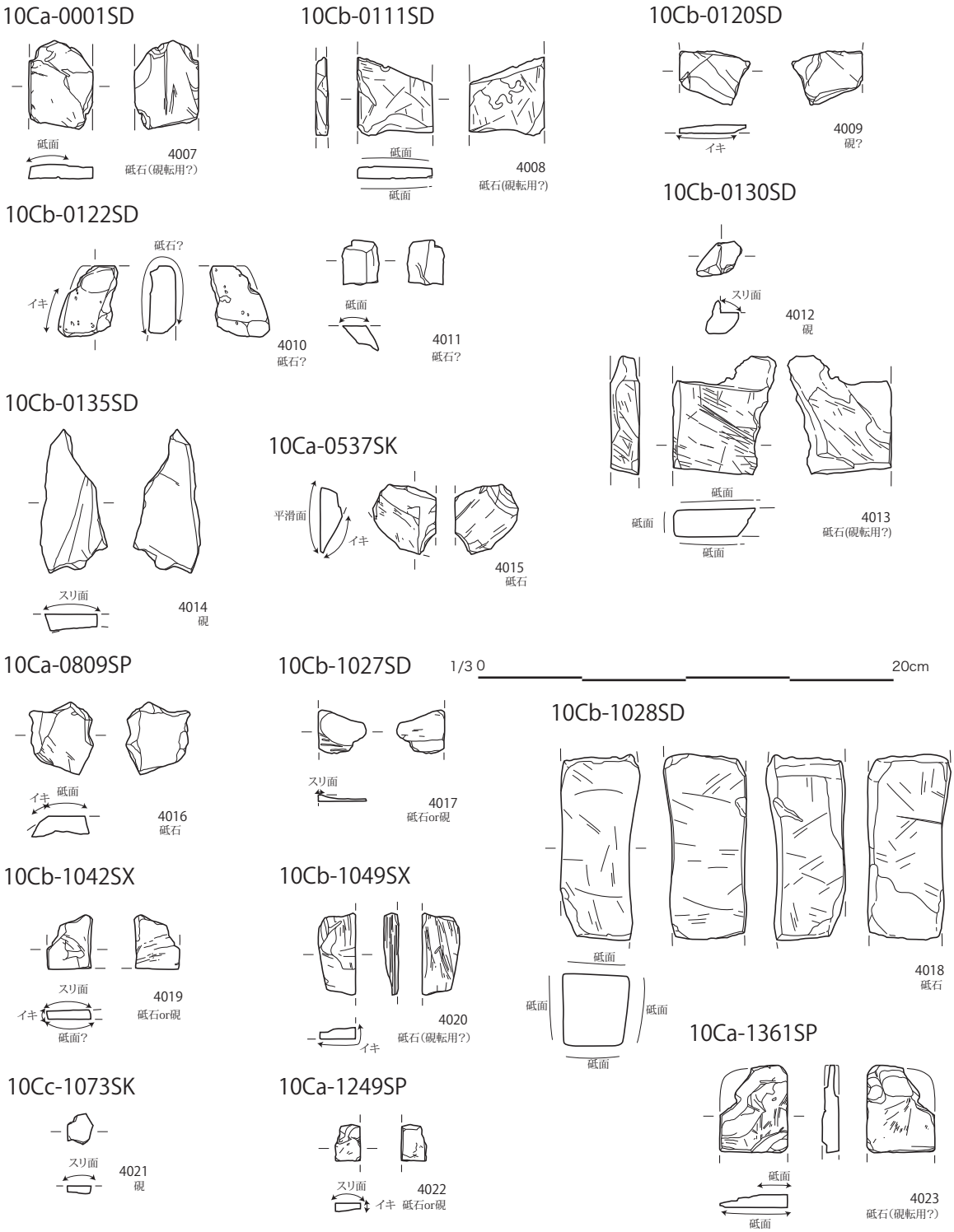


図 2-92　10C 区出土遺物実測図 -6（1:3）

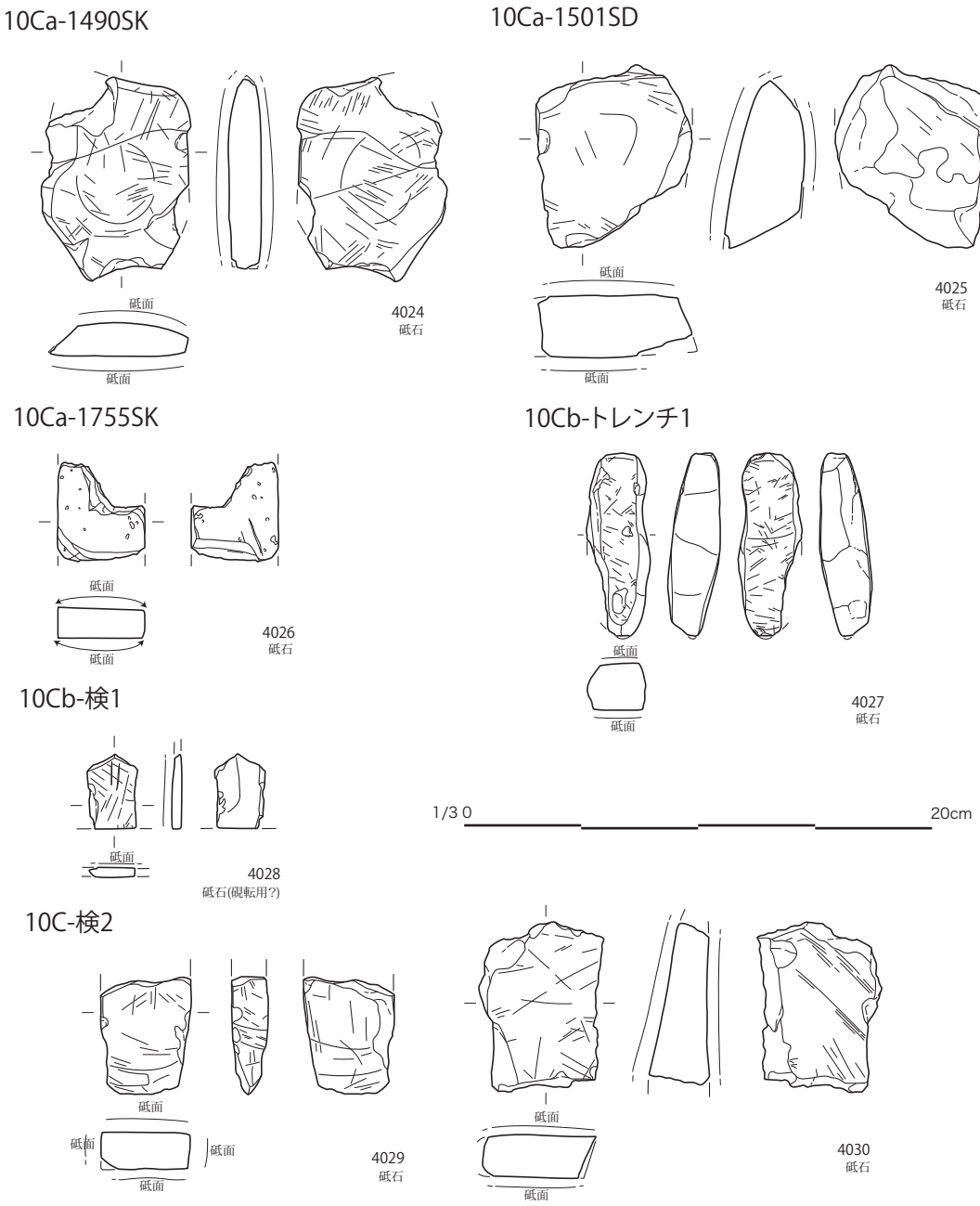


図 2-93　10C 区出土遺物実測図 -7（1:3）

5．D区

D区は10Da・Db区と11D区の3調査区からなる。各調査区の遺構検出面は、10Da区が3面、10Db区が2面、11D区が4面である。

3調査区ともに、第1面最上層の遺構は畠の畝溝と思われる多条の並行した細い溝である（図2-94）。出土遺物がほとんどないために時期の決定は難しいが、おおよそ16世紀以降のものと考えられる。

このD区を特徴づける遺構群は、10Da区の第3面で確認した、調査区南端を東西に走る大溝群とそれに直交する複数の南北溝、そしてこれらの区画内に掘削された、多量の土師器皿を廃棄した大型土坑群、さらにその東の10Db・11D区のやや低まった地形に掘削された大型方形土坑群、さらに東の小柱穴群である（図2-94～96）。

10Da区南端の大溝群は、遺構の重複関係から、およそ6時期の変遷が想定できる。まず最初に掘削されたのが1440SD-A・Bと1530SDである（図2-99・104・107・115・116）。前述の10Ca区西端の南北溝と同様に、一本の長い溝で

表2-7　D区遺構一覧-1

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Da 10Db	0001	SD	土師器（非ロクロ皿　内鬱羽釜　内耳鍋）　灰釉陶器碗　山茶碗　尾張型（小皿　片口鉢）　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸（小碗　浅碗　天目茶碗　縁釉小皿　豆皿　直縁大皿　折縁深皿　卸目付大皿　小鉢　盤類　擂鉢　袴腰形香炉　小壺or小瓶　四耳壺　内耳鍋　風炉　燭台　器種不明）　常滑（壺　甕）　中国産（青磁蓮弁文碗　青磁皿？）　瓦器火鉢or風炉　陶丸　砥石　釘　椀型滓	0759～0827・4031	明和～大窯1期	13c第2四半期～16c第1四半期	1面	6G18,19l	-680	172	88	溝	弧状
10Da	0002	SD	土師器（非ロクロ皿　内鬱羽釜ミニチュア）　古瀬戸（豆皿　楠）　中国産（白磁碗　白磁皿）	0828～0833	後Ⅰ～Ⅱ期・後Ⅳ期古	14c第3四半期～第4四半期・15c第2四半期	2面	6G18,19m	-595	122	74	溝	U字状
10Da	0004	SK	土師器非ロクロ皿　釘　鉄製品　含鉄遺物	0834・0835		14～15c	3面	6G18,19n	-485	-90	55	不明	U字状
10Da	0005	SD	土師器ロクロ皿　古瀬戸折縁小皿　中国産青白磁小壺？　釘　椀型滓　含鉄遺物	0836～0838	後Ⅰ期	14c第3四半期	2面	6G18n	-220	-88	56	溝	U字状
10Da	0006	SD	土師器非ロクロ皿　釘　含鉄遺物　羽口	0839		14c	2面	6G18n	-175	-55	-	溝	不明
10Da	0021	SK	古瀬戸平碗　椀型滓	0840	後Ⅱ期	14c第4四半期	2面	6G19o	47	42	36	楕円形	U字状
10Da	0022	SK	古瀬戸縁釉小皿　釘	0841	後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	6G19o	74	61	29	方形	弧状
10Da	0082	SK	古瀬戸香炉	0842	後期	14c第3四半期～15c第4四半期	2面	6G19l	106	59	15	楕円形	弧状
10Da	0115	SK	陶丸	0843			3面	6G20l,m	442	-160	108	不明	U字状
10Da	0121	SK	土師器伊勢型鍋　尾張型小皿　東濃型小皿墨書　古瀬戸平碗　陶丸　留金具　釘　椀型滓	0844～0850	6型式・後Ⅰ期	13c第2四半期・14c第3四半期	1面	6G18j	252	133	66	楕円形	U字状
10Da	0122	SK	東濃型小皿	0851	明和	13c第2四半期～第3四半期	1面	6G18j	48	42	22	方形	U字状
10Da	0127	SK	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型　ロクロ皿）　片口鉢　東濃型小皿　古瀬戸（平碗　縁釉小皿　卸皿　折縁深皿　擂鉢形小鉢　筒形香炉）　常滑（鍋　壺　甕）　瓦器火鉢or風炉　吊金具　釘　椀型滓　含鉄遺物	0852～0930	白土原・後Ⅰ～Ⅱ期・後Ⅳ期古・中野10型式	13c第2四半期・14c第3四半期～第4四半期・15c第2四半期～第4四半期	1面	6G18i	283	203	59	方形	弧状
10Da	0130	SK	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型　ロクロ皿　清郷型甕）　尾張型（小皿　山茶碗　片口鉢）　東濃型山茶碗　古瀬戸（天目茶碗　楠　祖母懐茶壺）　中国産白磁玉縁碗　瓦器火鉢or風炉　加工円盤　釘　椀型滓	0931～0967	5～6型式・後Ⅰ期・後Ⅳ期古・脇之島	12c第4四半期～13c第2四半期・14c第3四半期～15c第2四半期	1面	6G18i	385	188	36	楕円形	弧状
10Da	0137	SD	土師器非ロクロ皿 古瀬戸折縁深皿　瓦器火鉢	0968～0971	後Ⅳ期	15c第2四半期～第4四半期	1面	6G19i	-352	74	38	溝	U字状
10Da	0150	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型（小皿　小皿墨書　山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸（折縁深皿　綿腰形瓶子）　常滑甕　瓦器風炉？　陶丸　釘　椀型滓　含鉄遺物	0972～0987	明和～大畑大洞古・後Ⅰ期	13c第2四半期～14c第1四半期・14c第3四半期	2面	6G19h	303	228	85	楕円形	弧状
10Da	0151	SK	砥石　椀型滓	4032			1面	6G19h	72	55	31	方形	U字状
10Da	0160	SK	古瀬戸擂鉢　陶丸　釘	0989～0991	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	6G18f	229	172	34	楕円形	2段落ち
10Da	0161	SK	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿特大　非ロクロ皿外型　ロクロ皿）　山茶碗　尾張型小皿　古瀬戸（縁釉小皿　燭台）　中国産白磁碗　加工円盤瓦器　刀子　釘　椀型滓	0992～1042・1044～1070	後期	14c第3四半期～15c第4四半期	1面	6G17f	150	110	53	不定形	弧状
10Da	0162	SK	尾張型小皿墨書　土錘	1071・1072			1面	6G18g	-250	155	60	不定形	弧状
10Da	0163	SK	古瀬戸天目茶碗	1073	後Ⅰ期	14c第3四半期	1面	6G17g	42	39	18	楕円形	弧状
10Da	0170	SK	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型　ロクロ皿）　灰釉陶器碗　古瀬戸擂鉢　常滑甕　中国産白磁碗	1074～1093	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	6G18g	127	63	48	楕円形	U字状
10Da	0173	SP	尾張型小皿	1094	6型式	13c第2四半期	1面	6G17f	-30	31	10	不明	弧状

表 2-8　D 区遺構一覧 -2

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Da	0180	SD	東濃型（小皿 小皿墨書 山茶碗墨書） 古瀬戸（緑釉小皿 直線大皿） 中国産青磁蓮弁文碗 瓦器火鉢or風炉 硯 砥石 鉄鍋 椀型滓	1095～1105・4033・4034	大畑大洞古・後Ⅰ期・後Ⅳ期	13c第4四半期～14c第1四半期・14c第3四半期・15c第2四半期～第4四半期	1面	6G18,19h	-1220	100	82	溝	U字状
10Da	0186	SK	東濃型小皿	1106	白土原	13c第2四半期	1面	6G19h	92	-42	28	不明	U字状
10Da	0190	SD	瓦器風炉 中国産（青磁蓮弁文碗 青磁碗） 砥石 椀型滓	1107～1109・4035			1面	6G19g,k	1912	30	13	溝	弧状
10Da	0192	SK	東濃型小皿	1110	大洞東	14c第4四半期～15c第1四半期	1面	6G18f	62	-60	21	方形	弧状
10Da	0200	SK	東濃型小皿 古瀬戸天目茶碗 中国産青磁碗	1111～1116	大畑大洞古・後Ⅳ期新	13c第4四半期～14c第1四半期・15c第3四半期～第4四半期	1面	6G17f	120	57	30	楕円形	U字状
10Da	0298	SK	古瀬戸仏供 陶丸	1117・1118	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	6G16b	42	42	21	方形	U字状
10Da	0313	SK	陶丸	1119			1面	6F16s	75	38	33	楕円形	U字状
10Da	0325	SK	土師器非ロクロ皿	1120			1面	6F16s	42	30	18	楕円形	U字状
10Da	0337	SK	砥石or硯 釘 含鉄遺物	4036			1面	6F15t	113	42	27	楕円形	U字状
10Db	0350	SD	砥石	4037			1面	7G1,2s	-594	29	6	溝	弧状
10Db	0354	SD	砥石 釘 鉄製品	4038			1面	7G12s	750	30	5	溝	弧状
10Db	0389	SD	東濃型（小皿墨書 山茶碗 山茶碗墨書） 陶丸 砥石 or硯	1121～1127・4039	明和	13c第2四半期～第3四半期	1面	7G1q	-278	143	56	溝	弧状
10Da	0402	SK	砥石 釘	4040			1面	6G19j	50	-29	13	楕円形	弧状
10Da	0413	SK	中国産白磁碗	1128			1面	6G19i	48	42	30	楕円形	U字状
10Da	0424	SK	中国産緑釉盤	1129			1面	6G20i	-75	62	31	不明	U字状
10Da	0425	SK	砥石	4041			1面	6G19i	135	128	11	円形	弧状
10Da	0435	SK	土師器（非ロクロ皿 ロクロ皿） 釘	1130～1145		15c	1面	6G17f	147	-50	19	不明	弧状
10Da	0436	SK	尾張型小皿 陶丸 銭貨	1146・1147	6型式	13c第2四半期	1面	6G17g	-80	-55	3	不明	弧状
10Da	0437	SK	古瀬戸擂鉢 釘	1148	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	6G18f	162	160	61	円形	弧状
10Da	0438	SK	中国産白磁碗	1149			1面	6G18g	-70	95	38	円形	弧状
10Da	0440	SK	土師器（非ロクロ皿 ロクロ皿）	1043・1150～1152		15c	1面	6G17g	152	-46	29	不明	弧状
10Da	0475	SK	尾張型小皿 中国産（青磁碗 青磁香炉） 銭貨 釘	1153～1156	6型式	13c第2四半期	2面	6F16t	-258	156	53	不定形	弧状
10Da	0511	SK	陶丸	1157			2面	6G16b	86	80	26	方形	弧状
10Da	0537	SK	土師器非ロクロ皿 東濃型小皿	1158～1162	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	2面	6G18k	-38	-43	10	楕円形	弧状
10Da	0589	SK	砥石or硯	4042			2面	6G19i	44	35	8	方形	弧状
10Da	0600	SK	土師器ロクロ皿 尾張型小皿 古瀬戸土瓶・茶釜の蓋 瓦器（風炉 火鉢） 中国産褐釉壺 陶丸 砥石 銭貨 刀子 釘	1163～1169・4043	後期	14c第3四半期～15c第4四半期	2面	6G18h	415	278	45	楕円形	弧状
10Da	0607	SK	陶丸 椀型滓	1170			2面	6G19i	75	-50	32	不明	U字状
10Da	0632	SK	陶丸	1171			2面	6G17j	162	-80	33	不明	弧状
10Da	0644	SK	東濃型小皿墨書	1172			2面	6G18i	23	20	25	円形	U字状
10Da	0651	SK	―	―			2面	6G17i	49	-32	20	不明	U字状
10Da	0661	SK	古瀬戸緑釉小皿	1173	後Ⅲ期	15c第1四半期	2面	6F14t	-62	-56	70	方形	二段落ち
10Da	0684	SK	中国産白磁端反皿	1174			1面	6G18j	52	-30	18	不明	U字状
10Da	0686	SK	土師器非ロクロ皿 東濃型（小皿 山茶碗墨書） 古瀬戸（平碗 緑釉小皿） 含鉄遺物	1175～1182	脇之島・後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	6G17e	400	-200	50	不定形	二段落ち
10Da	0688	SD	瀬戸灯明皿 砥石 椀型滓	1183・4044	大窯1期	15c末～16c第1四半期	2面	6G19b	-720	70	13	溝	弧状
10Da	0690	SP	土師器ロクロ皿	1184		15～16c	2面	6G20a	-20	24	8	楕円形	弧状
10Da	0701	SK	常滑甕	1185	中野5型式	13c第2四半期	2面	6G19g	78	73	42	方形	U字状
10Da	0707	SK	土師器（非ロクロ皿 非ロクロ皿白色系 小鉢 内耳鍋 内鴨羽釜） 尾張型（小皿 片口鉢） 東濃型（小皿 小皿墨書 山茶碗 山茶碗墨書） 古瀬戸折縁深皿 陶丸 椀型滓 含鉄遺物 鉄塊系遺物	1186～1299	明和・大畑大洞古・大畑大洞新	13c第2四半期～第3四半期・13c第4四半期～14c第1四半期・14c第2四半期～第3四半期	2面	6G19f	439	252	130	不定形	U字状
10Da	0726	SK	土錘	1300			2面	6G19g	73	61	35	方形	U字状
10Da	0730	SK	古瀬戸袴腰形香炉 釘	1301	後Ⅲ期	15c第1四半期	2面	6F20t	-354	104	47	不定形	弧状
10Da	0736	SK	砥石or硯	4045			2面	6G20f	73	-56	14	楕円形	弧状
10Da	0769	SK	古瀬戸緑釉小皿	1302	後Ⅳ期	15c第2四半期～第4四半期	2面	6G17c	42	36	18	楕円形	U字状

表 2-9　D 区遺構一覧 -3

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Da	0785	SK	古瀬戸土瓶	1303	後期	14c第3四半期～15c第4四半期	2面	6G20b	54	42	23	楕円形	U字状
10Da	0790	SK	土師器（非ロクロ皿　ロクロ皿　伊勢型鍋）　山茶碗　尾張型小皿　東濃型山茶碗　古瀬戸（天目茶碗　卸目付大皿）　椀型滓　含鉄遺物	1304～1333	後Ⅰ～Ⅱ期・後Ⅳ期古・脇之島	14c第3四半期～15c第2四半期	2面	6G20c	-127	170	47	不明	弧状
10Da	0808	SP	古瀬戸小型四耳壺	1334	後期	14c第3四半期～15c第4四半期	2面	6G17g	35	32	38	楕円形	U字状
10Da	0810	SK	東濃型小皿　鉄塊系遺物	1335	明和	13c第2四半期～第3四半期	2面	6G18g	88	75	64	楕円形	U字状
10Da	0835	SP	東濃型山茶碗	1336	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	2面	6G18g	18	-12	7	不明	U字状
10Da	0843	SK	尾張型小皿	1337～1339	6型式・明和	13c第2四半期～第3四半期	2面	6G17g	-92	78	45	不明	U字状
10Da	0878	SK	古瀬戸天目茶碗	1340	後Ⅲ期	15c第1四半期	2面	6G18e	-75	53	25	不定形	弧状
10Da	0903	SK	銭貨	—			2面	6G18h	-202	160	20	不定形	弧状
10Da	0905	SK	土師器内鬱羽釜　東濃型山茶碗　砥石or硯	1341～1344・4046	明和～大畑大洞古・大洞東～脇之島	13c第2四半期～14c第1四半期・14c第4四半期～15c第2四半期	2面	6G18i	112	81	15	方形	弧状
10Da	0916	SK	—	—			2面	6G17h	-50	55	45	不明	U字状
10Da	0923	SK	東濃型山茶碗墨書　古瀬戸筒形香炉　含鉄遺物	1345・1346			3面	6G19e	332	-180	65	不定形	弧状
10Da	0928	SK	瀬戸天目茶碗　瓦器風炉	1347・1348	大窯4期前半	16c末	2面	6G19l	55	32	17	楕円形	弧状
10Da	0945	SK	東濃型小皿　刀子　含鉄遺物	1349	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	3面	6G19l	42	38	45	方形	U字状
10Da	0947	SK	古瀬戸（内耳鍋　根来形瓶子）　中国産（白磁端反皿　白磁皿　青磁蓮弁文碗）釘　流動滓　椀型滓	1350～1355	後Ⅳ期	15c第2四半期～第4四半期	3面	6G19n	-280	218	94	楕円形	弧状
10Da	0950	SD	古瀬戸柄付片口 陶丸	1356・1357	中Ⅲ期	14c第2四半期	3面	6G19l	-383	77	33	溝	弧状
10Da	0963	SK	陶丸　釘　含鉄遺物	1358			3面	6G19j	98	73	33	楕円形	弧状
10Da	0967	SK	瓦器火鉢	1359			3面	6G19k	154	-24	33	不明	U字状
10Da	0968	SK	中国産青白磁袋物　釘	1360			3面	6G19l	181	142	37	楕円形	弧状
10Da	0972	SD	古瀬戸仏供	1361			3面	6G19j	-102	39	49	溝	U字状
10Da	0975	SK	尾張型片口鉢　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸水注	1362～1365	大畑大洞新～大洞東	14c第2四半期～15c第1四半期	3面	6G19i	-110	112	32	不明	弧状
10Da	0982	SK	中国産青磁蓮弁文碗	1366			3面	6G18l	60	44	13	楕円形	弧状
10Da	0995	SK	東濃型小皿　釘	1367	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	3面	6G19k	103	39	20	楕円形	U字状
10Da	0996	SK	陶丸	1368・1369			3面	6G18j	250	-98	18	方形	弧状
10Da	1000	SK	土師器非ロクロ皿　尾張型（小皿　山茶碗）　東濃型（小皿　山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸綿腰形瓶子　常滑（壺　甕）　中国産白磁碗　石鍋　釘	1370～1402・4047	6～7型式・明和～大畑大洞古・中野6a～8型式	13c第2四半期～14c第4四半期	3面	6G18h	-213	194	110	楕円形	U字状
10Da	1005	SK	土師器非ロクロ皿　尾張型片口鉢　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸（天目茶碗　卸皿）　加工円盤　陶丸　釘	1403～1424	明和～大畑大洞古・大洞東・後Ⅱ期	13c第2四半期～14c第1四半期・14c第4四半期～15c第1四半期	3面	6G19k	436	-170	26	楕円形	弧状
10Da	1006	SK	東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸柄付片口　含鉄遺物	1425～1427	大畑大洞	13c第4四半期～14c第3四半期	3面	6G19l	-42	-42	21	不明	U字状
10Da	1009	SK	土師器非ロクロ皿　砥石or硯　釘　椀型滓	1428・4048		14～15c	3面	6G18l	143	110	82	楕円形	U字状
10Da	1028	SK	東濃型山茶碗墨書　土錘　刀子	1429・1430	明和	13c第2四半期～第3四半期	3面	6G19h	-310	-110	-	不明	不明
10Da	1030	SK	東濃型小皿　釘　含鉄遺物	1431	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	3面	6G19j	105	99	40	方形	弧状
10Da	1032	SK	古瀬戸卸皿　陶丸釘　流動滓	1432・1433	前期後半	13c第3四半期～第4四半期	3面	6G18h	52	-13	-	不明	不明
10Da	1041	SK	東濃型山茶碗	1434	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	3面	6G17d	42	33	13	楕円形	弧状
10Da	1047	SK	中国産越州窯青磁碗	1435		15c？	3面	6G16a	-206	206	8	不明	弧状
10Da	1051	SK	砥石or硯	4049			3面	6G16a	60	54	26	方形	弧状
10Da	1056	SD	尾張型片口鉢　東濃型（小皿　小皿墨書　山茶碗）　常滑鉢　瓦器（風炉　火鉢）	1436～1446	大畑大洞古・中野10型式	13c第4四半期～14c第1四半期・15c第3四半期～第4四半期	3面	6G16,17b	-565	122	58	溝	弧状
10Da	1061	SK	灰釉陶器碗	1447	H-72	10c後半～11c第2四半期	3面	6G16d	53	44	19	円形	弧状

表 2-10　D 区遺構一覧 -4

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Da	1091	SK	東濃型山茶碗墨書	1448	明和	13c第2四半期～第3四半期	3面	6G17d	120	-80	49	楕円形	U字状
10Da	1103	SD	土師器ロクロ皿　中国産白磁杯　釘	1449・1450		15c	3面	6G18i	364	52	39	溝	U字状
10Da	1106	SK	東濃型小皿墨書　釘　椀型滓　含鉄遺物	1451	明和	13c第2四半期～第3四半期	3面	6G18k	-125	125	5	不明	弧状
10Da	1107	SK	古瀬戸小天目茶碗	1452	後Ⅰ期	14c第3四半期	3面	6F18s	-170	-110	41	不明	二段落ち
10Da	1109	SD	古瀬戸平碗	1453	後Ⅱ期	14c第4四半期	3面	6F20t	-640	60	24	溝	弧状
10Da	1115	SD	古瀬戸擂鉢	1454	後Ⅳ期	15c第2四半期～第4四半期	3面	6G19a	180	102	28	溝	弧状
10Da	1117	SD	土師器（非ロクロ皿　内鴾羽釜）　山茶碗　尾張型（山茶碗　片口鉢）　東濃型（小皿　小皿墨書　山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸（天目茶碗　平碗　縁釉小皿　直縁大皿　折縁中皿　折縁深皿　小鉢　柄付片口　袴腰形香炉　四耳壺　桶？　小壺　茶壺　壺　尊式花瓶）　常滑甕　中国産（青磁小碗　青磁碗）　瓦器風炉　陶丸　砥石　銭貨　釘　含鉄遺物	1455～1529・4050	白土原～大畑大洞古・後期	13c第2四半期～14c第1四半期・14c第3四半期～15c第4四半期	3面	6G16c	-532	300	99	溝	V字状
10Db	1137	SP	東濃型小皿墨書	1530			2面	7G2r	33	32	30	円形	U字状
10Db	1185	SK	古瀬戸天目茶碗	1531	後Ⅲ期	15c第1四半期	2面	7G2r	-78	71	21	楕円形	弧状
10Db	1203	SK	朝鮮半島産雑釉徳利　陶丸	1532・1533		15c	2面	7G1q	156	80	25	不定形	U字状
10Db	1206	SK	―	―			2面	7G1q～1r	183	105	9	不定形	弧状
10Db	1218	SD	土師器非ロクロ皿	1534			2面	7G1r～2r	-42	49	14	楕円形	弧状
10Db	1221	SK	古瀬戸（縁釉小皿　茶壺蓋）	1535・1536	後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	7G2r	-71	-43	16	不明	弧状
10Db	1231	SD	土師器（非ロクロ皿　内耳鍋　羽付鍋　釜　羽有釜）　山茶碗　片口鉢　尾張型（山茶碗　片口鉢）　東濃型（小皿　山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸（天目茶碗　平碗　縁釉小皿　柄付片口　卸皿　折縁深皿　花盆　盤類　擂鉢　筒形香炉　大型筒形容器　袴腰形香炉　桶　四耳壺　祖母懐茶壺　茶壺or土瓶　壺or瓶　小壺or小瓶　仏飾具　根来形瓶子　花瓶　茶釜　茶釜蓋　内耳鍋）　瀬戸（丸皿　ハサミ皿か？　折縁皿　擂鉢　内耳鍋）　常滑甕　須恵器鉢　中国産（白磁碗墨書　青磁蓮弁文碗）　加工円盤（常滑）　椀型滓	1537～1630	窯洞～大窯3期前半	13c第1四半期～16c第3四半期	2面	7G1n	-115	146	12	不明	弧状
10Db	1234	SK	土師器非ロクロ皿	1631		15c	2面	7G1p	-165	-76	21	不定形	弧状
10Db	1236	SK	中国産青磁蓮弁文碗　釘　椀型滓	1632			2面	7G1q	148	99		方形	不明
10Da	1250	SD	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型　ロクロ皿　内鴾羽釜）　灰釉陶器（碗　壺）　山茶碗　小碗　尾張型（小皿　山茶碗　山茶碗墨書　片口鉢）　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸（小天目茶碗　天目茶碗　鉄釉平碗　平碗　縁釉小皿　直縁大皿　折縁深皿　折縁中皿　底卸目皿　卸皿　卸目付大皿　盤類　小鉢　擂鉢形小鉢　擂鉢　鉢　柄付片口　筒形容器　筒形香炉　袴腰形香炉　桶　小壺or小瓶　四耳壺　祖母懐茶壺　尊式花瓶　水注根来形瓶子　瓶類　広口瓶　茶入　内耳鍋　仏供　燭台）　常滑（壺小型　壺or甕　甕）　中国産（褐釉鉢　白磁碗　白磁皿　青磁碗　青磁皿　青磁蓮弁文碗）　瓦器（風炉　火鉢or風炉）　加工円盤（壺or瓶）　陶丸　砥石　釘　椀型滓　含鉄遺物	1633～1890・1892～1922・4051	H-72～4型式～生田	10c後半～12c第3四半期～15c第4四半期	3面	6F19t～6G20h	-4670	270	60	溝	弧状
10Da	1256	SD	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型）　東濃型山茶碗　古瀬戸卸目付大皿	1923～1940	後Ⅳ期古	15c第2四半期	3面	6G17d	370	-110	32	溝	弧状
10Db	1261	SK	―	―			2面	7G1q	152	-71		不明	不明
10Db	1262	SP	砥石　椀型滓　含鉄遺物	4052			2面	7G1q	17	16	7	円形	弧状
10Db	1263	SK	釘　羽口	―			2面	7G1q～1r	123	108	21	楕円形	弧状
10Db	1264	SK	古瀬戸尊式花瓶　砥石（硯転用？）　砥石or硯　砥石　釘　とりべ　椀型滓	1941・4053～4056	後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	7G1r	236	219	5	不定形	弧状
10Db	1269	SK	古瀬戸擂鉢　砥石（硯転用？）	1942・4057	後Ⅳ期	15c第2四半期～第4四半期	2面	7G1r～1s	125	-32	30	不明	U字状
10Db	1287	SP	―	―			2面	7G1s	19	17	19	円形	U字状
10Db	1290	SK	東濃型小皿墨書	1943	大畑大洞古	13c第2四半期～14c第1四半期	2面	7G1r～1s	-97	74	37	不定形	弧状
10Db	1292	SK	瓦器風炉　砥石（硯転用？）　銅製品	1944・4058			2面	7G1s	123	-94	32	楕円形	弧状
10Db	1296	SP	―	―			2面	7G1s	20	16	17	円形	U字状
10Db	1297	SK	砥石	4059			2面	7G1r～1s～2s	129	-89	15	不定形	弧状
10Db	1304	SK	土師器非ロクロ皿　砥石or硯	1945・4060			2面	7G2s	56	32	9	楕円形	弧状
10Db	1309	SK	東濃型（山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸縁釉小皿　中国産青磁蓮弁文碗　銭貨　釘	1946～1949			2面	7G2r～2s	142	80	27	楕円形	弧状
10Db	1334	SK	砥石　含鉄遺物	4061			2面	7G2s	122	-74	8	不明	弧状
10Db	1337	SP	砥石or硯	4062			2面	7G2s	24	23	40	円形	U字状
10Db	1348	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型小皿　含鉄遺物	1950・1951	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	2面	7G2r	95	84	30	楕円形	弧状
10Db	1362	SP	―	―		15c	2面	7G1n	41	32	26	楕円形	U字状
10Db	1374	SK	東濃型小皿　古瀬戸（小天目茶碗　鉢）　硯　釘　椀型滓　含鉄遺物	1952～1954・4063	後Ⅳ期古～生田	15c第2四半期～第4四半期	2面	7G1r～2r	163	133	35	不定形	弧状

表 2-11　D 区遺構一覧 -5

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Db	1386	SK	砥石　刀子　釘　鉄製品　含鉄遺物	4064			2面	7G1s	54	40	45	楕円形	U字状
10Db	1392	SK	中国産青磁端反皿	1955			2面	7G2s	-103	-49	20	不明	弧状
10Db	1400	SD	東濃型山茶碗墨書　椀型滓	1956	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	2面	7G1p	-176	143		不明	不明
10Da	1405	SK	尾張型（小皿　山茶碗）　古瀬戸平碗　瓦器火鉢or風炉　中国産白磁玉縁碗	1957～1961	5型式・後Ⅲ期	12c第4四半期～13c第1四半期・15c第1四半期	3面	6F16t	-430	-306	2	不定形	弧状
10Da	1410	SK	尾張型小皿　常滑甕	1962・1963	6型式・中野9型式	13c第2四半期・15c第1四半期～第2四半期	3面	6G16c,d	-210	-244	48	不明	弧状
10Da	1411	SD	尾張型小皿　東濃型小皿墨書　陶丸　砥石（硯転用？）　釘　鉄製品	1964～1966・4065	6型式・大畑大洞古	13c第2四半期・13c第4四半期～14c第1四半期	3面	6G17e～19e	-1290	96	57	溝	U字状
10Da	1430	SD	土師器非ロクロ皿　常滑甕　陶丸　釘　椀型滓	1967～1970	中野6b型式	13c第4四半期・15c	3面	6G19a～19d	1630	270		溝	
10Da	1435	SD	尾張型（小皿　山茶碗）　陶丸　椀型滓	1971～1973	6～7型式	13c第2四半期～第3四半期	3面	6G17g	-275	113	45	溝	弧状
10Da	1436	SD	土師器伊勢型鍋　尾張型（小皿　山茶碗墨書）　東濃型（小皿　山茶碗　山茶碗墨書）　陶丸	1974～1985	5型式～大畑大洞古	12c第4四半期～14c第1四半期	3面	6G18,19g	683	164	82	溝	U字状
10Da	1438	SK	尾張型小皿墨書	1986	6型式	13c第2四半期	3面	6G18g	140	115	63	楕円形	U字状
10Da	1439	SK	古瀬戸縁釉小皿	1987	後Ⅰ期	14c第3四半期	3面	6G19g	120	102	22	楕円形	弧状
10Da	1440	SD	土師器（非ロクロ皿　内鬱羽釜）　灰釉陶器碗　尾張型（山茶碗　山茶碗墨書　片口鉢）　東濃型（小皿　小皿　墨書　小碗　山茶碗　山茶碗墨書　）　古瀬戸（折縁中皿　折縁深皿　碗形鉢　梅瓶？　水注）　中国産白磁碗　陶丸　瓦器（風炉　火鉢or風炉）　砥石　銭貨　釘　椀型滓　椀型滓　羽口　含鉄遺物	1988～2024・4066	明和～大洞東	13c第2四半期～15c第1四半期	3面	6G19e～19g	1370	-160		溝	
10Da	1449	SK	東濃型山茶碗墨書	2025			3面	6G17i	-87	74	15	不明	弧状
10Db	1454	SP	砥石	4067			2面	7G2r	30	15	10	楕円形	U字状
10Db	1484	SK	東濃型小皿墨書　含鉄遺物	2026			2面	7G1p	116	-68	28	不明	弧状
10Db	1492	SD	中国産青磁碗　釘	2027			2面	7G1q～1r	-36	87	12	溝	弧状
10Da	1501	SK	土師器（内鬱羽釜　伊勢型鍋）　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸（底卸目皿　水注）　常滑（小型壺短壺　壺　甕）　中国産青磁蓮弁文碗　釘　含鉄遺物	2028～2047	明和～大畑大洞古・中野9型式	13c第2四半期～14c第1四半期・15c第1四半期～第2四半期	3面	6G18j	-312	345	32	不明	弧状
10Da	1505	SK	東濃型小皿	2048	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	3面	6G18j	-67	55	28	不明	U字状
10Da	1508	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型（小皿　山茶碗）　鉄鍋	2049～2053	明和	13c第2四半期～第3四半期	3面	6G18j	141	-83	27	不明	弧状
10Da	1514	SK	尾張型山茶碗　東濃型山茶碗　常滑甕　銭貨	2054～2056	明和～中野6a型式	13c第2四半期～第3四半期	3面	6G18l	-200	-61	23	不明	U字状
10Da	1530	SD	古瀬戸（袴腰形香炉　内耳鍋）　瓦器風炉　釘	2057～2059	後Ⅱ期・後Ⅳ期古	14c第4四半期・15c第2四半期	3面	6F19t	-520	-250	69	溝	弧状
10Da	1532	SK	古瀬戸擂鉢	2060	後Ⅳ期	15c第2四半期～第4四半期	3面	6G17d	305	93	53	不定形	U字状
10Da	1538	SK	土師器非ロクロ皿　含鉄遺物	2061・2062		15c	3面	6G17d	110	90	38	楕円形	弧状
10Da	1540	SD	古瀬戸小壺	2063	後Ⅲ～Ⅳ期	15c第1四半期～第4四半期	3面	6G19a	-590	-150		溝	
10Da	1543	SD	土師器非ロクロ皿	2064		14c	3面	6G18e	-146	76	58	溝	U字状
10Da	1550	SD	東濃型山茶碗　古瀬戸（擂鉢　花瓶　燭台）　瀬戸美濃　中国産青磁碗	2065～2070	生田	15c第3四半期～第4四半期	3面	6F19t～6G20e	-3190	-260		溝	
10Db	1555	SK	砥石（硯転用？）	4068			2面	7G1s～2s	76	33	9	楕円形	弧状
10Db	1608	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型（小皿墨書　山茶碗　山茶碗墨書　山茶碗漆付き）釘　椀型滓　含鉄遺物	2071～2075	明和・大畑大洞古	13c第2四半期～第3四半期・13c第4四半期～14c第1四半期	2面	7G1p～1q	-144	155	32	不明	弧状
10Db	1609	SK	土師器（内鬱羽釜　北伊勢羽釜）　東濃型山茶碗　中国産青磁碗　陶丸　鉄製品	2076～2081	大畑大洞古・生田	13c第4四半期～14c第1四半期・15c第3四半期～第4四半期	2面	7G1p	-166	-72		不明	不明
10Db	1611	SK	土師器内鬱羽釜　東濃型山茶碗　古瀬戸（天目茶碗　緑釉小皿　折縁深皿？　卸皿　盤類　仏花瓶　瓶子3類　内耳鍋　燭台）　釘　流動滓　含鉄遺物	2081～2099	脇之島～生田	15c第2四半期～第4四半期	2面	7G1o～1p	-290	-191	47	不明	弧状
10Db	1612	SD	古瀬戸（天目茶碗　釜）　陶丸　釘　椀型滓	2100～2102	後Ⅲ～Ⅳ期	15c第1四半期～第4四半期	2面	7G1o	307	-165	69	不明	弧状
10Db	1619	SK	東濃型（山茶碗　山茶碗墨書）　中国産白磁合子　硯？　砥石	2104～2106・4069・4070	明和	13c第2四半期～第3四半期	2面	7G1p～1q	-91	79	50	楕円形	U字状

表 2-12　D 区遺構一覧 -6

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Db	1621	SK	—	—			2面	7G1q～2q～2r～1r	-135	-88	7	不定形	弧状
10Db	1622	SK	—	—			2面	7G1q	193	137		不定形	不明
10Db	1624	SK	—	—			2面	7G1q～2q	192	157	85	楕円形	弧状
10Db	1625	SK	土師器壺？　陶丸	2107・2108			2面	7G1q	-96	-57	29	不明	U字状
10Db	1626	SK	—	—			2面	7G1q	-158	-121	55	不明	弧状
10Da	1694	SK	東濃型小皿	2109・2110	明和・大畑大洞新	13c第2四半期～第3四半期・14c第2四半期～第3四半期	3面	6G19d	156	-50	27	楕円形	U字状
10Da	1705	SK	土師器（非ロクロ皿　伊勢型鍋）　灰釉陶器碗　尾張型（小皿　山茶碗　片口鉢）　東濃型（小皿　小皿墨書）　東濃型（山茶碗　山茶碗墨書）　常滑甕　中国産青磁蓮弁文碗　瓦器火鉢or風炉	2111～2181	窯洞～大畑大洞古・大洞東	13c第1四半期～14c第1四半期・14c第4四半期～15c第1四半期	3面	6G18k	-327	-280	97	不明	弧状
10Da	1706	SK	土師器（非ロクロ皿　伊勢型鍋　高杯）　尾張型（小皿　山茶碗）　常滑甕	2182～2192	6型式・明和	13c第2四半期～第3四半期	3面	6G18k	-182	-273	34	不明	弧状
10Da	1707	SX	山茶碗	2193	百代寺（2型式）	11c第2四半期～第3四半期	3面	6G17h,i	-750	-302	16	不明	弧状
10Da	1710	SD	土師器（非ロクロ皿　内彎羽釜）　尾張型小皿　東濃型（小皿　小皿墨書　山茶碗　）　古瀬戸（天目茶碗　灰釉天目茶碗　平碗　緑釉小皿　折縁深皿　盤類　腰袴形香炉　梅瓶　水注　四耳壺）　中国産（青磁碗　青磁杯）　陶丸　瓦器　石鍋　釘　椀型滓　流動滓　炉壁	2194～2220・4071	白土原～中Ⅱ期・後Ⅰ期～大洞東	13c第2四半期～14c第1四半期・14c第3四半期～15c第1四半期	3面	6G19h～19k	-1750	-250		溝	
10Da	1718	SK	古瀬戸卸皿	2221	前Ⅲ～Ⅳ期	13c第3四半期～第4四半期	3面	6G18k	-88	-125	36	不明	弧状
10Da	1720	SD	東濃型山茶碗　古瀬戸（折縁深皿　柄付片口　尊式花瓶）　瓦器（ミニチュア羽釜　ミニチュア鍋）　釘	2222～2232	大洞東～脇之島	14c第4四半期～15c第2四半期	3面	6G19h～19k	-1320	100	33	溝	弧状
10Da	1730	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型小皿墨書　古瀬戸柄付片口　釘	2233～2235	中Ⅱ期	14c第1四半期	3面	6G19k	-222	93	83	楕円形	U字状
10Da	1731	SK	土師器非ロクロ皿	2236			3面	6G19k	184	118	57	不定形	弧状
10Da	1740	SK	中国産（青磁蓮弁文碗　青磁碗）　釘	2237～2238			3面	6G18n	90	68	48	楕円形	U字状
10Db	1885	SK	—	—			2面	7G1p	-93	127	38	不明	弧状
10Db	1891	SK	—	—			2面	7G1q	-67	-45	25	不明	U字状
11D	1001	SD	釘　椀型滓　含鉄遺物	—			1面	6G18q・18r	-1340	87	46	直線状	逆台形
11D	1003	SD	陶丸　釘　椀型滓　含鉄遺物	3049			1面	6G18r・19r	-718	-268	48	直線状	皿状
11D	1004	SD	中国産青磁皿？　土鈴　金具　椀型滓　流動滓　含鉄遺物	3050・3051			1面	6G18p・19p	-644	-580	56	直線状	皿状
11D	1028	SP	土師器非ロクロ皿	3052			2面	6G19s	56	36	42	楕円形	U字状
11D	1045	SD	土鈴　流動滓	3053			2面	6G18r・19r	341	41	7	溝	皿状
11D	1055	SK	陶丸　椀型滓	3054			2面	6G18r・19r	77	51	13	方形	逆台形
11D	1057	SK	中国産青磁碗　釘　椀型滓　流動滓　含鉄遺物	3055			2面	6G18r	129	83	9	楕円形	皿状
11D	1058	SK	砥石　釘　流動滓	4135			2面	6G18r	-75	-58	11	不定形	皿状
11D	1092	SK	古瀬戸仏花瓶　椀型滓　流動滓　含鉄遺物	3056	中Ⅰ～Ⅱ期	14c第1四半期	2面	6G18p・19q	302	151	27	方形	皿状
11D	1093	SK	砥石or硯　砥石	4136・4137			2面	6G18o	-185	-88	28	不定形	皿状
11D	1098	SK	炉壁　椀型滓　含鉄遺物	—			2面	6G18p・18q	-588	-230	21	不明	皿状
11D	1103	SK	陶丸	3057			2面	6G19p・18g	-250	183	20	楕円形	皿状
11D	1110	SK	砥石	4138			2面	6G19p	-133	90	11	方形	皿状
11D	1154	SP	中国産青磁蓮弁文碗　炉壁　椀型滓	3058			3面	6G19r	28	26	14	円形	U字状
11D	1186	SK	土師器非ロクロ皿　釘	3059			3面	6G18r	-98	59	58	方形	皿状
11D	1203	SK	東濃型小皿　炉壁　流動滓	3060	窯洞	13c第1四半期	3面	6G19r	-102	-92	17	長方形	皿状
11D	1213	SP	土師器小鉢	3061			3面	6G19q・19r	34	28	11	楕円形	U字状
11D	1221	SK	土師器（ロクロ皿　不明皿）　砥石？　釘　炉壁　椀型滓　流動滓	3062・3063・4139			3面	6G18q	110	101	18	方形	皿状
11D	1226	SK	土師器非ロクロ皿　炉壁　椀型滓　含鉄遺物	3064			3面	6G19q	76	-50	31	円形	U字状
11D	1232	SK	砥石or硯　羽口　椀型滓　含鉄遺物	4140			3面	6G19q	26	22	10	円形	皿状
11D	1249	SK	古瀬戸入子　椀型滓　流動滓	3065	前Ⅲ～中Ⅳ期	13c第3四半期～14c第2四半期	3面	6G19q・19r	210	148	23	方形	皿状
11D	1268	SK	中国産青磁碗　椀型滓　鉄塊系遺物	3066			3面	6G19q	-139	-77	20	不定形	皿状

表 2-13　D 区遺構一覧 -7

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
11D	1274	SK	東濃型山茶碗　釘　炉壁　椀型滓　流動滓　含鉄遺物	3067・3068	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	3面	6G18q	-66	-48	20	不定形	皿状
11D	1278	SK	東濃型山茶碗漆付き　流動滓	3069	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	3面	6G18q	-61	57	10	楕円形	皿状
11D	1282	SK	古瀬戸卸皿　炉壁　椀型滓　流動滓	3070	後Ⅰ期	14c第3四半期	3面	6G19p・19q	150	84	66	楕円形	U字状
11D	1285	SK	東濃型小皿　釘　炉壁　椀型滓　流動滓　含鉄遺物	3071・3072	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	3面	6G18p・18q	143	-73	82	楕円形	U字状
11D	1296	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型山茶碗　古瀬戸天目茶碗　椀型滓	3073～3076	後Ⅰ期・大洞東	14c第4四半期～15c第1四半期	3面	6G19p・19q	85	75	78	楕円形	U字状
11D	1310	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型小皿　古瀬戸平底末広碗　砥石	3077～3079・4141	中Ⅱ期・大畑大洞古	14c第1四半期	3面	6G19p・19q	111	91	33	方形	皿状
11D	1320	SK	土師器非ロクロ皿	3080・3081			3面	6G18p	76	48	28	楕円形	U字状
11D	1321	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型山茶碗	3082・3083	後Ⅲ期・大洞東	15c第1四半期	3面	6G18p	67	58	47	楕円形	U字状
11D	1324	SK	土師器（非ロクロ皿　内彎羽釜）　尾張型片口鉢　東濃型山茶碗　古瀬戸（平碗　端反碗　擂鉢　大型筒形香炉　四耳壺　仏花瓶）　中国産青磁蓮弁文碗　瓦器火鉢or風炉　羽口　椀型滓　含鉄遺物	3084～3103	10型式・大洞東・脇之島・後Ⅳ期古	14c第4四半期～15c第2四半期	3面	6G18o・18p	207	-128	50	円形	皿状
11D	1325	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型山茶碗　古瀬戸釜　中国産青磁碗　瓦器火鉢or風炉　釘　流動滓	3104～3109	後Ⅳ期	15c第2四半期～第4四半期	3面	6G18o・18p	163	-85	34	不定形	皿状
11D	1354	SP	砥石？　含鉄遺物	4142			3面	6G19q	46	34	33	円形	皿状
11D	1405	SP	東濃型山茶碗墨書	3111	白土原	13c第2四半期	4面	6G18r	56	32	16	不定形	皿状
11D	1428	SP	東濃型（小皿　山茶碗墨書）	3113・3114	生田	15c第3四半期～第4四半期	4面	6G19r・19q	45	38	32	楕円形	U字状
11D	1460	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型（小皿　小皿墨書　山茶碗墨書）　古瀬戸筒形香炉　陶丸　叩き石？　火打ち石？　流動滓	3115～3123・4143・4144	大畑大洞・大洞東・後Ⅱ期	13c第4四半期～15c第1四半期	4面	6G18q	110	90	72	不定形	皿状
11D	1462	SP	古瀬戸（平碗　独大）	3124・3125	後Ⅳ期古	15c第2四半期	4面	6G18q	45	37	23	楕円形	皿状
11D	1479	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸（擂鉢形小鉢　入子）	3126～3134	大畑大洞・後Ⅲ期	13c第4四半期～15c第1四半期	4面	6G18p	-308	-175	68	不定形	U字状
11D	1481	SK	古瀬戸壺or瓶　中国産青磁蓮弁文碗	3135・3136	中Ⅰ～Ⅱ期	14c第1四半期	4面	6G18p	56	28	20	不定形	U字状
11D	1484	SE	東濃型（小皿墨書　山茶碗墨書）　井戸枠材　椀型滓　流動滓	3137・3138・5369～5373	明和	13c第2四半期～第3四半期	4面	6G19p	362	-180	82	扇状	U字状
11D	1488	SP	砥石	4145			4面	6G18p	-320	86	32	直線状	U字状
11D	1490	SK	土師器非ロクロ皿　尾張型片口鉢　東濃型（小皿　山茶碗　山茶碗墨書　山茶碗漆付き）　古瀬戸（天目茶碗　平碗　折縁中皿　盤類　仏花瓶　燭台）　常滑甕　瓦器火鉢or風炉墨書　砥石　含鉄遺物	3139～3183・4146～4148	10型式・大洞東	14c第4四半期～15c第1四半期	4面	6G18p	-116	-100	45	長方形	逆台形
11D	1491	SK	土師器（非ロクロ皿　伊勢型鍋）　東濃型（小皿　山茶碗　山茶碗墨書　山茶碗漆付き）　古瀬戸（天目茶碗　平碗　平底末広碗　緑釉小皿　折縁深皿）　釘　椀型滓　含鉄遺物	3184～3218	大洞東	14c第4四半期～15c第1四半期	4面	6G18p・19p	-146	-109	45	長方形	逆台形
11D	1494	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸（折縁小皿　卸皿）　中国産青花　陶丸	3219～3230	大洞東	14c第4四半期～15c第1四半期	4面	6G19p	206	59	56	長方形	逆台形
11D	1496	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型山茶碗　釘	3231～3241	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	4面	6G19p	135	72	46	長方形	逆台形
11D	1500	SK	古瀬戸筒形容器	3242	後Ⅲ期	15c第1四半期	4面	6G18o	-119	-112	47	扇状	皿状
11D	1501	SK	砥石（硯転用）　火打金	4149			4面	6G18o	182	132	26	長方形	逆台形
11D	1502	SP	古瀬戸天目茶碗　含鉄遺物	3243	後Ⅲ期	15c第1四半期	4面	6G18o	55	49	26	円形	皿状
11D	1507	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型（山茶碗　山茶碗漆付き）　古瀬戸（天目茶碗　平碗　緑釉小皿　折縁深皿　手付鍋）　中国産青花　陶丸　鉄製品	3244～3257	大洞東・脇之島	14c第4四半期～15c第2四半期	4面	6G18o	167	-58	56	扇状	U字状
11D	1508	SK	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿特大）　東濃型（小皿　山茶碗　山茶碗漆付き）　古瀬戸（折縁中皿　卸皿）　中国産緑釉盤　刀子	3258～3268	大洞東	14c第4四半期～15c第1四半期	4面	6G18o	120	-55	64	長方形	逆台形
11D	1517	SK	土師器（非ロクロ皿　小鉢）　東濃型山茶碗漆付き　鉄塊系遺物	3269～3273	大洞東	14c第4四半期～15c第1四半期	4面	6G19p	116	76	76	長方形	逆台形
11D	1520	SP	東濃型山茶碗	3274	大洞東	14c第4四半期～15c第1四半期	4面	6G18q	45	38	30	楕円形	U字状
11D	1521	SK	土師器（非ロクロ皿　小鉢）　東濃型（小皿　山茶碗　山茶碗墨書　山茶碗漆付き）　古瀬戸（天目茶碗　平碗　緑釉小皿　直線大皿）　常滑甕　釘　椀型滓	3275～3299	大畑大洞新・大洞東・後Ⅰ～Ⅱ期・中野6a型式	14c第2四半期～15c第1四半期	4面	6G18p・19p	209	100	77	長方形	逆台形
11D	1522	SP	東濃型（小皿　山茶碗漆付き）	3300・3301	大洞東	14c第4四半期～15c第1四半期	4面	6G19q	38	32	32	楕円形	U字状
11D	1523	SP	尾張型片口鉢　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸（小天目茶碗　天目茶碗　緑釉小皿）	3302～3307	後Ⅰ期・大洞東	14c第3四半期～15c第1四半期	4面	6G18q	27	25	18	楕円形	U字状
11D	1528	SP	陶丸	3308			4面	6G19r	-67	56	15	楕円形	U字状

表 2-14　D 区主要遺構の変遷

	13 世紀第 2〜14 世紀第 1 四半期	14 世紀第 2〜第 3 四半期	14 世紀第 4〜15 世紀第 1 四半期	15 世紀第 1〜2 四半期	15 世紀第 3 四半期〜第 4 四半期	15 世紀第 4 四半期〜16 世紀
10Da				1440SD-A・B 1530SD →	1550SD → 1109SD → 1450SD → 1441SD → 1540SD → 1430SD → 1710SD → 1250SD 1840SD　　1720SD	
	1411SD 1435SD 1436SD				1117SD　0180SD 1056SD	0001SD 0002SD 0688SD
	1501SK 1705SK 1028SK (0150SK) (1706SK)	0707SK 1000SK	(1005SK)	0130SK 0170SK 0686SK 1256SD	0127SK 0790SK	
10Db	0389SD 1608SK			1264SK	1612SD	1231SD
11D	(1484SE)	1496SK	1460SK 1490SK 1491SK 1507SK 1508SK 1521SK	1324SK		

目次
終了


10Da 区
11D 区
10Db 区
0001SD
0003SD
0039SD
0045D
0054SD
0137SD
0180SD
0190SD
0230SD
0231SD
0232SD
0233SD
0234SD
0235SD
0236SD
0237SD
0238SD
0239SD
0240SD
0241SD
0242SD
0243SD
0244SD
0245SD
0246SD
0247SD
0248SD
0249SD
0250SD
0251SD
0252SD
0253SD
0254SD
0255SD
0256SD
0257SD
0258SD
0259SD
0260SD
0261SD
0262SD
0263SD
0264SD
0265SD
0266SD
0267SD
0268SD
0269SD
0270SD
0271SD
0272SD
0273SD
0274SD
0275SD
0276SD
0277SD
0278SD
0279SD
0280SD
0281SD
0282SD
0283SD
0284SD
0285SD
0286SD
0287SD
0288SD
0289SD
0290SD
0291SD
0292SD
0293SD
0294SD
0295SD
0296SD
0297SD
0298SD
0299SD
0300SD
0301SD
0302SD
0303SD
0304SD
0305SD
0306SD
0307SD
0308SD
0309SD
0310SD
0311SD
0312SD
0313SK
0314SD
0315SD
0316SD
0317SD
0318SD
0319SD
0320SD
0321SD
0322SD
0323SD
0324SD
0325SK
0326SD
0327SD
0328SD
0329SD
0330SD
0331SD
0332SD
0333SD
0334SD
0335SD
0336SD
0337SK
0338SD
0339SD
0340SD
0341SD
0342SD
0343SD
0344SD
0345SD
0346SD
0347SD
0348SD
0349SD
0350SD
0351SD
0352SD
0353SD
0354SD
0355SD
0356SD
0357SD
0358SD
0359SD
0360SD
0361SD
0362SD
0363SD
0364SD
0365SD
0366SD
0367SD
0368SD
0369SD
0370SD
0371SD
0372SD
0373SD
0374SD
0375SD
0376SD
0377SD
0378SD
0379SD
0380SD
0381SD
0382SD
0383SD
0384SD
0385SD
0386SD
0387SD
0388SD
0389SD
0390SD
0391SD
0392SD
0393SD
0394SD
0395SD
0396SD
0397SD
0398SD
0399SD
0400SD
0401SD
0402SD
0403SD
0404SD
0405SD
0406SD
0407SD
0408SD
0409SD
0410SD
0411SD
0412SD
0413SD
0414SD
0415SD
0416SD
0417SD
0418SD
0419SD
0420SD
0421SD
0422SD
0423SD
0424SD
0425SD
0426SD
0427SD
0428SD
0429SD
0430SD
0431SD
0432SD
0433SD
0434SD
0435SD
0436SD
0437SD
0438SD
0439SD
0440SD
0441SD
0442SD
0443SD
0444SD
0445SD
0446SD
0447SD
0448SD
0449SD
0450SD
0451SD
0452SD
0453SD
0454SD
0455SD
0456SD
0457SD
0458SD
0459SD
0460SD
0461SD
0462SD
0463SD
0464SD
0465SD
0466SD
0467SD
0468SD
0469SD
0470SD
0471SD
0472SD
0473SD
0474SD
0475SD
0476SD
0477SD
0478SD
0479SD
0480SD
0481SD
0482SD
0483SD
0484SD
0485SD
0486SD
0487SD
0488SD
0489SD
0490SD
0491SD
0492SD
0493SD
0494SD
0495SD
0496SD
0497SD
0498SD
0499SD
0500SD
0501SD
0502SD
0503SD
0504SD
0505SD
0506SD
0507SD
0508SD
0509SD
0510SD
0511SD
0512SD
0513SD
0514SD
0515SD
0516SD
0517SD
0518SD
0519SD
0520SD
0521SD
0522SD
0523SD
0524SD
0525SD
0526SD
0527SD
0528SD
0529SD
0530SD
0531SD
0532SD
0533SD
0534SD
0535SD
0536SD
0537SD
0538SD
0539SD
0540SD
0541SD
0542SD
0543SD
0544SD
0545SD
0546SD
0547SD
0548SD
0549SD
0550SD
0551SD
0552SD
0553SD
0554SD
0555SD
0556SD
0557SD
0558SD
0559SD
0560SD
0561SD
0562SD
0563SD
0564SD
0565SD
0566SD
0567SD
0568SD
0569SD
0570SD
0571SD
0572SD
0573SD
0574SD
0575SD
0576SD
0577SD
0578SD
0579SD
0580SD
0581SD
0582SD
0583SD
0584SD
0585SD
0586SD
0587SD
0588SD
0589SD
0590SD
0591SD
0592SD
0593SD
0594SD
0595SD
0596SD
0597SD
0598SD
0599SD
0600SD
0601SD
0602SD
0603SD
0604SD
0605SD
0606SD
0607SD
0608SD
0609SD
0610SD
0611SD
0612SD
0613SD
0614SD
0615SD
0616SD
0617SD
0618SD
0619SD
0620SD
0621SD
0622SD
0623SD
0624SD
0625SD
0626SD
0627SD
0628SD
0629SD
0630SD
0631SD
0632SD
0633SD
0634SD
0635SD
0636SD
0637SD
0638SD
0639SD
0640SD
0641SD
0642SD
0643SD
0644SD
0645SD
0646SD
0647SD
0648SD
0649SD
0650SD
0651SD
0652SD
0653SD
0654SD
0655SD
0656SD
0657SD
0658SD
0659SD
0660SD
0661SD
0662SD
0663SD
0664SD
0665SD
0666SD
0667SD
0668SD
0669SD
0670SD
0671SD
0672SD
0673SD
0674SD
0675SD
0676SD
0677SD
0678SD
0679SD
0680SD
0681SD
0682SD
0683SD
0684SD
0685SD
0686SD
0687SD
0688SD
0689SD
0690SD
0691SD
0692SD
0693SD
0694SD
0695SD
0696SD
0697SD
0698SD
0699SD
0700SD
0701SD
0702SD
0703SD
0704SD
0705SD
0706SD
0707SD
0708SD
0709SD
0710SD
0711SD
0712SD
0713SD
0714SD
0715SD
0716SD
0717SD
0718SD
0719SD
0720SD
0721SD
0722SD
0723SD
0724SD
0725SD
0726SD
0727SD
0728SD
0729SD
0730SD
0731SD
0732SD
0733SD
0734SD
0735SD
0736SD
0737SD
0738SD
0739SD
0740SD
0741SD
0742SD
0743SD
0744SD
0745SD
0746SD
0747SD
0748SD
0749SD
0750SD
0751SD
0752SD
0753SD
0754SD
0755SD
0756SD
0757SD
0758SD
0759SD
0760SD
0761SD
0762SD
0763SD
0764SD
0765SD
0766SD
0767SD
0768SD
0769SD
0770SD
0771SD
0772SD
0773SD
0774SD
0775SD
0776SD
0777SD
0778SD
0779SD
0780SD
0781SD
0782SD
0783SD
0784SD
0785SD
0786SD
0787SD
0788SD
0789SD
0790SD
0791SD
0792SD
0793SD
0794SD
0795SD
0796SD
0797SD
0798SD
0799SD
0800SD
0801SD
0802SD
0803SD
0804SD
0805SD
0806SD
0807SD
0808SD
0809SD
0810SD
0811SD
0812SD
0813SD
0814SD
0815SD
0816SD
0817SD
0818SD
0819SD
0820SD
0821SD
0822SD
0823SD
0824SD
0825SD
0826SD
0827SD
0828SD
0829SD
0830SD
0831SD
0832SD
0833SD
0834SD
0835SD
0836SD
0837SD
0838SD
0839SD
0840SD
0841SD
0842SD
0843SD
0844SD
0845SD
0846SD
0847SD
0848SD
0849SD
0850SD
0851SD
0852SD
0853SD
0854SD
0855SD
0856SD
0857SD
0858SD
0859SD
0860SD
0861SD
0862SD
0863SD
0864SD
0865SD
0866SD
0867SD
0868SD
0869SD
0870SD
0871SD
0872SD
0873SD
0874SD
0875SD
0876SD
0877SD
0878SD
0879SD
0880SD
0881SD
0882SD
0883SD
0884SD
0885SD
0886SD
0887SD
0888SD
0889SD
0890SD
0891SD
0892SD
0893SD
0894SD
0895SD
0896SD
0897SD
0898SD
0899SD
0900SD
0901SD
0902SD
0903SD
0904SD
0905SD
0906SD
0907SD
0908SD
0909SD
0910SD
0911SD
0912SD
0913SD
0914SD
0915SD
0916SD
0917SD
0918SD
0919SD
0920SD
0921SD
0922SD
0923SD
0924SD
0925SD
0926SD
0927SD
0928SD
0929SD
0930SD
0931SD
0932SD
0933SD
0934SD
0935SD
0936SD
0937SD
0938SD
0939SD
0940SD
0941SD
0942SD
0943SD
0944SD
0945SD
0946SD
0947SD
0948SD
0949SD
0950SD
0951SD
0952SD
0953SD
0954SD
0955SD
0956SD
0957SD
0958SD
0959SD
0960SD
0961SD
0962SD
0963SD
0964SD
0965SD
0966SD
0967SD
0968SD
0969SD
0970SD
0971SD
0972SD
0973SD
0974SD
0975SD
0976SD
0977SD
0978SD
0979SD
0980SD
0981SD
0982SD
0983SD
0984SD
0985SD
0986SD
0987SD
0988SD
0989SD
0990SD
0991SD
0992SD
0993SD
0994SD
0995SD
0996SD
0997SD
0998SD
0999SD
1000SD
1001SD
1002SD
1003SD
1004SD
1005SD
1006SD
1007SD
1008SD
1009SD
1010SD
1011SD
1012SD
1013SD
1014SD
1015SD
1016SD
1017SD
1018SD
1019SD
1020SD
1021SD
1022SD
1023SD
1024SD
1025SD
1026SD
1027SD
1028SP
1029SD
1030SD
1031SD
1032SD
1033SD
1034SD
1035SD
1036SD
1037SD
1038SD
1039SD
1040SD
1041SD
1042SD
1043SD
1044SD
1045SD
1046SD
1047SD
1048SD
1049SD
1050SD
1051SD
1052SD
1053SD
1054SD
1055SK
1056SD
1057SD
1058SD
1059SD
1060SD
1061SD
1062SD
1063SD
1064SD
1065SD
1066SD
1067SD
1068SD
1069SD
1070SD
1071SD
1072SD
1073SD
1074SD
1075SD
1076SD
1077SD
1078SD
1079SD
1080SD
1081SD
1082SD
1083SD
1084SD
1085SD
1086SD
1087SD
1088SD
1089SD
1090SD
1091SD
1092SD
1093SD
1094SD
1095SD

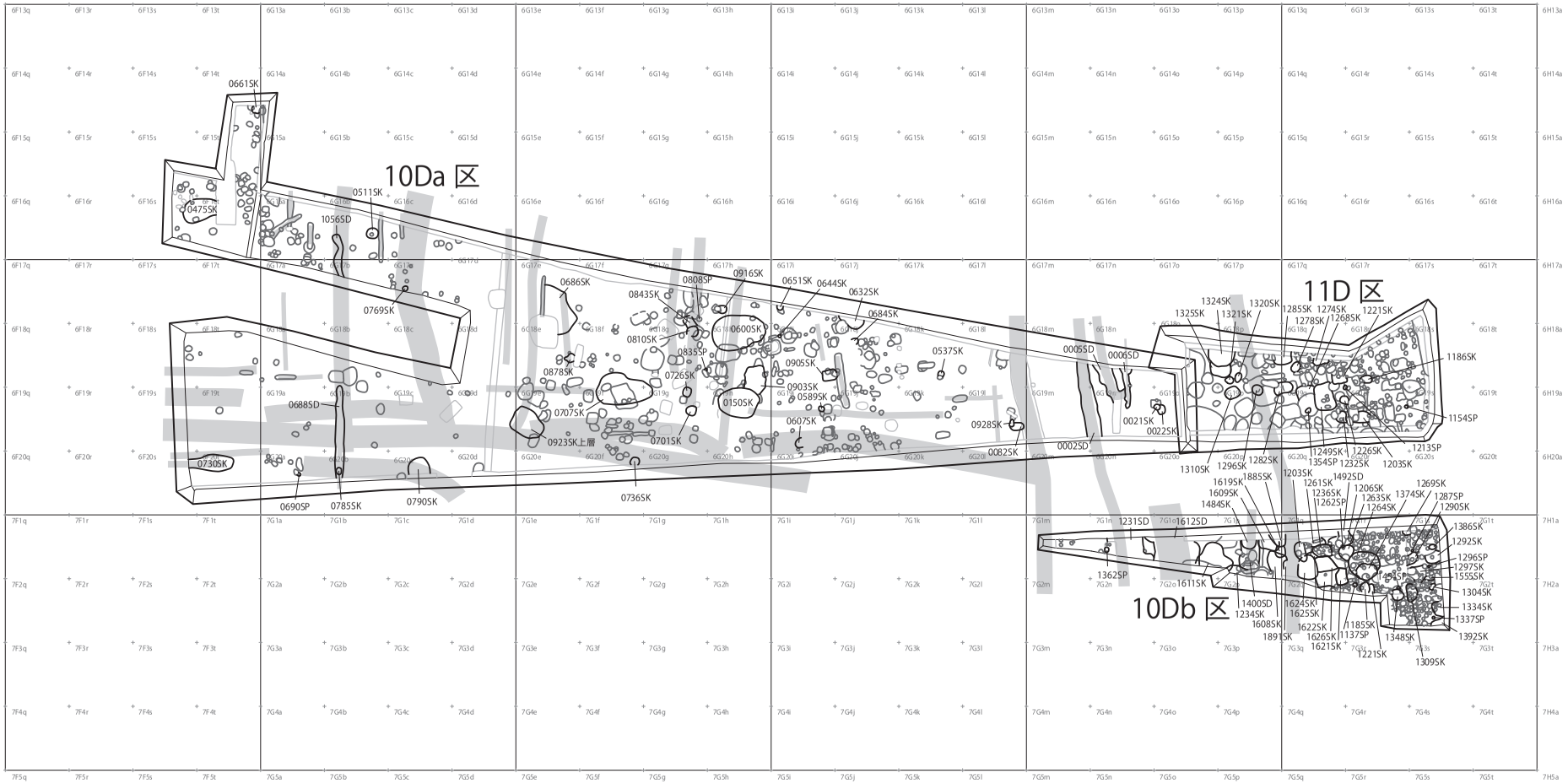


図 2-95　D 区第 2 面遺構全体図（1:500）

目次
終了

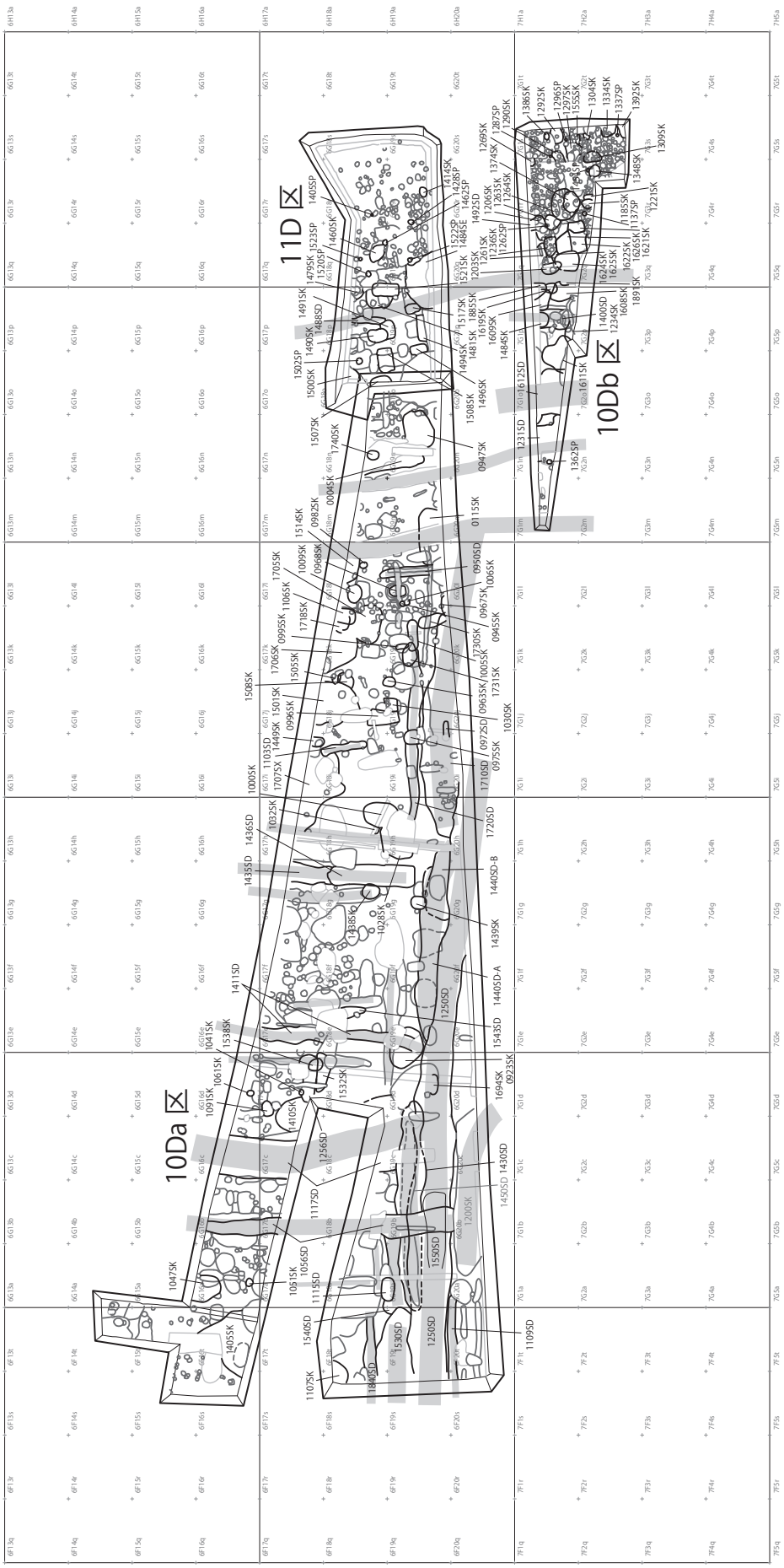
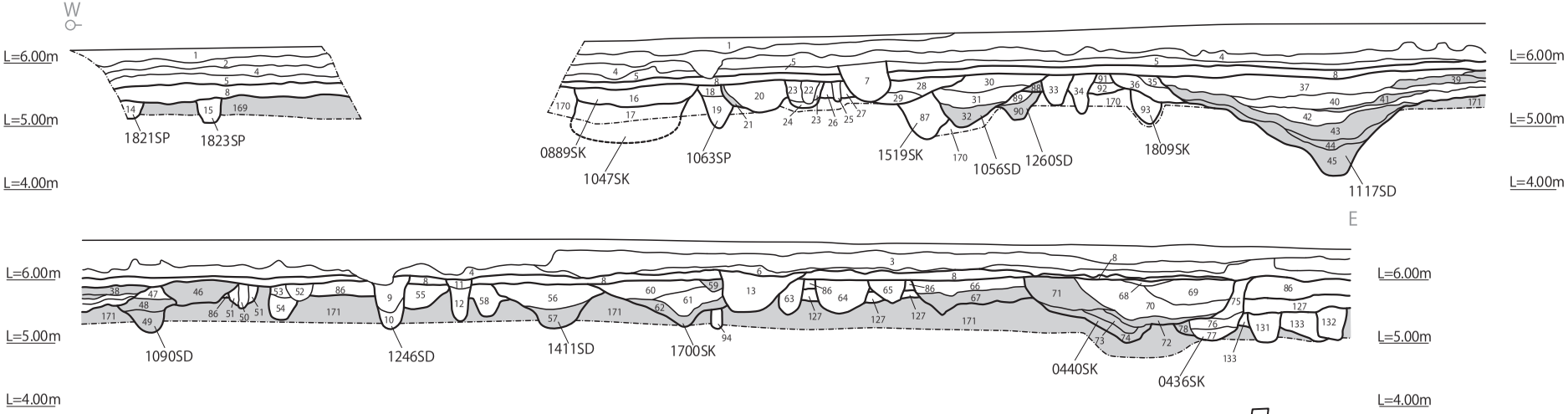
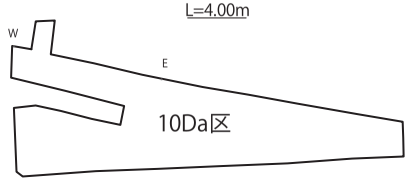


図 2-96　D 区第 3 面遺構全体図（1:500）

10Da区北壁土層断面図１　1:100



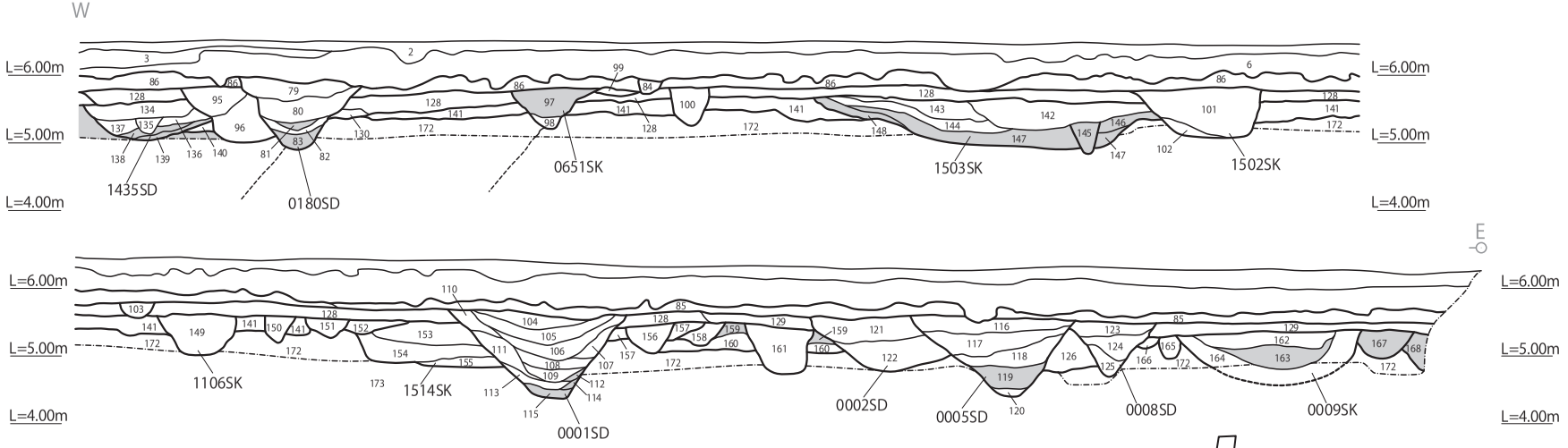


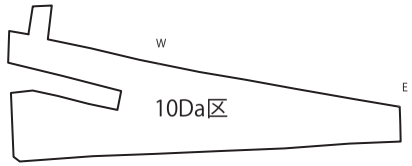
1, 表土・撹乱
2, 10YR5/6黄褐色粘土質シルト(旧耕作土)
3, 10YR4/4褐色粘土質シルト（しまり弱い、旧耕作土）
4, 10YR5/6黄褐色粘土質シルト（しまり強い、旧耕作土）
5, 2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土少量含む）（中世から近世の包含層）（1117SD以西に堆積）
6, 10YR5/6黄褐色粘土質シルト（しまり弱い、旧耕作土）
7, 2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト
8, 10YR4/4褐色粘土質シルト（中世遺物包含層）
9, 10YR5/6黄褐色粘土質シルト（1246SD）
10, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（1246SD）
11, 10YR4/4褐色粘土質シルト（遺構）
12, 2.5Y3/1黒褐色粘土質シルト（遺構）
13, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物含む）（遺構）
14, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（1821SP）
15, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（1823SP）
16, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（0889SK）
17, 2.5Y4/6オリーブ褐色粘土質シルト（1047SK）
18, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルト（1063SP）
19, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（1063SP）
20, 2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土（炭化物含む）（遺構）
21, 2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土（10YR4/4褐色極細粒砂含む）（遺構）
22, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（遺構）
23, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
24, 2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土（遺構）
25, 2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土（遺構）
26, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（遺構）
27, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（遺構）
28, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト
29, 2.5Y5/4黄褐色粘土質シルト
30, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（1056SD）
31, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（1056SD）
32, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む）（1056SD）
33, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
34, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
35, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
36, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
37, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物、土器細片含む）（1117SD）
38, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルトと10YR4/4褐色極細粒砂の互層（1117SD）
39, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルトと10YR4/4褐色極細粒砂の互層（1117SD）
40, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト（1117SD）
41, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルトと10YR4/4褐色極細粒砂の互層（1117SD）
42, 2.5Y5/4黄褐色粘土質シルト（1117SD）
43, 2.5Y5/4黄褐色極細粒砂（1117SD）
44, 2.5Y5/4黄褐色粘土質シルト（2.5Y6/6オリーブ明黄褐色極細粒砂含む）（1117SD）
45, 2.5Y6/6オリーブ明黄褐色極細粒砂（2.5Y5/4黄褐色粘土質シルト含む）（1117SD）
46, 10YR4/4褐色粘土質シルト（2.5Y6/6オリーブ明黄褐色極細粒砂含む）
47, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（1090SD）
48, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y6/6オリーブ明黄褐色極細粒砂含む）（1090SD）
49, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y6/6オリーブ明黄褐色極細粒砂含む）（1090SD）
50, 2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土（遺構）
51, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
52, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
53, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
54, 2.5Y4/6オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
55, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
56, 10YR4/4褐色粘土質シルト（1411SD）
57, 10YR4/4褐色極細粒砂（1411SD）
58, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（遺構）
59, 10YR4/4褐色極細粒砂（1700SK）
60, 10YR4/6褐色粘土質シルト（1700SK）
61, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（1700SK）
62, 2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂（1700SK）
63, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
64, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
65, 10YR4/4褐色粘土質シルト（遺構）
66, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
67, 2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂（遺構）
68, 10YR4/4褐色極細粒砂（0440SK）
69, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（0440SK）
70, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（0440SK）
71, 2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂（0440SK）
72, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトと5Y5/4オリーブ色細粒砂の互層（0440SK）
73, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトと5Y5/4オリーブ色細粒砂の互層（0440SK）
74, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトと5Y5/4オリーブ色細粒砂の互層（0440SK）
75, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（0436SK）
76, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（0436SK）
77, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（0436SK）
78, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（5Y5/4オリーブ色細粒砂含む）（0436SK）
79, 10YR5/6黄褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土含む）（0180SD）
80, 10YR5/6黄褐色粘土質シルト（0180SD）
81, 2.5Y4/6オリーブ褐色極細粒砂（0180SD）
82, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（0180SD）
83, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（5Y5/4オリーブ色細粒砂含む）（0180SD）
84, 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（遺構）
85, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（しまり弱い）
86, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
87, 2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土（1519SK）
88, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む）
89, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（1260SD）
90, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む）（1260SD）

図 2-97　10Da 区北壁土層断面図 -1（1:100）

目次
終了

10Da区北壁土層断面図２　1:100





91,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
92,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルトと2.5Y5/6黄褐色粘土質シルトの斑土
93,　2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルト（1809SK）
94,　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト質粘土（遺構）
95,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
96,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルトと10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土の斑土
97,　10YR4/4褐色極細粒砂（0651SK）
98,　10YR5/6黄褐色粘土質シルト（0651SK）
99,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
100,　10YR4/4褐色粘土質シルト（遺構）
101,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト（1502SK）
102,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土含む）（1502SK）
103,　10YR5/6黄褐色粘土質シルト（遺構）
104,　10YR5/6黄褐色粘土質シルト（0001SD）
105,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト（0001SD）
106,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（0001SD）
107,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土多量含む）（0001SD）
108,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土含む）（0001SD）
109,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土含む）（0001SD）
110,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（0001SD）
111,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土含む）（0001SD）
112,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土多量含む）（0001SD）
113,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物含む）（0001SD）
114,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土多量含む）（0001SD）
115,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂含む）（0001SD）
116,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（0005SD）
117,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（0005SD）
118,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（0005SD）
119,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂（0005SD）
120,　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト質粘土（0005SD）
121,　10YR5/6黄褐色シルト質粘土（0002SD）
122,　10YR4/6褐色シルト質粘土（0002SD）
123,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（0008SD）
124,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（0008SD）
125,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土含む）（0008SD）
126,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト
127,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土
128,　10YR4/4褐色粘土質シルト
129,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（包含層）
130,　10YR4/4褐色極細粒砂
131,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
132,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（炭化物含む）
133,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
134,　10YR4/4褐色粘土質シルト（1435SD）
135,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（1435SD）
136,　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト質粘土（1435SD）
137,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト（1435SD）
138,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（5Y5/4オリーブ色細粒砂含む）（1435SD）
139,　5Y5/4オリーブ色細粒砂（2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト含む）（1435SD）
140,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト
141,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト（遺構）
142,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト（1503SK）
143,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（1503SK）
144,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（1503SK）
145,　2.5Y3/2黒褐色シルト質粘土（2.5Y5/6黄褐色極細粒砂、炭化物含む）
146,　2.5Y3/2黒褐色シルト質粘土（2.5Y5/6黄褐色極細粒砂、炭化物含む）（1503SK）
147,　2.5Y3/2黒褐色シルト質粘土（2.5Y5/6黄褐色極細粒砂、炭化物含む）（1503SK）
148,　2.5Y3/2黒褐色シルト質粘土（2.5Y5/6黄褐色極細粒砂、炭化物含む）（1503SK）
149,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（1106SK）
150,　10YR4/6褐色粘土質シルト（遺構）
151,　10YR4/6褐色粘土質シルト（遺構）
152,　10YR3/4暗褐色粘土質シルト（遺構）
153,　10YR4/6褐色シルト質粘土（炭化物、焼土多量含む）（1514SK）
154,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（炭化物多量含む）（1514SK）
155,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土（炭化物多量含む）（1514SK）
156,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
157,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
158,　10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土（2.5Y3/2黒褐色粘土質シルト含む）
159,　10YR4/4褐色極細粒砂
160,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土含む）
161,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
162,　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（0009SK）
163,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土少量含む）（0009SK）
164,　5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト（0009SK）
165,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
166,　2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト（遺構）
167,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土
168,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土少量含む）（遺構）
169,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂（10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土含む）
170,　10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土（調査区西端の地山）
171,　10YR4/4褐色極細粒砂（調査区西～中央部の地山）
172,　10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土（調査区東側の地山）

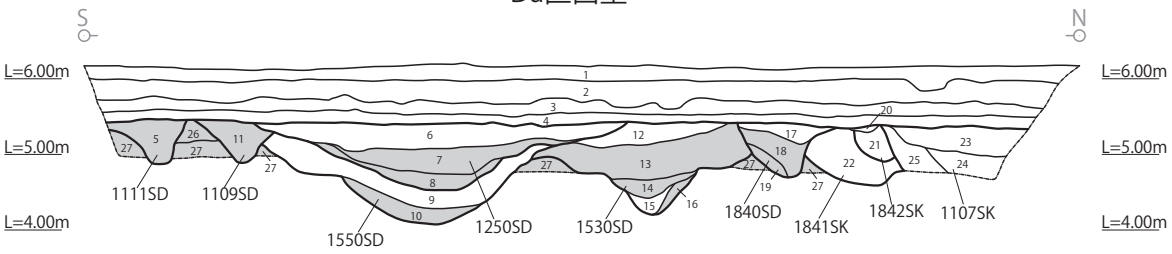
※145～148は炭化物や砂の堆積方向等で分層

図 2-98　10Da 区北壁土層断面図 -2（1:100）

目次
終了

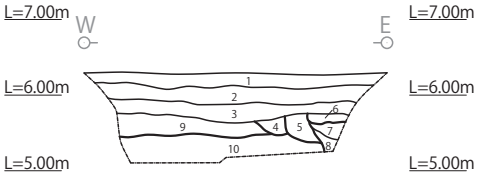
10Da区土層断面図　1:100

Da区西壁

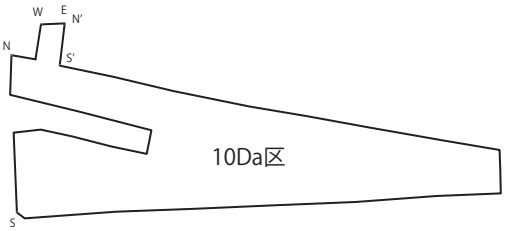


1, 表土・撹乱
2, 10YR5/6黄褐色粘土質シルト(旧耕作土)
3, 5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト
4, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
5, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(1111SD)
6, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(1250SD)
7, 2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂(1250SD)
8, 2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂(1250SD)
9, 5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト(1550SD)
10, 2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂(1550SD)
11, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(1109SD)
12, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(1530SD)
13, 2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂(1530SD)
14, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(1530SD)
15, 2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土(1530SD)
16, 2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土(2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む)(1530SD)
17, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(1840SD)
18, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(1840SD)
19, 2.5Y4/2暗灰黄色シルト質粘土(2.5Y5/4オリーブ褐色極細粒砂含む)(1840SD)
20, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
21, 2.5Y5/6黄褐色粘土質シルト(1842SK)
22, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(1841SK)
23, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト(1107SK)
24, 2.5Y4/3オリーブ褐色シルト質粘土(1107SK)
25, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト(1107SK)
26, 2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
27, 2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂(地山)

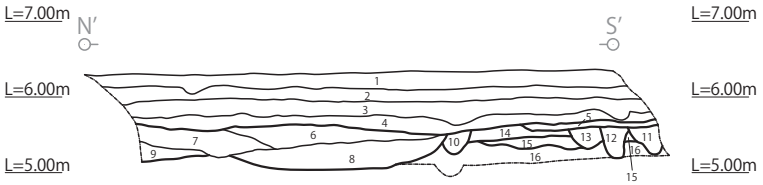
Da区突出部(北壁)



1, 表土・撹乱
2, 10YR5/6黄褐色粘土質シルト(旧耕作土)
3, 10YR5/6黄褐色粘土質シルト(しまり強い、旧耕作土)
4, 5Y4/2灰オリーブ色シルト質粘土
5, 2.5Y4/3オリーブ褐色シルト質粘土
6, 2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト(しまり弱い、旧耕作土)
7, 2.5Y6/6明黄褐色粘土質シルト
8, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
9, 2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト(10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土少量含む)(中世から近世の包含層)(1117SD以西に堆積)
10, 10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土



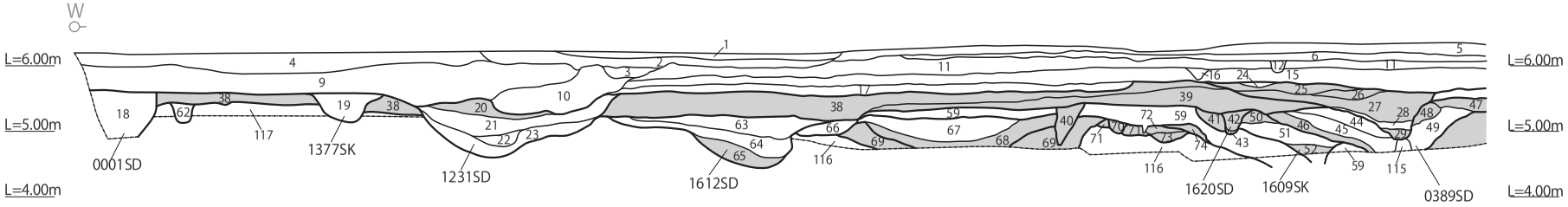
Da区突出部(東壁)

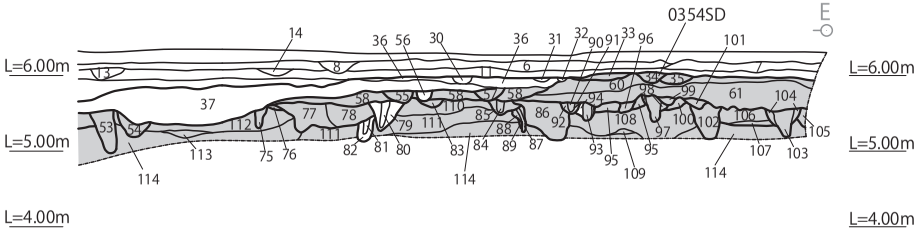


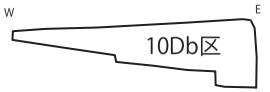
1, 表土・撹乱
2, 10YR5/6黄褐色粘土質シルト(旧耕作土)
3, 10YR5/6黄褐色粘土質シルト(しまり強い、旧耕作土)
4, 2.5Y5/4オリーブ褐色粘土質シルト(10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土少量含む)(中世から近世の包含層)(1117SD以西に堆積)
5, 10YR4/4褐色粘土質シルト(中世遺物包含層)
6, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
7, 2.5Y6/6明黄褐色粘土質シルト
8, 5Y4/2灰オリーブ色粘土質シルト(炭化物多量含む)
9, 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト
10, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト
11, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト
12, 2.5Y4/4オリーブ褐色シルト質粘土
13, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト
14, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト
15, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト(10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土含む)
16, 10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土(地山)

図 2-99　10Da 区西壁、突出部北壁・東壁土層断面図（1:100）

10Db区北壁土層断面図　1:100







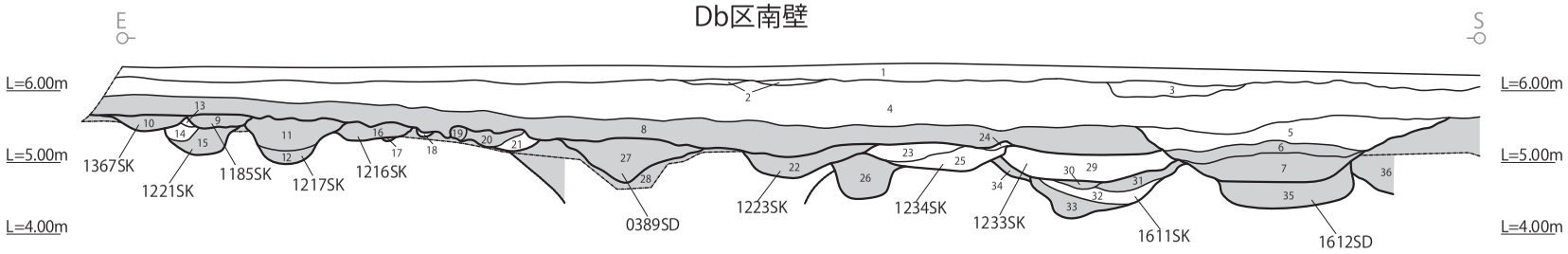
1,　撹乱
2,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
3,　5Y4/1灰色シルト
4,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂と10YR4/2灰黄褐色極細粒砂の斑土
5,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂
6,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂と10YR4/2灰黄褐色極細粒砂の斑土
7,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（土器細片少量含む）
8,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（炭化物少量含む）
9,　5Y4/1灰色シルト（粘性強い）
10,　2.5Y3/1黒褐色極細粒砂（2.5Y4/3オリーブ褐色シルト含む、炭化物多量含む、焼土多量含む）
11,　10YR4/4褐色極細粒砂
12,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
13,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
14,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
15,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂
16,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
17,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（10YR5/6黄褐色シルトブロック微量含む）
18,　記録なし（0001SD）
19,　10YR4/4褐色シルト質粘土（1377SK）
20,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（1231SD）
21,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土（1231SD）
22,　10YR4/4褐色シルト質粘土（1231SD）
23,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土（1231SD）
24,　10YR4/4褐色シルト
25,　10YR4/4褐色極細粒砂
26,　10YR4/4褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
27,　10YR4/4褐色極細粒砂（7.5YR5/8明褐色粘土ブロック含む）
28,　7.5YR5/8明褐色シルト質粘土
29,　10YR4/4褐色極細粒砂（7.5YR5/8明褐色粘土ブロック微量含む）
30,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
31,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
32,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
33,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
34,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂（0354SD）
35,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂と10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂の斑土
36,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂
37,　10YR4/4褐色シルト（土器細片少量含む）
38,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（10YR5/6黄褐色シルト微量含む、土器細片少量含む）
39,　10YR4/4褐色極細粒砂（7.5YR5/8明褐色粘土ブロック含む）
40,　10YR4/4褐色シルトと2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂の斑土（酸化鉄多量含む）
41,　10YR4/3にぶい黄褐色中粒砂
42,　10YR4/4褐色シルトと2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂の斑土（1620SD）
43,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
44,　10YR5/6黄褐色シルト（2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土ブロック含む）（0389SD）
45,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト（土器細片少量含む）（0389SD）
46,　10YR5/6黄褐色極細粒砂と2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂の斑土（0389SD）
47,　10YR4/4褐色シルト（10YR3/3暗褐色極細粒砂ブロック含む）（0389SD）
48,　10YR3/3暗褐色極細粒砂と10YR6/1褐灰色砂の斑土（酸化鉄多量含む）（0389SD）
49,　10YR4/4褐色極細粒砂（0389SD）
50,　10YR4/4褐色シルトと2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂の斑土（1609SK）
51,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト（1609SK）
52,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質砂（1609SK）
53,　10YR4/4褐色シルト（10YR3/3暗褐色極細粒砂ブロック含む）
54,　10YR4/4褐色シルトと10YR3/3暗褐色極細粒砂の斑土
55,　10YR4/4褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
56,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト
57,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂
58,　10YR4/4褐色極細粒砂
59,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト
60,　10YR4/4褐色極細粒砂
61,　10YR4/4褐色極細粒砂（2.5Y5/4黄褐色粘土ブロック少量含む）
62,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土（炭化物少量含む、焼土少量含む）
63,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土（炭化物多量含む、土器細片多量含む）（1612SD）
64,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土（炭化物少量含む）（1612SD）
65,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（1612SD）
66,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土（炭化物少量含む）
67,　10YR4/4褐色シルト（酸化鉄少量含む）
68,　10YR7/1灰白色極細粒砂
69,　10YR7/1灰白色極細粒砂と10YR7/2にぶい黄橙色シルトの斑土
70,　10YR7/1灰白色極細粒砂と10YR7/2にぶい黄橙色シルトの斑土
71,　10YR7/1灰白色極細粒砂
72,　10YR7/1灰白色極細粒砂（10YR7/2にぶい黄橙色シルト少量含む）
73,　10YR7/1灰白色極細粒砂と10YR7/2にぶい黄橙色シルトの斑土
74,　10YR7/1灰白色極細粒砂
75,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂
76,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂
77,　10YR4/4褐色シルト
78,　10YR4/4褐色極細粒砂（酸化鉄多量含む）
79,　10YR4/4褐色シルト
80,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
81,　10YR4/4褐色シルト
82,　10YR4/4褐色シルト（酸化鉄少量含む）
83,　10YR4/4褐色極細粒砂
84,　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト
85,　10YR3/1黒褐色極細粒砂
86,　10YR4/1褐灰色極細粒砂
87,　10YR3/1黒褐色極細粒砂
88,　10YR3/1黒褐色極細粒砂
89,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
90,　10YR3/1黒褐色極細粒砂
91,　10YR4/4褐色シルト
92,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂
93,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄多量含む）
94,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト
95,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
96,　10YR3/1黒褐色極細粒砂
97,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
98,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
99,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
100,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
101,　10YR3/1黒褐色極細粒砂
102,　10YR3/1黒褐色極細粒砂
103,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄多量含む）
104,　10YR3/1黒褐色極細粒砂
105,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
106,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄多量含む）
107,　10YR3/1黒褐色極細粒砂
108,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄多量含む）
109,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（10YR7/1灰白色極細粒砂少量含む）
110,　10YR3/3暗褐色極細粒砂（10YR5/6黄褐色シルト少量含む）
111,　10YR3/1黒褐色極細粒砂（酸化鉄多量含む）
112,　10YR4/4褐色極細粒砂
113,　10YR4/4褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
114,　10YR7/1灰白色極細粒砂
115,　2.5Y4/2暗灰黄色シルトと7.5Y4/2灰オリーブ色シルト質粘土の斑土（0389SD）
116,　7.5Y4/2灰オリーブ色シルト質粘土
117,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土（地山ベース層）

図 2-100　10Db 区北壁土層断面図（1:100）

目次
終了

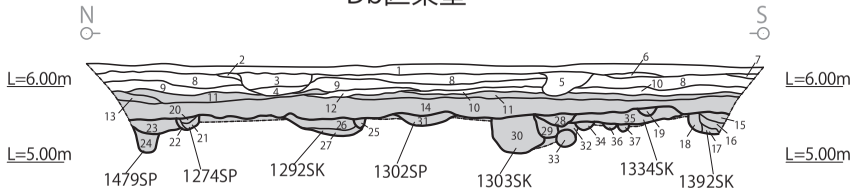
10Db区土層断面図　1:100

Db区南壁



1,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（表土）
2,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
3,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂（10YR4/3にぶい黄褐色シルト含む）
4,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂
5,　10YR4/2灰黄褐色シルト（1612SD）
6,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（1612SD）
7,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト（2.5Y5/6黄褐色細粒砂含む）（1612SD）
8,　10YR4/4褐色極細粒砂
9,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂（2.5Y5/6黄褐色細粒砂含む）（1185SK）
10,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂（10YR4/3にぶい黄褐色シルト含む）（1367SK）
11,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト（2.5Y5/6黄褐色細粒砂含む）（1217SK）
12,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂（1217SK）
13,　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト（1221SK）
14,　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト（2.5Y4/2暗灰黄色シルト含む）（1221SK）
15,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂（1221SK）
16,　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト（10YR4/2灰黄褐色極細粒砂含む）（1216SK）
17,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
18,　10YR4/2灰黄褐色シルト
19,　2.5Y5/4黄褐色極細粒砂
20,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
21,　10YR4/2灰黄褐色シルト
22,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂（1223SK）
23,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（1234SK）
24,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト（1234SK）
25,　10YR4/2灰黄褐色シルト（1234SK）
26,　10YR4/2灰黄褐色シルト（2.5Y5/6黄褐色細粒砂含む）
27,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（0389SD）
28,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂と10YR4/4褐色シルトの斑土
29,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト（1233SK）
30,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂（1611SK）
31,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（1611SK）
32,　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト（1611SK）
33,　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト（2.5Y5/6黄褐色細粒砂含む）（1611SK）
34,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂
35,　10YR4/2灰黄褐色シルト（2.5Y5/6黄褐色細粒砂含む）（1612SD）
36,　10YR4/4褐色極細粒砂（2.5Y5/6黄褐色細粒砂含む）

Db区東壁



1,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂
2,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（10YR5/6黄褐色シルトブロック少量含む）
3,　10YR6/4にぶい黄橙色（10YR6/1褐灰色粘土ブロック多量含む）
4,　10YR4/4褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
5,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂
6,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（土器細片少量含む）
7,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（植物質少量含む）
8,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（10YR5/6黄褐色シルトブロック含む）
9,　10YR4/4褐色極細粒砂
10,　10YR4/4褐色シルト（酸化鉄少量含む、土器細片少量含む）
11,　10YR4/4褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）
12,　10YR4/4褐色極細粒砂
13,　10YR4/4褐色極細粒砂
14,　10YR4/4褐色極細粒砂（2.5Y5/4黄褐色粘土ブロック少量含む）
15,　10YR4/4褐色極細粒砂（2.5Y5/4黄褐色粘土ブロック微量含む）（1392SK）
16,　10YR4/3にぶい黄褐色極細流砂（1392SK）
17,　10YR4/4褐色極細粒砂（1392SK）
18,　10YR4/4褐色極細粒砂と2.5Y5/4黄褐色粘土の斑土（1392SK）
19,　10YR4/4褐色極細粒砂と2.5Y5/4黄褐色粘土の斑土
20,　10YR4/4褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む）（1274SP）
21,　10YR3/3暗褐色極細粒砂（1274SP）
22,　10YR4/4褐色極細粒砂（1274SP）
23,　10YR3/3暗褐色極細粒砂（10YR5/6黄褐色シルト少量含む）
24,　10YR3/3暗褐色極細粒砂と10YR5/6黄褐色シルトの斑土（1479SP）
25,　2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂（酸化鉄少量含む、土器細片少量含む）
26,　10YR4/4褐色極細粒砂と2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂の斑土（1292SK）
27,　10YR4/4褐色極細粒砂と2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂の斑土（1292SK）
28,　2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂
29,　2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂（10YR5/6黄褐色シルトブロック少量含む）
30,　2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂（10YR5/6黄褐色シルトブロック多量含む、酸化鉄多量含む、土器細片多量含む、炭化物多量含む）（1303SK）
31,　10YR4/4褐色極細粒砂と2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂の斑土（酸化鉄多量含む）（1302SP）
32,　2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂と10YR5/6黄褐色シルトブロックの斑土
33,　2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂と10YR5/6黄褐色シルトブロックの斑土
34,　2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂と10YR5/6黄褐色シルトブロックの斑土
35,　10YR3/3暗褐色極細粒砂（1334SK）
36,　2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂と10YR5/6黄褐色シルトブロックの斑土
37,　2.5Y3/3暗オリーブ褐色極細粒砂と10YR5/6黄褐色シルトブロックの斑土

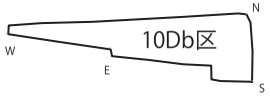


図 2-101　10Db 区南壁・東壁土層断面図（1:100）

目次
終了

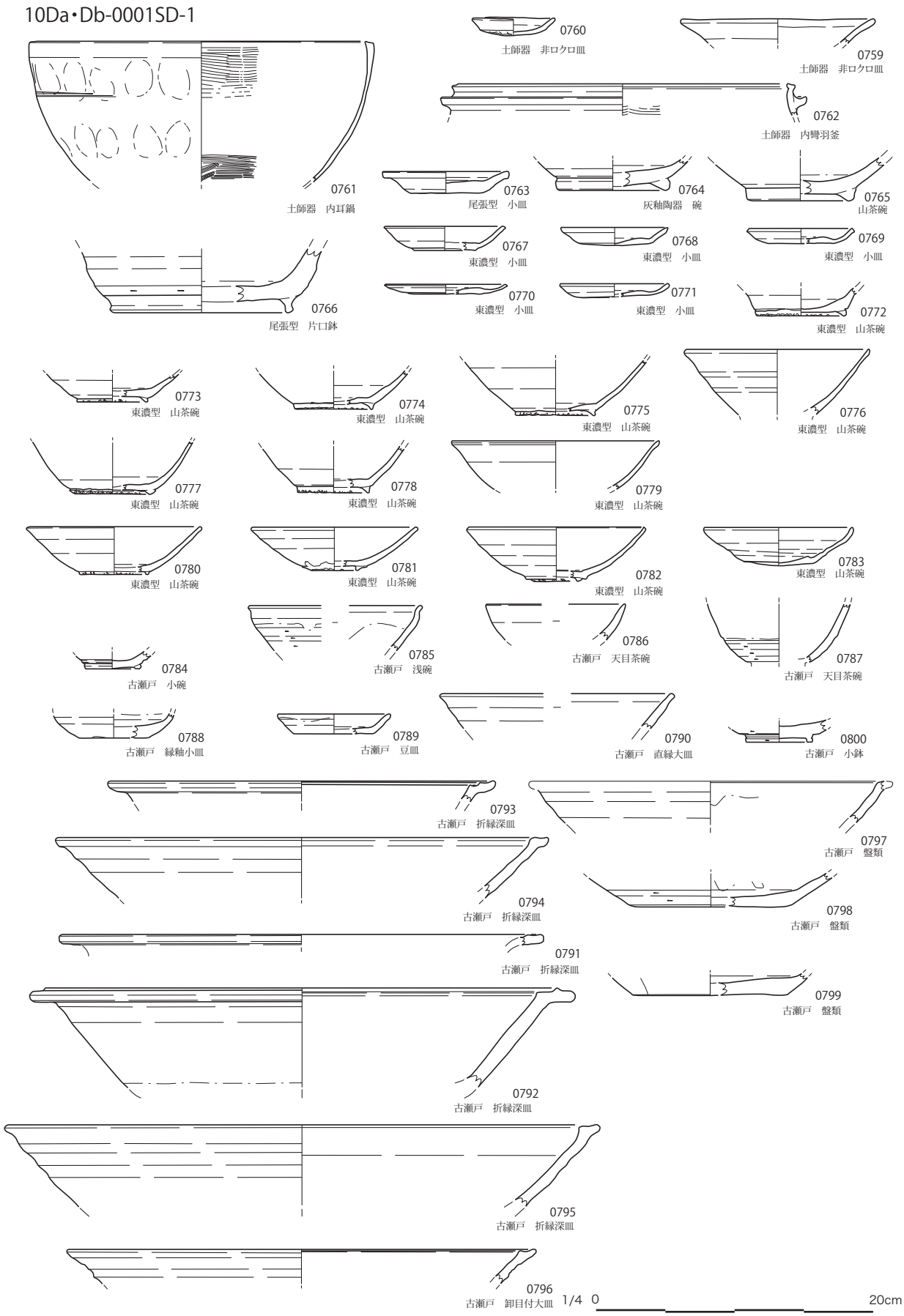


図 2-102　10Da・Db 区 0001SD 出土遺物実測図 -1（1:4）

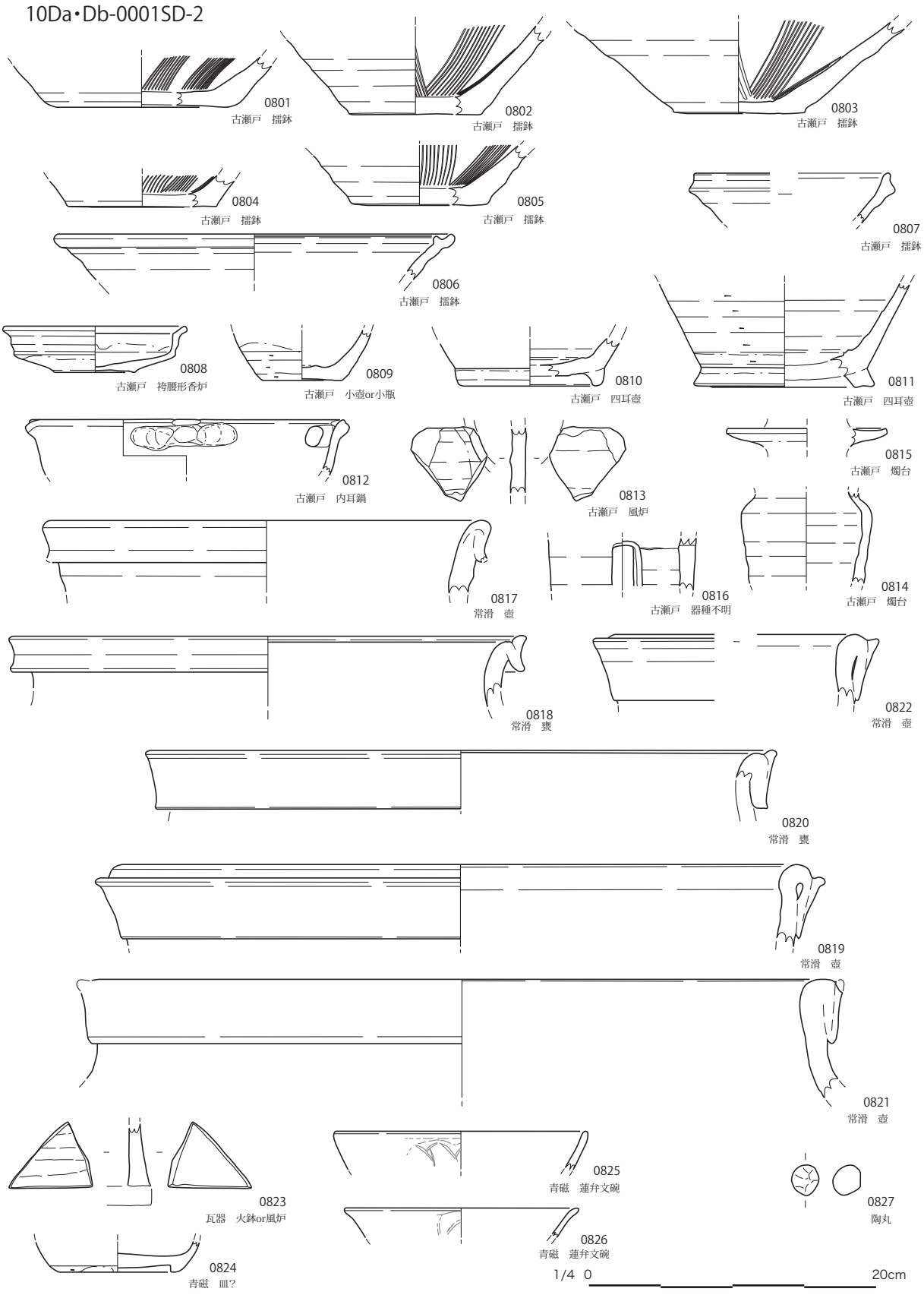
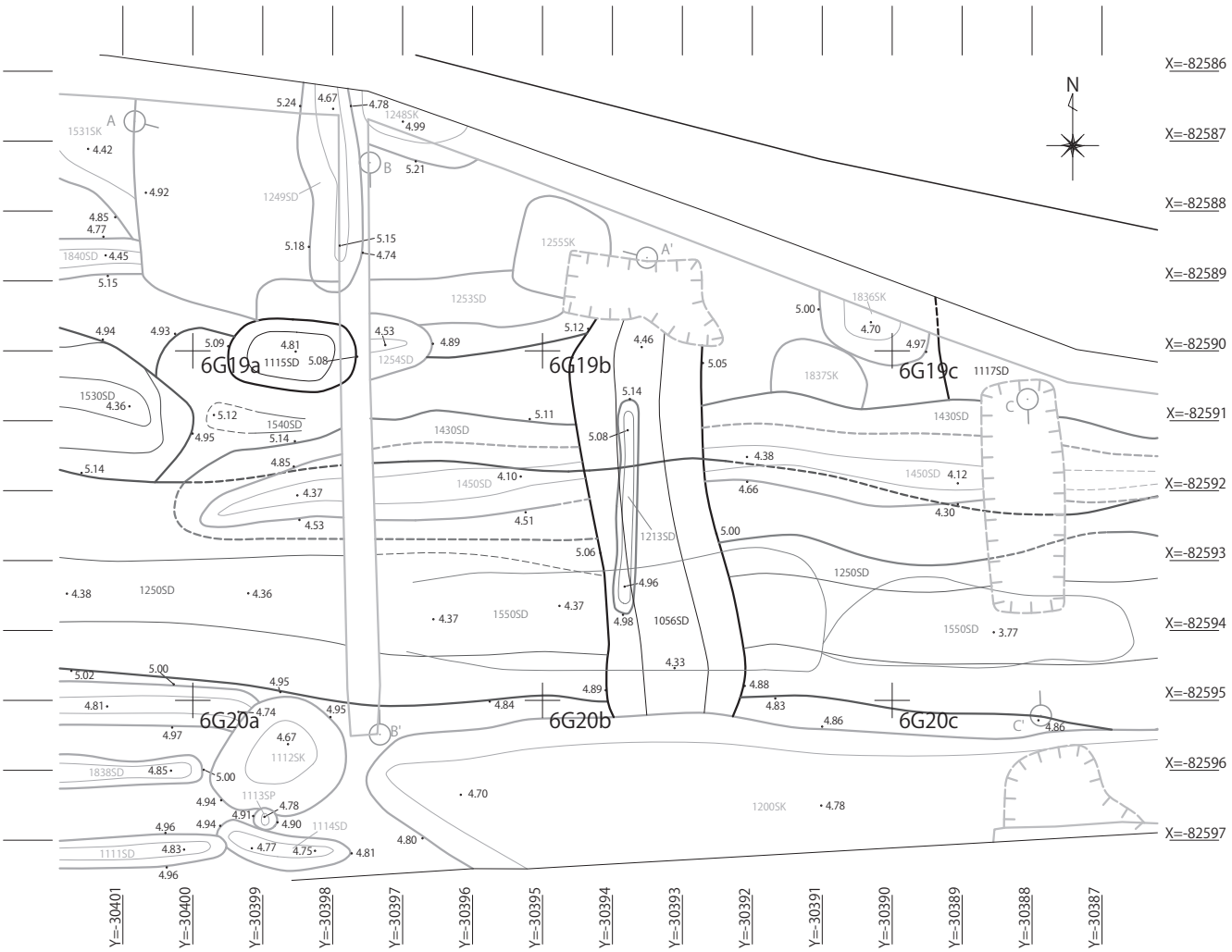
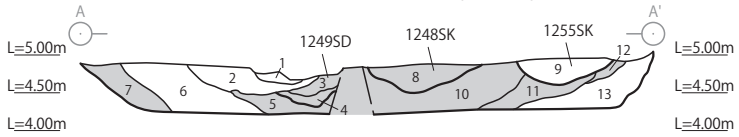


図 2-103　10Da・Db 区 0001SD 出土遺物実測図 -2（1:4）

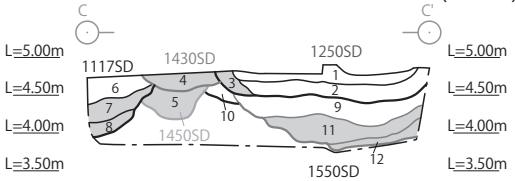


1248・1255SK・1249SD(6G18h)



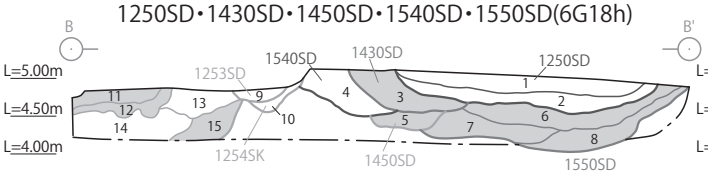
1, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト
2, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)
3, 2.5Y5/4 オリーブ褐色細粒砂(1249SD)
4, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む、1249SD)
5, 2.5Y5/4 オリーブ褐色細粒砂
6, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト
7, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト
8, 2.5Y5/4 オリーブ褐色細粒砂(1248SK)
9, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト(1255SK)
10, 2.5Y5/4 オリーブ褐色細粒砂
11, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)
12, 2.5Y5/4 オリーブ褐色細粒砂(2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト含む)
13, 2.5Y5/4 オリーブ褐色細粒砂

1117SD・1250SD・1430SD・1450SD・1550SD(6G19c)



1, 10Y4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト(炭化物、土器細片含む)(1250SD)
2, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(1250SD)
3, 2.5Y4/3 オリーブ褐色極細粒砂(1250SD)
4, 2.5Y4/3 オリーブ褐色極細粒砂(1430SD)
5, 5Y4/2灰 オリーブ色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)(1450SD)
6, 2.5Y4/6 オリーブ褐色粘土質シルト(1117SD)
7, 2.5Y4/6 オリーブ褐色極細粒砂(2.5Y4/6オリーブ褐色粘土質シルト含む)(1117SD)
8, 2.5Y4/6 オリーブ褐色極細粒砂(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)(1117SD)
9, 5Y4/3暗 オリーブ色粘土質シルト(1550SD)
10, 5Y4/3暗 オリーブ色極細粒砂(1550SD)
11, 5Y4/2灰 オリーブ色極細粒砂(1550SD)
12, 5Y4/2灰 オリーブ色極細粒砂(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)(1550SD)

1250SD・1430SD・1450SD・1540SD・1550SD(6G18h)



1, 10Y4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト(炭化物、土器細片含む)(1250SD)
2, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(1250SD)
3, 2.5Y4/3 オリーブ褐色極細粒砂(1430SD)
4, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト(炭化物含む)(1540SD)
5, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)(1450SD)
6, 5Y4/3 暗オリーブ色極細粒砂(1550SD)
7, 5Y4/2 灰オリーブ色極細粒砂(1550SD)
8, 5Y4/2 灰オリーブ色極細粒砂(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)(1550SD)
9, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト(1253SD)
10, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト(1254SK)
11, 2.5Y5/4 オリーブ褐色細粒砂(1252SK)
12, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y5/4オリーブ褐色細粒砂含む)(1252SK)
13, 2.5Y5/4 オリーブ褐色粘土質シルト(1252SK)
14, 2.5Y5/4 オリーブ褐色細粒砂(1252SK)
15, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト(1252SK)

図 2-104 10Da 区 1117・1250・1430・1550SD 遺構図(1:100)

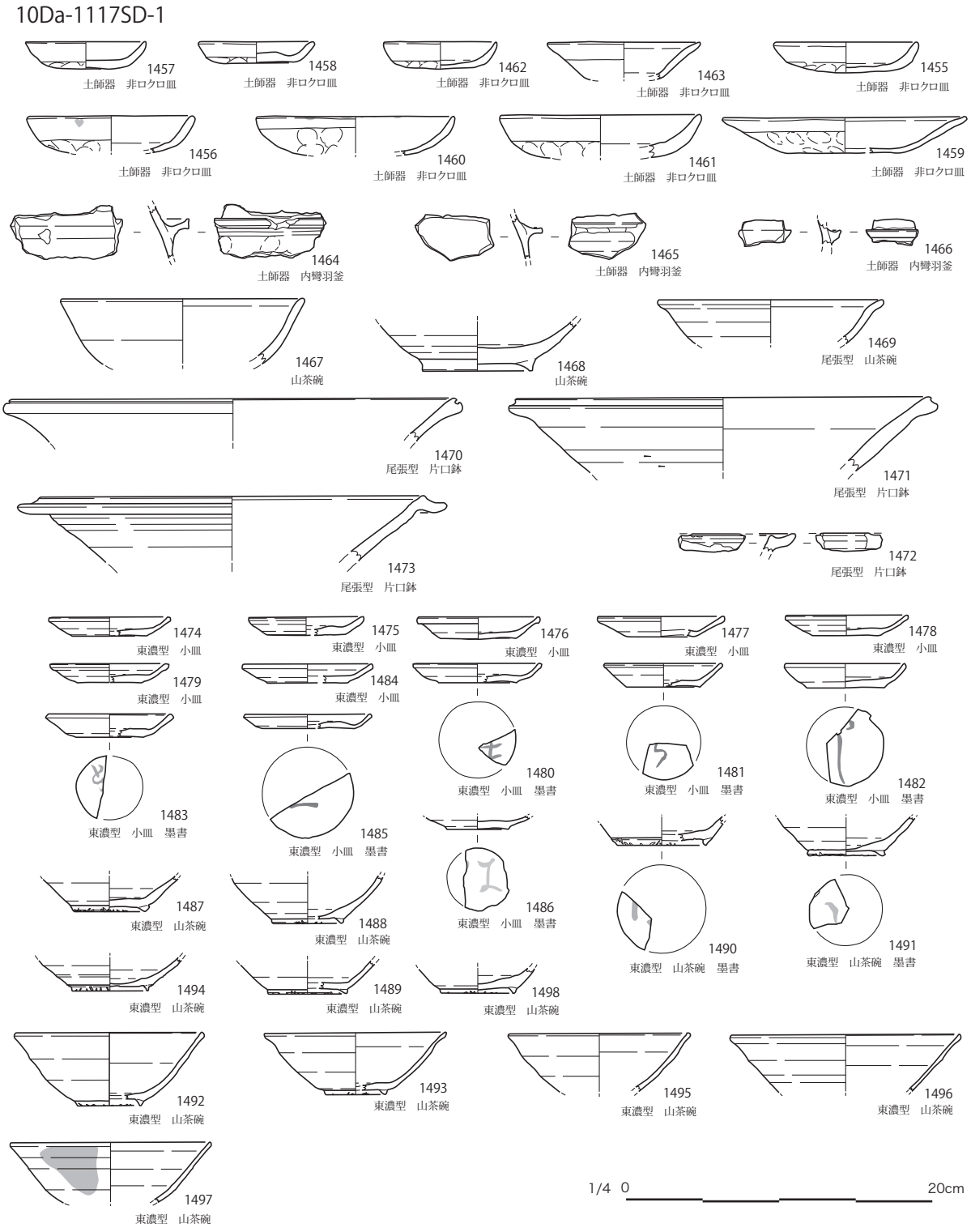


図 2-105　10Da 区 1117SD 出土遺物実測図 -1（1:4）

10Da-1117SD-2

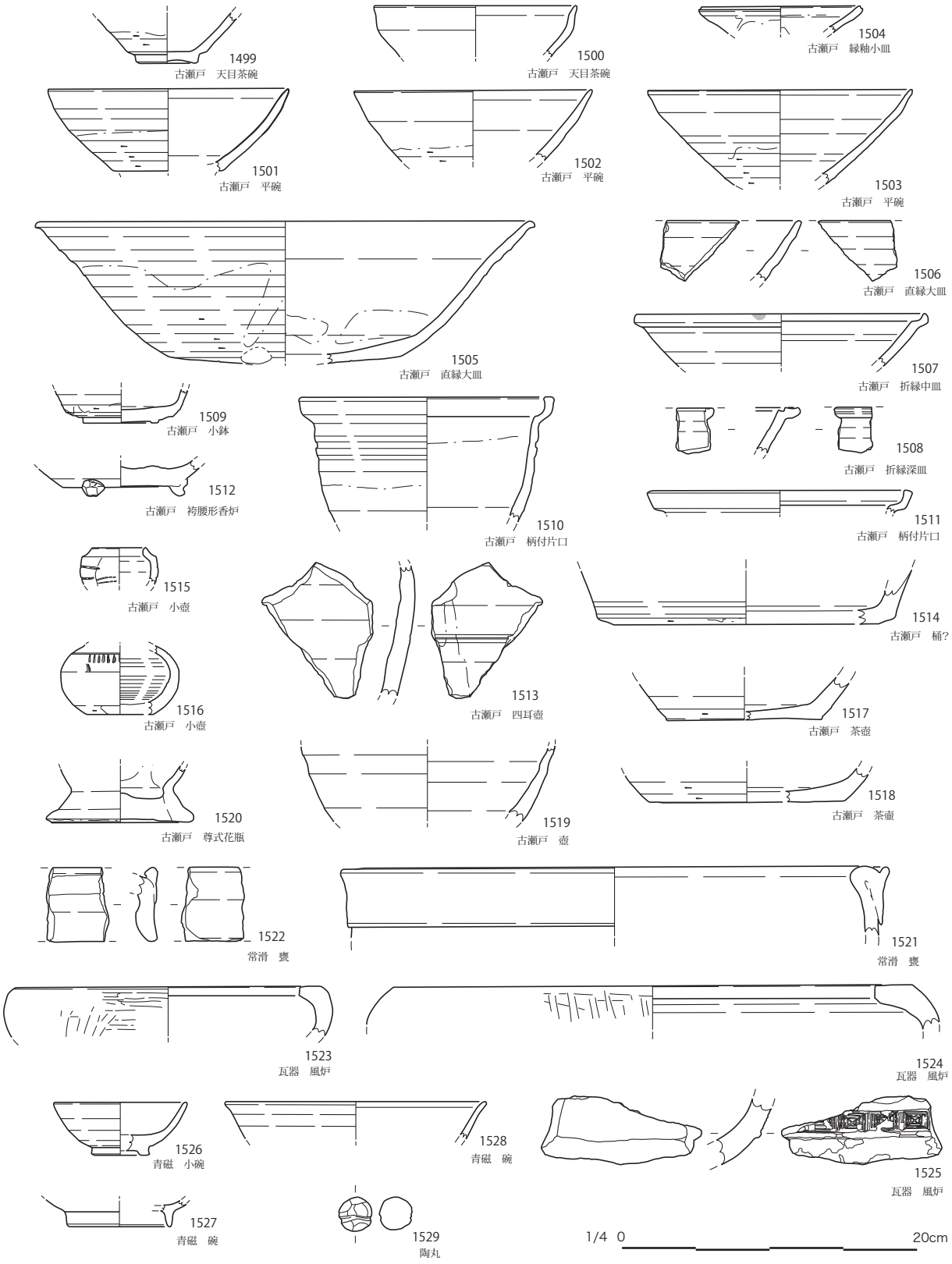
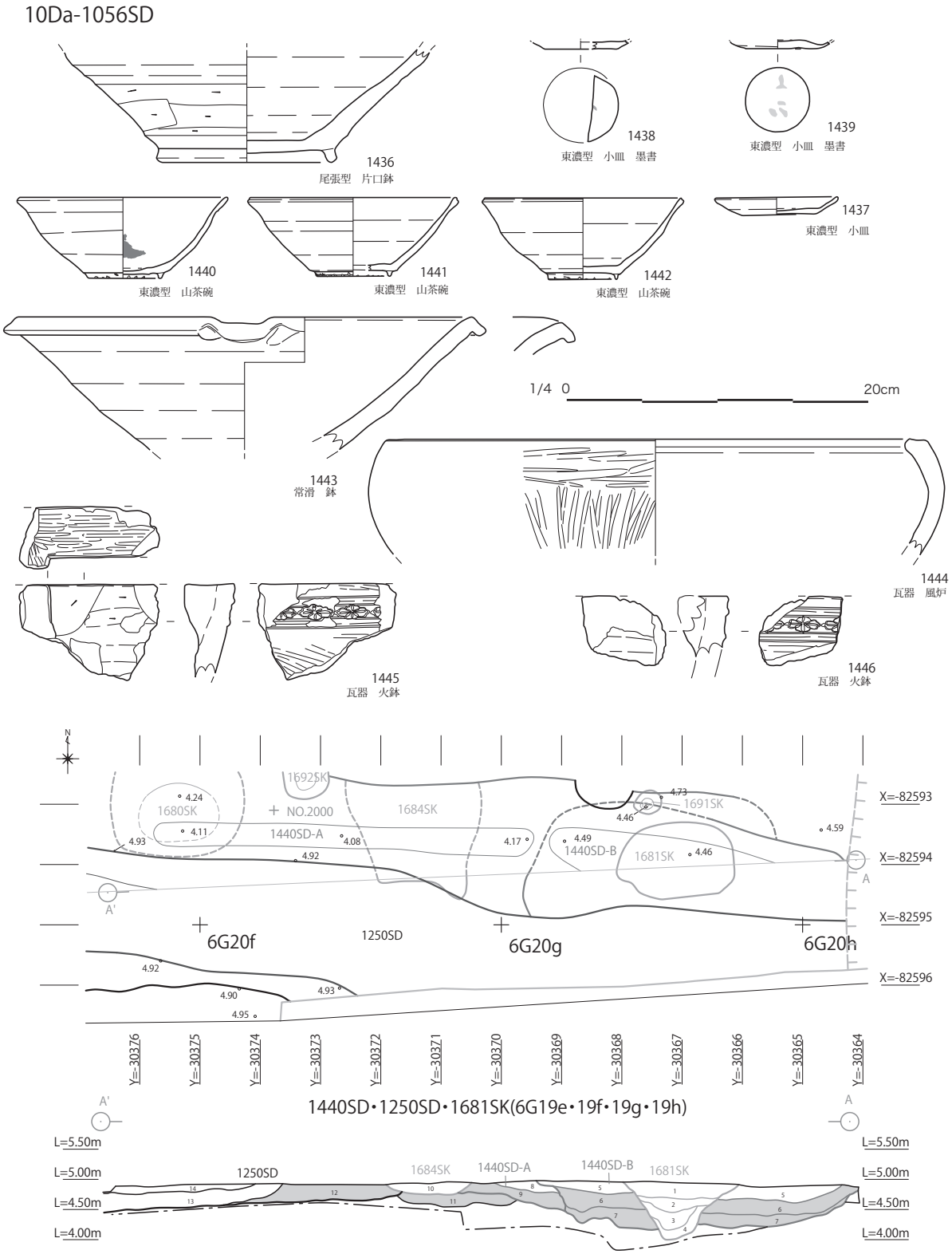


図 2-106　10Da 区 1117SD 出土遺物実測図 -2（1:4）



1, 2.5Y5/2 暗灰黄色粘土質シルト（炭化物、土器細片含む）
2, 2.5Y5/2 暗灰黄色シルト質粘土（炭化物、土器細片含む）
3, 2.5Y5/2 暗灰黄色粘土質シルト
4, 5Y4/3 暗オリーブ色粘土質シルト
5, 2.5Y5/2 暗灰黄色粘土質シルト（1440SD-B）
6, 2.5Y5/4 オリーブ褐色細粒砂（2.5Y5/2 暗灰黄色粘土質シルト含む、1440SD-B）
7, 2.5Y4/2 暗灰黄色極細粒砂（1440SD-B）
8, 2.5Y4/3 オリーブ褐色シルト質粘土（1440SD-A）
9, 2.5Y4/4 オリーブ褐色極細粒砂（1440SD-A）
10, 5Y4/2 灰オリーブ色粘土質シルト
11, 2.5Y4/3 オリーブ褐色極細粒砂
12, 2.5Y4/3 オリーブ褐色極細粒砂（1250SD）
13, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト（1250SD）
14, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト（1250SD）

図 2-107 10Da 区 1056SD 出土遺物（1:4）/1250・1440SD/1681SK 遺構図（1:100）

10Da-1250SD-1

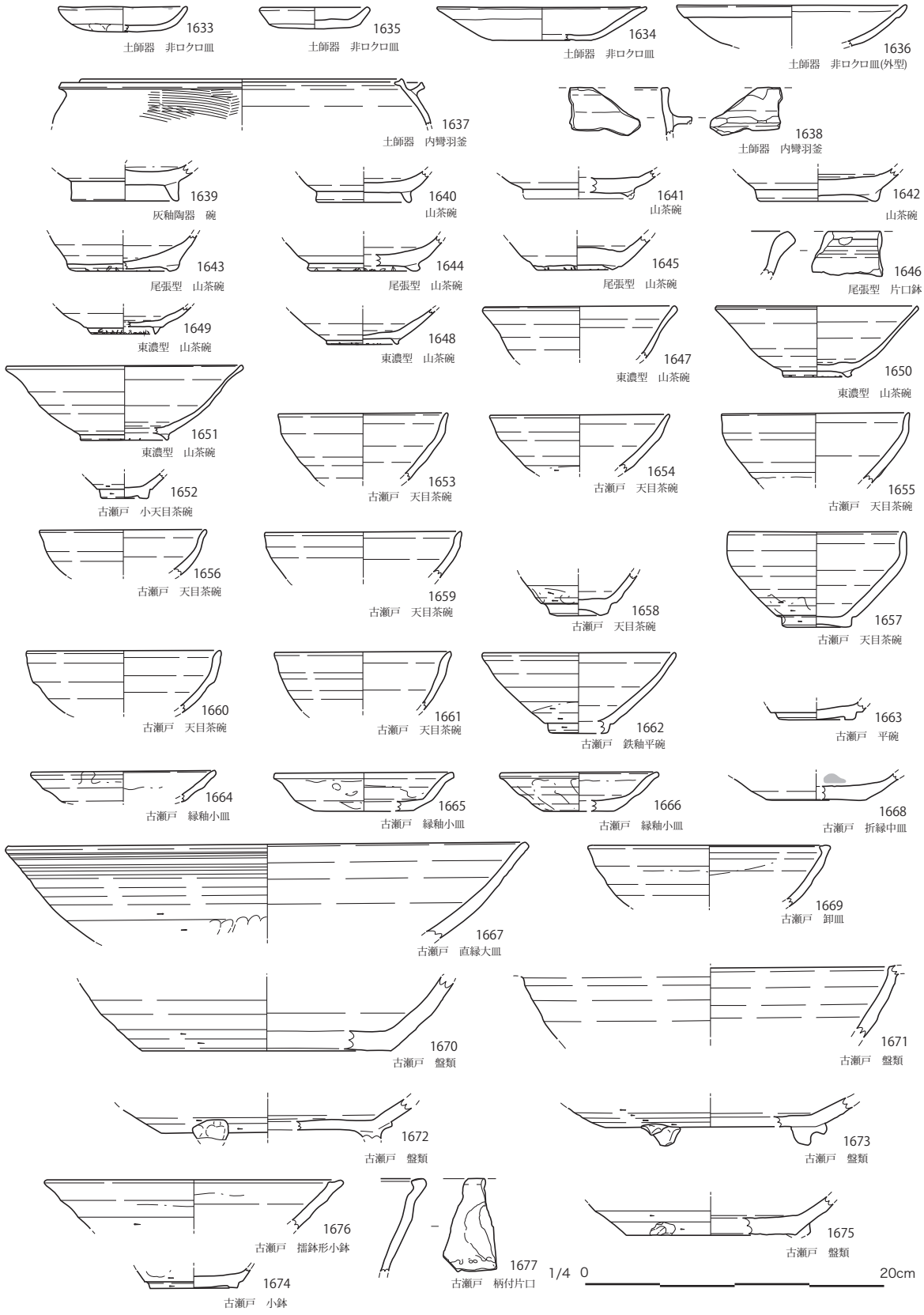


図 2-108　10Da 区 1250SD 出土遺物実測図 -1（1:4）

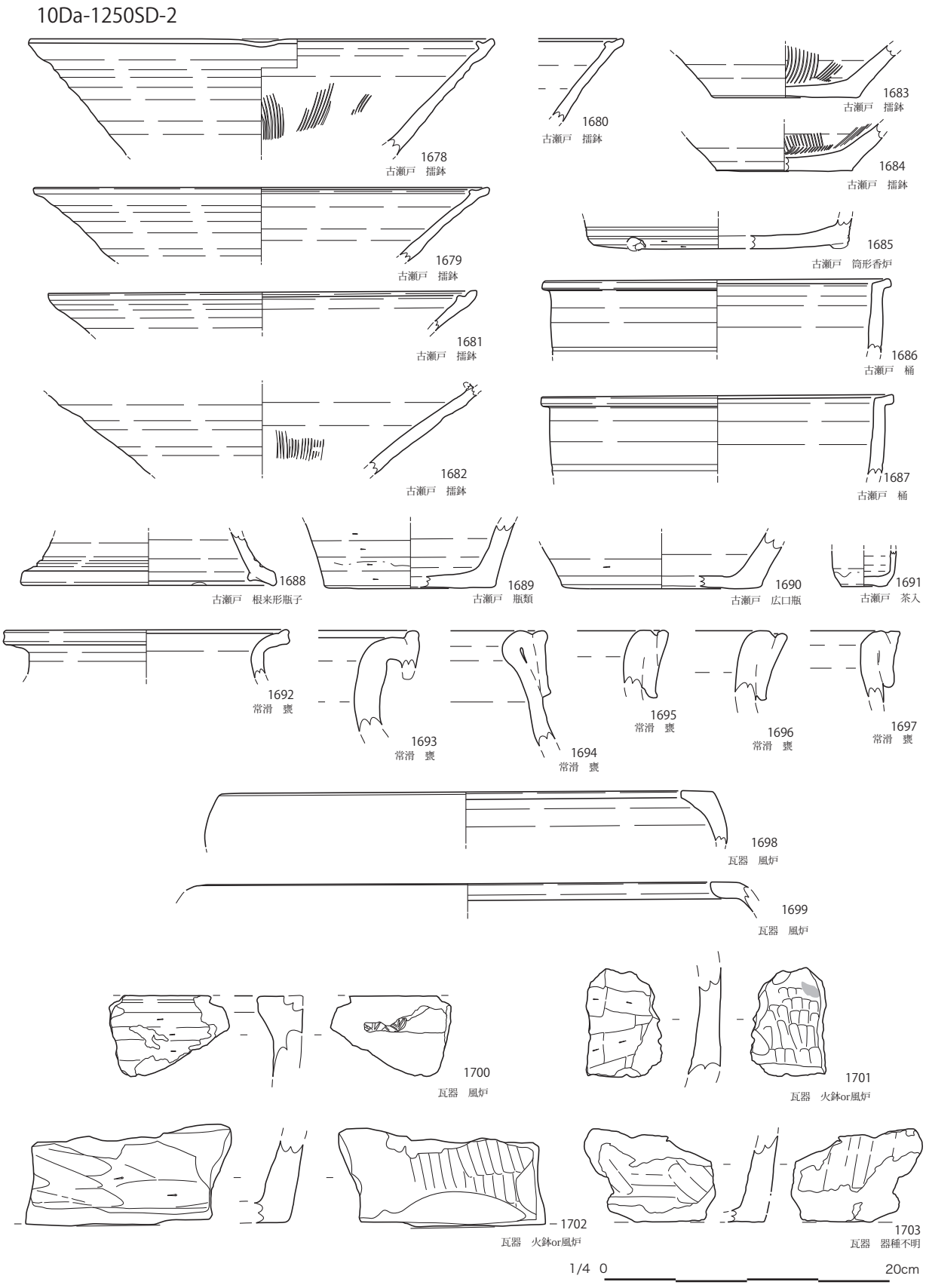


図 2-109　10Da 区 1250SD 出土遺物実測図 -2（1:4）

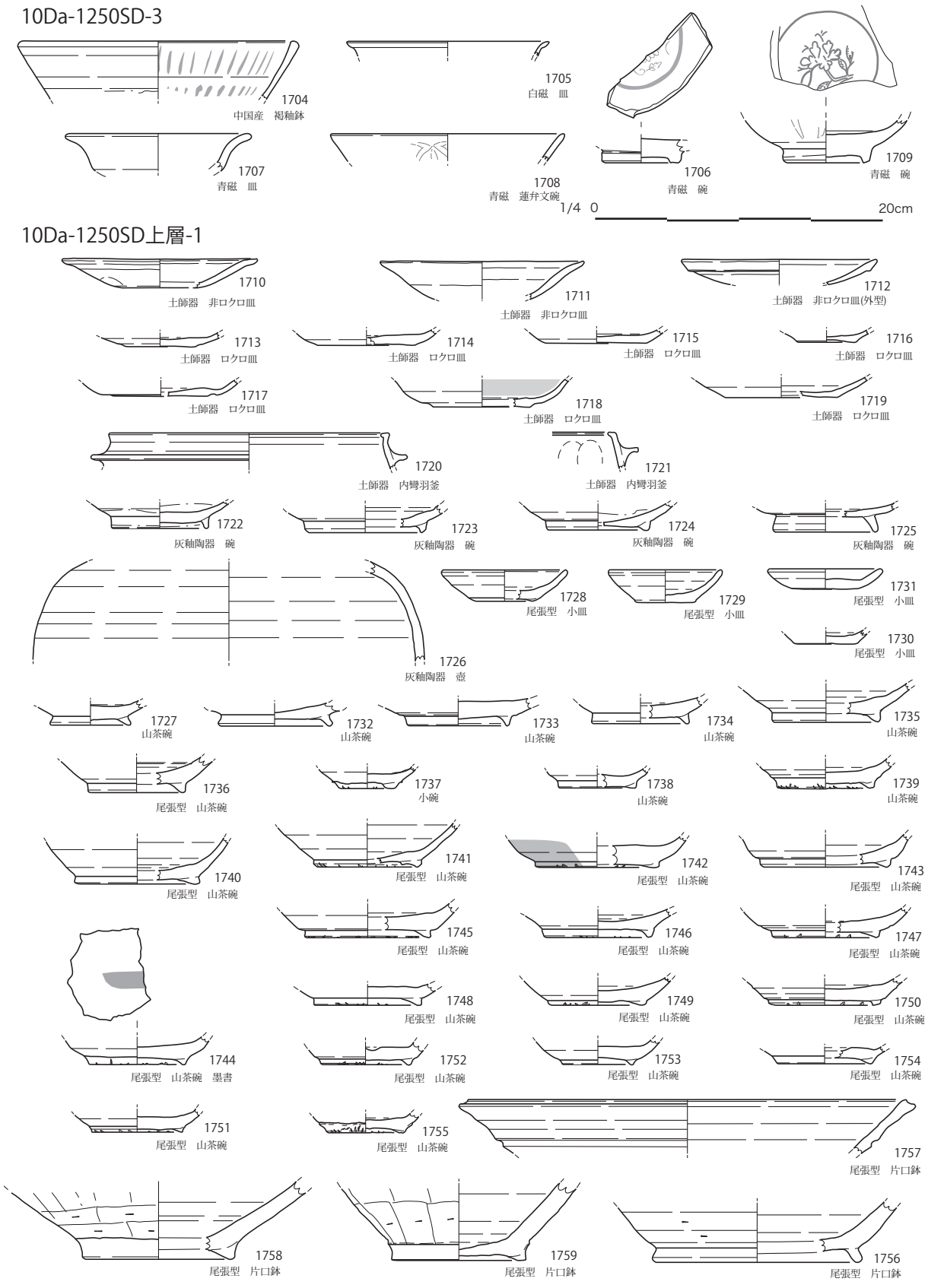


図 2-110　10Da 区 1250SD-3/ 同上層出土遺物実測図 -1（1:4）

10Da-1250SD上層-2

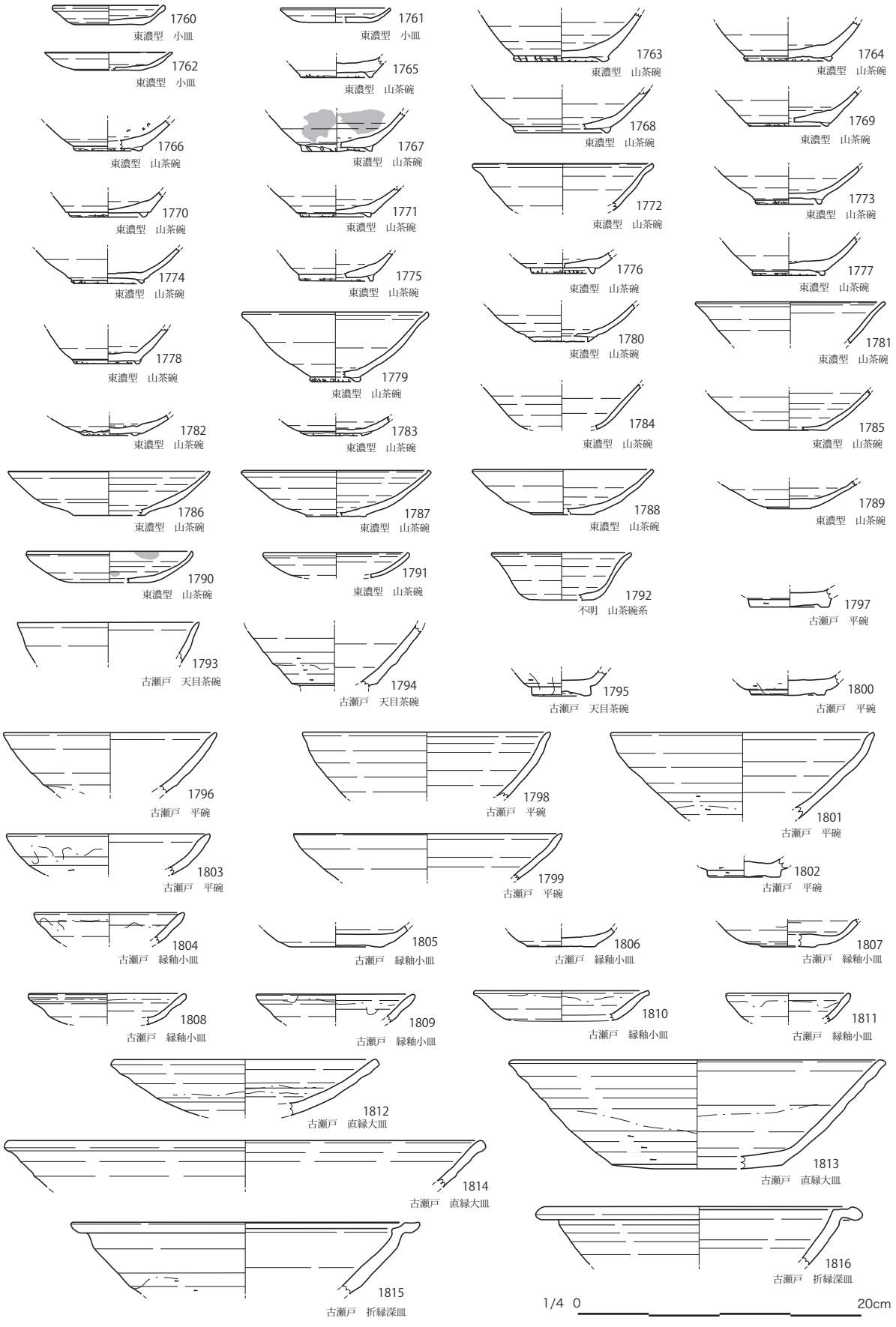


図 2-111　10Da 区 1250SD 上層出土遺物実測図 -2（1:4）

10Da-1250SD上層-3

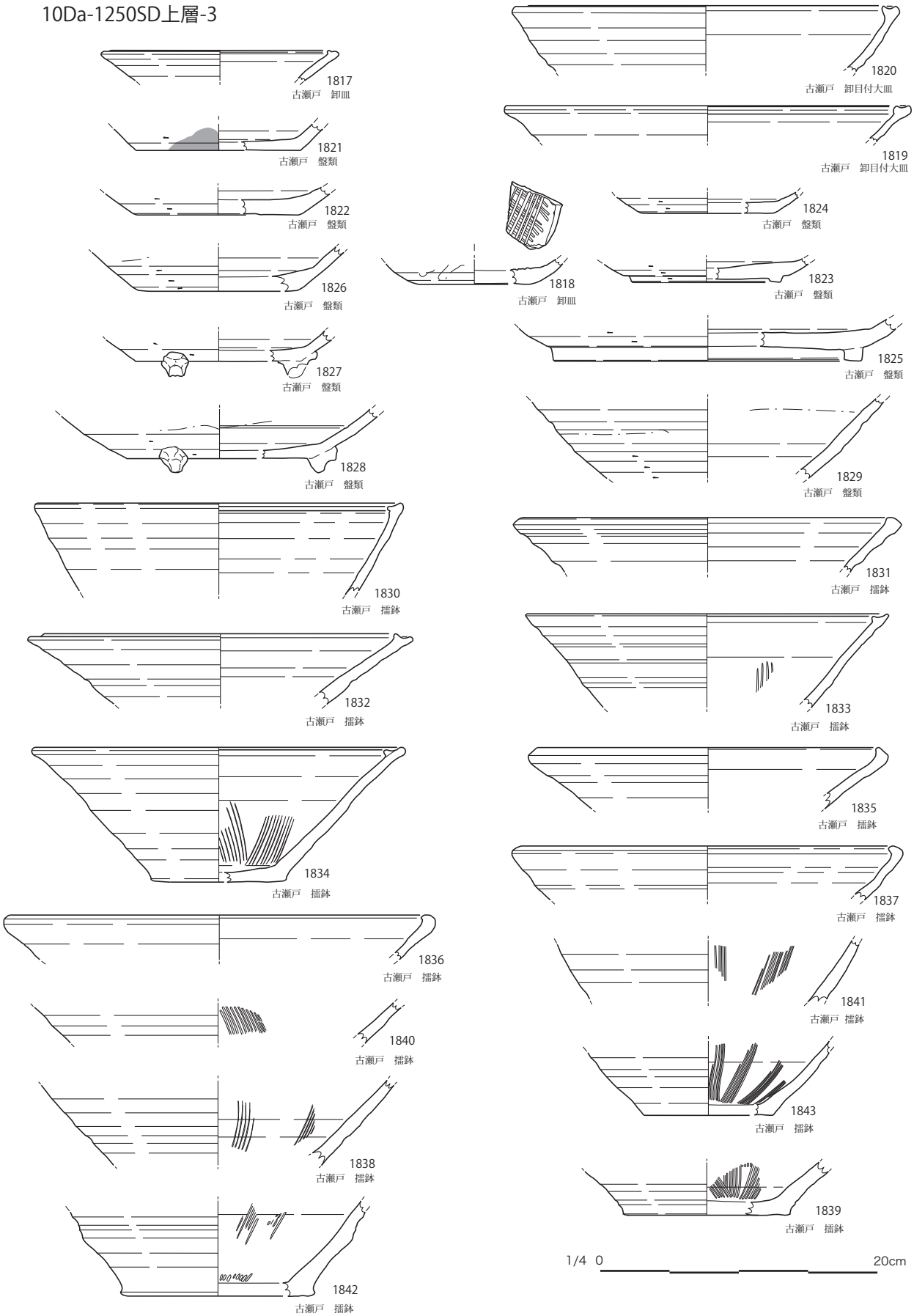


図 2-112　10Da 区 1250SD 上層出土遺物実測図 -3（1:4）

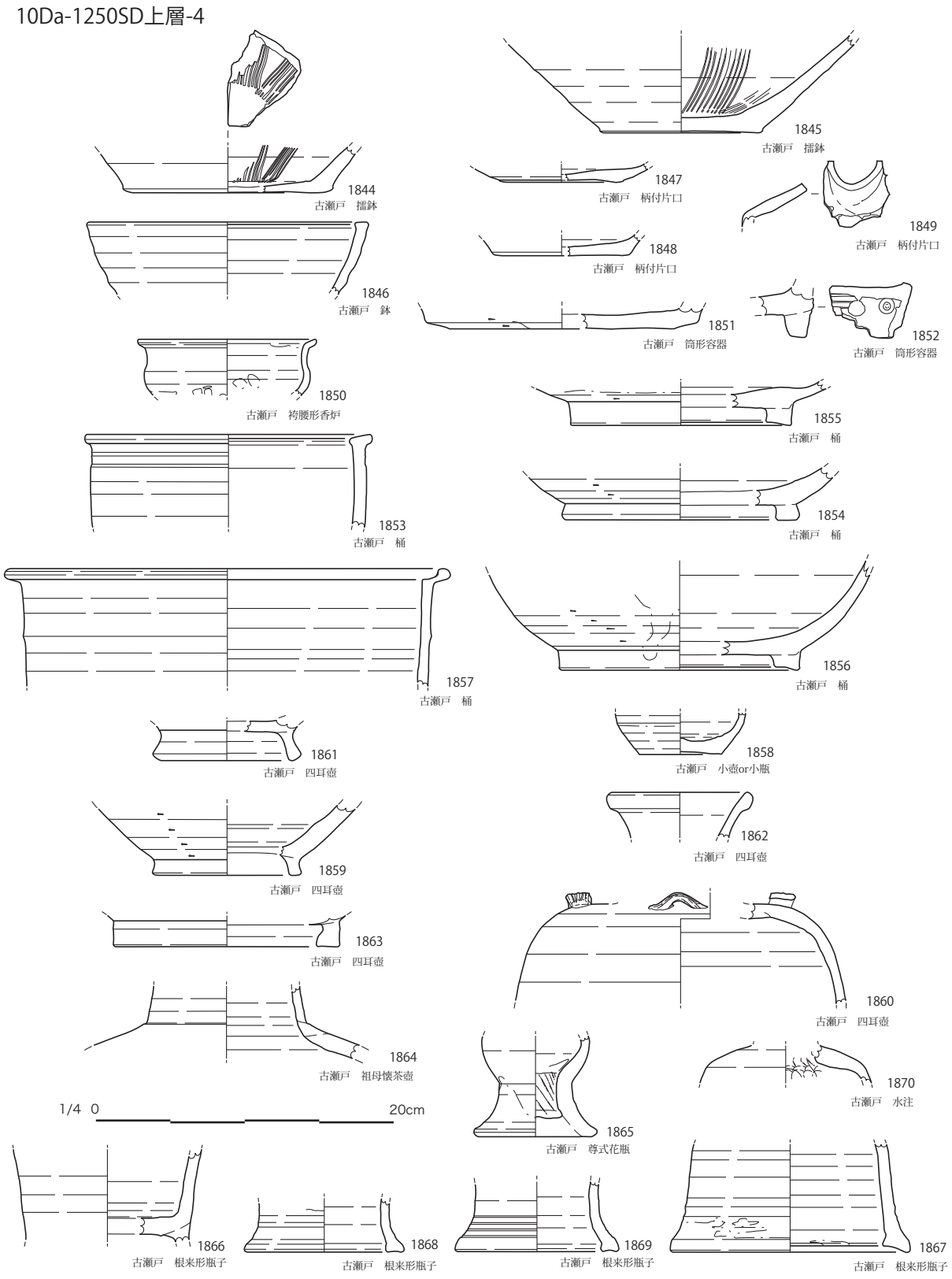


図 2-113　10Da 区 1250SD 上層出土遺物実測図 -4（1:4）

10Da-1250SD上層-5

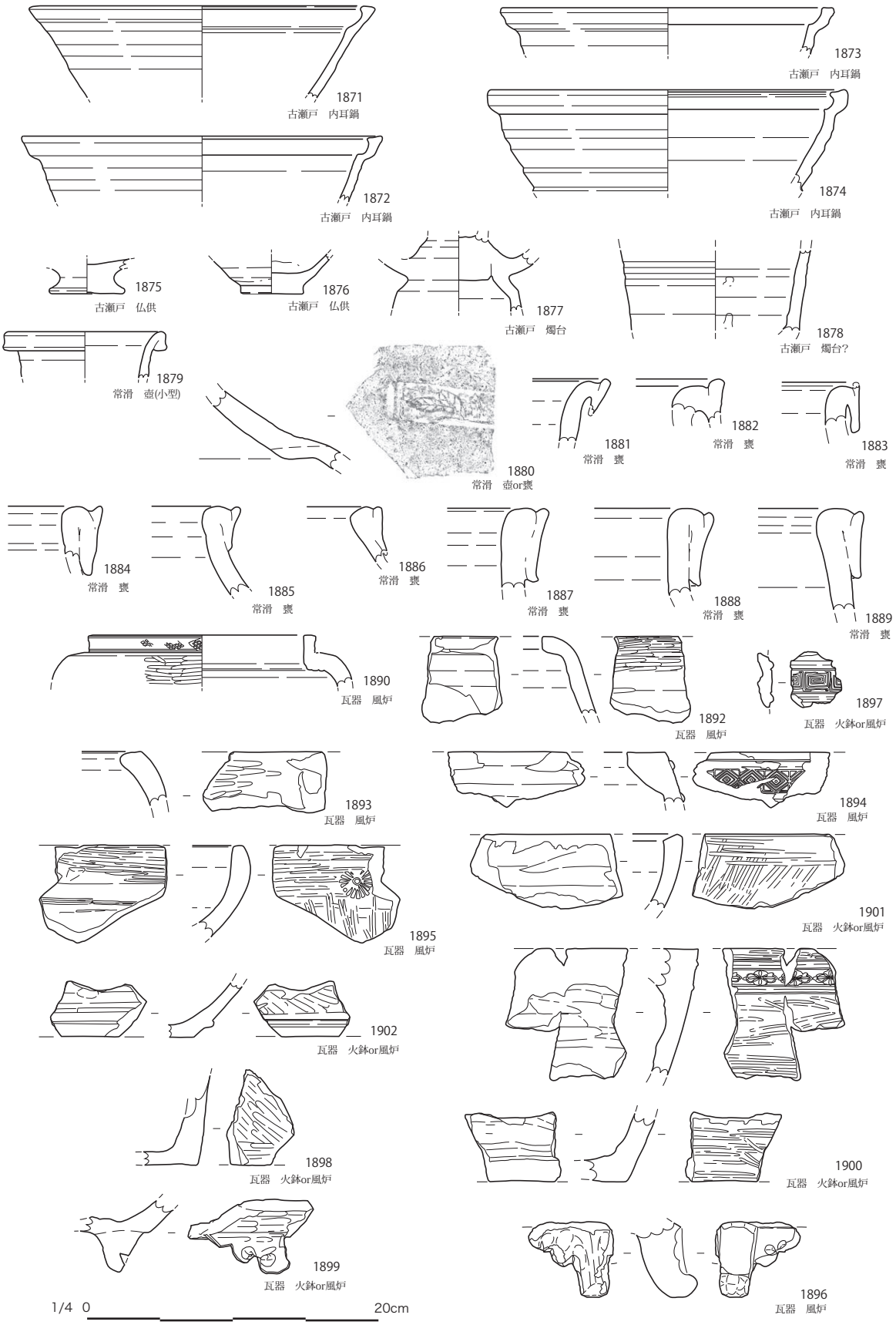


図 2-114　10Da 区 1250SD 上層出土遺物実測図 -5（1:4）

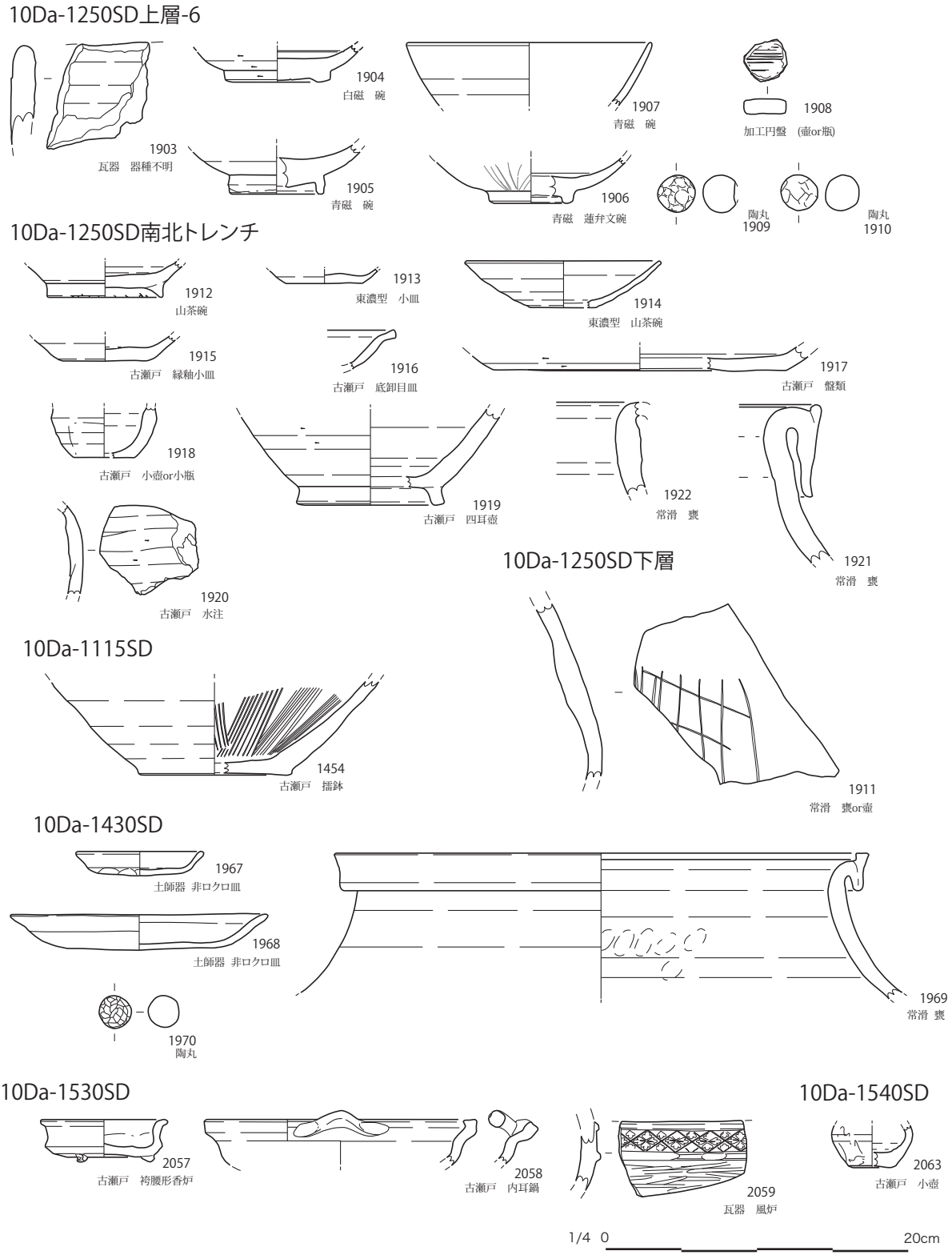


図 2-115　10Da 区 1250SD 上層 -6/ 同南北トレンチ / 同下層出土遺物実測図（1:4）

10Da-1440SD

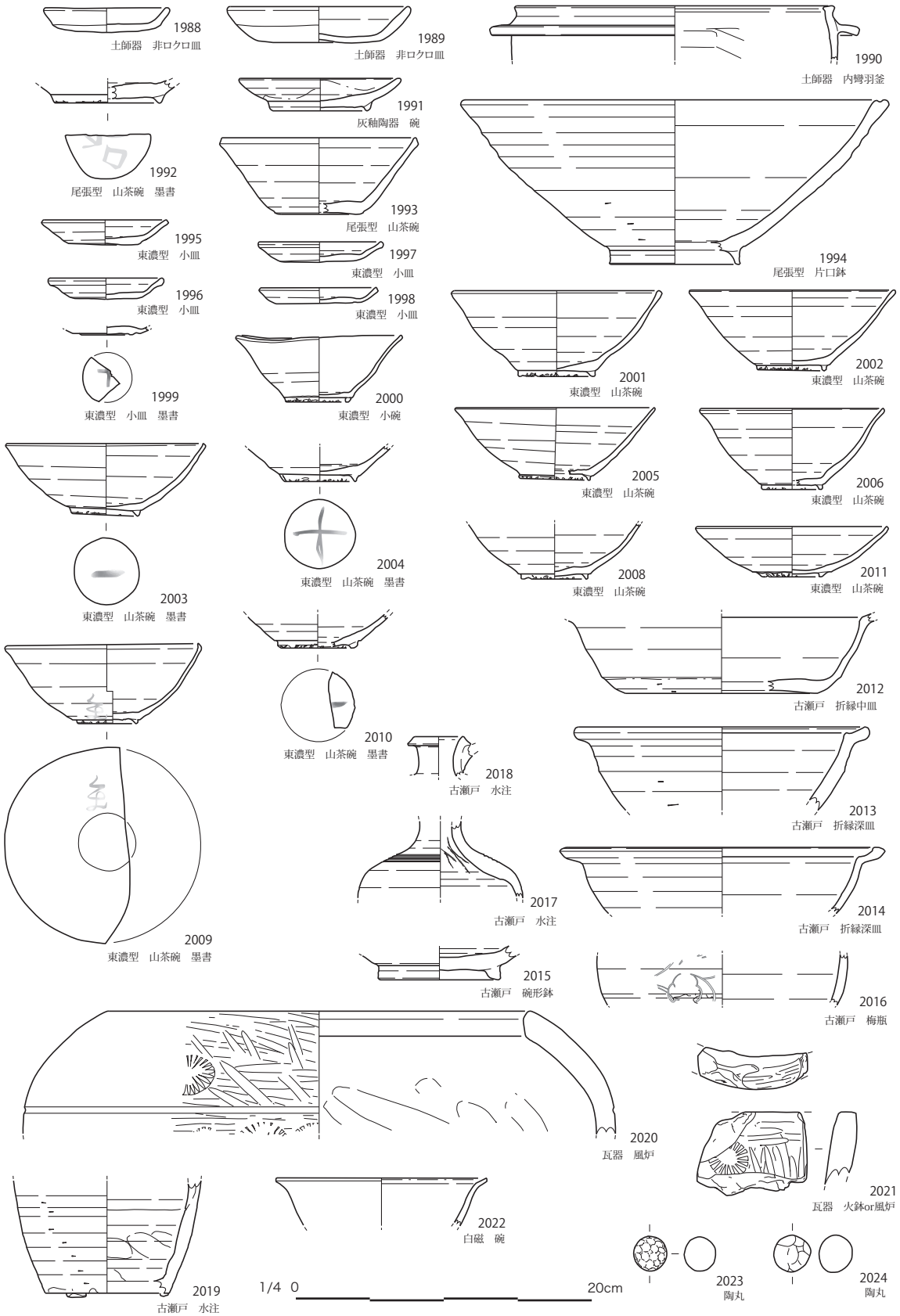


図 2-116　10Da 区 1440SD 出土遺物実測図（1:4）

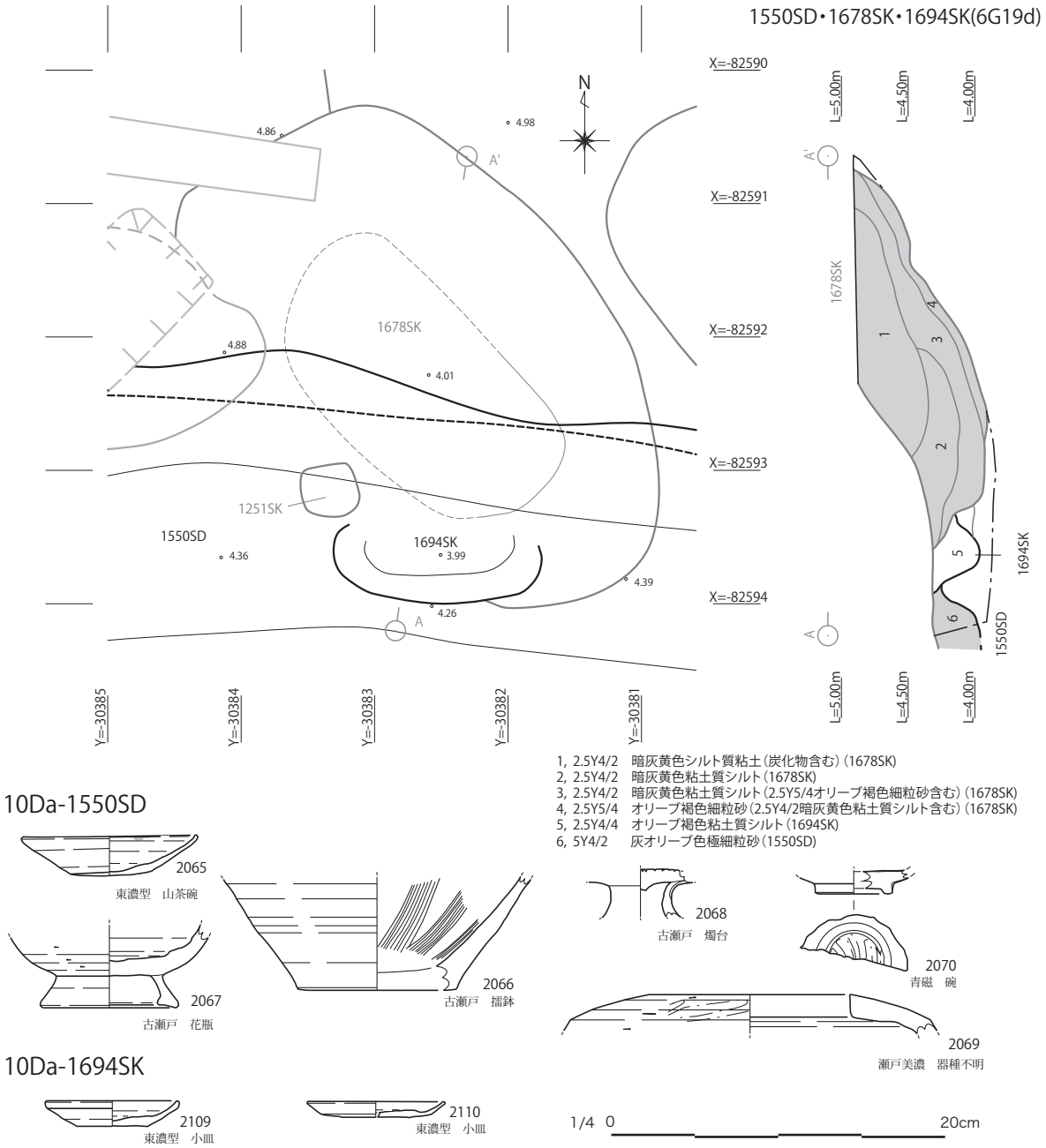


図 2-117　10Da 区 1449SK/1550SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

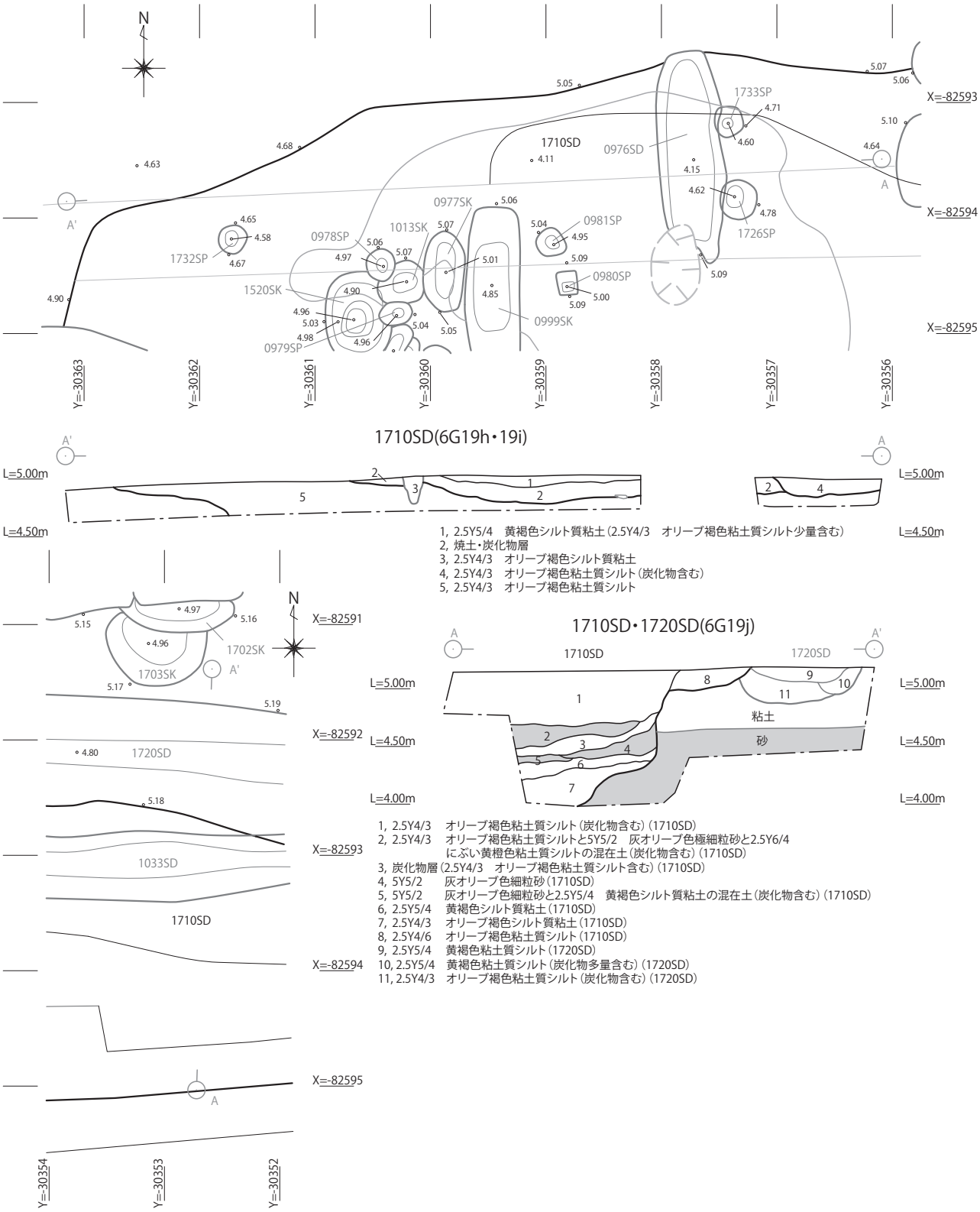
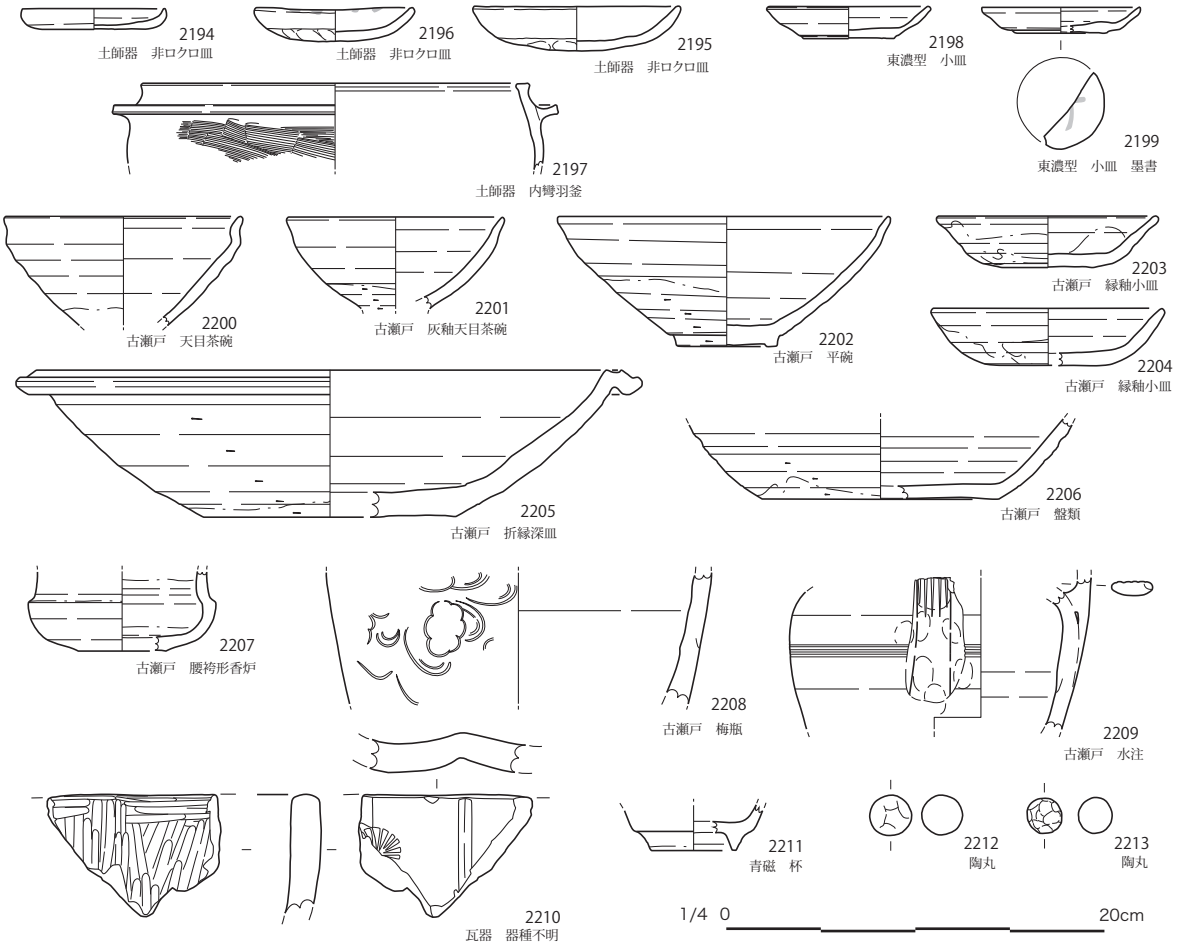
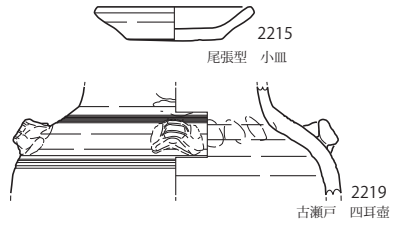


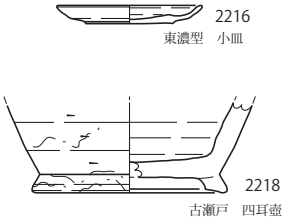
図 2-118　10Da 区 1710SD 遺構図（1:50）

10Da-1710SD

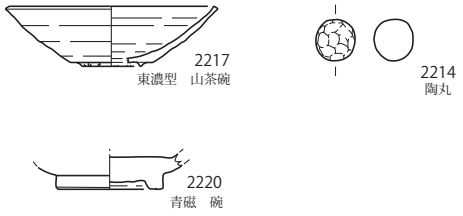


10Da-1710SD下層





10Da-1710SD上部



10Da-1720SD

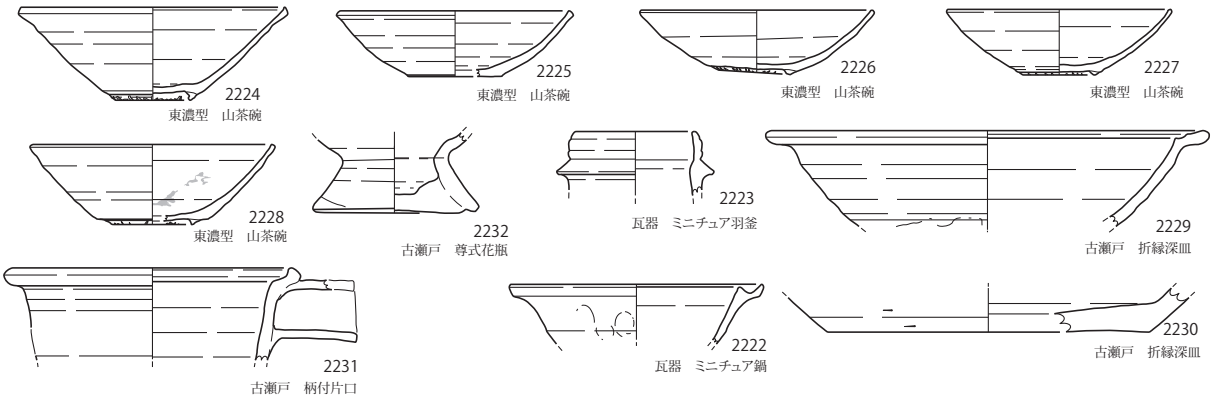


図 2-119　10Da 区 1710SD・同下層 /1720SD 出土遺物実測図（1:4）

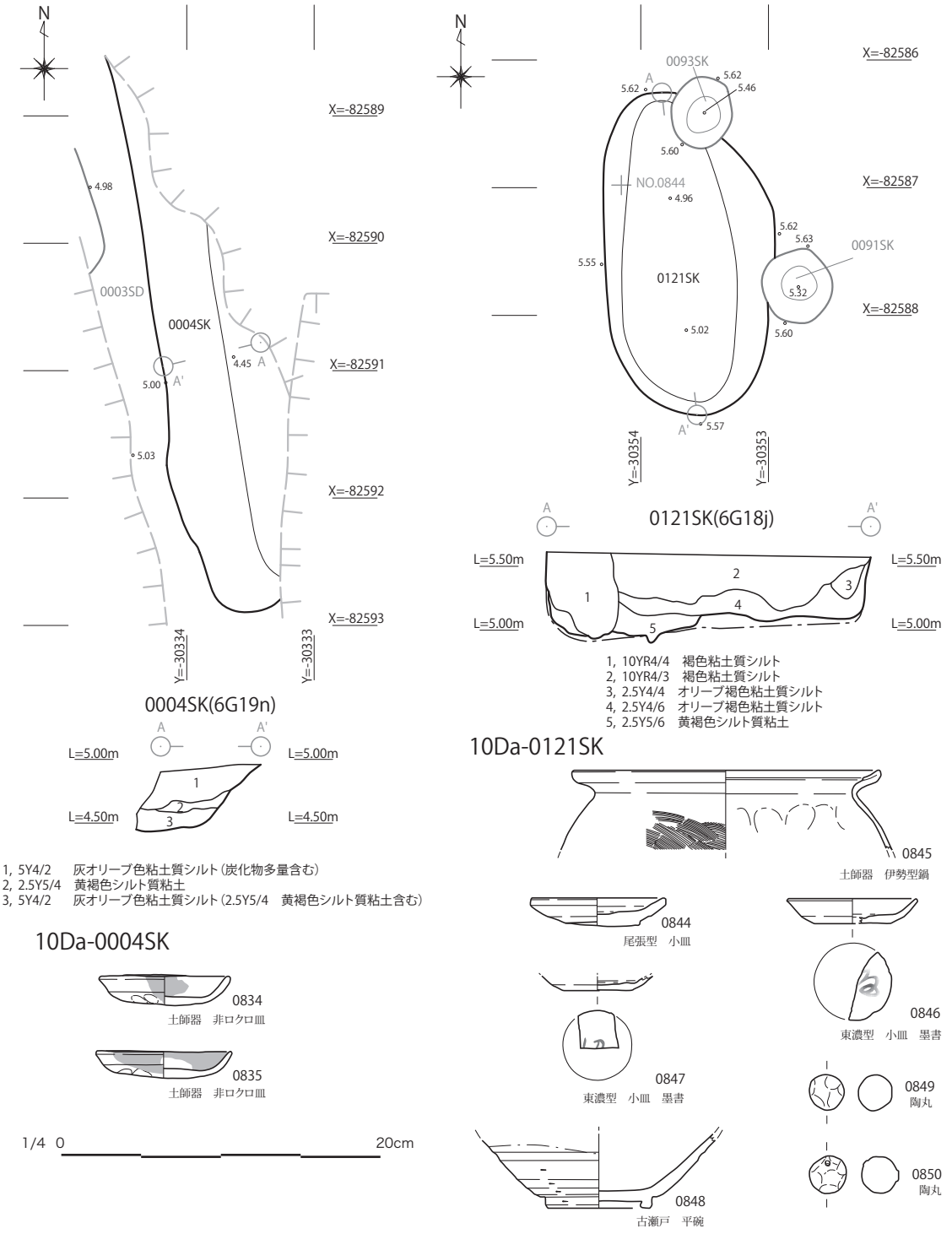
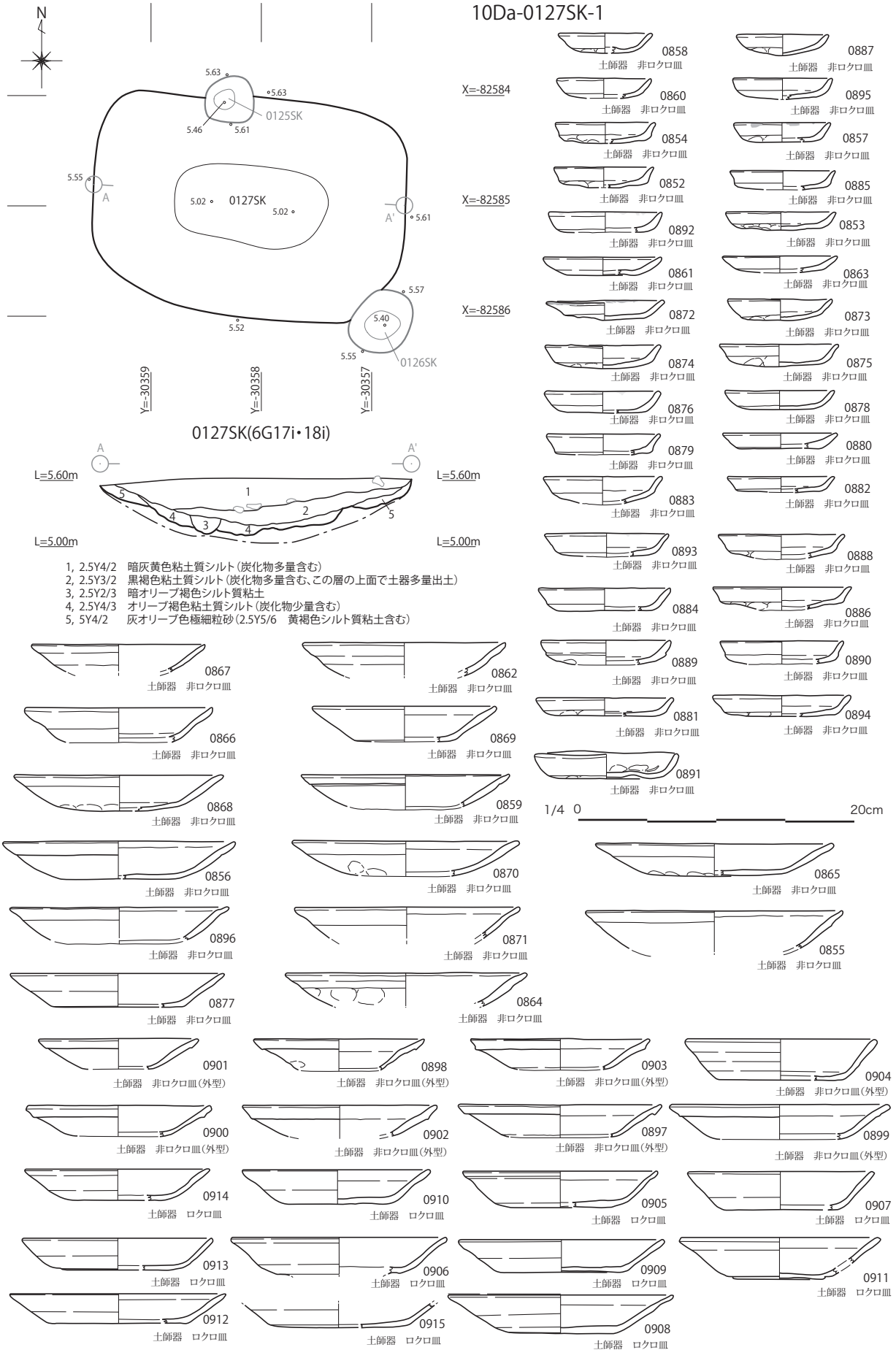


図 2-120　10Da 区 0004SK・0121SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）



1, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（炭化物多量含む）
2, 2.5Y3/2　黒褐色粘土質シルト（炭化物多量含む、この層の上面で土器多量出土）
3, 2.5Y2/3　暗オリーブ褐色シルト質粘土
4, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物少量含む）
5, 5Y4/2　灰オリーブ色極細粒砂（2.5Y5/6　黄褐色シルト質粘土含む）

図 2-121　10Da 区 0127SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図 -1（1:4）

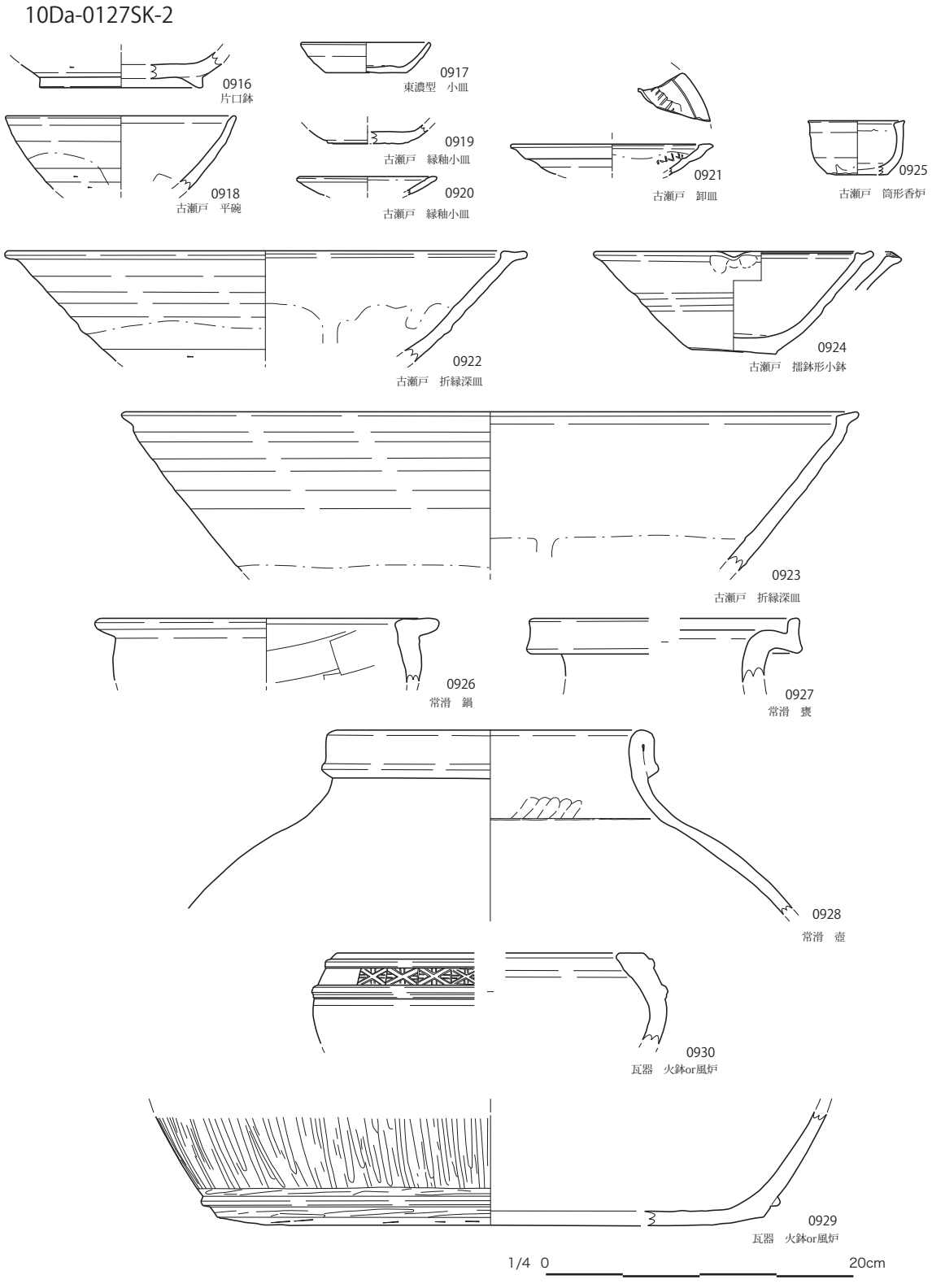


図 2-122　10Da 区 0127SK 出土遺物実測図 -2（1:4）

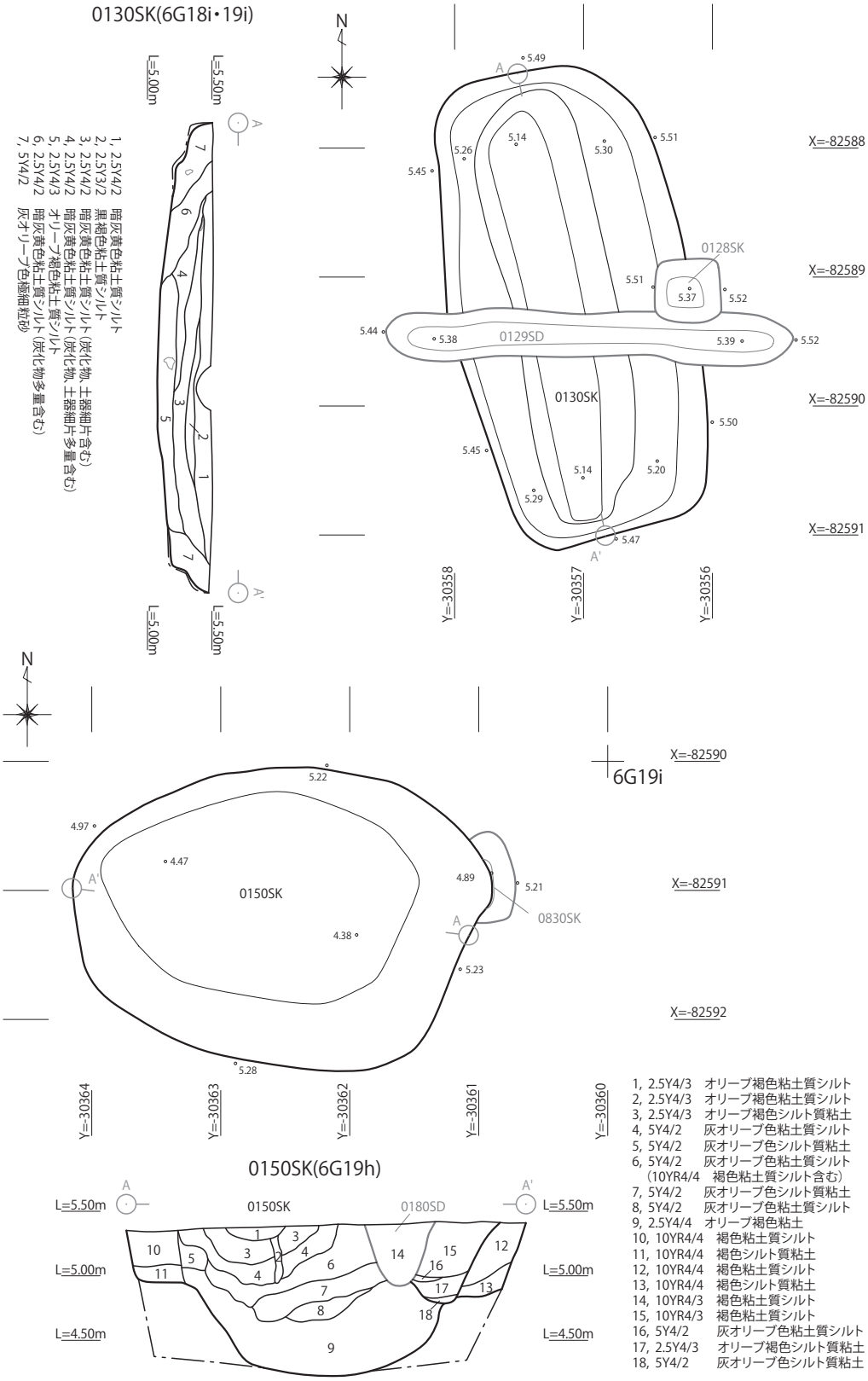


図 2-123　10Da 区 0130・0150SK 遺構図（1:50）

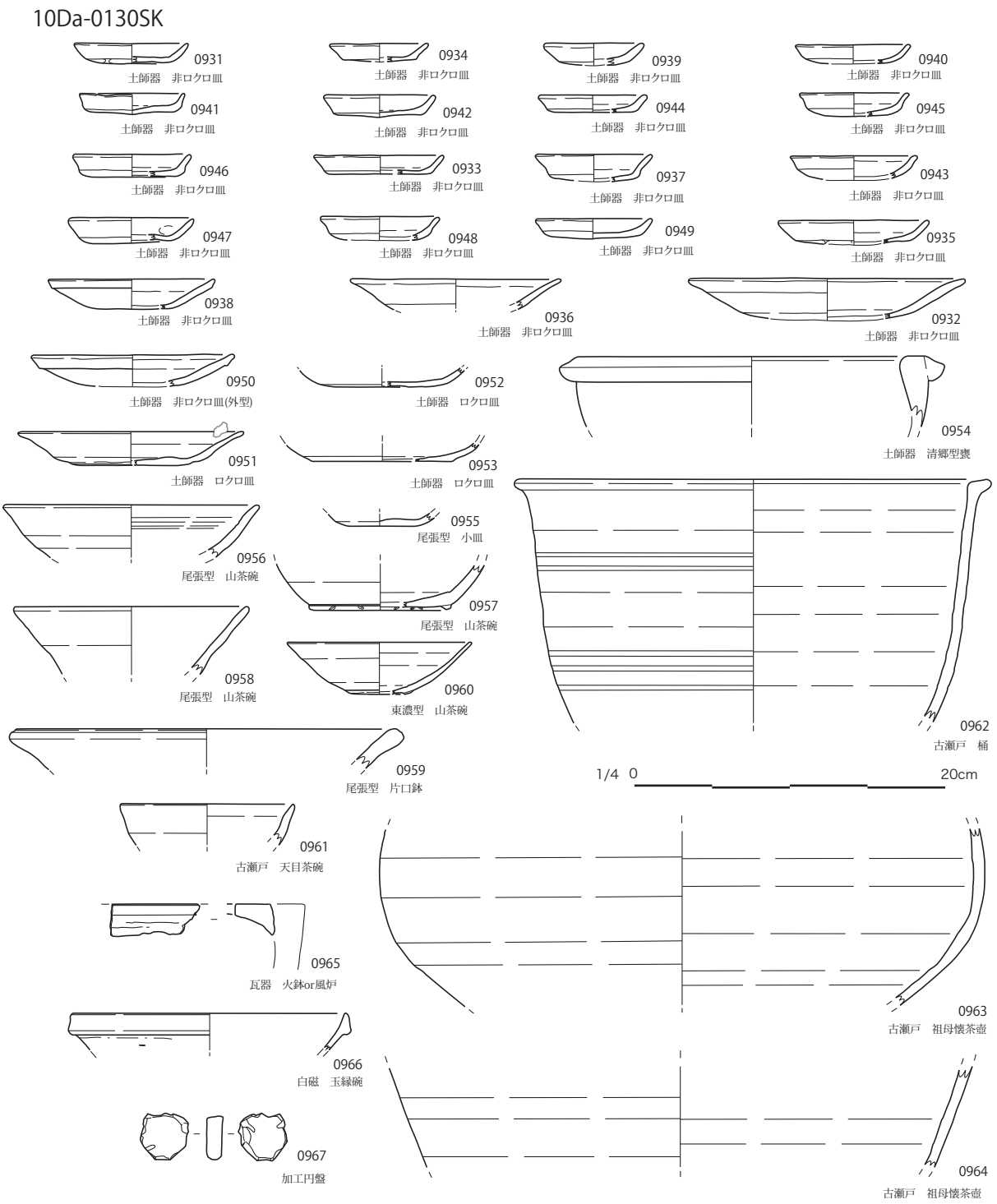


図 2-124　10Da 区 0130SK 出土遺物実測図（1:4）

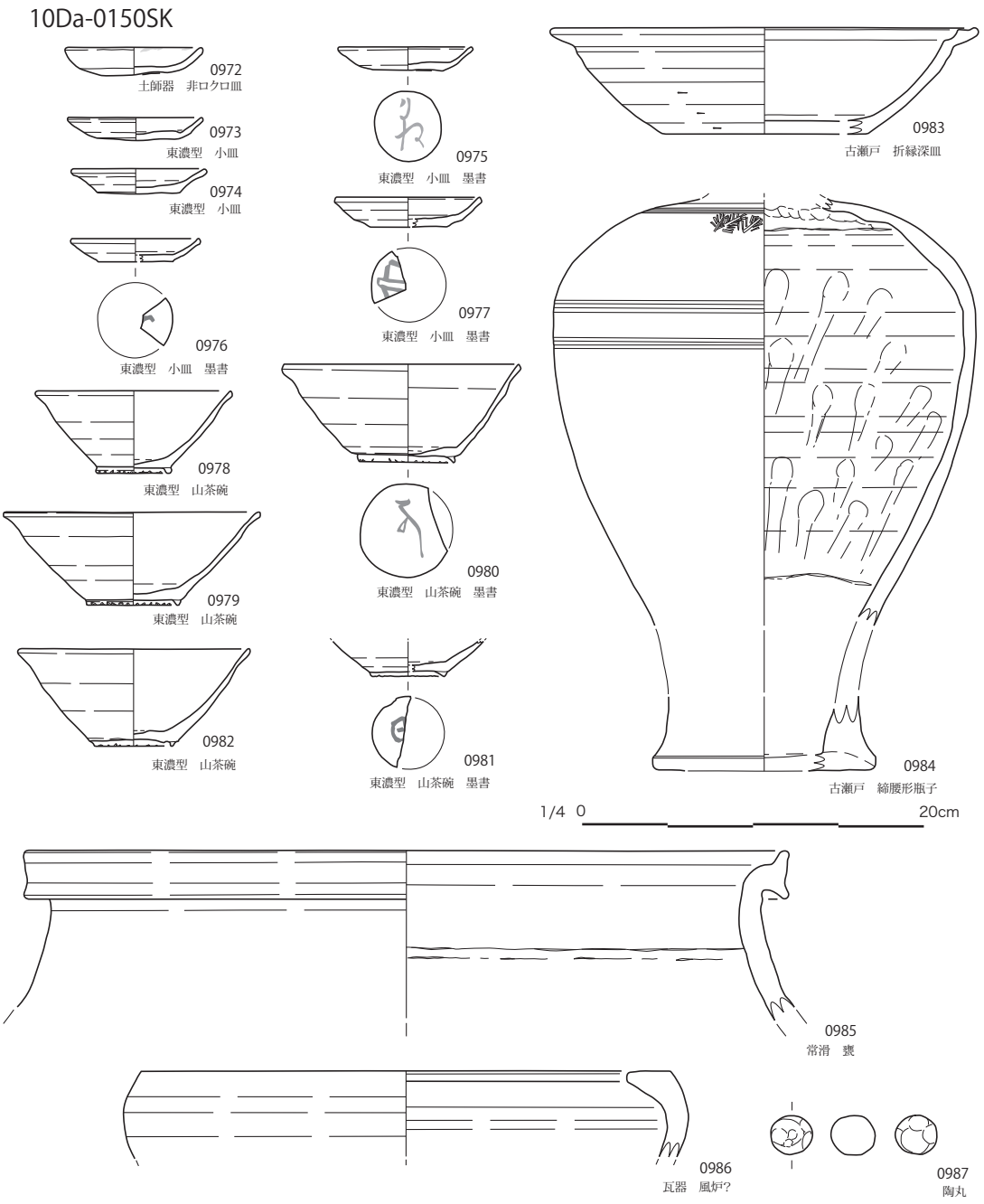
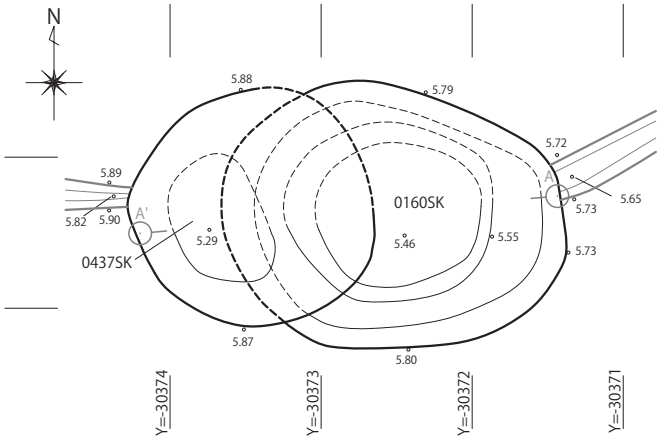
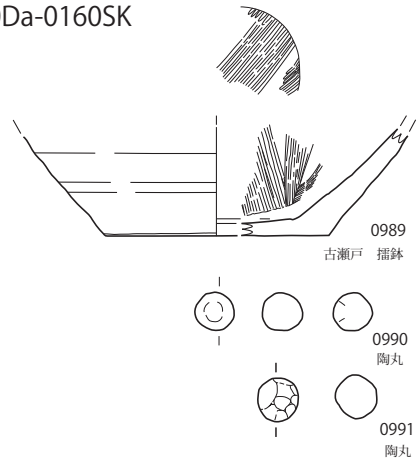


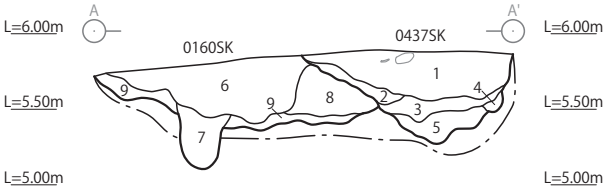
図 2-125　10Da 区 0150SK 出土遺物実測図（1:4）



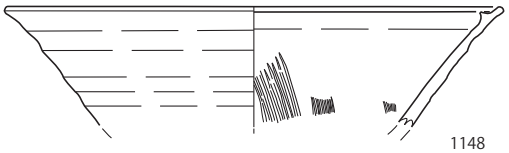
10Da-0160SK



0160SK・0437SK(6G17f・k18f)

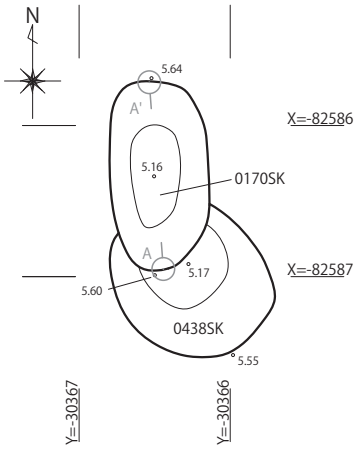


10Da-0437SK

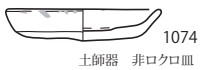


1148
古瀬戸　擂鉢

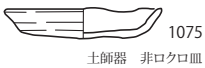
1, 10YR4/4　褐色粘土質シルト（炭化物含む）（0437SK）
2, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（10YR4/4　褐色極細粒砂を含む）（0437SK）
3, 10YR4/4　褐色極細粒砂（0437SK）
4, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（10YR4/4　褐色極細粒砂を含む）（0437SK）
5, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（0437SK）
6、2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（炭化物含む）（0160SK）
7, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（0160SK）
8, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（0160SK）
9, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（10YR4/4　褐色極細粒砂を含む）（0160SK）



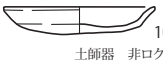
10Da-0170SK



1074
土師器　非ロクロ皿



1075
土師器　非ロクロ皿



1076
土師器　非ロクロ皿



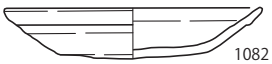
1077
土師器　非ロクロ皿



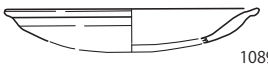
1079
土師器　非ロクロ皿



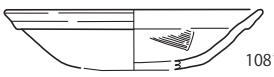
1080
土師器　非ロクロ皿



1082
土師器　非ロクロ皿（外型）

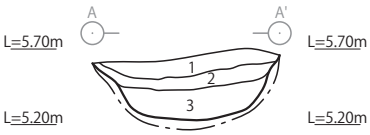


1089
土師器　非ロクロ皿（外型）

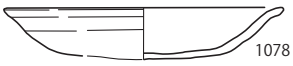


1081
土師器　非ロクロ皿（外型）

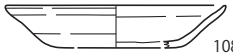
0170SK(6G18g)



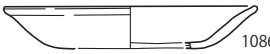
1, 10YR4/4　褐色粘土質シルト(炭化物、土器片多量含む)
2, 10YR4/3　褐色粘土質シルト(炭化物、土器片多量含む)
3, 2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト



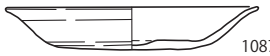
1078
土師器　非ロクロ皿



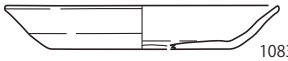
1088
土師器　ロクロ皿



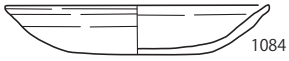
1086
土師器　ロクロ皿



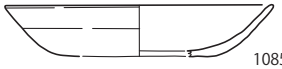
1087
土師器　ロクロ皿



1083
土師器　ロクロ皿

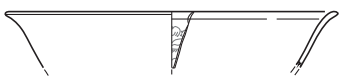


1084
土師器　ロクロ皿

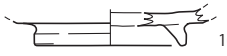


1085
土師器　ロクロ皿

10Da-0438SK



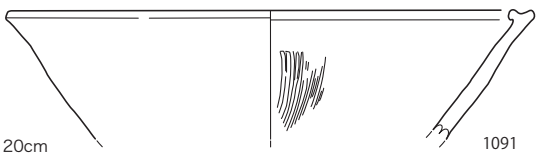
1149
白磁　碗



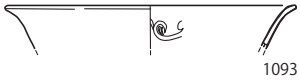
1090
灰釉陶器　碗



1092
常滑　甕



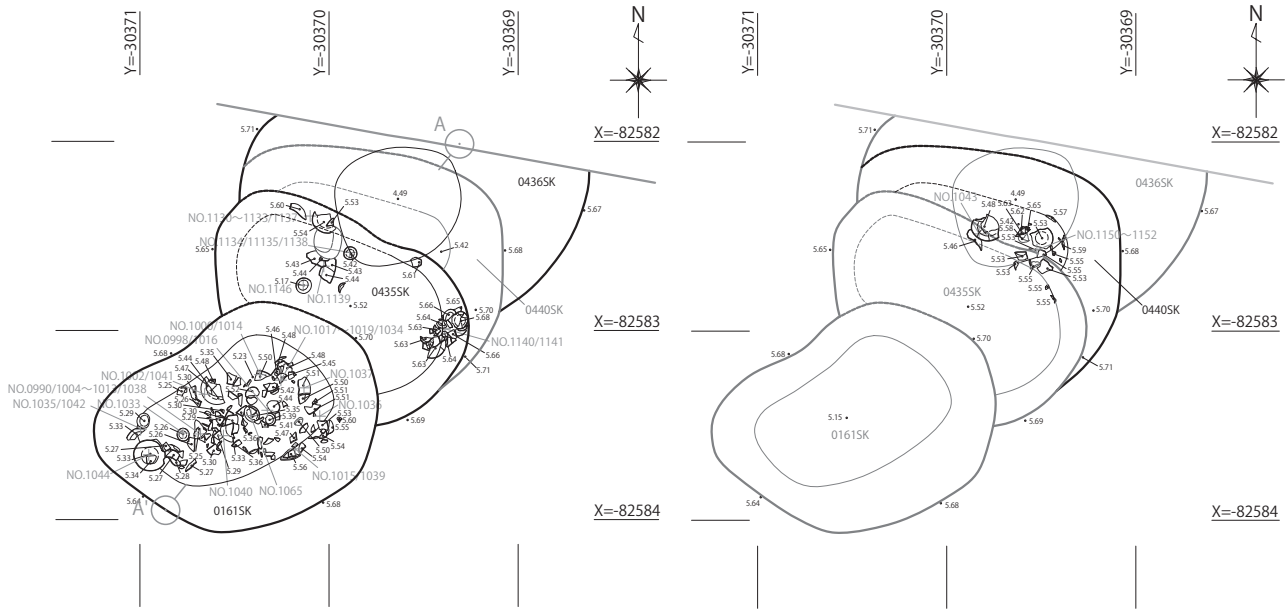
1091
古瀬戸　擂鉢



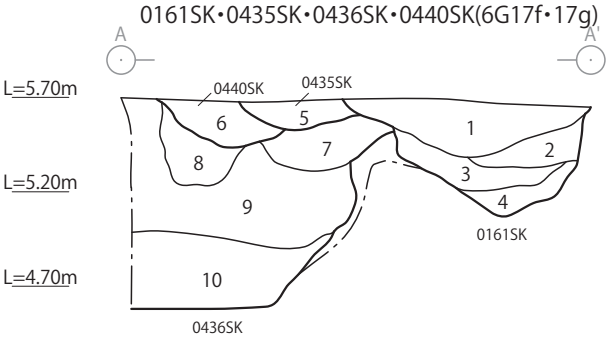
1093
白磁　碗

1/4　0　20cm

図 2-126　10Da 区 0160・0170・0437・0438SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

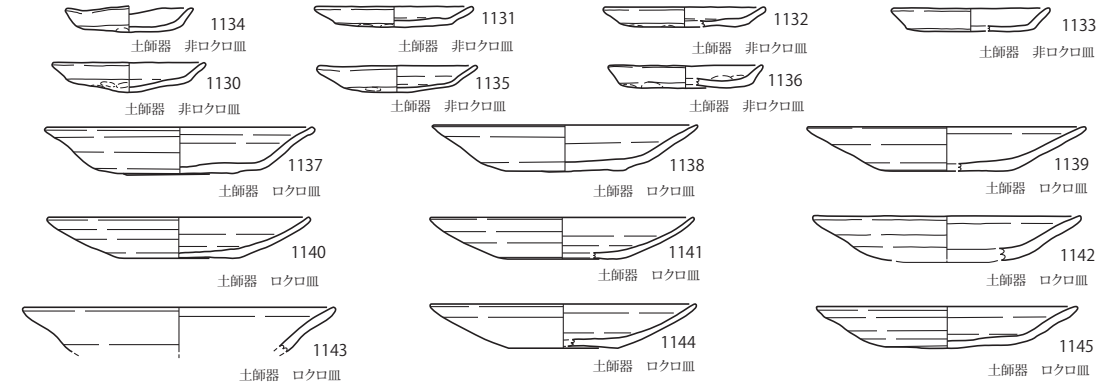


0161SK・0435SK・0436SK・0440SK(6G17f・17g)



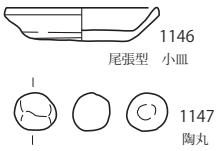
1, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト（炭化物含む）（0161SK）
2, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト（0161SK）
3, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト（土器多量含む）（0161SK）
4, 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト（0161SK）
5, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト（0435SK）
6, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト（炭化物、土器多量含む）（0440SK）
7, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト（0436SK）
8, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物含む）（0436SK）
9, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト（0436SK）
10, 10YR4/4 褐色粘土質シルト（0436SK）

10Da-0435SK



1/4 0 20cm

10Da-0436SK



10Da-0440SK（上層）

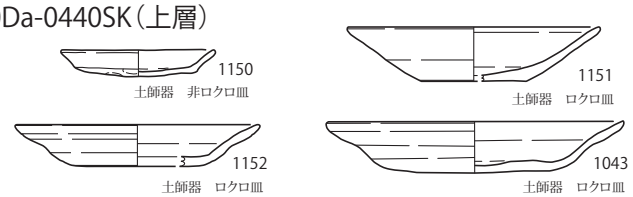


図 2-127 10Da 区 0161・0435・0436・0440SK 遺構図（1:40）・同出土遺物実測図（1:4）

10Da-0161SK

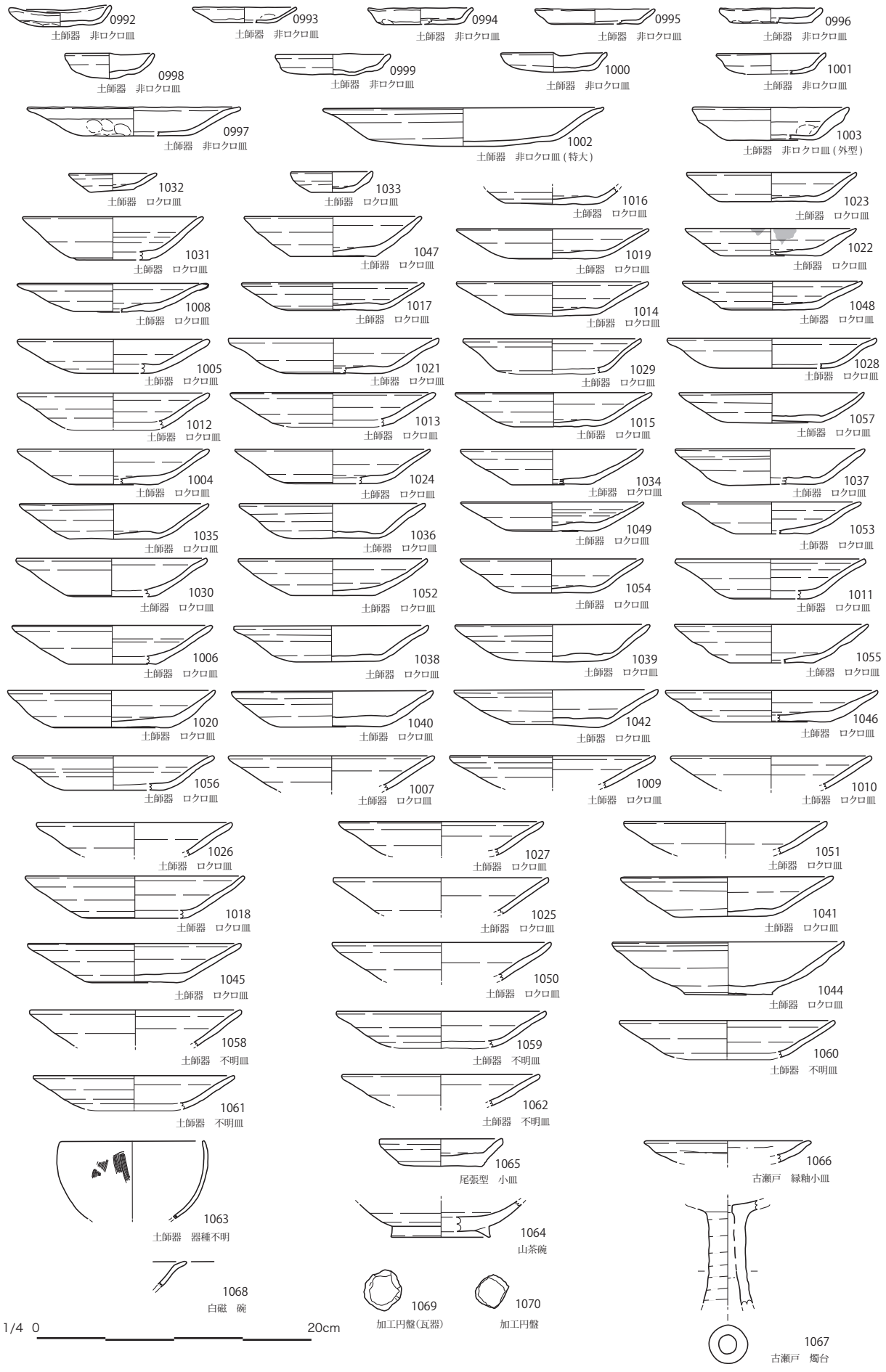


図 2-128 10Da 区 0161SK 出土遺物実測図（1:4）

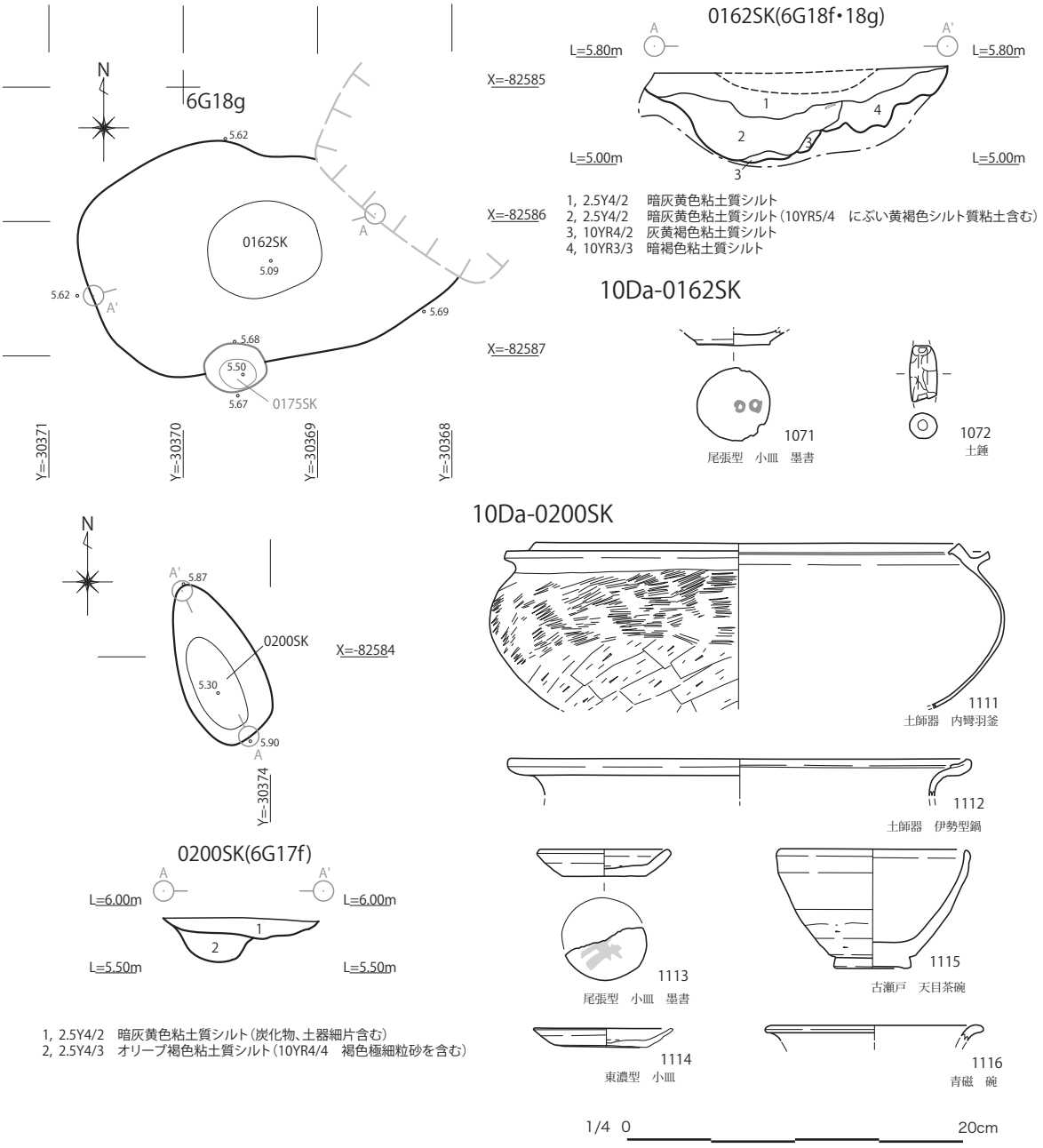
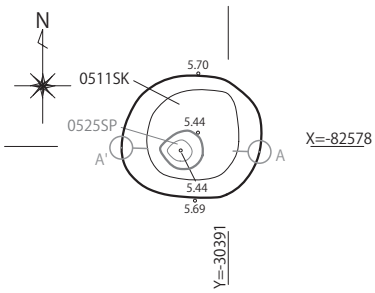
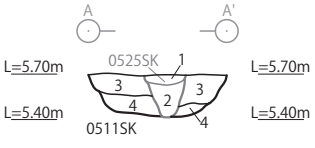


図 2-129　10Da 区 0162・0200SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

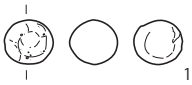


0511SK・0525SK(6G16b)



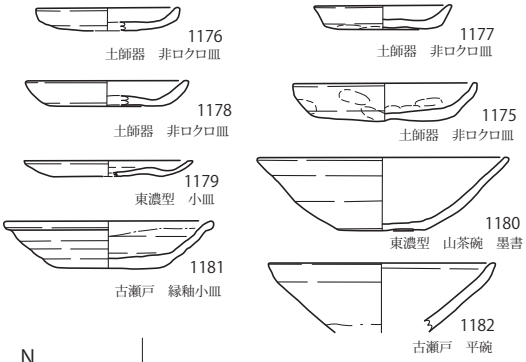
1, 5Y4/3　暗オリーブ色粘土質シルト（0525SP）
2, 5Y4/2　灰オリーブ色粘土質シルト（0525SP）
3, 2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト（0511SK）
4, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト（0511SK）

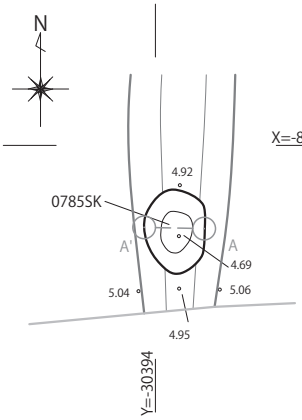
10Da-0511SK



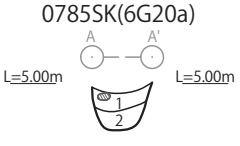
1157
陶丸

10Da-0686SK

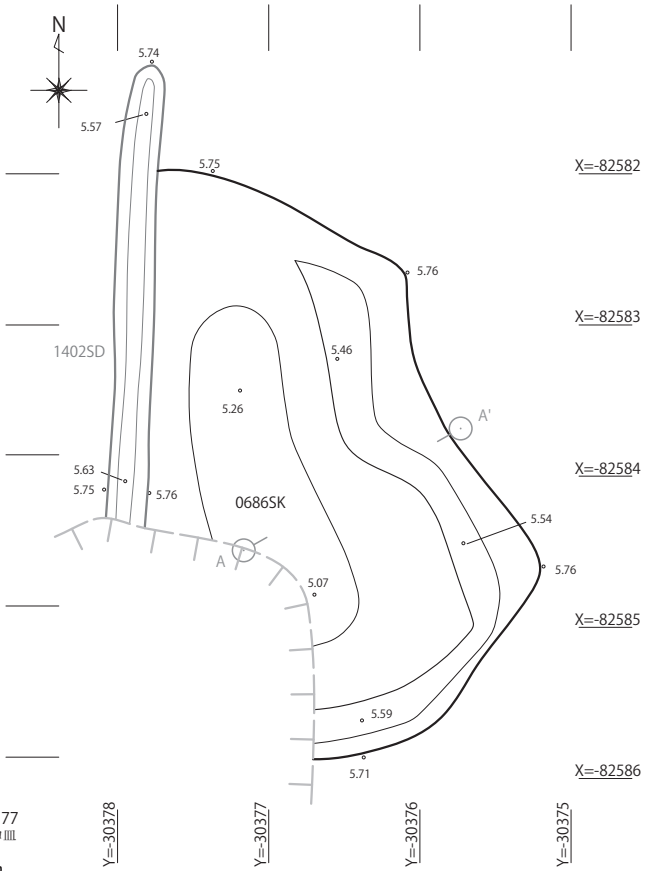




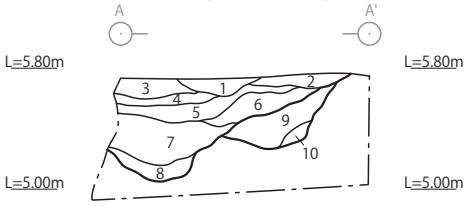
0785SK(6G20a)



1, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト
2, 2.5Y4/2　暗灰黄色シルト質粘土



0686SK(6G17e・18e)



1, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト
2, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト（炭化物、土器細片多量含む）
3, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト
4, 2.5Y4/2　暗灰黄色極細粒砂
5, 2.5Y4/4　オリーブ褐色極細粒砂
6, 2.5Y4/3　オリーブ褐色極細粒砂（炭化物、焼土ブロック含む）
7, 2.5Y4/3　オリーブ褐色極細粒砂
8, 2.5Y4/4　オリーブ褐色極細粒砂
9, 2.5Y4/4　オリーブ褐色極細粒砂
10, 2.5Y4/6　オリーブ褐色細粒砂（2.5Y4/4　オリーブ褐色極細粒砂含む）

10Da-0785SK

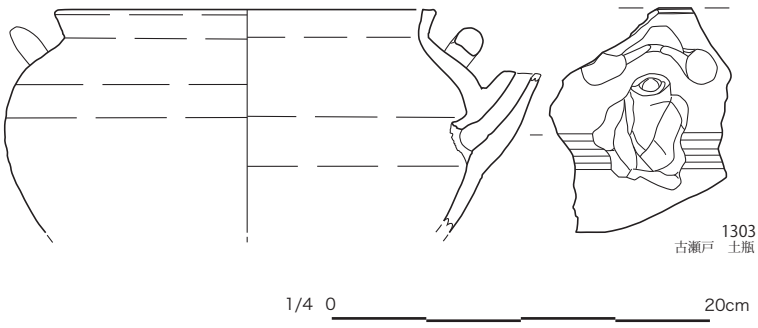


図 2-130　10Da 区 0511・0686・0785SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

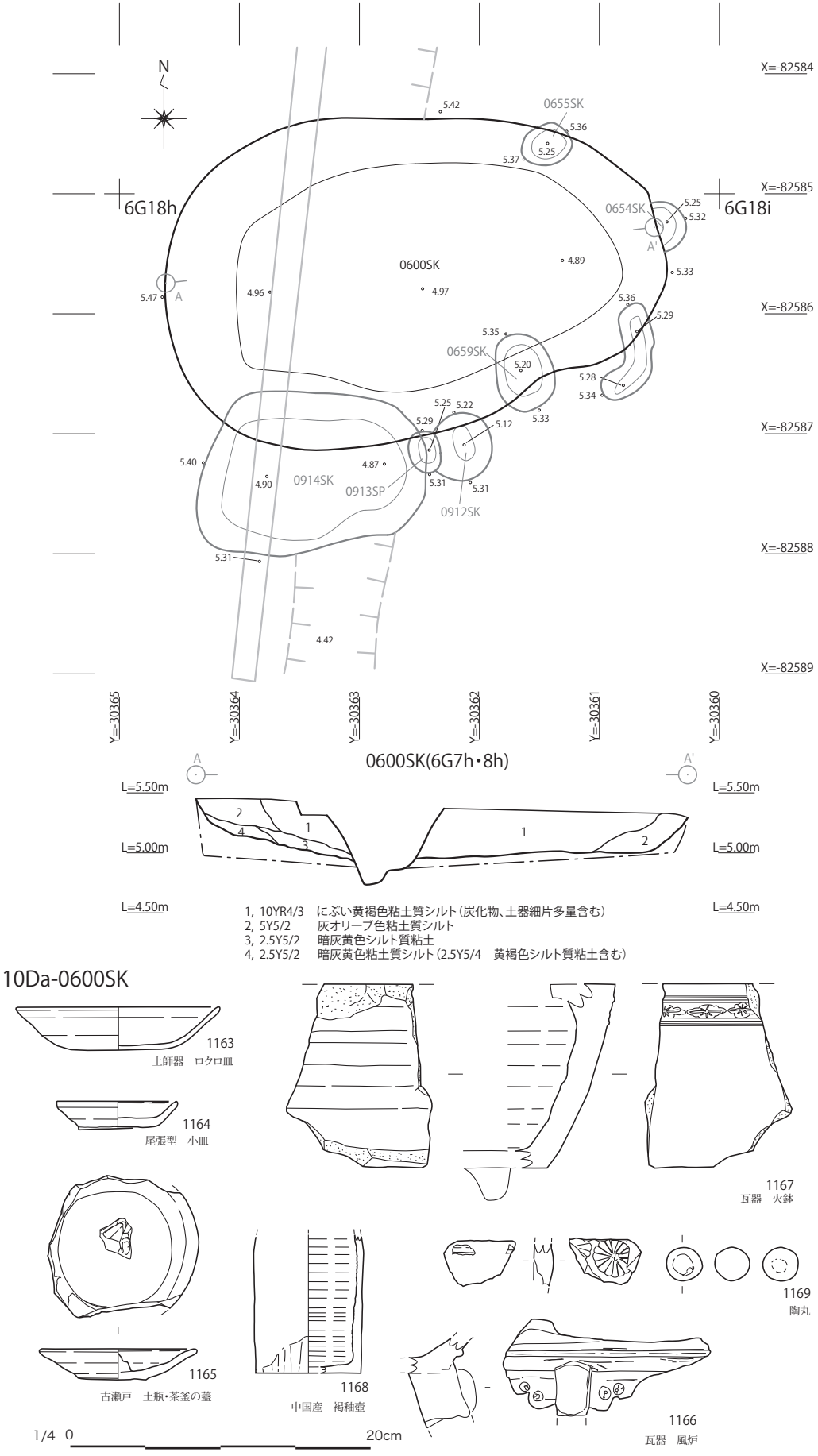
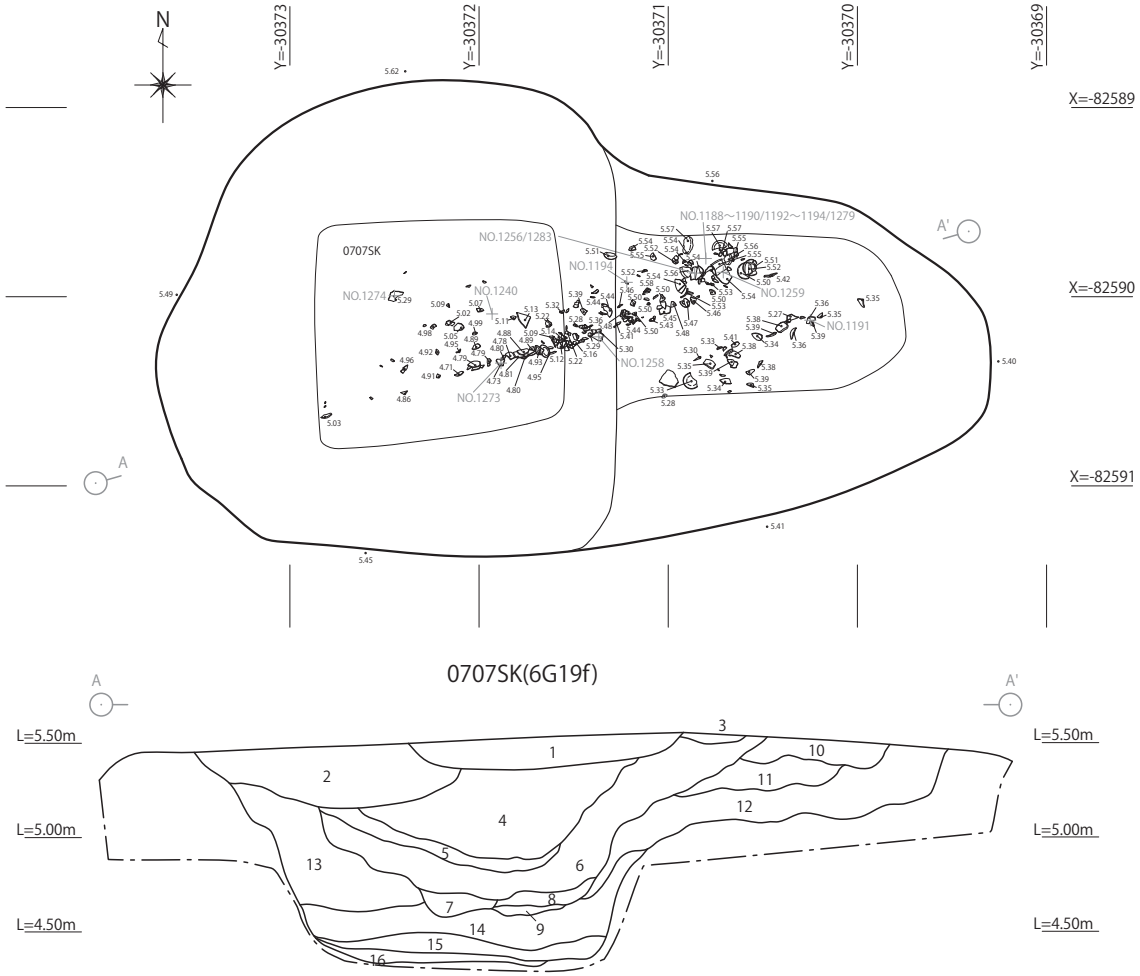


図 2-131 10Da 区 0600SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）



1, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト
2, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト
3, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト
4, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト（炭化物含む）
5, 2.5Y4/2 暗灰黄色極細粒砂（炭化物含む）
6, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト（炭化物多量含む、土師器皿山茶碗多量に出土）
7, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/4黄褐色極細粒砂含む）
8, 2.5Y5/4 オリーブ褐色極細粒砂
9, 2.5Y4/3 オリーブ褐色シルト質粘土
10, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト
11, 2.5Y4/3 オリーブ褐色極細粒砂
12, 2.5Y4/3 オリーブ褐色シルト質粘土（2.5Y4/6オリーブ褐色シルト質粘土含む）
13, 2.5Y5/4 黄褐色極細粒砂（2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト含む）
14, 炭化物、土師器、山茶碗多量に含む層
15, 2.5Y5/4 黄褐色極細粒砂（炭化物含む、2.5Y4/3オリーブ褐色粘土質シルト少量含む）
16, 2.5Y5/4 黄褐色極細粒砂

図 2-132　10Da 区 0707SK 遺構図（1:40）

はなく、20m 前後の長さの溝を連ねるように掘削されている。この 3 本の溝を切るように多数の溝が重なってくるために、掘削時期を決定するのは困難だが、遅くとも 15 世紀第 2 四半期には存在したものと考えられる（表 2-14）。

この 1440SD-A・1440SD-B・1530SD に次いで掘削されたのが 1550（図 2-117）・1840SD で、1109（図 2-164-1453）・1450SD → 1441・1540（図 2-115）・1720SD（図 2-118・119）→ 1430（図 2-115）・1710SD（図 2-119）→ 1250SD（図 2-107 ～ 115）と続く。このうち 1250SD の出土遺物にも大窯期まで下がるものはなく、古瀬戸後Ⅳ期新段階（15 世紀第 3 ～第 4 四半期）に収まる。すなわち、1550・1840SD から最後の 1250SD までは、ほぼ半世紀の間でめまぐるしく溝の掘削が繰り返されたこととなる。

このように 10Da 区南端で執拗に大溝の掘削が繰り返されたのは、この大溝群の南側に小字名か

10Da-0707SK-1

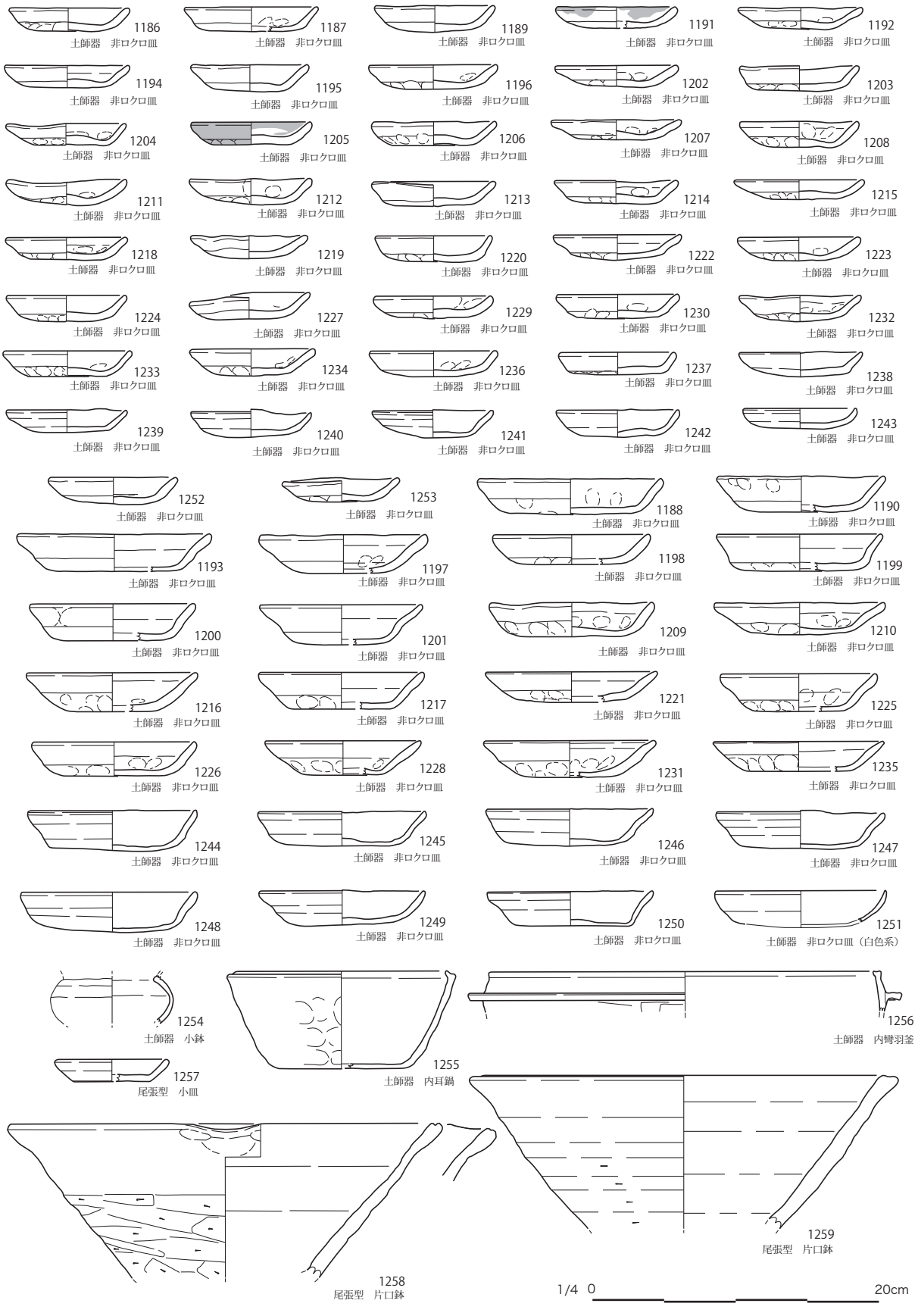


図 2-133　10Da 区 0707SK 出土遺物実測図 -1（1:4）

10Da-0707SK-2

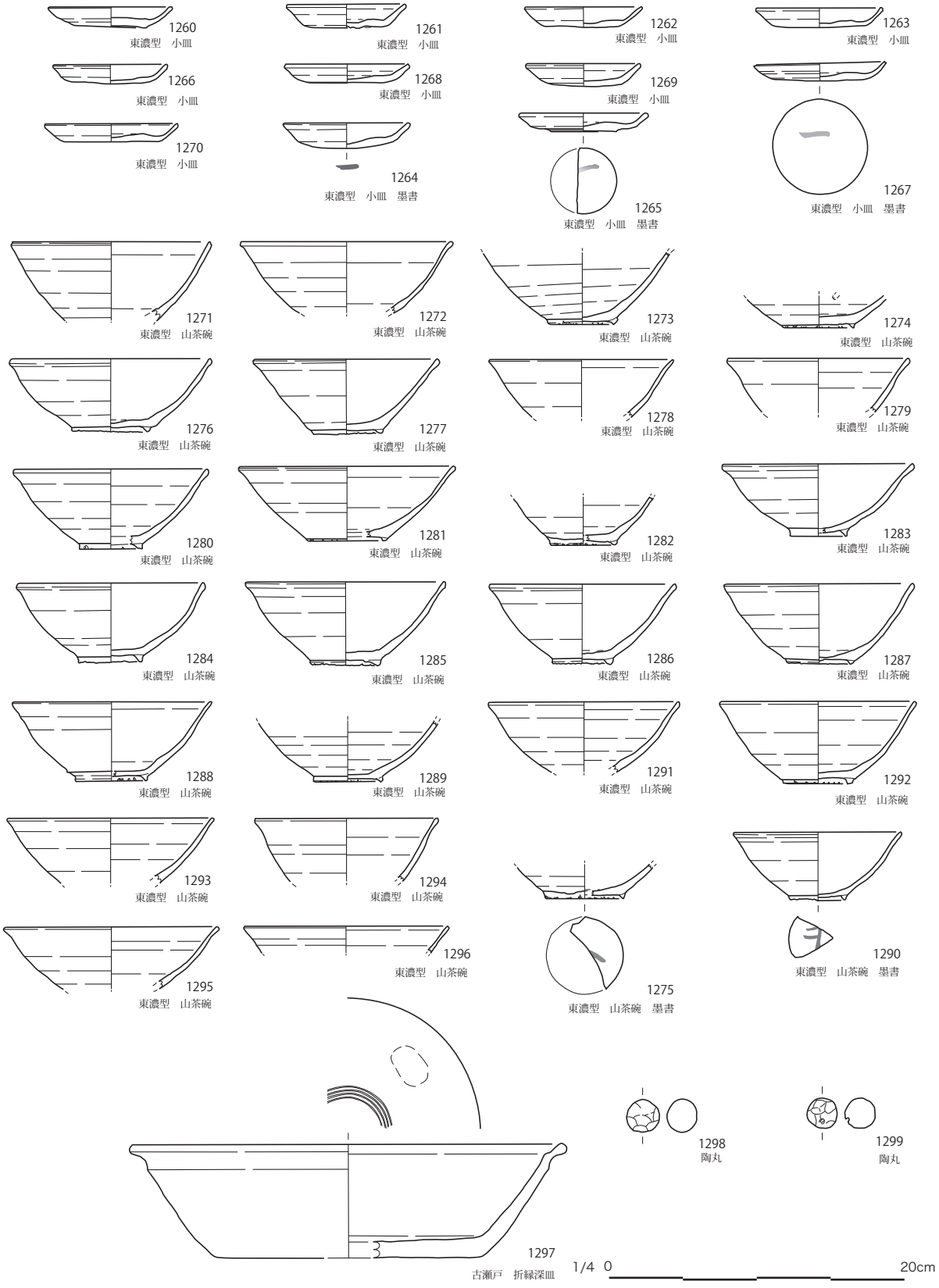
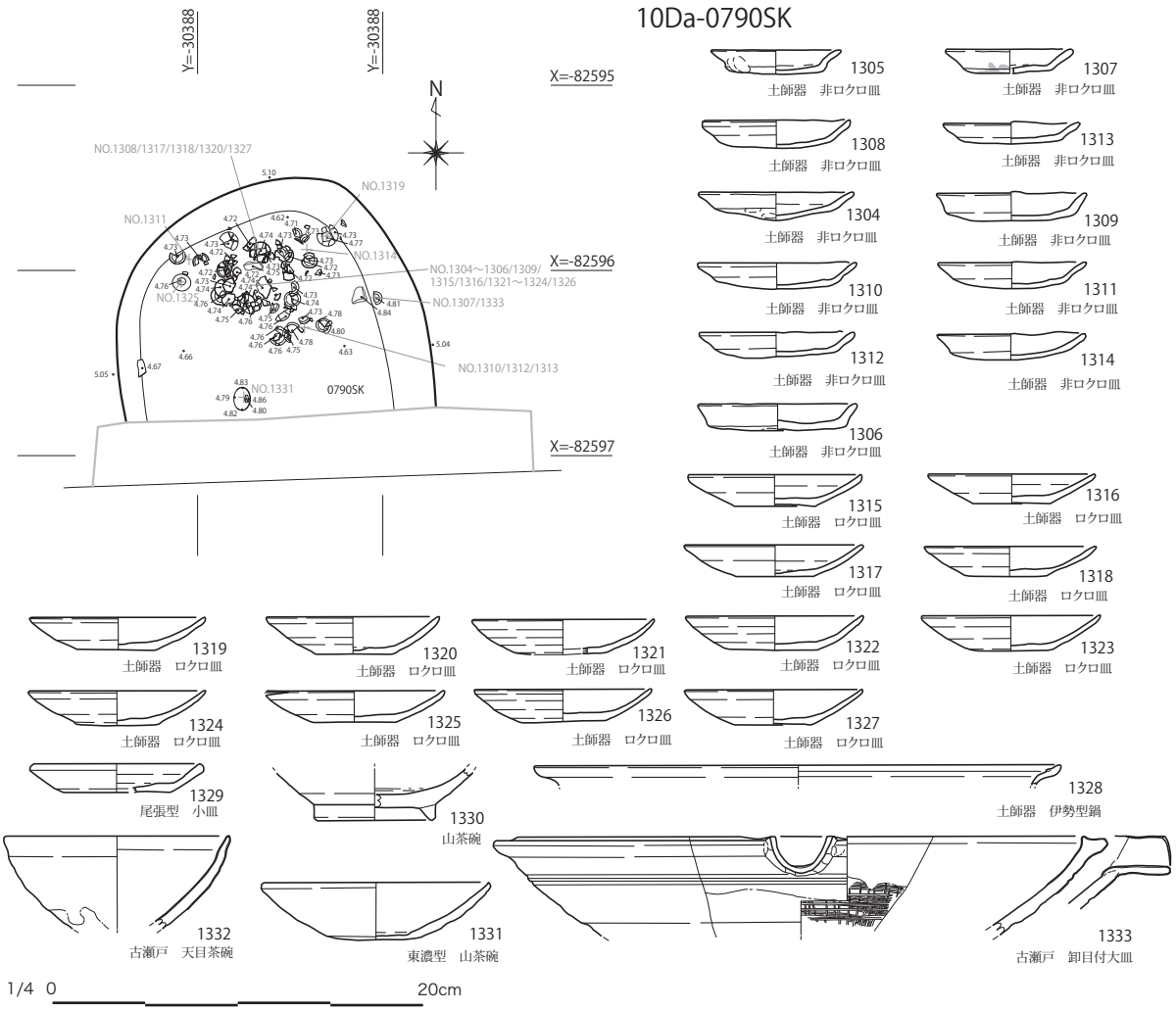


図 2-134　10Da 区 0707SK 出土遺物実測図 -2（1:4）



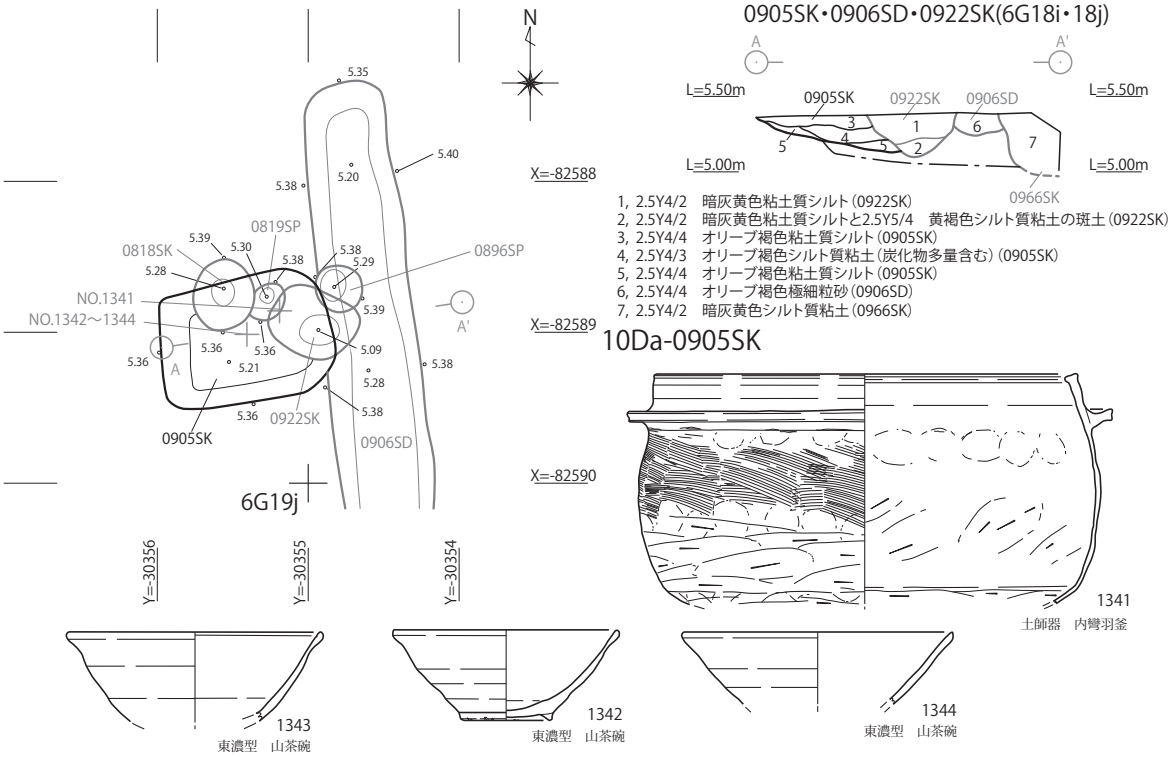
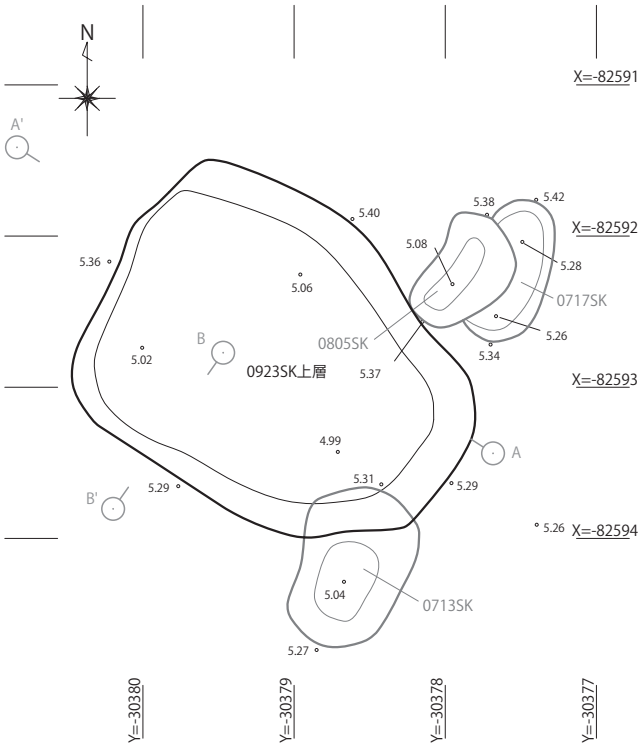
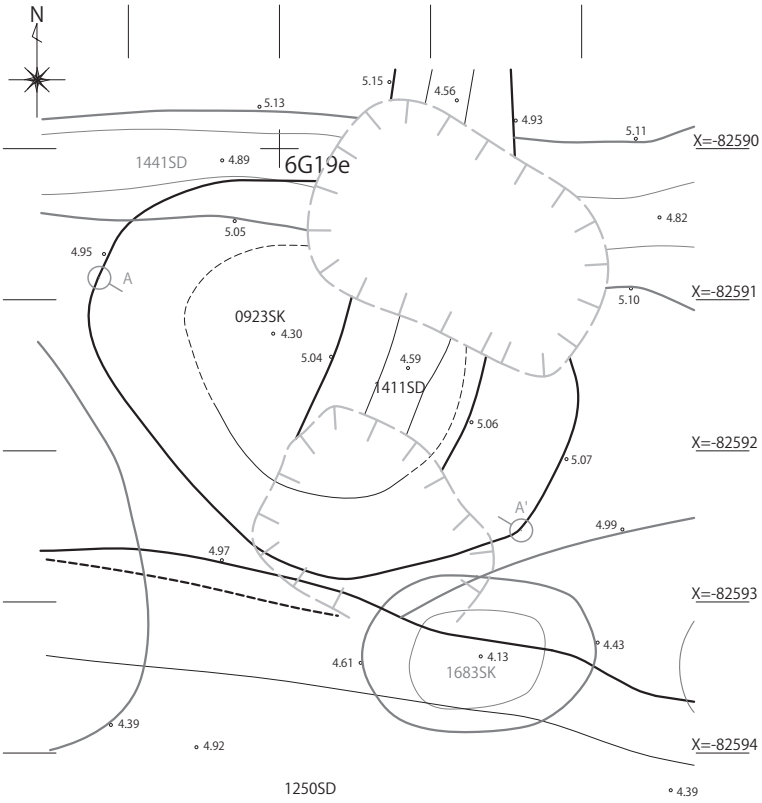
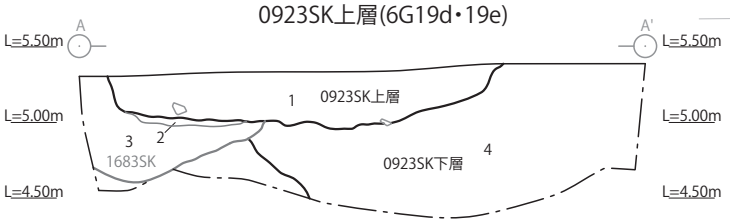


図 2-135　10Da 区 0790・0905SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）



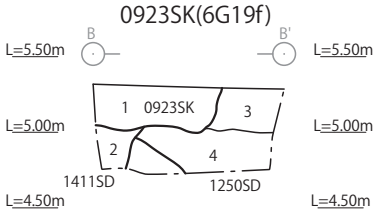


0923SK上層(6G19d・19e)



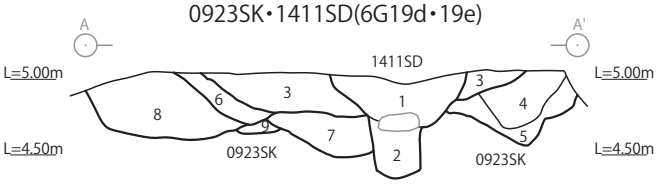
1, 2.5Y3/2　黒褐色極細粒砂(炭化物含む)
2, 5Y4/3　暗オリーブ色細粒砂(2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト含む)
3, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト
4, 記録無し

0923SK(6G19f)



1, 2.5Y3/2　黒褐色極細粒砂(炭化物含む)
2, 10YR4/4　褐色極細粒砂(炭化物含む)
3, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト
4, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト

0923SK・1411SD(6G19d・19e)



1,　10YR4/4　褐色極細粒砂(炭化物含む)
2,　2.5Y4/4　オリーブ褐色極細粒砂
3,　10YR4/4　褐色粘土質シルト
4,　2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト
5,　2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y5/6　黄褐色細粒砂含む)
6,　2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト
7,　2.5Y4/4　オリーブ褐色極細粒砂
8,　2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト
9,　2.5Y5/6　黄褐色細粒砂(2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト含む)

10Da-0923SK　　10Da-0923SK南トレンチ　　10aD-1411SD

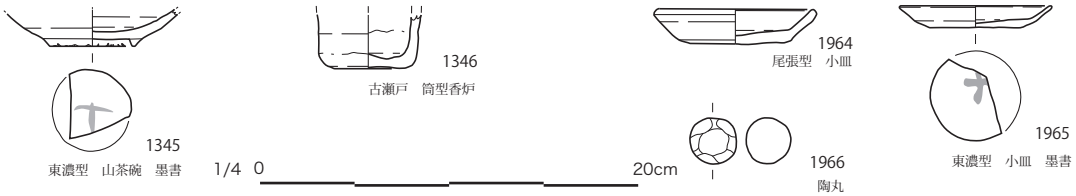


図 2-136　10Da 区 0923SK・1411SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

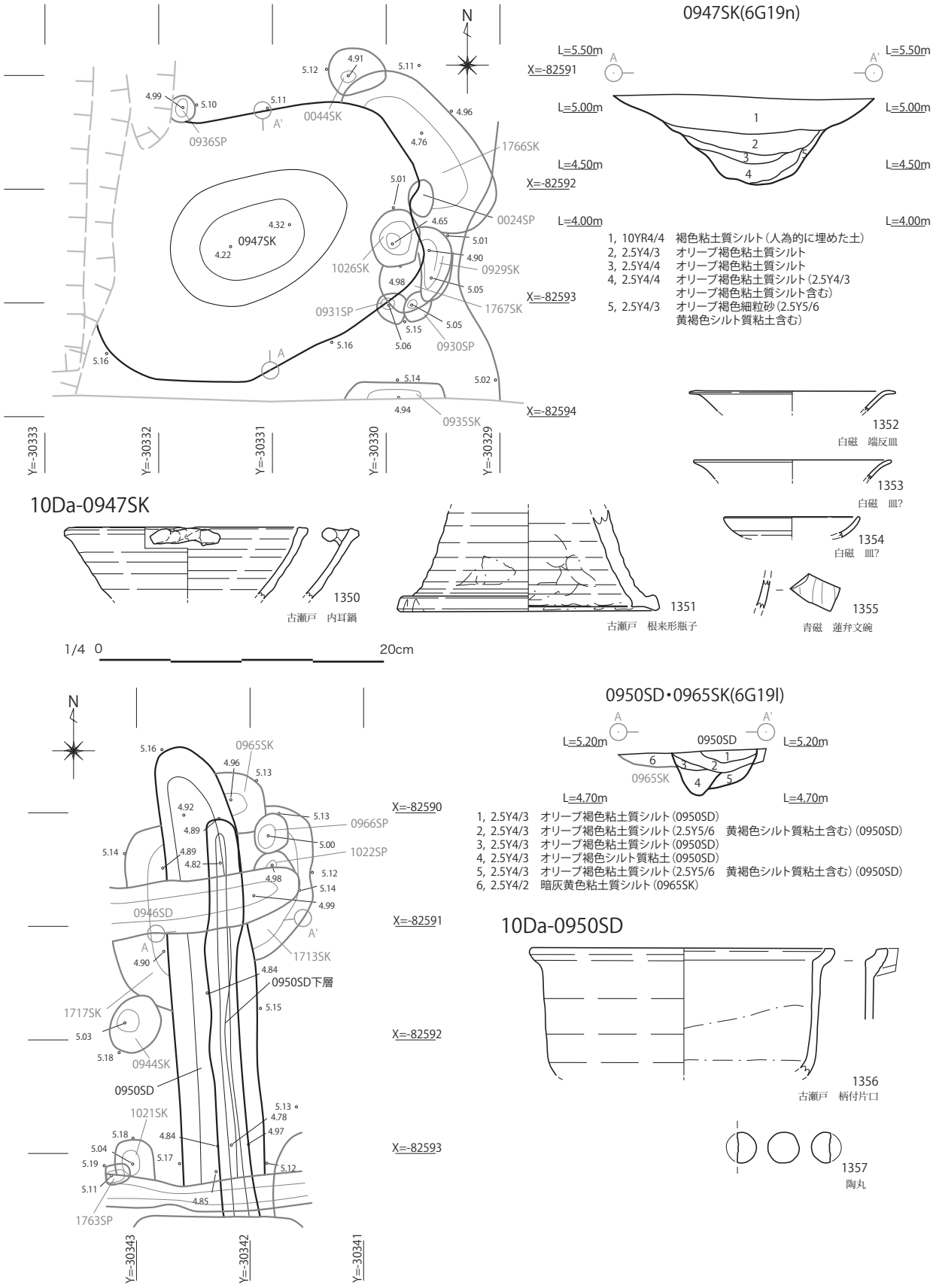
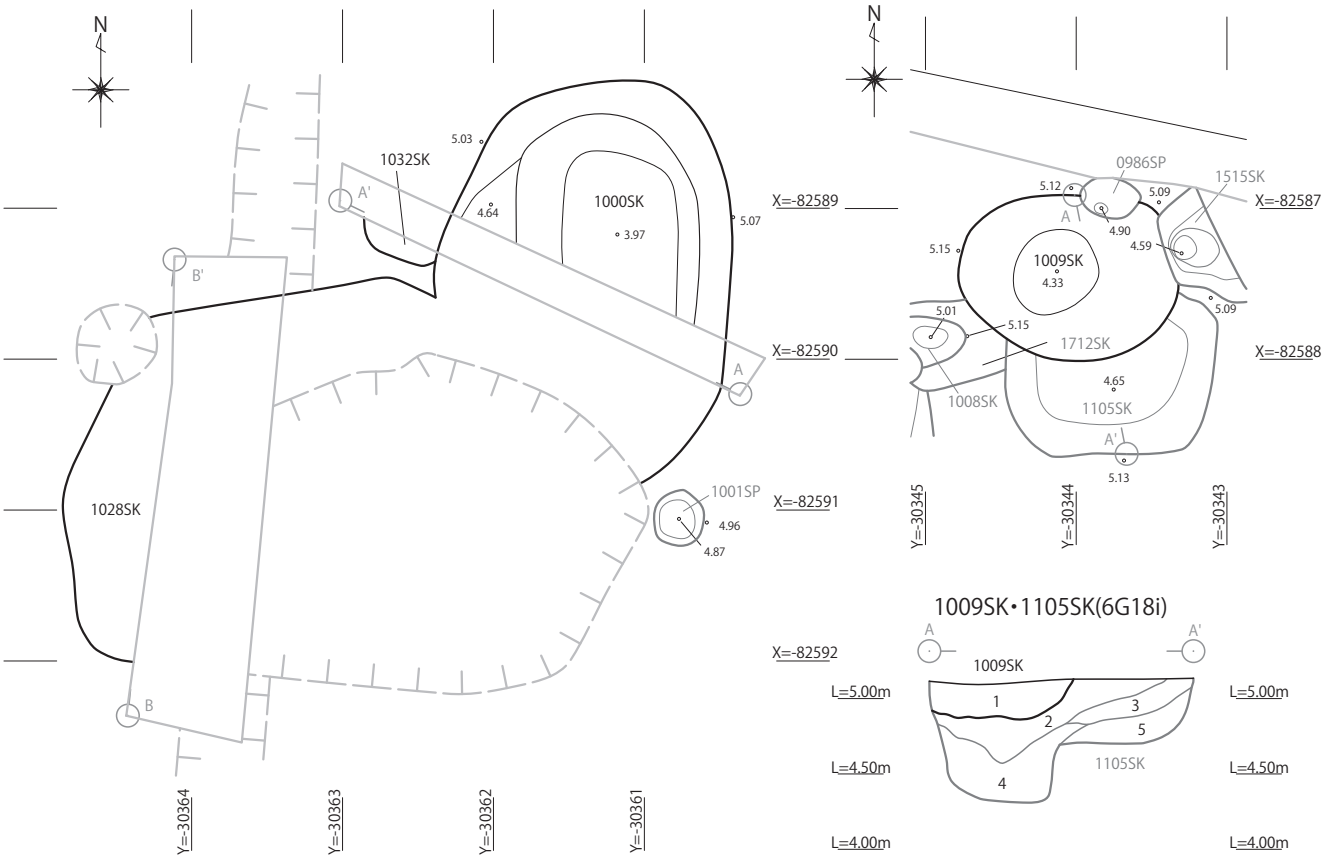


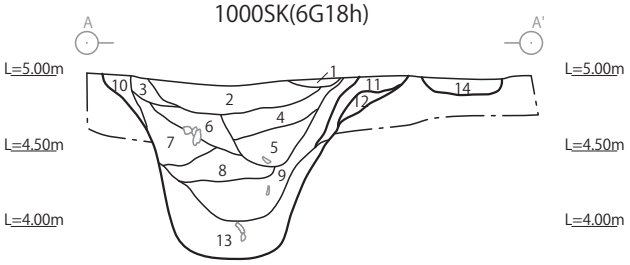
図 2-137　10Da 区 0947SK・0950SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）



1009SK・1105SK(6G18i)

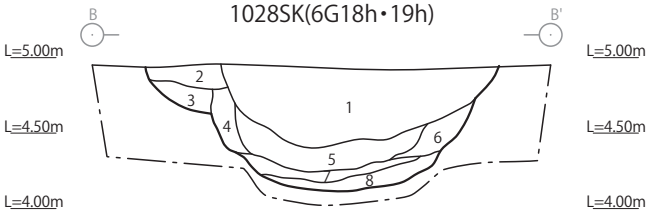
1, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト(1009SK)
2, 5Y4/2 灰オリーブ色粘土質シルト(2.5Y5/6黄褐色シルト質粘土ブロック多量含む)(1105SK)
3, 5Y4/2 灰オリーブ色粘土質シルト(1105SK)
4, 5Y4/2 灰オリーブ色シルト質粘土(1105SK)
5, 5Y4/2 灰オリーブ色粘土質シルト(1105SK)

1000SK(6G18h)



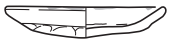
1, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト
2, 10YR4/4 褐色粘土質シルト
3, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト
4, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト(炭化物含む)
5, 2.5Y4/2 暗灰黄色極細粒砂(5Y7/1灰白色細粒砂多量含む)
6, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト(炭化物含む)
7, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト(炭化物含む)
8, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト(炭化物含む)
9, 2.5Y4/2 暗灰黄色シルト質粘土(炭化物含む)
10, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト(10YR4/4 褐色粘土質シルト含む)
11, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト(10YR4/4 褐色粘土質シルト含む)
12, 2.5Y4/2 暗灰黄色極細粒砂(2.5Y5/6 黄褐色シルト質粘土含む)
13, 5Y4/2 灰オリーブ褐色シルト質粘土

1028SK(6G18h・19h)



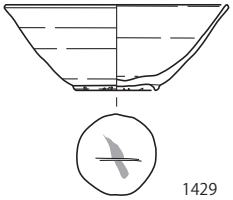
1, 2.5Y4/3 オリーブ褐色シルト質粘土
2, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト
3, 2.5Y4/3 褐色粘土質シルト(2.5Y5/6 黄褐色シルト質粘土含む)
4, 5Y4/2 灰オリーブ色粘土質シルト
5, 5Y4/2 灰オリーブ色粘土質シルト(2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト含む)
6, 5Y4/2 灰オリーブ色粘土質シルト(2.5Y5/6 黄褐色シルト質粘土含む)
7, 2.5Y4/2 暗灰黄色シルト質粘土
8, 2.5Y4/2 暗灰黄色シルト質粘土(2.5Y5/6 黄褐色シルト質粘土含む)

10Da-1009SK



1428
土師器 非ロクロ皿

10Da-1028SK

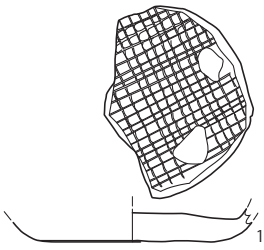


1429
東濃型 山茶碗 墨書

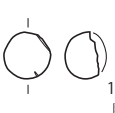


1430
土錘

10Da-1032SK



1432
古瀬戸 卸皿



1433
陶丸

1/4 0 20cm

図 2-138 10Da 区 1000・1009・1028・1032SK 遺構図(1:50)・同出土遺物実測図(1:4)

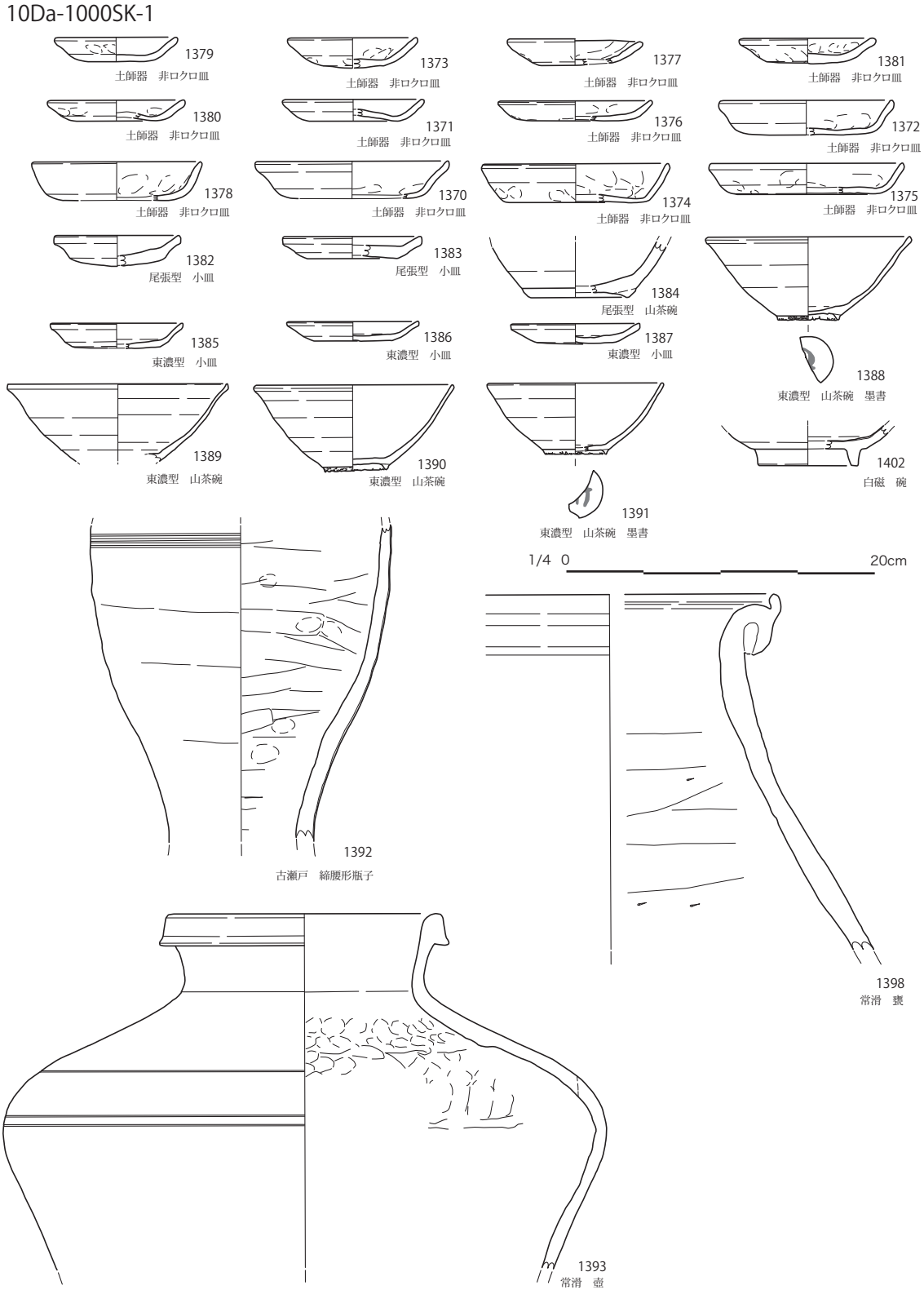


図 2-139　10Da 区 1000SK 出土遺物実測図 -1（1:4）

10Da-1000SK-2

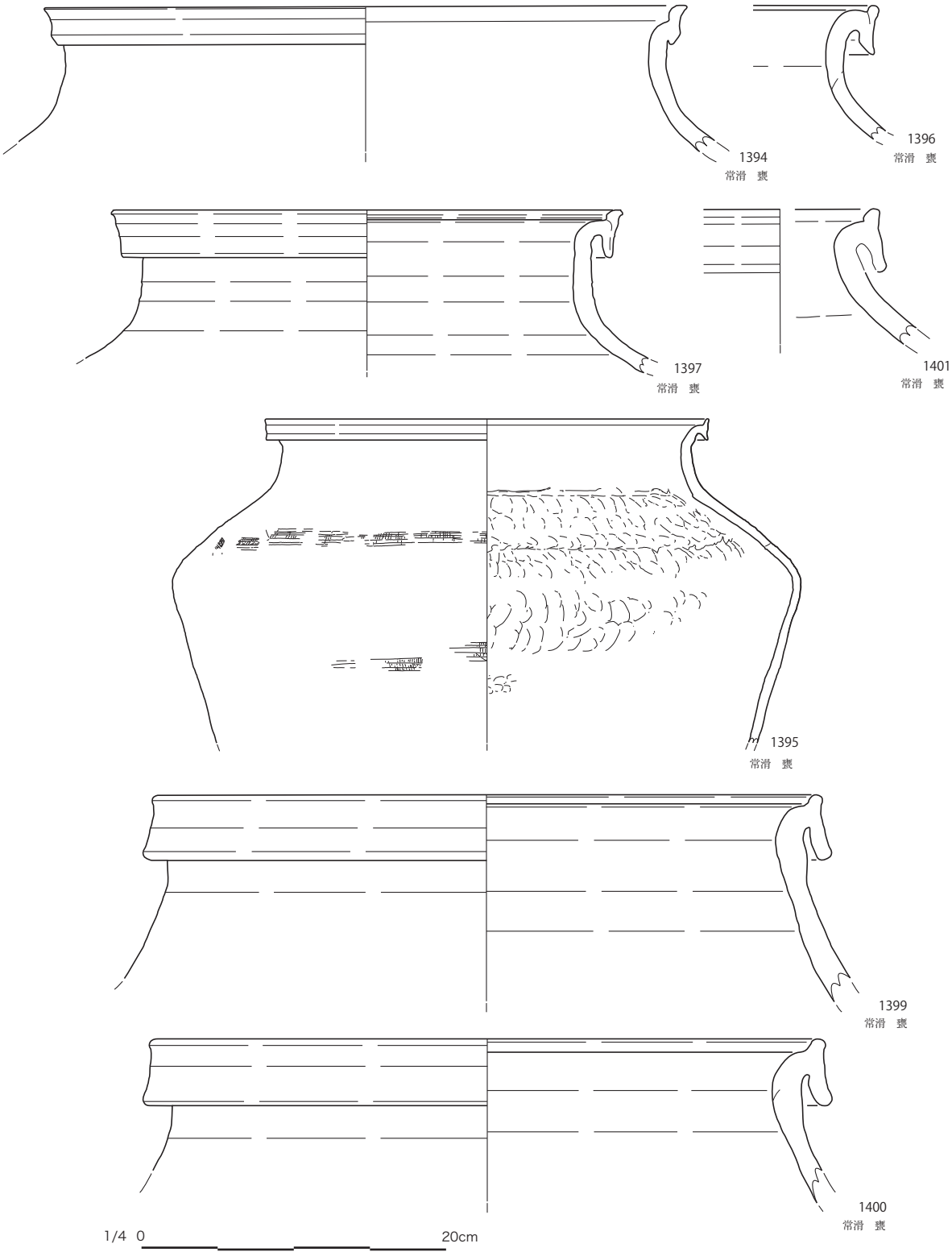


図 2-140　10Da 区 1000SK 出土遺物実測図 -2（1:4）

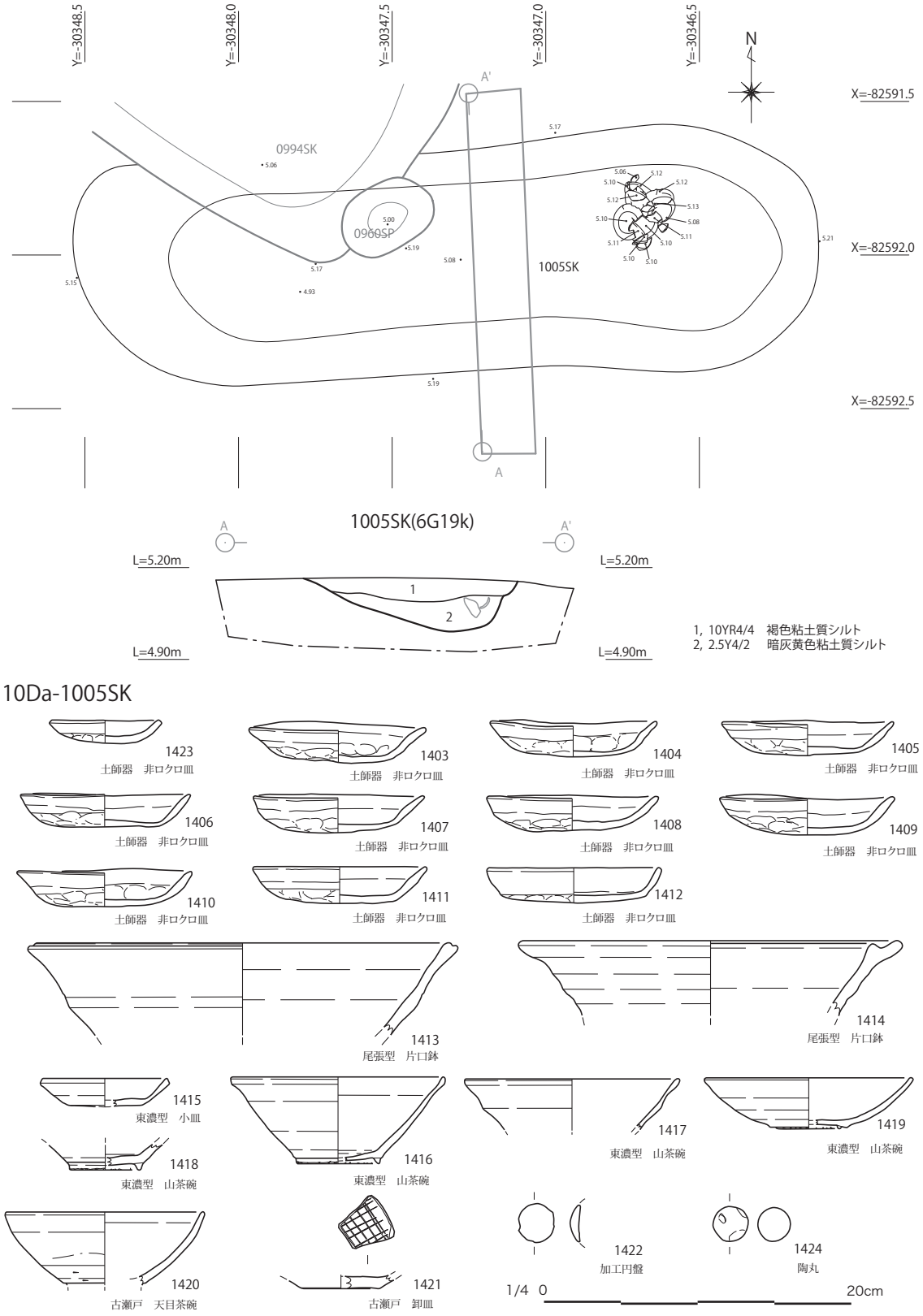
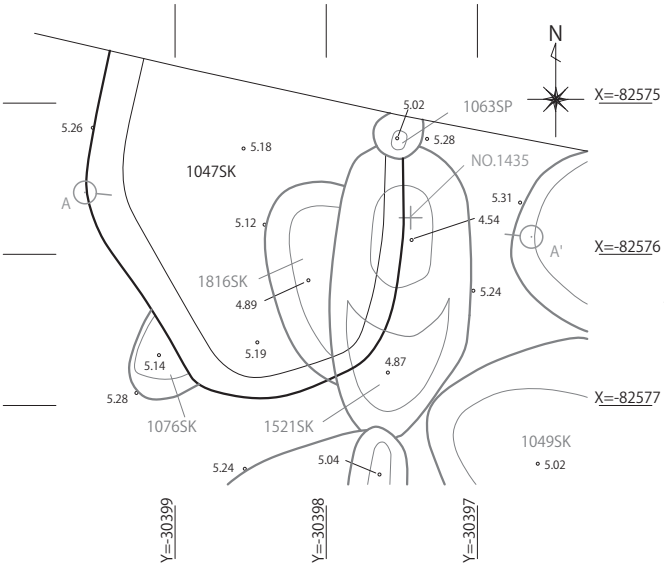
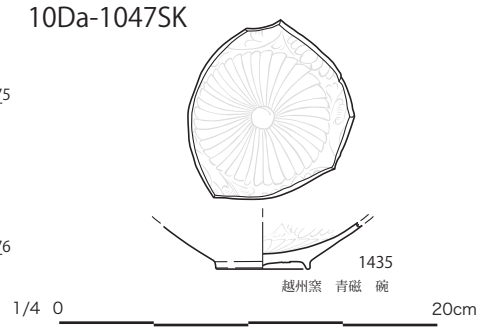


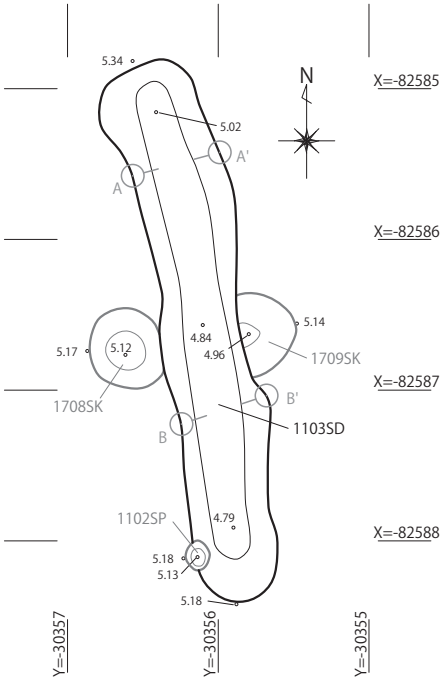
図 2-141　10Da 区 1005SK 遺構図（1:20）・同出土遺物実測図（1:4）

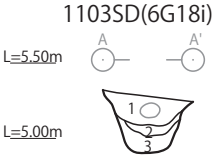




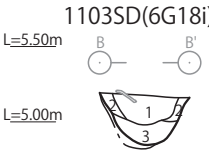


1, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト（1521SK）
2, 2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト（1816SK）
3, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト（1521SK）
4, 5Y4/3　暗オリーブ色極細粒砂（1521SK）
5, 2.5Y4/6　オリーブ褐色粘土質シルト（1047SK）

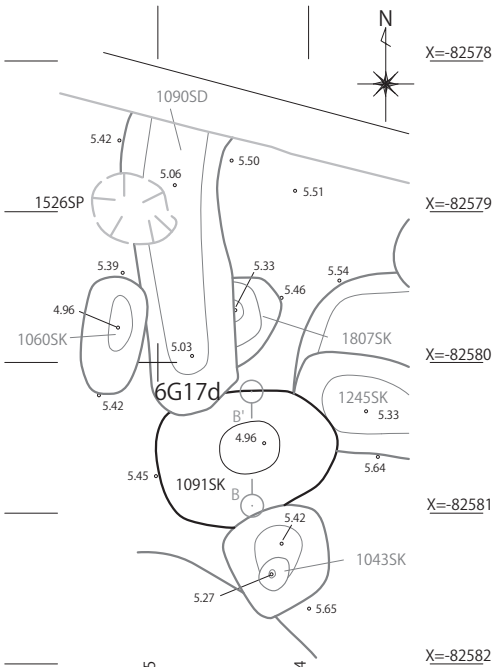


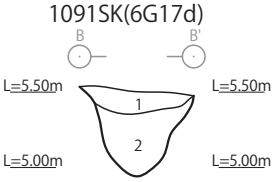


1, 2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト
2, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（2.5Y5/4　黄褐色シルト質粘土、炭化物含む）
3, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（炭化物含む）



1, 2.5Y4/4　オリーブ褐色粘土質シルト
2, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（2.5Y5/4　黄褐色シルト質粘土、炭化物含む）
3, 2.5Y4/2　暗灰黄色粘土質シルト（炭化物含む）





1, 2.5Y4/3　暗灰黄色粘土質シルト
2, 2.5Y4/3　暗灰黄色極細粒砂

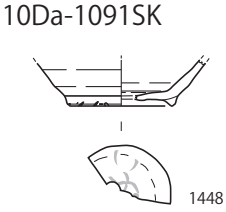


図 2-142　10Da 区 1047・1091SK/1103SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

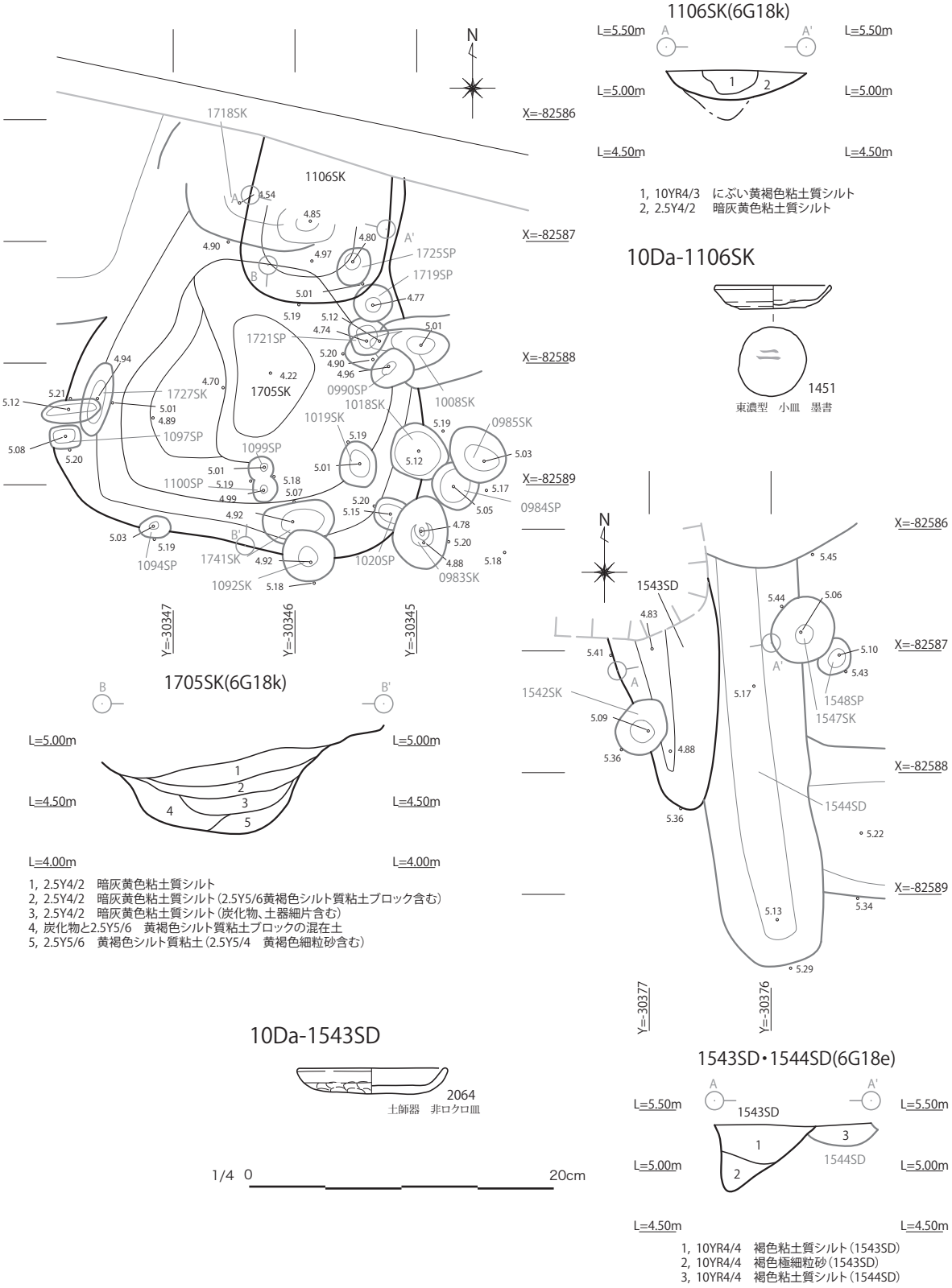


図 2-143　10Da 区 1106・1705SK/1543SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

10Da-1705SK-1

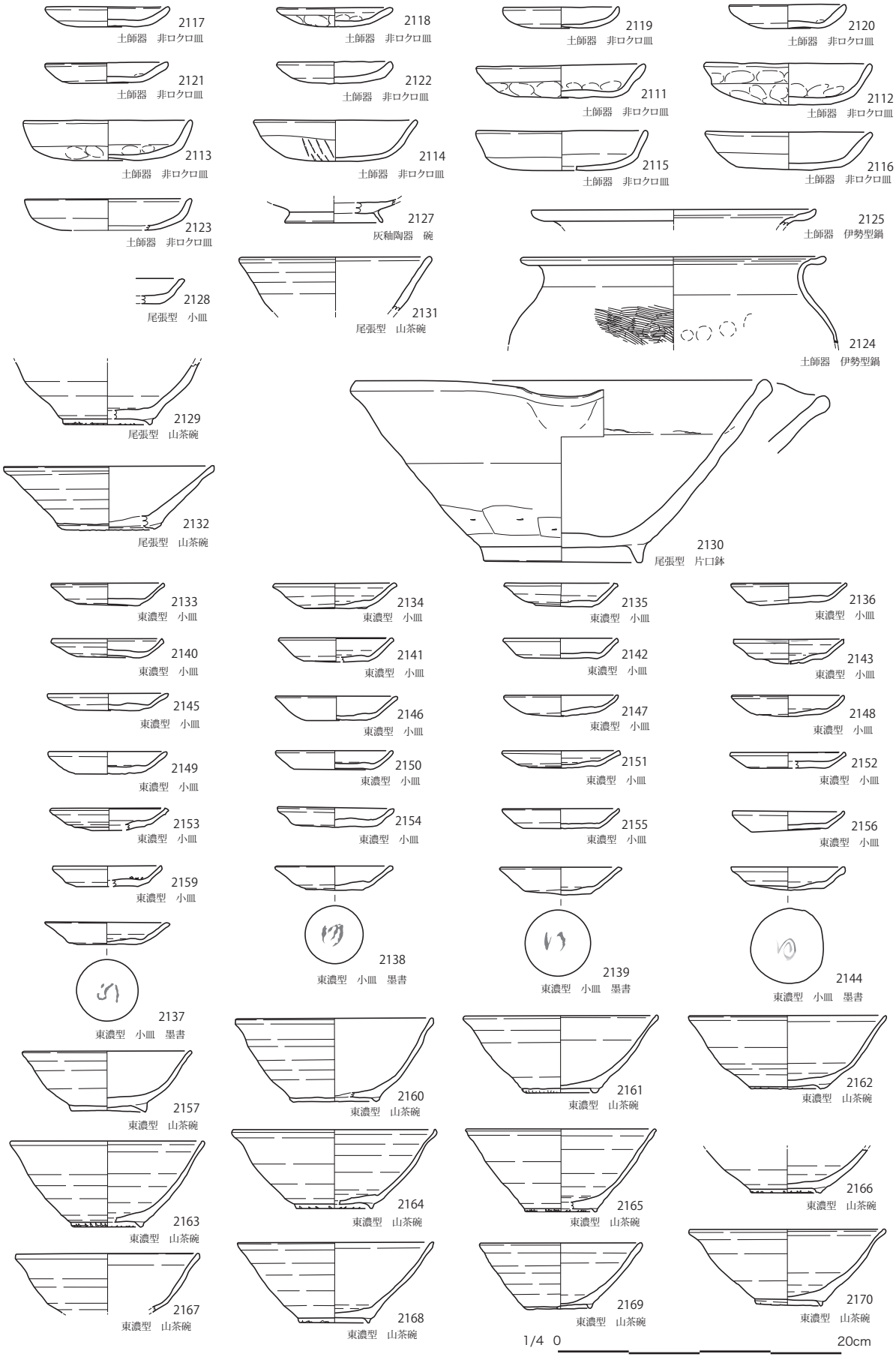


図 2-144　10Da 区 1705SK 出土遺物実測図 -1（1:4）

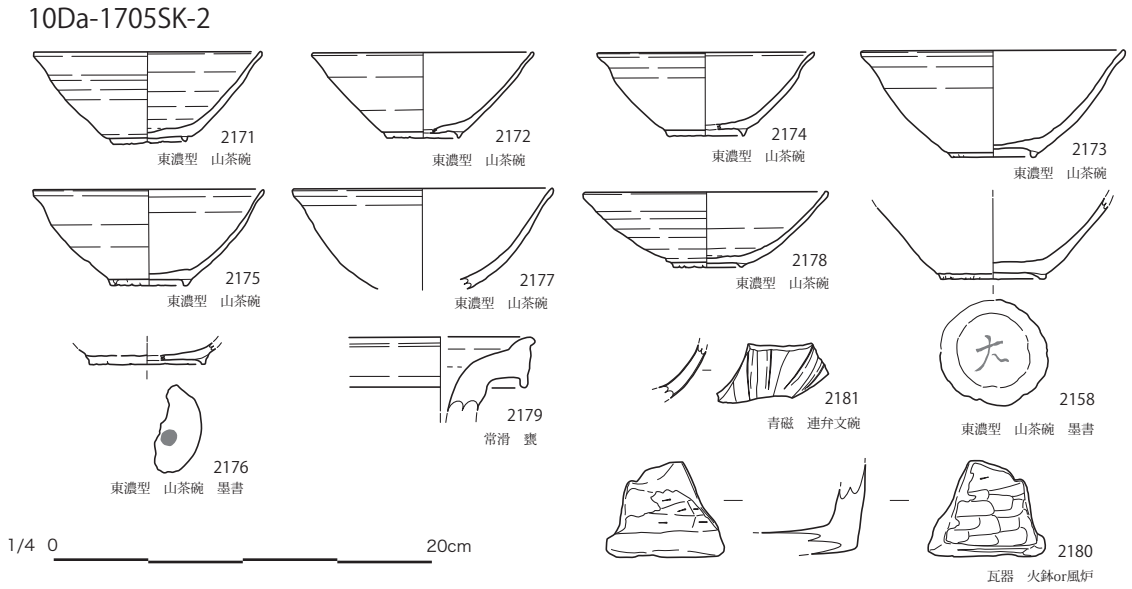


図 2-145　10Da 区 1705SK 出土遺物実測図 -2（1:4）

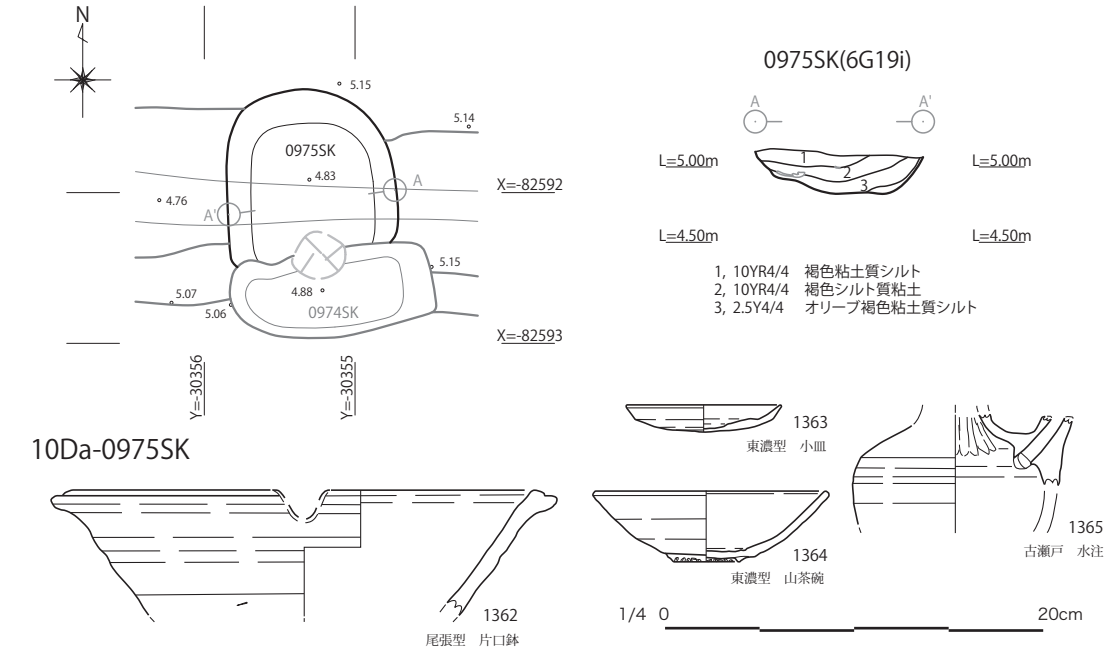
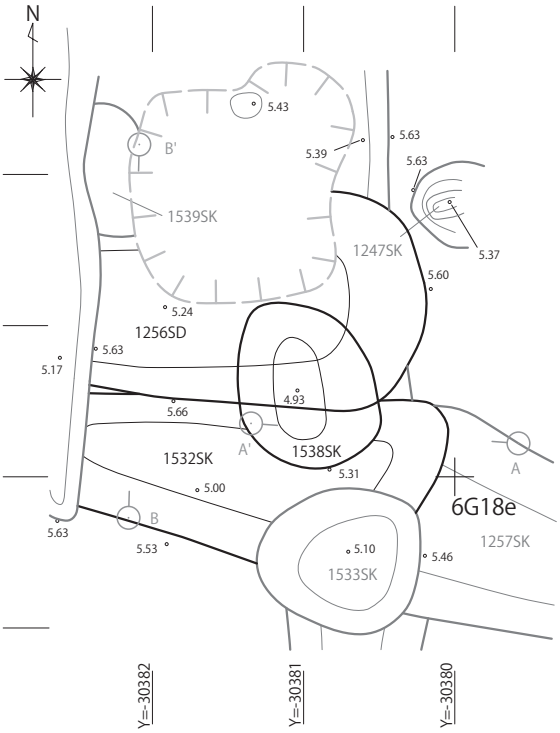
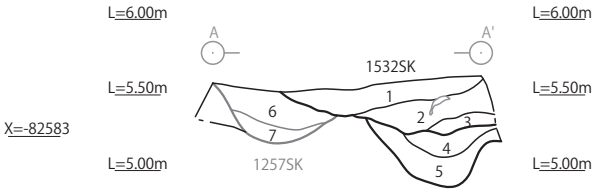
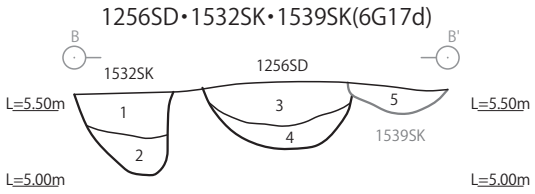


図 2-146　10Da 区 0975SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）



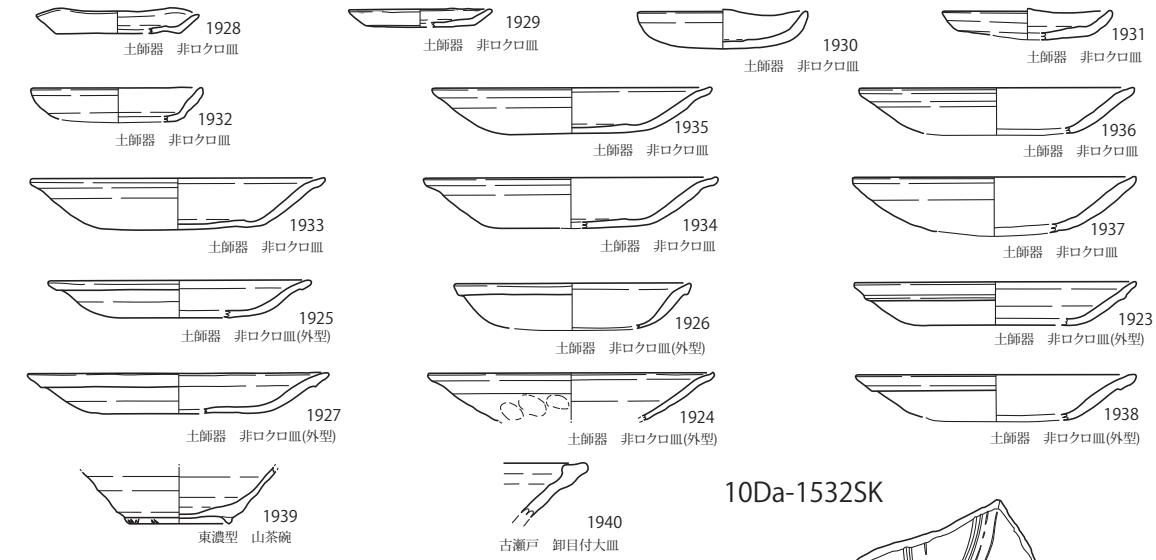


1, 10YR4/4 褐色粘土質シルト(1532SK)
2, 10YR4/4 褐色極細粒砂(1532SK)
3, 10YR4/4 褐色極細粒砂(2.5Y5/6 黄褐色細粒砂含む)(1532SK)
4, 5Y4/2 灰オリーブ色粘土質シルト(1538SK)
5, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト(2.5Y5/6 黄褐色細粒砂含む)(1538SK)
6, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト(1257SK)
7, 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土質シルト(2.5Y5/6 黄褐色細粒砂含む)(1257SK)

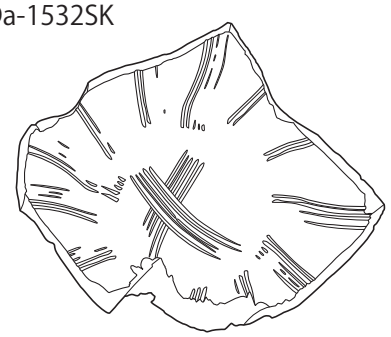


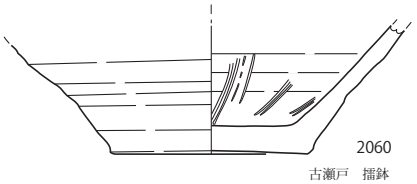
1, 10YR4/4 褐色極細粒砂(1532SK)
2, 10YR4/4 褐色極細粒砂(2.5Y5/4 黄褐色細粒砂含む)(1532SK)
3, 10YR4/4 褐色極細粒砂(1256SD)
4, 10YR4/4 褐色極細粒砂(2.5Y5/4 黄褐色細粒砂含む)(1256SD)
5, 10YR4/4 褐色極細粒砂(1539SK)

10Da-1256SD



10Da-1532SK





10Da-1538SK

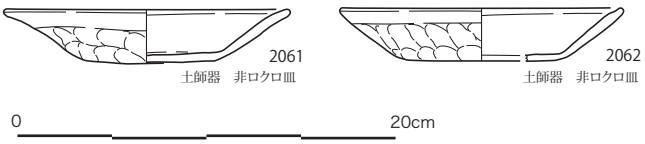
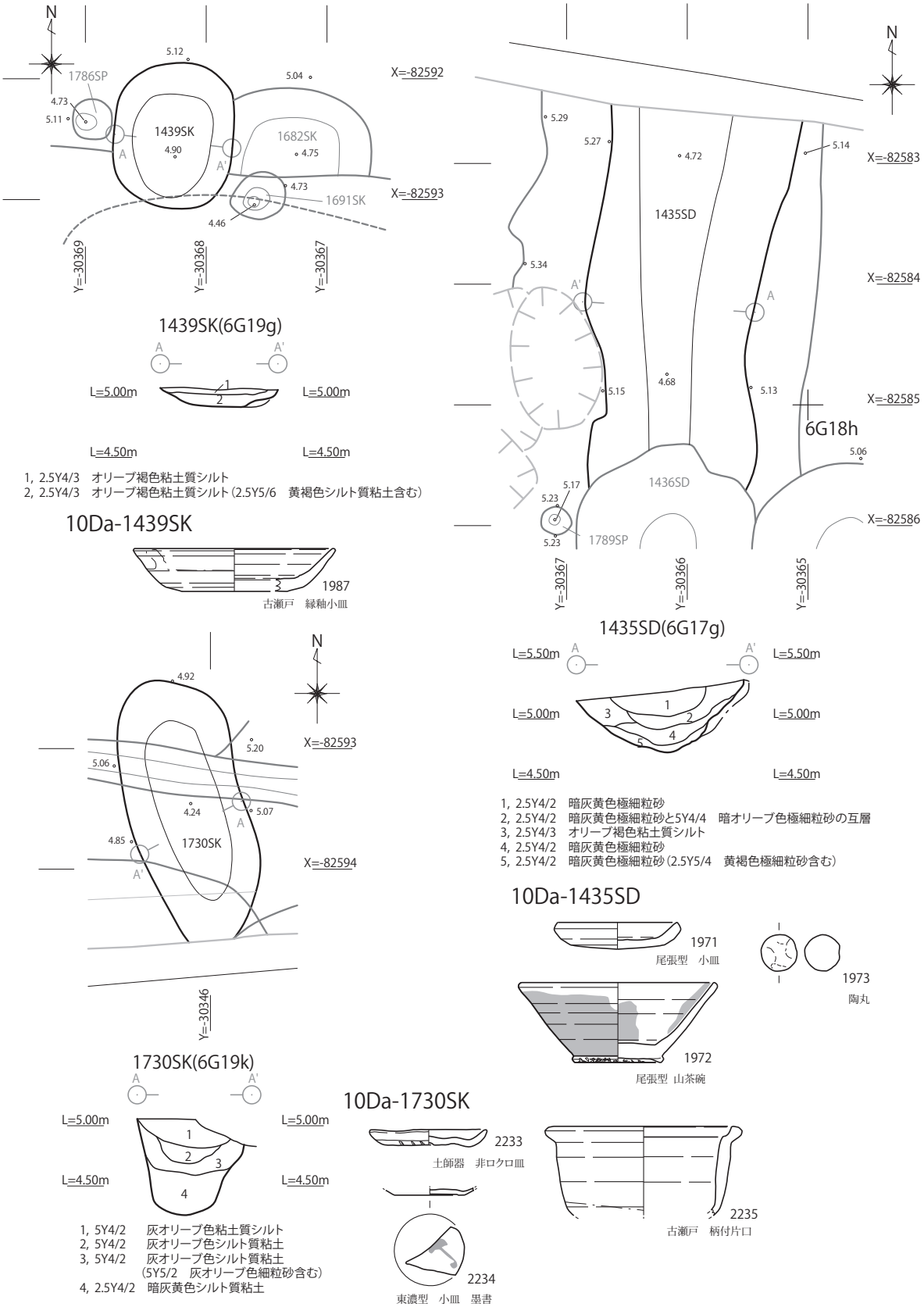


図 2-147 10Da 区 1256SD/1532・1538SK 遺構図(1:50)・同出土遺物実測図(1:4)



1, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト
2, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト（2.5Y5/6　黄褐色シルト質粘土含む）

1, 2.5Y4/2　暗灰黄色極細粒砂
2, 2.5Y4/2　暗灰黄色極細粒砂と5Y4/4　暗オリーブ色極細粒砂の互層
3, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト
4, 2.5Y4/2　暗灰黄色極細粒砂
5, 2.5Y4/2　暗灰黄色極細粒砂（2.5Y5/4　黄褐色極細粒砂含む）

1, 5Y4/2　灰オリーブ色粘土質シルト
2, 5Y4/2　灰オリーブ色シルト質粘土
3, 5Y4/2　灰オリーブ色シルト質粘土
（5Y5/2　灰オリーブ色細粒砂含む）
4, 2.5Y4/2　暗灰黄色シルト質粘土

図 2-148　10Da 区 1435SD・1730SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

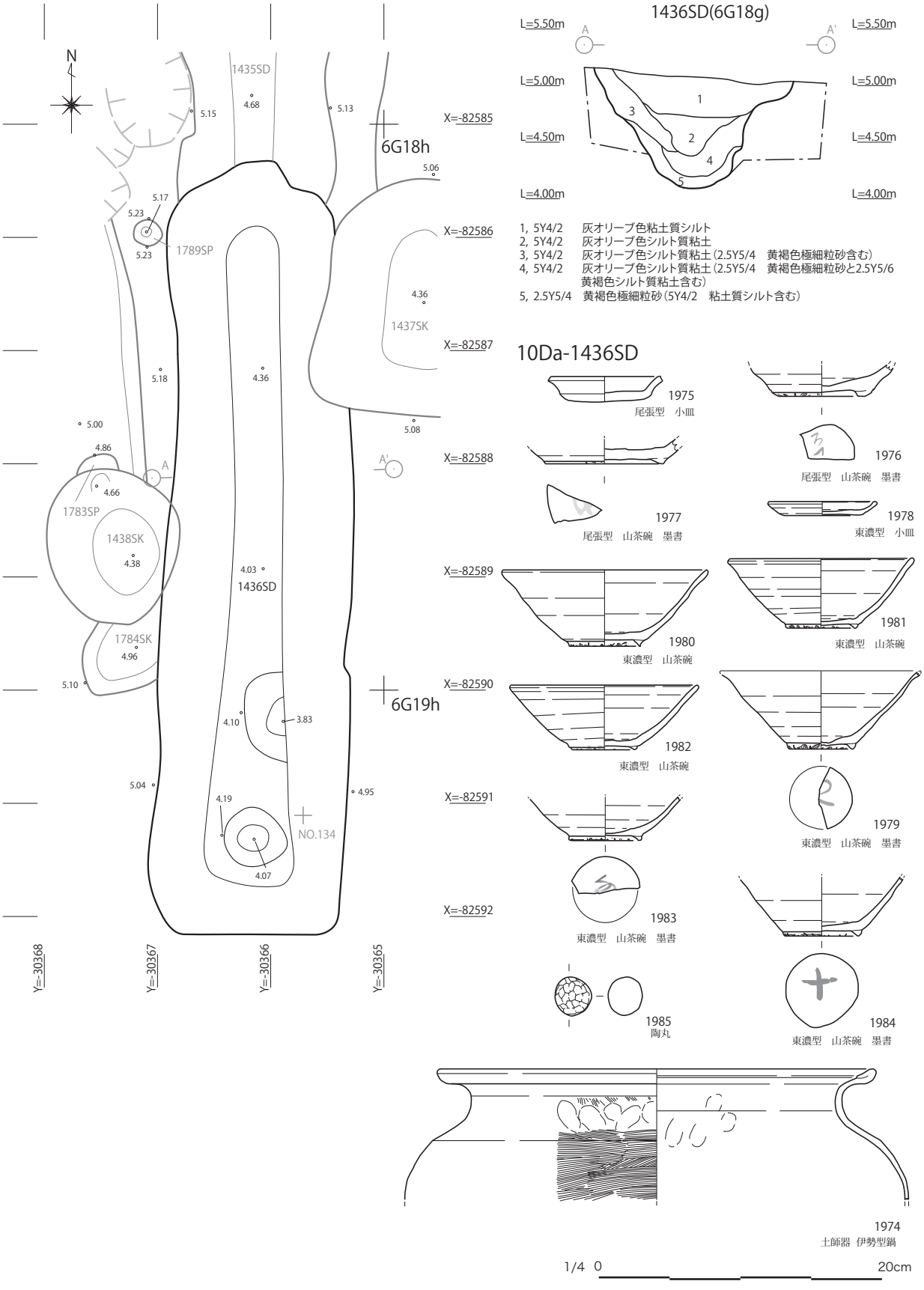
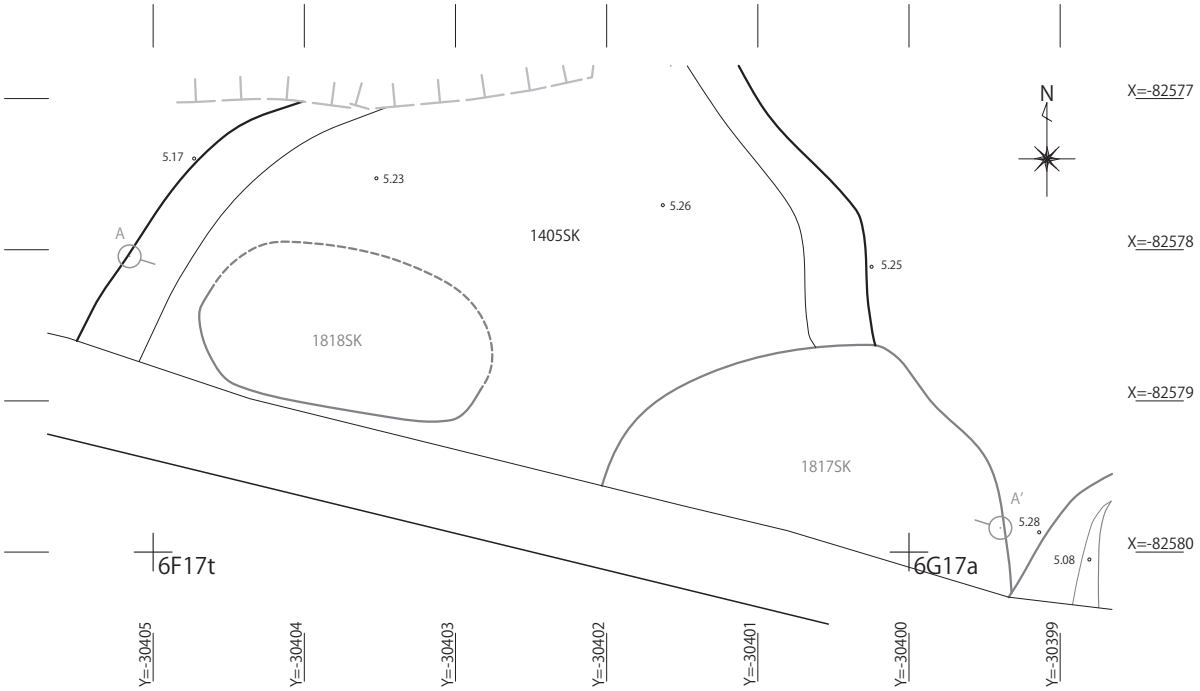
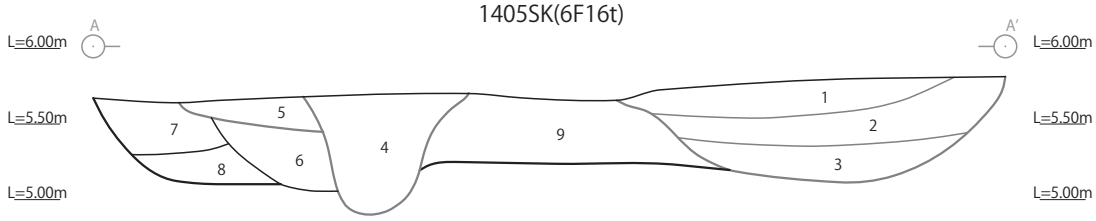


図 2-149　10Da 区 1436SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

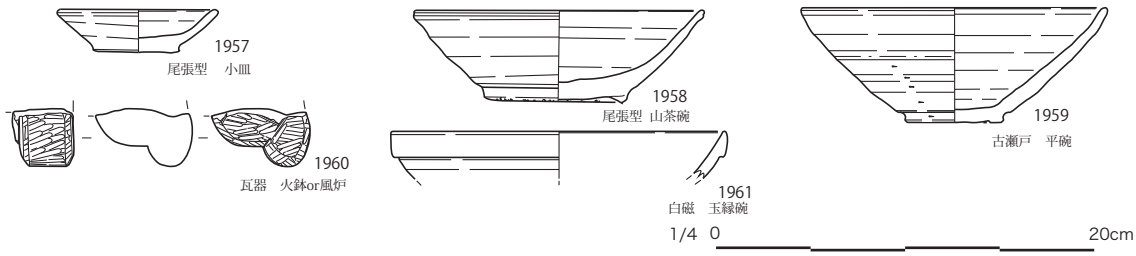


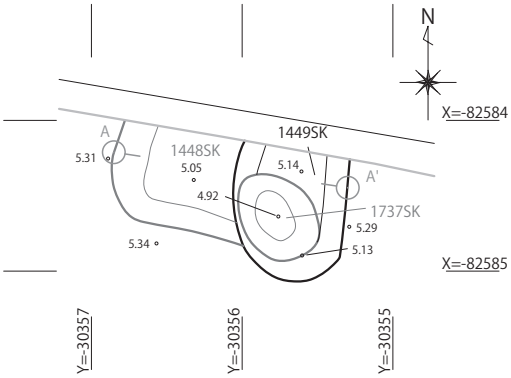
1405SK(6F16t)



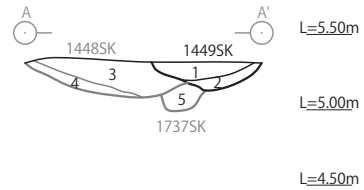
1, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(1817SK)
2, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト (1817SK)
3, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト (2.5Y4/2 暗灰黄色極細粒砂含む1817SK)
4, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト (2.5Y4/2 暗灰黄色極細粒砂含む 1818SK)
5, 2.5Y4/4 オリーブ褐色粘土質シルト (炭化物含む 1818SK)
6, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y4/2 暗灰黄色極細粒砂含む 1405SK)
7, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y4/2 暗灰黄色極細粒砂含む 1405SK)
8, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y4/2 暗灰黄色極細粒砂多量含む 1405SK)
9, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(2.5Y4/2 暗灰黄色極細粒砂多量含む 1405SK)

10Da-1405SK





1448SK・1449SK・1737SK(6G17i)



1, 2.5Y4/3 オリーブ褐色極細粒砂(1449SK)
2, 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘土質シルト(1449SK)
3, 10YR4/4 褐色粘土質シルト(1448SK)
4, 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト(1448SK)
5, 2.5Y4/3 オリーブ褐色極細粒砂(1737SK)

10Da-1449SK

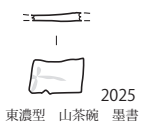


図 2-150 10Da 区 1405・1449SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

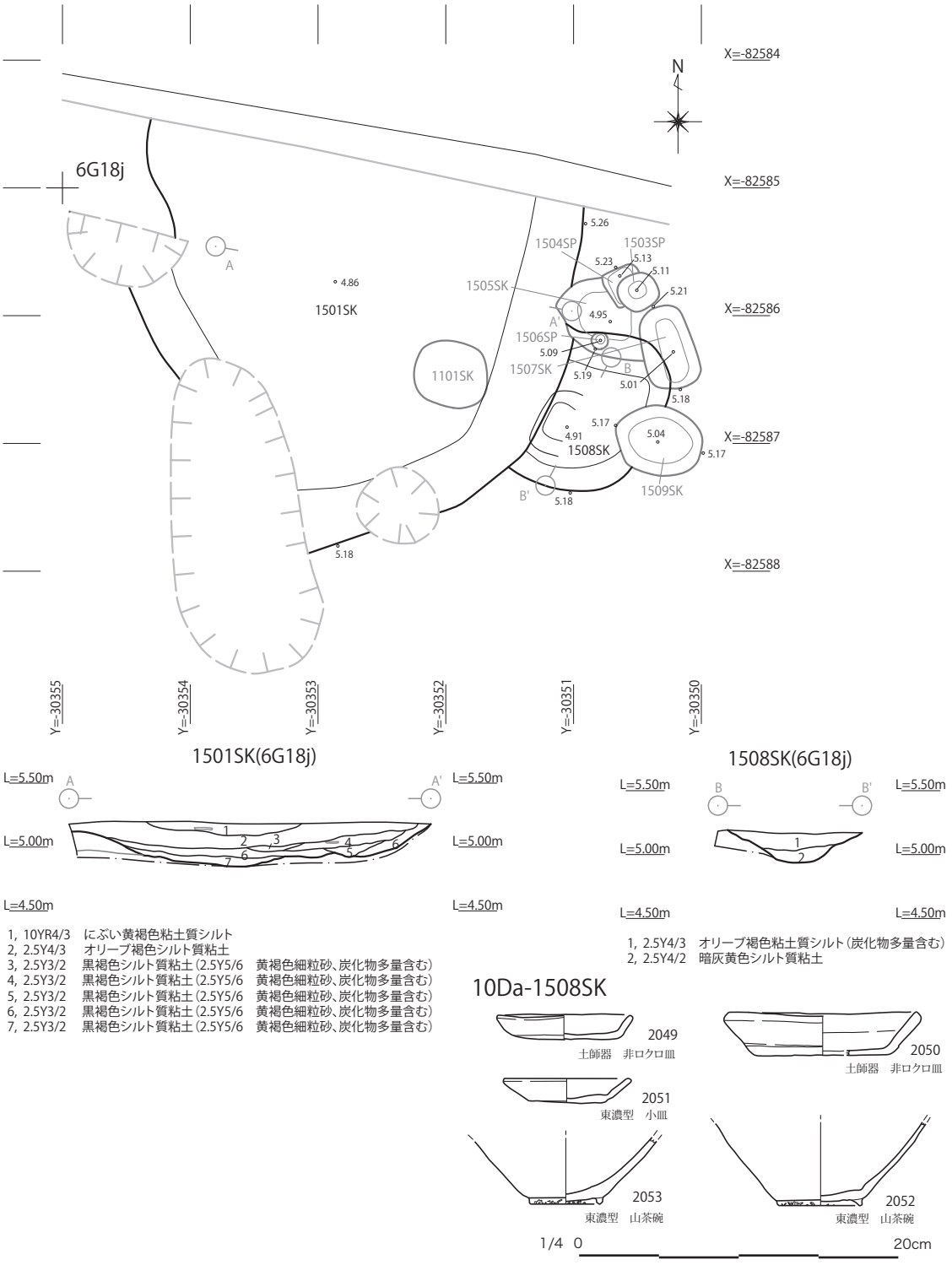


図 2-151　10Da 区 1501・1508SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

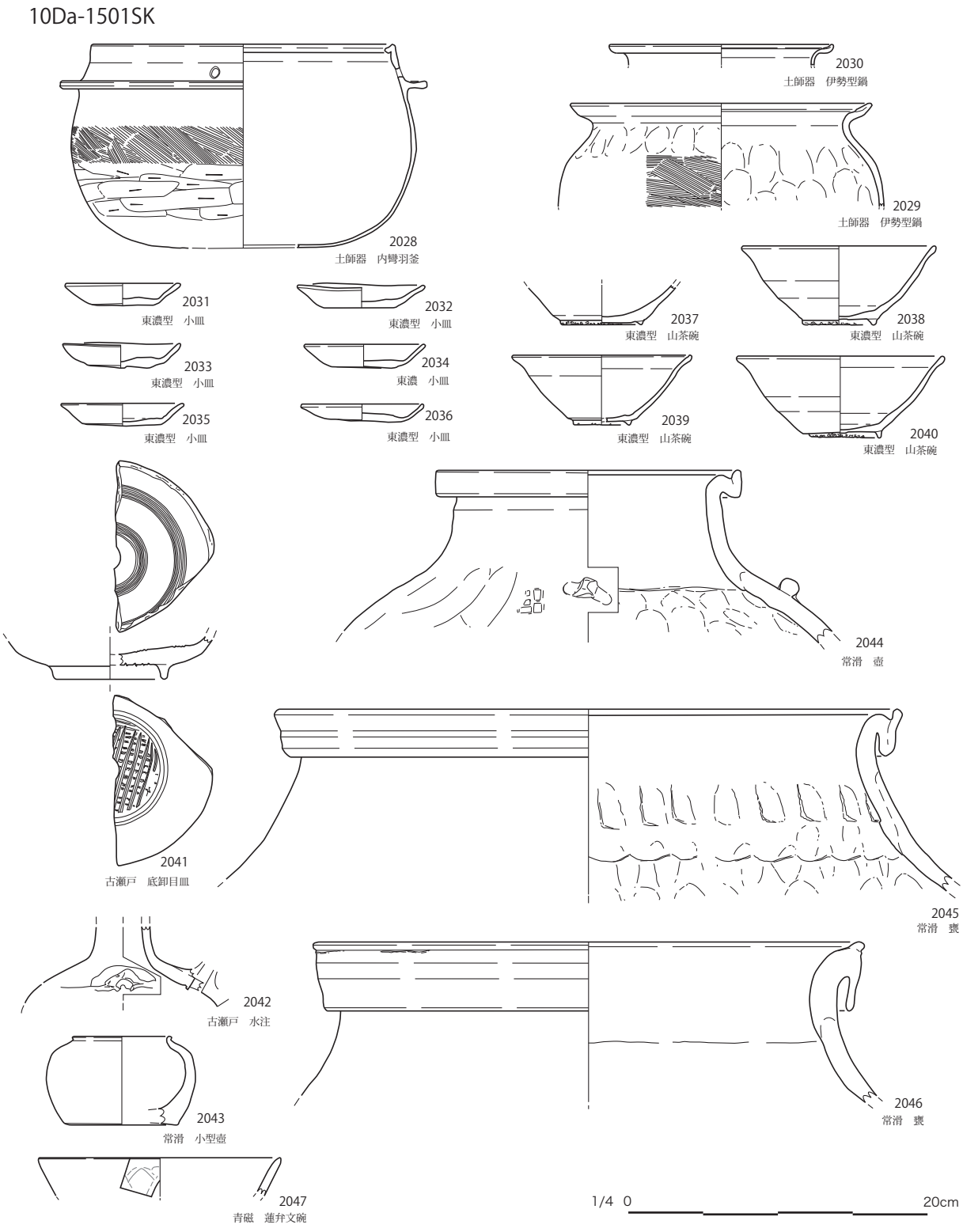


図 2-152　10Da 区 1501SK 出土遺物実測図（1:4）

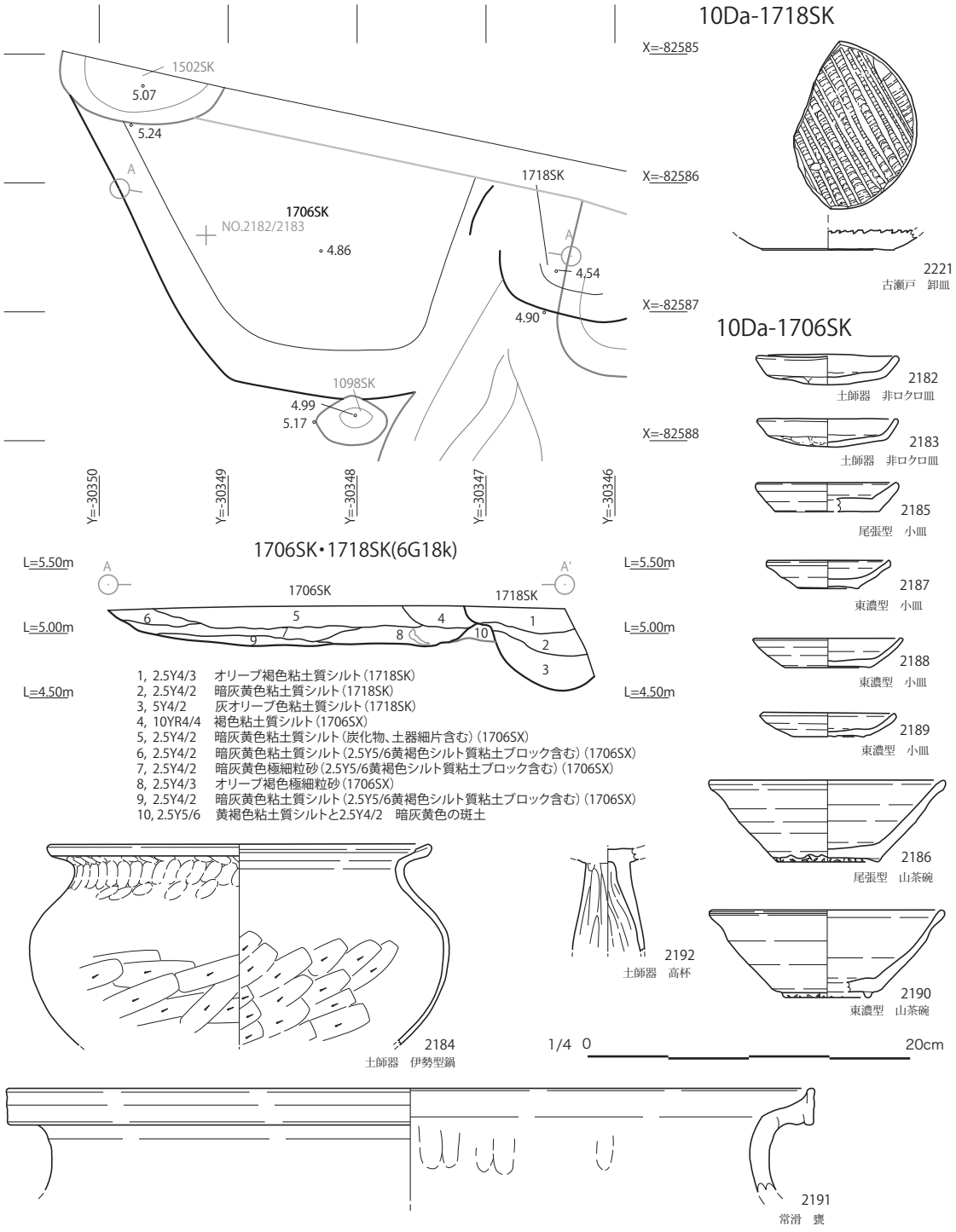


図 2-153　10Da 区 1706・1718SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

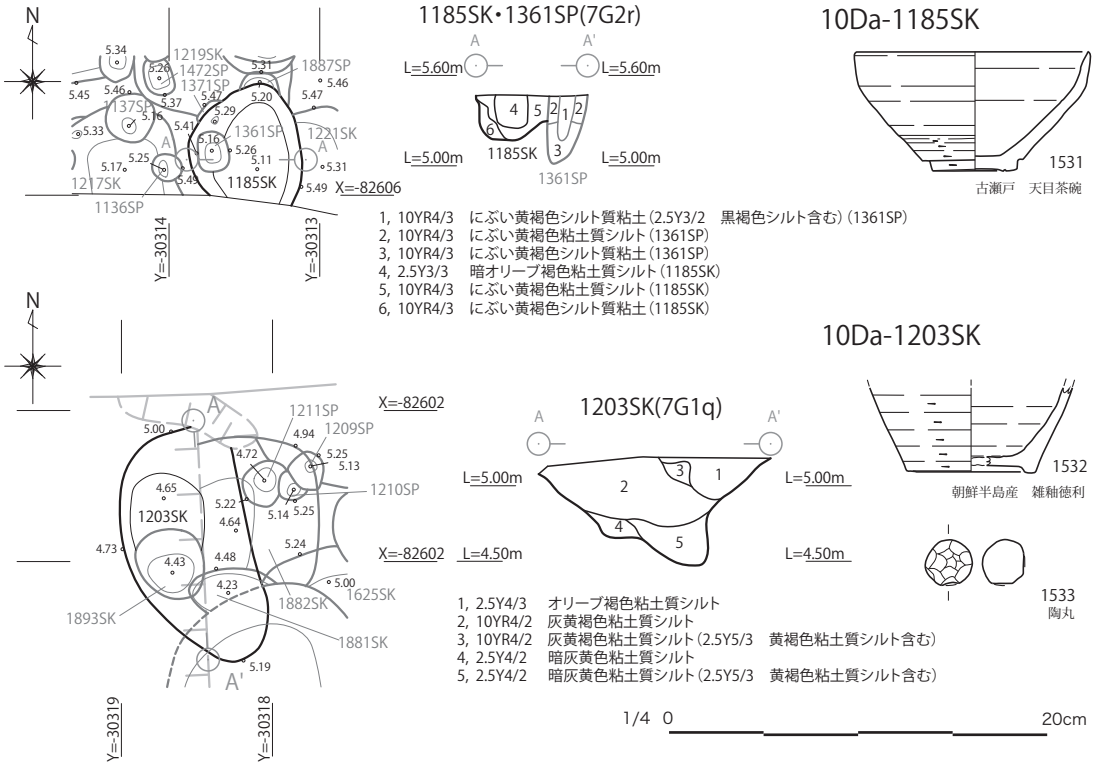


図 2-154　10Db 区 1185・1203SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

ら「不断光寺（ふだんこうじ）」という寺院が存在したことがその背景として考えられる。

南北溝についても時期決定は困難だが、10Da 区 1117SD（図 2-104 ～ 106）は遺構の重複関係から 1441・1540・1720SD とほぼ同時期、10Da 区 0180（図 2-162）・1056SD（図 2-107）と 10Db 区 1612SD（図 2-166）は 1250SD と同時期に機能していたと考える。

ただし、10Db 区 0389SD（図 2-162）は 13 世紀第 2 ～第 3 四半期に属し、10Da・Db 区 0001SD（図 2-102・103）と 10Da 区 0002（図 2-161）・0688SD（図 2-168-1183）、10Db 区 1231SD（図 2-155 ～ 157）は大窯期（16 世紀代）まで機能していたことが出土遺物からわかっている。

10Da・11D 区の土師器皿を主体とする多量の土器が出土した大型土坑群（10Da 区 0127・0130・0150・0161・0170・0435・0600・0686・0707・0790・1000・1005・1501・1705・1706SK、1256SD、11D 区 1490・1491・1494・1496SK）については、14 世紀第 1 四半期から 15 世紀第 3 四半期にかけて、掘削と遺物廃棄が繰り返された。

このうち 0130SK（図 2-123・124）は長辺 3.6m、短辺 1.9m、深さが検出面から 0.4m と、長辺 3.4m、短辺 0.9m の二重の掘り方を有することから、木棺墓の可能性がある。時期は 15 世紀第 2 四半期（脇之島・古瀬戸後Ⅳ期古段階）。

それ以外の多量の遺物を含む大型土坑群は、土師器皿、東濃型小皿・山茶碗、古瀬戸皿・碗・鉢・瓶子を主体とすることから、儀礼・宴会等で用いたものを廃棄するための土坑であったと考えられる。なかでも 0127（図 2-121・122）・0161（図 2-127・128）・0707SK（図 2-132 ～ 134）からはいずれも 60 点を超える量の土師器皿が出土しており、特に 0161SK 出土の口径 20cm を超

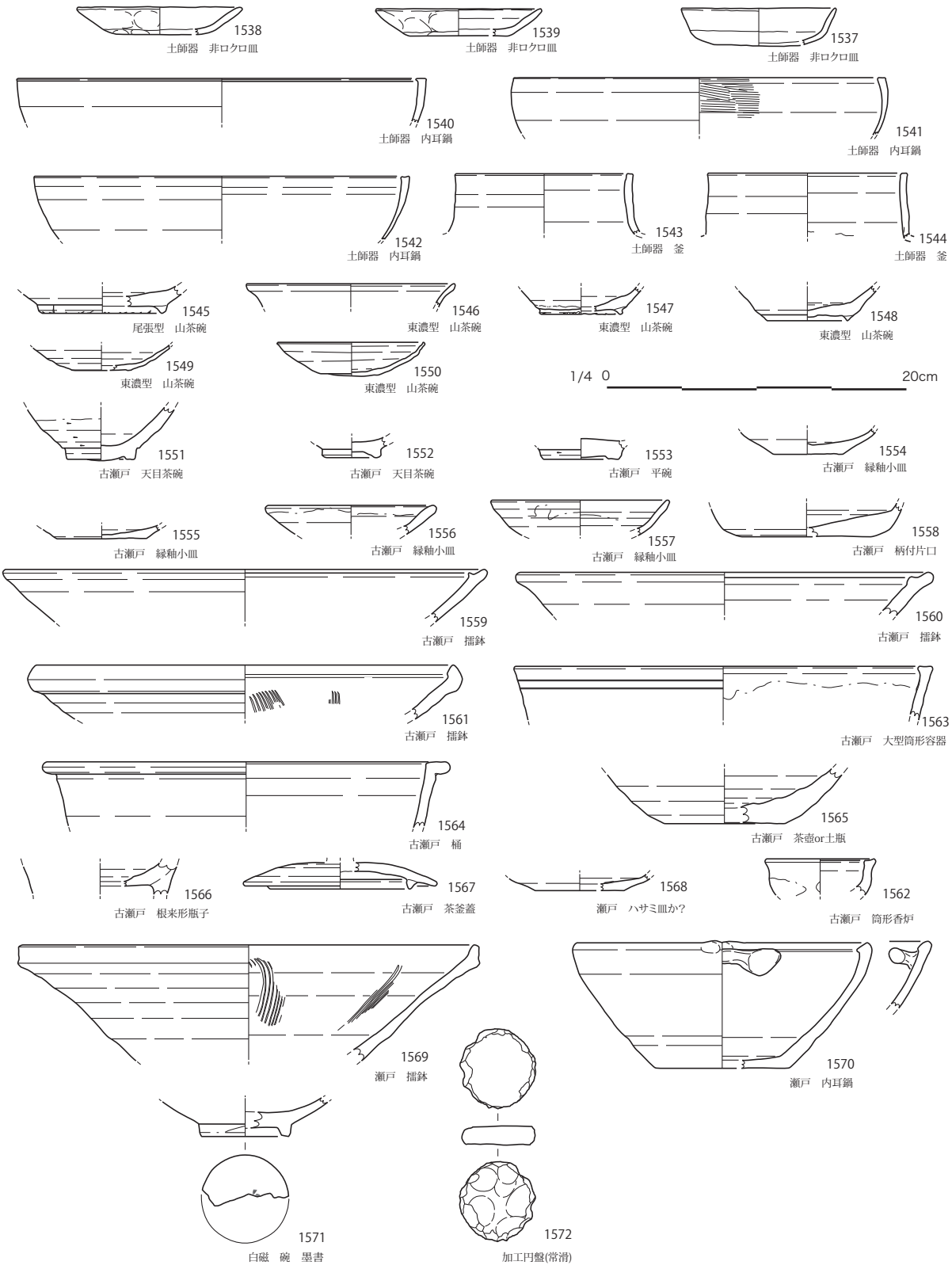


図 2-155　10Db 区 1231SD 出土遺物実測図（1:4）

10Db-1231SD上層-1

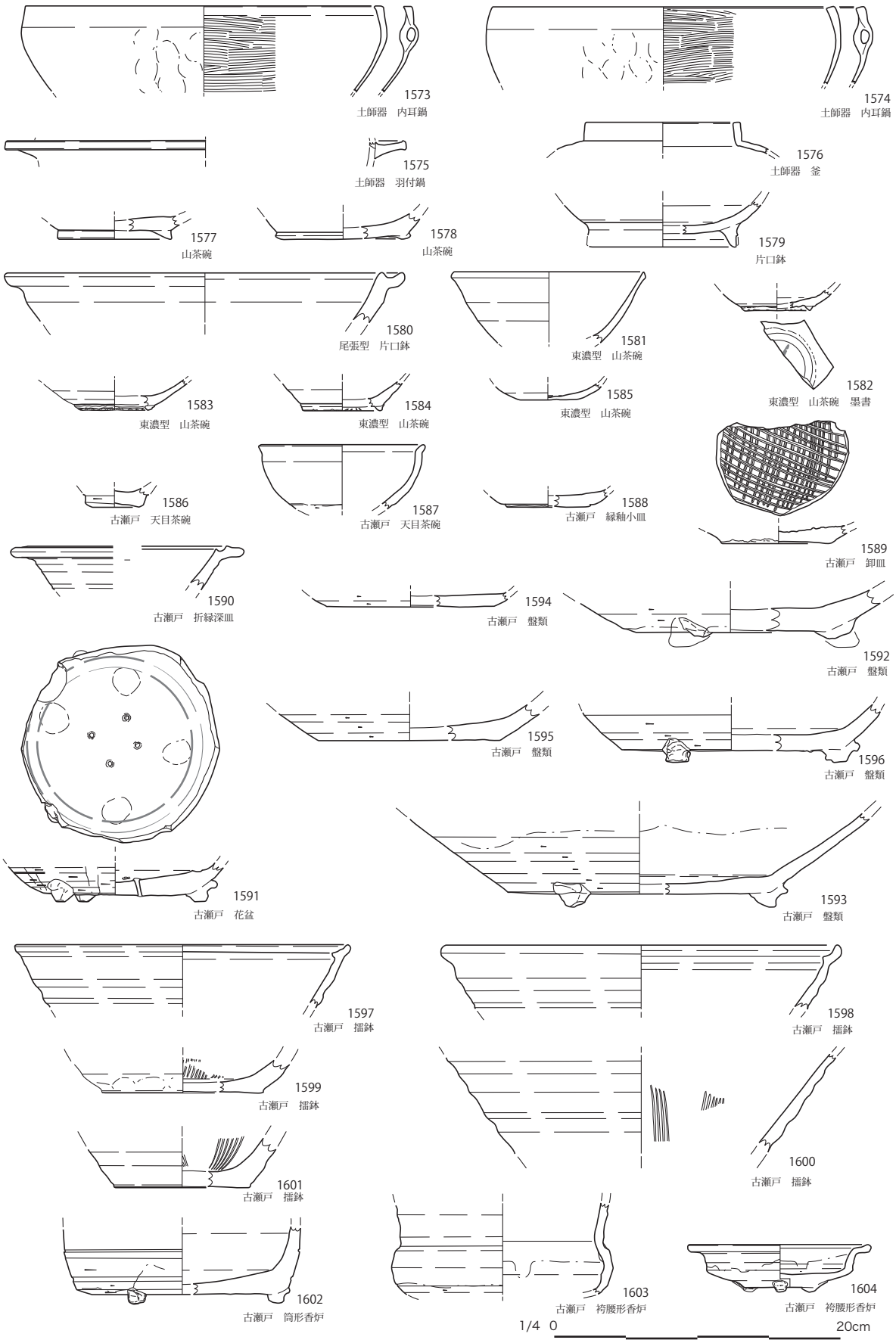
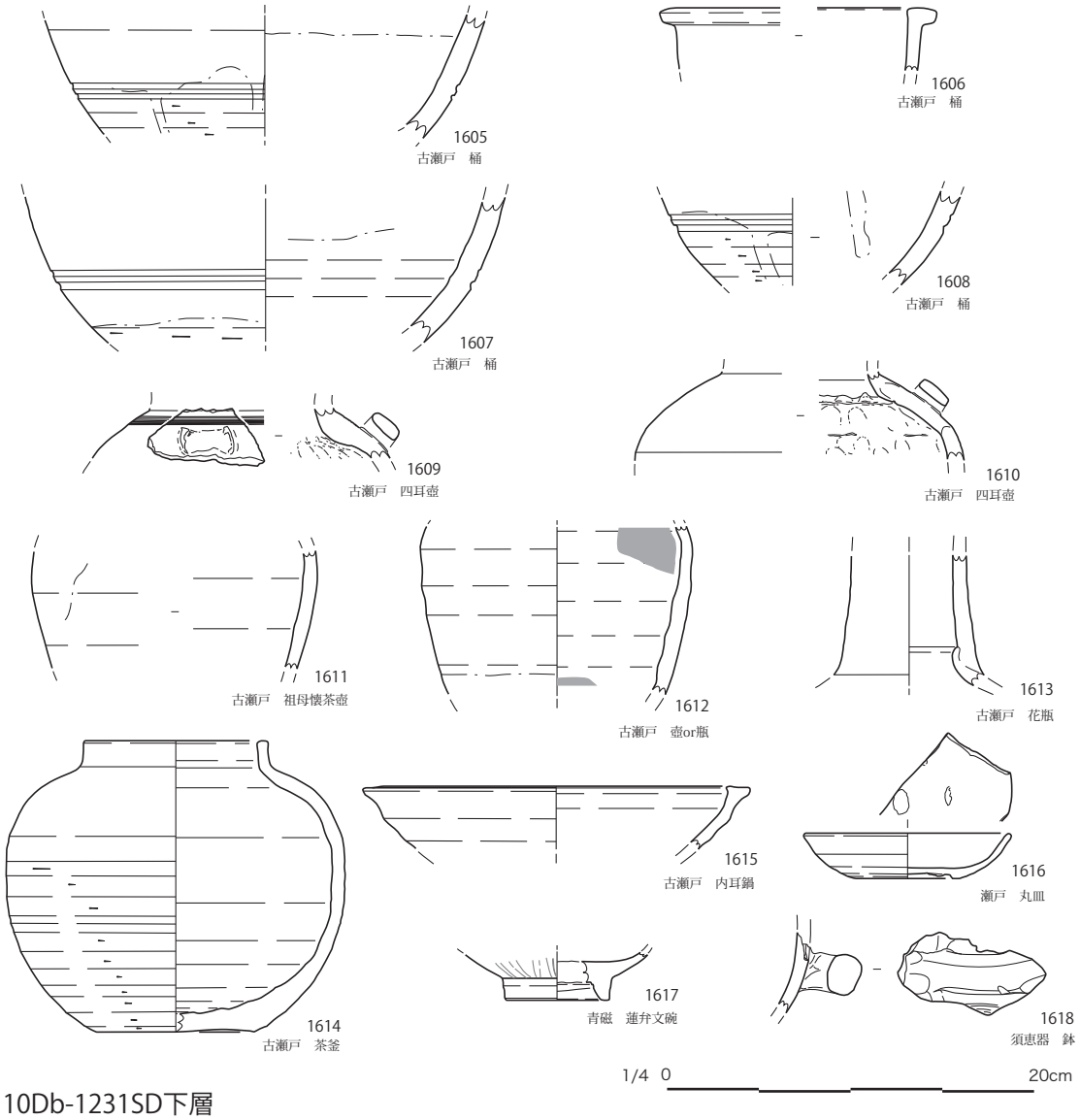


図 2-156　10Db 区 1231SD 上層出土遺物実測図 -1（1:4）

10D-1231SD上層-2



10Db-1231SD下層

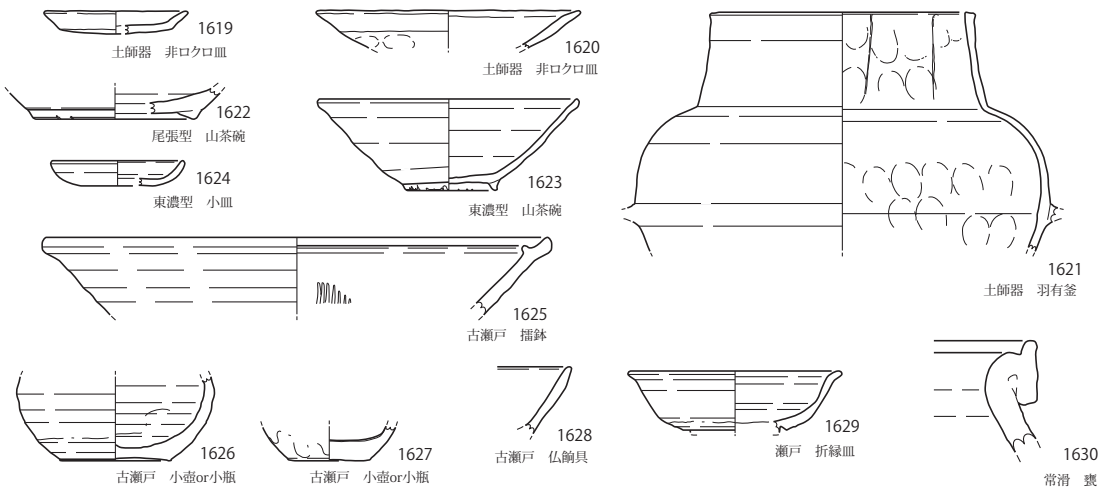
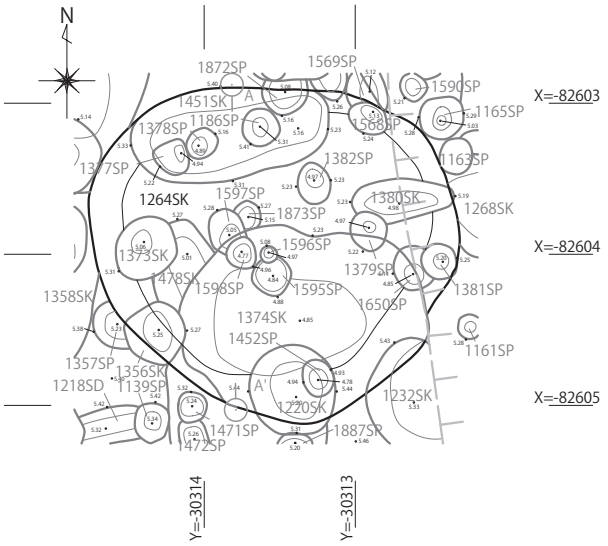
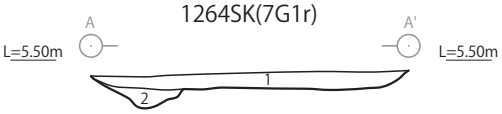
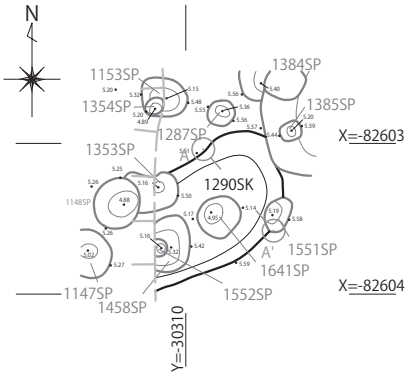


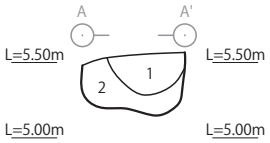
図 2-157　10Db 区 1231SD 上層 -2/1231SD 下層出土遺物実測図（1:4）



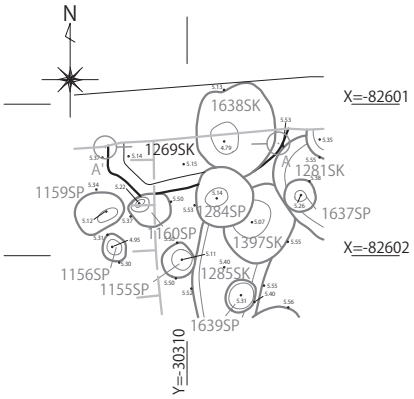


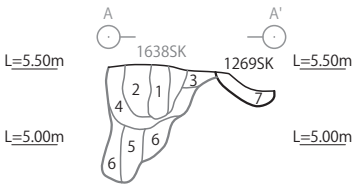
1, 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト
2, 10YR4/2　灰黄褐色粘土質シルト





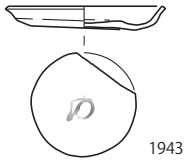
1, 10YR4/2　灰黄褐色粘土質シルト
2, 2.5Y4/2　暗灰黄色シルト質粘土（10YR5/2灰黄褐色シルト含む）





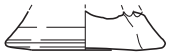
1, 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（炭化物含む）（1638SK）
2, 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（2.5Y5/3　黄褐色極細粒砂含む）（1638SK）
3, 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（2.5Y5/3　黄褐色極細粒砂含む）（1638SK）
4, 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（2.5Y5/3　黄褐色シルト質粘土含む）（1638SK）
5, 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（2.5Y5/3　黄褐色粘土質シルト含む）（1638SK）
6, 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（1638SK）
7, 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土（1269SK）

10Db-1290SK



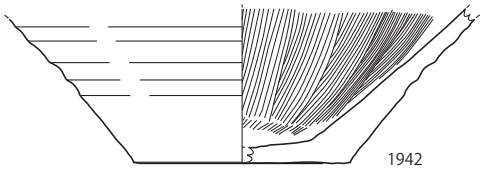
1943
東濃型　小皿　墨書

10Db-1264SK



1941
古瀬戸　尊式花瓶

10Db-1269SK



1942
古瀬戸　擂鉢

1/4　0　20cm

図 2-158　10Db 区 1264・1269・1290SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

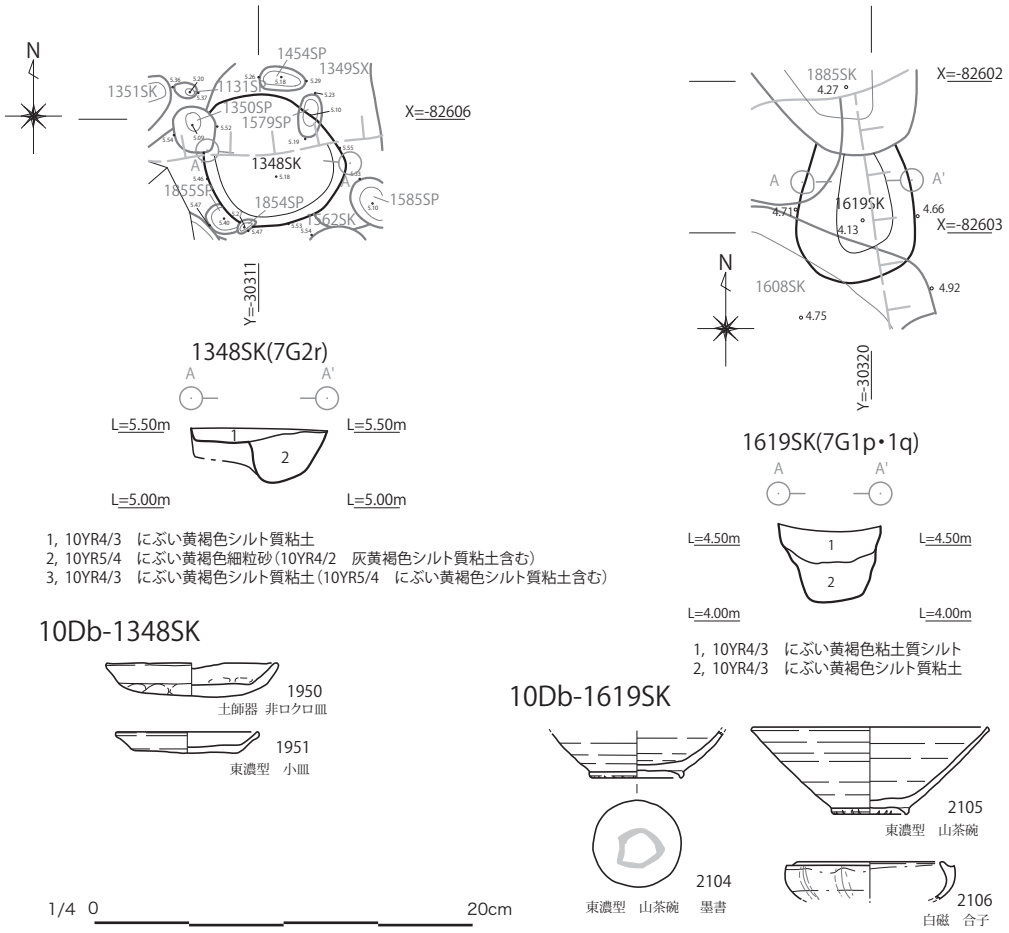


図 2-159 10Db 区 1348・1619SK 遺構図（1:50）・
同出土遺物実測図（1:4）

える非ロクロ皿 (図 2-128-1002）は、このエリア付近（前述の不断光寺か？）でおこなわれた儀礼・宴会の格式が高かったことを予測させる点で注目すべきである。

これら土師器皿を主体とする土坑群の所属時期には、山茶碗（および小皿）あるいは古瀬戸陶器類が良好な状況で共伴するものについては、表 2-14 のように位置づけることが可能である。しかし山茶碗・古瀬戸陶器類が伴わないものや、それぞれの所属時期が混在するものについては、当地域の土師器皿の年代観が確立していない現状では残念ながら時期を明確にすることができない。

10Da 区に関してはおおむねここまで述べてきたような状況である。一方、10Db 区と 11D 区については、いささか様相が異なる。

両調査区ともに、東半部は西半部に較べて比較的地山面の標高が高く、安定した地形が形成されている。ここから 10Ea 区にかけては掘り方の直径が 20cm 以下の小柱穴が複雑に密集しており、小規模な掘立柱建物が頻繁に建て替えられていたと考えられる。またこの一角には井戸 11D 区 1484SE が掘削されている。調査区南端壁際で確認されたため、じゅうぶんな調査はできなかったが、方形縦板組みの井戸枠が出土している（図 2-182）。

それに対して 10Da 区 0002SD（10Db 区 1231SD と同じ溝と考えられる）以東から 10Db 区 0389SD にかけての微低地では、出土遺物が

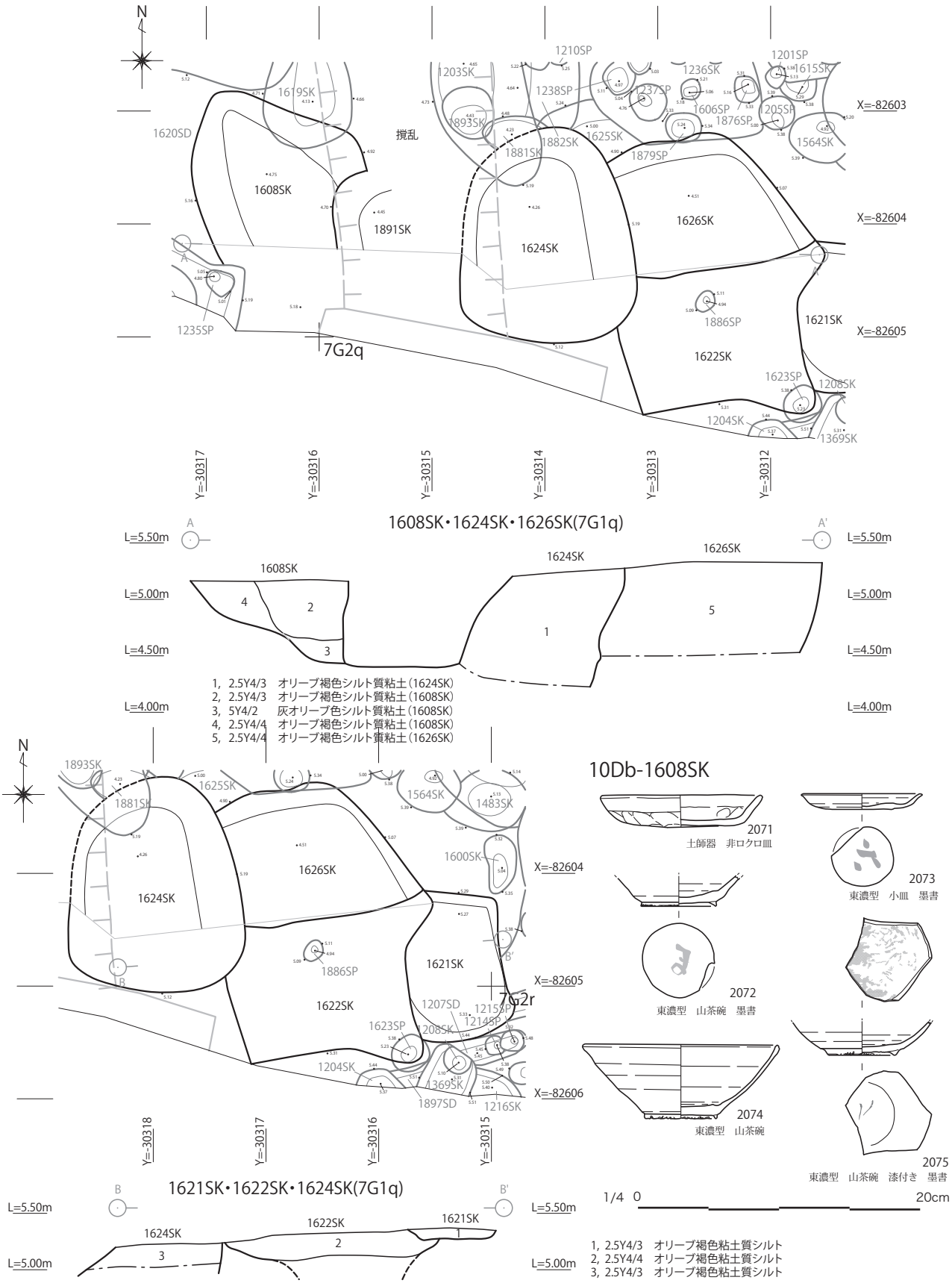


図 2-160 10Db 区 1608・1621・1622・1624・1626SK 遺構図（1:50）・1608SK 出土遺物実測図（1:4）

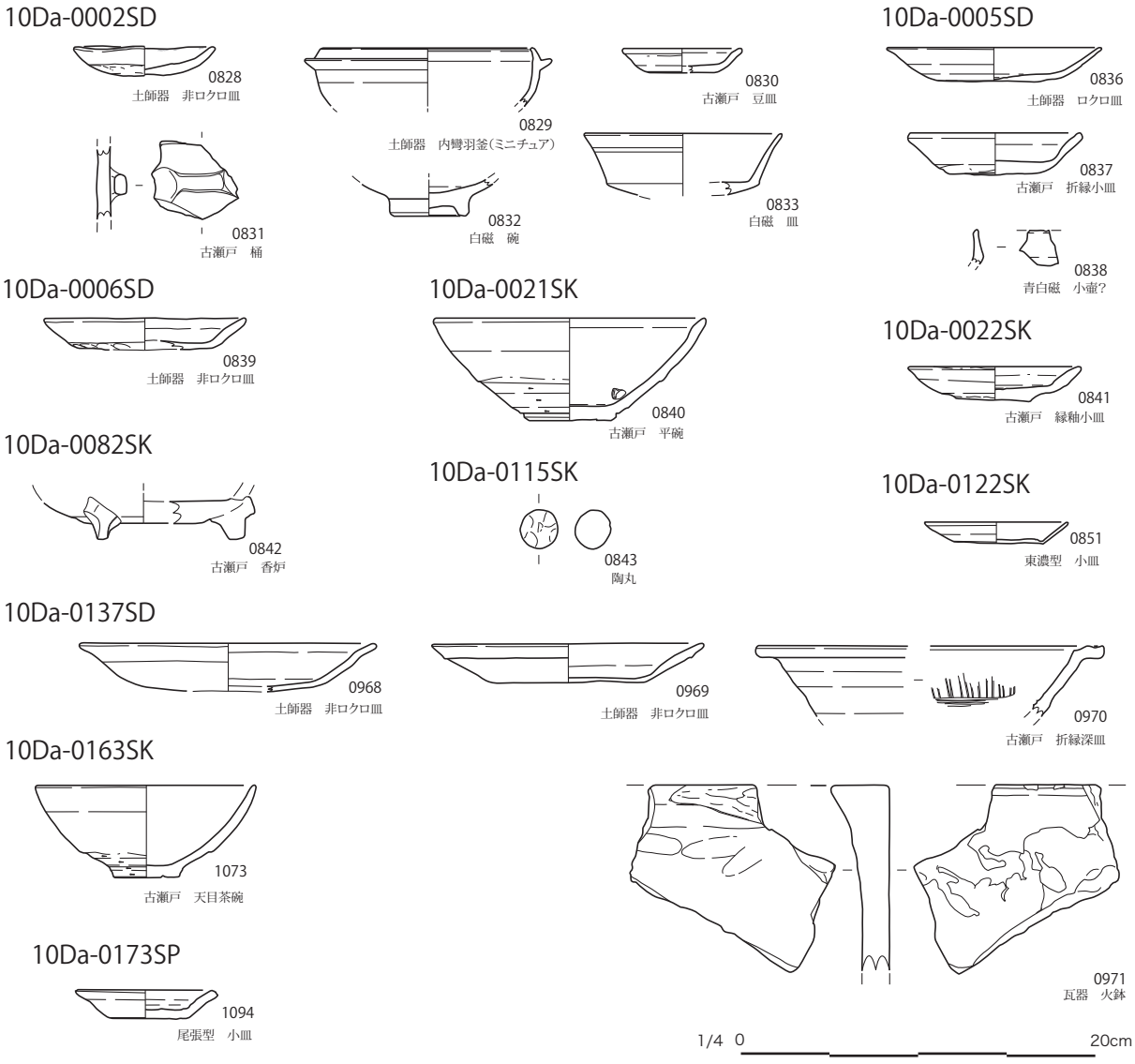


図 2-161　10D 区出土遺物実測図 -1（1:4）

極端に少なく、かつ掘削直後に、一気に埋め戻したと考えられる斑土を埋土とする大型方形土坑群が集中する（図 2-160）。これらの遺構が掘削された地山土は粘質を帯びた黄褐色のシルト層であることから、ひとつは土取りを目的とした土坑群、あるいは不断光寺にともなう墓域としての土坑墓群であった可能性が想定できる。

このD区において、ここまで触れてきた以外で特に注目すべき遺物としては、10Da 区 1250SD の中国産褐釉鉢（図 2-110-1704）、10Da 区 0600SK の中国産褐釉壺（図 2-131-1168）、10Da 区 1047SK の中国産青磁碗（図 2-142-1435）、10Da 区 1185SK の朝鮮半島産雑釉徳利（図 2-154-1532）があげられる。なかでもに青磁碗は 11 世紀代の越州窯産で、日本国内でもきわめて出土例の少ない逸品である。

このほか、10Db 区 1231SD 出土の花盆（図 2-156-1591）、11D 区 1462SP 出土の古瀬戸

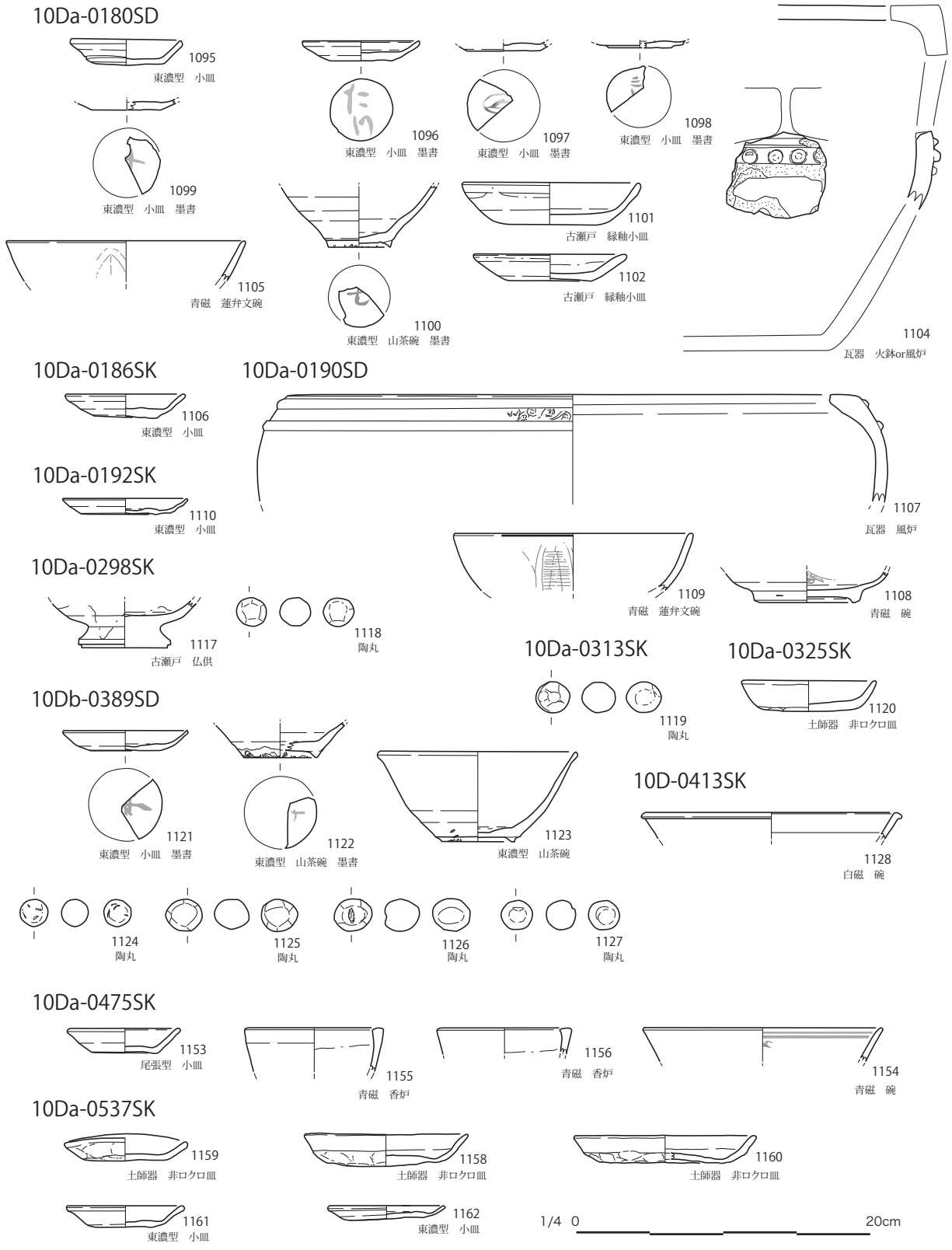


図 2-162　10D 区出土遺物実測図 -2（1:4）

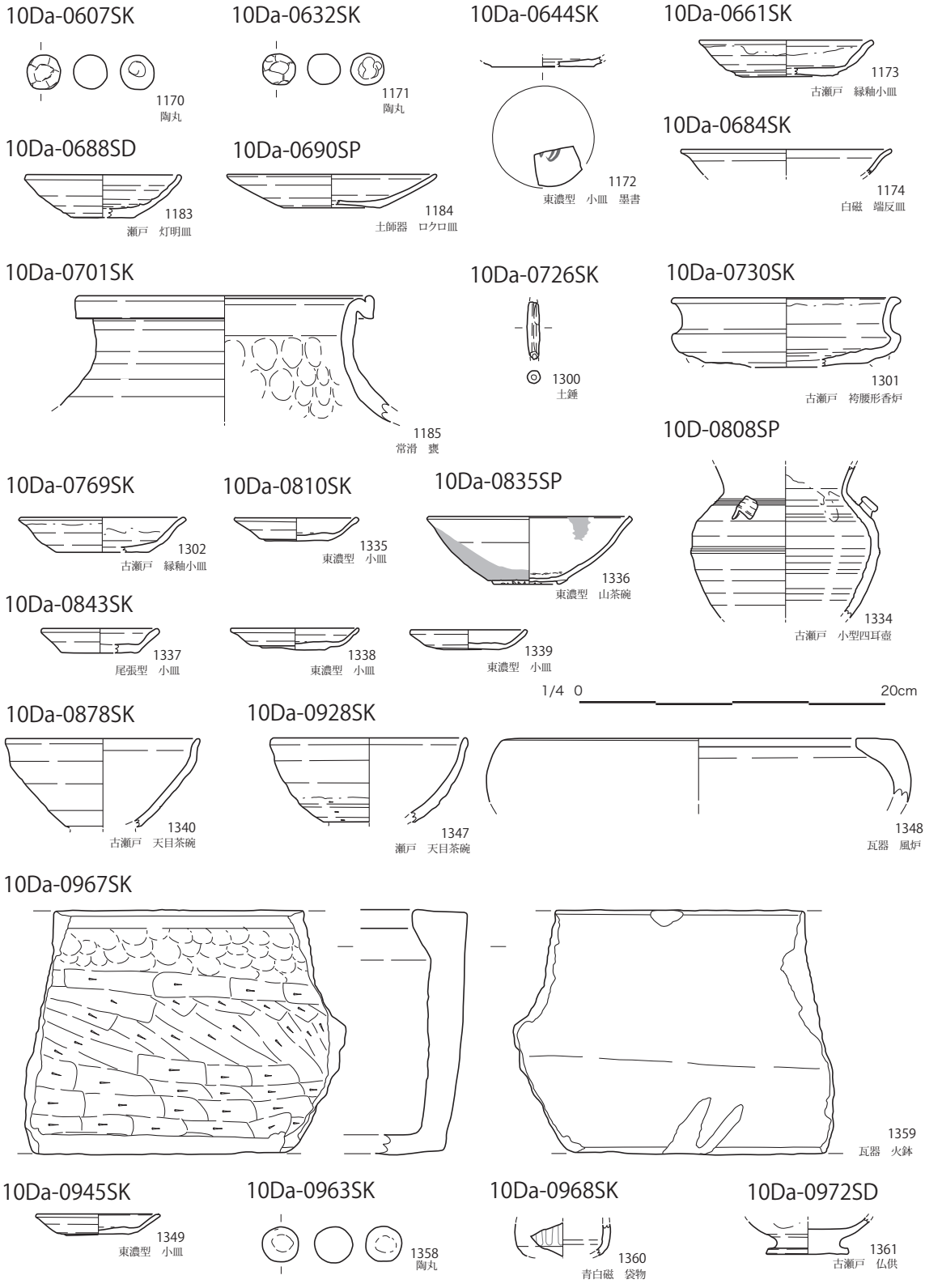


図 2-163　10D 区出土遺物実測図 -3（1:4）

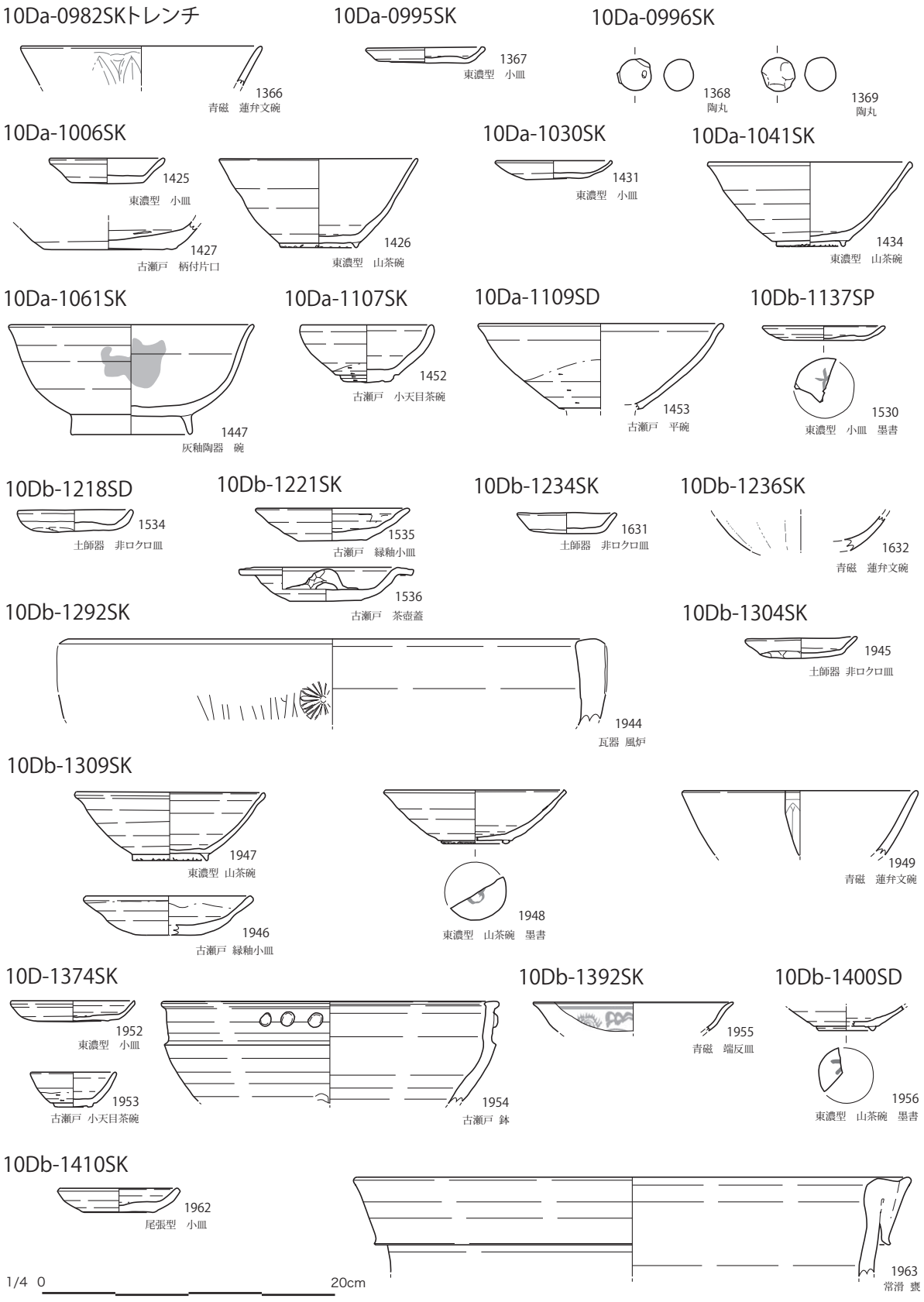


図 2-164　10D 区出土遺物実測図 -4（1:4）

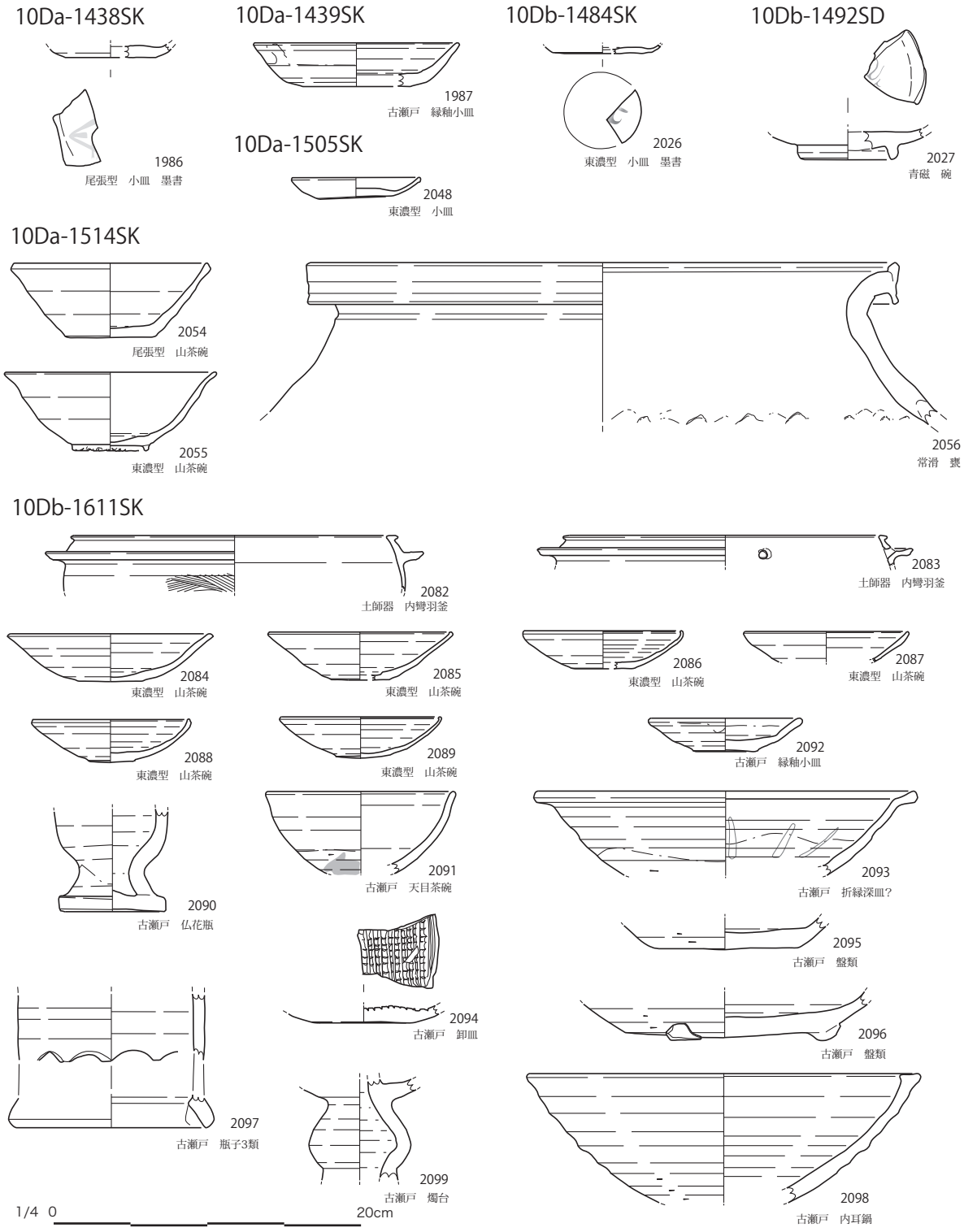


図 2-165　10D 区出土遺物実測図 -5（1:4）

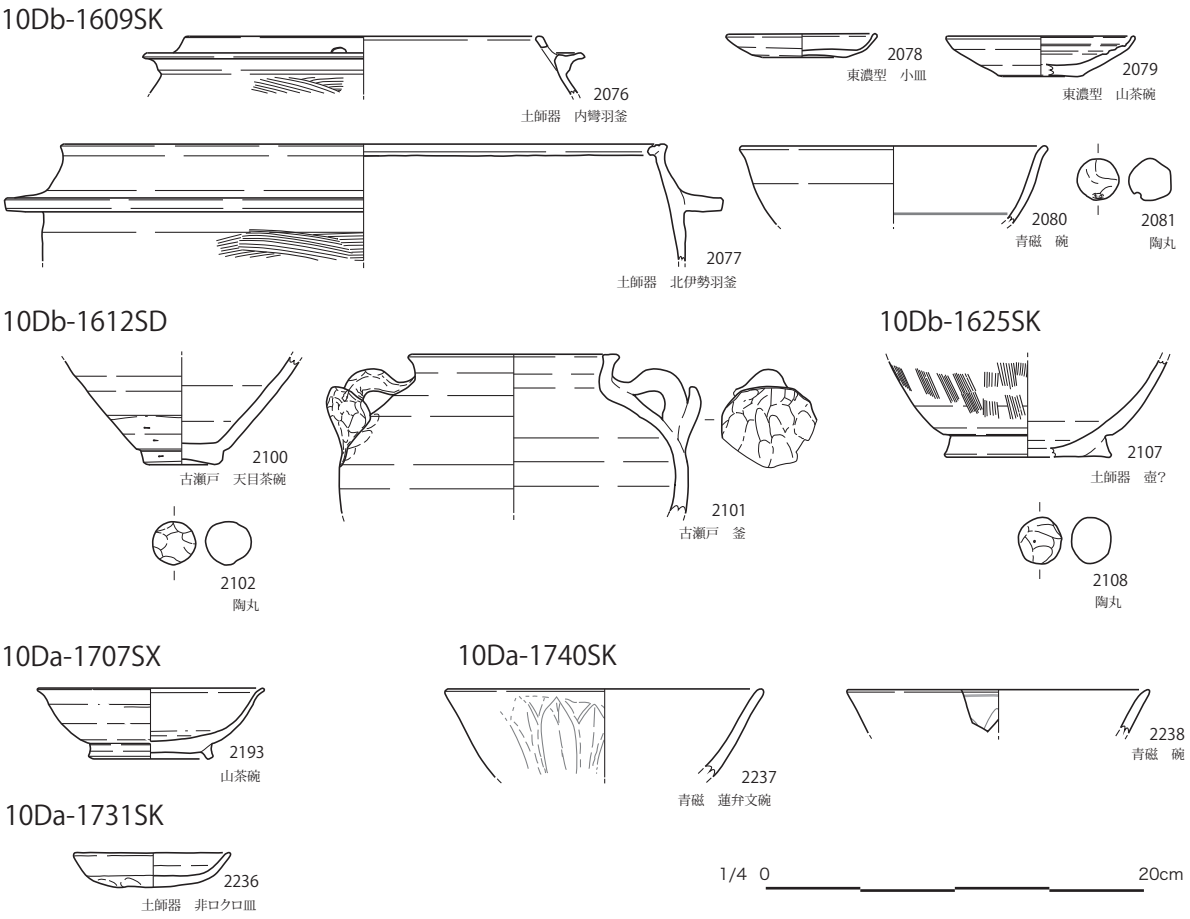


図 2-166　10D 区出土遺物実測図 -6（1:4）

狛犬の左足（図 2-186-3125）、10Db 区検 2 の陶硯（図 2-168-2103）、10Db 区 1608SK（図 2-160-2075）や、11D 区 1490SK（図 2-3169）・1278SK（図 2-185-3069）・1491SK（図 2-187-3205・3210）・1507SK（図 2-188-3246 ～ 3248）・1508SK（図 2-188-3263・3264）・1517SK（図 2-189-3272・3273）・1521SK（図 2-189-3284 ～ 3286・3288 ～ 3290）・1522SP（図 2-189-3301）で漆付きの東濃型山茶碗が出土している。

石製品では、硯・砥石・石鍋があり、砥石には硯を転用したものがめだつ（図 2-169 ～ 172・190）。

また、10Da 区東端から 11D 区と、10DB 区では、非常に大量の鍛冶関連遺物が出土している。なかでも 10Da 区 1252SK・1710SD/11D 区 1111SK・1117SK・1127SP・1129SK・1140SK・1141SK・1154SP・1161SK・1179SK・1193SK・1203SK・1204SK・1221SK・1234SK・1249SK・1274SK・1282SK・1285SK・1293SK・1338SP・1400SP・1479SK・1499SK・1538SK から出土した炉壁、10Da 区 0006SK・1440SD/10Db 区 1263SK/11D 区 1123SK・1124SK・1125SK・1216SP・1232SK・1284SK・1324SK・1484SE 出土の羽口、10Db 区 1264SK・1315SP 出土のとりべはこの地で鍛冶をおこなっていた可能性を示唆している。

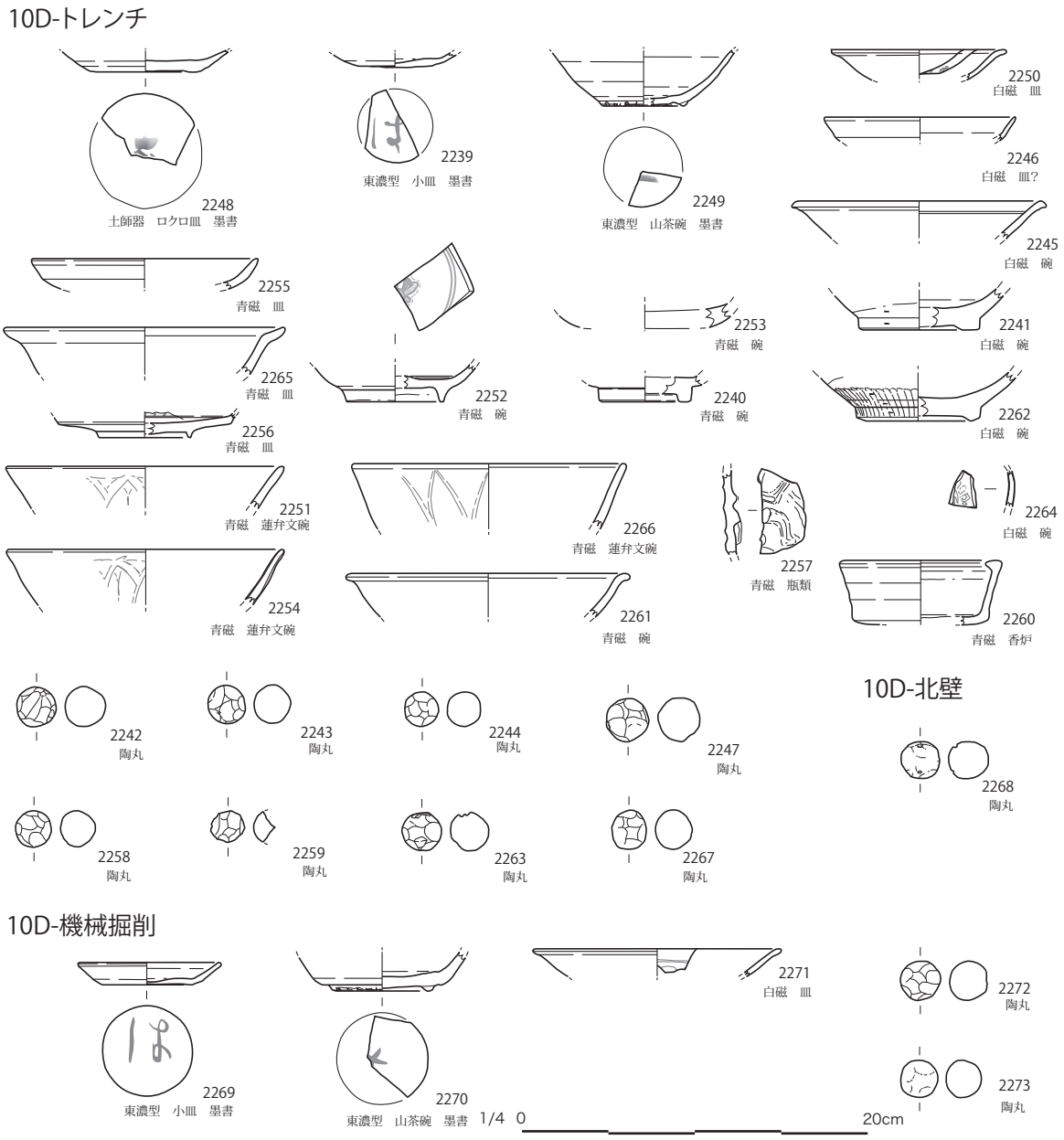
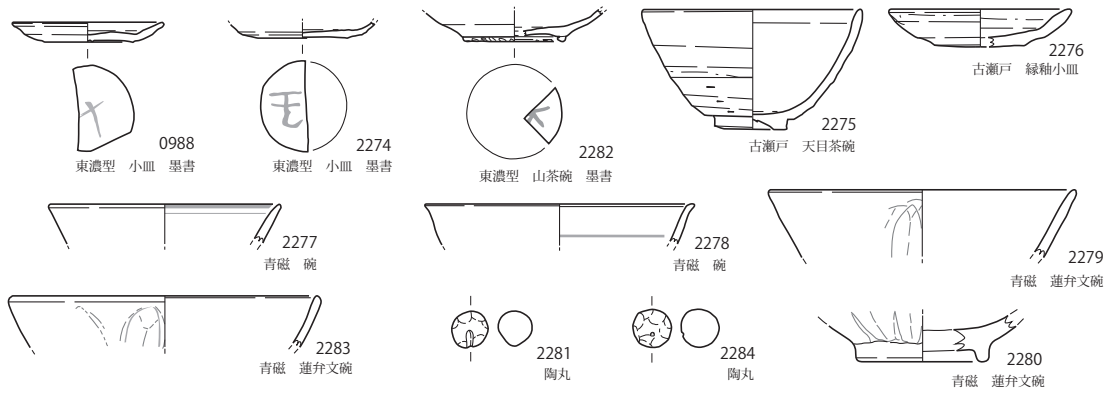


図 2-167　10D 区出土遺物実測図 -7（1:4）

10D-検1



10D-検2

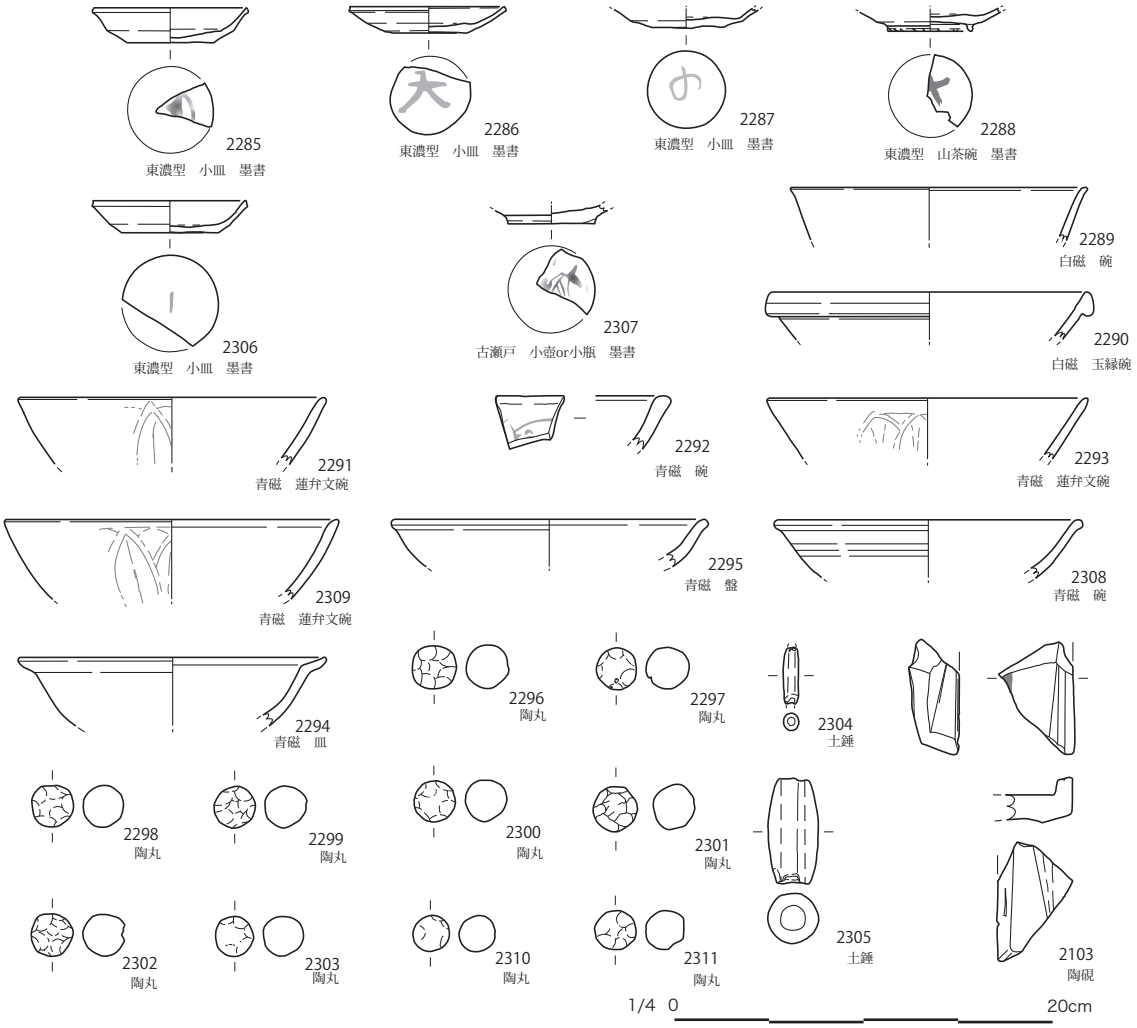


図 2-168　10D 区出土遺物実測図 -8（1:4）

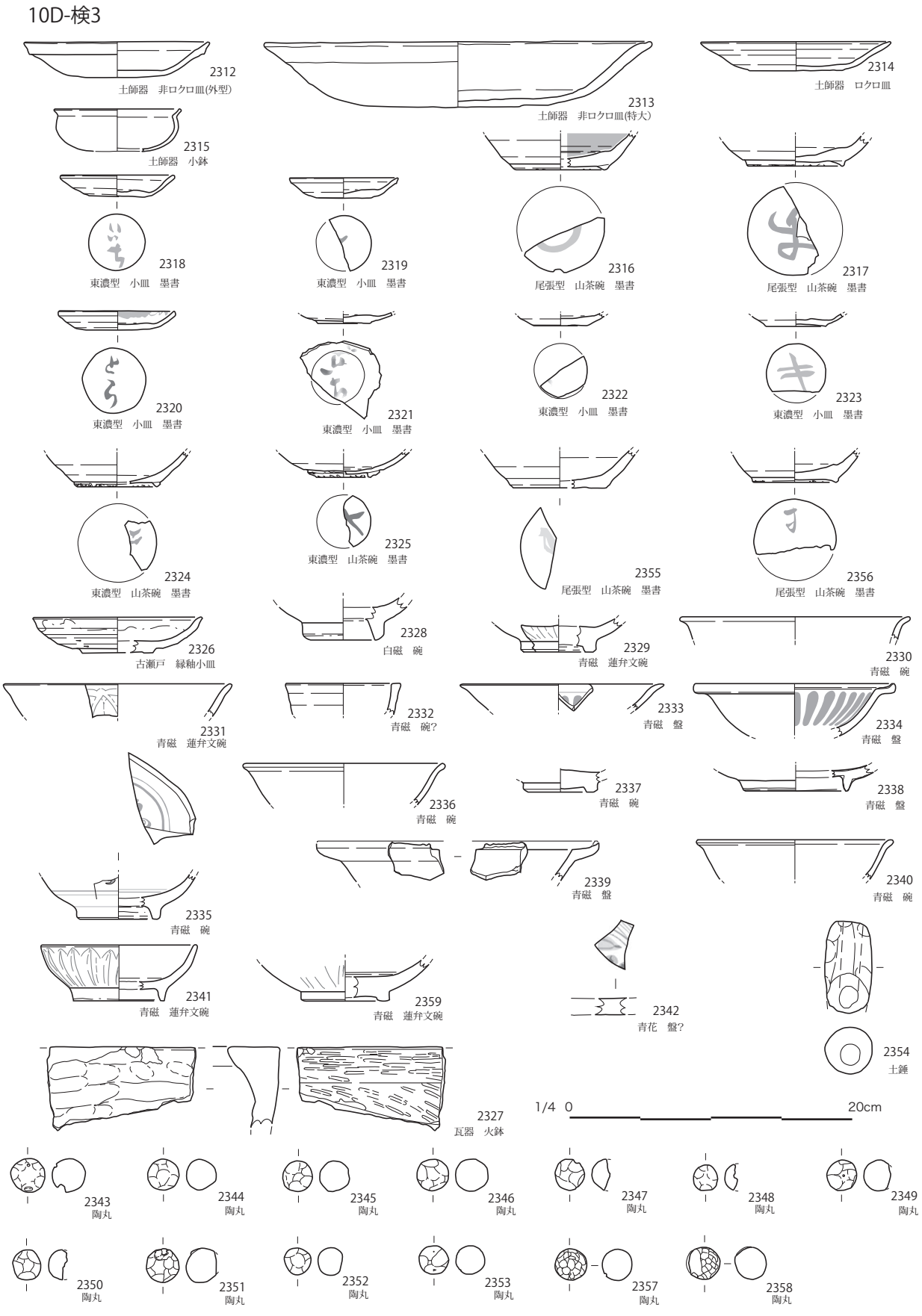


図 2-169　10D 区出土遺物実測図 -9（1:4）

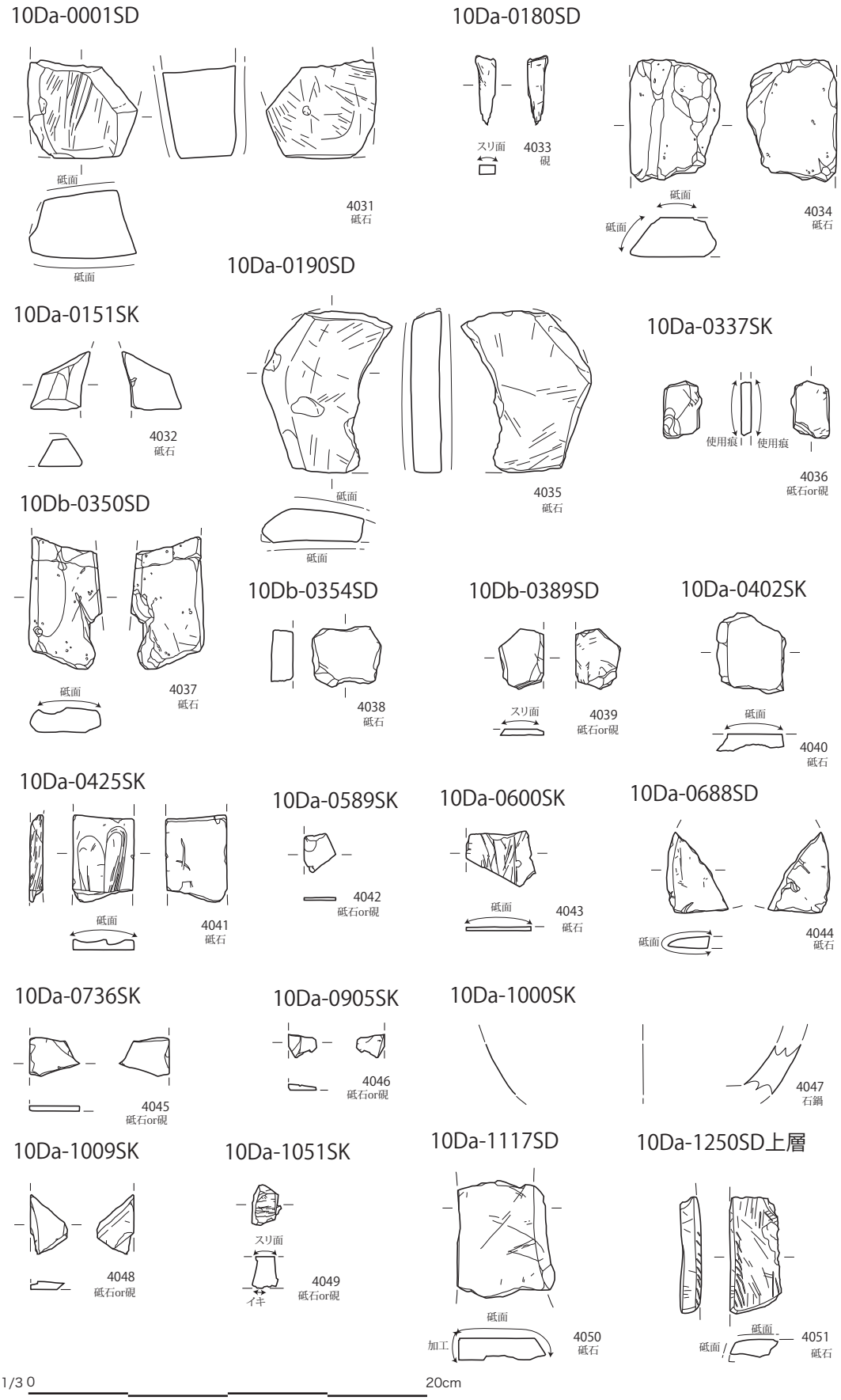


図 2-170　10D 区出土遺物実測図 -10（1:3）

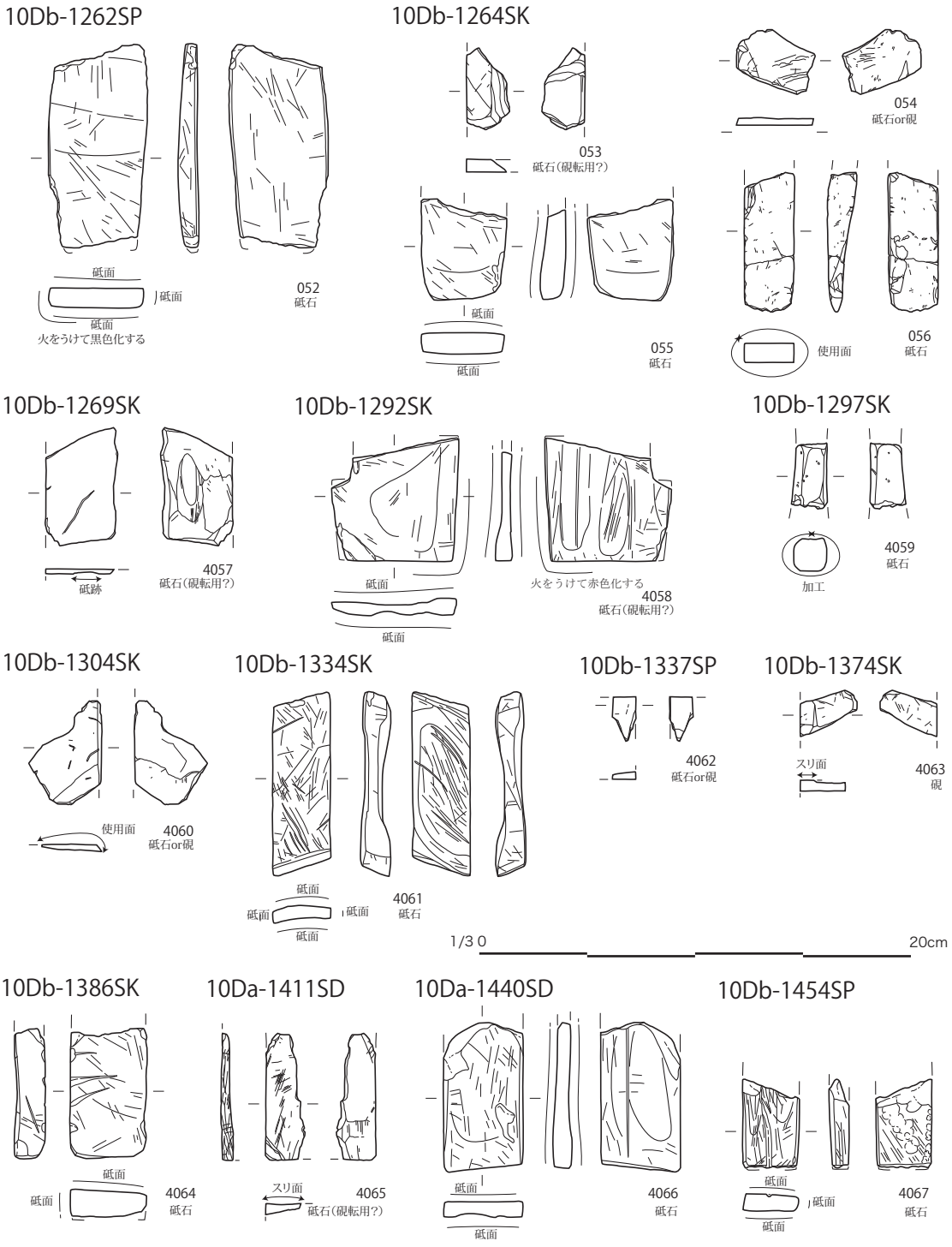


図 2-171　10D 区出土遺物実測図 -11（1:3）

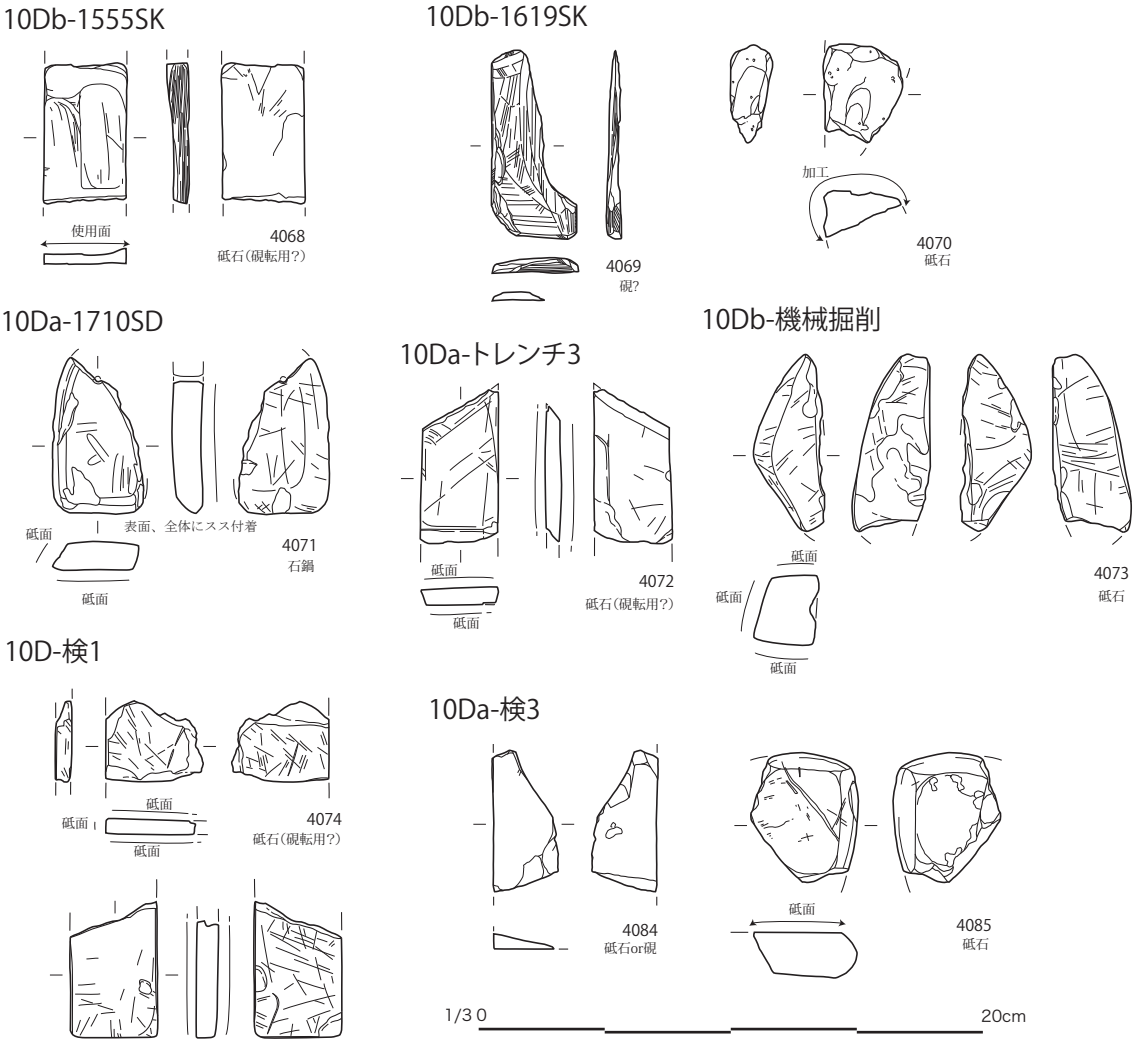


図 2-172　10D 区出土遺物実測図 -12（1:3）

10D-検2

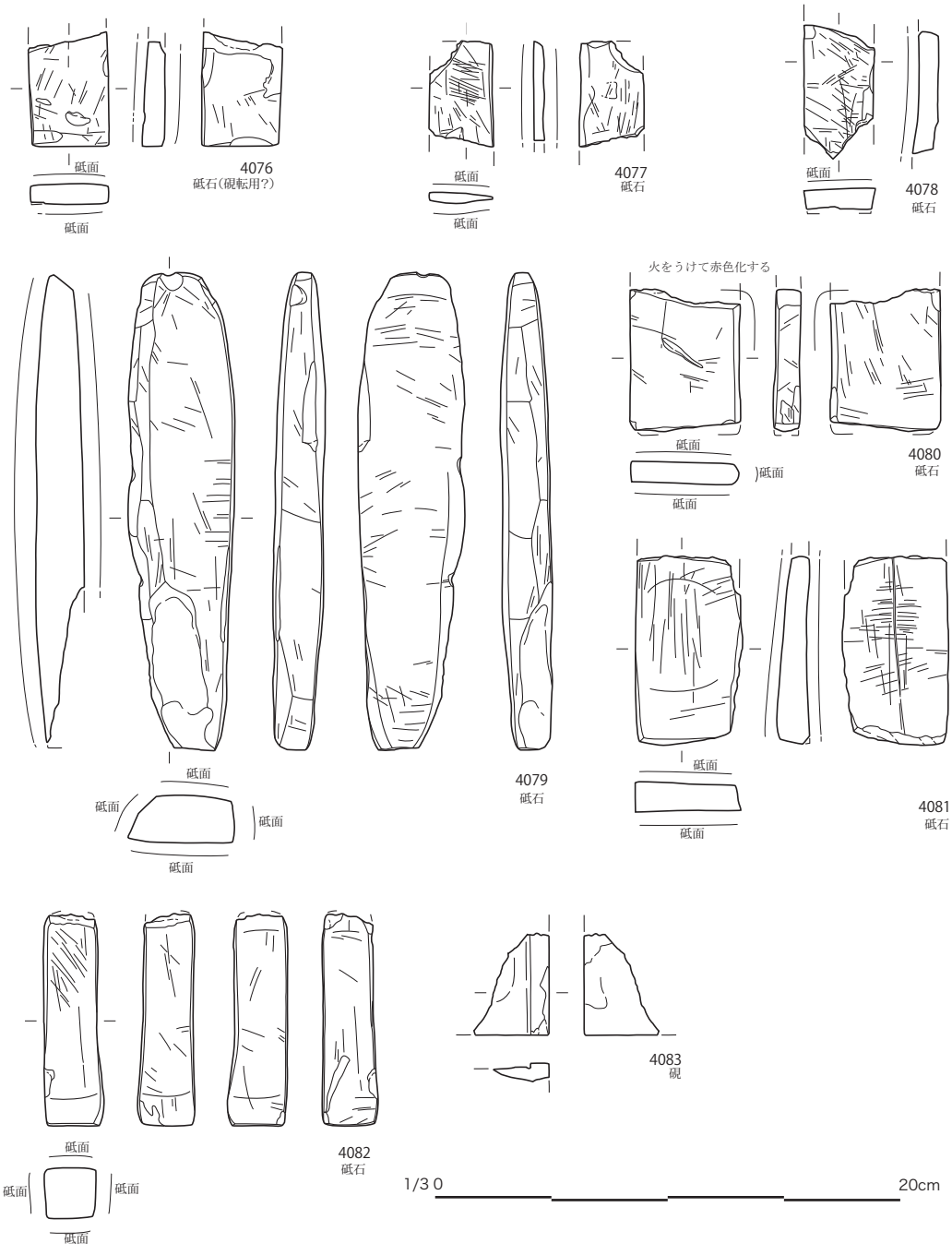
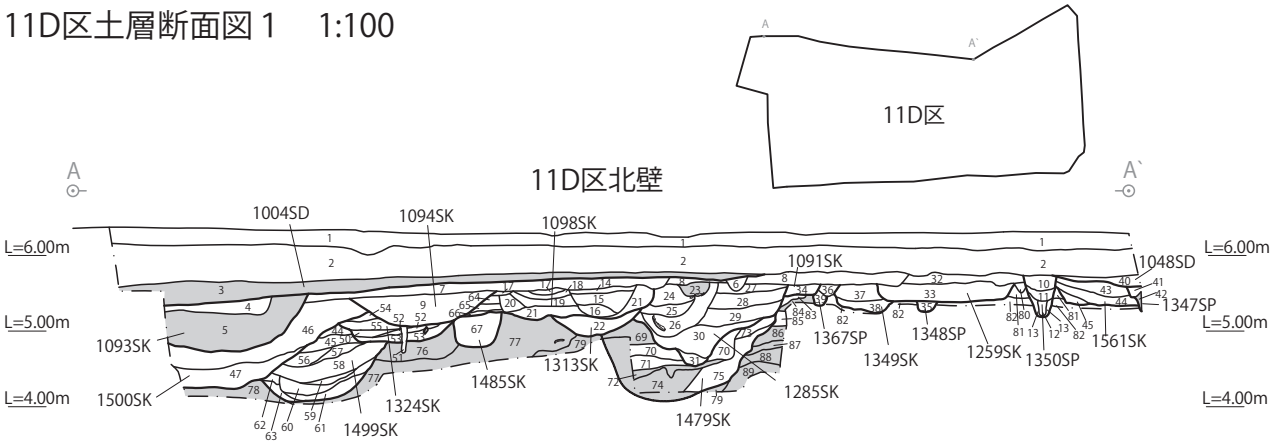


図 2-173　10D 区出土遺物実測図 -13（1:3）

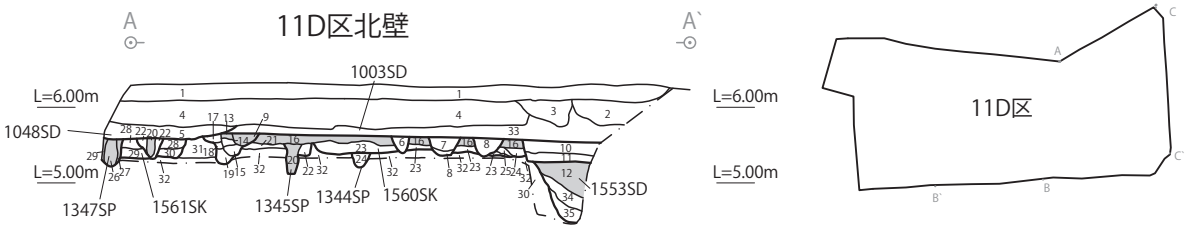
11D区土層断面図１　1:100



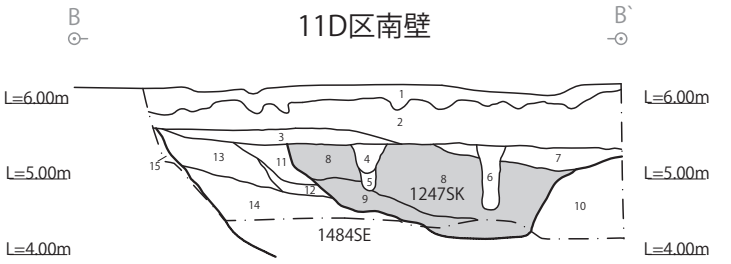
1. 10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト(表土)
2. 10YR4/4　褐色砂質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、耕作土)
3. 10YR5/4　にぶい黄褐色粘質細砂(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1004SD埋土)
4. 10YR4/6　褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1093SK土坑埋土)
5. 10YR3/1　黒褐色粘質微砂(炭化物・10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む、1093SK土坑埋土)
6. 10YR4/6　褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
7. 10YR5/1　褐灰色粘質シルト(10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む)
8. 10YR5/2　灰黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む)
9. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物・10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む)
10. 10YR4/6 褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
11. 10YR5/1 褐灰色粘質シルト(10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む)
12. 10YR5/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む)(1350SP)
13. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物・10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む)(1350SP)
14. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
15. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1098SK埋土)
16. 10YR3/3 暗褐色シルト質粘土(炭化物・焼土・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1098SK埋土)
17. 10YR5/1 褐灰色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、埋土)
18. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、埋土)
19. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土)
20. 10YR3/3 暗褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1098SK埋土)
21. 10YR4/6 褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、埋土)
22. 10YR6/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1313SK埋土)
23. 10YR3/1 黒褐色粘質微砂(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1285SK埋土)
24. 10YR4/1 褐灰色粘質シルト(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1285SK埋土)
25. 10YR3/3 暗褐色シルト質粘土(炭化物・10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1285SK埋土)
26. 10YR4/1 褐灰色粘質シルト(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1285SK埋土)
27. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1285SK埋土)
28. 10YR4/1 褐灰色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1285SK埋土)
29. 10YR3/2 黒褐色粘質シルト(炭化物・10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む、1285SK埋土)
30. 10YR3/3 暗褐色粘質シルト(炭化物・10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む、1285SK埋土)
31. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1285SK埋土)
32. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土)
33. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1559SK埋土)
34. 10YR4/1 褐灰色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1091SK埋土)
35. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1348SP埋土)
36. 10YR3/2 黒褐色シルト質粘土(炭化物・焼土・10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む、土坑埋土)
37. 10YR6/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1349SK埋土)
38. 10YR4/1 褐灰色粘質シルト(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1349SK埋土)
39. 10YR5/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1367SP埋土)
40. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
41. 10YR3/3 暗褐色シルト質粘土(炭化物・焼土・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土)
42. 10YR3/1 黒褐色粘質微砂(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1347SP埋土)
43. 10YR4/6 褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、埋土)
44. 10YR5/1 褐灰色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、埋土)
45. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、埋土)
46. 10YR3/3 暗褐色粘質粘土(炭化物・10YR7/4にぶい黄橙色粘質シルトブロック含む、1500SK土坑埋土)
47. 10YR5/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1500SK土坑埋土)
48. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1348SP埋土)
49. 10YR5/1 褐灰色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土)
50. 10YR6/1 褐灰色シルト質粘土(10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む、土坑埋土)
51. 10YR4/6 褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、埋土)
52. 10YR6/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1349SK埋土)
53. 10YR4/1 褐灰色粘質シルト(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1349SK埋土)
54. 10YR4/1 褐灰色シルト質粘土(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1499SK埋土)
55. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1499SK埋土)
56. 10YR5/1 褐灰色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1499SK埋土)
57. 10YR4/2 灰黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1499SK埋土)
58. 10YR4/1 褐灰色シルト質粘土(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1499SK土坑埋土)
59. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1499SK埋土)
60. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1499SK埋土)
61. 10YR4/1 褐灰色粘質シルト(炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1499SK埋土)
62. 10YR6/4 にぶい黄橙色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1499SK埋土)
63. 10YR4/1 褐灰色粘質シルト(炭化物・10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1499SK埋土)
64. 10YR5/6 黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む)
65. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
66. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
67. 10YR5/1 褐灰色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、土坑埋土)
68. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘質細砂(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
69. 10YR6/3 にぶい黄橙色シルト質極細砂(炭化物・10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む)
70. 10YR6/2 灰黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む)
71. 10YR6/3 にぶい黄橙色粘質シルト(10YR6/1褐灰色粘質シルトブロック含む)
72. 10YR5/1 褐灰色シルト質極細砂(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む)
73. 10YR5/2 灰黄褐色粘質シルト(炭化物・10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む)
74. 10YR5/6 黄褐色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む)
75. 10YR4/1 褐灰色粘質シルト(炭化物多量・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
76. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘質細砂(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
77. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質極細砂(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
78. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質極細砂(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
79. 10YR6/3 にぶい黄橙色シルト質極細砂(炭化物・10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む)
80. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1348SP埋土)
81. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む)
82. 10YR4/1 褐灰色粘質シルト(10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1091SK埋土)
83. 10YR6/3 にぶい黄橙色粘質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む)
84. 10YR5/3　にぶい黄褐色粘質細砂(地山)
85. 10YR6/4　にぶい黄橙色粘質シルト(地山)
86. 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト粘質細砂(地山)
87. 10YR6/4　にぶい黄橙色シルト質極細砂(地山)
88. 10YR5/6　黄褐色シルト質極細砂(地山)
89. 10YR5/2　灰黄褐色シルト質細砂(地山)

図 2-174　11D 区北壁土層断面図 -1（1:100）

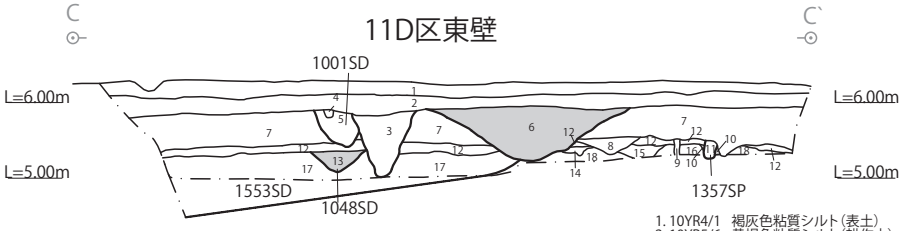
11D区土層断面図２　1:100



1. 10YR4/3　にぶい黄褐灰色粘質シルト（表土）
2. 10YR4/1　褐色粘質シルト（10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む、攪乱）
3. 10YR5/3　にぶい黄褐色粘質細砂（10YR5/2灰黄褐色シルトブロック含む、攪乱）
4. 10YR4/4　褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐灰色粘質シルトブロック含む）
5. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質細砂（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
6. 10YR5/4　にぶい黄褐色砂質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
7. 10YR5/4　にぶい黄褐色砂質シルト（10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む）
8. 10YR6/2　灰黄褐色シルト質粘土（10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む）
9. 10YR4/2　灰黄褐色シルト質細砂（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
10. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む）
11. 10YR4/1 褐灰色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
12. 10YR4/4 褐色粘質シルト細砂（10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む）
13. 10YR4/2 灰黄褐色シルト質細砂（10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む）
14. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
15. 10YR6/3 にぶい黄橙色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
16. 10YR4/2 灰黄褐色シルト質細砂（10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む）
17. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
18. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
19. 10YR6/3 にぶい黄橙色粘質シルト（10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む）
20. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘質細砂（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1345SP埋土）
21. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
22. 10YR5/2 灰黄褐色粘質シルト（10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1345SP埋土）
23. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
24. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土（炭化物・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1344SP埋土）
25. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む）
26. 10YR3/2 黒褐色粘質微砂（10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む、1347SP埋土）
27. 10YR3/1 黒褐色粘質微砂（10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む、1347SP埋土）
28. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む、1553SD埋土）
29. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘質細砂（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
30. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土（炭化物・焼土・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む、1553SD）
31. 10YR6/2 灰黄褐色粘質シルト（10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む）
32. 10YR6/3 にぶい黄橙色粘質シルト（地山）
33. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/3にぶい黄橙色粘質シルトブロック含む）
34. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む）
35. 10YR4/6 褐色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む）

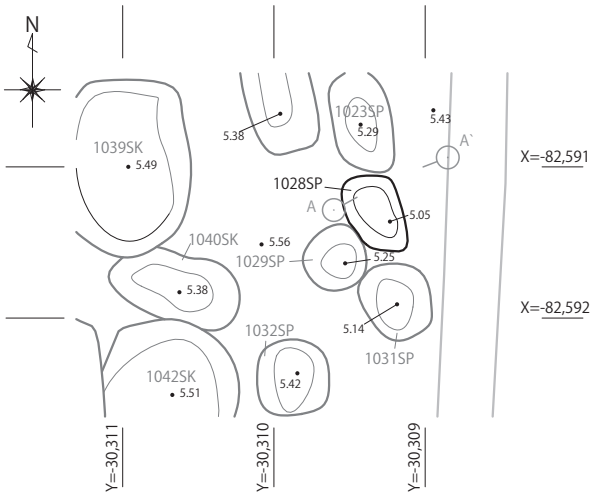


1. 10YR4/1　褐灰色粘質シルト（表土）
2. 10YR5/6　黄褐色粘質シルト（耕作土）
3. 10YR4/4　褐色粘質シルト（整地層）
4. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト（ピット埋土・10YR3/1黒褐色粘土ブロック含む）
5. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト（ピット埋土・10YR3/1黒褐色粘土ブロック含む）
6. 10YR3/2　黒褐色シルト質粘土（ピット埋土・10YR6/8明黄褐色粘土ブロック含む）
7. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む）
8. 10YR3/2　黒褐色粘質微砂（10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む）
9. 10YR5/3　にぶい黄褐色粘質細砂（10YR5/2灰黄褐色シルトブロック含む）
10. 10YR3/2 黒褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
11. 10YR4/1 褐灰色シルト質粘土（10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む）
12. 10YR3/4 暗褐色粘質シルト（炭化物・10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む）
13. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト（炭化物・10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む）
14. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（炭化物・10YR6/8明黄褐色シルトブロック含む）
15. 10YR6/8 明黄褐色粘質シルト（地山）

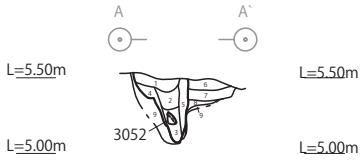


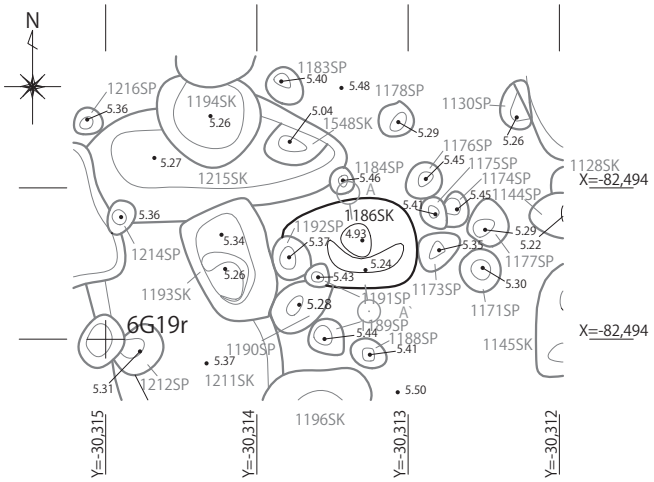
1. 10YR4/1　褐灰色粘質シルト（表土）
2. 10YR5/6　黄褐色粘質シルト（耕作土）
3. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト（10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む）
4. 10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト（10YR4/1褐灰色粘質シルトブロック含む）
5. 10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト（1001SD埋土・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
6. 10YR4/6　褐色シルト質細砂（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
7. 10YR4/4　褐色粘質シルト（10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む）
8. 10YR3/2　黒褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
9. 10YR3/2　黒褐色粘質シルト（10YR5/2灰黄褐色粘質シルトブロック含む）
10. 10YR3/3 暗褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
11. 10YR3/2 黒褐色粘質シルト（1357SP埋土・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
12. 10YR3/4 暗褐色粘質シルト（10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック含む）
13. 10YR4/2 灰黄褐色シルト質細砂（1048SD埋土・10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
14. 10YR3/3 暗褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
15. 10YR4/4 褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
16. 10YR3/2 黒褐色粘質シルト（10YR6/8明黄褐色粘質シルトブロック含む）
17. 10YR6/6 明黄褐色シルト質粘土
18. 10YR7/6 明黄褐色シルト質粘土（地山）

図 2-175　11D 区北壁 -2/ 南壁・東壁土層断面図（1:100）

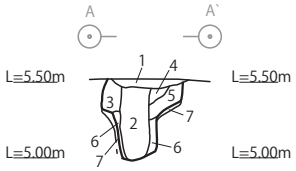


1028SP(6G19s)





1186SK(6G18r)



1. 10YR6/4 にぶい黄橙色粘質シルト
2. 10YR3/2 黒褐色粘質シルト（10YR5/6黄褐色粘土10YR5/1褐灰色粘土φ2～3cm大含む）
3. 10YR2/3 黒褐色シルト質粘土(10YR5/1褐灰色粘土φ1cm大ブロック含む)
4. 10YR3/2 黒褐色シルト質粘土(10YR5/6黄褐色粘土10YR5/1褐灰色粘土φ2～3cm大ブロック含む)
5. 10YR3/3 暗褐色粘質シルト
6. 10YR3/2 黒褐色粘質シルト
7. 10YR4/4 褐色粘質シルト
8. 10YR5/6 黄褐色粘質シルト
9. 10YR5/6 黄褐色粘質シルト

1. 10YR3/2 黒褐色シルト質粘土（10YR7/8黄色粘土ブロック5mm大含む）
2. 10YR3/1 黒褐色シルト質粘土（10YR3/1黒褐色粘土ブロック1cm大、炭化物含む）
3. 10YR3/3 暗褐色シルト質粘土（10YR7/8黄色粘土ブロック1cm大含む）
4. 10YR4/2 灰黄褐色シルト質粘土（10YR6/6明黄褐色粘土ブロック含む）
5. 10YR4/4 褐色シルト質粘土（10YR7/8黄橙色シルト多く含む）
6. 10YR6/8 明黄褐色シルト質粘土（10YR4/4褐色シルトブロック含む）
7. 10YR6/8 明黄褐色粘土（地山）

11D-1028SP



土師器　非ロクロ皿

11D-1186SK



土師器　非ロクロ皿

図 2-176　11D 区 1028SP・1186SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

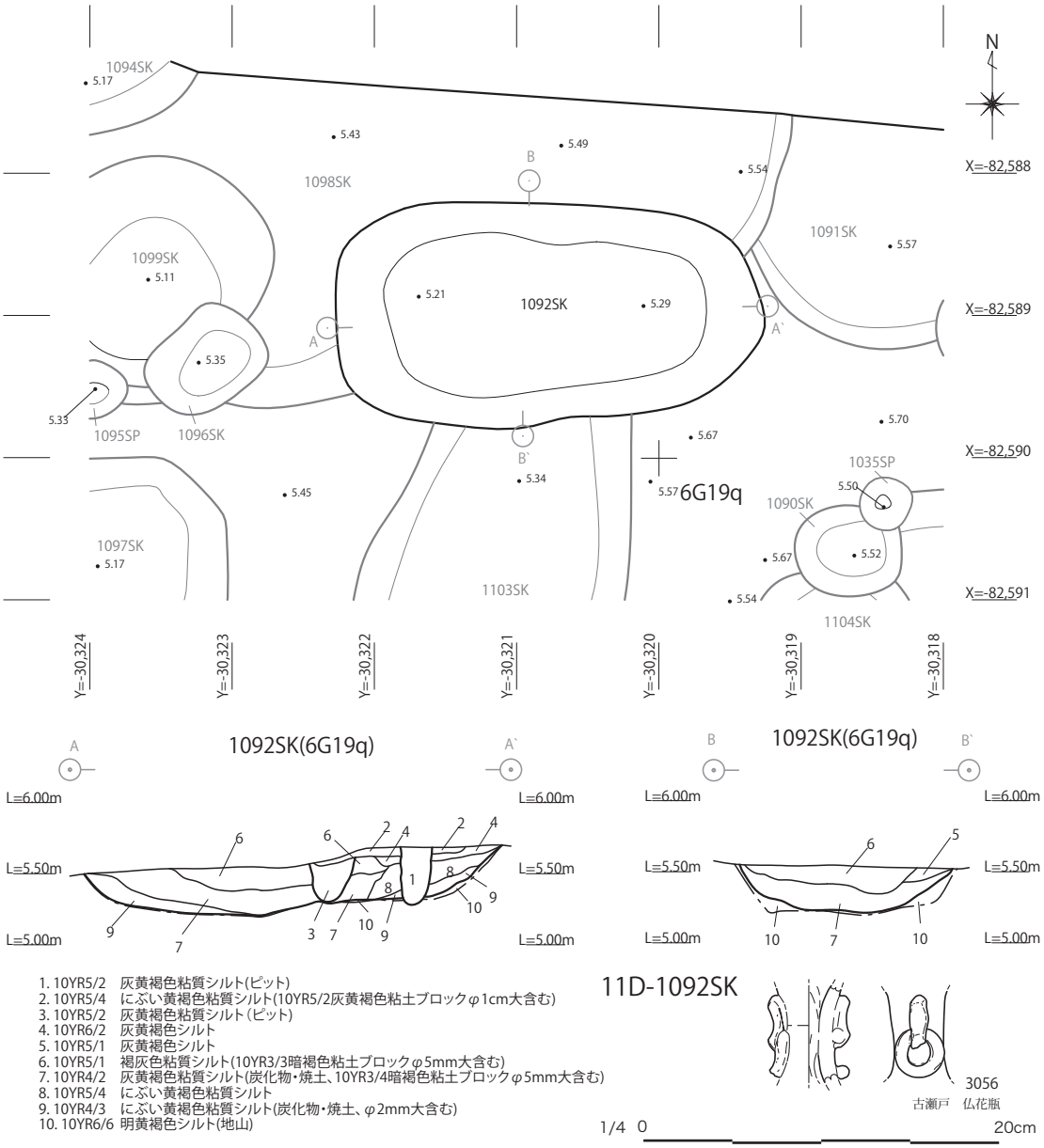


図 2-177 11D 区 1092SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

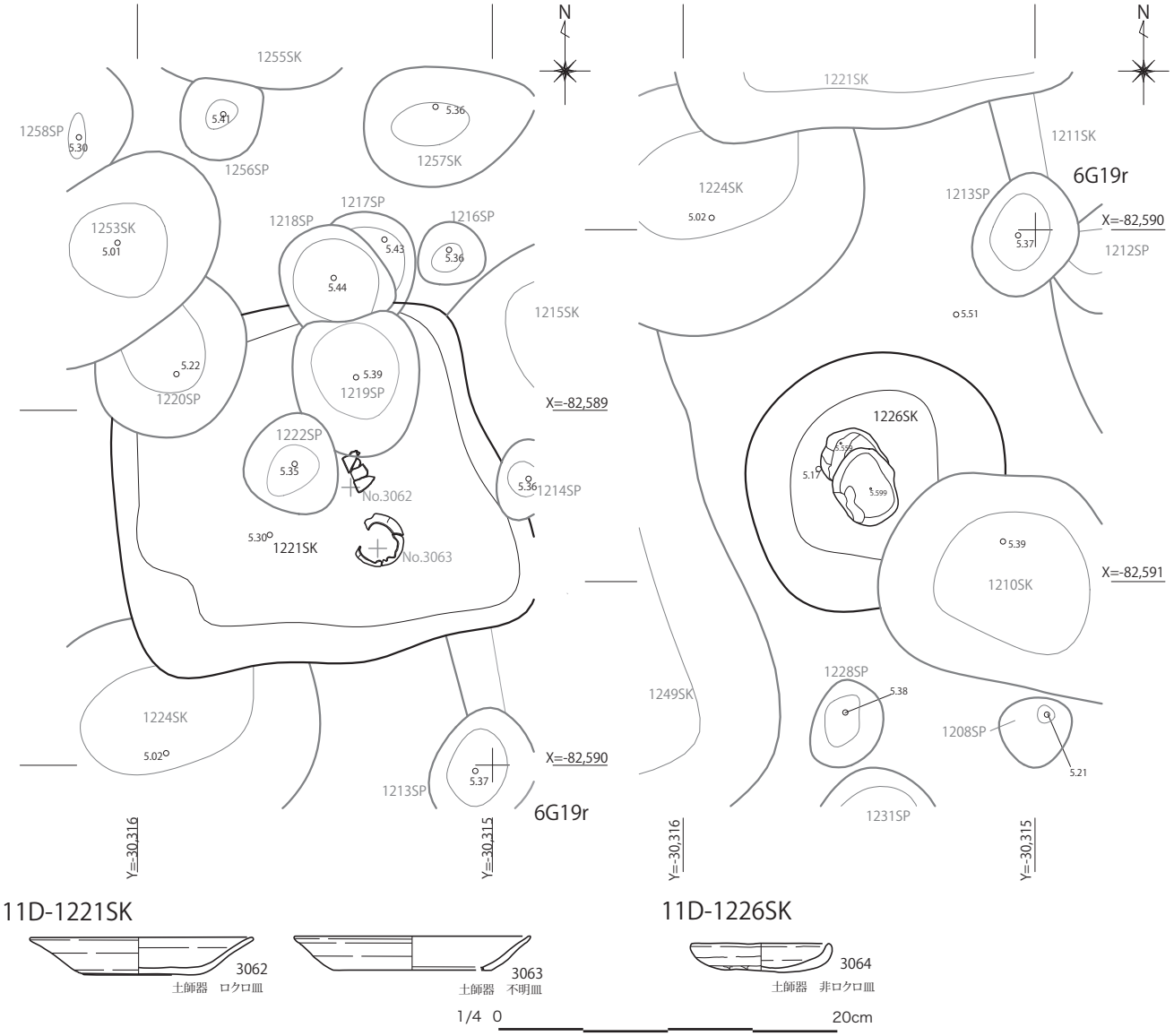


図 2-178　11D 区 1221・1226SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

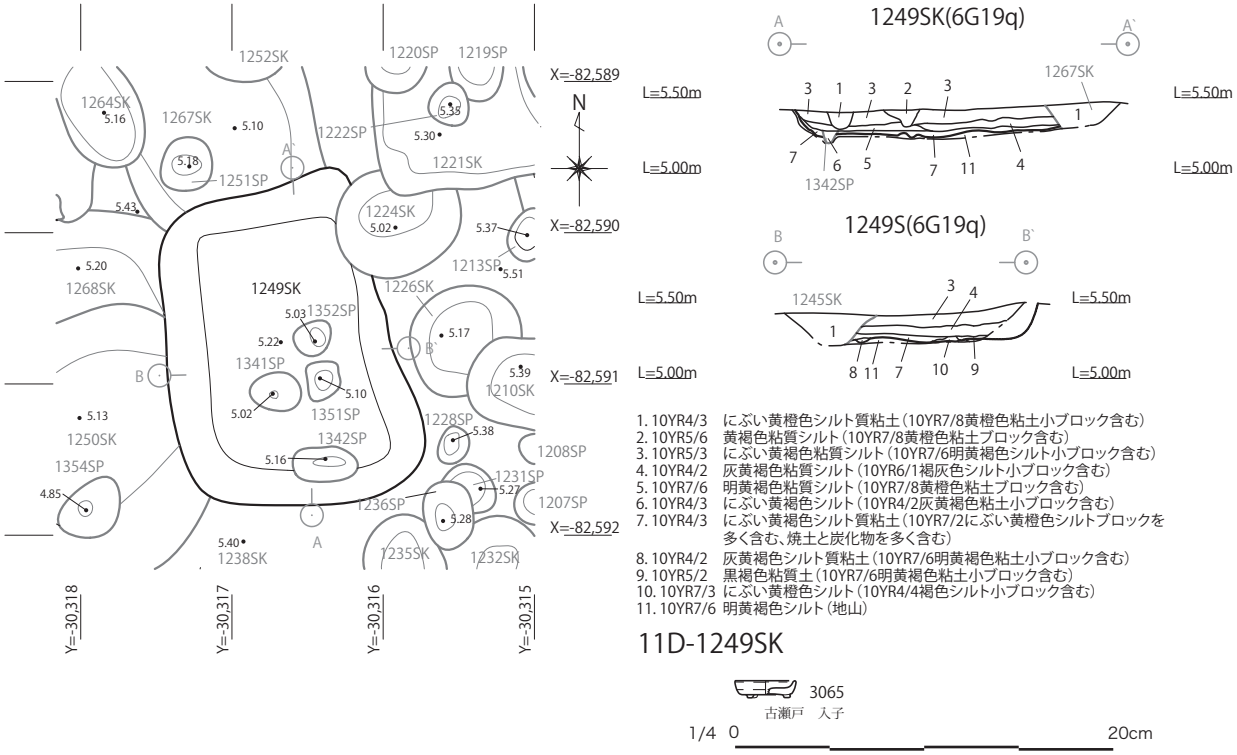


図 2-179　11D 区 1249SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

11D-1324SK

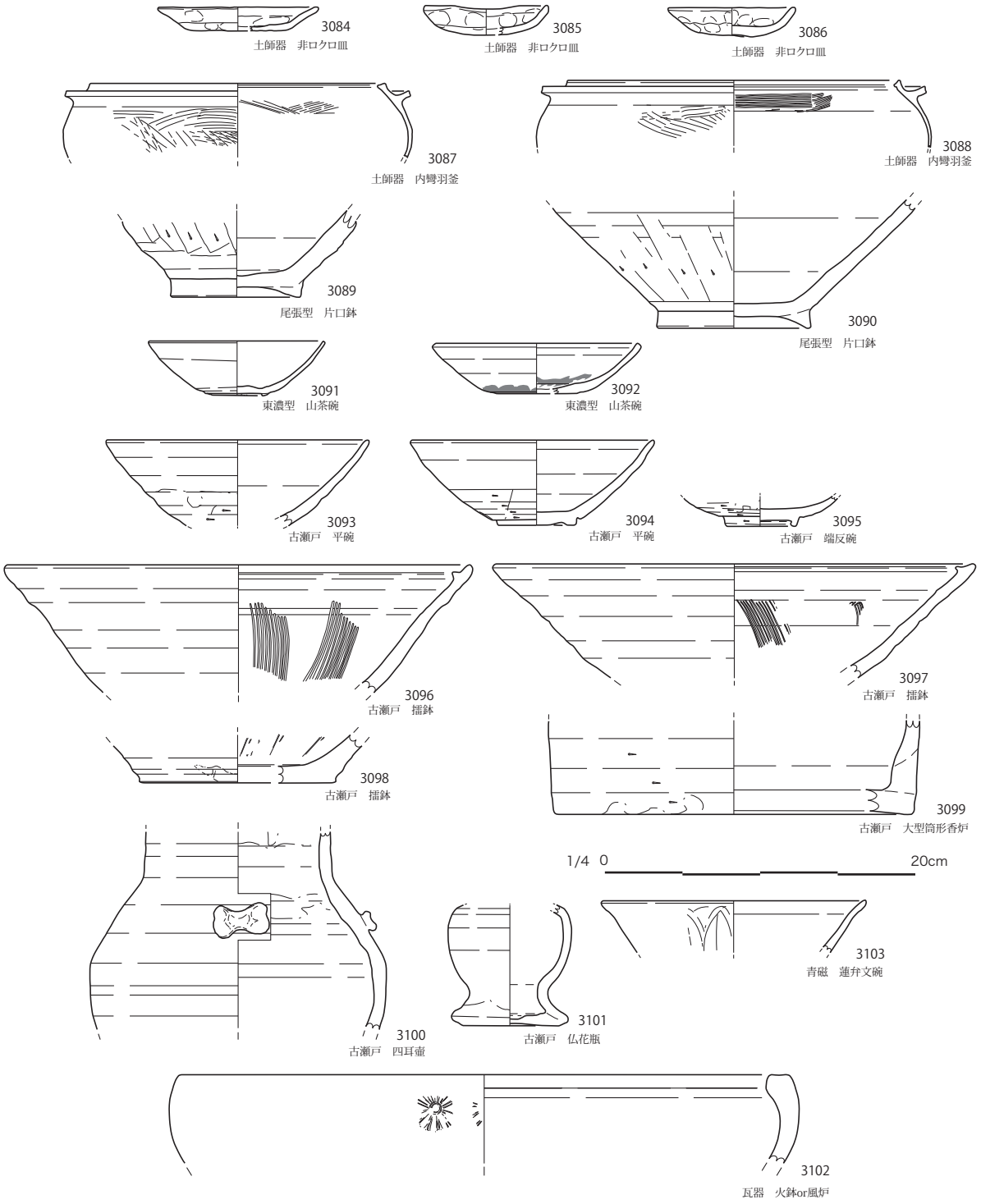


図 2-180　11D 区 1324SK 出土遺物実測図（1:4）

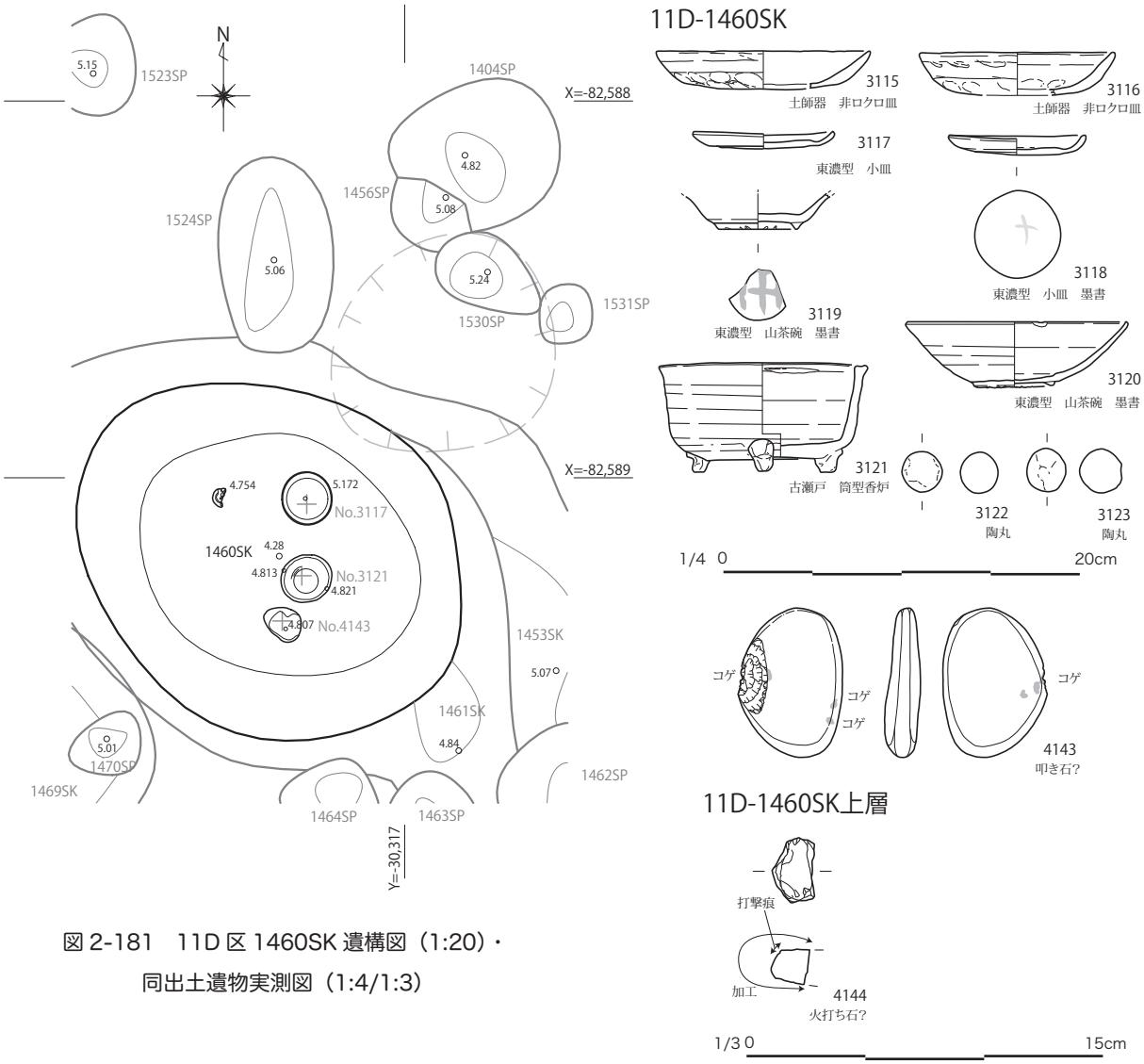


図 2-181　11D 区 1460SK 遺構図（1:20）・
同出土遺物実測図（1:4/1:3）

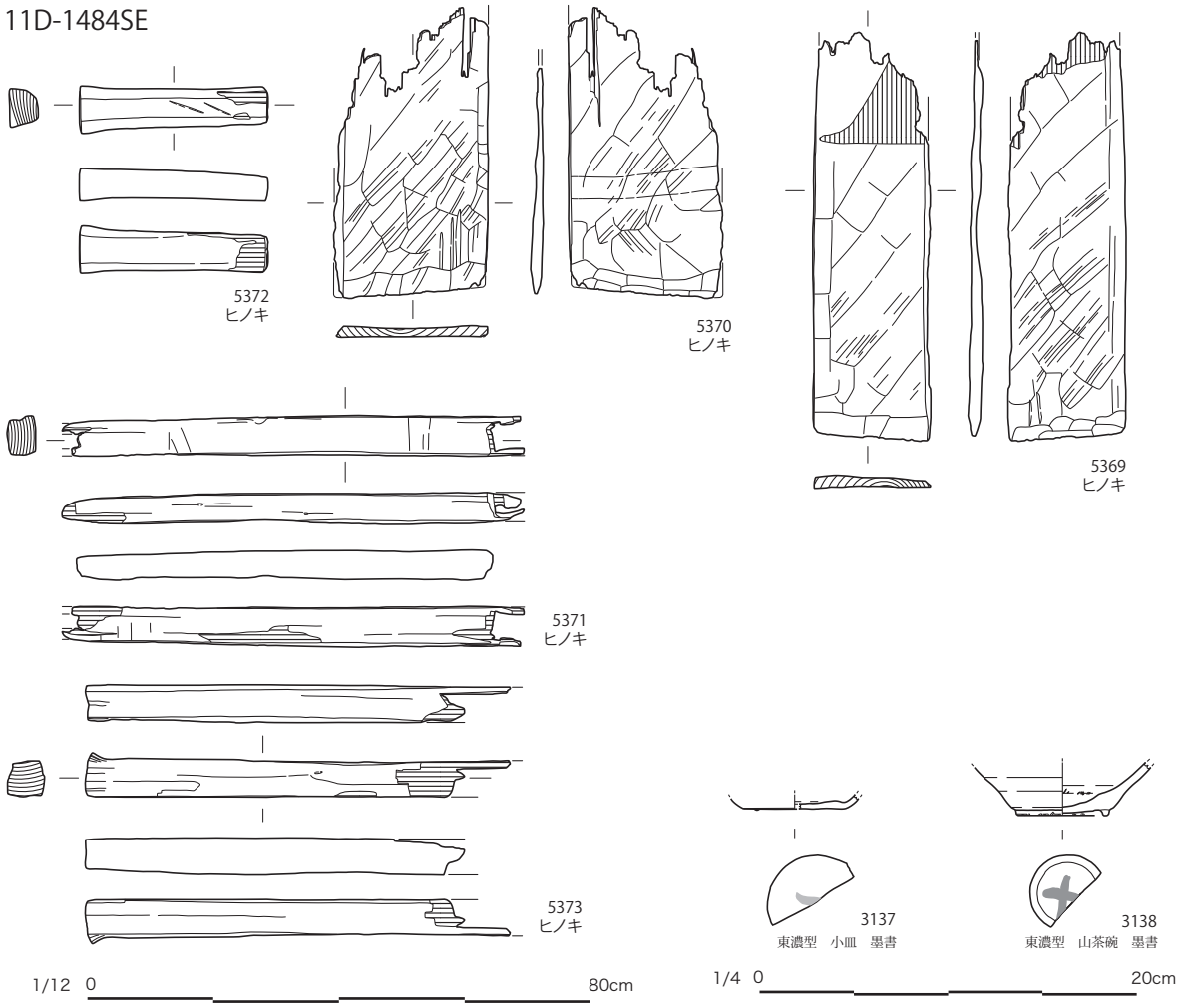
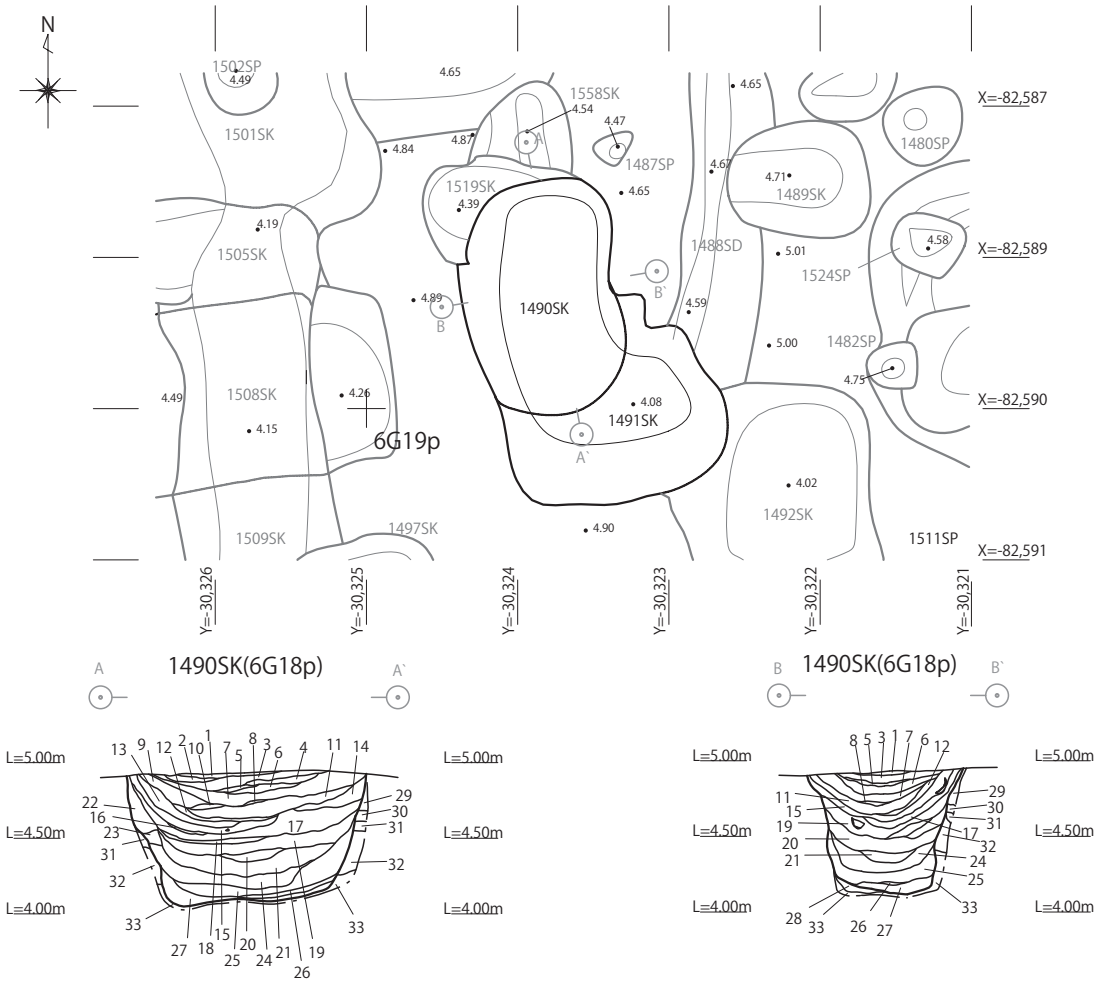


図 2-182　11D 区 1484SE 出土井戸枠材（1:12）・出土遺物（1:4）実測図



1. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト（炭化物多量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
2. 10YR2/1 黒色粘質シルト（炭化物層、少量の10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（炭化物微量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
4. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト（炭化物微量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
5. 10YR5/2 灰黄褐色粘質シルト（炭化物多量、10YR6/6にぶい明黄褐色シルトブロック含む）
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（炭化物微量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
7. 10YR4/3 灰黄褐色粘質シルト（炭化物微量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
8. 10YR5/2 灰黄褐色粘質シルト（炭化物多量、10YR6/6にぶい明黄褐色粘質シルトブロック含む）
9. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（炭化物微量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
10. 10YR2/1 黒色粘質シルト（炭化物層、少量の10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
11. 10YR3/2 黒褐色粘質シルト（炭化物多量、10YR6/6にぶい明黄褐色シルトブロック含む）
12. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（炭化物層、少量の10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
13. 10YR3/2 黒褐色粘質シルト（炭化物層、少量の10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
14. 10YR3/1 黒褐色粘質シルト（炭化物多量、10YR6/6にぶい明黄褐色シルトブロック含む）
15. 10YR3/3 暗褐色粘質シルト（炭化物少量、10YR6/6にぶい明黄褐色シルトブロック含む）
16. 10YR2/2 黒褐色粘質シルト（炭化物層、少量の10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
17. 10YR3/1 黒褐色粘質シルト（炭化物多量、10YR6/6にぶい明黄褐色シルトブロック含む）
18. 10YR2/1 黒色粘質シルト（炭化物層、少量の10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
19. 10YR3/3 暗褐色粘質シルト（炭化物少量、10YR7/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
20. 10YR3/1 黒褐色粘質シルト（炭化物多量、10YR6/6にぶい明黄褐色シルトブロック含む）
21. 10YR3/2 黒褐色粘質シルト（炭化物微量、10YR7/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
22. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト（炭化物微量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
23. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト（炭化物微量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
24. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土（炭化物微量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
25. 10YR4/2 灰黄褐色シルト質粘土（炭化物微量、10YR6/6にぶい黄橙色シルトブロック含む）
26. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト（炭化物微量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
27. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質粘土（炭化物微量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
28. 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト（炭化物微量、10YR6/4にぶい黄橙色シルトブロック含む）
29. 10YR7/6 明黄褐色粘質シルト（地山）
30. 10YR6/6 明黄褐色粘質シルト（地山）
31. 10YR6/8 明黄褐色シルト質粘土（地山）
32. 10YR5/8 黄褐色粘質微砂（地山）
33. 10YR6/8 明黄褐色粘質微砂（地山）

図 2-183　11D 区 1490SK 遺構図（1:50）

11D-1490SK

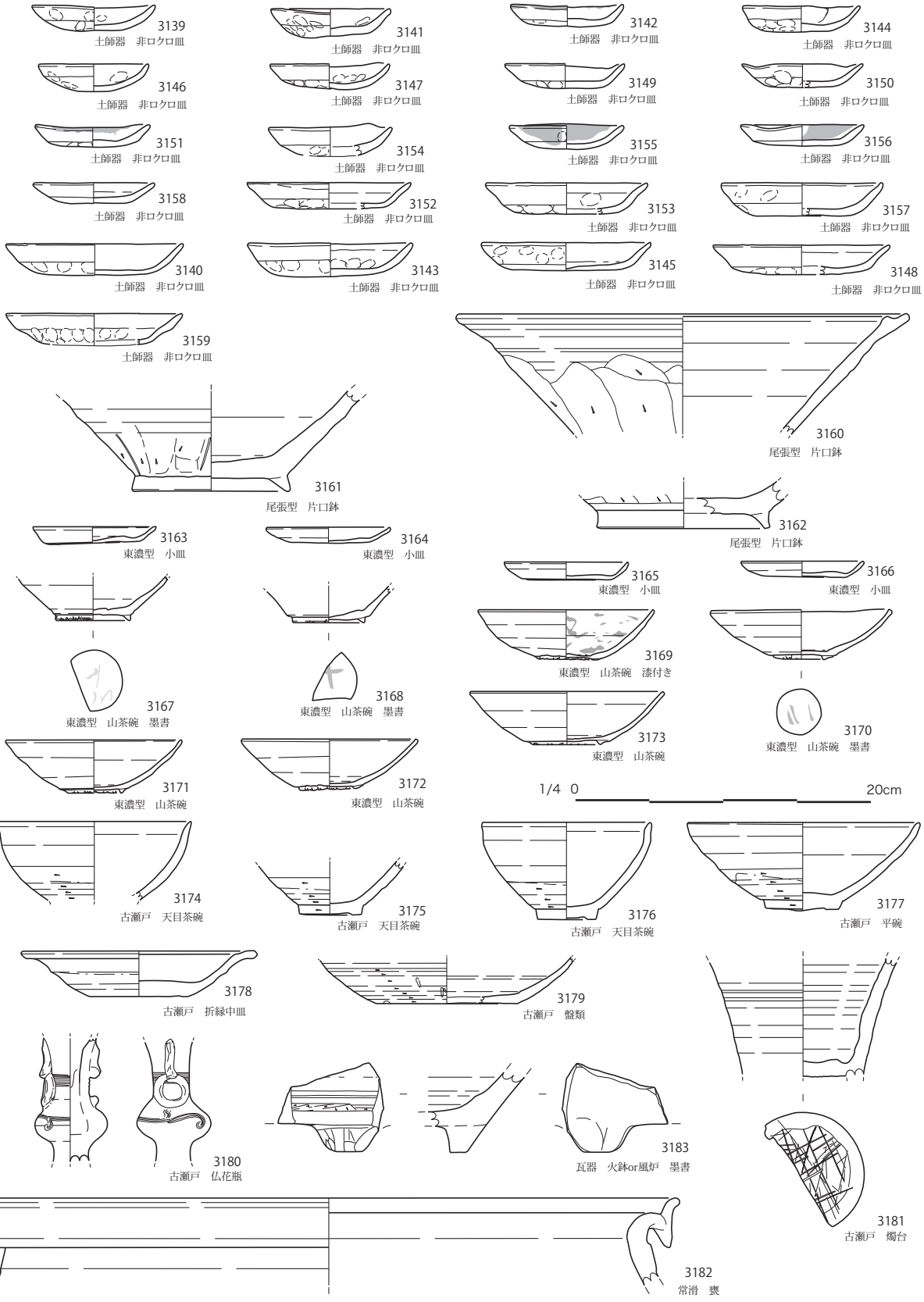


図 2-184　11D 区 1490SK 出土遺物実測図（1:4）

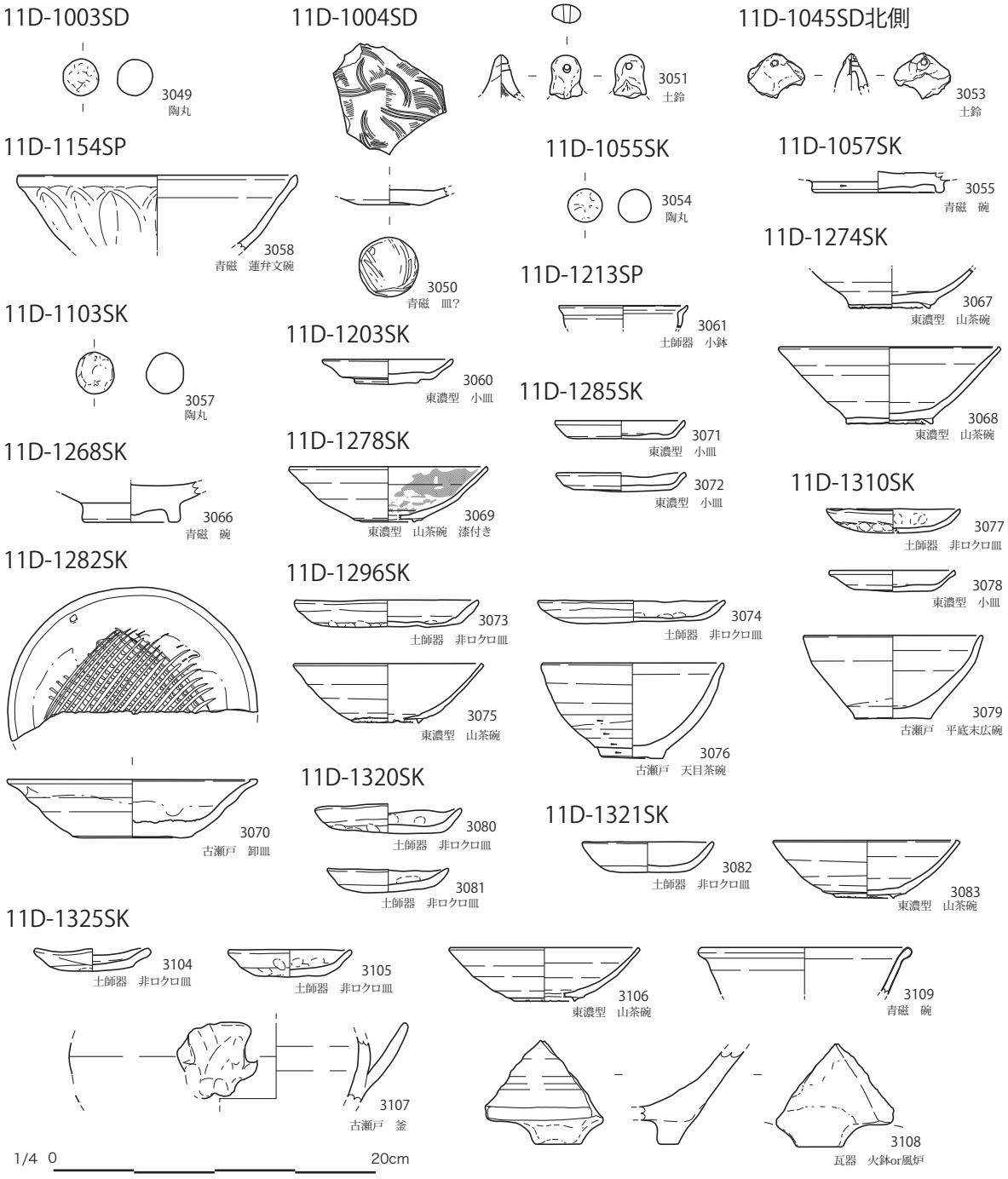


図 2-185　11D 区出土遺物実測図 -1（1:4）

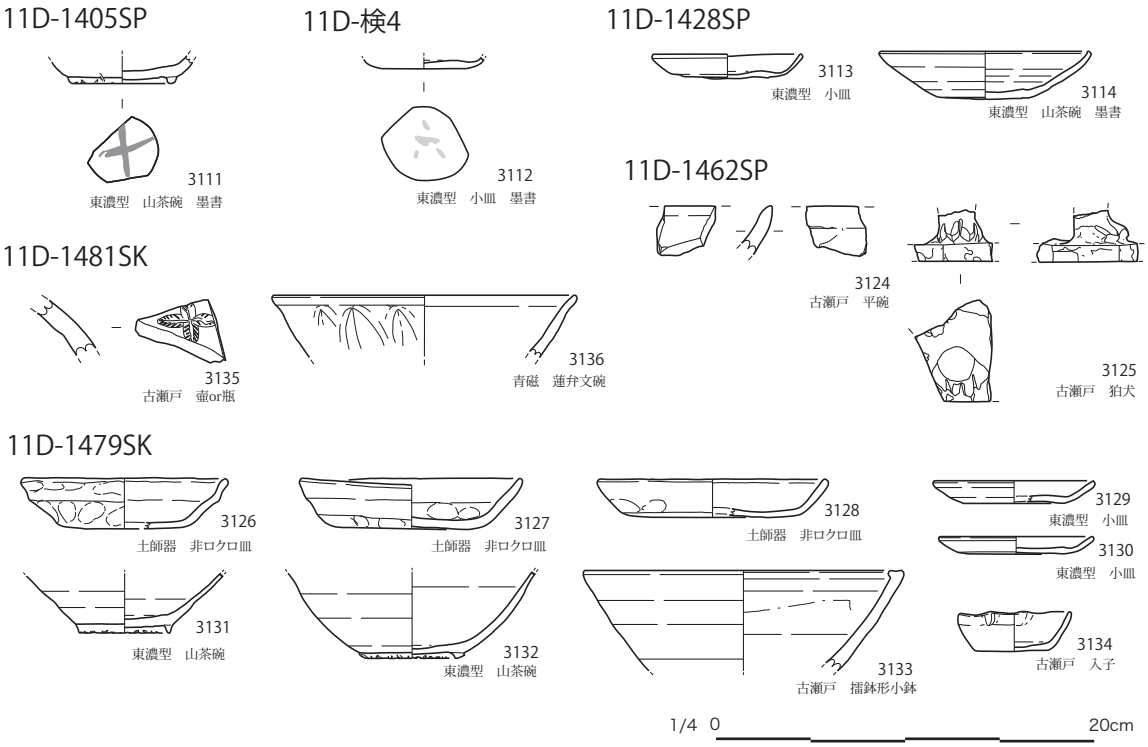
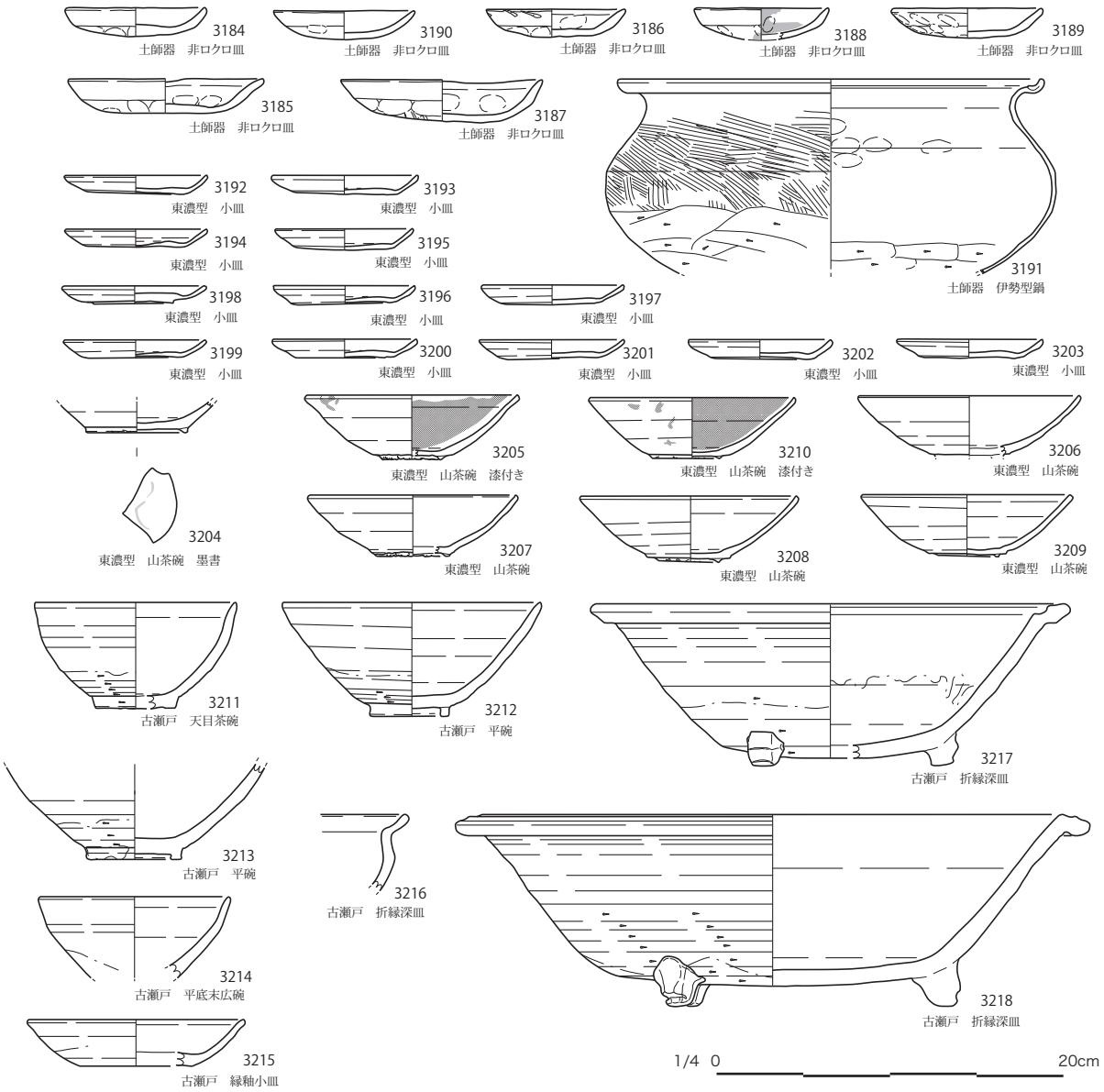


図 2-186　11D 区出土遺物実測図 -2（1:4）

11D-1491SK



11D-1494SK

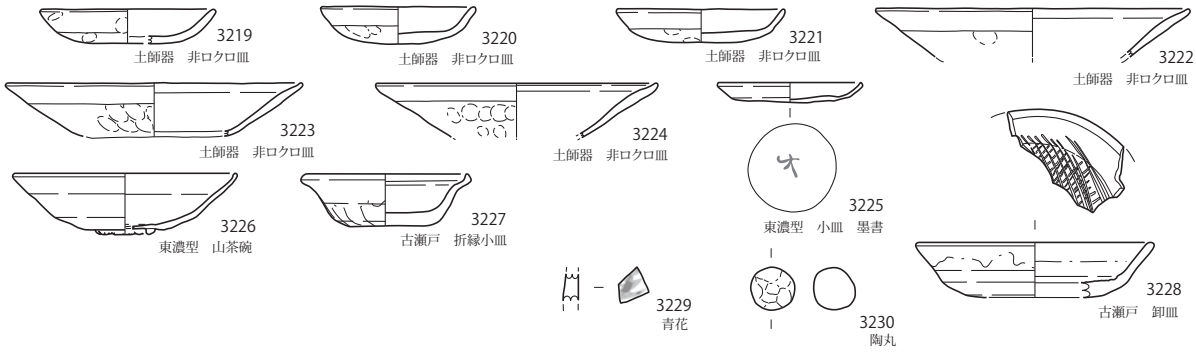


図 2-187　11D 区出土遺物実測図 -3（1:4）

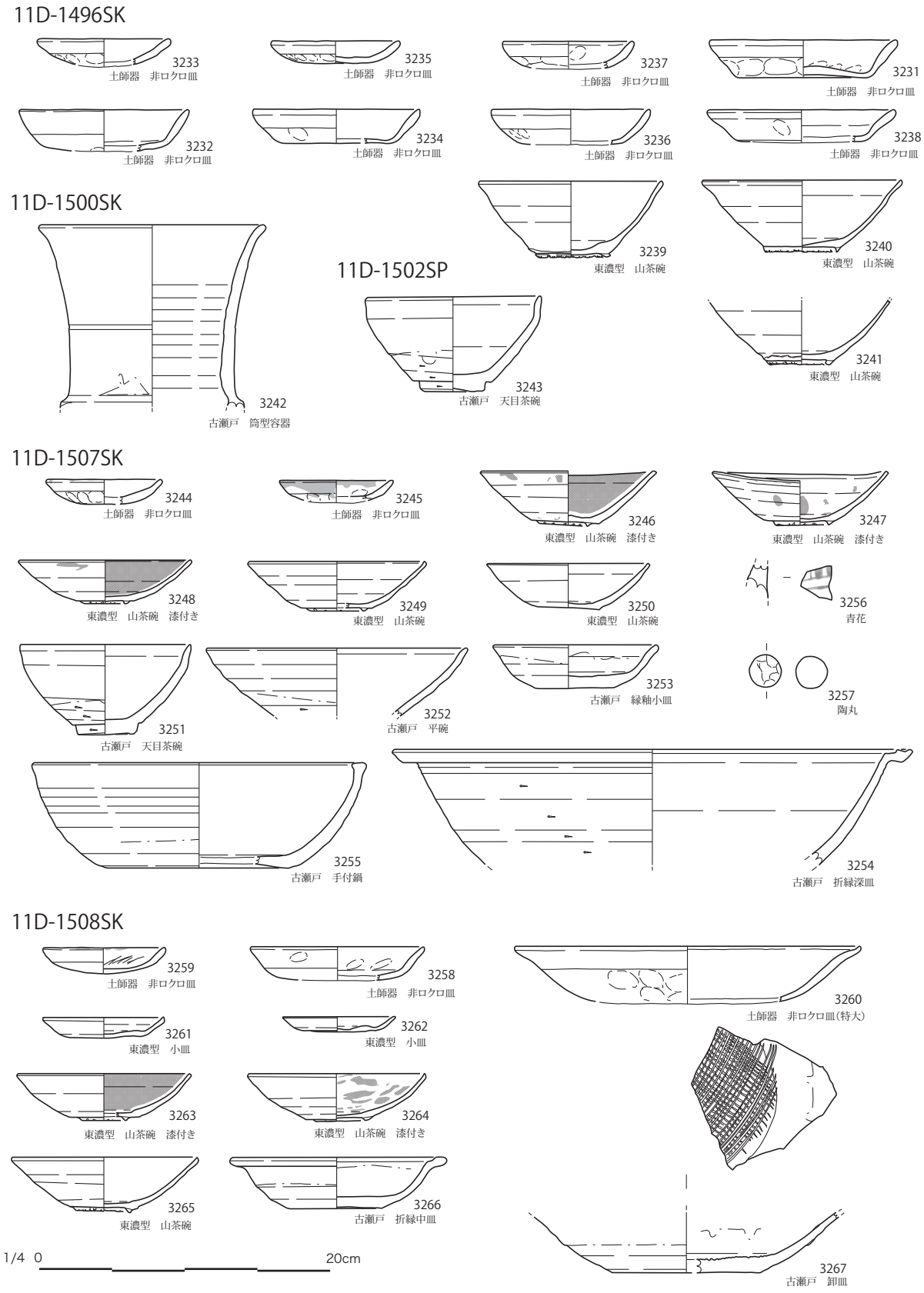


図 2-188　11D 区出土遺物実測図 -4（1:4）

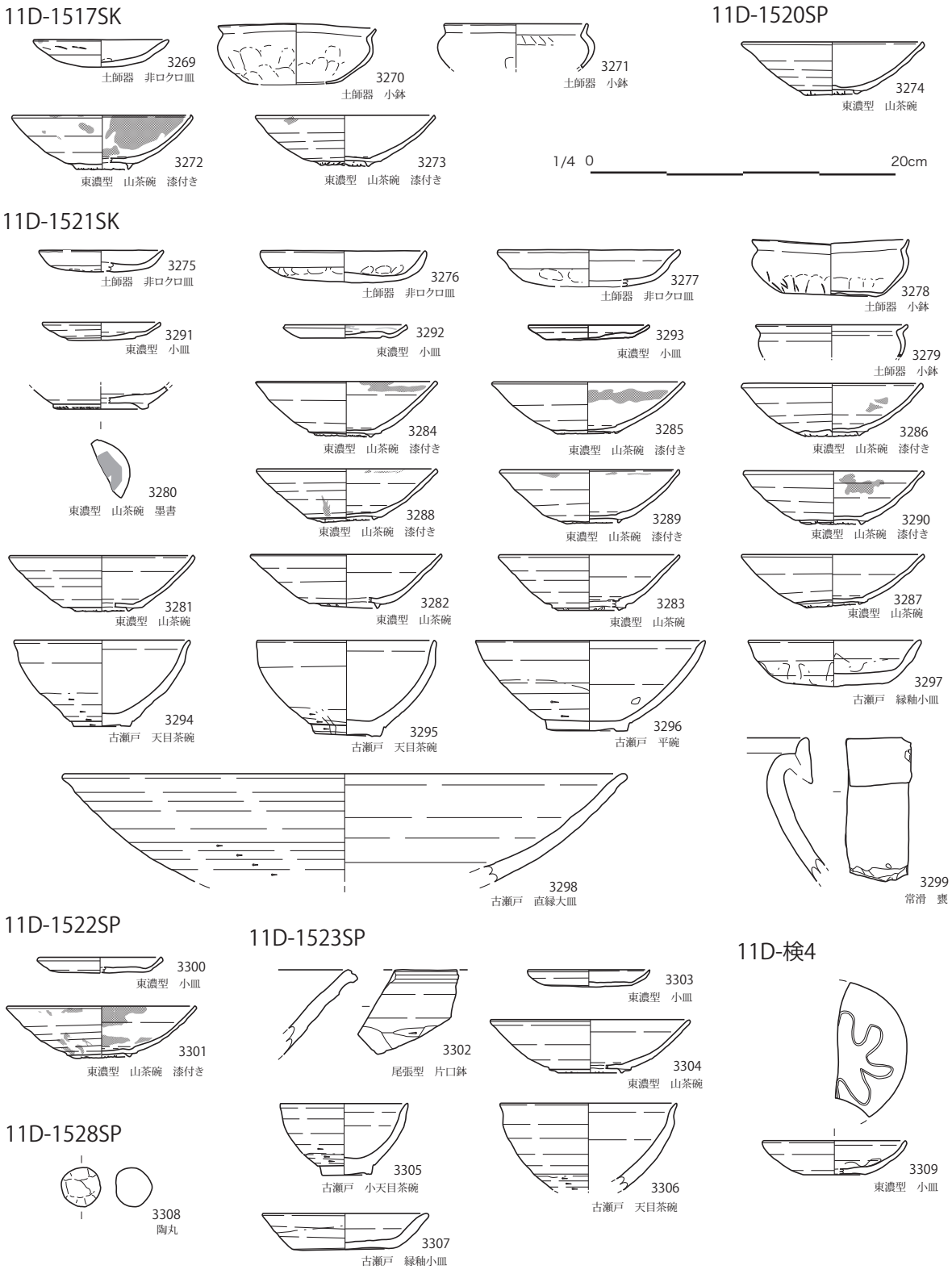


図 2-189　11D 区出土遺物実測図 -5（1:4）

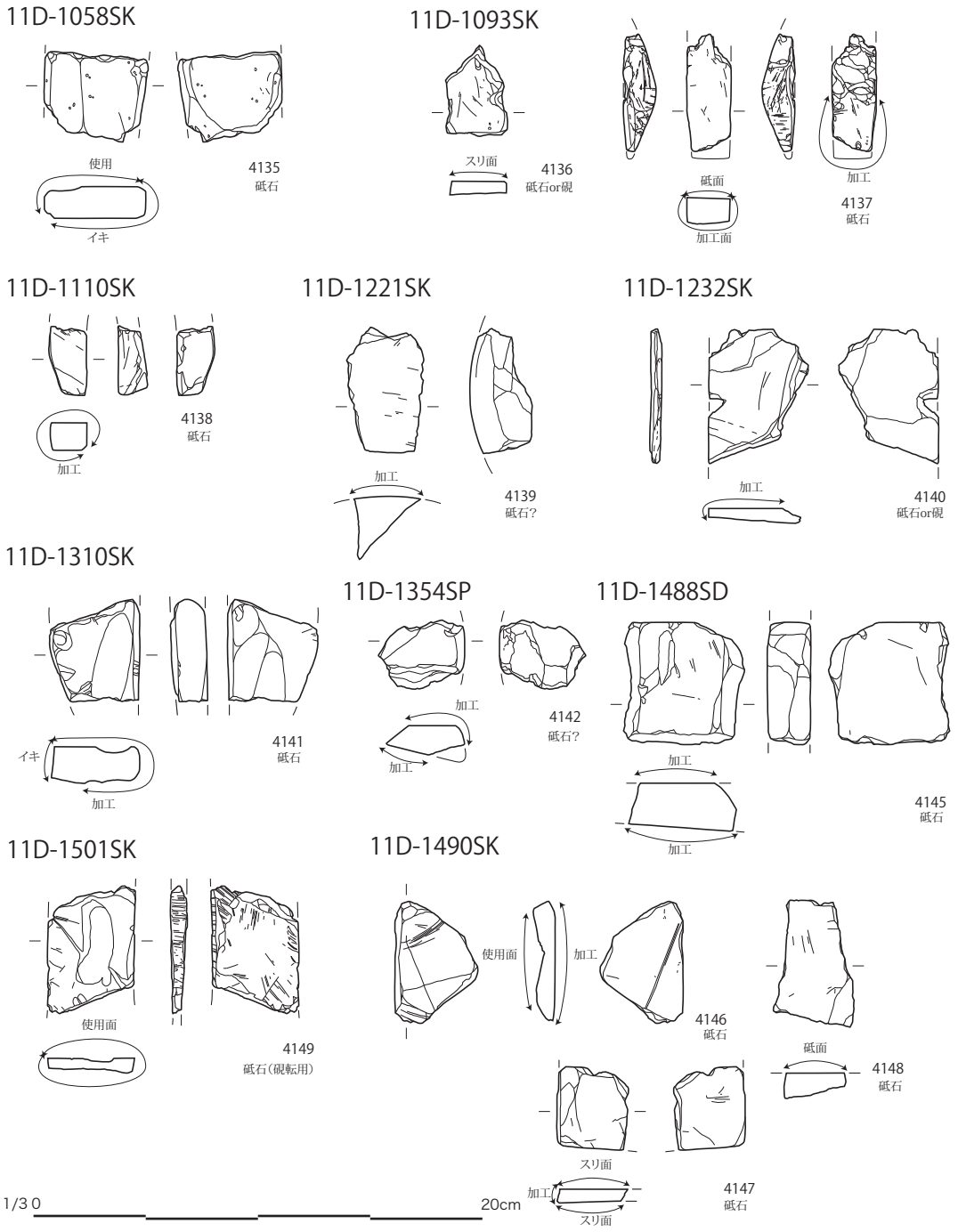


図 2-190　11D 区出土遺物実測図 -6（1:3）

6．E区

E区は10Ea～Ee区の5調査区からなっている。うち、10Ee区はやや南に離れた県道との交差点の調査区で、試掘に近い小面積の調査であったため、めだった遺構は確認されていない。

遺構面は10Ec区で3面、10Ea・Eb・Ec区で2面を数える（図2-190～192）。このEa～Ed区の土層断面図（図2-194～198）をみると、遺跡の基盤層はすべて砂層で、各所に洪水性の堆積が認められる。

この調査区では当初より地籍図からの検討で、10Ea・Ec区において鎌倉街道（京-鎌倉往還道）を検出することが最大の目的であった。果たして、10Ea・Ec区の西半部がある段階で鎌倉街道の路面として整備されたことを確認した。さらに10Ec区では、前段階に存在した井戸を埋め立て、その上に盛り土で造成していることがわかった。

まずは造成の過程をみてみよう。図2-200が、鎌倉街道の方向（南北）にほぼ直交して設定されたセクションベルトの土層断面である。2基の桶組み井戸0900・0901SE（0901SEが古く、0900SEが新しい）の最上段井戸枠を抜き取って埋め立て（0665SK）、その上から盛り土を施し

表2-15　E区遺構一覧-1

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Ea	0017	SK	土師器ロクロ皿	2360		16c？	1面	6H18d	82	56	9	楕円形	弧状
10Ec	0076	SK	東濃型山茶碗墨書	2361			1面	7H3h	43	21	23	楕円形	弧状
10Ec	0099	SP	東濃型山茶碗	2362	生田	15c第3四半期～第4四半期	1面	6H20e	45	-	48	半円	弧状
10Ec	0106	SK	中国産青磁盤	2363			1面	7H3h	69	50	30	楕円形	弧状
10Ec	0110	SK	土師器非ロクロ皿　銭貨多数	2364～2370		15c？	1面	7H3h	60	49	10	隅丸方形	弧状
10Ec	0115	SK	砥石or硯　椀型滓	4086			1面	7H1f	68	49	9	隅円方形	弧状
10Ec	0156	SP		2371～2374	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	7H3i	35	-	17	円形	弧状
10Ec	0171	SK	東濃型小皿墨書　常滑甕　釘	2375・2376			1面	7H3i	138	103	55	方形	弧状
10Ec	0248	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸（天目茶碗　縁釉小皿）　小型丸瓦　釘　含鉄遺物	2377～2385	大畑大洞古・後Ⅱ期・後Ⅲ期	13c第4四半期～14c第1四半期・14c第4四半期・15c第1四半期	1面	7H3h	200	178	135	方形	弧状
10Ec	0268	SP	東濃型小皿墨書　中国産青磁蓮弁文碗	2386・2387	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	2面	7H3h	50	44	10	楕円形	弧状
10Ec	0284	SP	東濃型　小皿　墨書	2388	大洞東	14c第4四半期～15c第1四半期	3面	6H20g	47	28	16	楕円形	弧状
10Ec	0289	SP	土師器（非ロクロ皿　非ロクロ皿外型）　古瀬戸（天目茶碗　卸皿）　椀型滓　含鉄遺物	2389～2393	後Ⅲ期	15c第1四半期	4面	6H20h・20i	65	41	48	楕円形	弧状
10Ea 10Ec	0290	SD	土師器（内鬱羽釜　釜　内耳鍋）　東濃型（小皿　小皿墨書　小碗墨書　山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸（折縁深皿　卸目付大皿　四耳壺）　常滑甕　中国産青磁碗　小型軒丸瓦	2394～2412	白土原～明和・中Ⅱ期・中野9型式・生田	13c第2四半期～第3四半期・14c第1四半期・15c第1四半期～第4四半期							
10Ea 10Ec	0300	SD	土師器（非ロクロ皿　ロクロ皿　内鬱羽釜　釜　内耳鍋）　尾張型片口鉢　東濃型（小皿　小皿墨書　山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸（天目茶碗　平碗　端反碗　平底末広碗　縁釉小皿　折縁小皿　折縁深皿　中皿　卸皿　卸皿大　卸目付大皿　盤類　柄付片口　筒形容器　大型筒形香炉　四耳壺　瓶類　合子耳付き蓋　仏供　内耳鍋）　瀬戸志野皿　常滑（鉢　甕）　瓦器火鉢（コンロ）　中国産（白磁碗　青磁蓮弁文碗　青磁碗）　陶丸　丸瓦　砥石　炉壁　椀型滓　含鉄遺物　鉄塊系遺物	2413～2492・4087～4092	明和～生田・前Ⅲ～後Ⅳ期古・中野10型式・大窯4期後半	13c第2四半期～15c第4四半期・17c初頭	1面	6H18e・19e	不明	不明	100	溝	U字状
10Ec	整地層		土師器（ロクロ皿　伊勢型鍋　内鬱羽釜）　東濃型（小皿　小皿墨書　山茶碗墨書）　古瀬戸（小杯　天目茶碗　灰釉天目茶碗　平碗　縁釉小皿墨書　中皿墨書　折縁小皿　折縁中皿墨書　折縁深皿　卸皿　桶？　合子　尊式花瓶　四耳壺　蓋　盤類墨書　仏供　燭台）　常滑甕　美濃須衛水注　平瓦　砥石　硯　砥石or硯　銭貨　銅製金具　釘　羽口　椀型滓　流動滓　含鉄遺物　鉄塊系遺物	2875～2984・4120～4131	窯洞～後Ⅳ期古	13c第1四半期～15c第2四半期		7H1～3d～h					

表 2-16　E 区遺構一覧 -2

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Ec	0305	SK	砥石　銅製金具　釘　含鉄遺物	4093			1面	7H3g・3f	174	126	10	方形	弧状
10Ec	0322	SK	碁石？	4094			1面	7H3i	55	-	11	楕円形	弧状
10Ea	0325	SK	土師器内耳鍋	2493		15c？	2面	6H18 c	56	53	20	円形	弧状
10Ec	0334	SP	古瀬戸折縁中皿	2494	中Ⅰ～Ⅱ期	14c第1四半期	1面	7H1e	43	-	26	円形	弧状
10Ea	0338	SK	中国産青磁碗	2495			2面	6H18b	65	55	5	楕円形	弧状
10Ea	0340	SP	土師器（非ロクロ皿　ロクロ皿）	2496・2497		15c後半？	2面	6H18a	22	-	7	円形	弧状
10Ec	0348	SK	砥石	4095			1面	7H3d	56	-	53	方形	弧状
10Ec	0349	SK	尾張型片口鉢　東濃型山茶碗　古瀬戸（天目茶碗　平碗　折縁深皿　小鉢墨書仏供）　椀型滓　含鉄遺物	2498～2505	後Ⅲ期・後Ⅳ期古・生田	15c第1四半期～第4四半期	1面	7H2d	159	159	24	方形	弧状
10Ec	0356	SP	砥石	4096			1面	7H3c	41	41	15	方形	弧状
10Ec	0367	SK	尾張型山茶碗　東濃型山茶碗　古瀬戸小天目茶碗	2506～2508	後Ⅳ期古	15c第2四半期	1面	7H1b・1c	175	63	13	方形	弧状
10Ec	0392	SK	火打ち石　鉄製品	4097			1面	7H2f・3f	253	208	40	方形	弧状
10Ec	0395	SK	土師器（内耳鍋　釜）　東濃型山茶碗　古瀬戸（天目茶碗　端反皿or丸皿）　常滑甕	2509～2515	生田・大窯1or2期	15c第3四半期～16c第2四半期	1面	7H2b	65	88	14	溝	U字状
10Ec	0410	SP	東濃型（小皿墨書　山茶碗墨書）	2516～2523	明和・大畑大洞古	13c第2四半期～14c第1四半期	1面	6H20i	75	30	45	楕円形	弧状
10Ec	0416	SK	古瀬戸釜　常滑甕	2524・2525	後Ⅳ期	15c第2四半期～第4四半期	1面	6H20f・7H1f	73	52	19	楕円形	弧状
10Ea	0456	SK	中国産白磁玉縁碗　釘　含鉄遺物　鉄塊系遺物	2526			2面	6H18b	45	42	36	方形	弧状
10Ea	0489	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型山茶碗　古瀬戸（天目茶碗　柄付片口　内耳鍋）　中国産青磁碗	2527～2533	後Ⅲ期・脇之島	15c第1四半期～15c第2四半期	2面	6H19c	175	不明	52	方形	弧状
10Ea	0498	SK	古瀬戸（鉄釉平碗　緑釉小皿）　銭貨　炉壁　釘　椀型滓　含鉄遺物	2534・2535	後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	6H19b	113	90	30	方形	弧状
10Ea	0516	SK	砥石	4098			2面	6H19c	59	51	40	楕円形	弧状
10Ea	0537	SK	ー	ー			2面	6H19a	76	不明	23	方形	弧状
10Ec	0568	SD	土師器（ロクロ皿　内鬱羽釜）　東濃型（山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸（緑釉小皿　折縁深皿　小）鉢　瓦器（風炉火鉢or風炉）　羽口　椀型滓	2536～2545	白土原・明和・大畑大洞古・中Ⅱ期・後Ⅲ期	13c第2四半期～14c第1四半期・15c第1四半期	2面	7H3d	440	250	47	溝	U字状
10Ea	0570	SK	中国産青白磁横瓶？	2546			2面	6H18c	93	76	17	方形	弧状
10Ea	0613	SD	土師器ロクロ皿　常滑壷　椀型滓	2547～2549	中野10型式	15c第3四半期～第4四半期	2面	6H19 b・19c	不明	43	50	溝	U字状
10Ea	0627	SK	砥石	4099			2面	6H19c	51	-	49	円形	弧状
10Ea	0632	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型小皿　古瀬戸（天目茶碗　豆皿）　常滑甕　銭貨	2550～2554	後Ⅱ期・中野10型式	14c第4四半期・15c第3四半期～第4四半期	2面	6H19c	不明	不明	19	不明	弧状
10Ea	0650	SP	東濃型小皿墨書	2555			2面	6H19c	不明	26	38	楕円形	弧状
10Ea	0652	SK	中国産青白磁碗	2556			2面	6H19c	不明	48	47	楕円形	弧状
10Ea	0656	SP	土師器非ロクロ皿　古瀬戸（丸皿　直縁大皿）　中国産青白磁碗	2556～2559	後Ⅰ～Ⅱ期	14c第3四半期～第4四半期	2面	6H19c	36	-	16	円形	弧状
10Ec	0665	SK	土師器非ロクロ皿　尾張型小皿　古瀬戸（緑釉小皿　折縁深皿　卸目付大皿　根来形瓶子　仏供　燭台）　常滑甕　中国産青磁蓮弁文碗　瓦器火鉢or風炉　砥石（硯転用？）　板　穿孔板　分割材1/8有抉板　井戸枠材　曲物底板　椀型滓	2560～2571・4100・4101・5341～5368	後Ⅰ～Ⅱ期・後Ⅲ期・中野10型式	14c第3四半期～第4四半期・15c第1四半期・15c第3四半期～第4四半期（上層）	2面（3面）	7H2b	830	670	169	方形	弧状
10Ea	0668	SK	東濃型小皿墨書	2572			2面	6H19d	65	不明	9	方形	弧状
10Ea	0670	SD	土師器（非ロクロ皿　ロクロ皿　内鬱羽釜）　東濃型（小皿　山茶碗　山茶碗漆付き　山茶碗墨書）　古瀬戸（浅碗　緑釉小皿　折縁小皿　折縁中皿墨書　小杯柄付片口）　常滑甕　銭貨　釘　椀型滓　含鉄遺物	2573～2587	大畑大洞新・脇之島・後Ⅲ～Ⅳ期古	14c第2四半期～第3四半期・15c第1四半期～第2四半期	2面	6H18d・19d	不明	170	45	溝	U字状
10Ea	0672	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型（小皿　小皿墨書）　東濃型山茶碗　古瀬戸（折縁中皿　直縁大皿）	2588～2594	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	2面	6H19d	不明	不明	77	方形	弧状
10Ea	0673	SD	東濃型小皿墨書　椀型滓	2595	明和	13c第2四半期～第3四半期	2面	7H3e	300	150	27	溝	U字状
10Ec	0677	SK	土師器内鬱羽釜	2596			2面	7H2e	155	70	11	楕円形	弧状
10Ec	0679	SK	東濃型山茶碗墨書	2597	窯洞	13c第1四半期	2面	7H3e	100	65	40	方形	弧状
10Ec	0687	SP	東濃型小皿	2598			2面	7H3g	37	-	37	円形	弧状
10Ec	0688	SK	土師器炉芯押さえ？　硯　砥石（硯転用？）　銭貨　釘　鉄片　椀型滓　含鉄遺物	2599・4102・4103			2面	7H3g	311	170	52	楕円形	弧状

表 2-17　E 区遺構一覧 -3

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Ec	0693	SK	砥石or硯	4104			2面	7H3h	56	50	24	方形	弧状
10Ec	0698	SE	東濃型（小皿　小皿墨書　山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸（緑釉小皿墨書　小壺）　美濃須衛水注　井戸枠材　井戸枠内板　井戸枠内角棒　羽口　椀型滓	2600～2608・2611・5171～5234	白土原・明和・大畑大洞古・後Ⅰ～Ⅱ期	13c第2四半期～14c第1四半期・14c第3四半期～第4四半期	2面	7H3d	310	250	149	方形	弧状
10Ec	0700	SK	土師器非ロクロ皿　古瀬戸緑釉小皿　銅製金具	2609・2610	後Ⅰ期	14c第3四半期	2面	7H3h	140	130	61	方形	弧状
10Ec	0713	SK	美濃須衛水注	2611			2面	7H3f	160	-	76	円形	弧状
10Ec	0714	SK	常滑甕	2612			2面	7H2f	142	88	32	方形	弧状
10Ec	0717	SK	東濃型小皿墨書	2613	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	2面	7H3g	160	135	46	楕円形	弧状
10Ec	0720	SK	東濃型（小皿墨書　山茶碗）　古瀬戸（灰釉天目茶碗　平碗　緑釉小皿　柄付片口　双耳壺蓋　釜）　瓦器（風炉　火鉢）	2614～2623	後Ⅲ～Ⅳ期	15c第1四半期～第4四半期	2面	7H2g	200	105	61	方形	弧状
10Ec	0726	SK	土師器（非ロクロ皿外型　ロクロ皿）　尾張型（小皿　小皿墨書）　東濃型（小皿　小皿墨書　山茶碗）	2624～2632	白土原・明和・大畑大洞古・6型式	13c第2四半期～第3四半期・13c第4四半期～14c第1四半期	2面	7H2g	223	170	15	方形	弧状
10Ec	0739	SK	中国産白磁碗墨書	2633			2面	7H2i	40	-	58	方形	弧状
10Ec	0742	SK	古瀬戸祖母懐茶壺　鉄製品	2634	後期	14c第3四半期～15c第4四半期	2面	7H2i	250	235	37	方形	弧状
10Ec	0767	SK	中国産青白磁袋物	2635			2面	7H2g	不明	90	27	方形	弧状
10Ec	0768	SK	東濃型小皿墨書	2636	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	2面	7H2g・3g	91	81	30	方形	弧状
10Ec	0772	SK	土師器非ロクロ皿墨書	2637			2面	7H1g	87	65	32	楕円形	弧状
10Ec	0778	SD	土師器（非ロクロ皿　内鍔羽釜）　尾張型片口鉢　東濃型（小皿　小皿墨書　山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸（底卸目皿入子）　常滑甕　銭貨　刀子　釘　鉄製品　羽口　椀型滓　流動滓　含鉄遺物　鉄塊系遺物	2638～2714	窯洞・白土原・明和・大畑大洞古・8型式	13c第1四半期～14c第2四半期	2面	7H1g	不明	247	7	溝	U字状
10Ec	0796	SK	古瀬戸折縁深皿墨書	2715	中期	14c第1四半期～第2四半期	2面	7H1h	70	52	20	方形	弧状
10Ec	0799	SP	土師器ロクロ皿	2716			2面	7H1i	52	27	16	方形	弧状
10Ec	0807	SK	土師器内鍔羽釜	2717			2面	7H1i	135	40	45	楕円形	弧状
10Ea	0832	SK	古瀬戸仏花瓶　椀型滓　含鉄遺物	2718	中Ⅱ期	14c第1四半期	2面	6H19e	141	105	49	方形	弧状
10Ea	0833	SK	古瀬戸平碗	2719	後Ⅳ期古	15c第2四半期	2面	6H18e	不明	129	67	方形	弧状
10Ea	0834	SK	土師器（非ロクロ皿　内耳鍋）　東濃型山茶碗　古瀬戸水滴	2720～2723	生田	15c第3四半期～第4四半期	2面	6H18e					
10Ea	0835	SK	中国産青白磁碗	2724									
10Ec	0872	SD	尾張型　山茶碗	2725・2726	6型式	13c第2四半期	2面	7H2f					
10Ea	0873	SD	土師器（非ロクロ皿　内耳鍋）　東濃型（小皿墨書　山茶碗　山茶碗墨書）　古瀬戸天目茶碗　瓦器火鉢　中国産白磁碗　墨書　軒平瓦　銭貨　釘　椀型滓　流動滓	2727～2740	白土原・明和・脇之島・後Ⅳ期新	13c第2四半期～第3四半期・15c第2四半期～第4四半期	2面	7H2h・2i	不明	165	47	溝	U字状
10Ec	0900	SE	宝篋印塔　五輪塔　井戸枠材　角棒	4105～4110・5235～5260	応永25年7月30日	1418年	2面	7H2b	160	150	45	円形	弧状
10Ec	0901	SE	井戸枠材	5261～5340			2面	7H2b	150	140	44	円形	弧状
10Ea	0930	SK	瓦器風炉	2741			2面						
10Ea	0931	SK	瓦器火鉢or風炉	2742			2面	6H18g	不明	不明	51	不明	弧状
10Ea	0956	SK	東濃型山茶碗墨書　釘　含鉄遺物	2743	白土原	13c第2四半期	2面	6H18f・19f	177	72	50	方形	弧状
10Ea	0975	SK	東濃型山茶碗墨書	2744	白土原	13c第2四半期	2面	6H18f・19f	292	183	67	方形	弧状
10Ed	1010	SK	東濃型山茶碗墨書	2745	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	1面	7H5l・5m	214	92	27	楕円形	弧状
10Ed	1013	SK	東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸（天目茶碗　折縁深皿　小鉢墨書）　中国産青磁蓮弁文碗　把手状鉄製品　鉄製方形容器　椀型滓	2746～2751	白土原・明和・後Ⅱ～Ⅳ期古	13c第2四半期～第3四半期・14c第4四半期～15c第2四半期	1面	7H5l	266	170	122	方形	弧状
10Ed	1017	SK	砥石（硯転用？）　釘　椀型滓	4111・4112			1面	7H5k	98	84	39	円形	弧状
10Ed	1021	SK	東濃型山茶碗墨書	2752	白土原	13c第2四半期	1面	7H5k	50	32	11	方形	弧状
10Ed	1061	SP	東濃型小皿墨書	2753			1面	7H5k	19	14	11	楕円形	弧状
10Ed	1062	SP	土師器非ロクロ皿　東濃型山茶碗　釘	2754・2755	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	1面	7H5k	35	27	19	楕円形	弧状

表 2-18　E 区遺構一覧 -4

調査区	番号	記号	出土遺物	遺物番号	遺物時期	暦年代	検出面	グリッド	長軸	短軸	深さ	プラン	断面
10Ed	1069	SK	古瀬戸擂鉢　小型軒平瓦　釘	2756・2757	後Ⅳ期新	15c第3四半期～第4四半期	1面	7H1j	184	135	44	方形	弧状
10Ed	1070	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型小皿墨書　瓦器火鉢　平瓦	2758～2763	明和	13c第2四半期～第3四半期	1面	7H1j	170	142	35	方形	弧状
10Ed	1071	SK	砥石？	4113			1面	7H2k	62	35	12	楕円形	弧状
10Ed	1099	SK	古瀬戸卸目付大皿	2764	後Ⅳ期新	15c第3四半期～第4四半期	1面	7H4k	不明	56	11	方形	弧状
10Ed	1131	SD	土師器（ロクロ皿　非ロクロ皿）　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸（天目茶碗　直縁大皿　筒形容器　耳付水注）　瓦器火鉢　平瓦　砥石？　鋳型　椀型滓	2765～2780・4114・4115	後Ⅰ～Ⅳ期新・大洞東・脇之島	14c第3四半期～15c第4四半期	2面	7H4l・m・n・o	1468	131	70	溝	U字状
10Ed	1193	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型山茶碗　古瀬戸（小天目茶碗　天目茶碗　平碗　折縁深皿墨書）　瓦器風炉　小柄　釘　含鉄遺物	2781～2806	大洞東・脇之島・生田	14c第4四半期～15c第4四半期	2面	7H3Ⅰ・4l	195	189	121	楕円形	弧状
10Ed	1200	SK	中国産青白磁壺　釘　含鉄遺物	2807			2面	7H3m	97	不明	26	方形	弧状
10Ed	1230	SK	古瀬戸緑釉小皿墨書	2808	後Ⅲ～Ⅳ期古	15c第1四半期～第2四半期	2面	7H4k	41	34	54	方形	弧状
10Ed	1264	SK	東濃型（小皿墨書　山茶碗墨書）　砥石？	2809・2810・4116	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	2面	7H5m・5l	333	不明	33	方形	弧状
10Ed	1277	SK	東濃型小皿墨書　釘　含鉄遺物	2811	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	2面	7H2m	82	76	37	方形	弧状
10Ed	1280	SD	土師器ロクロ皿　東濃型山茶碗　古瀬戸緑釉小皿墨書　軒丸瓦　軒平瓦　小札	2812～2816	生田	15c第3四半期～第4四半期	2面	7H1l～3l	1561	186	73	溝	U字状
10Ed	1287	SD	東濃型山茶碗　古瀬戸（緑釉中皿　折縁深皿　卸皿　蓋？　擂鉢）　平瓦　小型軒丸瓦	2817～2824	後Ⅳ期古・脇之島	15c第2四半期	2面	7H1k・l・m	1010	125	90	溝	U字状
10Ed	1302	SD	東濃型（小皿墨書　山茶碗墨書）　砥石？	2825～2827	脇之島	15c第2四半期	2面	7H4k・3k	818	70	38	溝	U字状
10Ed	1305	SK	古瀬戸合子	2828	中Ⅰ期	14c第1四半期	2面	7H3k	108	-	32	円形	弧状
10Ed	1307	SD	土師器非ロクロ皿　東濃型（小皿　山茶碗）　中国産青白磁碗　鉄鏃　釘　含鉄遺物	2829～2833	大畑大洞古	13c第4四半期～14c第1四半期	2面	7H4l・4m	495	52	47	溝	U字状
10Ed	1309	SK	平瓦　椀型滓	2834			2面	7H2k	181	156	60	方形	弧状
10Ed	1329	SK	古瀬戸緑釉小皿墨書　平瓦	2835・2836	後Ⅲ～Ⅳ期古	15c第1四半期～第2四半期	2面	6H20k	64	62	36	円形	弧状
10Eb	1400	SD	古瀬戸盤類墨書	2837	後Ⅲ～Ⅳ期古	15c第1四半期～第2四半期	2面	6H18l	不明	219	82	溝	U字状
10Eb	1417	SK	東濃型山茶碗墨書	2838	大畑大洞新	14c第2四半期～第3四半期	2面	6H18i	48	40	34	楕円形	弧状
10Ed	1453	SK	土師器非ロクロ皿　古瀬戸平碗	2839～2842	後Ⅱ期	14c第4四半期	2面	7H5k	不明	105	58	方形	弧状
10Ed	1458	SK	東濃型山茶碗　古瀬戸（直縁大皿　袴腰形香炉）　中国産（白磁皿　白磁小杯　青磁皿　青磁香炉）　鉄製品	2843～2849	脇之島・後Ⅳ期	15c第2四半期～第4四半期	2面	7H5k	255	201	63	方形	弧状
10Ed	1475	SK	灰釉陶器短頸壺　平瓦	2850～2853	古代		2面	7H4j	158	128	30	方形	弧状
10Ed	1491	SK	土師器非ロクロ皿　東濃型（小皿　山茶碗）　古瀬戸仏供	2854～2857	白土原・明和・中Ⅲ期	13c第2四半期～第3四半期・14c第2四半期	2面	7H2j	130	124	33	方形	弧状
10Ed	1497	SD	土師器内鶯羽釜　東濃型山茶碗　古瀬戸（小鉢墨書　花盆）	2858～2861	大洞東・後Ⅱ～Ⅲ期	14c第4四半期～15c第1四半期	2面	7H4l・4m	403	47	20	溝	U字状
10Ed	1499	SE	東濃型（小皿　小皿墨書　山茶碗）　古瀬戸（水注　四耳壺　締腰形瓶子　仏花瓶）	2862～2872	明和・大畑大洞古・前Ⅱ期・前Ⅳ期・中Ⅰ～Ⅱ期	13c第2四半期～第3四半期・13c第4四半期～14c第1四半期	2面	7H4k・5k	497	444	不明	方形	弧状
10Ed	1528	SK	軒丸瓦	2873			2面	7H4n・4o	不明	77	26	方形	弧状
10Ed	1535	SK	砥石　椀型滓	4117・4118			2面	7H4o	不明	92	32	不明	弧状
10Ed	1536	SK	砥石or硯	4119			2面	7H4o	不明	75	26	不明	弧状
10Ed	1537	SD	東濃型山茶碗墨書	2874	窯洞	13c第1四半期	2面	7H1j	不明	不明	36	溝	U字状

表 2-19　E 区主要遺構の変遷

所属時期	遺構
13 世紀第 2 四半期～14 世紀第 1 四半期	10Ea-0672SK 10Ec-0778SD 10Ec-0726SK 10Ec-0872SD 10Ec-0410SP 10Ed-1070SK 10Ed-1499SE 10Ed-1307SD
14 世紀第 1 四半期～第 3 四半期	10Ec-0698SE
14 世紀第 4 四半期～15 世紀第 1 四半期	10Ec-0901SE 10Ec-0900SE（応永 25-1418 年紀年銘） 10Ec-0568SD 10Ec-0248SK 10Ec-0289SP 10Ed-1497SD
(15 世紀第 1 四半期)～第 2 四半期	10Ea-0489SK 10Ea-0670SD 10Ec-0665SK　10Ec- 推定・鎌倉街道 整地層内 10Ed-1013SK 10Ed-1458SK
(15 世紀第 2 四半期)～第 4 四半期	10Ea・Ec-0290SD（推定・鎌倉街道東側溝） 10Ea-0613SD 10Ea-0632SK 10Ec-0873SD 10Ec-0720SK 10Ed-1131SD 10Ed-1280SD 10Ed-1287SD 10Ed-1193SK
15 世紀第 4 四半期～17 世紀初頭	10Ea・Ec-0300SD（推定・鎌倉街道東側溝） 10Ea-0017SK 10Ec-0349SK 10Ec-0395SK

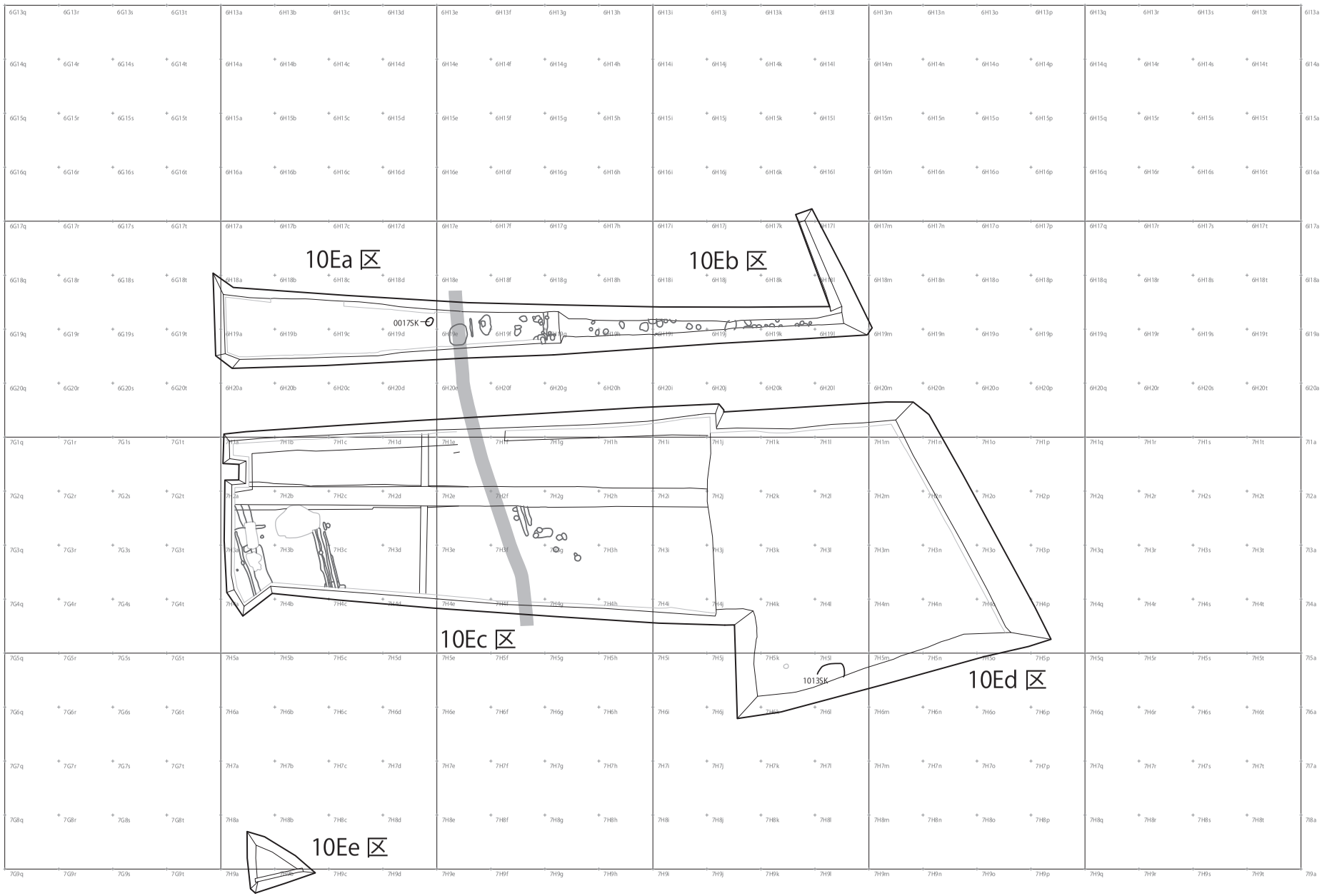


図 2-191　E 区第 1 面遺構全体図（1:500）

目次
終了

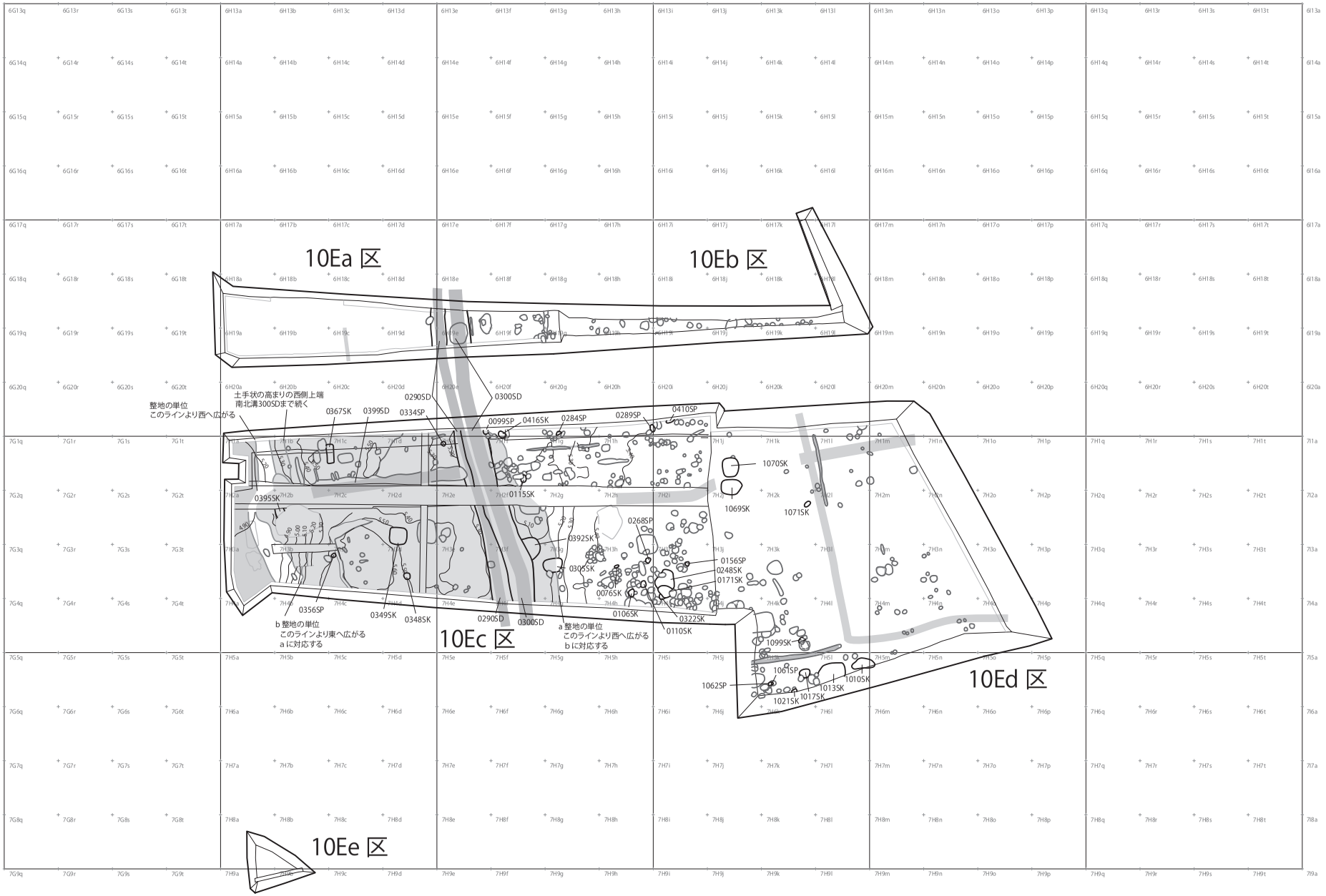


図 2-192　E 区第 2 面遺構全体図（1:500）

目次
終了

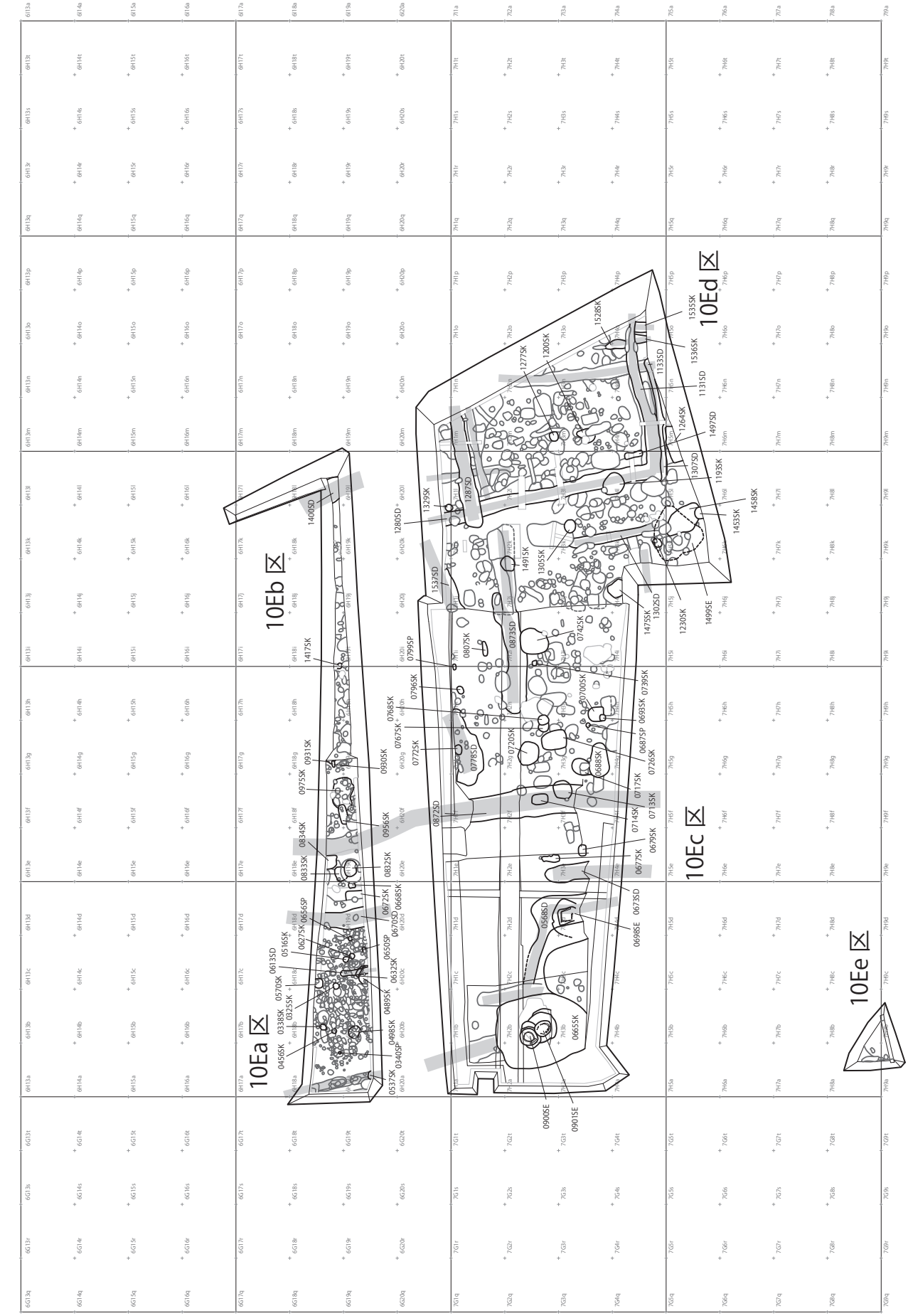
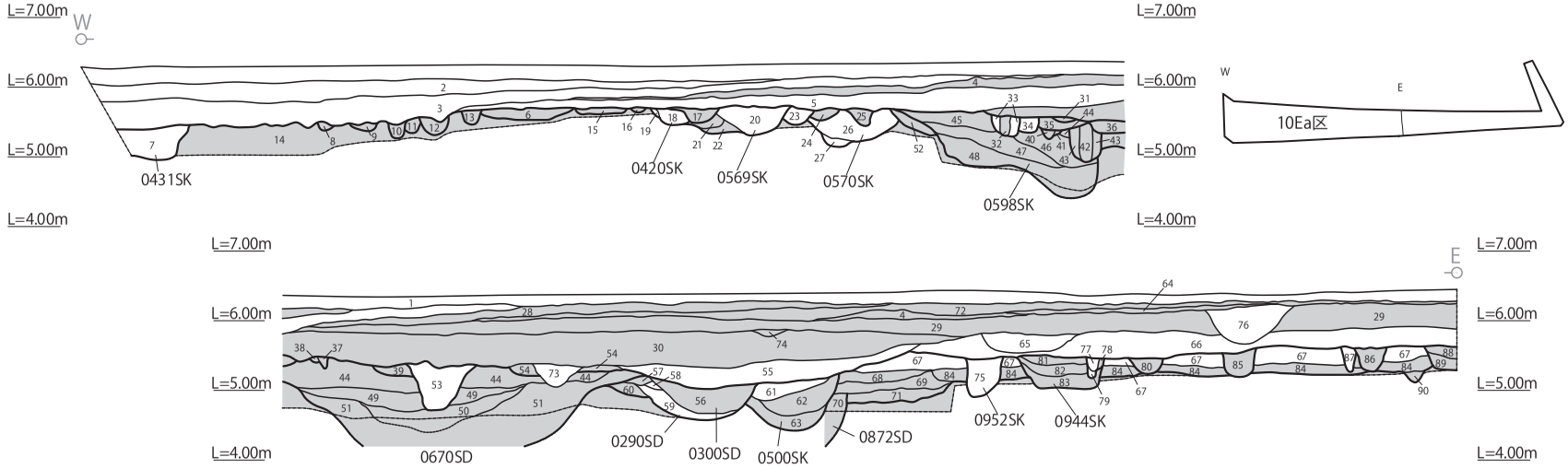


図 2-193　E 区第 3 面遺構全体図（1:500）

10Ea区北壁土層断面図　1:100

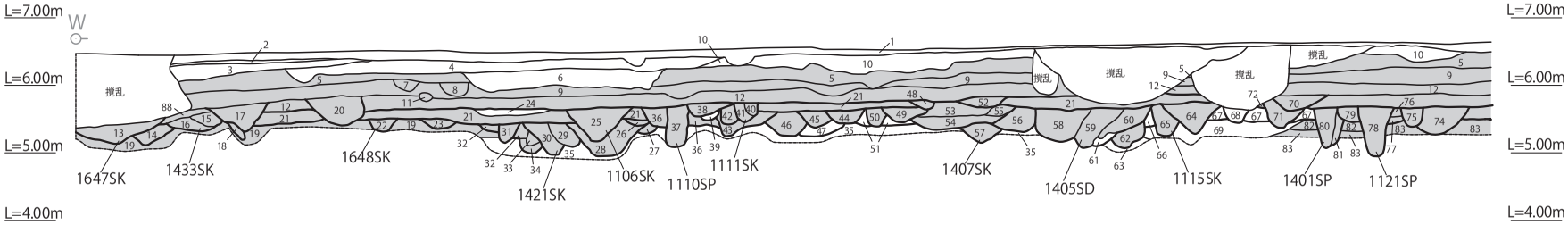


1,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(表土、現畑耕作土)
2,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(2.5Y5/4黄褐色細粒砂含む)
3,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂(旧耕作土)
4,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト(2.5Y5/4黄褐色細粒砂含む)
5,　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト質粘土
6,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(SK埋土)
7,　10YR4/2灰黄褐色シルト質粘土(炭化物多量含む)（0431SK)
8,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(14含む)
9,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(14含む)
10,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(14含む)
11,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(14含む)
12,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(14含む)
13,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(14含む)
14,　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト質極細粒砂(地山)
15,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト(2.5Y5/4黄褐色細粒砂含む)
16,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト(2.5Y5/4黄褐色細粒砂含む)
17,　10YR4/2灰黄褐色シルト質極細粒砂(14層含む、炭化物少量含む)
18,　10YR4/2灰黄褐色シルト（0420SK)
19,　10YR4/2灰黄褐色シルト(14含む、炭化物多量含む)（0420SK)
20,　2.5Y5/3黄褐色シルト(炭化物少量含む)（0569SK)
21,　2.5Y5/3黄褐色シルト質極細粒砂(2.5Y4/2暗灰黄色シルト含む)（0569SK)
22,　2.5Y5/3黄褐色極細粒砂(2.5Y4/2暗灰黄色シルト含む)（0569SK)
23,　10YR4/2灰黄褐色シルト(14含む、炭化物多量含む)
24,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂(炭化物少量含む)
25,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂(炭化物少量含む)
26,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物少量含む)（0570SK)
27,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土(14含む)（0570SK)
28,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質極細粒砂
29,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂(3と比べて粘質強い)
30,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂
31,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂
32,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂(SP)
33,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト(炭化物少量含む)（SP)
34,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト(炭化物少量含む)
35,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
36,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
37,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質極細粒砂(10YR5/2灰黄褐色細粒砂含む)
38,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(10YR5/2灰黄褐色細粒砂含む)
39,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質極細粒砂(10YR5/2灰黄褐色細粒砂含む、炭化物含む)
40,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質極細粒砂
41,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(10YR5/2灰黄褐色細粒砂含む)
42,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(炭化物少量含む)
43,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(42に比べて粘性強い、炭化物少量含む)
44,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質極細粒砂(炭化物少量含む)（0670SD)
45,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂（0598SK)
46,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂(炭化物多量含む)（0598SK)
47,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂(炭化物多量含む、45に比べて砂質強い)（0598SK)
48,　10YR4/2灰黄褐色シルト質極細粒砂(炭化物含む)（0598SK)
49,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂(炭化物少量含む)（0670SD)
50,　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト質極細粒砂（0670SD)
51,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂(10YR5/2灰黄褐色シルト含む)（0670SD)
52,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(炭化物少量含む)
53,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土
54,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂(炭化物少量含む)
55,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物少量含む)
56,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂(炭化物少量含む)（0300SD)
57,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂（0300SD)
58,　2.5Y5/3黄褐色シルト(2.5Y4/2暗灰黄色シルト含む)（0300SD)
59,　10YR4/2灰黄褐色(2.5Y5/3黄褐色シルト含む)（0290SD)
60,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂（030SD)
61,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト（0500SK)
62,　10YR4/3にぶい黄褐色極細粒砂（0500SK)
63,　10YR4/2灰黄褐色シルト(10YR4/4褐色シルト極細粒砂含む)（0500SK)
64,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
65,　10YR4/4褐色極細粒砂
66,　10YR4/4褐色シルト
67,　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト
68,　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト(2.5Y5/4黄褐色細粒砂含む)
69,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂(2.5Y4/2暗灰黄色シルト含む)
70,　10YR4/4褐色シルト(2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂含む)
71,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂
72,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂
73,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト
74,　10YR4/2灰黄褐色シルト
75,　10YR4/2灰黄褐色シルト(2.5Y4/2暗灰黄色シルト含む)（0952SK)
76,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂
77,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト
78,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(SP)
79,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(2.5Y4/3オリーブ褐色シルト含む)（SP)
80,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(2.5Y5/4黄褐色細粒砂含む)（SP)
81,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂(2.5Y5/4黄褐色細粒砂含む)（0944SK)
82,　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト(2.5Y5/4黄褐色細粒砂含む)（0944SK)
83,　10YR4/2灰黄褐色シルト(2.5Y5/4黄褐色細粒砂含む)（0944SK)
84,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂
85,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂(2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂含む)
86,　10YR4/2灰黄褐色極細粒砂
87,　10YR4/3にぶい黄褐色シルト
88,　2.5Y4/3オリーブ褐色極細粒砂
89,　2.5Y4/4オリーブ褐色極細粒砂
90,　2.5Y4/2暗灰黄色極細粒砂

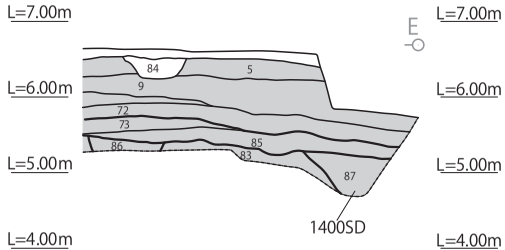
図 2-194　10Ea 区北壁土層断面図（1:100）

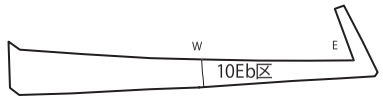
目次
終了

10Eb区北壁土層断面図　1:100



1,　7.5YR4/3褐色極細粒砂（表土および、耕土）
2,　2.5Y8/4淡黄色極細粒砂（耕土）
3,　10YR8/4浅黄橙色極細粒砂（耕土）
4,　2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（耕土）
5,　10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂（土器細片少量含む）
6,　10YR6/4にぶい黄橙色シルト（極細粒砂含む）（耕作に伴う掘り込み）
7,　2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（溝の遺構）
8,　2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（溝の遺構）
9,　10YR7/4にぶい黄橙色細粒砂～極細粒砂（雲母含む、土器細片少量含む）
10,　10YR6/2灰黄褐色極細粒砂～シルト（耕土）
11,　2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（溝の遺構）
12,　10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂～シルト
13,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂～極細粒砂（炭化物少量含む）（1647SK）
14,　2.5Y7/6明黄褐色中粒砂（遺構）
15,　10YR5/2灰黄褐色細粒砂（土器細片少量含む）（1433SK）
16,　2.5Y6/2灰黄色細粒砂（1433SK）
17,　10YR6/4にぶい黄橙色細粒砂（遺構）
18,　10YR6/2灰黄褐色中粒砂（杭、または柱遺構）
19,　2.5Y6/6明黄褐色中粒砂（10YR8/3浅黄橙色極細粒砂ブロック少量含む）
20,　10YR4/3にぶい黄褐色細粒砂（炭化物多量含む、土器細片多量含む）（遺構）
21,　10YR6/2灰黄褐色細粒砂～極細粒砂（10YR7/4にぶい黄橙色シルトブロック少量含む、炭化物多量含む）
22,　7.5YR5/2灰褐色中粒砂（土器細片少量含む）（1648SK）
23,　2.5Y7/6明黄褐色中粒砂（焼土片多量含む、炭化物多量含む）（遺構）
24,　2.5Y5/3黄褐色シルト（遺構か）
25,　2.5Y6/3にぶい黄色細粒砂～極細粒砂（炭化物多量含む、土器細片多量含む）（1106SK）
26,　10YR7/6明黄褐色中粒砂（遺構）
27,　2.5Y6/3にぶい黄色中粒砂（遺構）
28,　10YR7/3にぶい黄橙色細粒砂（炭化物多量含む）（遺構）
29,　2.5Y7/4浅黄色中粒砂（1421SK）
30,　10YR6/4にぶい黄橙色細粒砂（10YR6/1褐灰色細粒砂ブロック少量含む）（1421SK）
31,　2.5Y5/2暗灰黄色中粒砂（遺構）
32,　2.5Y6/2灰黄色細粒砂（遺構）
33,　2.5Y5/2暗灰黄色中粒砂（炭化物少量含む）
34,　10YR6/2灰黄褐色細粒砂（遺構）
35,　2.5Y7/3浅黄色シルト
36,　7.5YR7/6橙色細粒砂（遺構）
37,　10YR6/4にぶい黄橙色中粒砂（1110SP）
38,　10YR6/4にぶい黄橙色細粒砂（炭化物少量含む、土器細片少量含む）
39,　10YR8/2灰白色シルト（遺構）
40,　2.5Y6/4にぶい黄色極細粒砂（1111SK）
41,　2.5Y6/4にぶい黄色極細粒砂（炭化物少量含む）（1111SK）
42,　2.5Y7/4浅黄色細粒砂（炭化物少量含む）（遺構）
43,　10YR6/6明黄褐色細粒砂（遺構）
44,　2.5Y6/4にぶい黄色細粒砂（遺構）
45,　10YR7/6明黄褐色細粒砂（遺構）
46,　10YR6/3にぶい黄橙色細粒砂（炭化物少量含む）（遺構）
47,　2.5Y7/4浅黄色シルト（遺構）
48,　10YR6/4にぶい黄橙色細粒砂（遺構）
49,　10YR6/3にぶい黄橙色細粒砂（遺構）
50,　10YR6/3にぶい黄橙色細粒砂（遺構）
51,　2.5Y6/6明黄褐色シルト（遺構）
52,　2.5Y5/3黄褐色極細粒砂（焼土片少量含む、炭化物少量含む）（遺構）
53,　2.5Y5/3黄褐色細粒砂（炭化物多量含む）
54,　2.5Y7/3浅黄色極細粒砂（遺構）
55,　2.5Y6/3にぶい黄色細粒砂（焼土片多量含む、炭化物多量含む）（遺構）
56,　10YR6/4にぶい黄橙色細粒砂（遺構）
57,　10YR7/2にぶい黄橙色細粒砂（1407SK）
58,　10YR7/3にぶい黄橙色細粒砂（炭化物少量含む）（1405SD）
59,　10YR6/4にぶい黄橙色細粒砂（炭化物少量含む）（1405SD）
60,　10YR7/4にぶい黄橙色細粒砂（1405SD）
61,　10YR8/4浅黄橙色シルト（1405SD）
62,　2.5Y8/1灰白色細粒砂（遺構）
63,　10YR8/3浅黄橙色シルト（比較的均質、地山か）
64,　2.5Y6/3にぶい黄色極細粒砂（遺構）
65,　2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（1115SK）
66,　10YR7/2にぶい黄橙色シルト（遺構）
67,　10YR8/4浅黄橙色シルト
68,　2.5Y5/3黄褐色細粒砂（土器細片多量含む）（遺構）
69,　2.5Y7/3浅黄色シルト（35に似るが、ラミナ発達しない、整地、または地山か）
70,　2.5Y6/3にぶい黄色細粒砂（炭化物少量含む）（遺構）
71,　10YR6/4にぶい黄橙色細粒砂（遺構）
72,　10YR7/4にぶい黄橙色細粒砂（炭化物多量含む、土器細片多量含む、包含層か）
73,　10YR6/4にぶい黄橙色細粒砂（土器細片少量含む）
74,　10YR7/3にぶい黄橙色細粒砂（遺構）
75,　2.5Y6/3にぶい黄色細粒砂（遺構）
76,　10YR8/4浅黄橙色細粒砂（遺構か）
77,　2.5Y8/4淡黄色細粒砂（遺構か）
78,　10YR7/6明黄褐色中粒砂（10YR8/3浅黄橙色細粒砂ブロック少量含む）（1121SP）
79,　2.5Y7/4浅黄色極細粒砂（遺構）
80,　2.5Y8/6黄色中粒砂（1401SP）



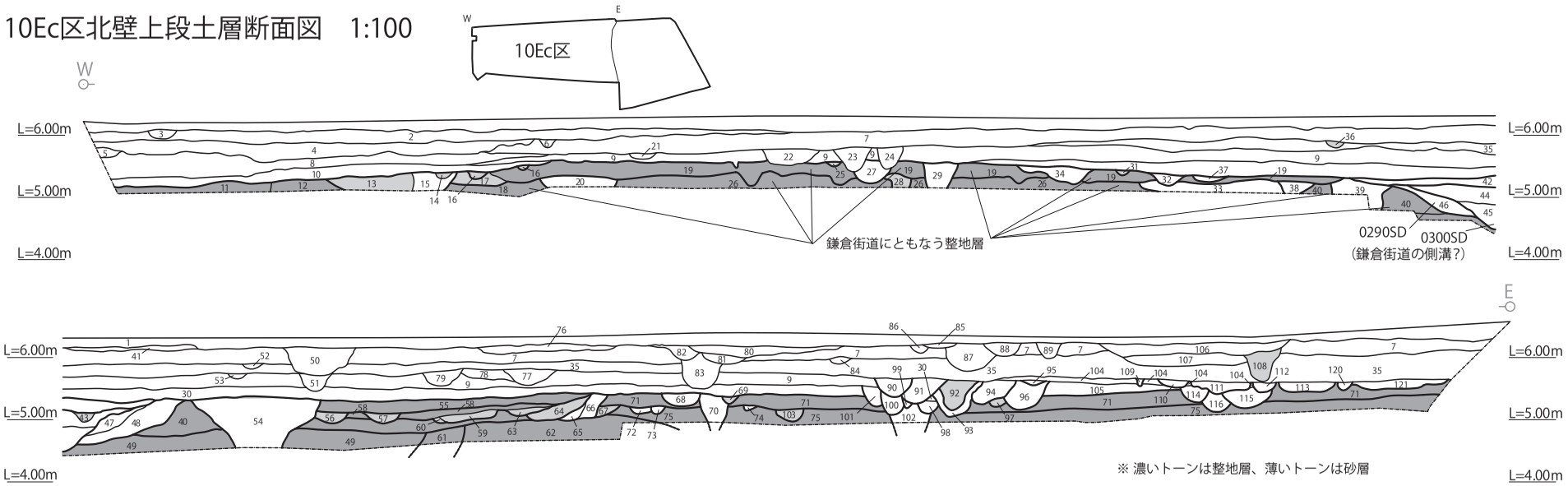


81,　2.5Y7/6明黄褐色中粒砂（1401SP）
82,　2.5Y6/4にぶい黄色中粒砂（遺構か）
83,　2.5Y6/6明黄褐色中粒砂～細粒砂
84,　2.5Y7/3浅黄色細粒砂（耕作に伴う掘り込み）
85,　2.5Y6/3にぶい黄色細粒砂（炭化物多量含む）
86,　10YR7/4にぶい黄橙色細粒砂（遺構か）
87,　2.5Y6/2灰黄色中粒砂～細粒砂（炭化物多量含む）（1400SD）
88,　2.5YR6/2灰赤色細粒砂（遺構）

図 2-195　10Eb 区北壁土層断面図（1:100）

目次
終了

10Ec区北壁上段土層断面図　1:100

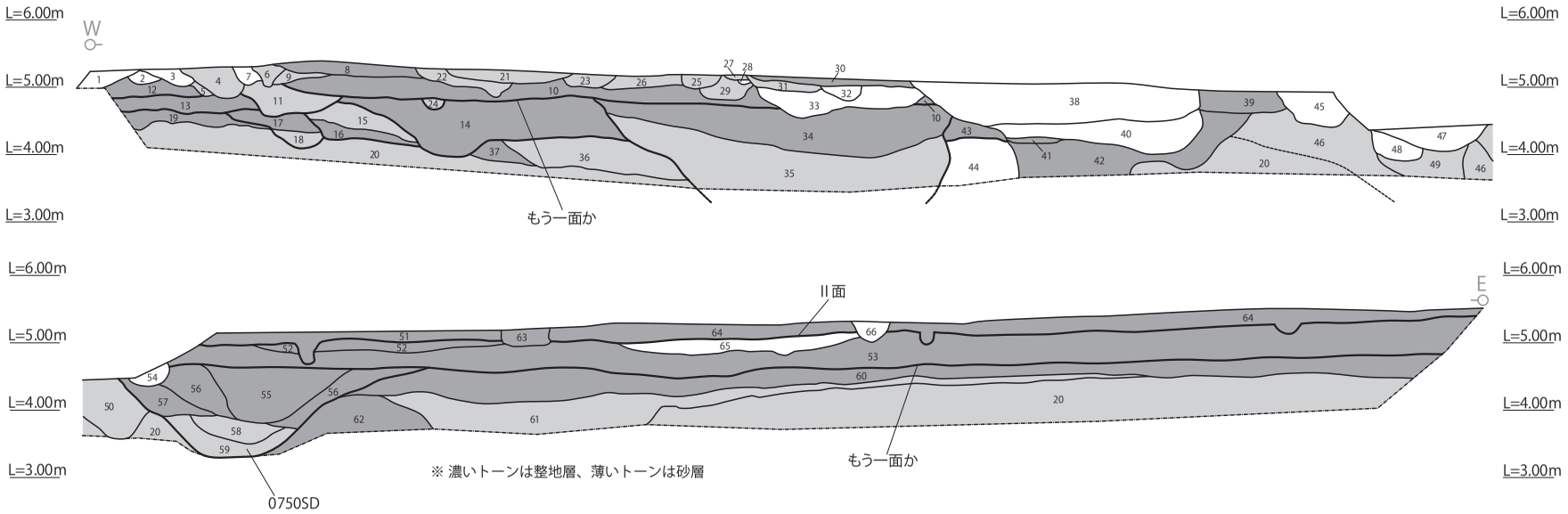


1, 7.5YR4/2灰褐色粘土質シルト（表土及び耕作土）
2, 10YR4/1褐灰色粘土質シルト（耕作土）
3, 2.5Y5/2暗灰黄色粘土質シルト（穴）
4, 2.5Y7/4浅黄色粘土質シルト（耕作土）
5, 10YR8/4浅黄橙色粘土質シルト（新しい穴の入れ土）
6, 10YR7/4にぶい黄橙色粘土質シルト（穴）
7, 2.5Y6/4にぶい黄色粘土質シルト（耕作土か）
8, 2.5Y6/4にぶい黄色粘土質シルト（有機化する）
9, 2.5Y5/3黄褐色極細粒砂（客土か）
10, 2.5Y6/2灰黄色粘土質シルト
11, 2.5Y6/4にぶい黄色極細粒砂（整地層か、1に対応か）
12, 2.5Y7/4浅黄色粘土質シルト（整地層か、12に対応か）
13, 10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂（遺構）
14, 10YR5/6黄褐色極細粒砂（遺構）
15, 2.5Y6/1黄灰色粘土質シルト（遺構）
16, 10YR5/6黄褐色極細粒砂（遺構）
17, 2.5Y7/2灰黄色極細粒砂(遺構か)
18, 5Y7/3浅黄色極細粒砂（整地層）
19, 5Y6/1灰色極細粒砂（炭化物多量含む、土器細片多量含む）（土手の整地層）
20, 7.5YR5/1褐灰色粘土質シルト（遺構）
21, 2.5Y8/4淡黄色極細粒砂（遺構）
22, 2.5Y6/3にぶい黄色粘土質シルト（遺構）
23, 10YR6/3にぶい黄橙色粘土質シルト（遺構）
24, 10YR6/3にぶい黄橙色粘土質シルト（遺構）
25, 5Y6/3オリーブ黄色極細粒砂（遺構）
26, 5Y6/1灰色極細粒砂（炭化物多量含む、土器細片多量含む）（土手整地層下層）
27, 2.5Y6/1黄灰色粘土質シルト（遺構）
28, 2.5Y7/2灰黄色極細粒砂（遺構か）
29, 2.5Y6/2灰黄色粘土質シルト（遺構か）
30, 10YR6/2灰黄褐色極細粒砂（炭化物多量含む）（客土か）
31, 2.5Y7/4浅黄色極細粒砂（遺構）
32, 5Y7/3浅黄色粘土質シルト（遺構）
33, 2.5Y7/3浅黄色粘土質シルト（遺構）
34, 10YR6/2灰黄褐色粘土質シルト（遺構）
35, 10YR7/3にぶい黄橙色粘土質シルト（客土か）
36, 10YR7/3にぶい黄橙色極細粒砂（遺構）
37, 5Y7/3浅黄色粘土質シルト（遺構）
38, 2.5Y6/3にぶい黄色粘土質シルト（遺構）
39, 2.5Y6/1黄灰色粘土質シルト（遺構）
40, 2.5Y7/3浅黄色極細粒砂（整地層、50と同じ層）
41, 2.5Y8/4淡黄色粘土質シルト
42, 10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂（人為の埋め土）
43, 10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂（0300SD）
44, 2.5Y6/4にぶい黄色粘土質シルト（人為の埋め土）（0300SD）
45, 2.5Y7/6明黄褐色粘土質シルト（人為の埋め土）（0300SD）
46, 2.5Y7/2灰黄色粘土質シルト（0290SD）
47, 10YR7/4にぶい黄橙色粘土質シルト（炭化物多量含む）（0300SD）
48, 2.5Y7/2灰黄色粘土質シルト（0300SD）
49, 10YR7/2にぶい黄橙色極細粒砂（炭化物少量含む、整地層、52と同じ層）
50, 10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト（遺構）
51, 10YR6/3にぶい黄橙色粘土質シルト（遺構）
52, 7.5YR6/3にぶい褐色極細粒砂（遺構）
53, 10YR6/3にぶい黄橙色極細粒砂（遺構）
54, 10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト（炭化物多量含む、土器細片多量含む）（遺構）
55, 2.5Y6/3にぶい黄色極細粒砂（整地層）
56, 10YR6/2灰黄褐色極細粒砂（遺構）
57, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト（遺構）
58, 10YR7/4にぶい黄橙色粘土質シルト（整地層）
59, 10YR8/4浅黄橙色粘土質シルト（遺構）
60, 10YR7/3にぶい黄橙色粘土質シルト（遺構）
61, 10YR6/2灰黄褐色極細粒砂（遺構か）
62, 2.5Y7/6明黄褐色粘土質シルト（整地層、52に対応か）
63, 10YR7/6明黄褐色粘土質シルト（遺構）
64, 10YR5/3にぶい黄褐色極細粒砂（炭化物多量含む）（遺構）
65, 2.5Y7/3浅黄色粘土質シルト（遺構）
66, 10YR7/1灰白色粘土質シルト（遺構）
67, 2.5Y7/4浅黄色細粒砂（遺構）
68, 2.5Y8/4淡黄色粘土質シルト（遺構）
69, 10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂（遺構）
70, 2.5Y6/3にぶい黄色極細粒砂（遺構）
71, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト（整地層）
72, 2.5Y6/1黄灰色粘土質シルト（遺構）
73, 10YR7/1灰白色極細粒砂（遺構）
74, 10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト（遺構）
75, 2.5Y7/6明黄褐色粘土質シルト（整地層、52に対応か）
76, 10YR8/4浅黄橙色粘土質シルト
77, 10YR6/3にぶい黄橙色粘土質シルト
78, 10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂
79, 10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト
80, 2.5Y7/3浅黄色極細粒砂
81, 2.5Y6/4にぶい黄色粘土質シルト
82, 2.5Y7/3浅黄色粘土質シルト
83, 10YR6/3にぶい黄橙色極細粒砂
84, 10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト（遺構）
85, 2.5Y6/3にぶい黄色粘土質シルト
86, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト
87, 2.5Y6/4にぶい黄色粘土質シルト
88, 10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト
89, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト
90, 10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト（遺構）
91, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト（遺構）
92, 10YR5/2灰黄褐色極細粒砂（炭化物多量含む）（遺構）
93, 5Y7/1灰白色粘土質シルト（遺構）
94, 2.5Y5/1黄灰色粘土質シルト（炭化物多量含む）（遺構）
95, 5Y7/1灰白色粘土質シルト（遺構）
96, 2.5Y6/3にぶい黄色粘土質シルト（遺構）
97, 5Y8/3淡黄色極細粒砂（遺構）
98, 2.5Y6/3にぶい黄色粘土質シルト（遺構）
99, 2.5Y8/3淡黄色粘土質シルト（遺構）
100, 10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト（遺構）
101, 10YR6/2灰黄褐色粘土質シルト（遺構）
102, 2.5Y7/4浅黄色粘土質シルト（遺構）
103, 2.5Y8/4淡黄色極細粒砂（遺構）
104, 10YR6/3にぶい黄橙色極細粒砂（客土か）
105, 10YR5/1褐灰色極細粒砂（炭化物多量含む、土器細片多量含む）（客土か）
106, 10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト
107, 10YR6/3にぶい黄橙色粘土質シルト
108, 5Y6/2灰オリーブ色極細粒砂
109, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト
110, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト
111, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト
112, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト
113, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト
114, 2.5Y5/1黄灰色粘土質シルト（土器細片多量含む）（遺構）
115, 2.5Y6/1黄灰色粘土質シルト（炭化物多量含む、土器細片多量含む）（遺構）
116, 10YR6/1褐灰色粘土質シルト（遺構）
117, 7.5YR5/4にぶい褐色細粒砂（遺構）
118, 10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト（遺構）
119, 2.5Y6/3にぶい黄色粘土質シルト（遺構）
120, 2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト
121, 10YR6/3にぶい黄橙色（遺構か）

図 2-196　10Ec 区北壁上段土層断面図（1:100）

目次
終了

10Ec区北壁下段土層断面図　1:100



1,　2.5Y5/3黄褐色シルト質粘土
2,　2.5Y6/3にぶい黄色シルト質粘土（穴）
3,　10YR4/2灰黄褐色シルト質粘土（穴）
4,　10YR8/3浅黄橙色極細粒砂（穴）
5,　10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂（穴）
6,　2.5Y7/3浅黄色極細粒砂（穴）
7,　2.5Y7/2灰黄色粘土質シルト（穴）
8,　2.5Y5/3黄褐色シルト質粘土（炭化物多量含む）（土手の整地層）
9,　10YR6/3にぶい黄橙色極細粒砂（穴）
10,　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト（10YR8/3浅黄橙色粘土質シルト5mmくらいの不均質ブロック40%含む）（整地層）
11,　2.5Y6/4にぶい黄色極細粒砂（溝、または流水で穴が埋まったものか）
12,　10YR7/4にぶい黄橙色粘土質シルト（10YR8/3浅黄橙色粘土質シルト5mm～2cmブロック30%含む）（整地層）
13,　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルトと2.5Y7/3浅黄色中粒砂の斑土
14,　10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂（2.5Y8/4淡黄色粘土質シルト1～2cmのブロック40%含む）（整地層）
15,　10YR5/4にぶい黄褐色極細粒砂と10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂の斑土（整地層上の洪水か）
16,　7.5YR4/4褐色極細粒砂（2.5Y8/4淡黄色粘土質シルト1cmのブロック10%含む）（整地層）
17,　2.5Y7/4浅黄色粘土質シルト（整地層か）
18,　10YR4/4褐色極細粒砂（遺構、またはくぼみ）
19,　10YR5/4にぶい黄褐色シルト質粘土（10YR8/3浅黄橙色粘土質シルト0.5mm～1cmブロック40%含む）（整地層）
20,　2.5Y6/3にぶい黄色粗粒砂
21,　2.5Y7/3浅黄色極細粒砂（遺構）
22,　2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（遺構）
23,　2.5Y6/3にぶい黄色極細粒砂（遺構）
24,　10YR6/2灰黄褐色極細粒砂（遺構か）
25,　10YR6/3にぶい黄橙色極細粒砂（遺構）
26,　10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂（遺構）
27,　10YR7/6明黄褐色極細粒砂（遺構）
28,　2.5Y6/2灰黄色粘土質シルト（遺構）
29,　2.5Y8/3淡黄色極細粒砂（遺構）
30,　2.5Y7/2灰黄色極細粒砂（遺構、または整地層）
31,　2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（遺構）
32,　2.5Y6/2灰黄色粘土質シルト（遺構）
33,　10YR8/3浅黄橙色粘土質シルト（遺構）
34,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト（10YR8/2灰白色粘土質シルト1～2mmのブロック40%含む）（溝の上層を人為で埋める土）
35,　2.5Y6/4にぶい黄色細粒砂（20に由来、2.5Y5/1黄灰色粘土質シルト3～5cmのブロック20%含む）（人為の埋め土）
36,　10YR5/3にぶい黄褐色細粒砂（ラミナ発達、流水）
37,　10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト（整地層）
38,　2.5Y5/1黄灰色粘土質シルト（炭化物多量含む）（遺構）
39,　2.5Y8/3淡黄色粘土質シルト（整地層か）
40,　2.5Y7/3浅黄色粘土質シルト（水性堆積層か）
41,　5Y6/1灰色粘土質シルト（埋め土）
42,　2.5Y5/3黄褐色中粒砂（5Y5/1灰色粘土質シルトブロック10%含む）（人為の埋め土）
43,　10YR5/4にぶい黄褐色極細粒砂（整地層）
44,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト
45,　10YR5/1褐灰色粘土質シルト（炭化物多量含む）（遺構）
46,　2.5Y7/2灰黄色中粒砂（10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト少量含む）
47,　10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト（遺構）
48,　2.5Y5/1黄灰色粘土質シルト（遺構）
49,　2.5Y7/4浅黄色細粒砂（遺構）
50,　2.5Y5/1黄灰色極細粒砂（遺構）
51,　10YR5/3にぶい黄褐色極細粒砂（炭化物多量含む）（整地層）
52,　2.5Y8/4淡黄色粘土質シルト（整地層か）
53,　10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト（10YR8/4浅黄橙色粘土質シルト1cm程度のブロック20%含む）
54,　2.5Y5/1黄灰色粘土質シルト（遺構）
55,　10YR6/3にぶい黄橙色粘土質シルト（遺構の人為埋戻し）（0750SD）
56,　2.5Y8/4淡黄色粘土質シルト（礫含む、遺構の人為埋戻し）（0750SD）
57,　2.5Y6/2灰黄色粘土質シルト（遺構の人為埋戻し）（0750SD）
58,　10YR6/1褐灰色極細粒砂（還元色、溝）（0750SD）
59,　2.5Y5/1黄灰色極細粒砂（還元色、わずかにラミナ発達、溝）（0750SD）
60,　10YR5/6黄褐色粘土質シルト（10YR7/6明黄褐色粘土質シルト0.5mm～2cmのブロック40%含む）（整地層）
61,　10YR6/4にぶい黄橙色中粒砂と2.5Y7/3浅黄色極細粒砂が層厚4cmごとに互層をなす（炭化物多量含む）（流水）
62,　2.5Y7/3浅黄色極細粒砂（整地層）
63,　2.5Y6/2灰黄色粘土質シルト（炭化物多量含む）（整地層）
64,　10YR6/1褐灰色極細粒砂（炭化物多量含む）（整地層）
65,　10YR7/3にぶい黄橙色粘土質シルト（炭化物多量含む）（遺構）
66,　10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト（遺構）

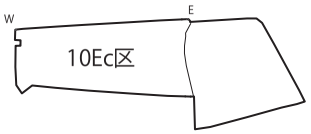
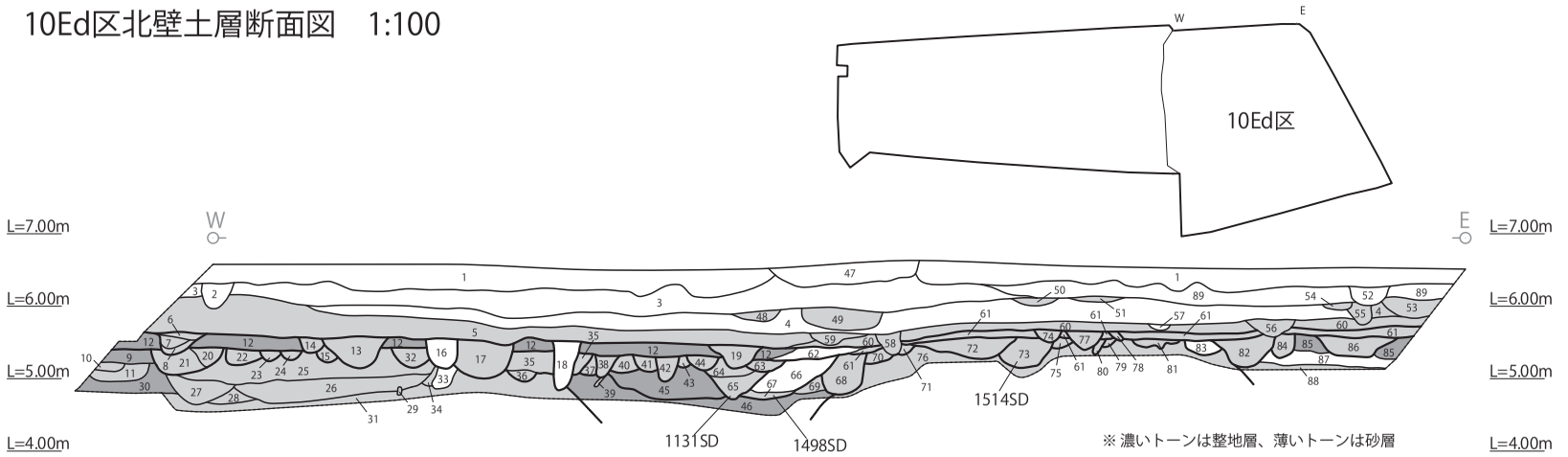


図 2-197　10Ec 区北壁下段土層断面図（1:100）

目次
終了

10Ed区北壁土層断面図　1:100



1,　2.5Y6/4にぶい黄色極細粒砂（表土および耕作土）
2,　2.5Y6/4にぶい黄色極細粒砂（耕作に伴うか）
3,　2.5Y6/6明黄褐色極細粒砂（耕作土）
4,　10YR7/4にぶい黄橙色シルト（土器細片少量含む、3と5の漸移層）
5,　7.5YR6/4にぶい橙色極細粒砂～シルト（炭化物多量含む、土器細片多量含む）
6,　10YR7/3にぶい黄橙色細粒砂
7,　10YR4/2灰黄褐色細粒砂（炭化物多量含む）
8,　10YR8/2灰白色細粒砂（炭化物少量含む）
9,　10YR6/4にぶい黄橙色細粒砂～極粒砂（整地、または遺構）
10,　10YR6/6明黄褐色細粒砂（炭化物少量含む）
11,　2.5Y7/2灰黄色極粒砂
12,　2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（10YR8/2灰白色極細粒砂ブロック少量含む、炭化物多量含む）（整地土）
13,　10YR6/2灰黄褐色極細粒砂（炭化物少量含む）
14,　10YR5/4にぶい黄褐色極細粒砂
15,　10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂
16,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト（2.5Y7/1灰白色シルトブロック少量含む）
17,　10YR7/6明黄褐色細粒砂
18,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト（2.5Y7/1灰白色シルトブロック少量含む）
19,　10YR5/4にぶい黄褐色極細粒砂と2.5Y8/4淡黄色中粒砂の斑土
20,　10YR7/6明黄褐色細粒砂（10YR7/3にぶい黄橙色細粒砂ブロック含む）
21,　2.5Y6/3にぶい黄色細粒砂（焼土片少量含む）
22,　10YR7/6明黄褐色細粒砂
23,　2.5Y5/3黄褐色細粒砂
24,　2.5Y5/3黄褐色細粒砂
25,　10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂（10YR8/4浅黄橙色極細粒砂ブロック少量含む）
26,　7.5YR7/4にぶい橙色極細粒砂（7.5YR7/4にぶい橙色極細粒砂ブロック少量含む）
27,　7.5YR5/4にぶい褐色極細粒砂
28,　7.5YR5/3にぶい褐色細粒砂
29,　10YR7/2にぶい黄橙色極細粒砂
30,　10YR5/4にぶい黄褐色細粒砂～極細粒砂（整地土）
31,　2.5Y7/6明黄褐色中粒砂～細粒砂
32,　10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂
33,　10YR5/2灰黄褐色シルト（炭化物少量含む）
34,　10YR7/6明黄褐色細粒砂
35,　10YR7/4にぶい黄橙色細粒砂
36,　10YR6/8明黄褐色中粒砂
37,　10YR5/6黄褐色細粒砂
38,　10YR6/3にぶい黄橙色細粒砂
39,　2.5Y5/2暗灰黄色極細粒砂（杭か）
40,　10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂
41,　10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂（10YR6/1褐灰色極細粒砂ブロック少量含む）
42,　7.5YR5/1褐灰色極細粒砂（10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂ブロック少量含む）
43,　2.5Y5/2暗灰黄色極細粒砂
44,　2.5Y7/4浅黄色極細粒砂
45,　10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂（遺構、または整地の単位）
46,　10YR7/3にぶい黄橙色シルト～極細粒砂（遺構、または整地の単位）
47,　7.5YR4/2灰褐色極細粒砂（表土および耕作土）
48,　7.5YR7/4にぶい橙色細粒砂
49,　10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂
50,　10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂
51,　10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂
52,　7.5YR7/4にぶい橙色極細粒砂
53,　10YR7/3にぶい黄橙色極細粒砂
54,　10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂
55,　10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂
56,　7.5YR6/4にぶい橙色極細粒砂（土器細片少量含む）
57,　7.5YR5/4にぶい褐色シルト（炭化物多量含む）
58,　10YR7/6明黄褐色極細粒砂
59,　7.5YR6/4にぶい橙色極細粒砂
60,　7.5YR5/3にぶい褐色極細粒砂～シルト（土器細片少量含む）
61,　7.5YR5/6明褐色極細粒砂
62,　10YR7/4にぶい黄橙色シルト
63,　2.5Y6/3にぶい黄色極細粒砂
64,　10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂（1131SD）
65,　10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂（10YR7/1灰白色極細粒砂ブロック少量含む）（1131SD）
66,　10YR7/6明黄褐色シルト（10YR8/1灰白色シルトブロック少量含む）（1498SD）
67,　2.5Y8/2灰白色細粒砂（1498SD）
68,　2.5Y6/3にぶい黄色極細粒砂（10YR8/1灰白色シルトブロック20%含む）
69,　10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂（遺構か）
70,　5Y8/2灰白色細粒砂
71,　2.5Y8/3淡黄色細粒砂
72,　10YR6/3にぶい黄橙色シルト（2.5Y8/6黄色極細粒砂ブロック少量含む）
73,　2.5Y7/6明黄褐色中粒砂～細粒砂（1514SD）
74,　10YR5/3にぶい黄褐色極細粒砂
75,　10YR6/2灰黄褐色中粒砂
76,　2.5Y8/2灰白色細粒砂（ラミナ発達、非常にしまりが良い、静水状態の堆積、確実な地山）
77,　10YR6/2灰黄褐色細粒砂
78,　2.5Y5/3黄褐色極細粒砂（炭化物少量含む）（杭か）
79,　2.5Y7/4浅黄色細粒砂
80,　10YR6/3にぶい黄橙色極細粒砂（杭、または土坑）
81,　10YR5/3にぶい黄褐色極細粒砂
82,　10YR5/4にぶい黄褐色細粒砂（土器細片多量含む）
83,　2.5Y6/3にぶい黄色シルト
84,　10YR6/4にぶい黄橙色極細粒砂
85,　10YR7/4にぶい黄橙色シルト～極細粒砂（遺構、または整地）
86,　2.5Y6/3にぶい黄色極細粒砂
87,　2.5Y7/2灰黄色シルト
88,　2.5Y7/4浅黄色細粒砂
89,　10YR6/3にぶい黄橙色極細粒砂（耕作土）

図 2-198　10Ed 区北壁土層断面図（1:100）

目次
終了

ている。道路部分の盛り土は現状での厚さが 50cm 程度で、路面の幅は約 15m である。側溝は東側のみで、掘り直しが認められる（0290・0300SD）。10Ea 区については、本来の地山面が高いためか、盛り土はしていない（図 2-194）。

次に存続期間を考える。この鎌倉街道東側溝のうち、新しく掘削された 0300SD からは、17 世紀初頭（大窯 4 期前半）を下限とする遺物が出土している（図 2-203 ～ 205）。また、路面上には 16 世紀代の小土坑がわずかだが存在する。鎌倉街道の西を鍵の手状に走る岐阜街道は、江戸時代初頭に五街道とともに制定されたことから、0300SD および鎌倉街道はそれに伴い廃絶したと考えて矛盾はない。

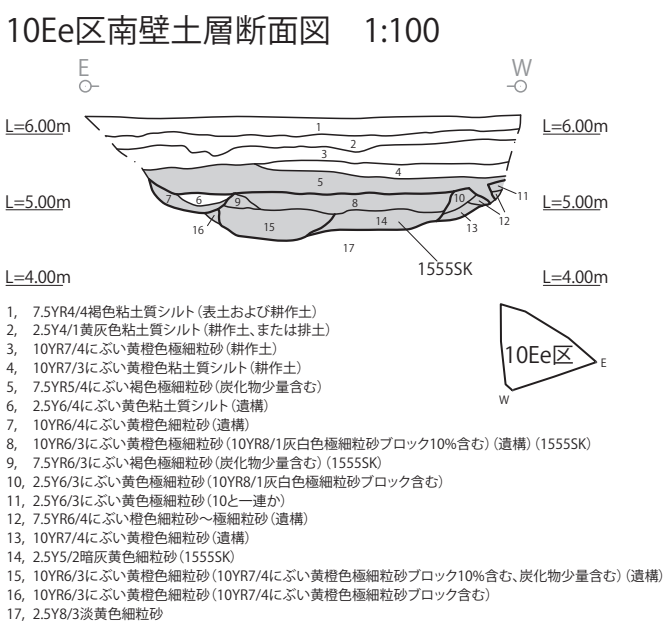


図 2-199　10Ee 区南壁土層断面図（1:100）

この 0300SD に先行するとみられる 0290SD から出土している遺物の所属時期は、13 世紀第 2 四半期～ 15 世紀第 4 四半期とかなり幅があるが、大窯期の遺物は含んでいない（図 2-202）。

となると、設定時期で鍵になるのは 10Ec 区の鎌倉街道造成土中ならびに、この造成土で埋め立てられた井戸 0900・0901SE から出土した遺物である。この造成土（整地層）中からは、大量の土器が出土している。その所属時期は、おおむね 13 世紀代を上限とし、15 世紀第 2 四半期（古瀬戸後Ⅳ期古段階）を下限としている（図 2-206 ～ 210）。

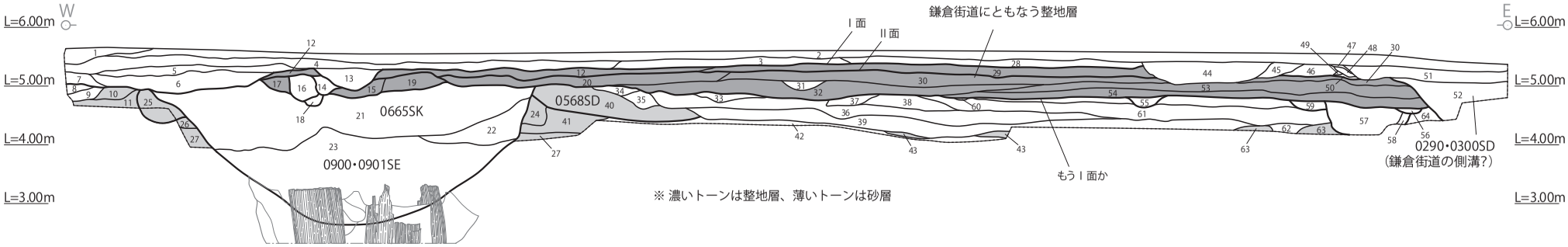
さらにこの整地層によって埋め立てられた井戸 2 基のうち、新しい 0900SE の井戸枠内から出土した宝篋印塔の返花座（図 2-214-4106）に「応永廿五（1418 年）七月卅日　道忍」の線刻が認められることから、この 0900SE は 15 世紀第 1 四半期以降に廃絶していることは確実である。

以上を勘案すれば、おおむね 15 世紀第 2 四半期から第 3 四半期の間に、この地に鎌倉街道が設定されたことは間違いない。整地土中の土器には 75 点もの墨書土器を含み、なかには花押が書かれたもの（図 2-207-2900・図 2-209-2958）も認められることから、造成に用いられた土は他地域からの搬入とみるより、この下津宿遺跡内でまかなわれた可能性がきわめて高い。

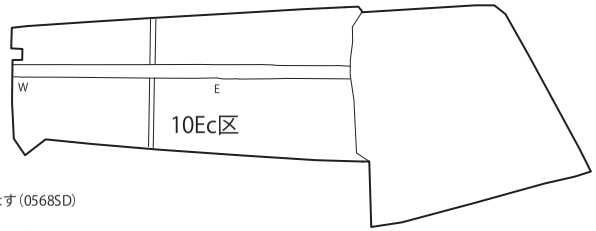
鎌倉街道がこの位置に定まってからの遺構としては、10Ea 区 0613SD、10Ec 区 0720SK（図 2-234）・0724SK（図 2-235）0873SD、10Ed 区 1131・1280・1287SD、1193SK がある。このうち 1131・1280SD は、南北が 20m 以上、東西が 15m 以上の、一連の L 字状の溝で、10Eb 区より南の未調査箇所でさらに東に折れ曲がり、一辺が 25m 程度の方形区画となる可能性が高い（図 2-241･242）。この方形区画の東西溝 1131SD は、先行する 1307SD（13 世紀第 2 ～ 14 世紀第 1 四半期）を切って掘削されている。また、南北溝 1280SD は、東西溝 1287SD（図 2-243）と土坑 1193SK に切られる。1193SK からは、まとまった量の土師器非ロクロ皿が出土している（図 2-244）。

前述のように、鎌倉街道の造成によって埋

10Ec区中央東西土層断面図　1:100



※ 濃いトーンは整地層、薄いトーンは砂層



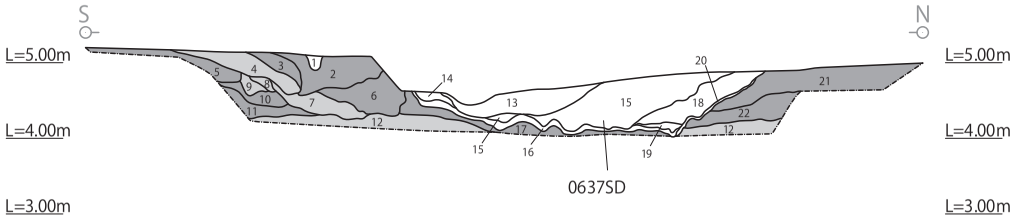
1,　記録なし
2,　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト（2.5Y8/6黄色粘土質シルトブロック20%含む）
3,　2.5Y6/3にぶい黄色粘土質シルト（炭化物少量含む、土器細片少量含む）
4,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト
5,　10YR7/4にぶい黄橙色粘土質シルト
6,　2.5Y7/4浅黄色粘土質シルト
7,　2.5Y7/4浅黄色粘土質シルト
8,　10YR8/4浅黄橙色粘土質シルト（全層にラミナ発達、溝状遺構か）
9,　2.5Y7/6明黄褐色粘土質シルト
10,　2.5Y 8/3淡黄色極細粒砂（全層にラミナ発達、溝状遺構か）
11,　2.5Y6/6明黄褐色極細粒砂（2.5Y8/6黄色粘土質シルト20%含む）
12,　10YR7/6明黄褐色粘土質シルト
13,　10YR4/1褐灰色粘土質シルト（土器細片多量含む、3cm大の礫多量含む）（土坑）
14,　2.5Y6/4にぶい黄色粘土質シルト（遺構）
15,　10YR7/4にぶい黄橙色粘土質シルト
16,　2.5Y4/1黄灰色粘土質シルト（土器細片多量含む、遺構）
17,　7.5YR5/4にぶい褐色粘土質シルト
18,　7.5YR7/6橙色粘土質シルト（5cm大の礫多量含む）（遺構）
19,　10YR7/3にぶい黄橙色粘土質シルト
20,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト
21,　10YR6/4にぶい黄橙色粘土質粘土質シルト（ブロック多くモザイク状）（0665SK、井戸埋め立て土）
22,　2.5Y5/3黄褐色粘土質粘土質シルト（ブロック多くモザイク状）（0901SE井戸枠抜き取り穴?）
23,　10YR5/1褐灰色粘土質シルト質粘土（均質）（0901SE井戸枠抜き取り穴?）
24,　2.5Y6/4にぶい黄色極細粒砂
25,　10YR8/1灰白色極細粒砂（均質）
26,　2.5Y6/6明黄褐色極細粒砂（2.5Y8/6黄色粘土質シルト20%含む）
27,　10YR5/2灰黄褐色極細粒砂（均質）
28,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト
29,　10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト（10YR7/1灰白色粘土質シルト10%含む、炭化物多量含む）
30,　10YR7/2にぶい黄橙色粘土質シルト（しまり強い、炭化物多量含む、土器細片多量含む）
31,　10YR4/3にぶい黄褐色粘土
32,　10YR6/2灰黄褐色粘土質シルト（10YR8/4浅黄橙色粘土質シルトブロック7%含む、粘性強い、炭化物多量含む、土器細片多量含む）
33,　2.5Y 8/2灰白色粘土質シルト（砂質強い）
34,　2.5Y5/2暗灰黄色粘土質シルト
35,　2.5Y6/3にぶい黄色粘土質シルト（炭化物多量含む）
36,　2.5Y8/6黄色粘土質シルト（砂質強い）
37,　2.5Y5/2暗灰黄色粘土質粘土質シルト
38,　10YR8/3浅黄橙色粘土質シルト（炭化物多量含む）
39,　2.5Y7/3浅黄色粘土質粘土質シルト（砂質強い、雲母含む）
40,　2.5Y6/2灰黄色粘土質シルトと2.5Y8/1灰白色極細粒砂が2～4mm層厚でラミナをなす（0568SD）
41,　2.5Y 8/4淡黄色極細粒砂（一部でラミナ発達）
42,　2.5Y7/4浅黄色粘土質シルト（10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト1cm大のブロックわずかに含む、しまり良い）
43,　2.5Y 8/3淡黄色極細粒砂がラミナをなす
44,　10YR7/3にぶい黄橙色シルト質粘土（土器細片多量含む）
45,　2.5Y7/3浅黄色シルト質粘土
46,　2.5Y6/1黄灰色シルト質粘土（粘性強い、炭化物多量含む）
47,　10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト
48,　10YR6/3にぶい黄橙色粘土質シルト
49,　2.5Y6/3にぶい黄色粘土質シルト
50,　2.5Y7/2灰黄色粘土質シルト
51,　10YR7/2にぶい黄橙色粘土質シルト
（10YR7/6明黄褐色粘土質シルトブロック20%含む、5cm大の礫多量含む、炭化物多量含む、土器細片多量含む）
52,　2.5Y4/4オリーブ褐色粘土（しまり悪い、炭化物少量含む、土器細片少量含む、00290・0300SD）
53,　10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト（しまり強い、炭化物多量含む）
54,　10YR8/4浅黄橙色粘土質シルト（しまり強い、炭化物少量含む）
55,　2.5Y5/2暗灰黄色粘土質シルト（炭化物多量含む）
56,　10YR8/4浅黄橙色粘土質シルト
57,　10YR5/6黄褐色粘土質シルト（しまり悪い、炭化物多量含む）
58,　2.5Y7/3浅黄色粘土質シルト（2.5Y6/4にぶい黄色粘土質シルトブロック20%含む）
59,　2.5Y7/3浅黄色粘土質シルト
60,　10YR7/3にぶい黄橙色粘土質シルト（しまり強い、炭化物少量含む）
61,　10YR7/3にぶい黄橙色粘土質シルト（しまり強い、炭化物多量含む）
62,　2.5Y7/4浅黄色粘土質シルト（しまり悪い）（遺構）
63,　10YR4/4褐色極細粒砂（均質、確実な地山）
64,　10YR7/3にぶい黄橙色粘土質シルト（粘性強い）

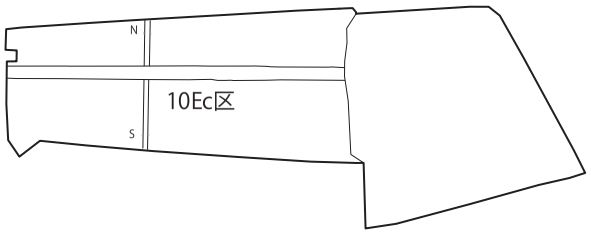
図 2-200　10Ec 区東西ベルト土層断面図（1:100）

目次
終了

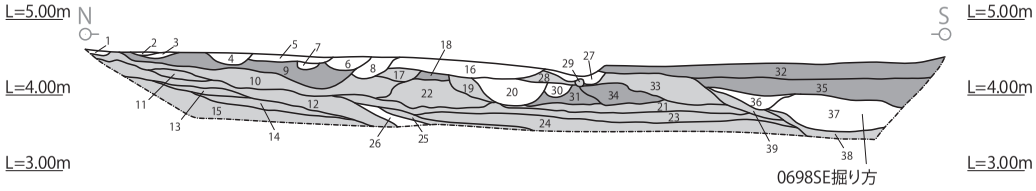
10Ec区土層断面図　1:100

Ec区中央南北断面（東側）





Ec区中央南北断面（西側）



※ 濃いトーンは整地層、薄いトーンは砂層

1,　2.5Y6/1黄灰色シルト（遺構）
2,　2.5Y7/2灰黄色シルト（炭化物少量含む、土器細片少量含む、整地土か）
3,　2.5Y7/2灰黄色シルト
4,　10YR7/2にぶい黄橙色極細粒砂
5,　10YR7/3にぶい黄橙色極細粒砂（明茶色の整地）
6,　2.5Y7/2灰黄色シルト（水性堆積層）
7,　7.5YR7/6橙色細粒砂（水性堆積層）
8,　10YR8/2灰白色細粒砂（ラミナ発達、水性堆積層、または溝）
9,　2.5Y8/1灰白色細粒砂（ラミナ発達、水性堆積層、または溝）
10,　10YR6/3にぶい黄橙色極細粒砂（整地か）
11,　10YR6/2灰黄褐色極細粒砂（整地か）
12,　2.5Y7/2灰黄色中粒砂（均質、地山）
13,　5Y7/2灰白色シルト（下位でラミナ発達、水性堆積）
14,　5Y8/4淡黄色シルト（13の一部が硬化した層、水性堆積）
15,　2.5Y7/2灰黄色シルト（水性堆積）
16,　2.5Y8/4淡黄色シルト（15が下層との境で硬化した層、水性堆積）
17,　2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（整地か）
18,　10YR7/2にぶい黄橙色シルト（水性堆積層）　（備考）
19,　2.5Y6/2灰黄色細粒砂（水性堆積層）
20,　7.5YR7/6橙色シルト
21,　2.5Y6/2灰黄色シルト（整地か）
22,　10YR6/4にぶい黄橙色シルト（整地か）

6,　下層との層境は厚さ3cmにわたり硬化し、黄色化する。
20,　18が下層との層埋面にて鉄分付着した層

※21、22：Da区南西部のぶ厚い整地土（地山の上）に似る、たぶん同じ由来だろう。
※13、15、18：河川の末端部が離れていく際のものとのこと（鬼頭所見）
※4、7、3、2、6：同様な性格のもので一部に整地して埋めたと見られる

1,　10YR6/1褐灰色シルト質粘土（遺構）
2,　10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト（遺構）
3,　10YR6/1褐灰色シルト質粘土（遺構）
4,　2.5Y6/2灰黄色粘土質シルト（遺構）
5,　2.5Y7/2灰黄色粘土質シルト（遺構か）
6,　10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト（遺構）
7,　2.5Y8/3淡黄色シルト（遺構）
8,　2.5Y7/4浅黄色粘土質シルト（遺構）
9,　5Y6/2灰オリーブ色シルト（整地、または遺構）
10,　2.5Y7/3浅黄色極細粒砂（水性堆積層（静水））
11,　5Y7/3浅黄色細粒砂（均質、水性堆積層（流水））
12,　5Y8/3淡黄色細粒砂（均質、水性堆積層（流水））
13,　2.5Y6/4にぶい黄色細粒砂（均質、水性堆積層（流水））
14,　10YR7/6明黄褐色細粒砂（均質、水性堆積層（流水））
15,　2.5Y7/4浅黄色中粒砂（均質、水性堆積層（流水、勢い有））
16,　2.5Y6/2灰黄色シルト（遺構か）
17,　5Y6/2灰オリーブ色細粒砂（遺構）
18,　5Y7/2灰白色シルト
19,　2.5Y6/2灰黄色細粒砂（遺構か）
20,　7.5YR7/1明褐灰色粘土質シルト（遺構）
21,　5Y7/3浅黄色極細粒砂（ラミナ発達、水性堆積層（流水））
22,　5Y7/3浅黄色極細粒砂（ラミナ発達、水性堆積層（流水））
23,　2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（水性堆積層（静水））
24,　5Y7/3浅黄色極細粒砂（ラミナ発達、水性堆積層（流水））
25,　2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（水性堆積層（静水））
26,　5Y7/2灰白色シルト（水性堆積層（静水））
27,　2.5Y5/2暗灰黄色シルト（遺構）
28,　2.5Y6/3にぶい黄色極細粒砂
29,　2.5Y8/2灰白色細粒砂
30,　2.5Y7/2灰黄色シルト（遺構）
31,　2.5Y6/2灰黄色シルト（整地か）
32,　2.5Y7/2灰黄色シルト（炭化物少量含む、整地）
33,　10YR6/2灰黄褐色細粒砂およびシルト
34,　2.5Y6/3にぶい黄色シルト（整地、または遺構）
35,　5Y7/2灰白色シルト（土器細片含む、整地）
36,　5Y6/1灰色シルト（遺構）
37,　2.5Y7/1灰白色粘土質シルト（遺構（井戸か））
38,　2.5Y7/2灰黄色極細粒砂（遺構）
39,　2.5Y6/2灰黄色細粒砂（流水か）

（備考）
18,　10と同一層か
21,　21～25：要するに互層。くり返し流水が起きていたもよう。
22,　21と同一層か
29,　33の一部
33,　水流が34層をまきあげた。
38,　37下層

※ 12、13、14、15：青木川の旧流路（本流）が南へ振れてゆく様子を示す。
→21～25：その後、流路の縁部にて水の増減をくり返す（流水状の互層）
→37、38：その後井戸？
→32、35：そのあと整地　（鬼頭所見）

図 2-201　10Ec 区南北ベルト土層断面図（1:100）

目次
終了

10Ea・Ec-0290SD

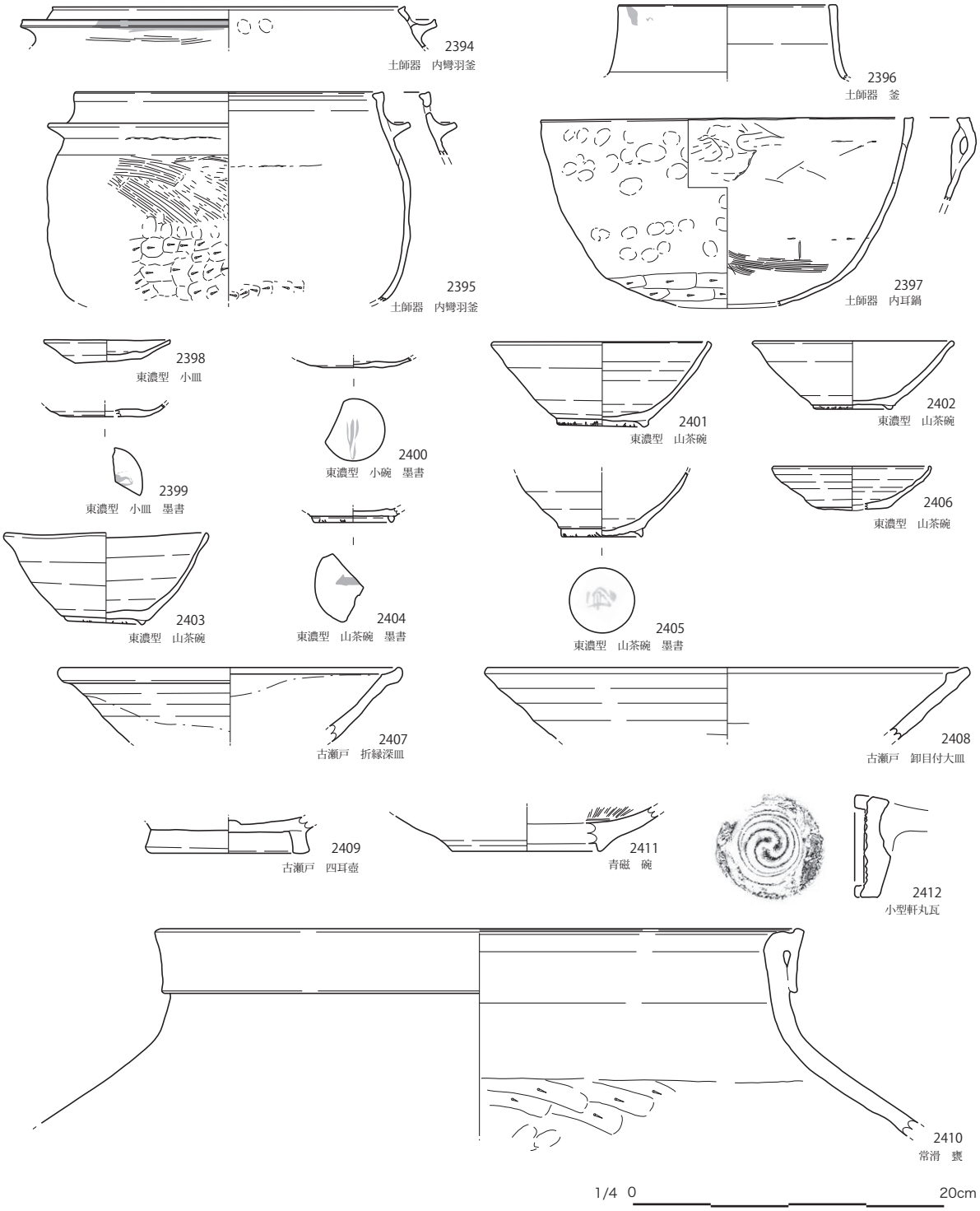


図 2-202　10Ea・Ec 区 0290SD 出土遺物実測図（1:4）

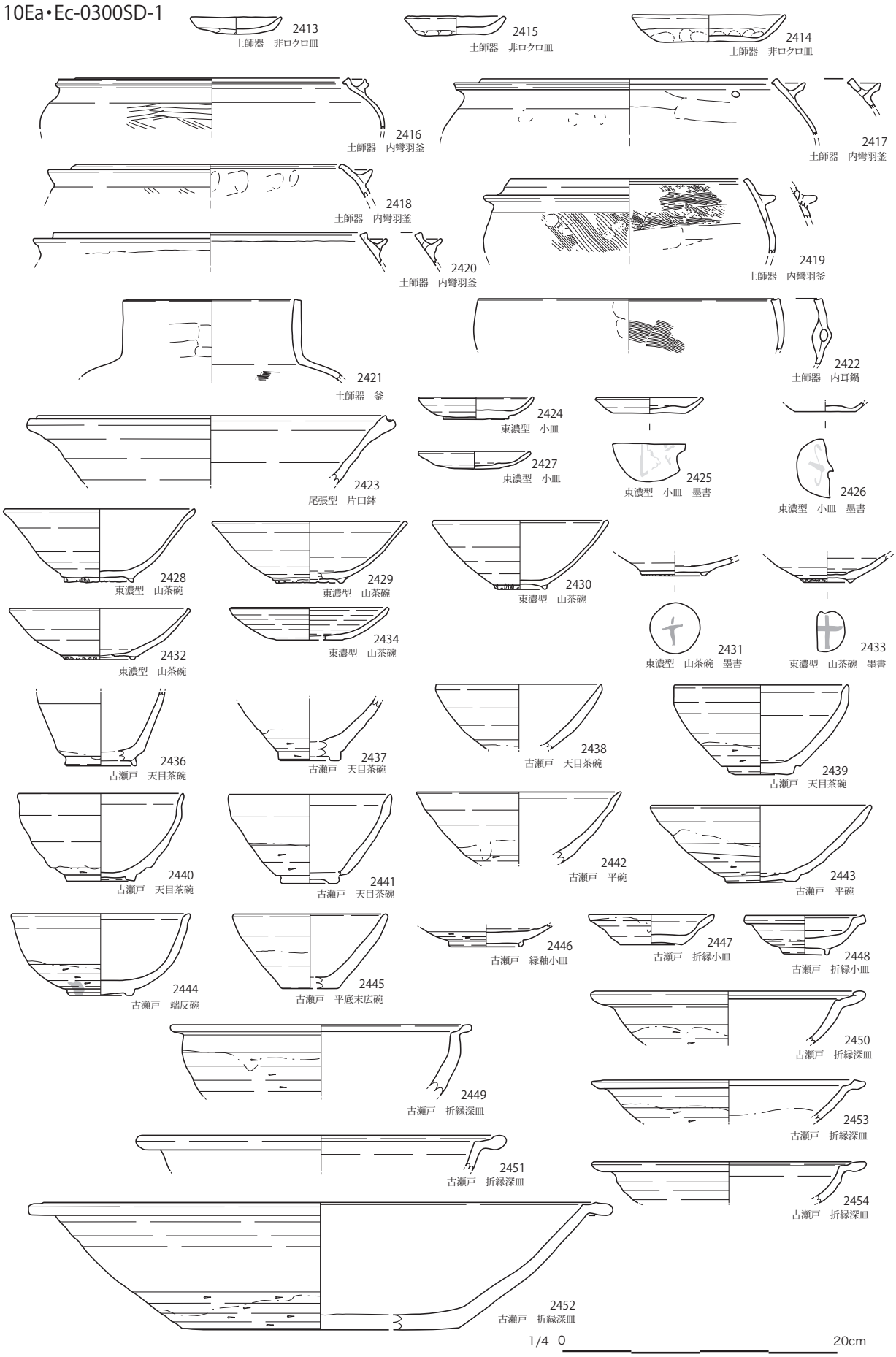


図 2-203　10Ea・Ec 区 0300SD 出土遺物実測図 -1（1:4）

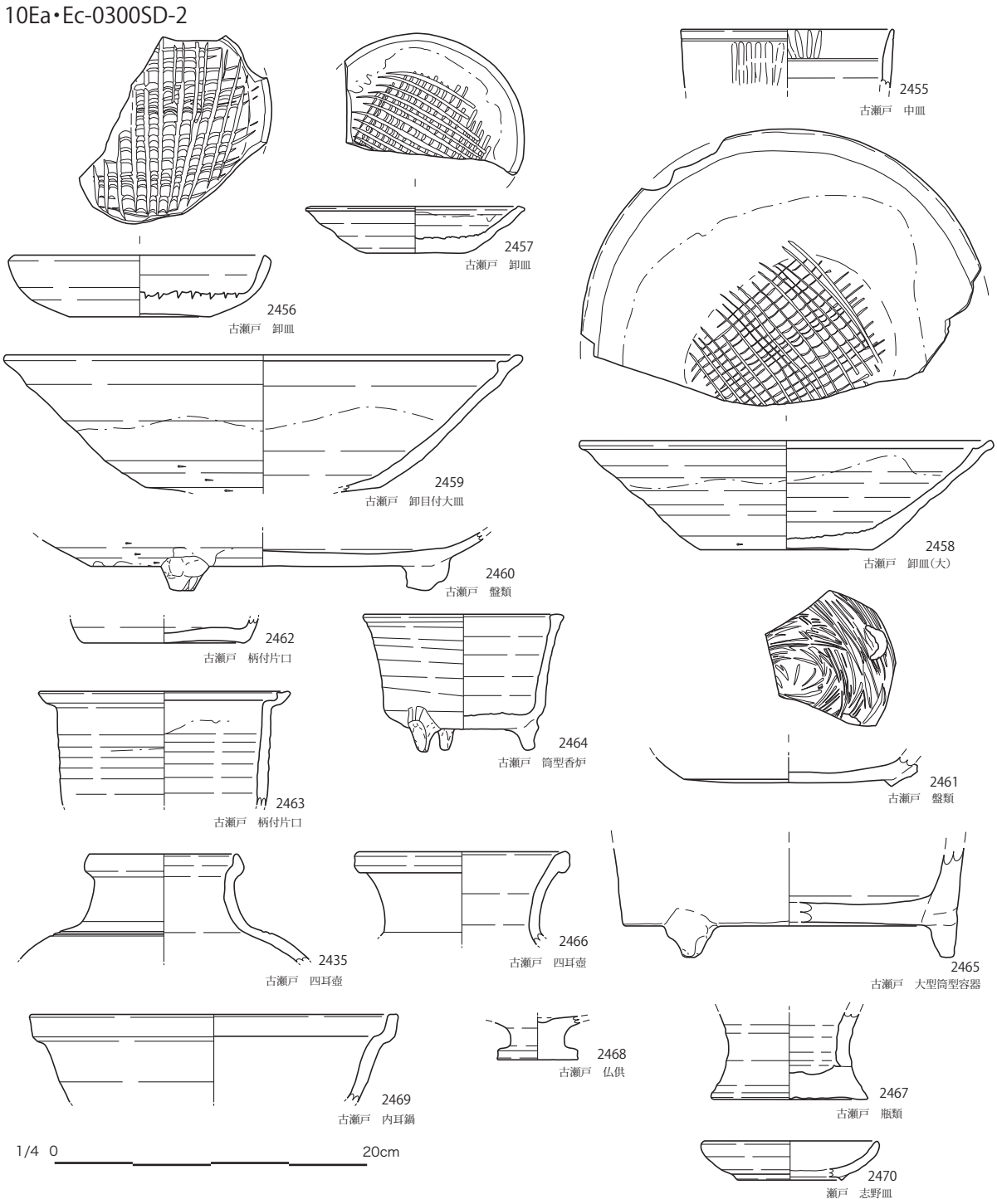
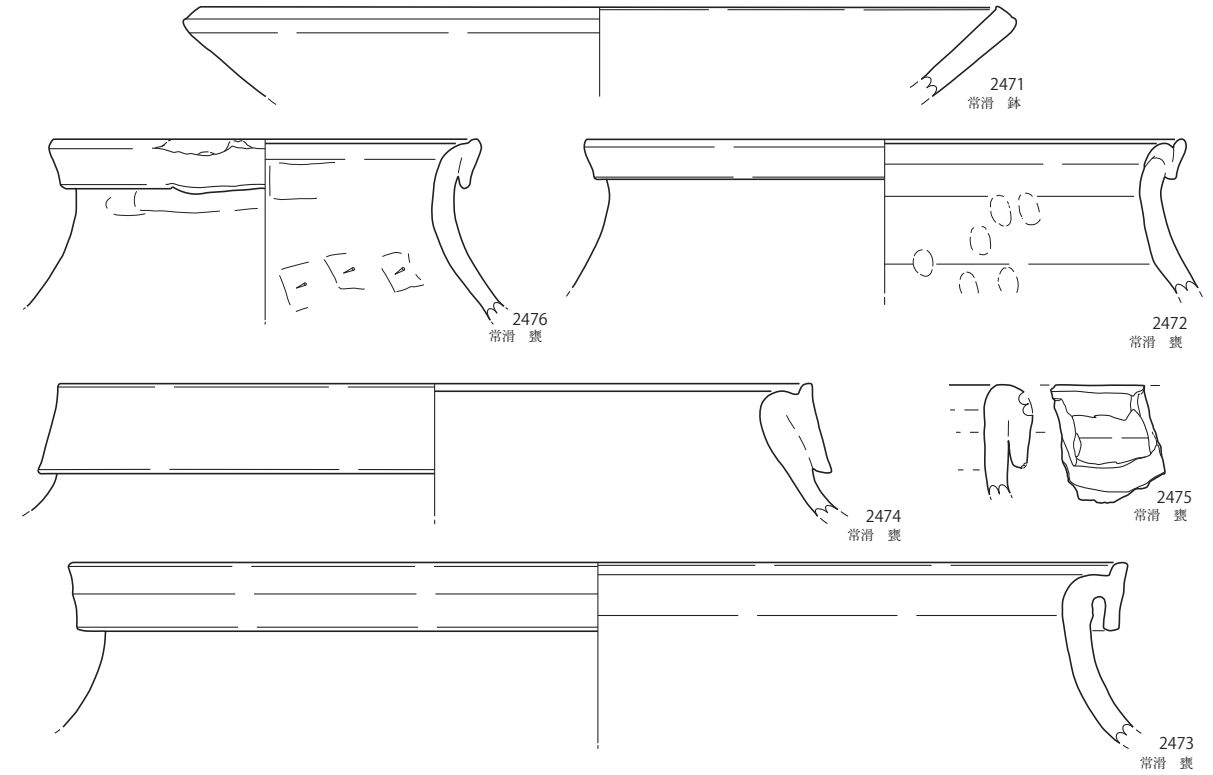
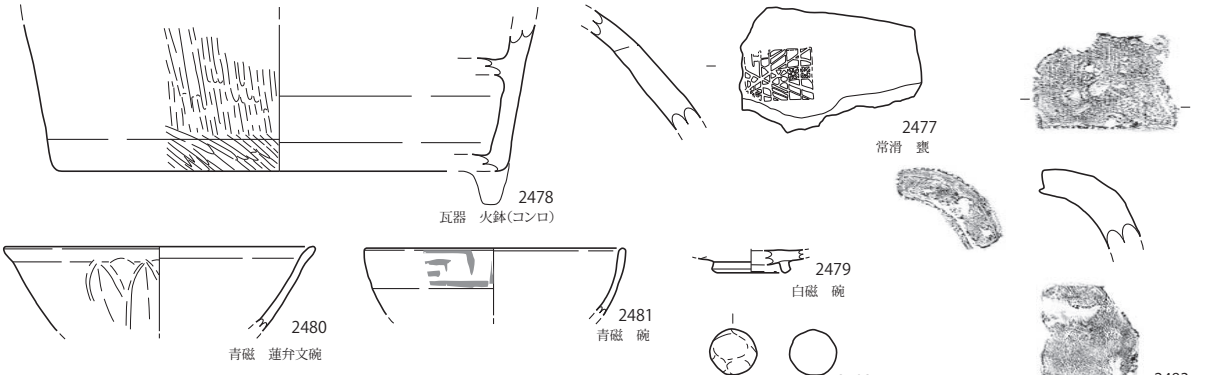


図 2-204　10Ea・Ec 区 0300SD 出土遺物実測図 -2（1:4）

10Ea・Ec-0300SD-3





10Ea-0300SD上層



10Ea-0300SD下層

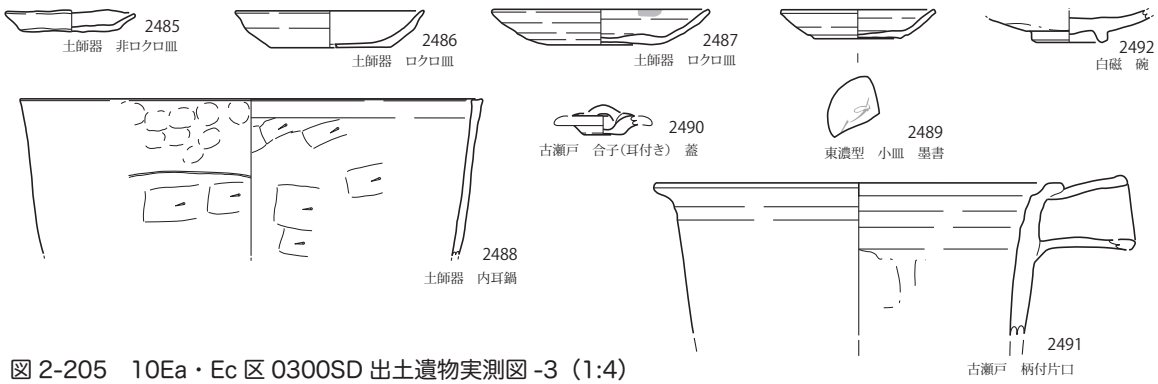


図 2-205　10Ea・Ec 区 0300SD 出土遺物実測図 -3（1:4）

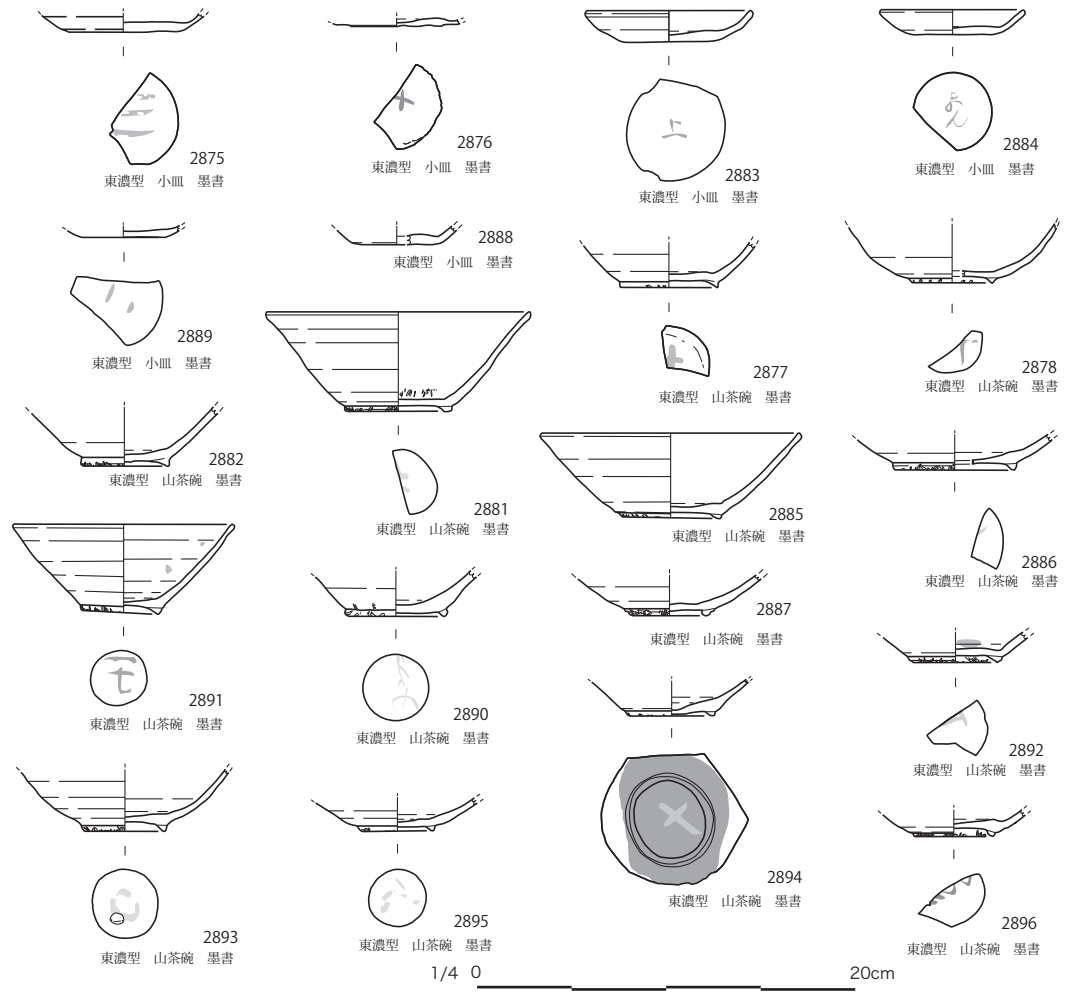


図 2-206　10Ec 区整地層出土遺物実測図 -1（1:4）

め立てられた２基の井戸は同じ掘り方内に、0901SE → 0900SE の順に築かれている。この２基の井戸枠を子細に検討すると、先行する 0901SE は 10Cb 区 1108SE の２段目井戸枠と同様に、長さ 70 ～ 75cm、幅 10cm、厚さ 2cm ほどのコウヤマキ製の幅広い平坦な板の両側縁に３～４箇所の穿孔を施し、栓をはめ込んでいる（図 2-216）。この穿孔には、幅 10cm ほどの細長いものと、2cm ほどの２パターンが認められ、同じ板で穿孔パターンが異なる例もある（図 2-216-5270）。また、図 2-216-5276・5277 のように、木取りの異なる２枚の板を、あたかも１枚の板のように継ぎ合わせ、それぞれ片側の側縁にのみ穿孔を施す例も存在する。

この 0901SE は、こういった栓結合の平坦な板を主体的に用い、さらにその隙間を図 2-217・218 のような薄板で埋めるという方法がとられている。

一方、後出する 0900SE は、10Cb 区 1108SE の第１・３段の井戸枠のように、ヒノキ・サワラ・スギといった針葉樹を主として板目に取り、その年輪に沿って緩やかに湾曲させた板を用いるかわ

10Ec-整地層（機械掘削 検出）-2

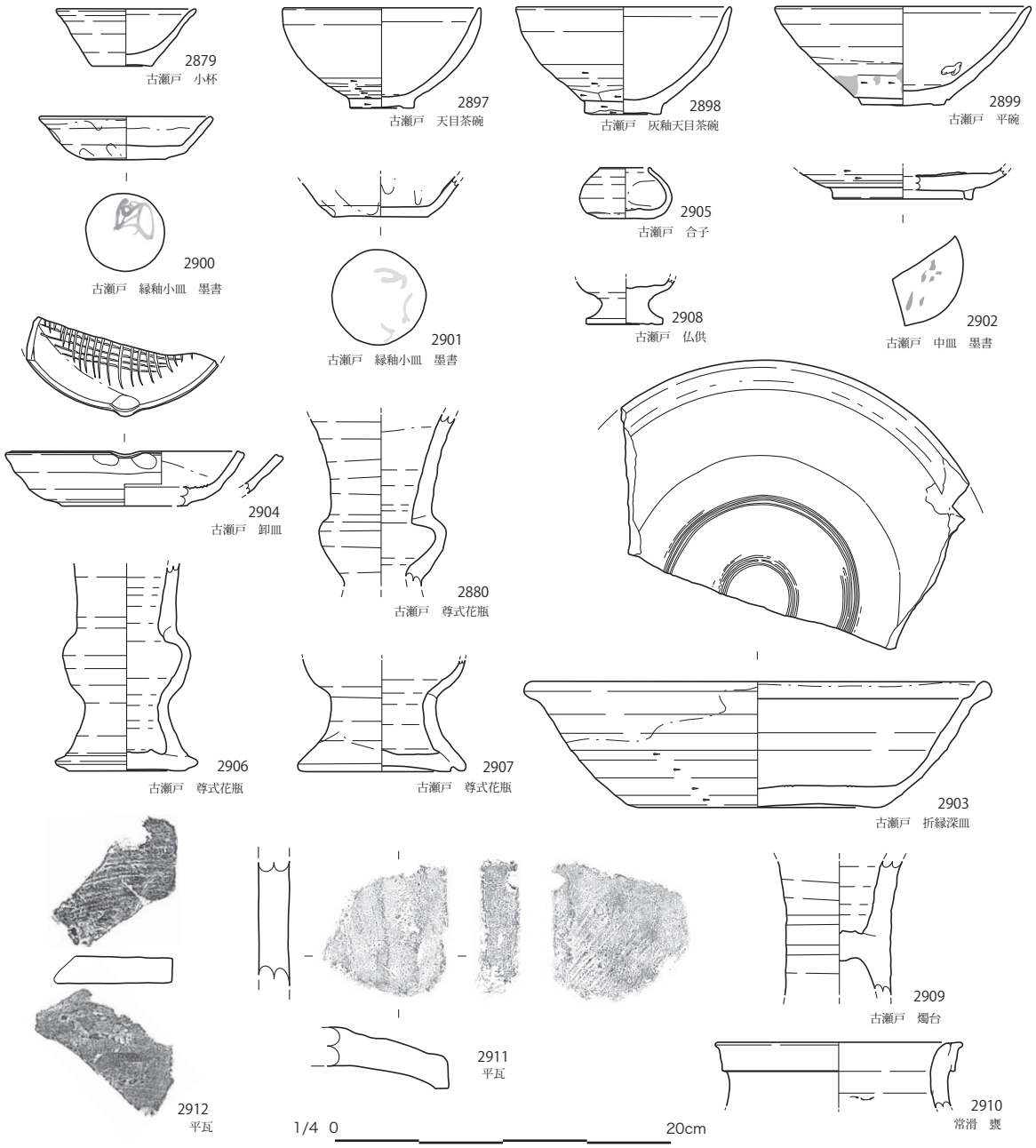


図 2-207　10Ec 区整地層出土遺物実測図 -2（1:4）

10Ec-整地層（機械掘削 検出）-3

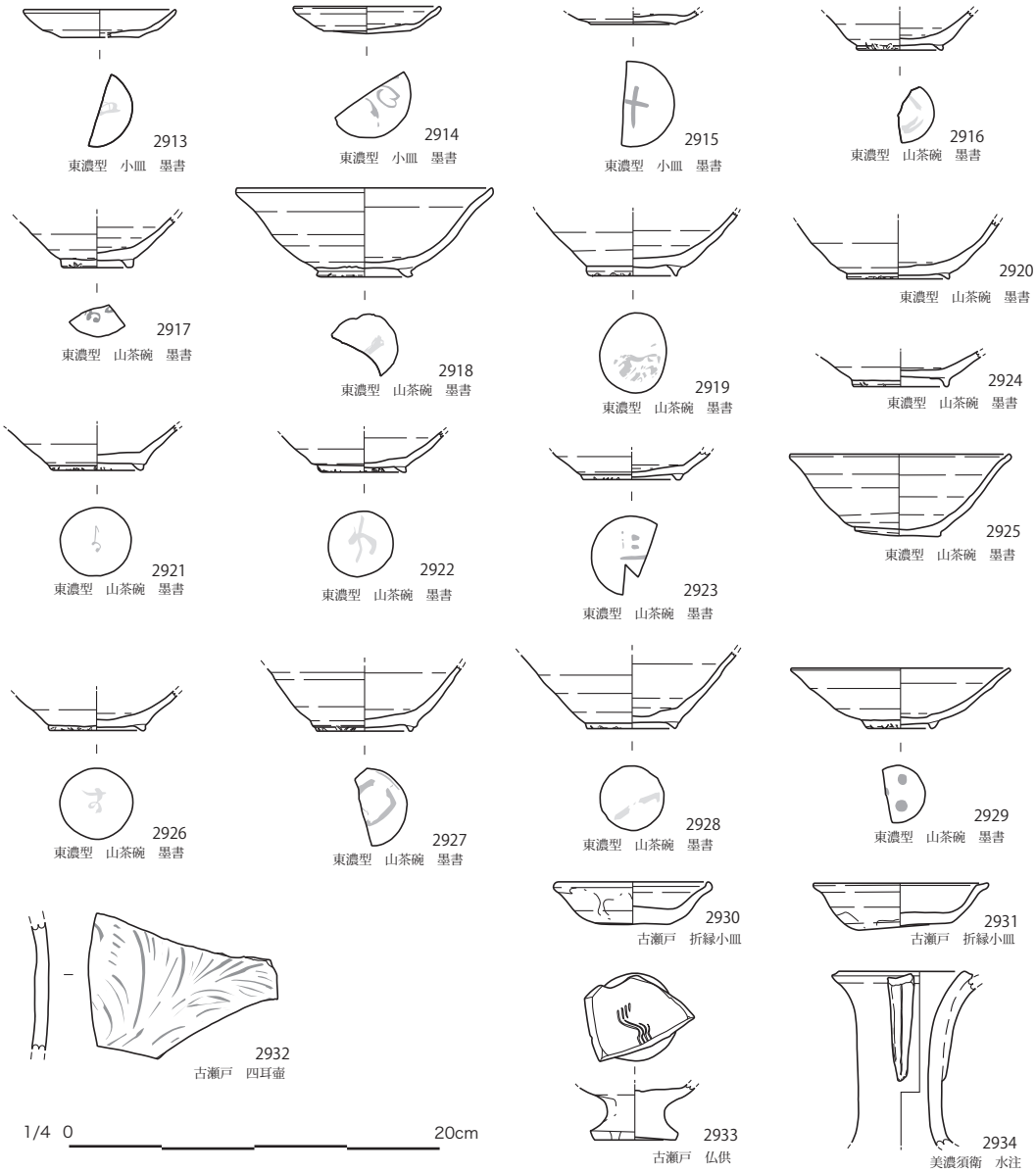


図 2-208　10Ec 区整地層出土遺物実測図 -3（1:4）

10Ec-整地層（機械掘削 検出）-4

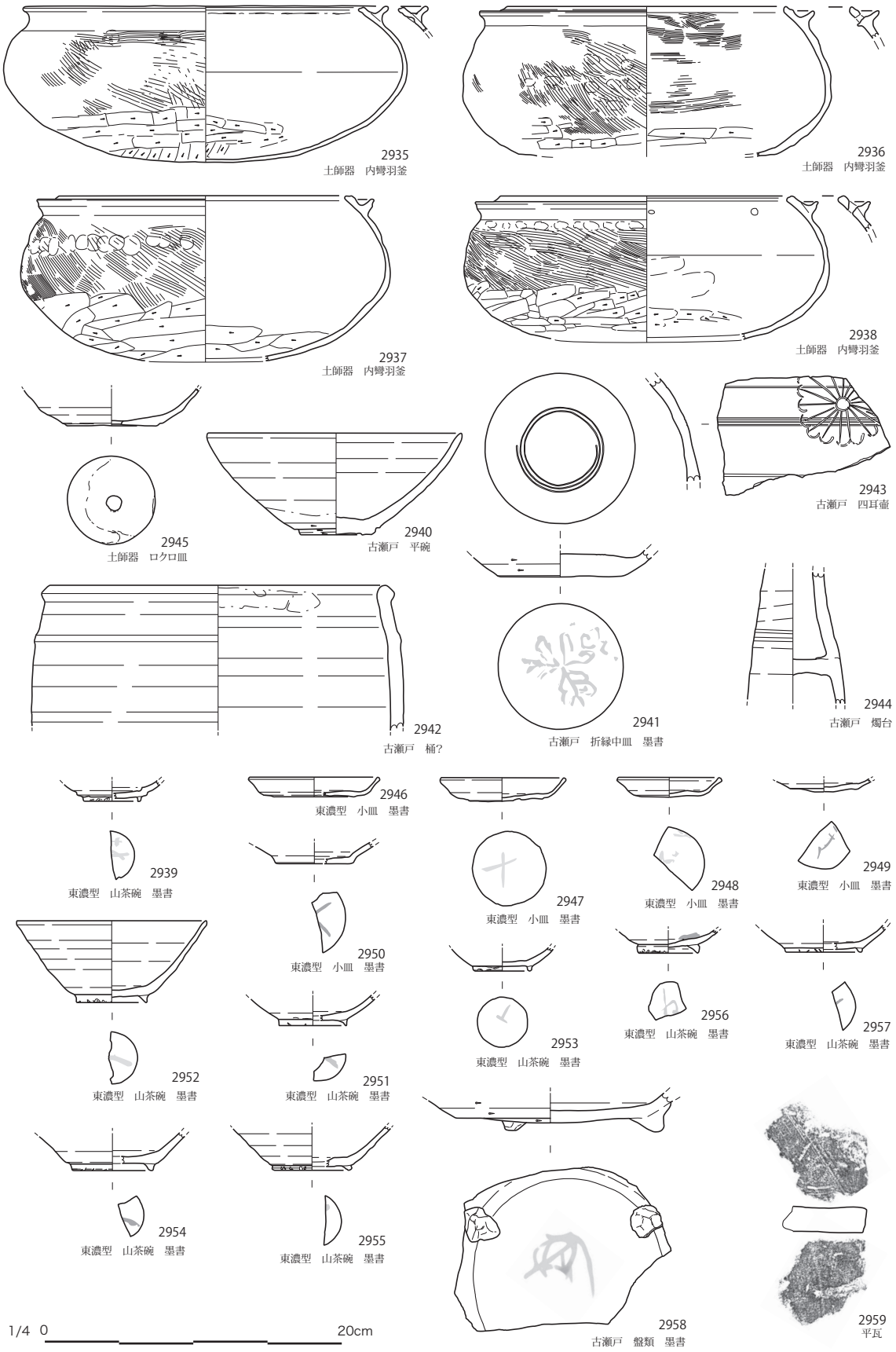


図 2-209　10Ec 区整地層出土遺物実測図 -4（1:4）

10Ec-整地層（機械掘削 検出）-5

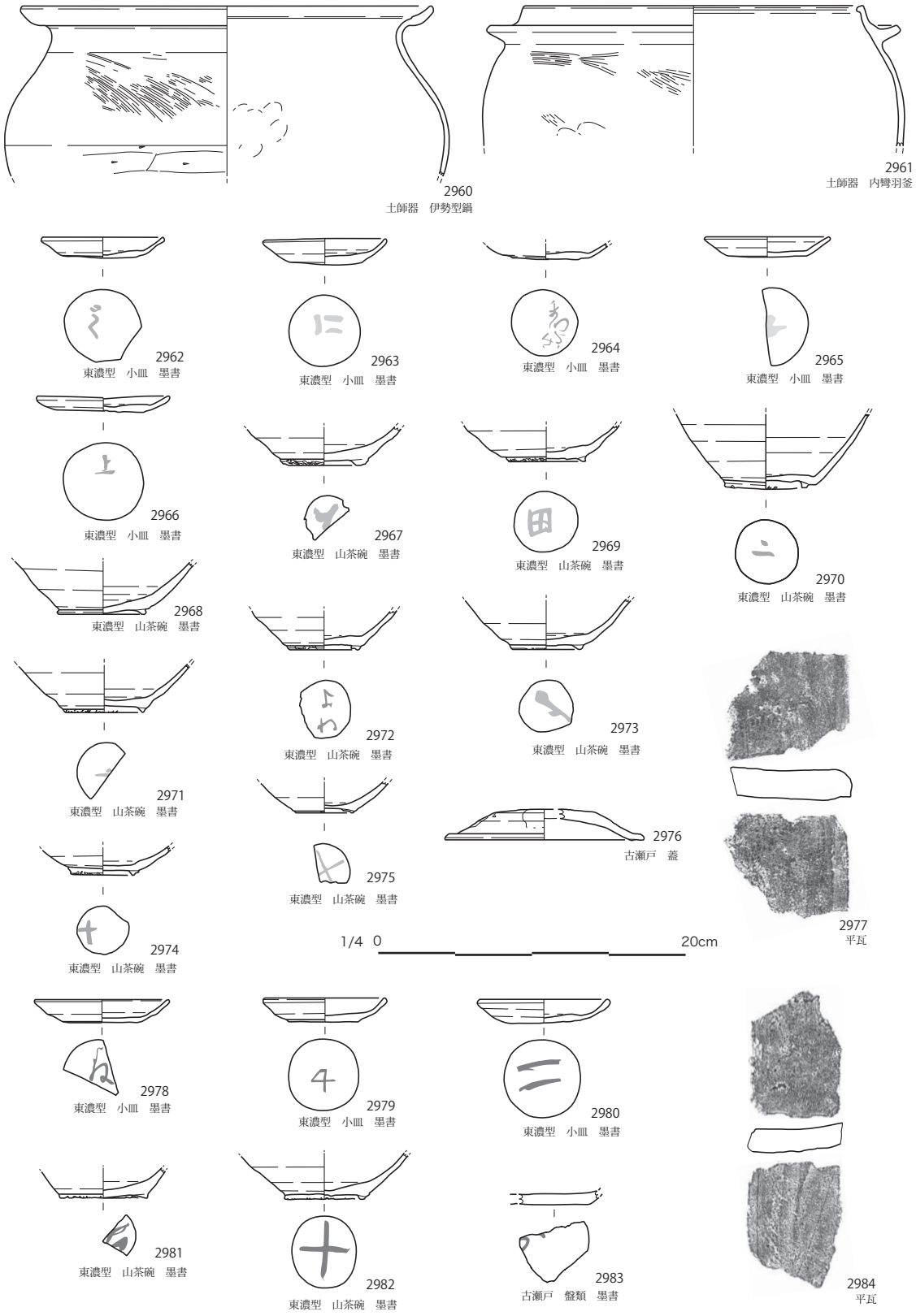


図 2-210　10Ec 区整地層出土遺物実測図 -5（1:4）

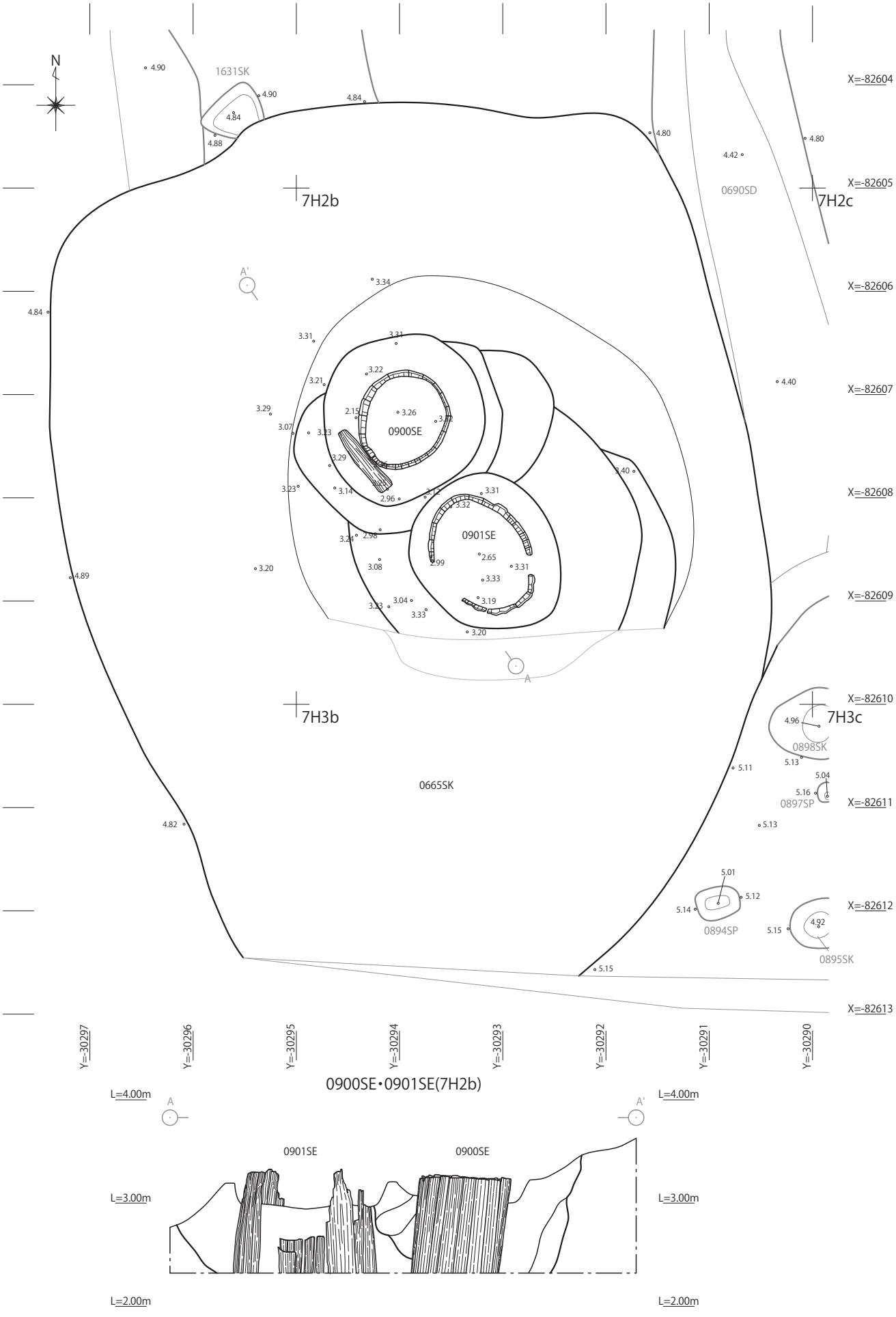


図 2-211　10Ec 区 0900・0901SE 遺構図（1:50）

10Ec-0900SE-1

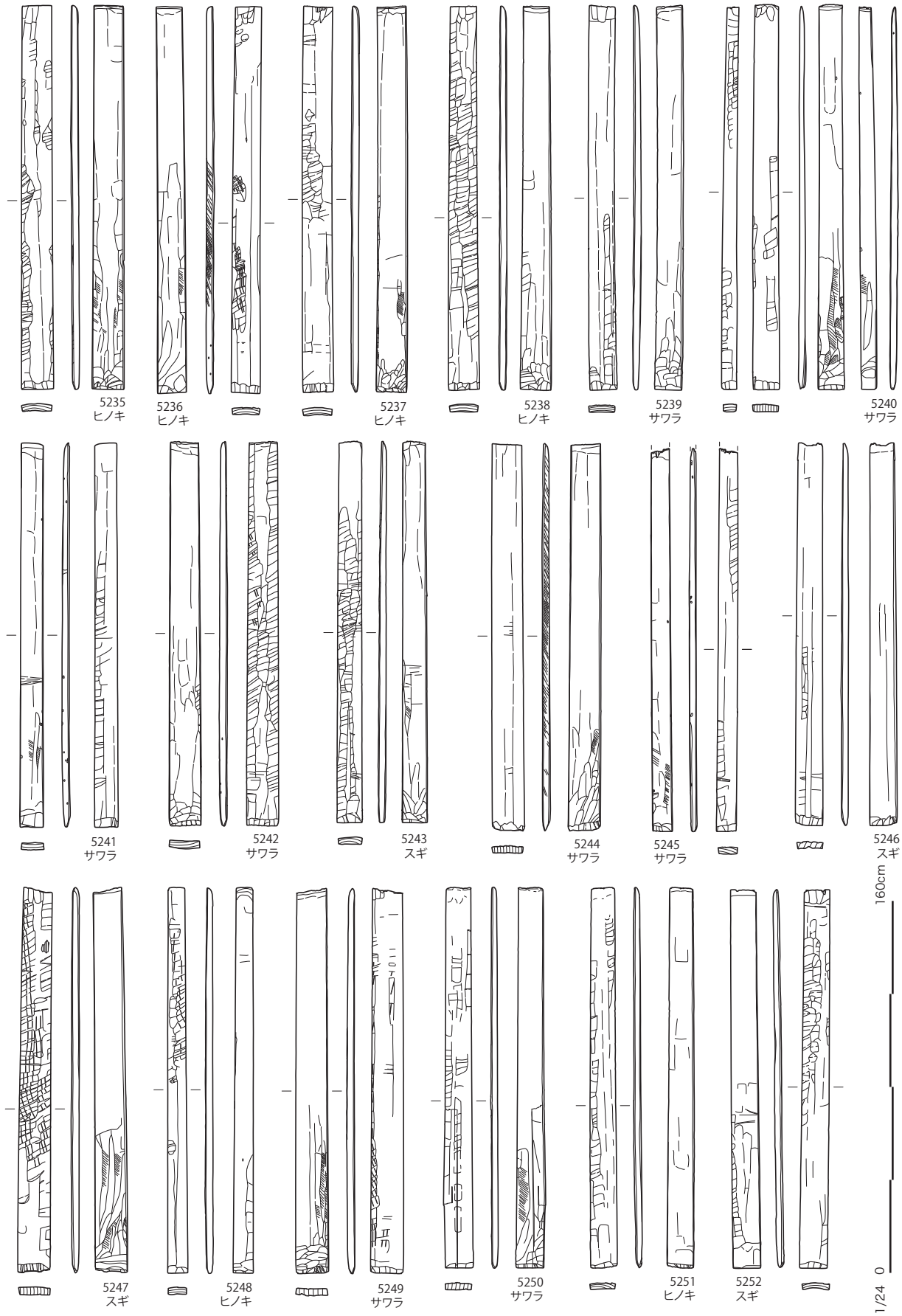


図 2-212　10Ec 区 0900SE 出土井戸枠材実測図 -1（1:24）

10Ec-0900SE-2

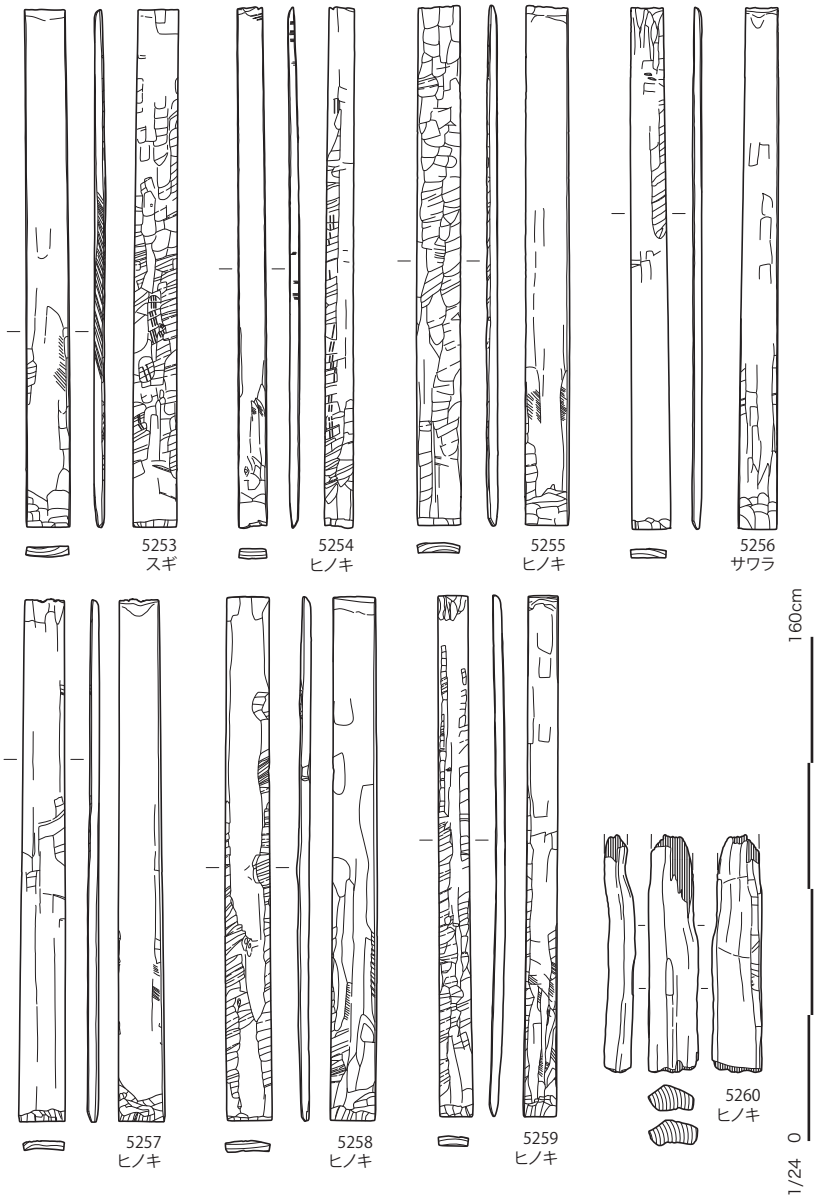


図 2-213　10Ec 区 0900SE 出土井戸枠材実測図 -2（1:24）

10Ec-0900SE井戸枠内-1

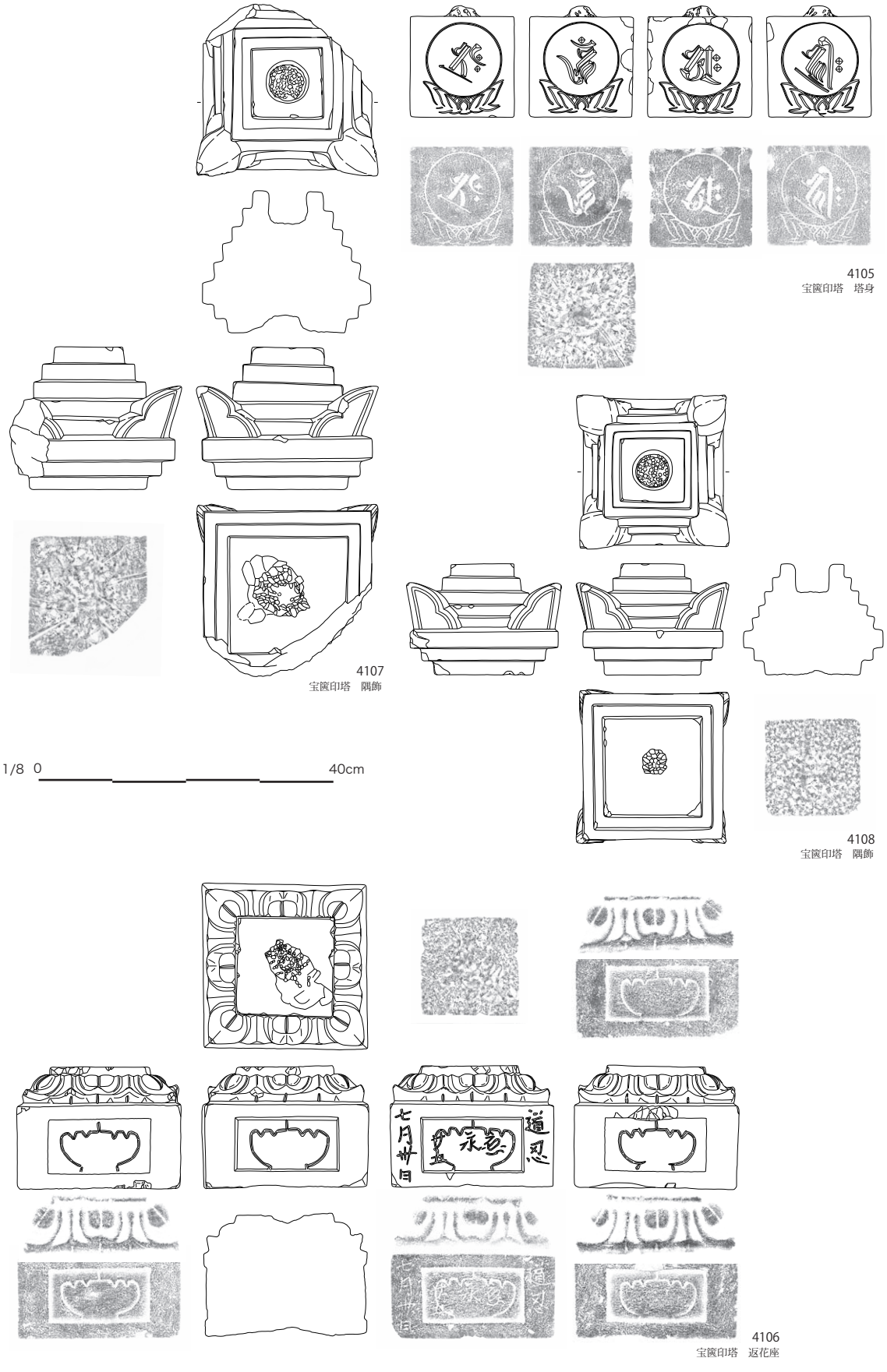


図 2-214　10Ec 区 0900SE 出土遺物実測図 -1（1:8）

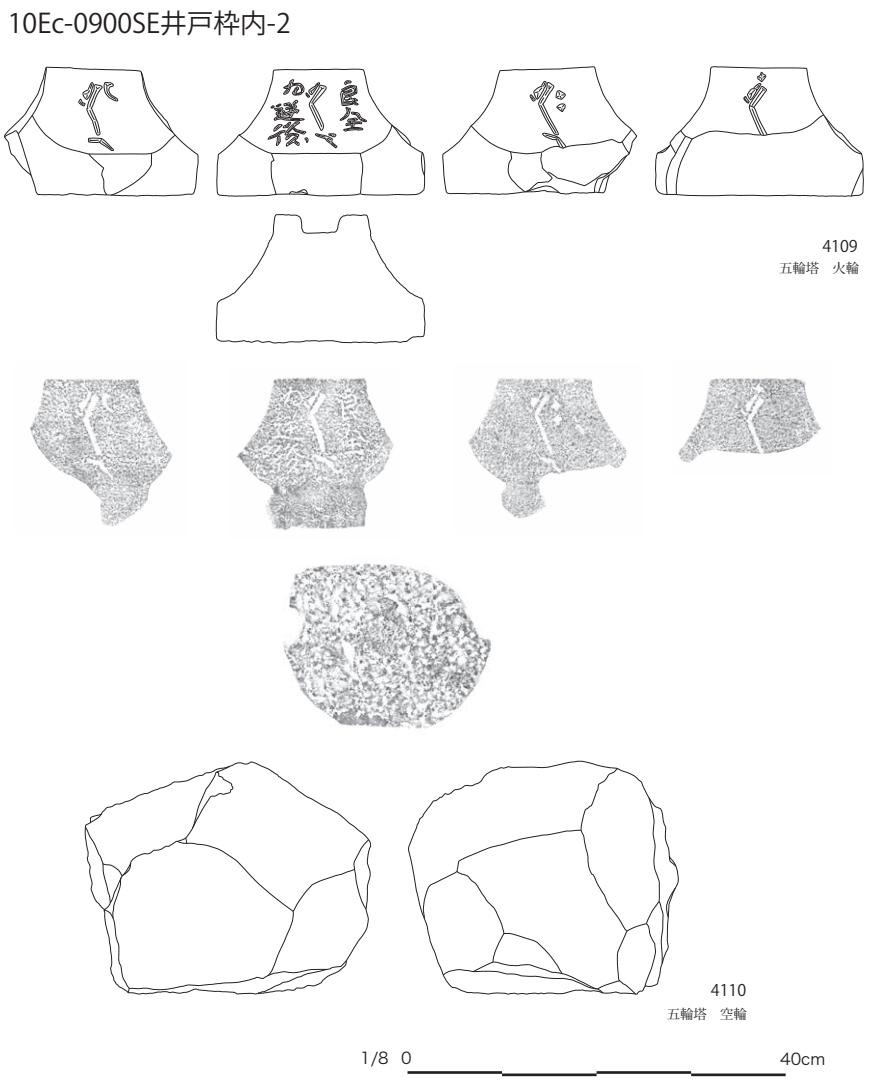


図 2-215　10Ec 区 0900SE 出土遺物実測図 -2（1:8）

りに、ほぞ穴と栓による結合はおこなっていない（図 2-212･213）。一見すると、栓結合（0901SE）の方が高度な技術であるように思われるが、桶のサイズに合わせて湾曲させ、板と板の境に隙間が空かないように細工された 0900SE の桶板の方が、より後出する型式であることが、この 2 基の井戸の重複関係からわかる。

0900・0901SE からは土器類の出土は認められないが、前述のように紀年銘のある宝篋印塔と人名のある五輪塔が出土した（図 2-214・215）。これらは養老山系より産する河戸石（こうづいし）製で、宝篋印塔は隅飾 2 点（4107・4108）、塔身（4105）・返花座（4106）各 1 点の 4 点があり、隅飾が重複することから、複数の宝篋印塔から持ち込まれたことがわかる。このうち、返花座には「道忍　応永廿五　七月卅日」の線刻が施されている。

一方、五輪塔は火輪（4109）と空輪（4110）の 2 点で、火輪には「良全　（梵字）　為逆修」と線刻されている。

これら 2 基の井戸の井戸枠最上段を抜き取っ

10Ec-0901SE-1

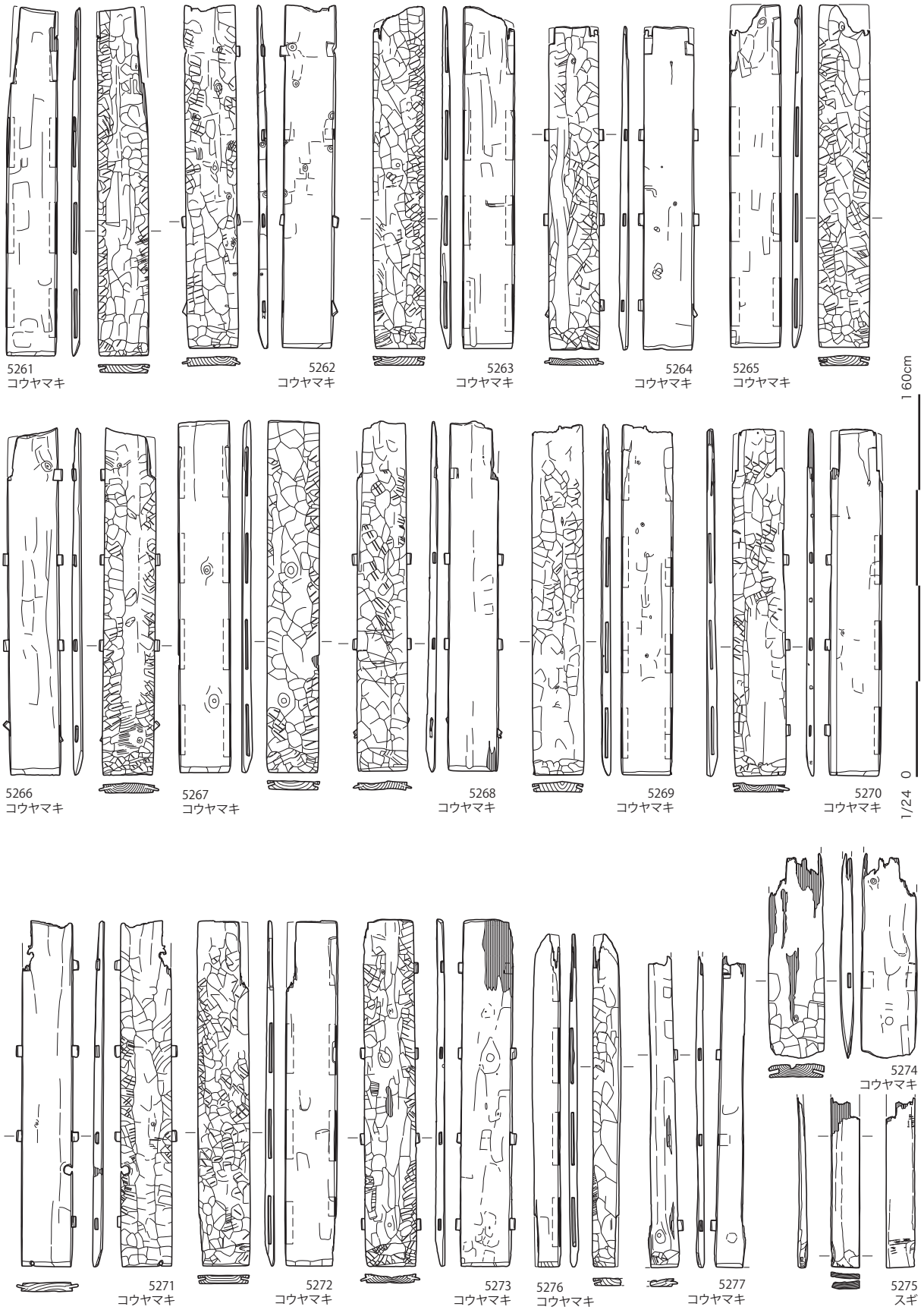


図 2-216　10Ec 区 0901SE 出土井戸枠材実測図 -1（1:24）

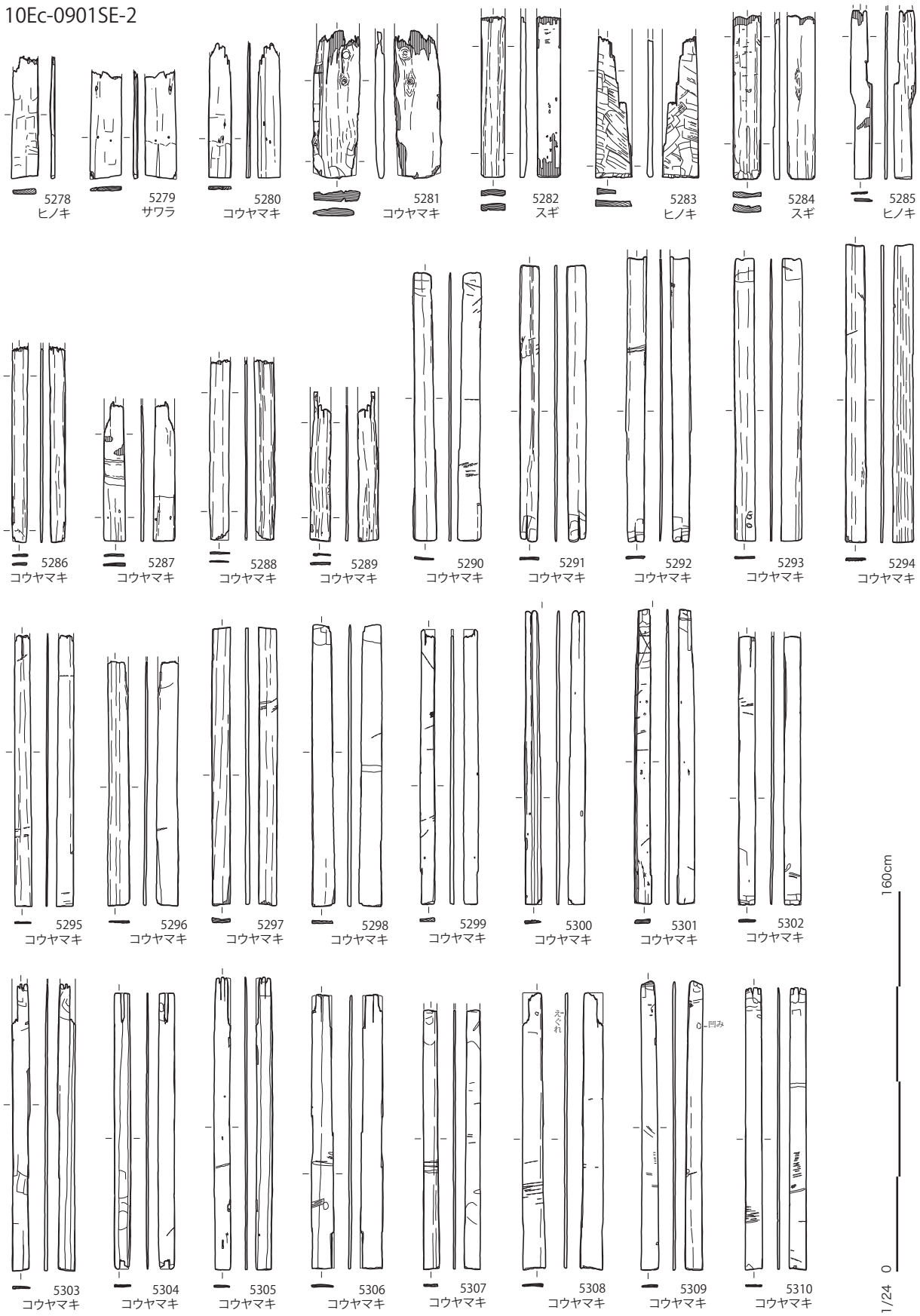


図 2-217　10Ec 区 0901SE 出土井戸枠材実測図 -2（1:24）

10Ec-0901SE-3

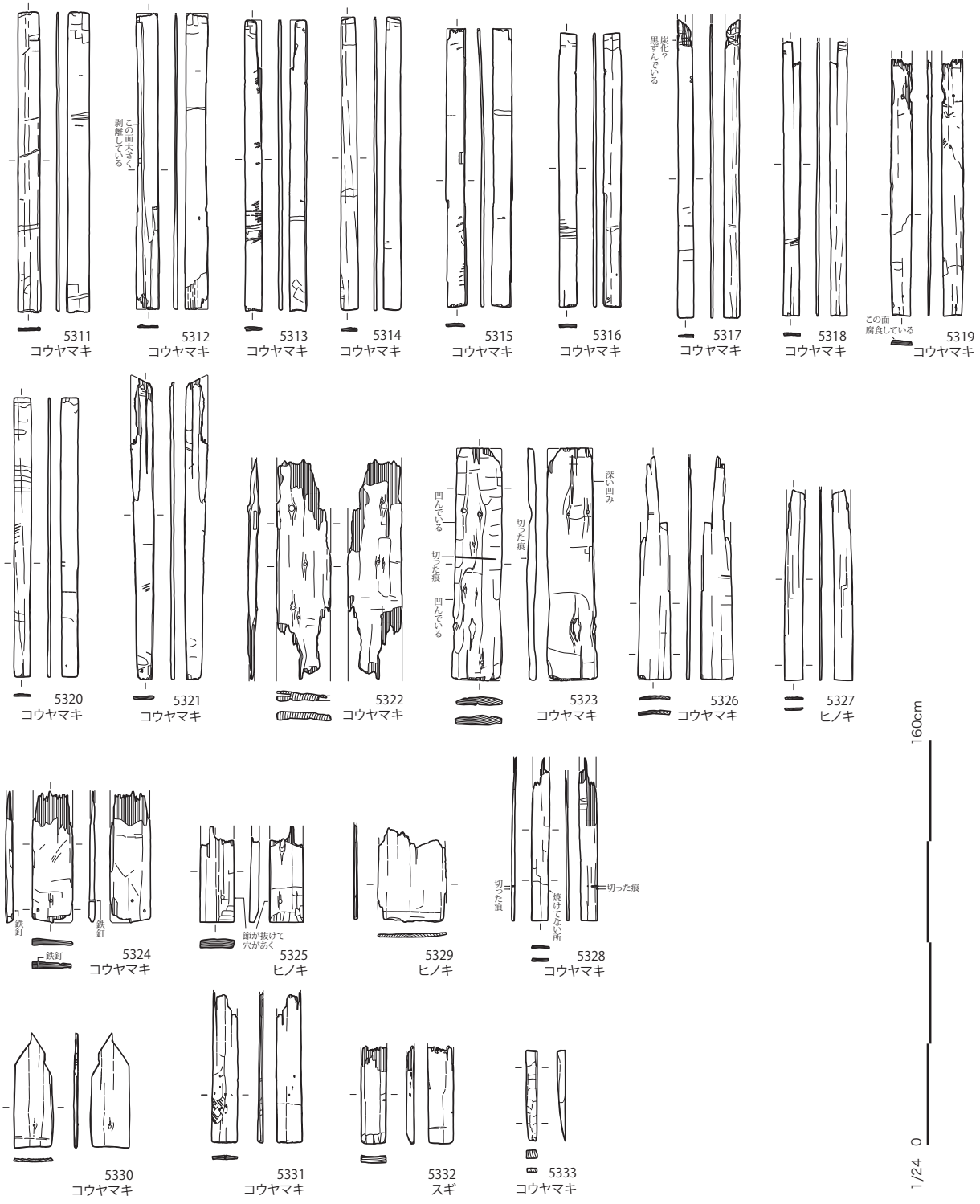
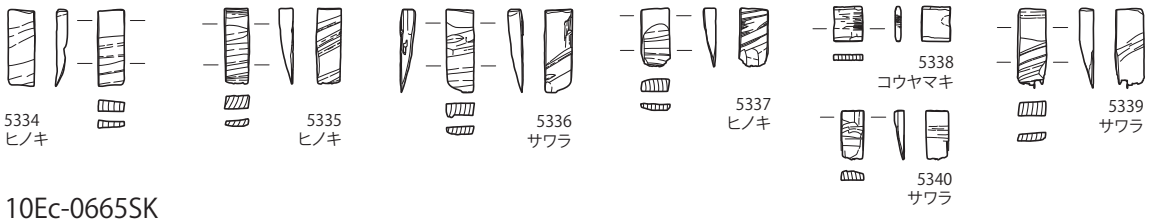
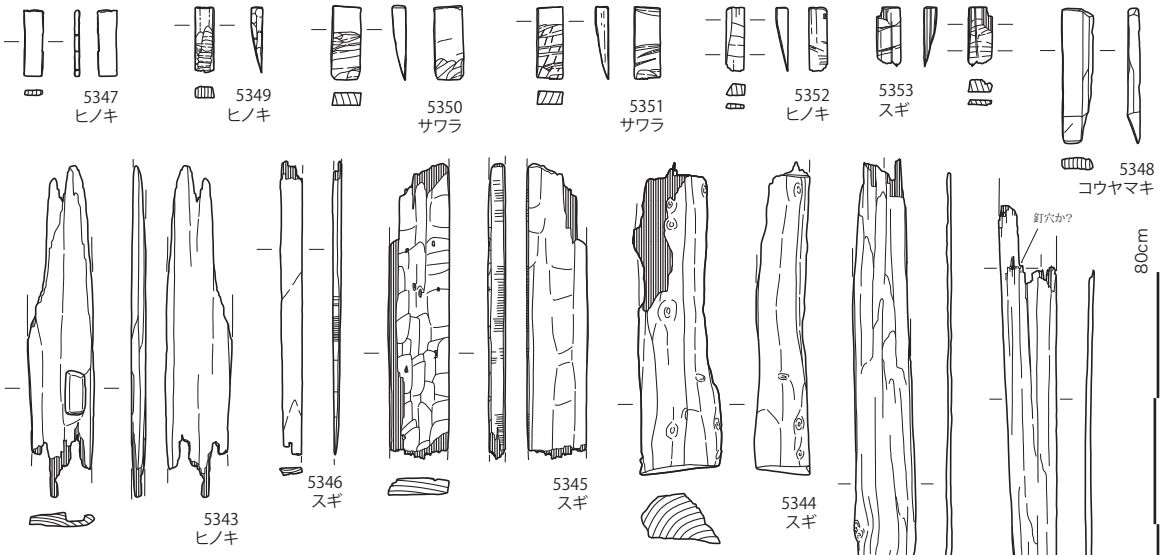


図 2-218　10Ec 区 0901SE 出土井戸枠材実測図 -3（1:24）

10Ec-0901SE-4



10Ec-0665SK



10Ec-0665SK下層

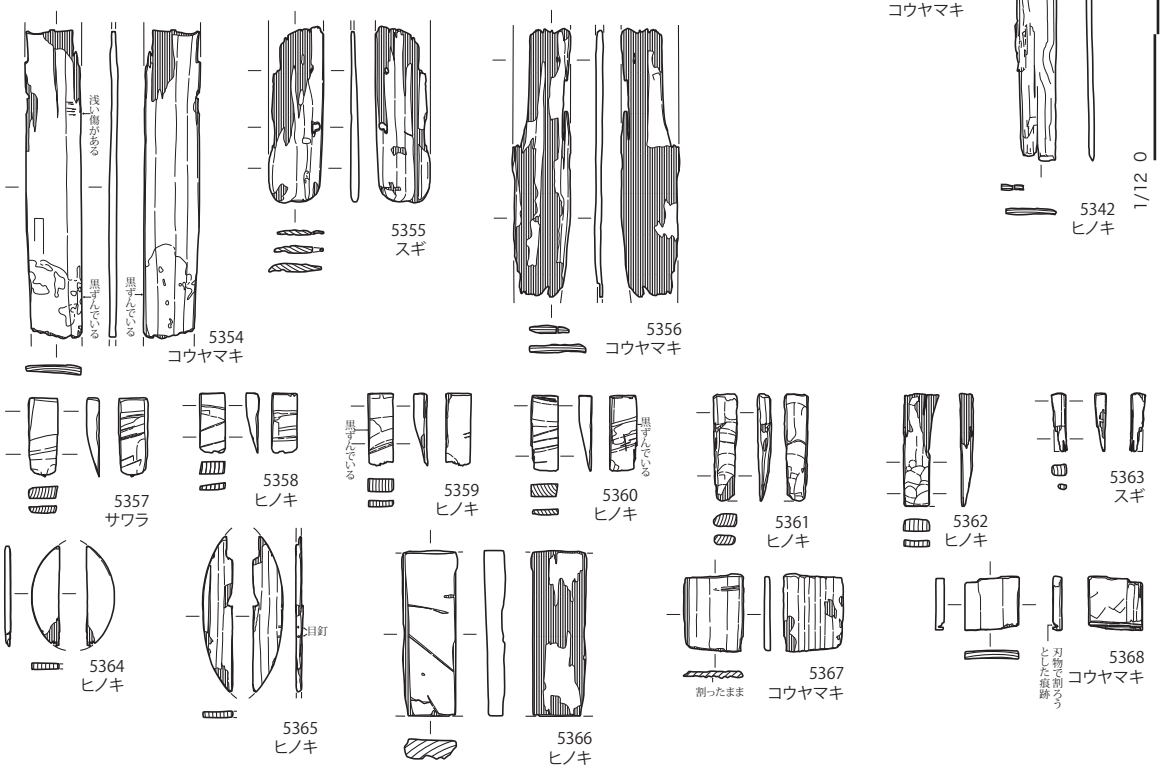


図 2-219　10Ec 区 0901SE 出土井戸枠材 -4/0665SK 下層出土遺物実測図（1:12）

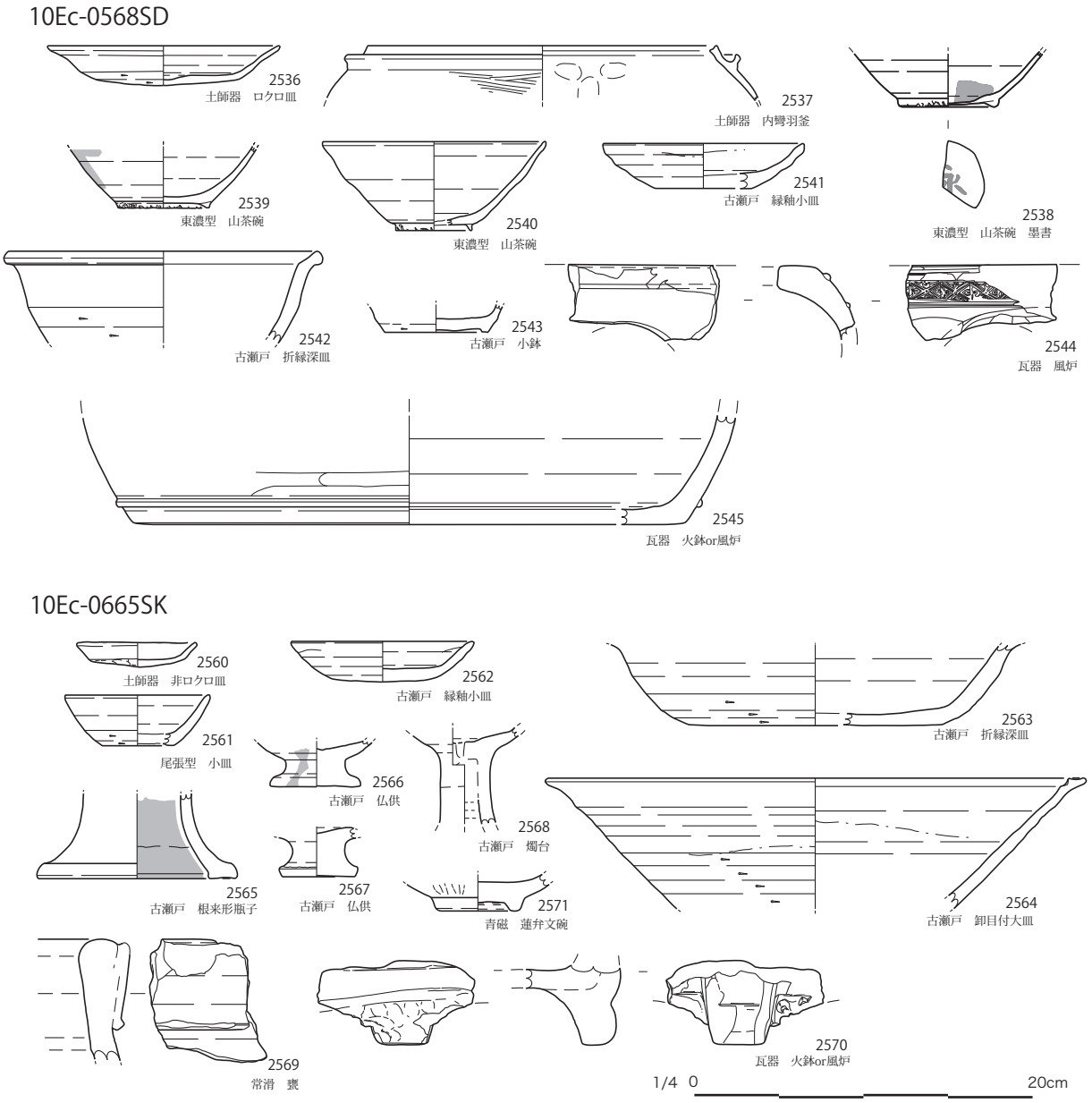


図 2-220　10Ec 区 0568SD・0665SK 出土遺物実測図（1:4）

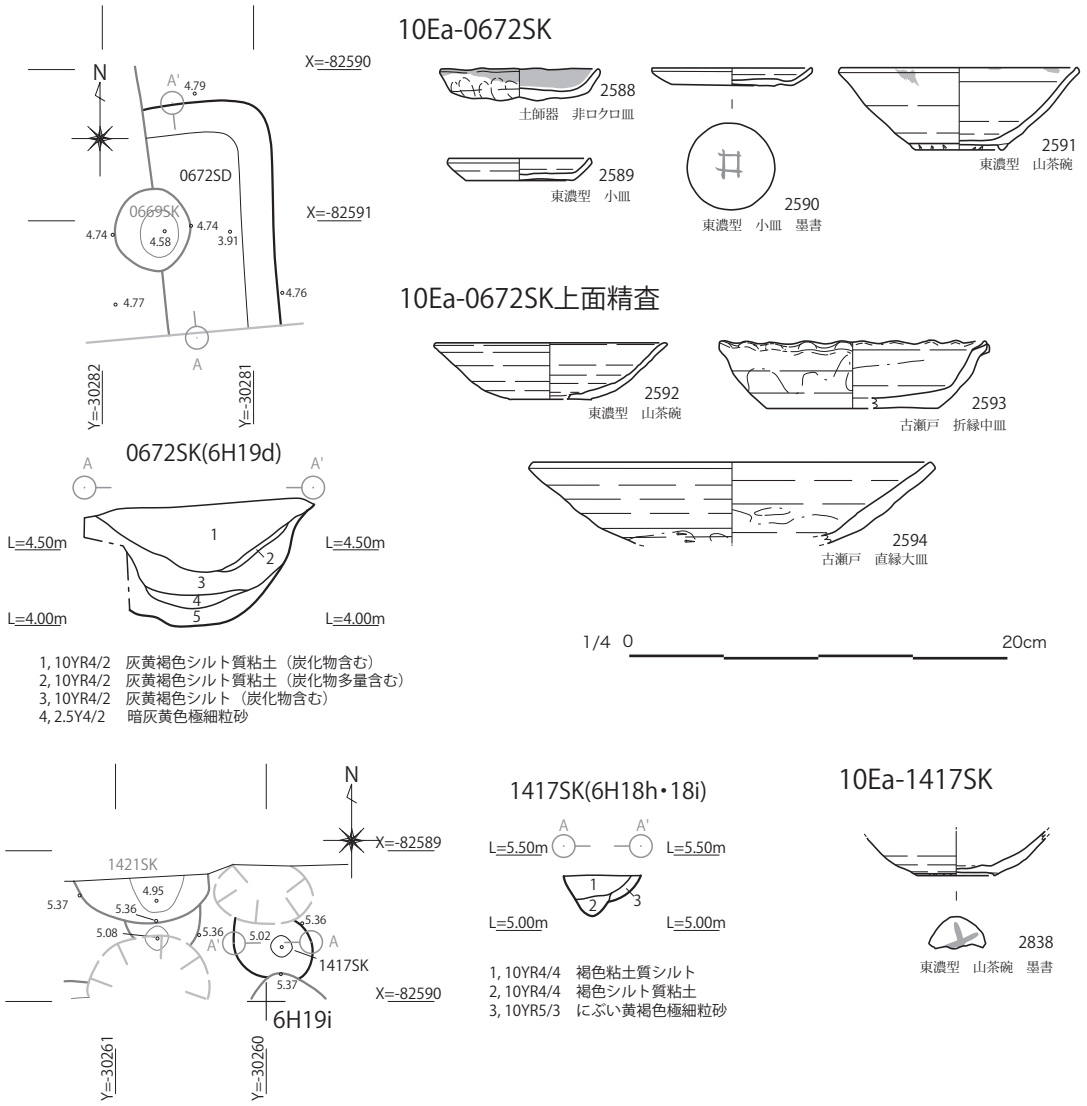


図 2-221　10Ea 区 0672SK・10Eb 区 1417SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

たのちに埋め立てられた埋土（0665SK）および、この 0665SK に切られる溝 0568SD からは、古瀬戸後Ⅲ期を下限とする遺物群が出土している（図 2-220）。

この 0568SD に先行するのが、方形縦板組みの井戸 10Ec-0698SE である。隅柱と横桟 3 段をもち、長さ 200cm、幅 30cm、厚さ 2cm のヒノキとコウヤマキの板を縦板とし、隅柱と横桟にはコウヤマキを用いる。隅柱は縦に 1 本で貫く長い角棒ではなく、横桟を間にかませて、その上に載せながら継いでいく方法をとっている。井戸枠内からは、14 世紀第 1 ～第 3 四半期を主体とする遺物が出土している（図 2-226 ～ 233）。

さらに鎌倉街道造成以前の遺構としては、10Ea・Ec 区を南北に貫く溝 0872SD（13 世紀第 4 ～ 14 世紀第 1 四半期）、この南北溝に直交する東西溝 0778SD（13 世紀第 2 ～ 14 世紀第 1 四半期）、土坑 10Ea 区 0672SK（13 世紀第 4 ～ 14 世紀第 1 四半期）、10Ea 区 0489SK（15 世紀第 1 ～第 2 四半期）、10Ec 区 0248SK

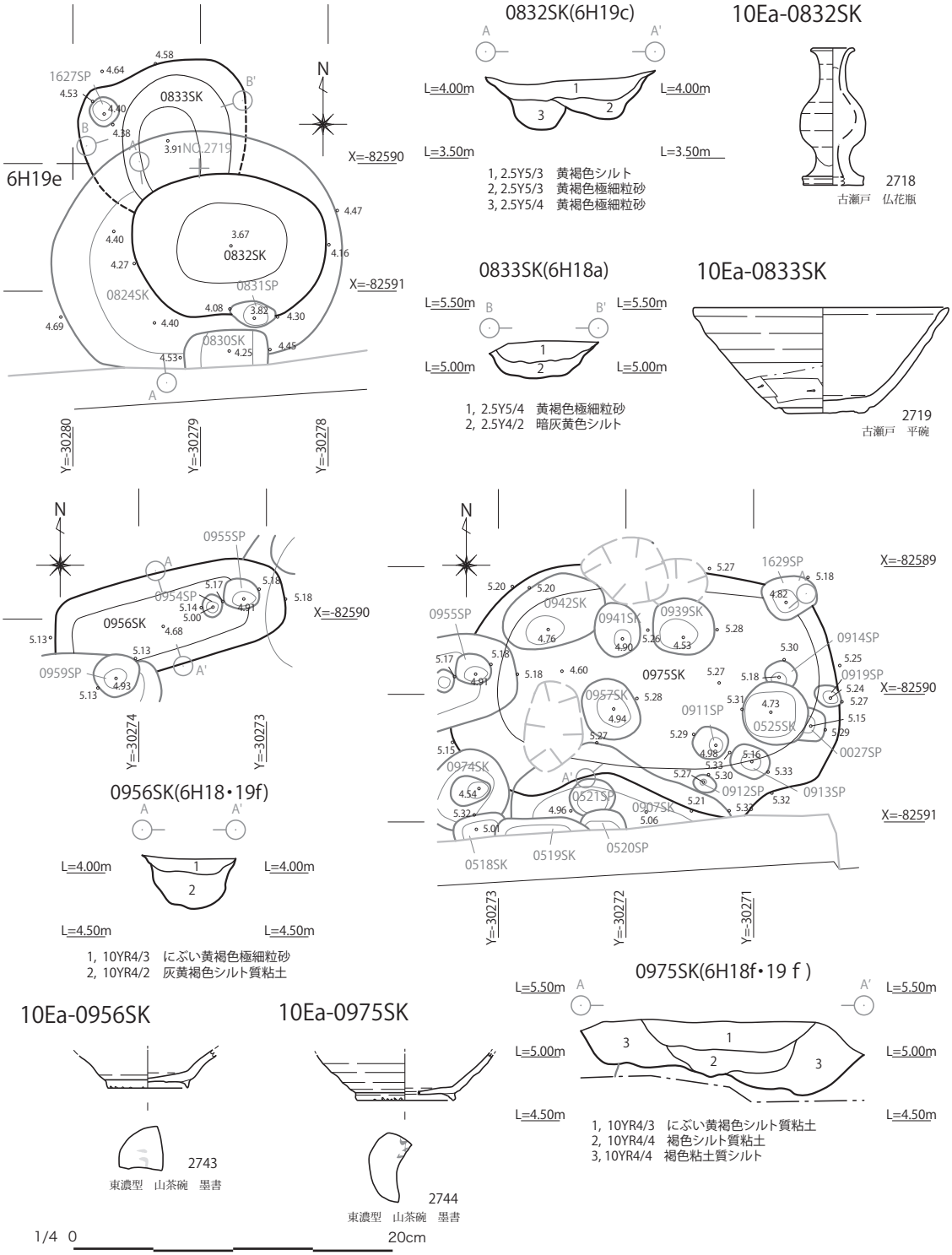
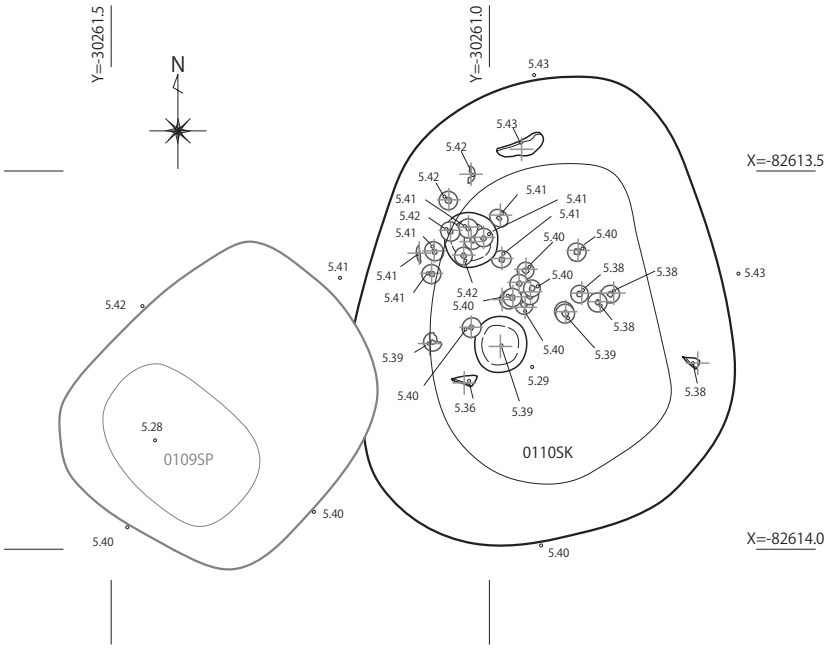


図 2-222　10Ea 区 0832・0833・0956・0975SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）



10Ec-0110SK



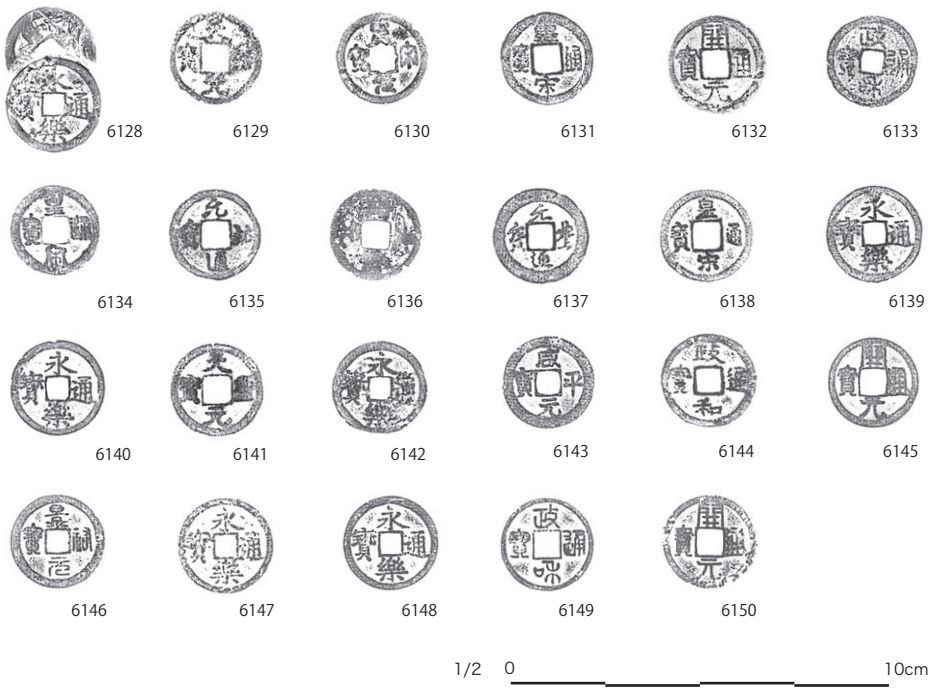
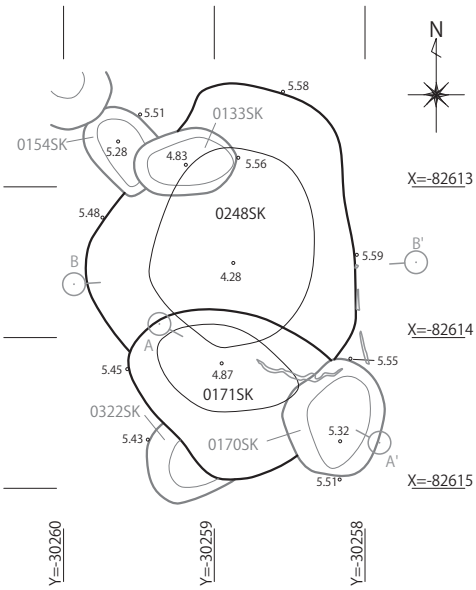
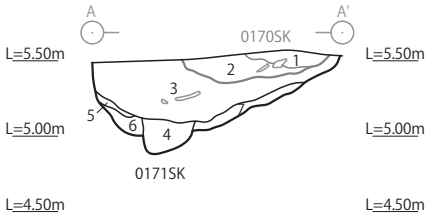


図 2-223　10Ec 区 0110SK 遺構図（1:10）・同出土遺物実測図（1:4・1:2）

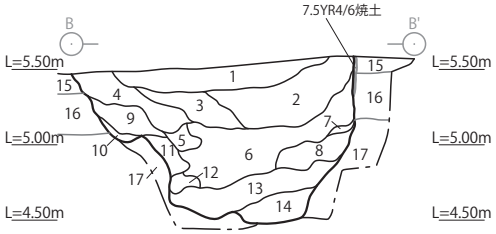


0170SK・0171SK(7H3h)



1, 2.5Y3/2　黒褐色シルト(10YR4/2　灰黄褐色極細粒砂、炭化物、焼土多量含む)(0170SK)
2, 10YR3/2　黒褐色シルト(炭化物、焼土多量含む)(0170SK)
3, 10YR2/3　黒褐色炭化物と10YR4/6　褐色焼土(10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0171SK)
4, 10YR2/3　黒褐色炭化物と10YR4/6　褐色焼土(10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト含む)(0171SK)
5, 2.5Y4/3　オリーブ褐色粘土質シルト(0171SK)
6, 2.4Y4/3　オリーブ褐色極細粒砂(炭化物含む)(0171SK)
7, 2.4Y4/3　オリーブ褐色極細粒砂(炭化物、焼土含む)(0171SK)

0248SK(7H3i)



1, 10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト(7.5YR5/6　明褐色(焼土、炭化物含む)と10YR5/4　にぶい黄褐色シルトの斑土多量含む)
2, 10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト(1に比べて炭化物多量含む)
3, 10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト(10YR4/4　褐色シルト、7.5YR5/6　明褐色(焼土、炭化物含む)と10YR5/4　にぶい黄褐色シルトの斑土多量含む)
4, 10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト(3に比べてしまり弱い)
5, 10YR5/4　にぶい黄褐色極細粒砂(炭化物少量含む)
6, 10YR4/3　にぶい黄褐色極細粒砂(7.5YR5/6　明褐色(焼土、炭化物含む)と10YR5/4　にぶい黄褐色シルトの斑土多量含む)
7, 10YR5/4　にぶい黄褐色極細粒砂(炭化物含む)
8, 10YR5/3　にぶい黄褐色極細粒砂(7.5YR5/6　明褐色(焼土、炭化物含む)と10YR5/4　にぶい黄褐色シルトの斑土多量含む)
9, 10YR5/3　にぶい黄褐色極細粒砂(7.5YR5/6　明褐色(焼土、炭化物含む)と10YR5/4　にぶい黄褐色シルトの斑土多量含む)
10,10YR5/4　にぶい黄褐色細粒砂(炭化物含む)
11,10YR5/4　にぶい黄褐色シルト質粘土(炭化物含む)
12,10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルト(炭化物含む)
13,10YR5/4　にぶい黄褐色細粒砂(10YR5/3　にぶい黄褐色シルト、7.5YR5/6　明褐色(焼土、炭化物含む)と10YR5/4　にぶい黄褐色シルトの斑土少量含む)
14,10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト
15,10YR4/3　にぶい黄褐色極細粒砂(炭化物含む)
16,10YR5/4　にぶい黄褐色細粒砂(地山)
17,10YR5/3　にぶい黄褐色極細粒砂(地山)

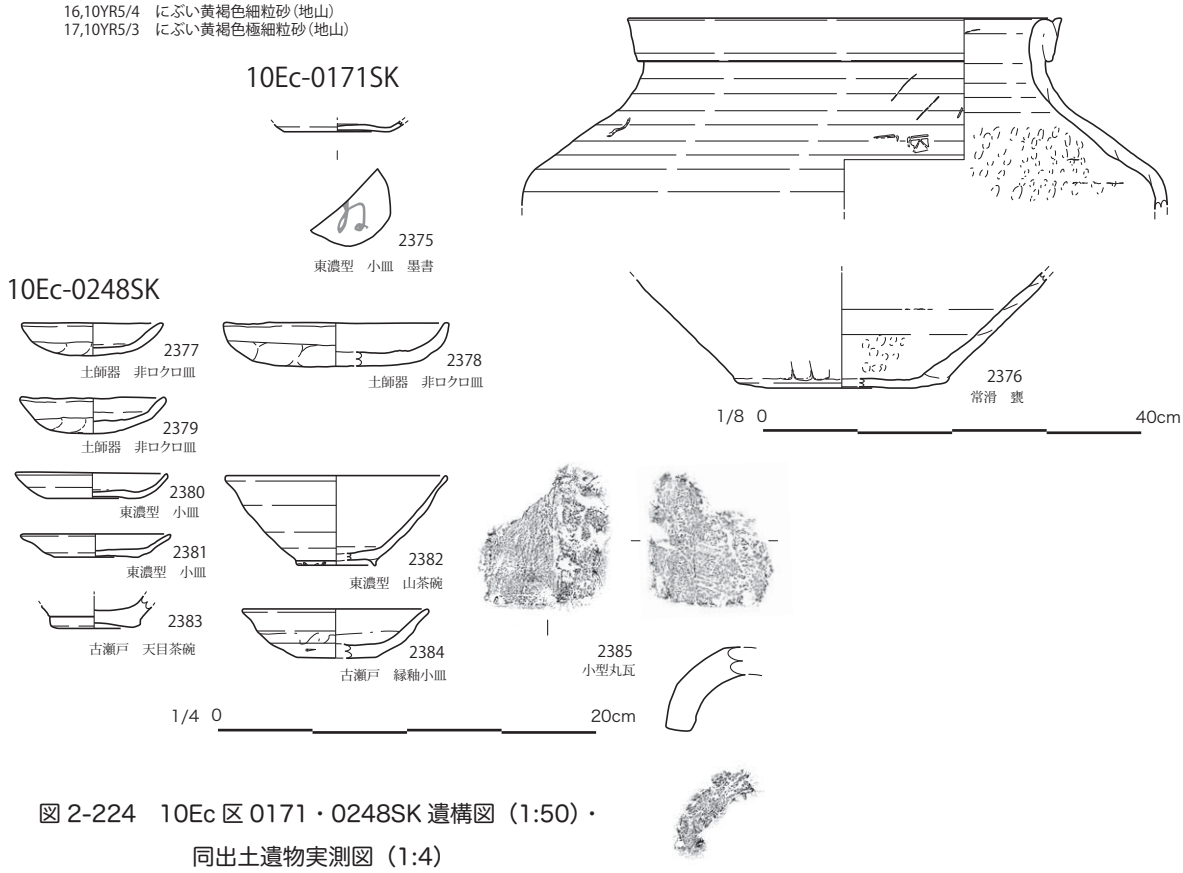


図 2-224　10Ec 区 0171・0248SK 遺構図（1:50）・
同出土遺物実測図（1:4）

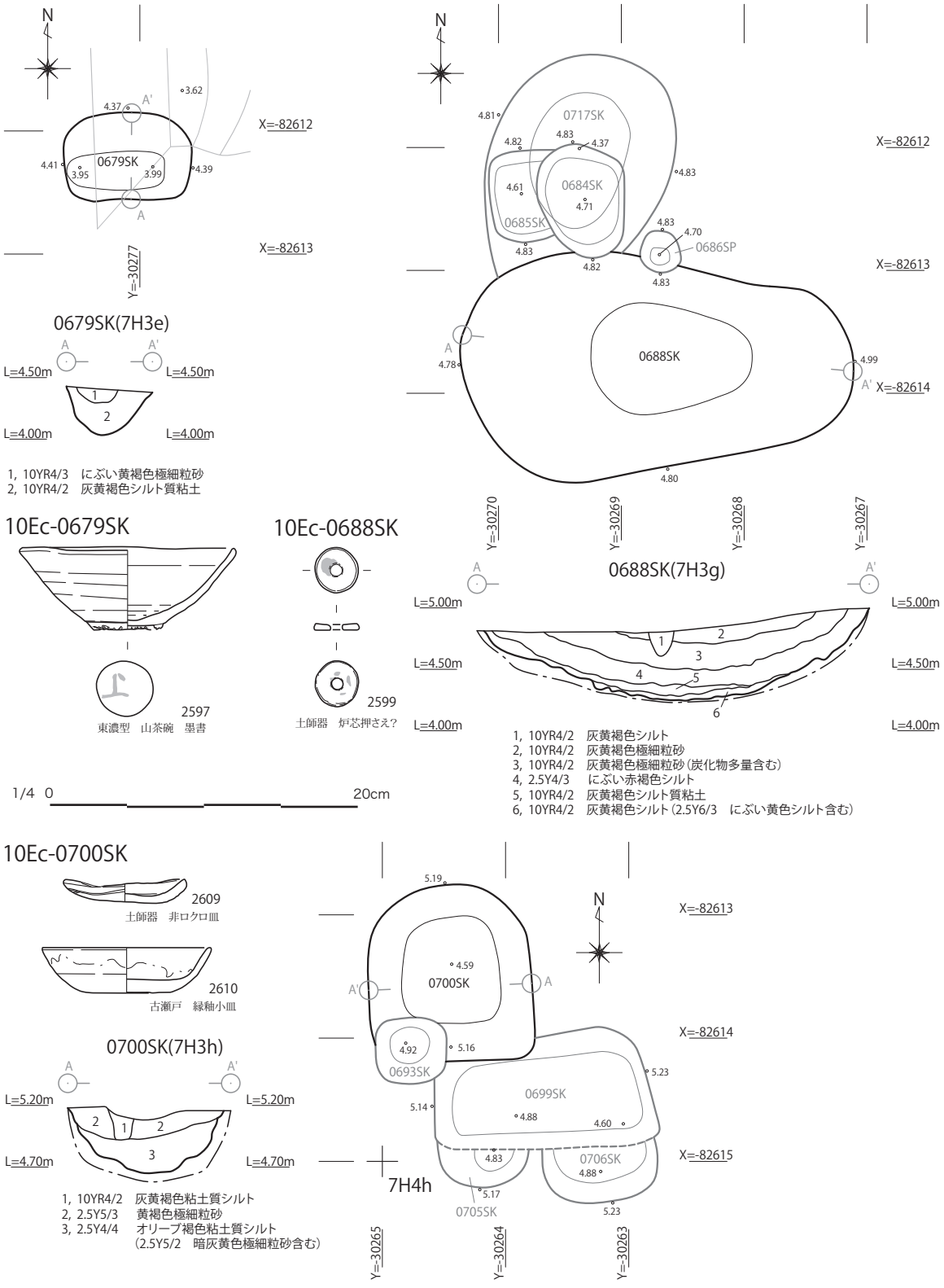


図 2-225 10Ec 区 0679・0688・0700SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

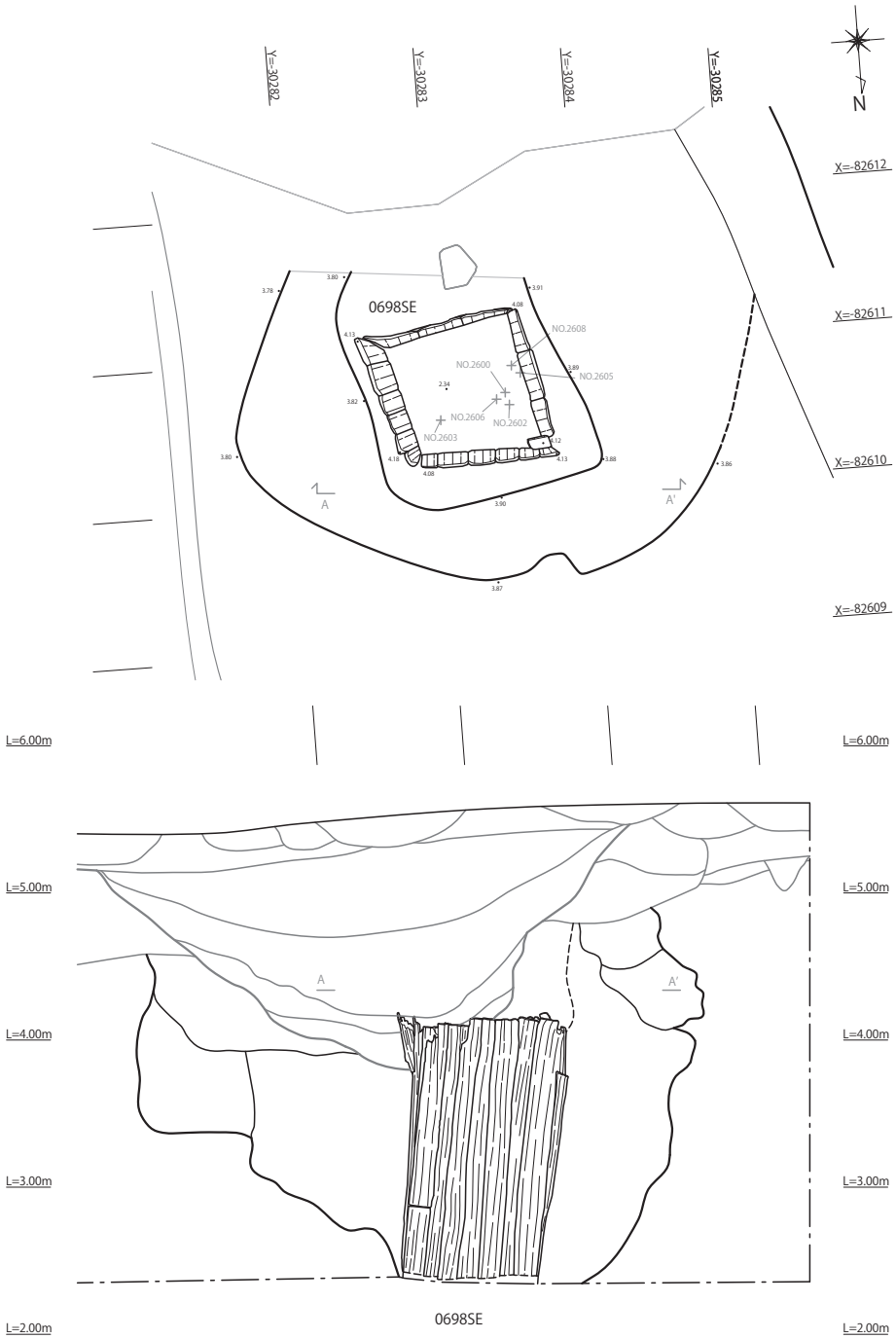
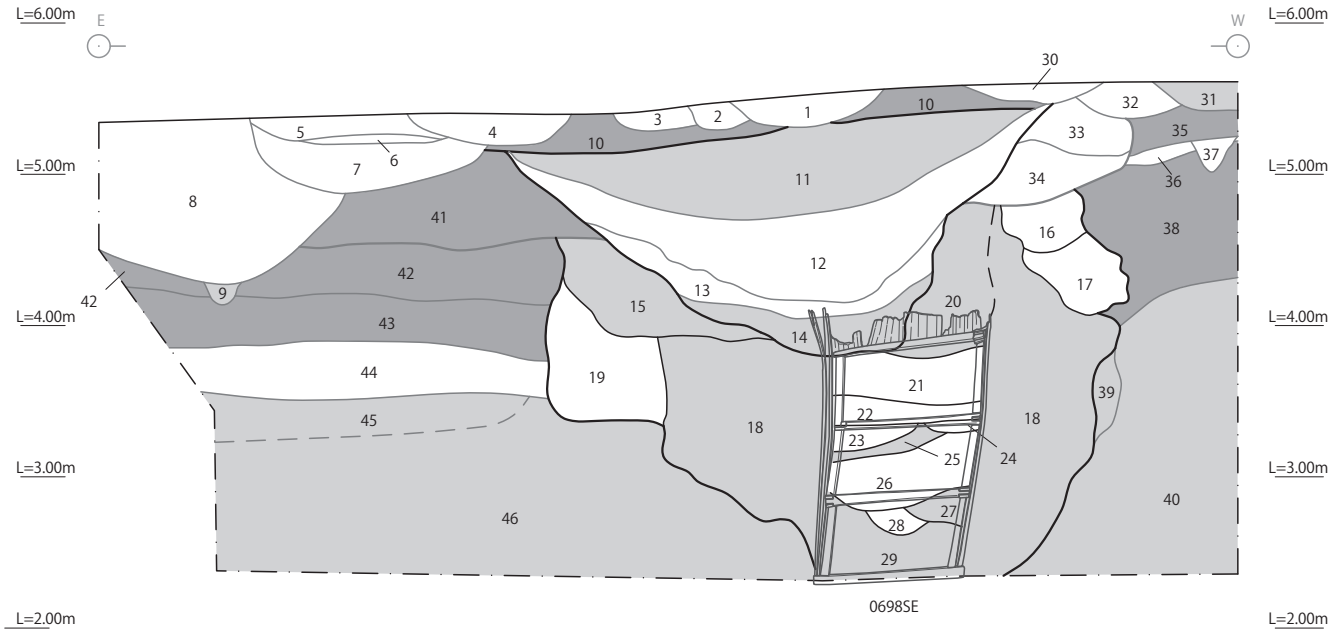


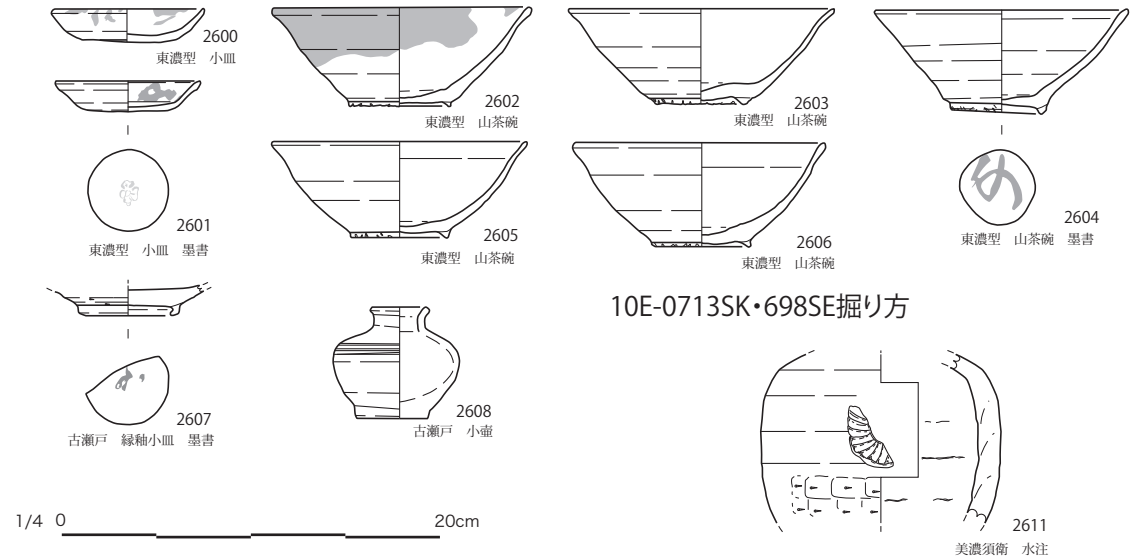
図 2-226　10Ec 区 0698SE 遺構図 -1（1:50）



1, 10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト（炭化物多量含む、遺構）
2, 10YR6/1褐灰色粘土質シルト（炭化物多量含む、遺構）
3, 2.5Y7/4浅黄色粘土質シルト（炭化物多量含む、遺構）
4, 2.5Y7/1灰白色粘土質シルト（炭化物多量含む、遺構）
5, 10YR7/1灰白色粘土質シルト（遺構）
6, 7.5YR3/1黒褐色（炭化物多量含む、遺構）
7, 10YR5/1褐灰色粘土質シルト（遺構）
8, 7.5YR4/1褐灰色粘土質シルト（炭化物少量含む、遺構）
9, 10YR8/2灰白色極細粒砂（遺構）
10, 10YR5/1褐灰色粘土質シルト（10YR8/6黄橙色粘土質シルトブロック10%含む、土手の整地層）
11, 2.5Y7/2灰黄色極細粒砂（抜取上層）
12, 5Y4/1灰色シルト質粘土（還元ぎみ、抜取中層）
13, 5B3/1暗青灰色シルト質粘土（還元ぎみ、抜取下層）
14, 5Y7/1灰白色細粒砂（ラミナ発達、抜取最下層）
15, 2.5Y6/3にぶい黄色極細粒砂（炭化物少量含む）
16, 10YR7/4にぶい黄橙色粘土質シルト
17, 2.5Y8/2灰白色粘土質シルト
18, 10Y5/2オリーブ灰色細粒砂（炭化物多量含む）
19, 2.5Y7/3浅黄色粘土質シルト
20, 10Y5/2オリーブ灰色細粒砂（炭化物多量含む）
21, 10YR3/2黒褐色シルト質粘土（0698SE）
22, 10YR3/2黒褐色シルト質粘土（10YR4/1褐灰色細粒砂含む）（0698SE）
23, 10YR3/1黒褐灰色粘土（0698SE）
24, 10YR3/1黒褐灰色粘土（砂質が強い）（0698SE）
25, 10YR4/1褐灰色細粒砂（10YR3/1黒褐色粘土含む）（0698SE）
26, 2.5YR3/2暗赤褐色シルトと10YR4/1褐灰色細粒砂の斑土（0698SE）
27, 10YR4/1褐灰色中粒砂（0698SE）
28, 2.5YR3/1暗赤灰色粘土（0698SE）
29, 2.5YR4/1赤灰色中粒砂（0698SE）
30, 10YR5/1褐灰色粘土質シルト（炭化物多量含む）
31, 10YR6/1褐灰色極細粒砂（炭化物少量含む）
32, 2.5Y6/1黄灰色粘土質シルト（炭化物少量含む）
33, 10YR5/1褐灰色粘土質シルト（炭化物多量含む）
34, 2.5Y8/1灰白色粘土質シルト（遺構か）
35, 2.5Y8/2灰白色極細粒砂（整地層か）
36, 2.5Y8/3淡黄色極細粒砂（くぼみか）
37, 2.5Y6/1黄灰色極細粒砂（遺構）
38, 10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルト（炭化物少量含む、整地層か）
39, 10YR8/1灰白色粘土質シルト（水性堆積（静水）層）
40, 7.5YR8/1灰白色中粒砂
41, 2.5Y7/2灰黄色粘土質シルト（炭化物少量含む、整地層）
42, 2.5Y6/2灰黄色極細粒砂（整地層）
43, 10YR7/2にぶい黄橙色粘土質シルト（整地層か）
44, 2.5Y5/1黄灰色粘土質シルト～粘土（別遺構上層）
45, 5Y5/1灰色粘土質シルト（別遺構下層）
46, 10YR7/2にぶい黄橙色極細粒砂（水性堆積層）

※ 濃いトーンは整地層、薄いトーンは砂層

10Ec-0698SE



10E-0713SK・698SE掘り方

図 2-227　10Ec 区 0698SE 遺構図 -2（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

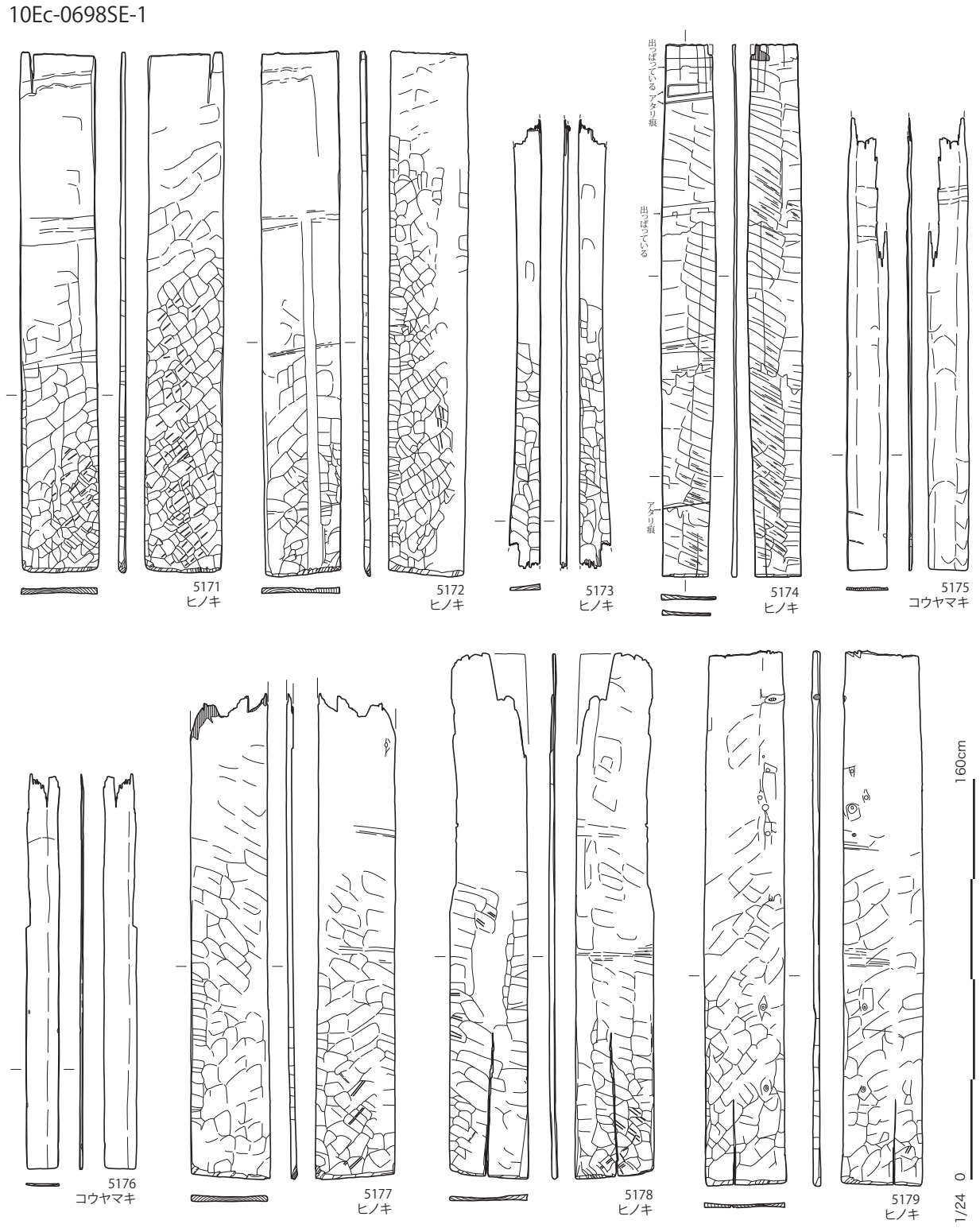


図 2-228　10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -1（1:24）

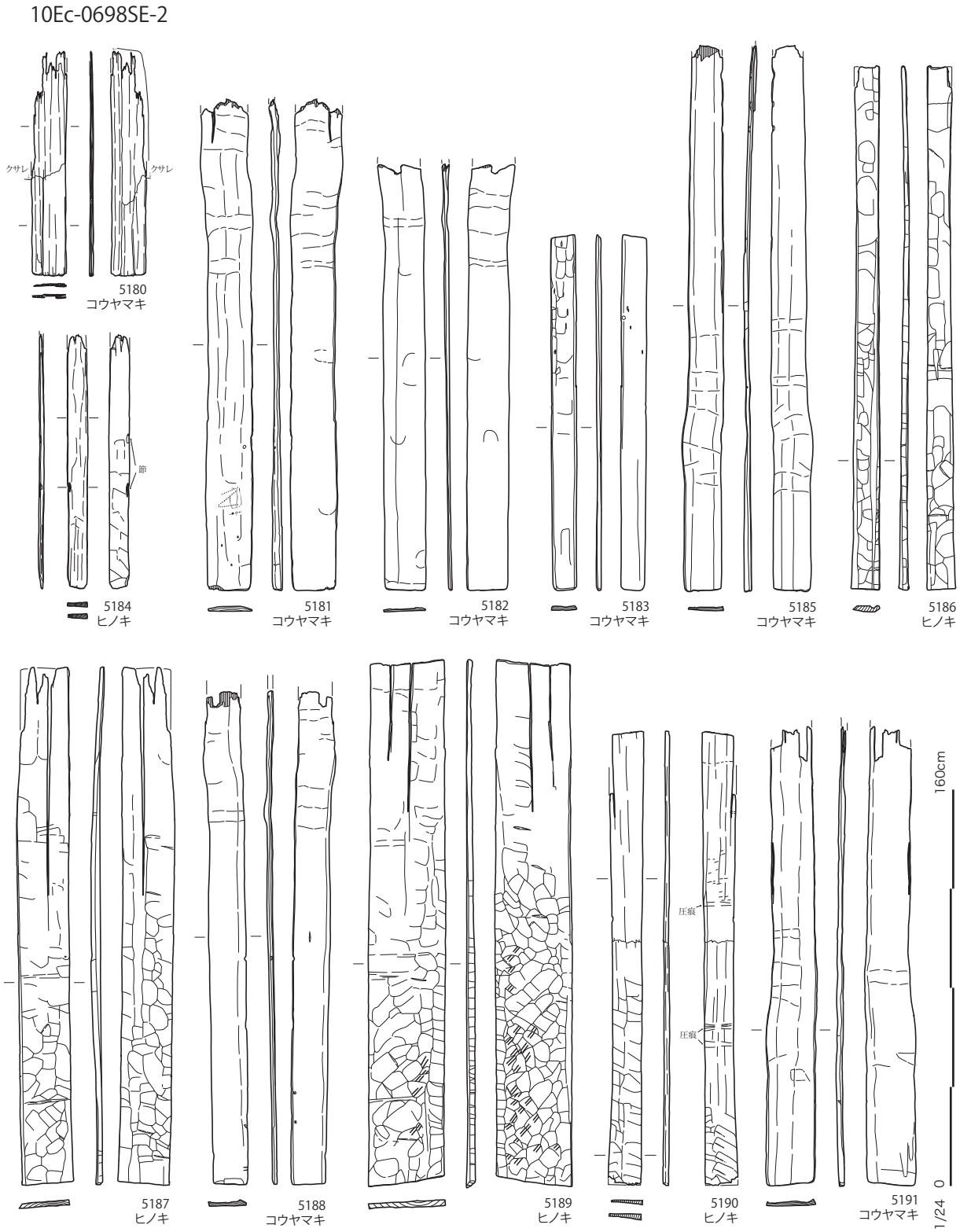


図 2-229　10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -2（1:24）

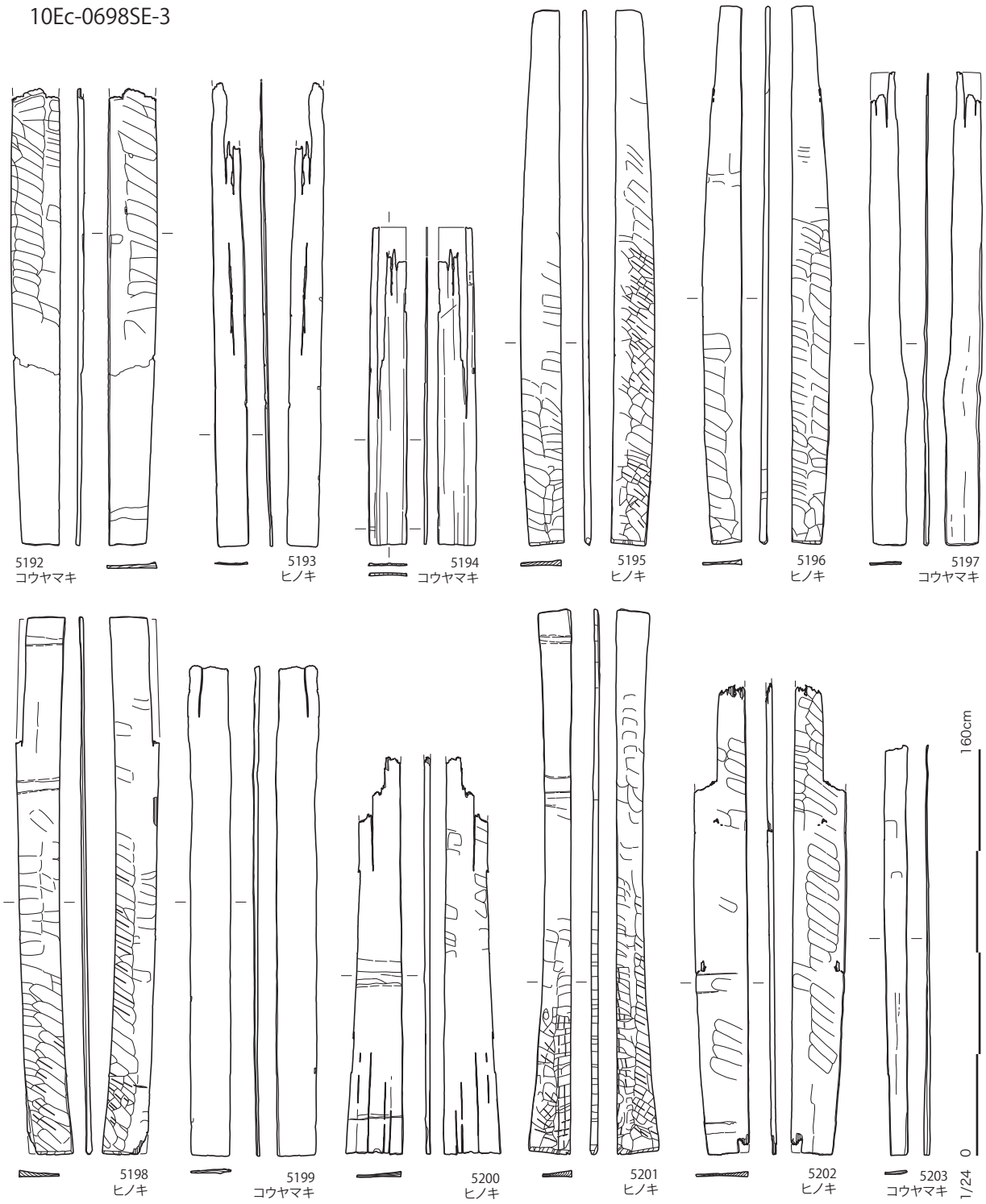


図 2-230　10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -3（1:24）

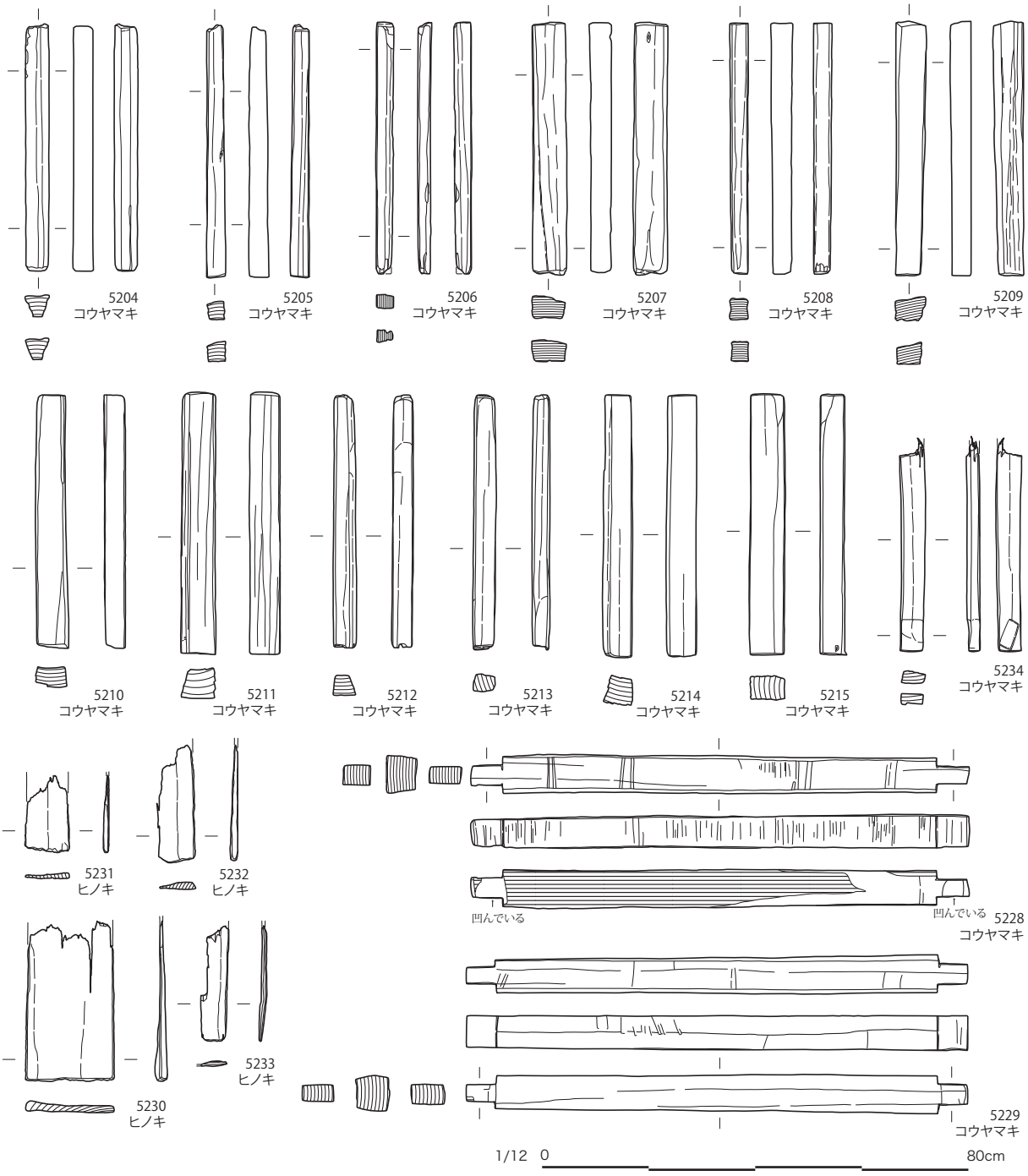


図 2-231　10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -4（1:12）

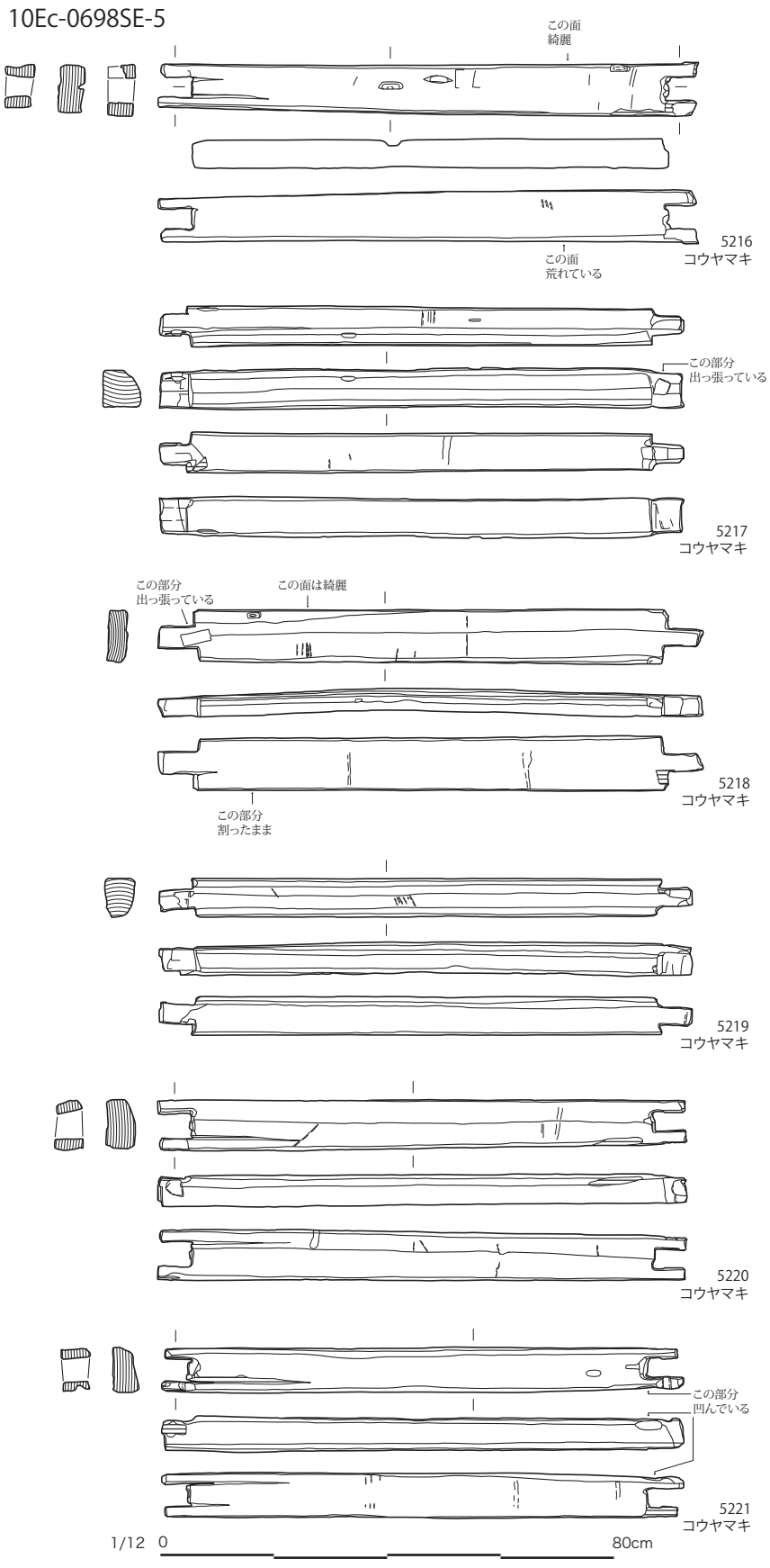


図 2-232　10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -5（1:12）

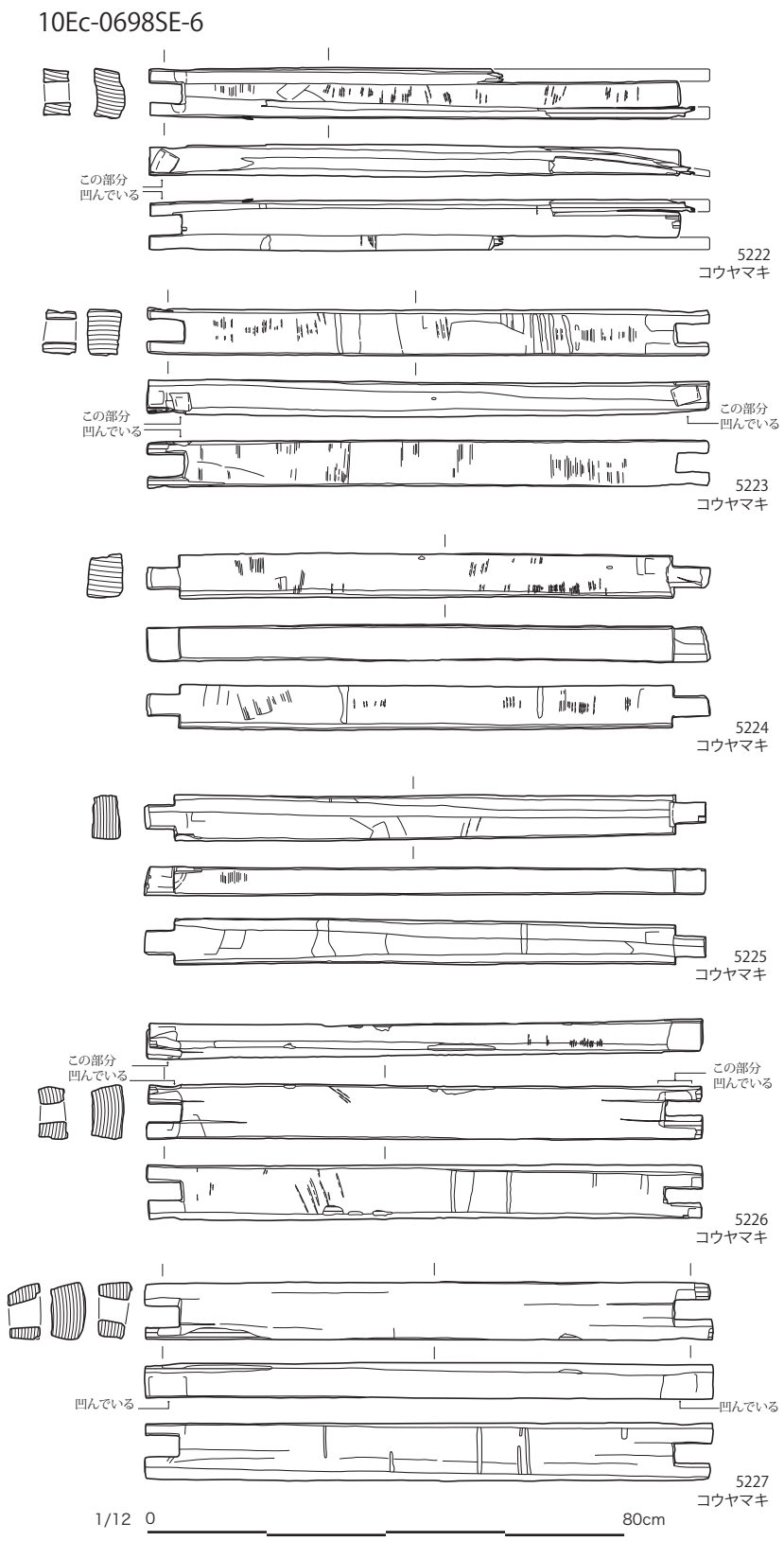


図 2-233　10Ec 区 0698SE 出土井戸枠材実測図 -6（1:12）

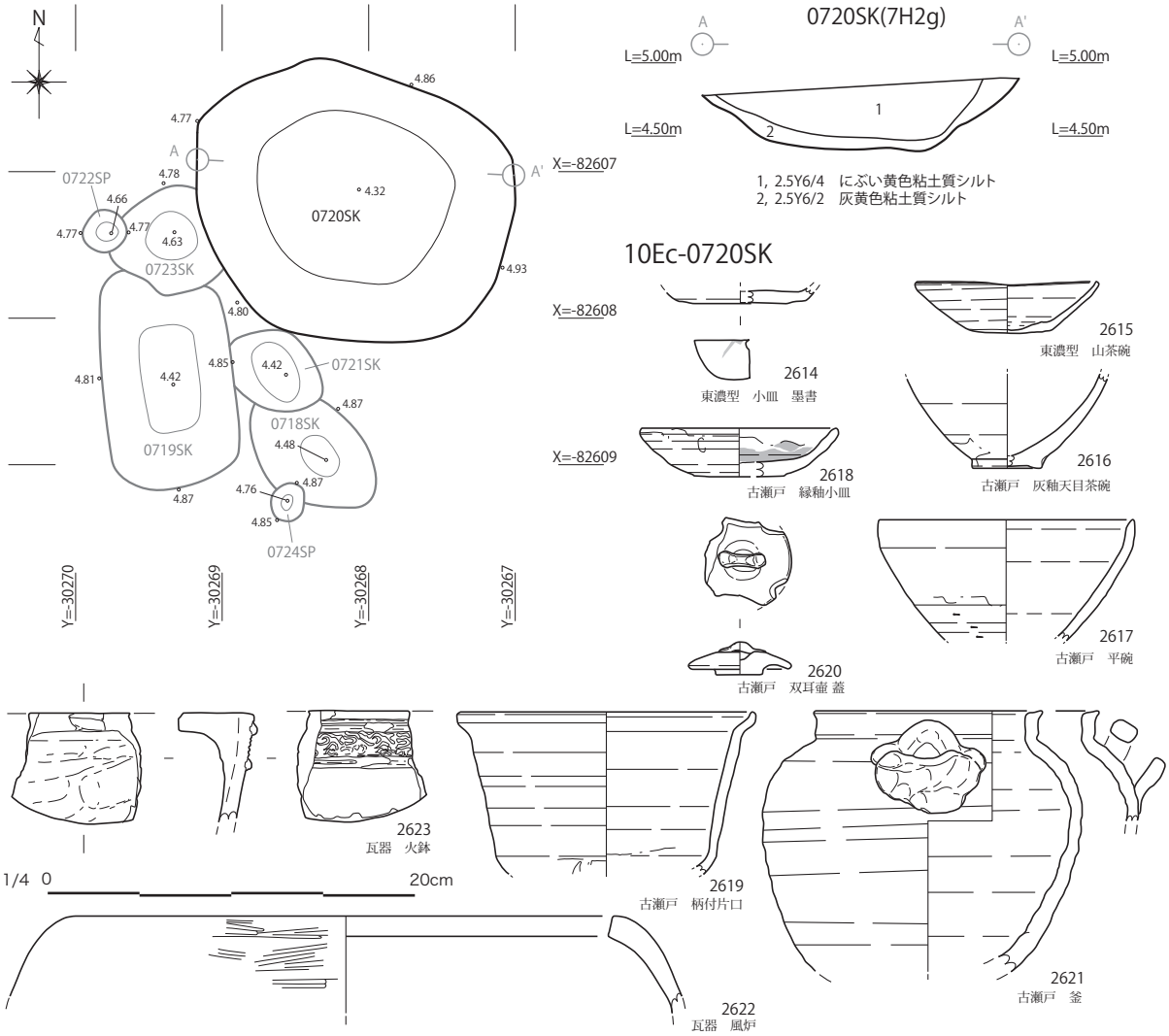


図 2-234　10Ec 区 0720SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

（14 世紀第 4 ～ 15 世紀第 1 四半期）、10Ec 区 0726SK（13 世紀第 2 ～ 14 世紀第 1 四半期）、10Ed 区 1013SK（15 世紀第 2 四半期）、10Ed 区 1070SK(13 世紀第 2 ～第 3 四半期）、10Ed 区 1458SK（15 世紀第 2 四半期）、井戸 10Ed 区 1499SE（13 世紀第 2 ～第 3 四半期）、柱穴 10Ec 区 0410SP（13 世紀第 2 ～ 14 世紀第 1 四半期）があげられる（表 2-19）。

このうちまず特筆すべき遺構として、10Ec 区 0778SD があげられる（図 2-236 ～ 238）。調査区の北東隅に位置し、北東端が調査区外に延びている全長 7.2 m以上、幅 2.5m 以上、深さ約 1m を測る溝状遺構で、100 点近い遺物が出土した。なかでも墨書土器は 17 点を数え、前述の鎌倉街道造成土から出土したものを除けば、本遺跡中で最も多い。しかも、そのすべてが東濃型小皿か山茶碗である。このなかにも花押が書かれたものが認められる（図 2-237-2687）。

1499SE は 10Ed 区の南西隅で確認された。壁際で、なおかつ現道路面から 2m 以上の比高差があったため、安全面を考慮して一部の発掘にとどめざるを得なかった。隅柱を設ける方形縦板組み

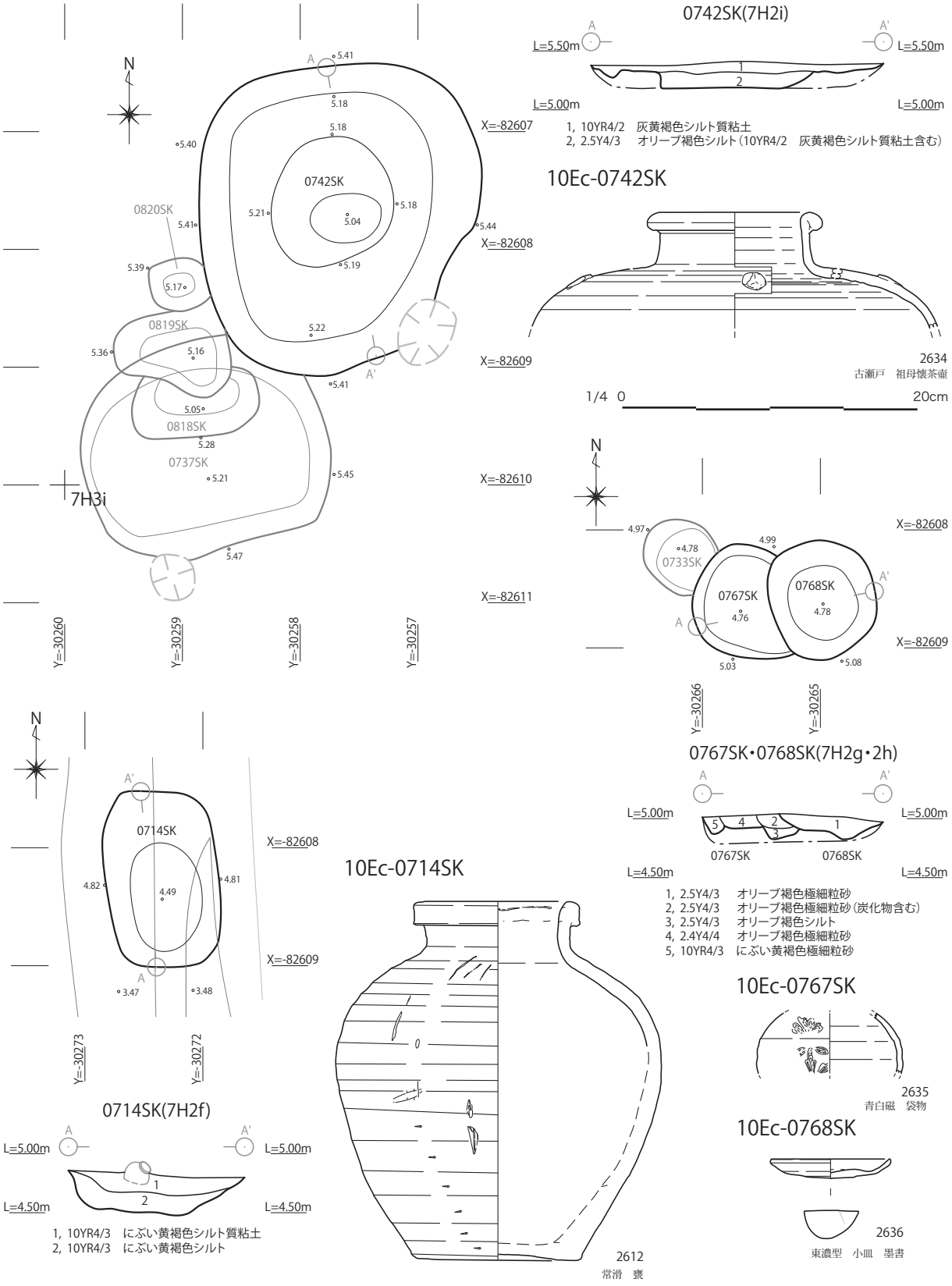
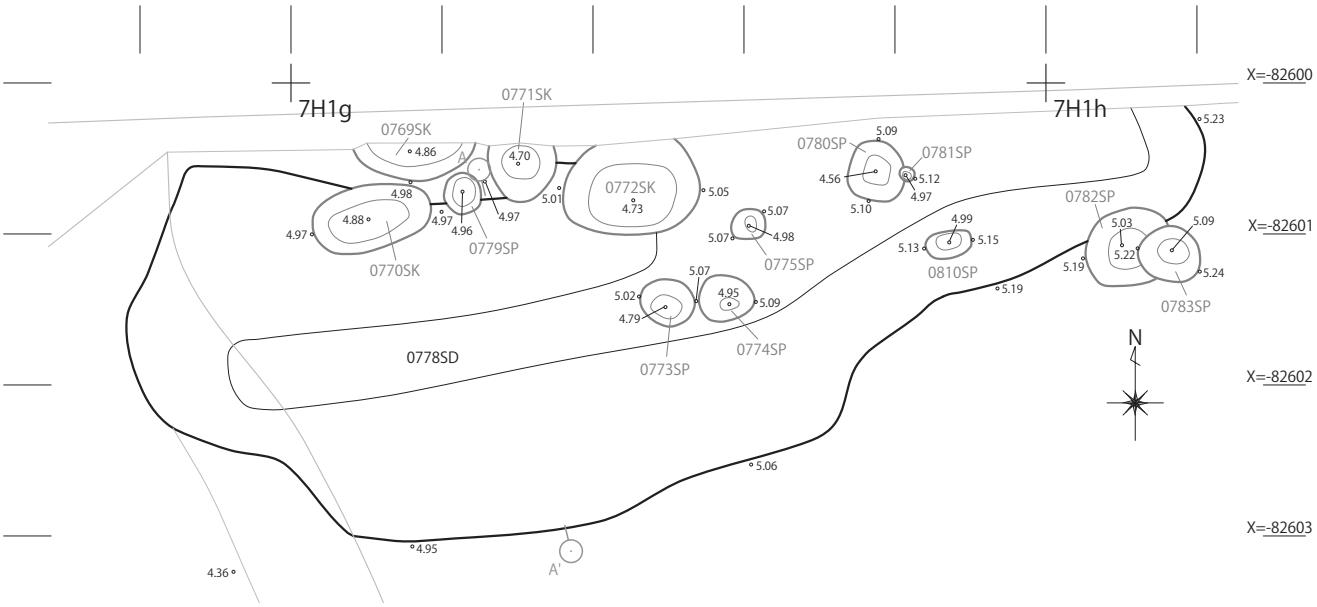
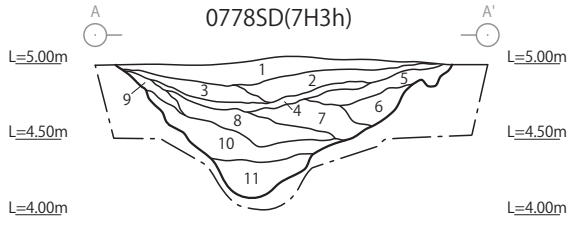


図 2-235　10Ec 区 0714・0742・0767・0768SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）





1, 10YR4/4 褐色シルト質細粒砂
2, 10YR4/4 褐色極細粒砂(炭化物少量含む)
3, 10YR4/4 褐色シルト質極細粒砂
4, 10YR4/6 褐色シルト、炭化物多量含む(炭化物層)
5, 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質極細粒砂
6, 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質極細粒砂(5に比べて砂質強い)
7, 10YR5/4 にぶい黄褐色極細粒砂
8, 10YR4/2 灰黄褐色シルト(10YR5/4にぶい黄褐色極細粒砂含む)
9, 10YR4/3 にぶい黄褐色極細粒砂(炭化物少量含む)
10, 10YR4/4 褐色シルト質粘土(炭化物少量含む)
11, 2.5Y4/3 オリーブ褐色シルト質粘土(炭化物少量含む)

10Ec-0778SD-1

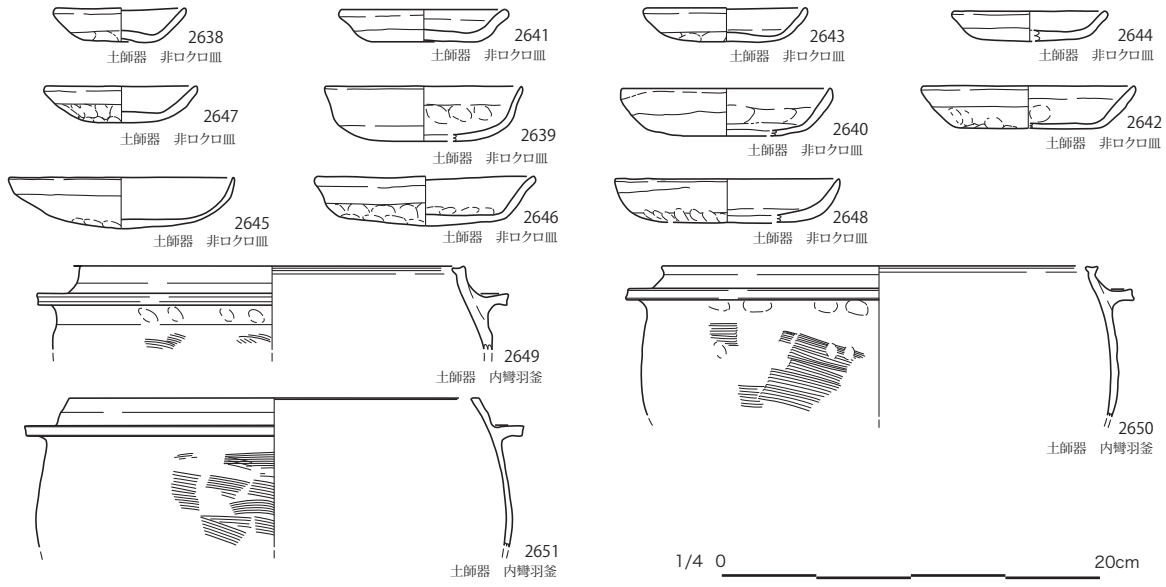


図 2-236 10Ec 区 0778SD 遺構図（1:50）/ 同出土遺物実測図 -1（1:4）

10Ec-0778SD-2

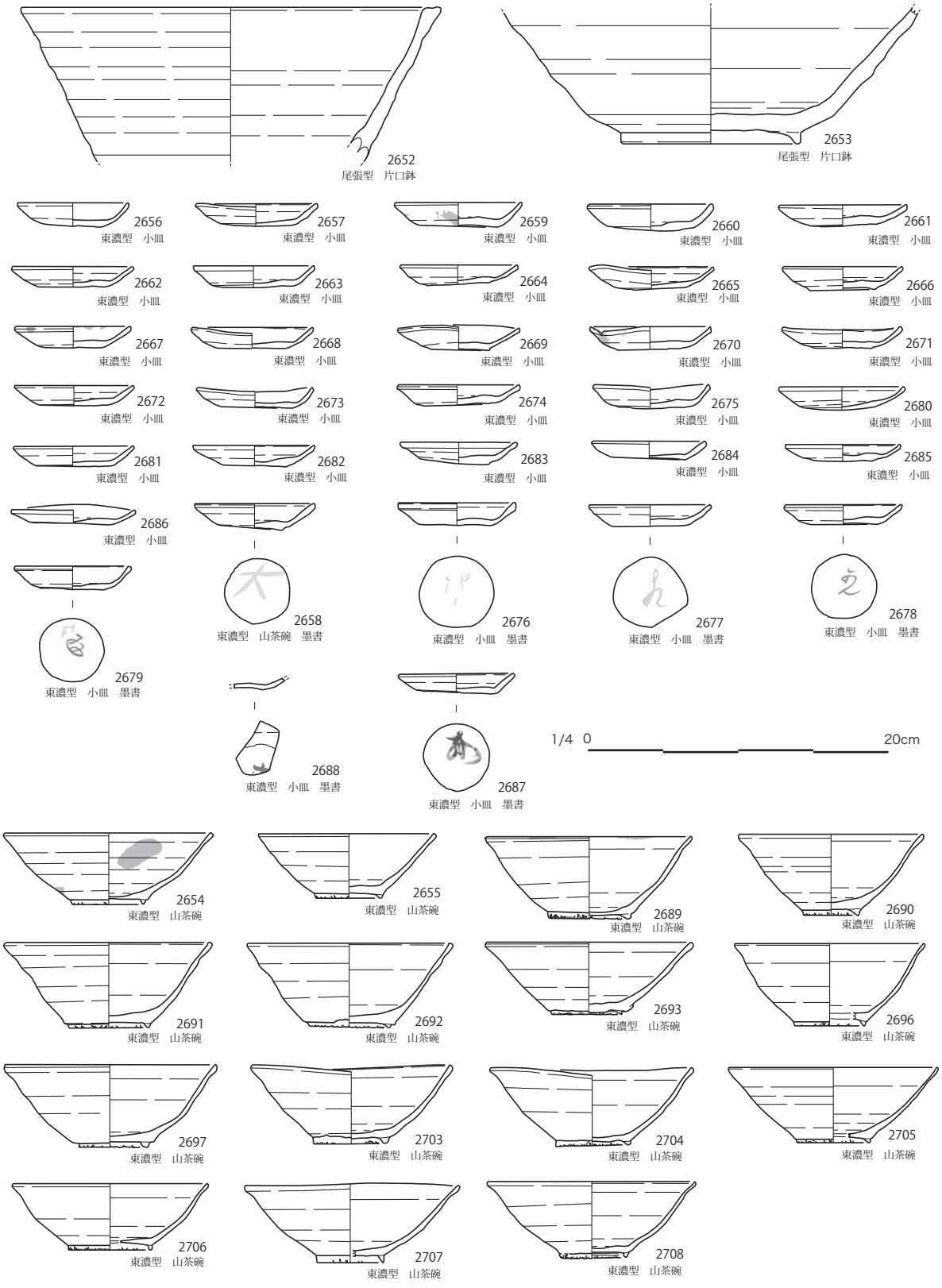


図 2-237　10Ec 区 0778SD 出土遺物実測図 -2（1:4）

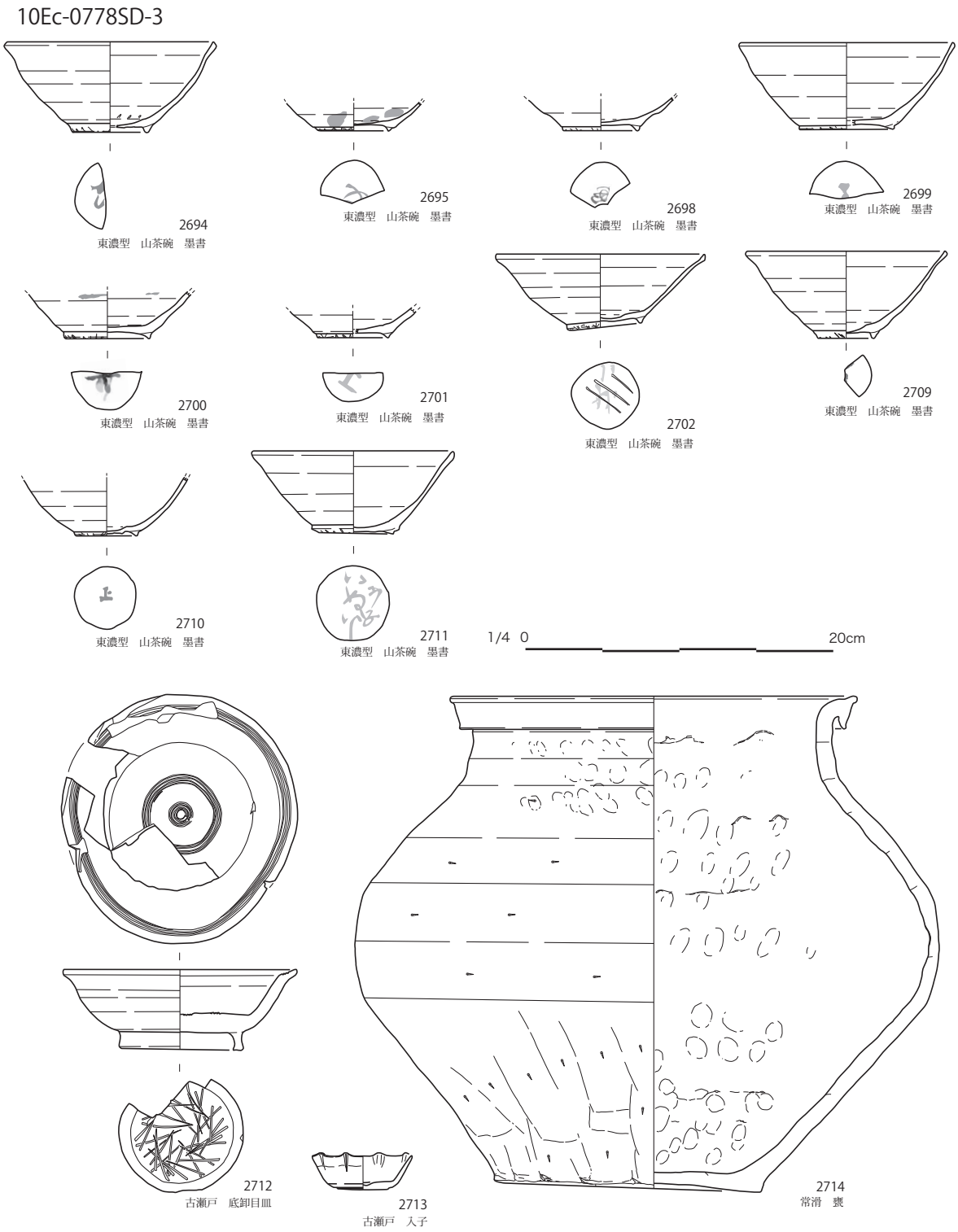
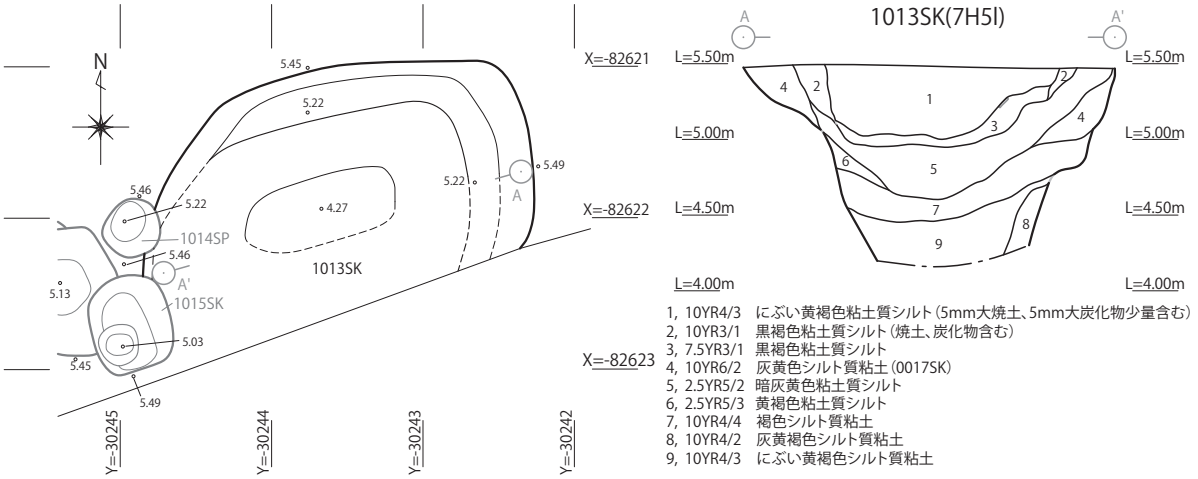
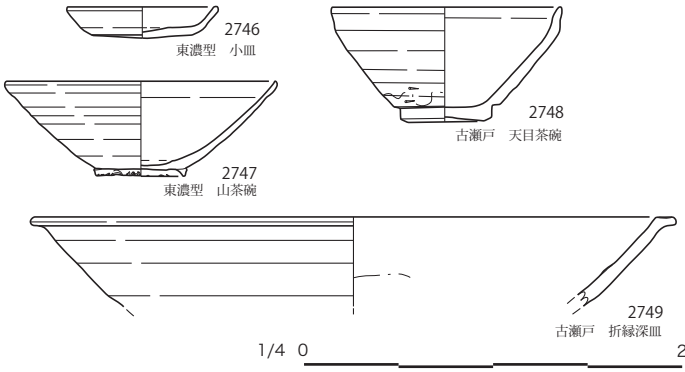


図 2-238　10Ec 区 0778SD 出土遺物実測図 -3（1:4）



1, 10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト（5mm大焼土、5mm大炭化物少量含む）
2, 10YR3/1　黒褐色粘土質シルト（焼土、炭化物含む）
3, 7.5YR3/1　黒褐色粘土質シルト
4, 10YR6/2　灰黄色シルト質粘土（0017SK）
5, 2.5YR5/2　暗灰黄色粘土質シルト
6, 2.5YR5/3　黄褐色粘土質シルト
7, 10YR4/4　褐色シルト質粘土
8, 10YR4/2　灰黄褐色シルト質粘土
9, 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト質粘土

10Ed-1013SK



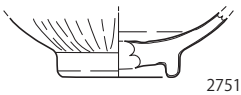
2746
東濃型　小皿

2747
東濃型　山茶碗

2748
古瀬戸　天目茶碗

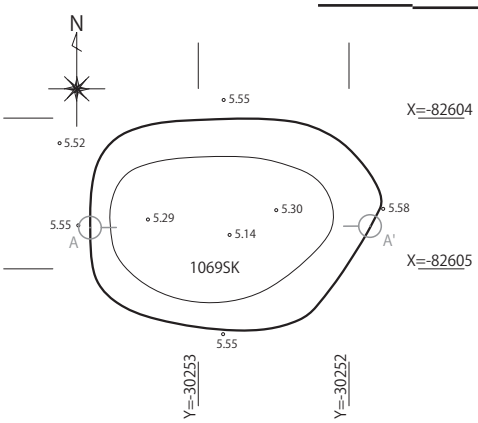
2749
古瀬戸　折縁深皿

2750
古瀬戸　小鉢　墨書

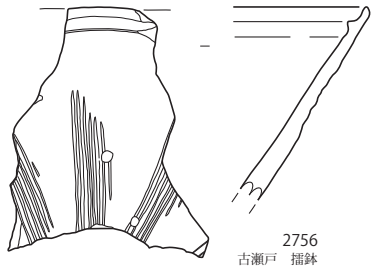


2751
青磁　蓮弁文碗

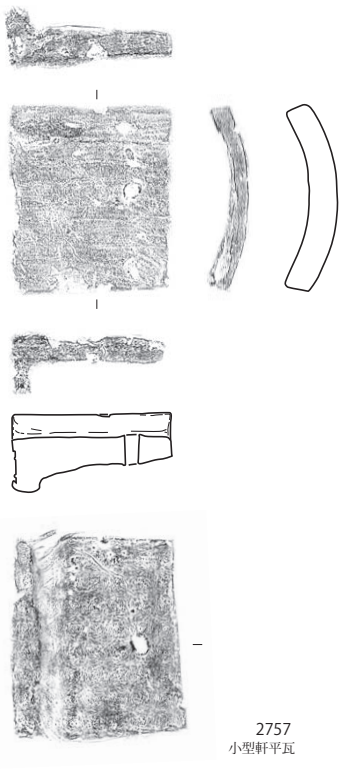
1/4 0 20cm



10Ed-1069SK



2756
古瀬戸　擂鉢



2757
小型軒平瓦

1, 10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト
2, 2.5YR4/3　オリーブ色粘土質シルト
3, 10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルト
4, 10YR4/6　褐色粘土質シルト

図 2-239　10Ed 区 1013・1069SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

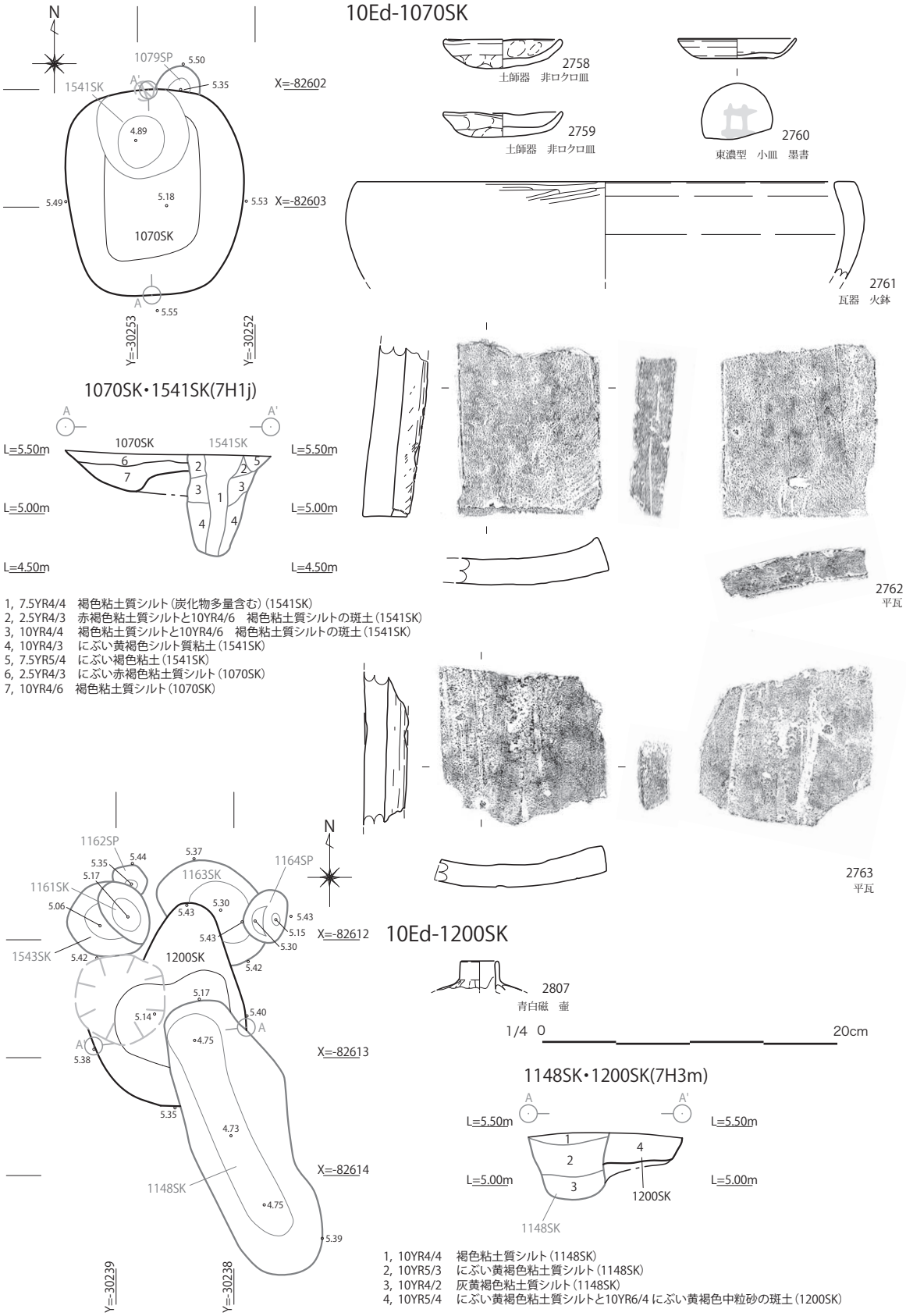


図 2-240　10Ed 区 1070・1200SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

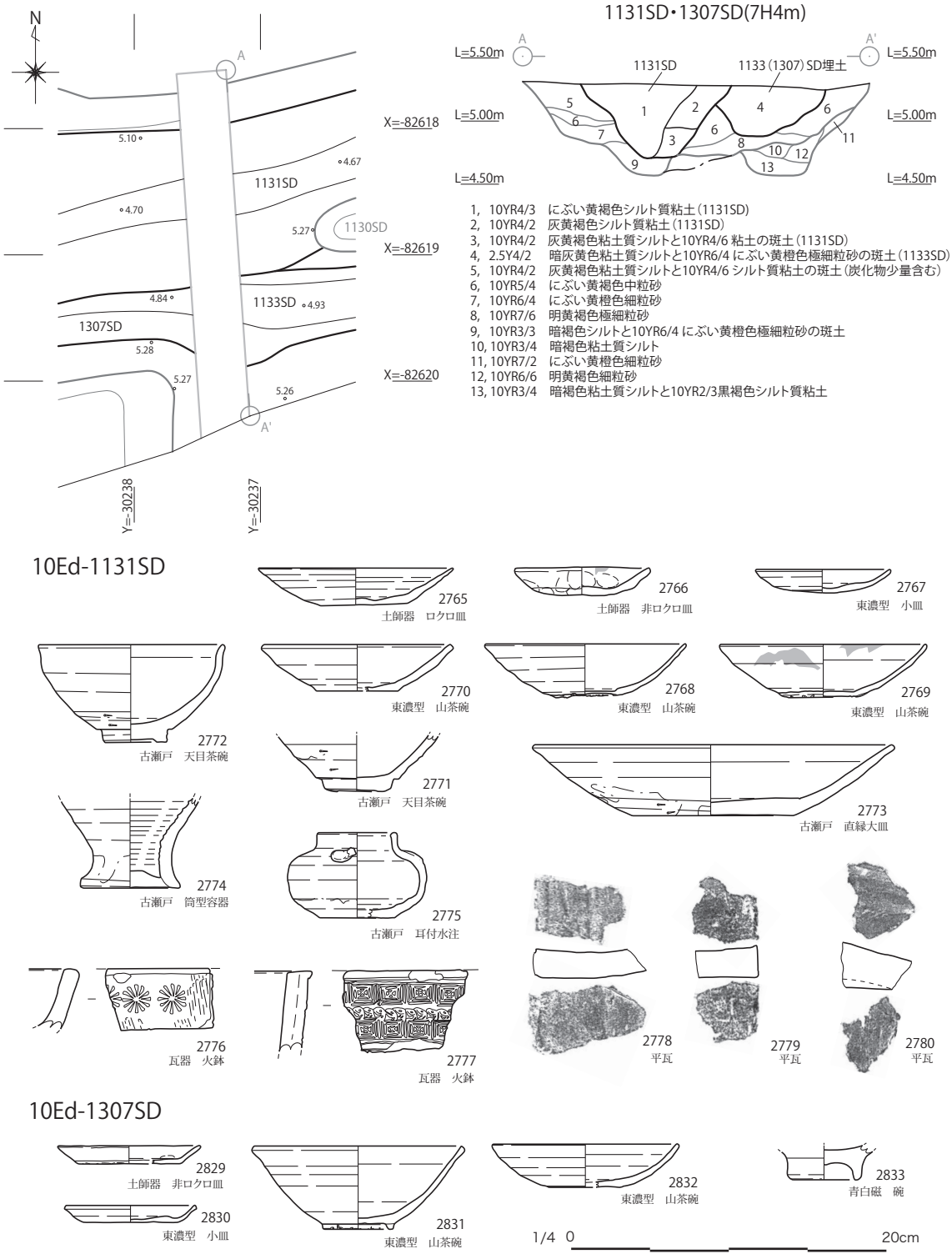
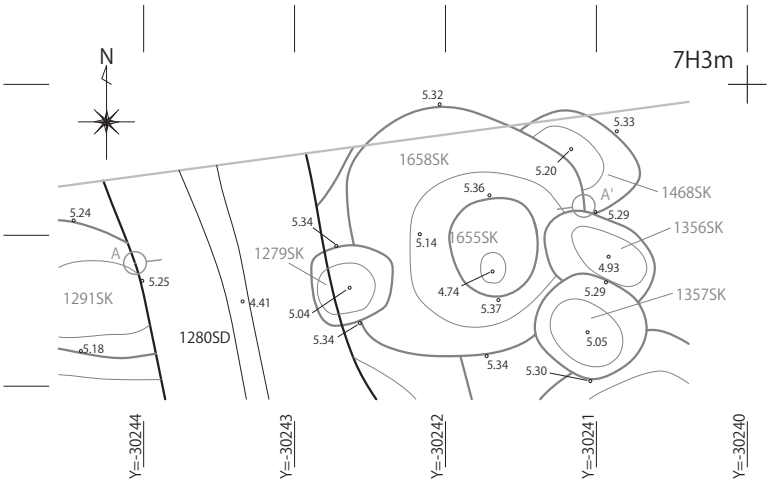
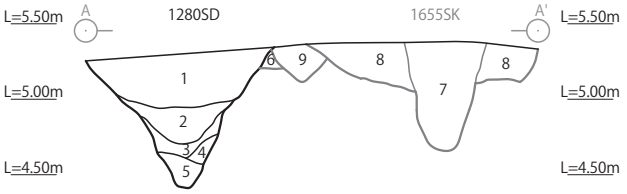


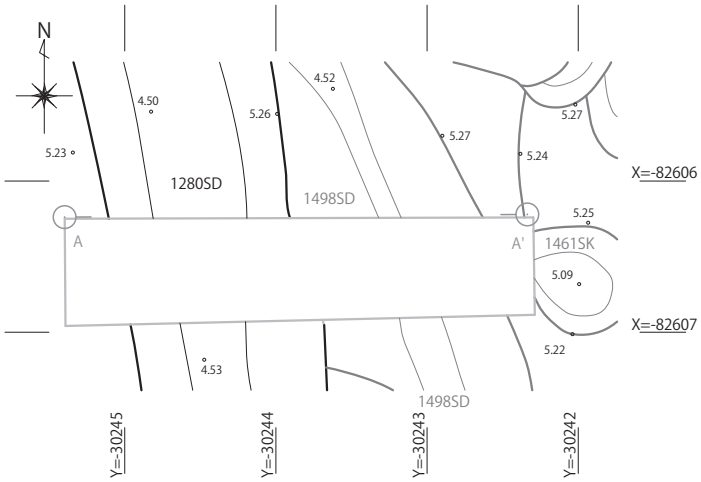
図 2-241　10Ed 区 1131・1307SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）



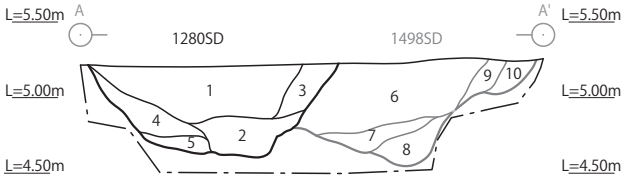
1280SD・1655SK(7H3l)



1, 7.5YR4/2　灰色粘土質シルト（炭化物含む）
2, 7.5YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト（10YR6/4　にぶい黄褐色粘土ブロック含む）
3, 10YR5/4　にぶい黄褐色粘土質シルト
4, 10YR5/4　にぶい黄褐色極細粒砂
5, 10YR4/4　褐色シルト質粘土
6, 7.5YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルトと7.5YR4/2　灰黄褐色の斑土
7, 7.5YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルトと10YR6/4　にぶい黄褐色シルト質粘土の斑土
8, 7.5YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト
9, 7.5YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルトと10YR4/2灰黄褐色（炭化物少量含む）



1280SD・1498SD(7H2l)



1, 10YR5/4　にぶい黄橙色粘土質シルト
2, 10YR5/4　にぶい黄橙色シルト質粘土
3, 10YR5/3　にぶい黄褐色シルト質粘土
4, 10YR5/4　にぶい黄橙色粘土質シルトと10YR5/4　にぶい黄橙色シルト質粘土の斑土
5, 10YR6/4　にぶい黄橙色粘土質シルト
6, 10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト
7, 10YR3/3　暗褐色粘土質シルトと10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルトの斑土
8, 10YR5/3　にぶい黄褐色極細粒砂と10YR3/3　暗褐色粘土質シルトと10YR4/3の斑土
9, 10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルトと10YR7/4　にぶい黄橙色粘土質シルトの斑土
10, 記録無し

10Ed-1280SD

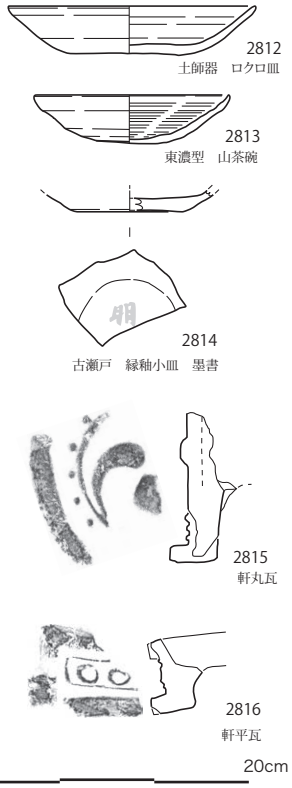
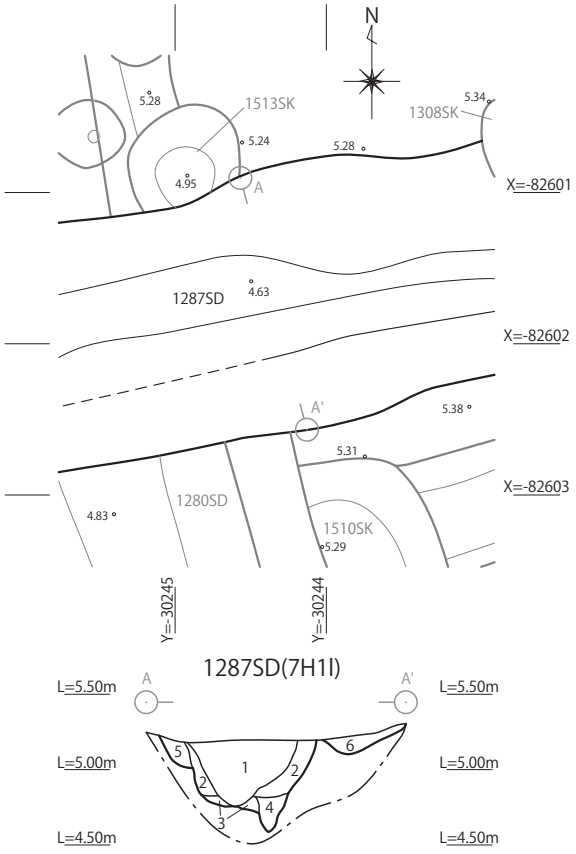
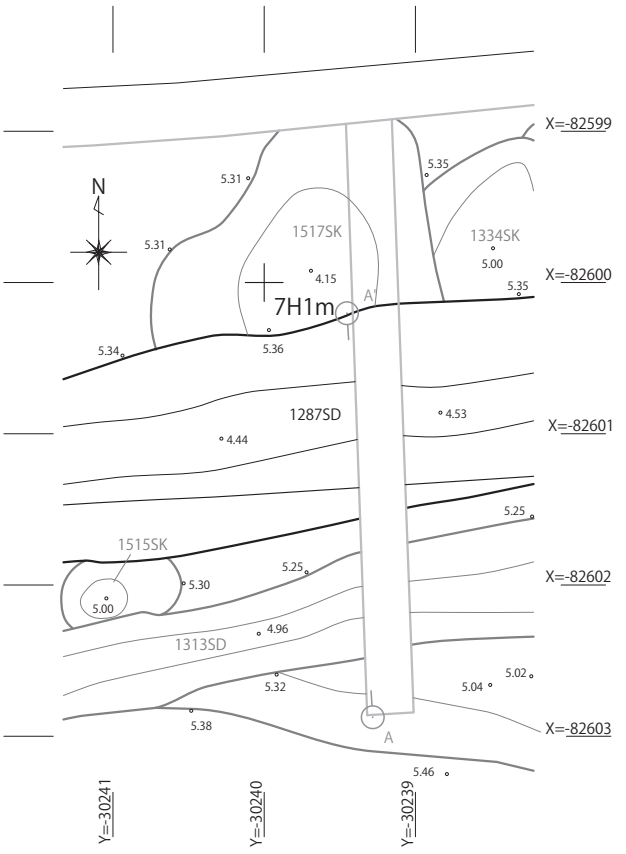




図 2-242　10Ed 区 1280SD 遺構図（1:50）
・同出土遺物実測図（1:4）



1, 10YR4/4　褐色粘土質シルト
2, 10YR4/4　褐色粘土質シルトと10YR6/4にぶい黄橙色粘土質シルトの斑土
3, 10YR5/4　にぶい黄橙色粘土質シルトと10YR4/4褐色粘土質シルトの斑土
4, 10 YR4/4　褐色シルト質粘土
5, 10YR5/4　にぶい黄橙色粘土質シルト
6, 10YR5/6　黄褐色粘土質シルト



1, 10YR4/4　褐色粘土質シルト（炭化物少量含む）（1287SD）
2, 7.5YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト（10YR6/4粘土ブロック多量含む）（1287SD）
3, 7.5YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト（炭化物含む）（1278SD）
4, 10 YR6/3　にぶい黄橙色極細粒砂と10YR6/4にぶい黄橙色シルト質粘土の斑土（1287SD）
5, 10YR5/6　黄褐色シルト質粘土と10YR7/4にぶい黄橙色極細粒砂の斑土（1287SD）
6, 7.5YR4/3　褐色粘土質シルト（1313SD）

10Ed-1287SD

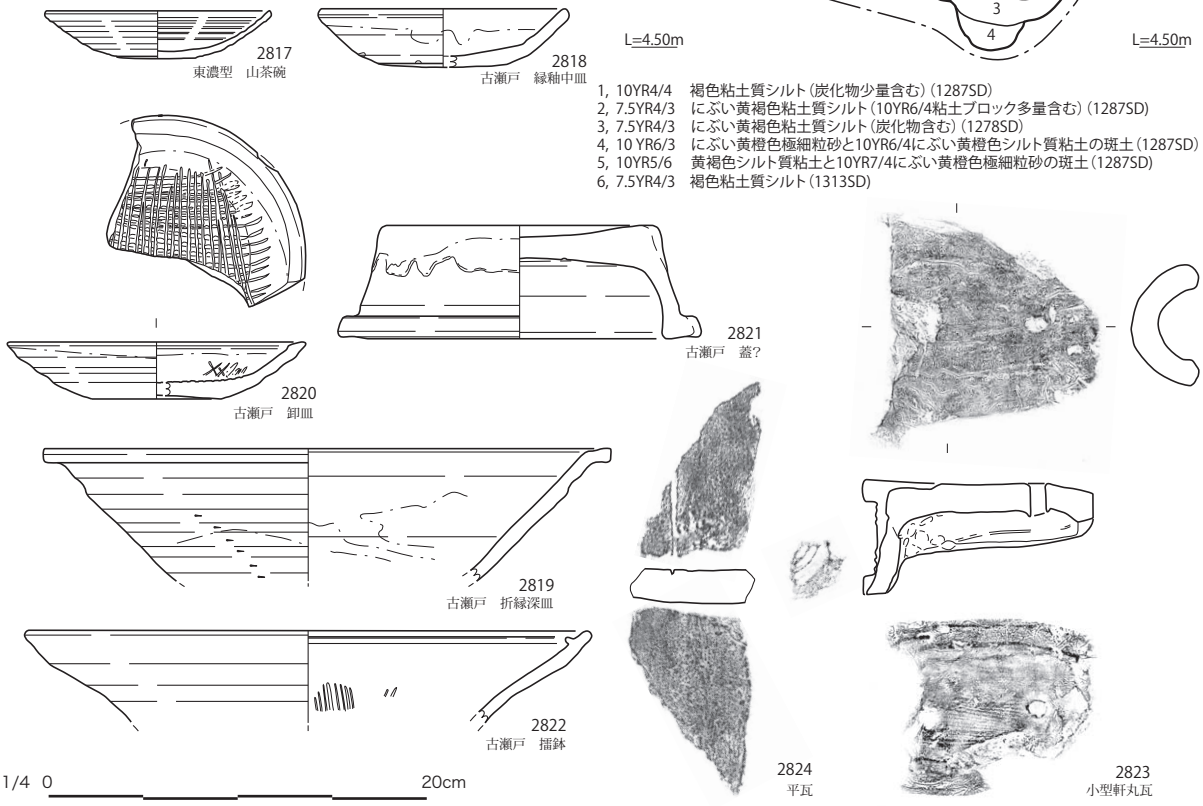


図 2-243　10Ed 区 1287SD 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

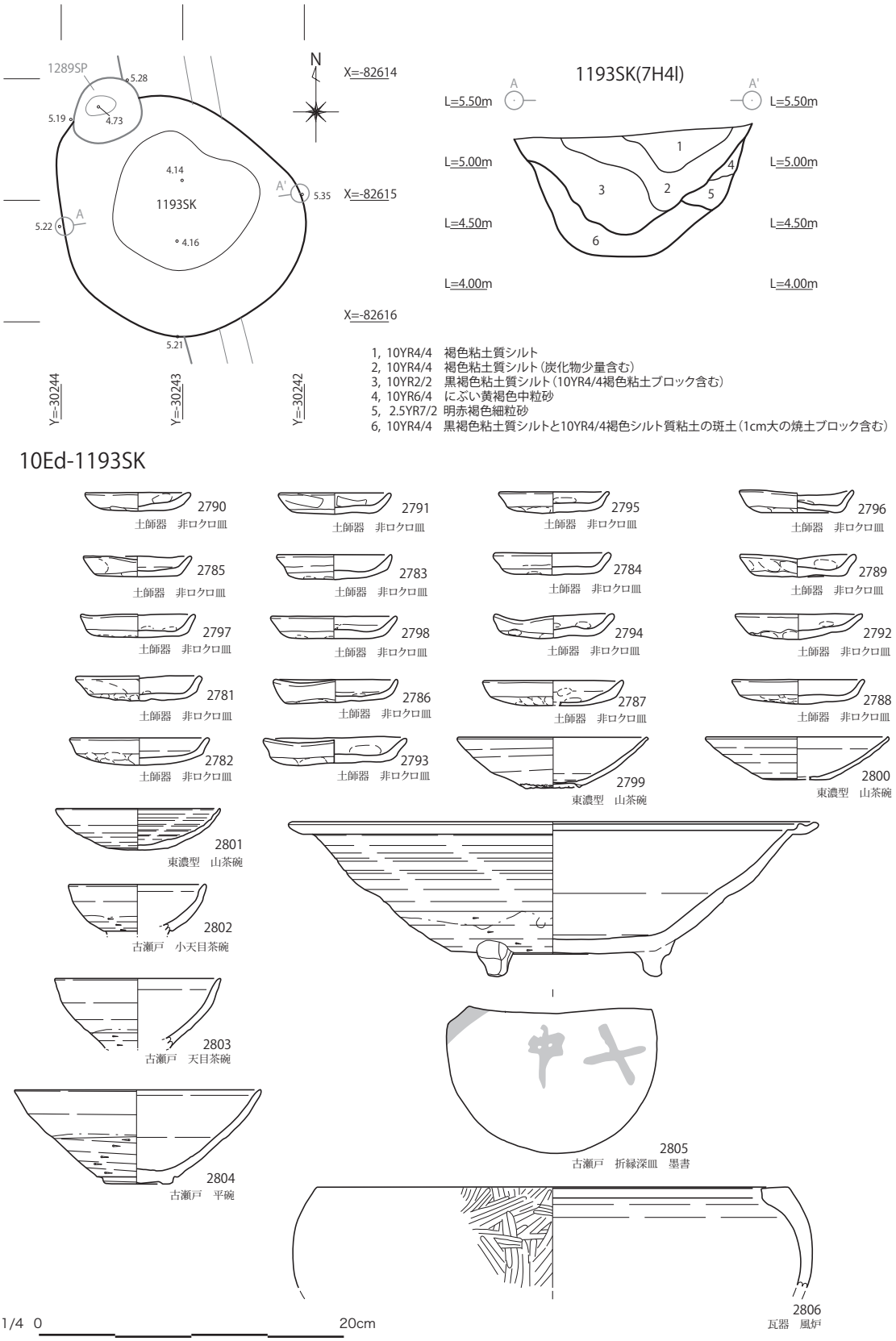


図 2-244　10Ed 区 1193SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

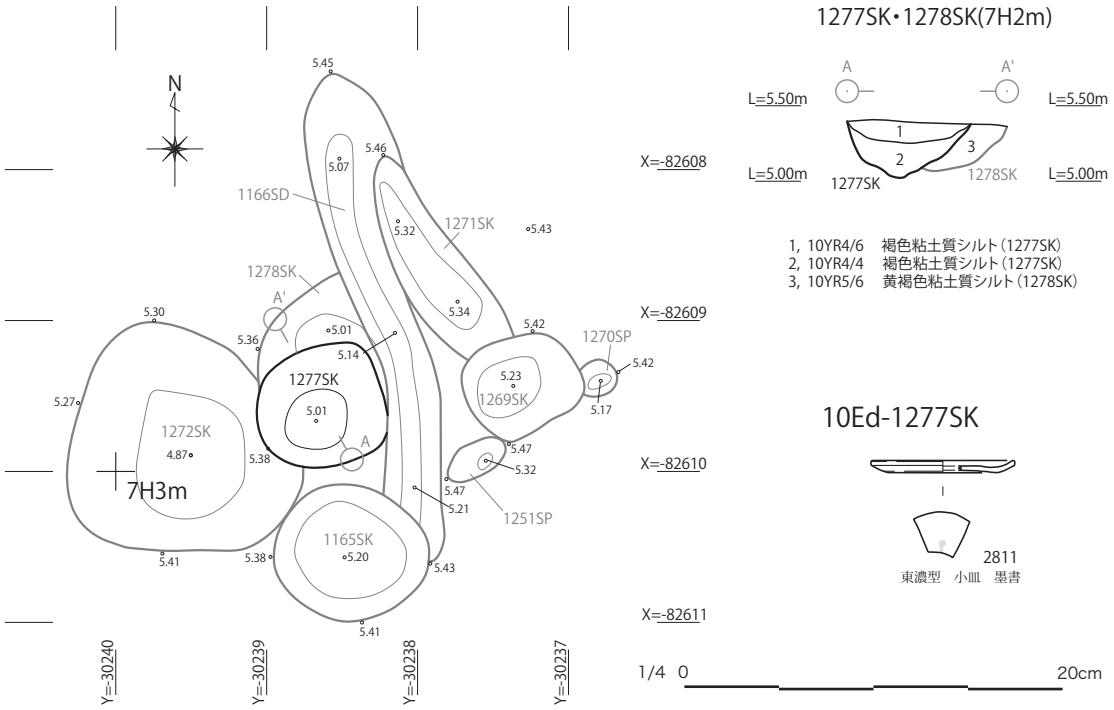


図 2-245　10Ed 区 1277SK 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

の井戸で、13 世紀第 2 ～ 14 世紀第 1 四半期（明和～大畑大洞古、古瀬戸前Ⅳ期）の遺物が出土している(図 2-246 ～ 248)。15 世紀第 2 四半期(脇之島・後Ⅲ～Ⅳ期）の土坑 1458SK に切られる。

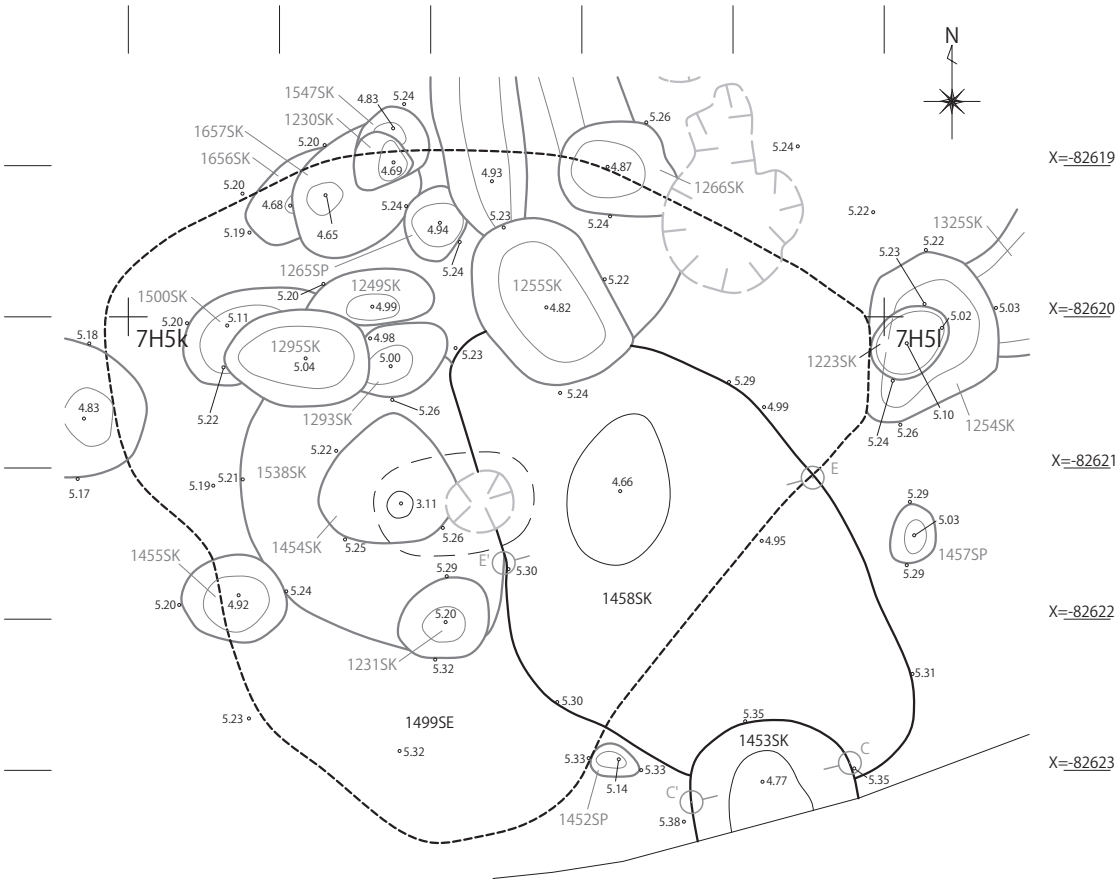
このほか、10Ec 区 0248SK からは、13 世紀第 4 ～ 15 世紀第 1 四半期（大畑大洞古、古瀬戸後Ⅱ～Ⅲ期）の遺物とともに、大量の炭化米と礎石状の人頭大玉石が出土している（図 2-224)。

さらに詳細な時期は不明だが、10Ec 区 0110SK からは、7 点の土師器非ロクロ皿とともに、28 枚の銅銭が出土した（図 2-223)。

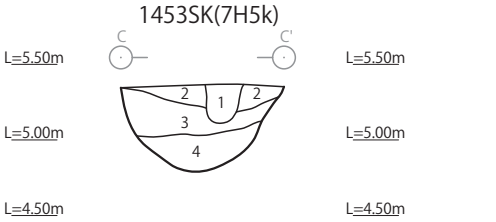
このほか特筆すべき遺物としては、10Ed 区 1497SD から古瀬戸の花盆（図 2-255-2861)、10Ea 区 0670SD から漆付きの東濃型山茶碗（図 2-252-2578）が出土している。墨書土器も 188 点と、他の調査区に較べて特に多い。

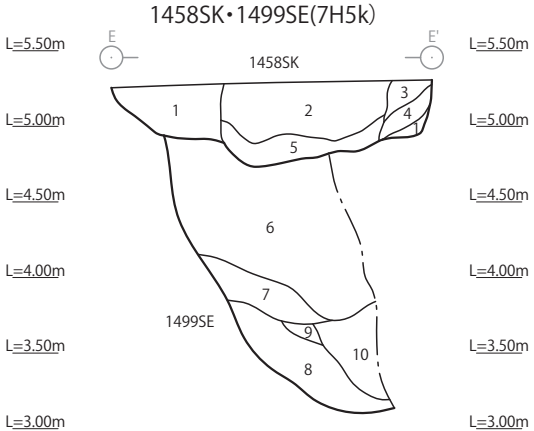
また、瓦が出土しているのはこの E 区のみである。10Ea 区 0290SD（図 2-202-2412 小型軒丸瓦)、10Ec 区 0248SK（図 2-224-2385 小型丸瓦)、0300SD（図 2-205-2483 丸瓦)、0873SD（図 2-253-2740 小型軒平瓦)、鎌倉街道造成土（図 2-207-2912・図 2-209-2959・図 2-210-2977・2984 平瓦)、10Ed 区 1069SK（図 2-239-2757 小型軒平瓦)、1070SK（図 2-240-2762・2763 平瓦)、1131SD（図 2-241-2778・2779・2780 平瓦)、1287SD（図 2-243-2823 小型軒丸瓦、 2 824 平瓦)、1309SK（図 2-254-2834 平瓦)、1329SK（図 2-254-2836 平瓦)、1475SK（図 2-254-2851・2852・2853 平瓦)、1528SK（図 2-255-2873 軒丸瓦）である。本章第 8 節で永井邦仁が考察しているように、瓦の出土量自体は少なく、すべて二次的な出土状況である。平瓦は熨斗瓦として、小型軒丸・軒平瓦は棟飾瓦として用いたと考えられ、近傍に大棟をもつ建物が存在していた可能性を示唆している。

E 区も D 区と同様に、鍛冶関連の遺物が多い。









1, 10YR5/3　にぶい黄褐色粘土質シルト
2, 10YR5/2　灰黄褐色粘土質シルト
3, 10YR4/2　灰黄褐色粘土質シルト（10YR6/2灰黄褐色粘土ブロック3cm～5cm含む）
4, 10YR4/4　褐色粘土質シルト（土器細片少量含む）

1, 7.5YR5/1　褐灰色粘土質シルト（1458SK）
2, 7.5YR4/1　褐灰色粘土質シルトと10YR4/2灰黄褐色粘土質シルトの斑土（1458SK）
3, 10YR4/6　褐色粘土質シルト（10YR6/6　明黄褐色粘土ブロック含む）（1458SK）
4, 2.5YR4/3　にぶい赤褐色粘土質シルト（1458SK）
5, 10YR5/4　にぶい黄褐色粘土質シルト（1458SK）
6, 10YR5/4　にぶい黄褐色極細粒砂（1499SE）
7, 10YR5/4　にぶい黄褐色極細粒砂（5Y6/2　灰オリーブ色粘土ブロック少量含む）（1499SE）
8, 10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルト（1499SE）
9, 10YR4/3　にぶい黄褐色粘土質シルトと10YR5/4　にぶい黄褐色シルト質粘土の斑土（1499SE）
10,10YR5/4　にぶい黄褐色シルト質粘土（1499SE）

10Ed-1453SK

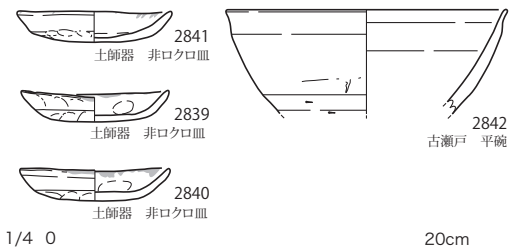


図 2-246　10Ed 区 1453・1458SK/1499SE 遺構図（1:50）・同出土遺物実測図（1:4）

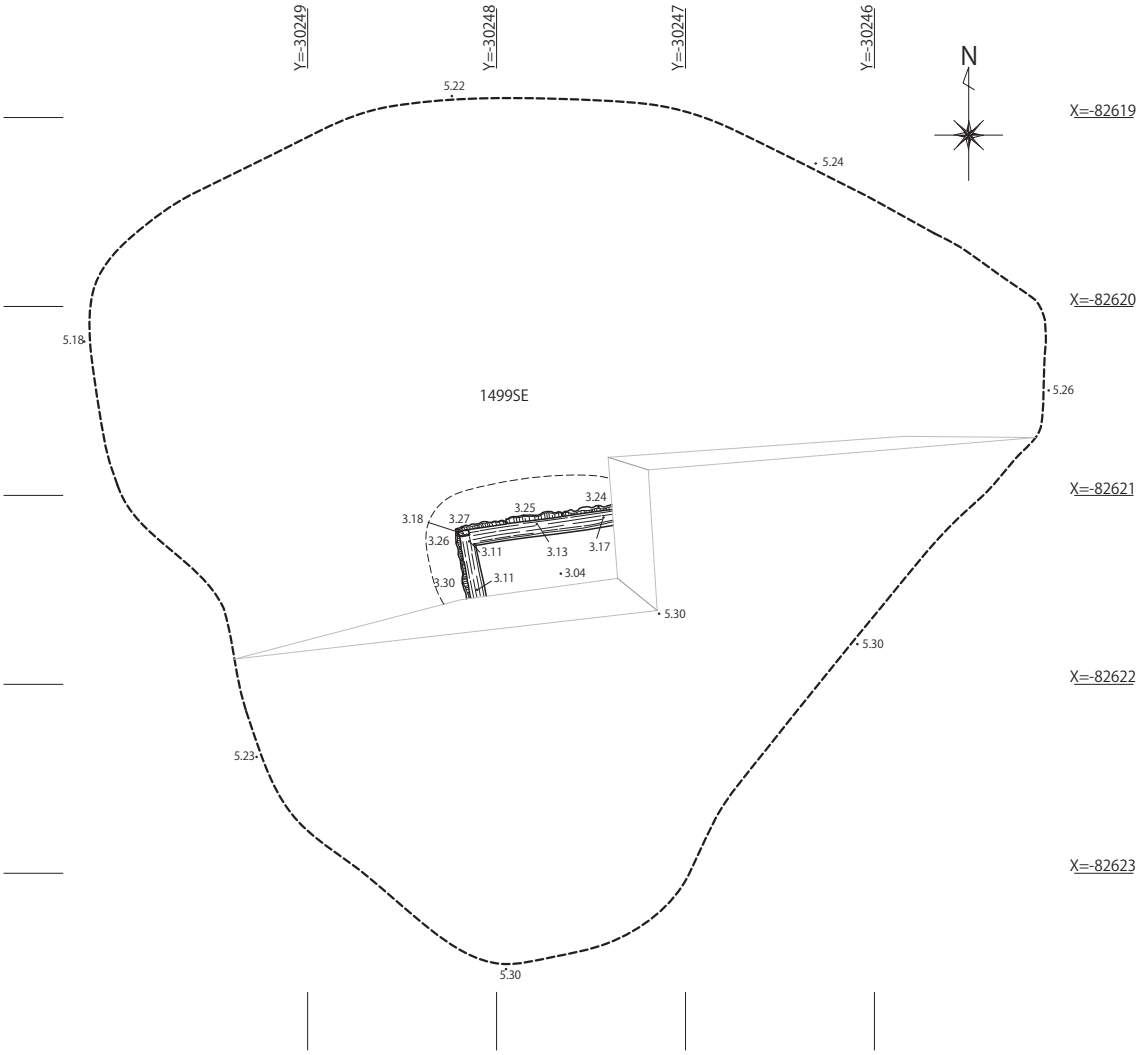


図 2-247　10Ed 区 1499SE 遺構図（1:40）

このうち椀型滓・流動滓・羽口・炉壁・粘土塊の出土は 10Ea・Ec・Ed 区に集中しており、特に 10Ea 区 0498SK・0542SK・0613SD・0670SD、10Ec 区 0353SK・0688SK・0778SD・0873SD・鎌倉街道整地層、10Ed 区 1192SK・1193SK からの出土が多い。また、10Ed 区の 1131SD 出土の鋳型と思われる粘土塊も工房施設がこの地にあったことを想定させる。

なお、鍛冶関連遺物は鎌倉街道整地層内からも大量に出土している。本遺跡では前述のように鍛冶関連遺物が集中して出土しているのは 10Da・Db 区東半部以東であることから、この整地層に用いられた土はさほど遠くから集められたものではないことがわかる。

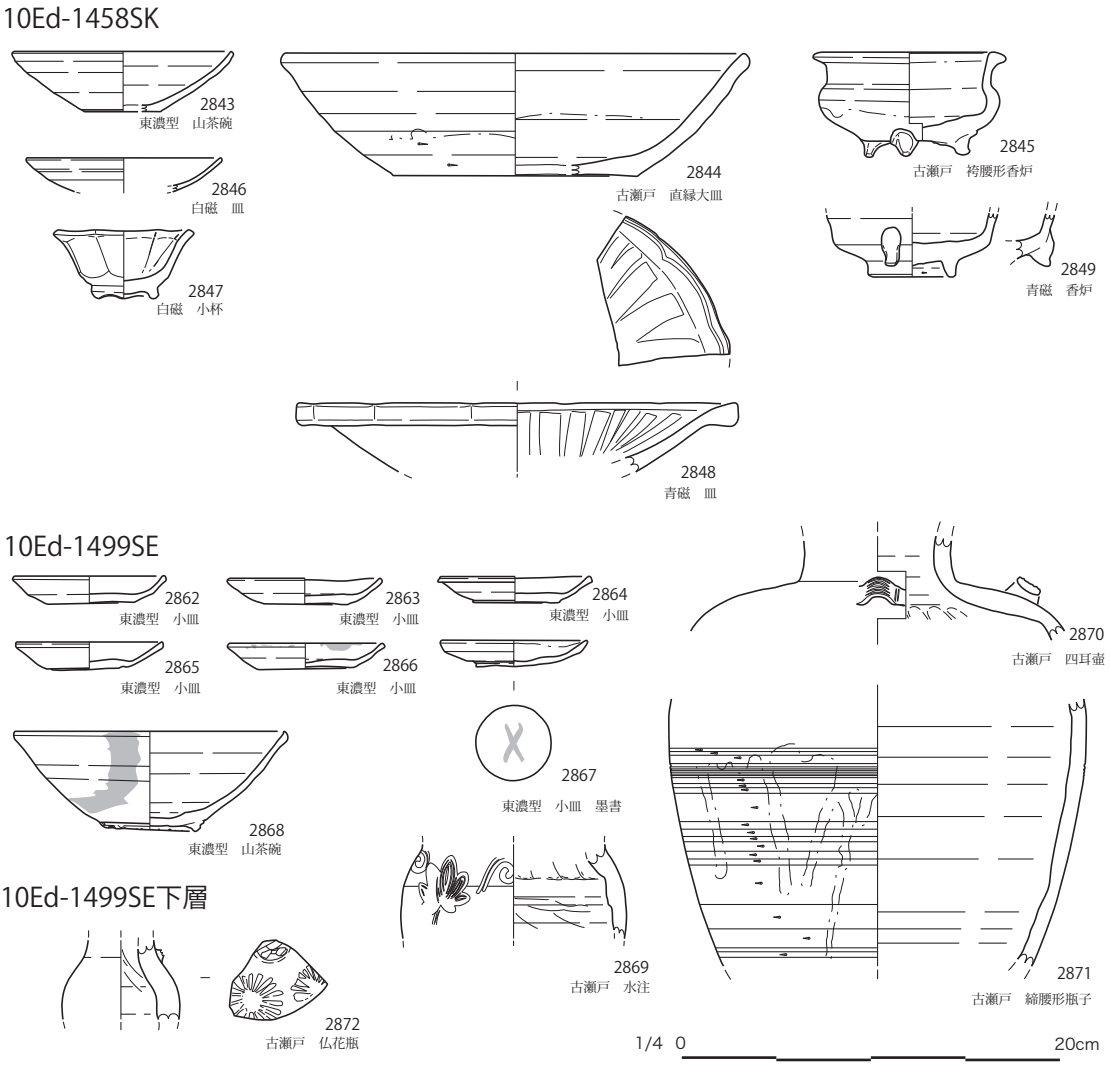


図 2-248　10Ed 区 1458SK・1499SE 出土遺物実測図（1:4）

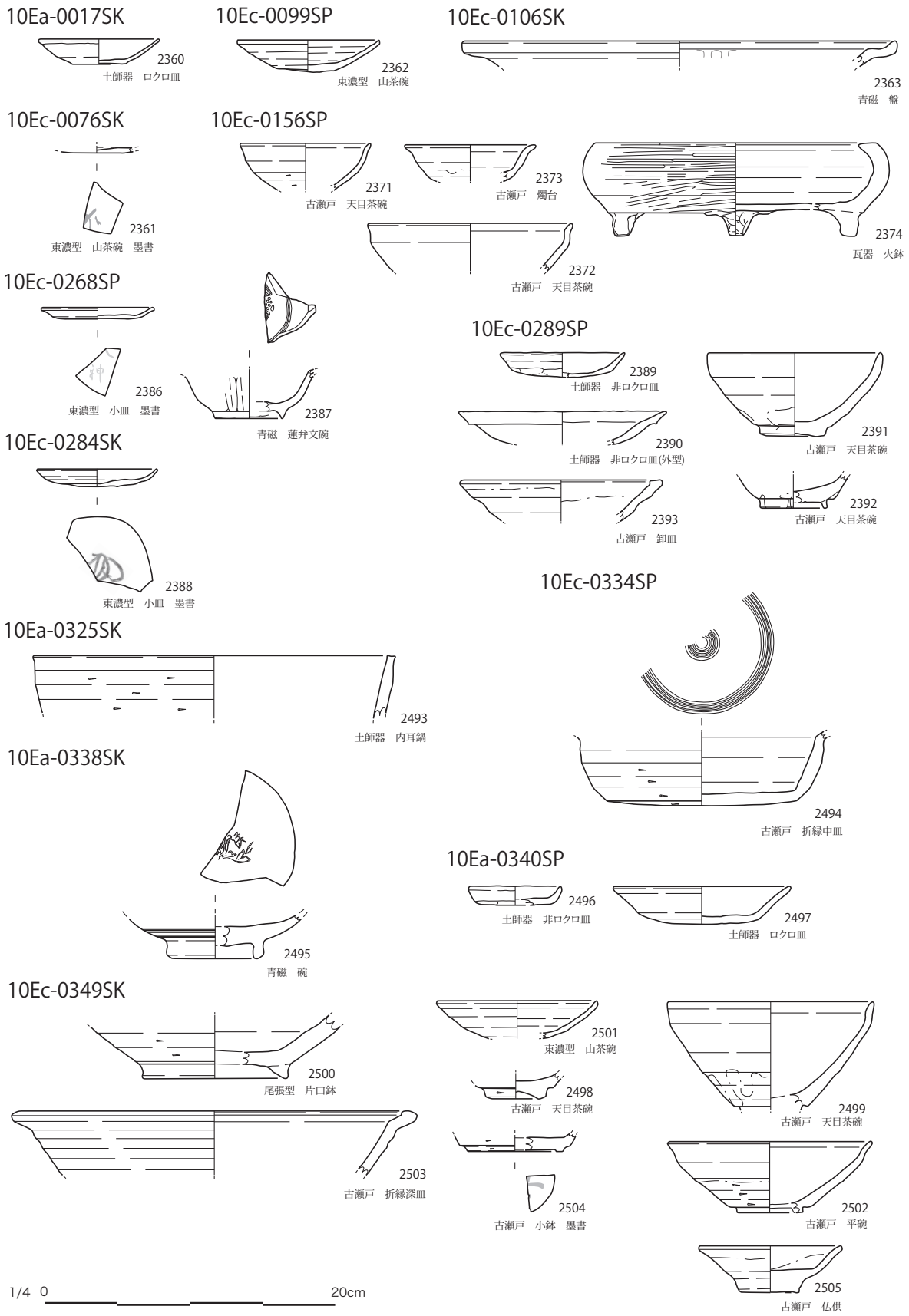
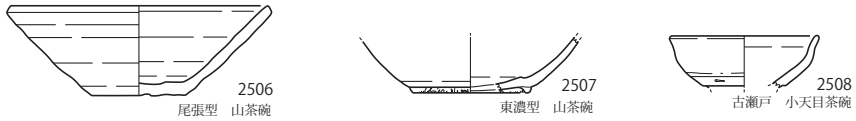
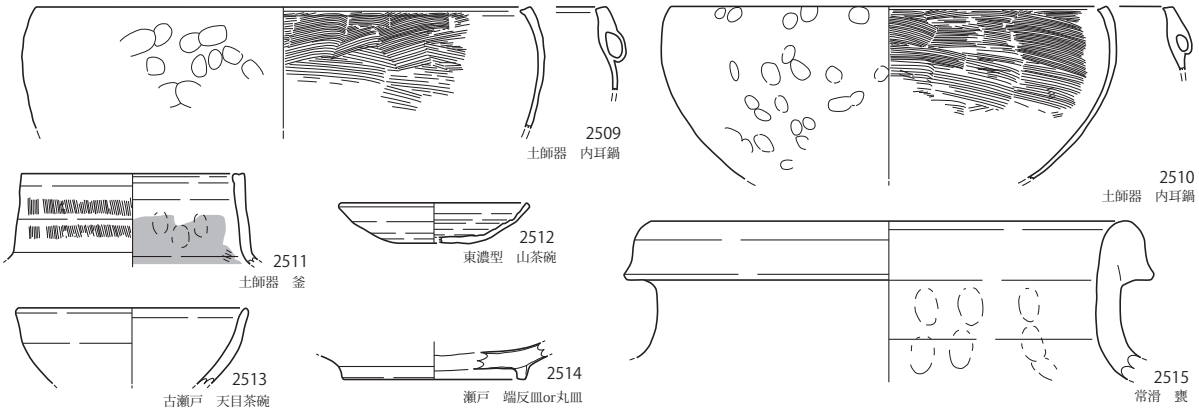


図 2-249　10E 区出土遺物実測図 -1（1:4）

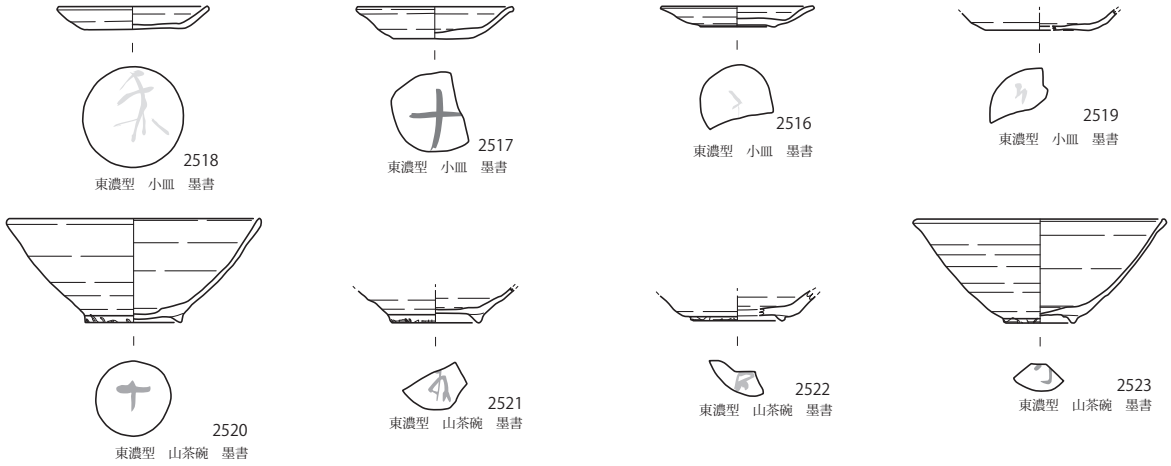
10Ec-0367SK



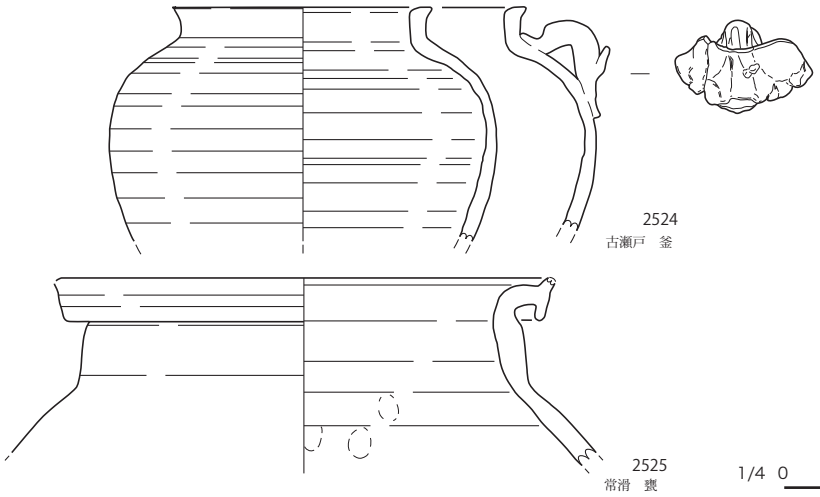
10Ec-0395SK



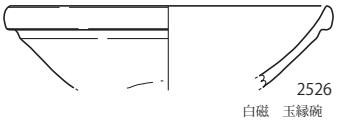
10Ec-0410SP



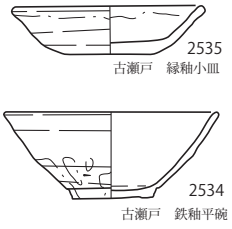
10Ec-0416SK



10Ea-0456SK



10Ea-0498SK



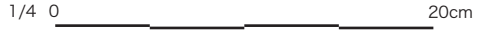


図 2-250　10E 区出土遺物実測図 -2（1:4）

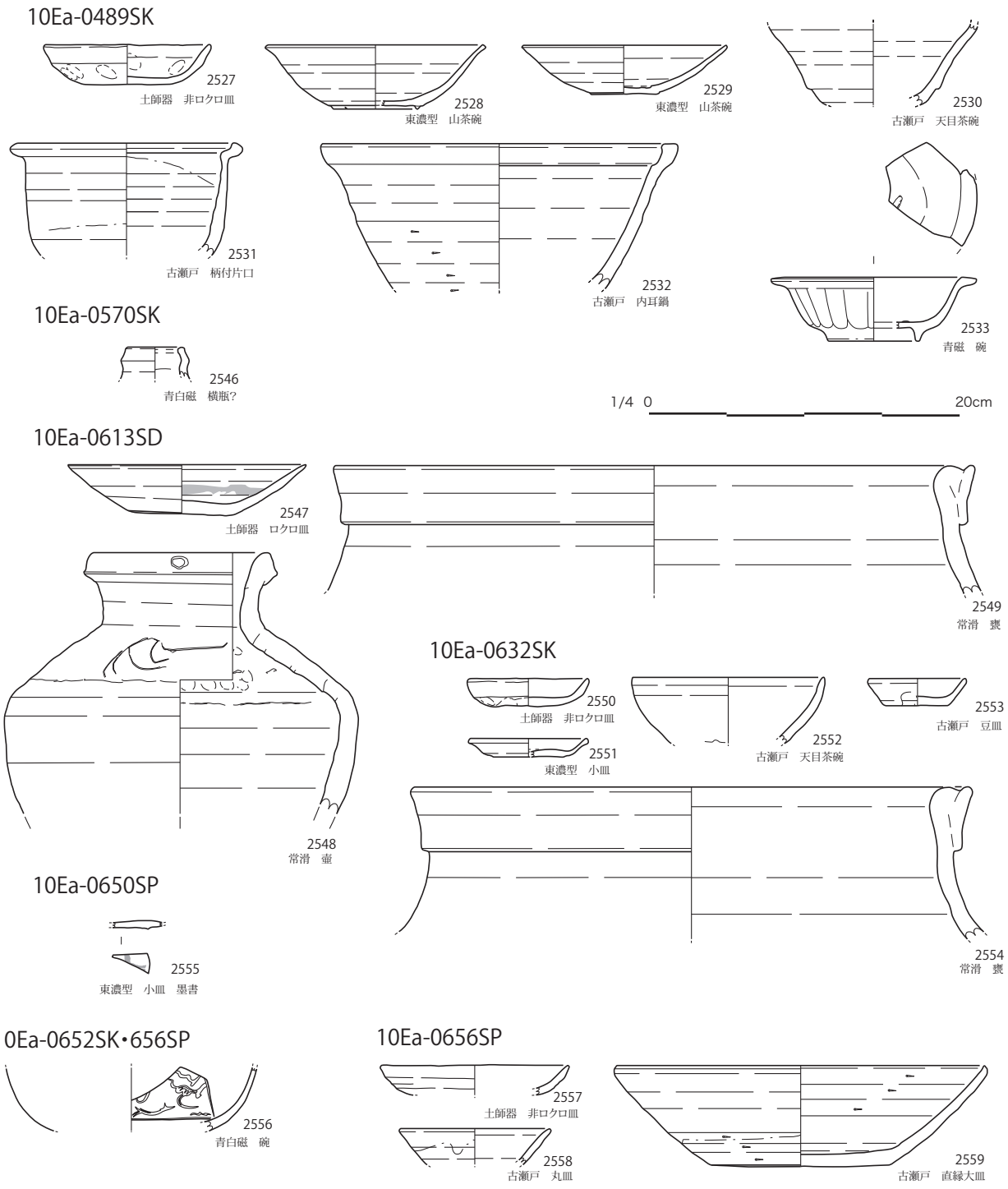


図 2-251　10E 区出土遺物実測図 -3（1:4）

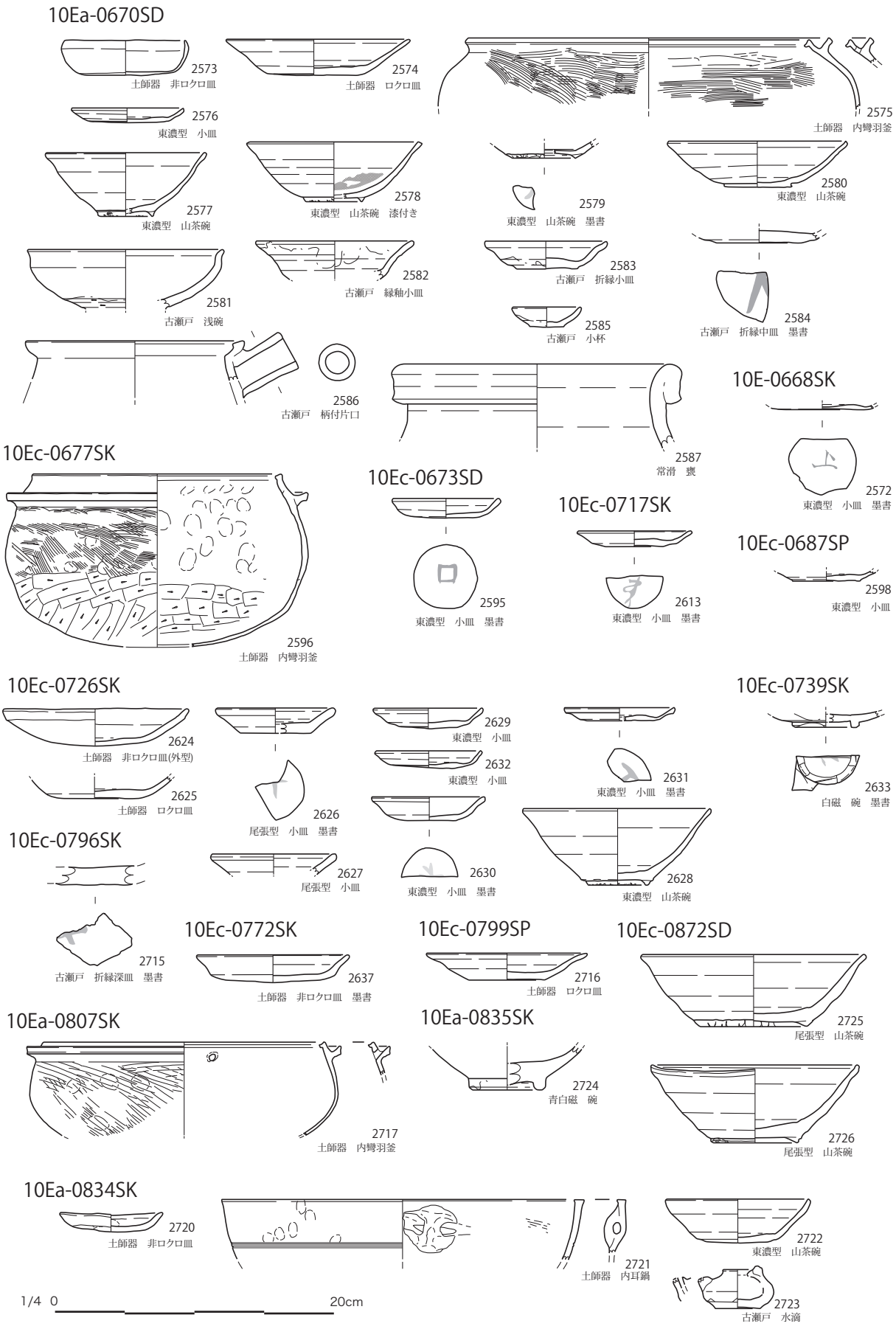


図 2-252　10E 区出土遺物実測図 -4（1:4）

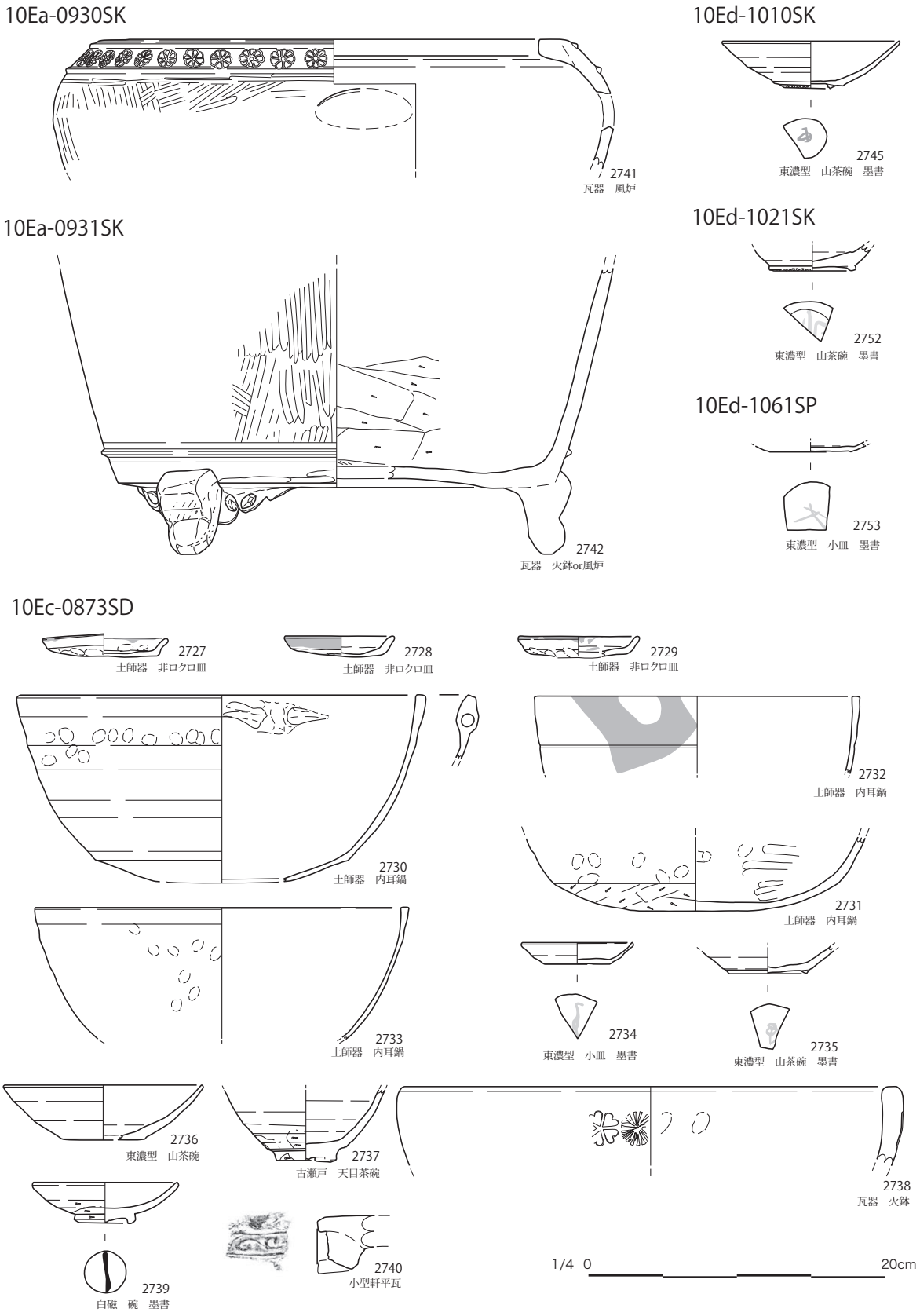


図 2-253　10E 区出土遺物実測図 -5（1:4）

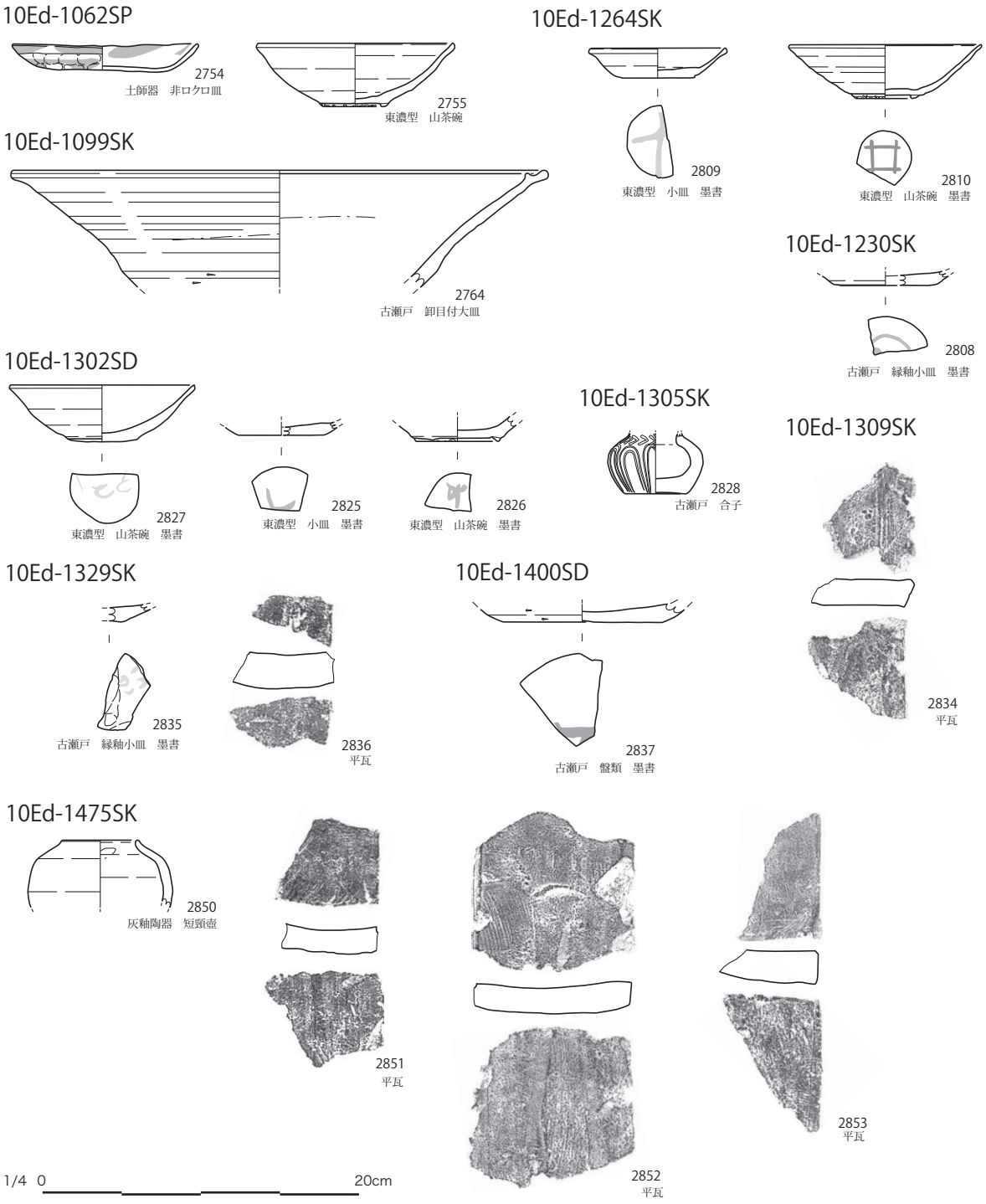


図 2-254　10E 区出土遺物実測図 -6（1:4）

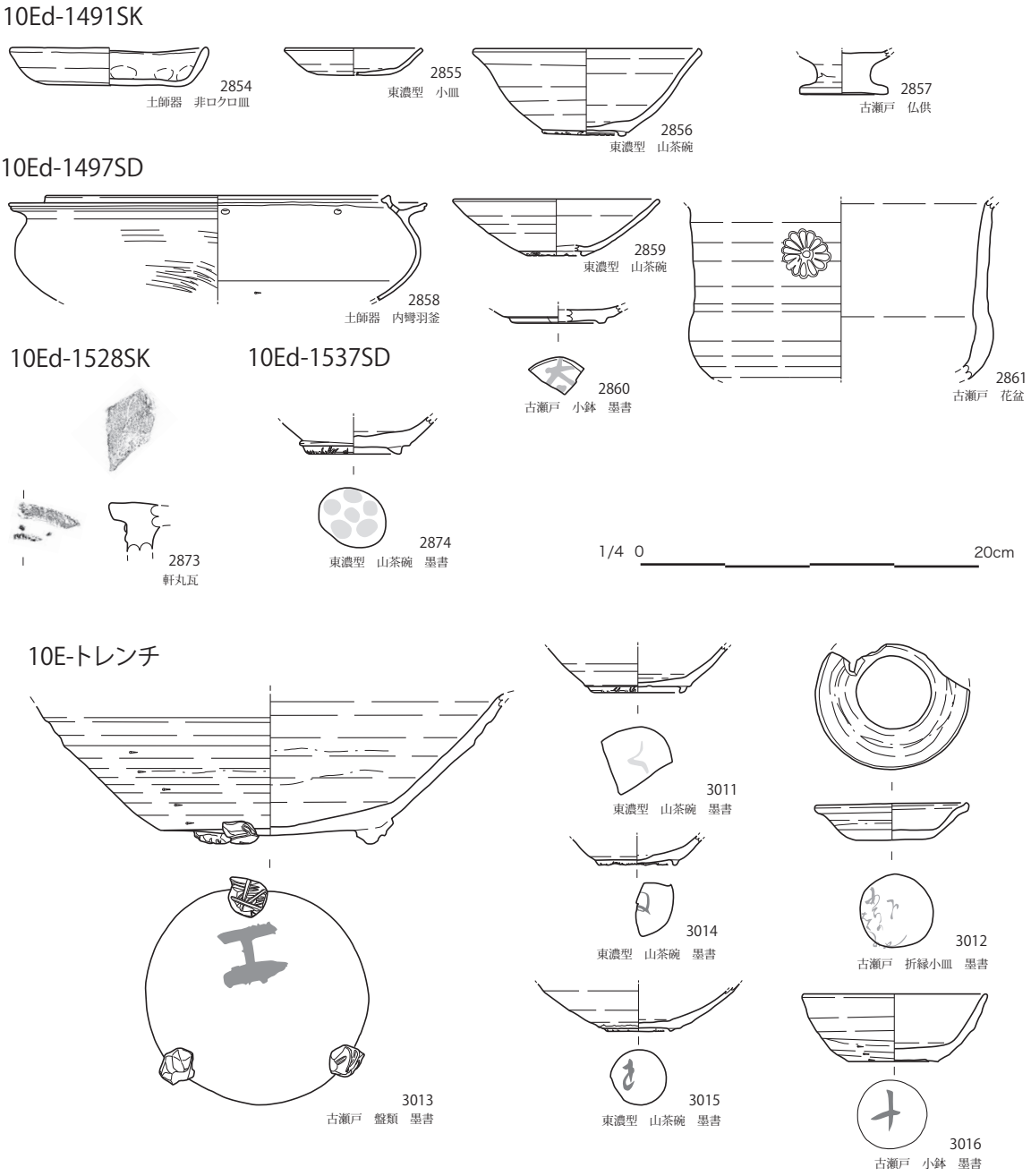
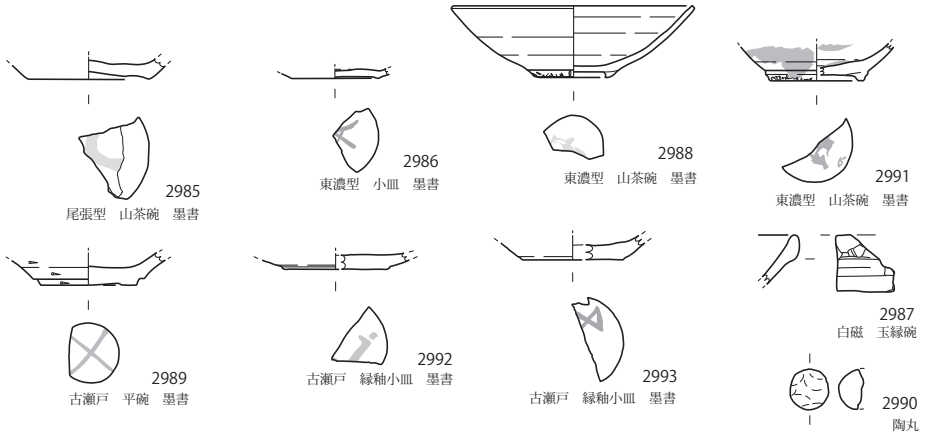


図 2-255　10E 区出土遺物実測図 -7（1:4）

10E-検出1



10E-検2

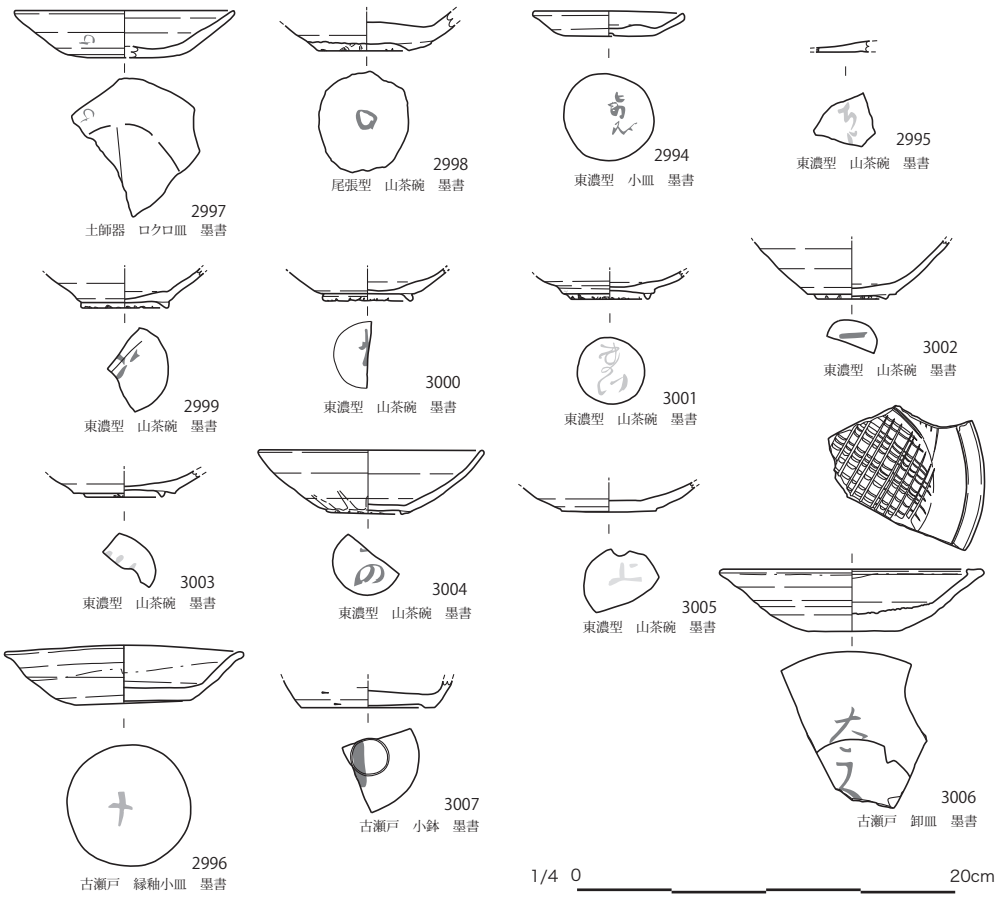


図 2-256　10E 区出土遺物実測図 -8（1:4）

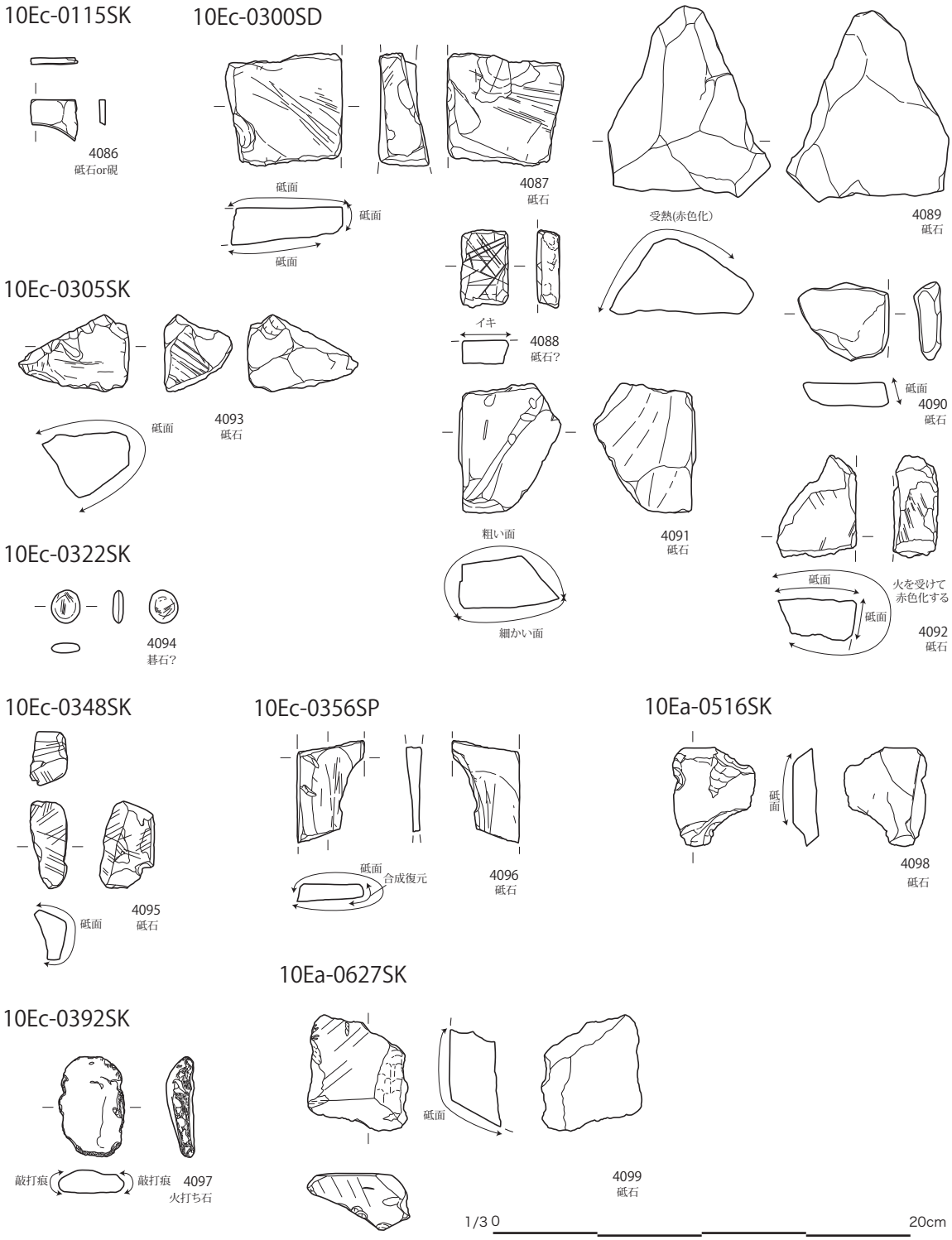


図 2-257　10E 区出土遺物実測図 -9（1:3）

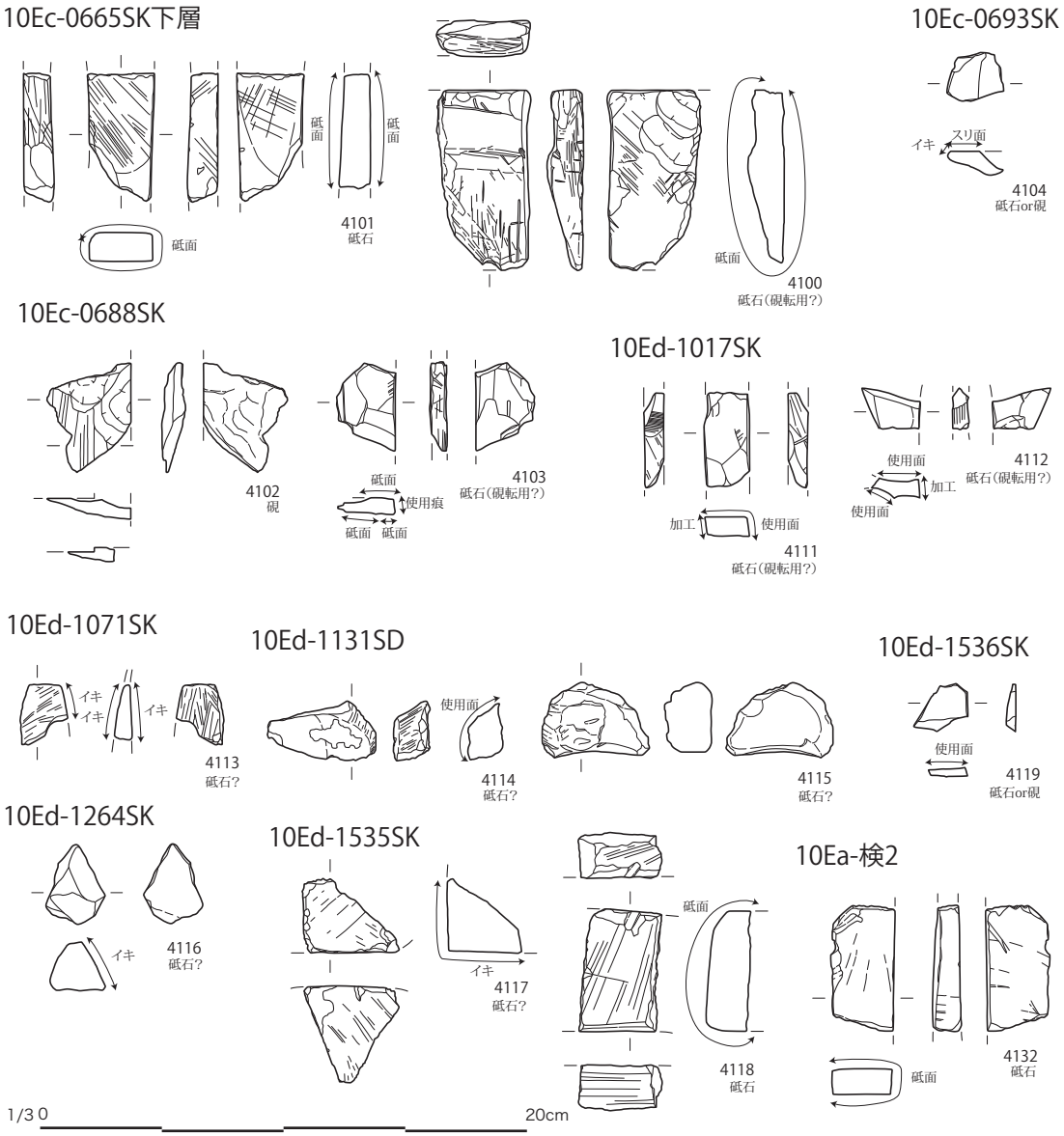


図 2-258　10E 区出土遺物実測図 -10（1:3）

10E-整地層・機械掘削

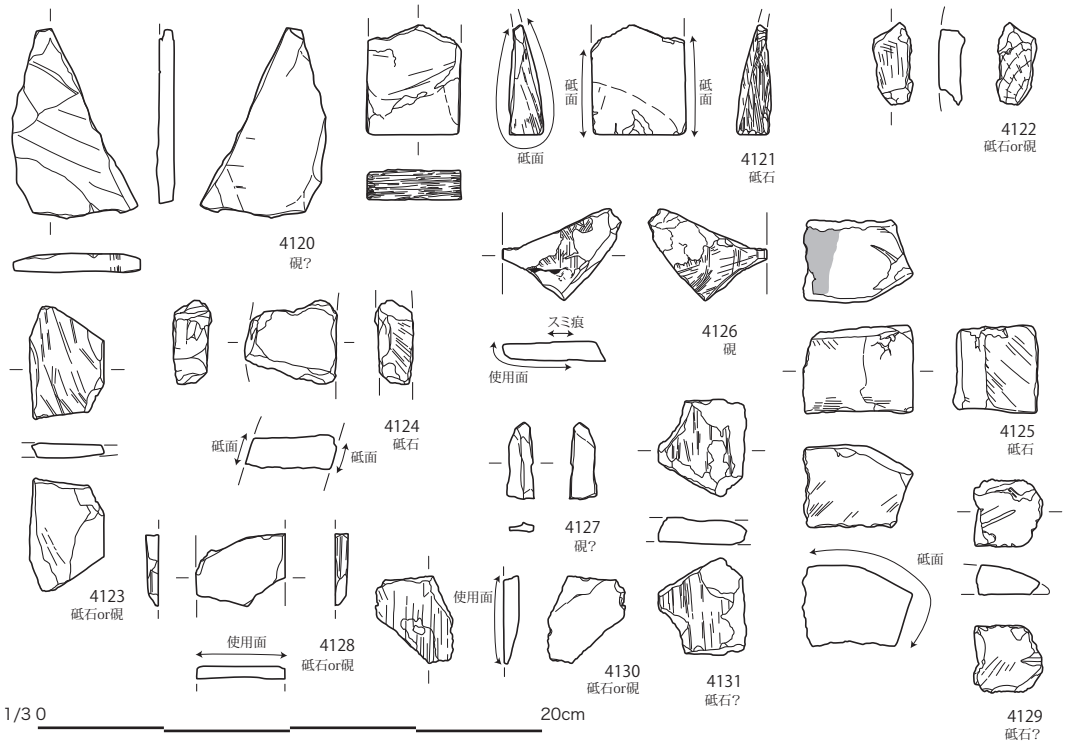


図 2-259　10E 区出土遺物実測図 -11（1:3）

7．墨書土器

この下津宿遺跡からは、332 点もの墨書土器が出土した（表 2-21・22)。このうち、ある程度遺存状態の良いもののみを本節で再録した（図 2-260 ～ 273)。

調査区別では、11Aa 区 -1 点、10Ca 区 -14 点、10Cb 区 -12 点、10Cc 区 -2 点、10Da 区 -84 点、10Db 区 -15 点、11D 区 -15 点、10Ea 区 -13 点、10Eb 区 -2 点、10Ec 区 -139 点、10Ed 区 -32 点、10E 区 -3 点で、10Da 区と Ec 区が多い。

遺構別で 5 点以上出土したのは、10Ca 区 1508SD-5 点、10Da 区 0150SK-5 点、0180SD-5 点、0707SK-5 点、1117SD-8 点、 1436SD-5 点、1440SD-6 点、1705SK-7 点、10Ec 区 0410SP-8 点、0778SD-17 点、鎌倉街道整地層 -75 点で、鎌倉街道整地層を別とすれば、10Ec 区 0778SD が際だって多いことがわかる。

時期別では、11 世紀第 2 ～第 3 四半期（山茶碗 3 型式）-1 点、12 世紀第 2 ～第 3 四半期（山茶碗 4 型式）-1 点、12 世紀第 4 ～ 13 世紀第 1 四半期(尾張型 5 型式、東濃型丸石 3･窯洞)-16 点、13 世紀第 2 ～第 3 四半期（尾張型 6 型式、東濃型白土原・明和）-141 点、13 世紀第 4 ～ 14 世紀第 1 四半期（東濃型大畑大洞古・古瀬戸中Ⅰ～Ⅱ期）-53 点、14 世紀第 2 ～第 3 四半期（東濃型大畑大洞新・古瀬戸後Ⅰ期）-24 点、14 世紀第 4 ～ 15 世紀第 1 四半期（東濃型大洞東・古瀬戸後Ⅰ～Ⅲ期）-24 点、15 世紀第 2 四半期（東濃型脇之島・古瀬戸後Ⅳ期古段階）-11 点、15 世紀第 3 ～第 4 四半期（東濃型生田）-1 点で、ほぼ 13 世紀第 2 ～第 3 四半期を頂点とする正規分布を示す（表 2-20)。

器種別では、土師器非ロクロ皿 -2 点、土師器ロクロ皿 -2 点、山茶碗 -2 点、尾張型小皿 -4 点、尾張型山茶碗 -15 点、東濃型小皿 -125 点、東濃型山茶碗 -147 点、古瀬戸縁釉小皿 -1 点、古瀬戸折縁小皿 -1 点、古瀬戸小鉢 -5 点、古瀬戸平碗 -1 点、古瀬戸折縁中皿 -2 点、古瀬戸折縁深皿 -2 点、古瀬戸中皿 -1 点、古瀬戸卸皿 -1 点、古瀬戸盤類 -4 点、古瀬戸小壺 or 小瓶 -1 点、瓦器火鉢 or 風炉 -1 点、中国産白磁碗 -3 点、中国産青磁皿 -1 点で、東濃産小皿・山茶碗が圧倒的に多い。

表 2-20　墨書土器の時期別出土点数

暦年代	器種名	時期別合計	時期別総合計
11c2-3	山茶碗（3型式）	1	1
12c2-3	山茶碗（4型式）	1	1
13c2-3	尾張型　山茶碗・小皿（5型式）	5	16
	東濃型　山茶碗・小皿（丸石3・窯洞）	11	
	尾張型　山茶碗・小皿（6型式）	13	141
	東濃型　山茶碗・小皿（白土原・明和）	128	
13c4-14c1	東濃型　山茶碗・小皿（大畑大洞古）	52	53
	古瀬戸（中Ⅰ～Ⅱ期）	1	
14c2-3	東濃型　山茶碗・小皿（大畑大洞新）	23	24
	古瀬戸（後Ⅰ期）	1	
14c4-15c1	東濃型　山茶碗・小皿（大洞東）	8	24
	古瀬戸（後Ⅰ～Ⅲ期）	16	
15c2	東濃型　山茶碗・小皿（脇之島）	5	11
	古瀬戸（後Ⅲ～Ⅳ期古）	6	
15c3-4	東濃型　山茶碗（生田）	1	1

墨書内容で注目されるのは、まず花押の多さである。なかでも 10Ec 区鎌倉街道整地層出土の 2900 は幕府奉行人クラス、2958 は国人クラスの花押と推定されている。

次に注目すべきは人名の多さである。「よね」と「とら」が目につく。

「一」・「二」・「三」・「六」・「十」など数字が書かれたものも多い。

10Ec 区 3012 は、「あ万（ま）のはう（坊）なり」と書かれており、近傍（不断光寺か）に尼僧の僧坊があったことが推定される。

10Ed 区 3001 の「□のつ（津）」は川湊の存在を想定させる。

また、10Ec 区 2601、10Ec 区 2941 の花弁、10Ed 区 2874 の梅のマークも興味深い。

さらに、10Ca 区 1508SD で「あこ□」と書かれた東濃型小皿が 2 点出土しており、同一人物による墨書とみられるが、所属時期（窯式）が違っており、山茶碗の伝世を想定させる点も面白い。

表 2-21　墨書土器一覧表 -1

登録番号	調査区	遺構番号	器種名	時期	暦年代	釈読
3017	11Aa1	0080 SK	尾張型　山茶碗	5型式	12c4-13c1	「一」
0379	10Cb1	0122 SD	東濃型　小皿	脇之島	15c2	
0380	10Cb1	0122 SD	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
0410	10Ca1	0200 SK	中国産　青磁　皿	—	—	「○」
0431	10Cb1	0406 SK	東濃型　小皿	明和	13c2-3	
0506	10Cb2	1025 SK	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
0514	10Cb2	1027 SD	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
0515	10Cb2	1027 SD	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
0516	10Cb2	1027 SD	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「十」
0523	10Cb2	1028 SD	山茶碗	4型式	12c2-3	「一」
0525	10Cb2	1028 SD	東濃型　山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	
0610	10Cb2	1052 SD	尾張型　山茶碗	6型式	13c2	「垣」
0620	10Cc2	1073 SK	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
0621	10Cc2	1073 SK	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
0666	10Ca2	1320 SD	東濃型　小皿	—	—	
0669	10Ca2	1333 SX	東濃型　小皿	—	—	
0680	10Ca2	1490 SK	尾張型　山茶碗	6型式	13c2	「○」
0683	10Ca2	1500 SD	古瀬戸　緑釉小皿	後Ⅳ期古	15c2	
0687	10Ca2	1508 SD	東濃型　小皿	窯洞	13c1	「あこ□」
0688	10Ca2	1508 SD	東濃型　小皿	白土原	13c2	
0689	10Ca2	1508 SD	東濃型　小皿	明和	13c2-3	「あこ□？」
0690	10Ca2	1508 SD	東濃型　小皿	明和	13c2-3	「十一」
0692	10Ca2	1508 SD	東濃型　小皿	—	—	
0697	10Ca2	1510 SD	尾張型　山茶碗	5型式	12c4-13c1	「上」
0699	10Ca2	1510 SD	東濃型　山茶碗	白土原	13c2	「十」
0709	10Ca2	1788 SD	土師器　非ロクロ皿	—	—	
0727	10Cb1	トレンチ	山茶碗	3型式	11c2-3	
—	10Ca1	検1	尾張型　山茶碗	6型式	13c2	
0748	10Cb2	検2	古瀬戸　緑釉小皿	後Ⅰ～Ⅱ期	14c3-15c1	
0846	10Da1	0121 SK	東濃型　小皿	—	—	
0847	10Da1	0121 SK	東濃型　小皿	—	—	
0975	10Da2	0150 SK	東濃型　小皿	明和	13c2-3	「よね」
0976	10Da2	0150 SK	東濃型　小皿	明和	13c2-3	
0980	10Da2	0150 SK	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
0981	10Da2	0150 SK	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
0977	10Da2	0150 SK	東濃型　小皿	—	—	
1071	10Da1	0162 SK	尾張型　小皿	—	—	「○○」
1096	10Da1	0180 SD	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「た川（つ）」
1100	10Da1	0180 SD	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「七」
1097	10Da1	0180 SD	東濃型　小皿	—	—	
1098	10Da1	0180 SD	東濃型　小皿	—	—	「三□」
1099	10Da1	0180 SD	東濃型　小皿	—	—	「十」
1113	10Da1	0200 SK	尾張型　小皿	6型式	13c2	
1121	10Db1	0389 SD	東濃型　小皿	明和	13c2-3	
1122	10Db1	0389 SD	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
1172	10Da2	0644 SK	東濃型　小皿	—	—	
1180	10Da2	0686 SK	東濃型　山茶碗	脇之島	15c2	
1264	10Da2	0707 SK	東濃型　小皿	明和	13c2-3	「一」
1275	10Da2	0707 SK	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「一」
1265	10Da2	0707 SK	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「一」
1267	10Da3	0707 SK	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「一」
1290	10Da2	0707 SK	東濃型　山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	
1345	10Da3	0923 SK	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「十」
1388	10Da3	1000 SK	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
1391	10Da3	1000 SK	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
1429	10Da3	1028 SK	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「一」
1438	10Da3	1056 SD	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	
1439	10Da3	1056 SD	東濃型　小皿	—	—	
1448	10Da3	1091 SK	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「いぬ？」
1451	10Da3	1106 SK	東濃型　小皿	明和	13c2-3	「二」
1480	10Da3	1117 SD	東濃型　小皿	明和	13c2-3	
1481	10Da3	1117 SD	東濃型　小皿	明和	13c2-3	「く□」　「□ら」
1482	10Da3	1117 SD	東濃型　小皿	明和	13c2-3	
1483	10Da3	1117 SD	東濃型　小皿	明和	13c2-3	「と□」
1490	10Da3	1117 SD	東濃型　小皿	明和	13c2-3	
1491	10Da3	1117 SD	東濃型　小皿	明和	13c2-3	
1485	10Da3	1117 SD	東濃型　小皿	大畑大洞新	14c2-3	「一」
1486	10Da3	1117 SD	東濃型　小皿	—	—	「は」
1530	10Db2	1137 SK	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「十」
1571	10Db2	1231 SD	中国産　白磁　碗	12～13c	12～13c	
1582	10Db2	1231 SD上層	東濃型　山茶碗	白土原	13c2	
1744	10Da3	1250 SD上層	尾張型　山茶碗	5型式	12c4-13c1	「一」
1943	10Db2	1290 SK	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	
1948	10Db2	1309 SK	東濃型　山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	
1956	10Db2	1400 SD	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
1965	10Da3	1411 SD	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「十」
1976	10Da3	1436 SD	尾張型　山茶碗	5型式	12c4-13c1	
1977	10Da3	1436 SD	尾張型　山茶碗	5型式	12c4-13c1	
1979	10Da3	1436 SD	東濃型　山茶碗	窯洞	13c1	
1983	10Da3	1436 SD	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
1984	10Da3	1436 SD	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「十」
1986	10Da3	1438 SK	尾張型　小皿	6型式	13c2	
1992	10Da3	1440 SD	尾張型　山茶碗	6型式	13c2	
2003	10Da3	1440 SD	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「十」
2004	10Da3	1440 SD	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「十」
2009	10Da3	1440 SD	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「く」
2010	10Da3	1440 SD	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「一」
1999	10Da3	1440 SD	東濃型　小皿	—	—	
2025	10Da3	1449 SK	東濃型　山茶碗	—	—	「十」
2026	10Db2	1484 SK	東濃型　小皿	—	—	
2072	10Db2	1608 SK	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
2073	10Db2	1608 SK	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「六」
2104	10Db2	1619 SK	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「○」
2158	10Da3	1705 SK	東濃型　山茶碗	窯洞	13c1	「大」
2137	10Da3	1705 SK	東濃型　小皿	白土原	13c2	
2138	10Da3	1705 SK	東濃型　小皿	白土原	13c2	
2139	10Da3	1705 SK	東濃型　小皿	白土原	13c2	「い」
2144	10Da3	1705 SK	東濃型　小皿	明和	13c2-3	
2176	10Da3	1705 SK	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「●」
2152	10Da3	1705 SK	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	
2199	10Da3	1710 SD	東濃型　小皿	明和	13c2-3	「十」
2234	10Da3	1730 SK	東濃型　小皿	—	—	
2248	10Da1	トレンチ	土師器　ロクロ皿	15c	15c	「三界」
2249	10Da1	トレンチ	東濃型　山茶碗	白土原	13c2	「一」
2239	10Da1	トレンチ	東濃型　小皿	—	—	「は」
2270	10Da1	機械掘削	東濃型　山茶碗	白土原	13c2	「十」
2269	10Da1	機械掘削	東濃型　小皿	明和	13c2-3	「は」
0988	10Da1	検1	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	
2274	10Da1	検1	東濃型　小皿	—	—	
2282	10Db1	検1	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
2285	10Da2	検2	東濃型　小皿	白土原	13c2	
2288	10Da2	検2	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「十」
2286	10Da2	検2	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「大」
2287	10Da2	検2	東濃型　小皿	—	—	
2306	10Db2	検2	東濃型　小皿	白土原	13c2	「一」
2307	10Db2	検2	古瀬戸　小壺or小瓶	後Ⅰ～Ⅱ期	14c3-15c1	
2316	10Da3	検3	尾張型　山茶碗	6型式	13c2	「○」
2317	10Da3	検3	尾張型　山茶碗	6型式	13c2	
2355	10Da3	検3	尾張型　山茶碗	6型式	13c2	
2356	10Da3	検3	尾張型　山茶碗	6型式	13c2	
2318	10Da3	検3	東濃型　小皿	白土原	13c2	「とら」
2319	10Da3	検3	東濃型　小皿	明和	13c2-3	
2320	10Da3	検3	東濃型　小皿	明和	13c2-3	「とら」
2324	10Da3	検3	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
2325	10Da3	検3	東濃型　山茶碗	大洞東	14c4-15c1	「十」
2321	10Da3	検3	東濃型　小皿	—	—	
2322	10Da3	検3	東濃型　小皿	—	—	
2323	10Da3	検3	東濃型　小皿	—	—	「キ」
3111	11D4	1405 SP	東濃型　山茶碗	白土原	13c2	「十」
3112	11D4	1407 SK	東濃型　小皿	—	—	「六」
3114	11D4	1428 SP	東濃型　山茶碗	生田	15c3-4	
3118	11D4	1460 SK	東濃型　小皿	大畑大洞新	14c2-3	「十」
3119	11D4	1460 SK	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
3120	11D4	1460 SK	東濃型　山茶碗	大洞東	14c4-15c1	
3137	11D4	1484 SE	東濃型　小皿	—	—	「一」
3138	11D4	1484 SE	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「十」
3167	11D4	1490 SK	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
3168	11D4	1490 SK	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「十」
3170	11D4	1490 SK	東濃型　山茶碗	大洞東	14c4-15c1	「三一」
3183	11D4	1490 SK	瓦器　火鉢or風炉	—	—	
3204	11D4	1491 SK	東濃型　山茶碗	白土原	13c2	
3225	11D4	1494 SK	東濃型　小皿	—	—	「大」
3280	11D4	1521 SK	東濃型　山茶碗	白土原	13c2	
2361	10Ec1	0076 SK	東濃型　山茶碗	—	—	「よ□」
2375	10Ec1	0171 SK	東濃型　小皿	—	—	「□ね」
2386	10Ec1	0268 SP	東濃型　小皿　墨書	大畑大洞新	14c2-3	「□神」
2388	10Ec1	0284 SP	東濃型　小皿	大洞東	14c4-15c1	花押
2404	10Ec2	0290 SD	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「一」
2405	10Ec2	0290 SD	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	花押
—	10Ec2	0290 SD	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
2400	10Ec2	0290 SD	東濃型　小碗	—	—	
2426	10Ec1	0300 SD	東濃型　小皿	大畑大洞新	14c2-3	
2433	10Ec1	0300 SD	東濃型　山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	「十」
2425	10Ec1	0300 SD	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	
2431	10Ec1	0300 SD	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「十」
2504	10Ec1	0349 SK	古瀬戸　小鉢	後Ⅲ期	15c1	「十」
2516	10Ec1	0410 SP	東濃型　小皿	明和	13c2-3	
2517	10Ec1	0410 SP	東濃型　小皿	明和	13c2-3	「十」
2520	10Ec1	0410 SP	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「十」
2521	10Ec1	0410 SP	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	「□ね」
2522	10Ec1	0410 SP	東濃型　山茶碗	明和	13c2-3	
2518	10Ec1	0410 SP	東濃型　小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	
2523	10Ec1	0410 SP	東濃型　山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
2519	10Ec1	0410 SP	東濃型　小皿	—	—	
2538	10Ec2	0568 SD	東濃型　山茶碗	白土原	13c2	「永」
2555	10Ea2	0650 SP	東濃型　小皿	—	—	「十？」

表 2-22　墨書土器一覧表 -2

登録番号	調査区	遺構番号	器種名		時期	暦年代	釈読
2572	10Ea2	0668 SK	東濃型	小皿	—	—	「上」
2579	10Ea2	0670 SD	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	
2584	10Ea2	0670 SD	古瀬戸	折縁中皿	後期	14c3-15c4	
2590	10Ea2	0672 SK	東濃型	小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「井」
2595	10Ec2	0673 SD	東濃型	小皿	明和	13c2-3	「口」
2597	10Ec2	0679 SK	東濃型	山茶碗	窯洞	13c1	「上」
2601	10Ec2	0698 SE掘り方	東濃型	小皿	白土原	13c2	花弁
2604	10Ec2	0698 SE井戸枠内	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2607	10Ec2	0698 SE	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅰ～Ⅱ期	14c3-15c1	
2613	10Ec2	0717 SK	東濃型	小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	
2614	10Ec2	0720 SK	東濃型	小皿	—	—	
2626	10Ec2	0726 SK	尾張型	小皿	6型式	13c2	「十」
2630	10Ec2	0726 SK	東濃型	小皿	白土原	13c2	
2631	10Ec2	0726 SK	東濃型	小皿	明和	13c2-3	
2633	10Ec2	0739 SK	中国産	白磁	碗	—	—
2636	10Ec2	0768 SK	東濃型	小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	
2637	10Ec2	0772 SK	土師器	非ロクロ皿		—	—
2658	10Ec2	0778 SD	東濃型	小皿	白土原	13c2	「十」
2676	10Ec2	0778 SD	東濃型	小皿	明和	13c2-3	
2677	10Ec2	0778 SD	東濃型	小皿	明和	13c2-3	
2678	10Ec2	0778 SD	東濃型	小皿	明和	13c2-3	「あん」
2679	10Ec2	0778 SD	東濃型	小皿	明和	13c2-3	
2694	10Ec2	0778 SD	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	花押or「あ？」
2695	10Ec2	0778 SD	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2698	10Ec2	0778 SD	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	花押
2699	10Ec2	0778 SD	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2700	10Ec2	0778 SD	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「十」
2701	10Ec2	0778 SD	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「上？」
2702	10Ec2	0778 SD	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「よね」
2687	10Ec2	0778 SD	東濃型	小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	
2709	10Ec2	0778 SD	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
2710	10Ec2	0778 SD	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「上」
2711	10Ec2	0778 SD	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「いぬいし？」
2688	10Ec2	0778 SD	東濃型	小皿	—	—	
2715	10Ec2	0796 SK	古瀬戸	折縁深皿	中期	13c4-14c4	
2735	10Ec2	0873 SD	東濃型	山茶碗	白土原	13c2	
2734	10Ec2	0873 SD	東濃型	小皿	明和	13c2-3	
2739	10Ec2	0873 SD	中国産	白磁	碗	—	—
2743	10Ea2	0956 SK	東濃型	山茶碗	白土原	13c2	
2744	10Ea2	0975 SK	東濃型	山茶碗	白土原	13c2	
2745	10Ed1	1010 SK	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	「あ」
2750	10Ed1	1013 SK	古瀬戸	小鉢	後Ⅱ期	14c4-15c1	
2752	10Ed1	1021 SK	東濃型	山茶碗	白土原	13c2	
2753	10Ed1	1061 SP	東濃型	小皿	—	—	「大」
2760	10Ed1	1070 SK	東濃型	小皿	明和	13c2-3	「井」
2805	10Ed2	1193 SK	古瀬戸	折縁深皿	後Ⅱ期	14c4-15c1	「十□（花押）」
2808	10Ed2	1230 SK	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅱ～Ⅳ期古	15c1-2	
2809	10Ed2	1264 SK	東濃型	小皿	白土原	13c2	「十」
2810	10Ed2	1264 SK	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	「井」
2811	10Ed2	1277 SK	東濃型	小皿	大畑大洞新	14c2-3	
2814	10Ed2	1280 SD	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅲ～Ⅳ期古	15c1-2	「明」
2826	10Ed2	1302 SD	東濃型	山茶碗	白土原	13c2	「ね」
2827	10Ed2	1302 SD	東濃型	山茶碗	脇之島	15c2	
2825	10Ed2	1302 SD	東濃型	小皿	—	—	
2835	10Ed2	1329 SK	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅲ～Ⅳ期古	15c1-2	
2837	10Eb2	1400 SD	古瀬戸	盤類	後Ⅲ～Ⅳ期古	15c1-2	
2838	10Eb2	1417 SK	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	「十」
2860	10Ed2	1497 SD	古瀬戸	小鉢	後Ⅱ～Ⅲ期	14c4-15c1	「大□」
2867	10Ed2	1499 SE	東濃型	小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「×」
2874	10Ed2	1537 SD	東濃型	山茶碗	窯洞	13c1	「梅のマーク」
2916	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	窯洞	13c1	
2917	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	窯洞	13c1	
2918	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	窯洞	13c1	「一」
2919	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	窯洞	13c1	
2981	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	窯洞	13c1	
2920	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	白土原	13c2	
2968	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	白土原	13c2	
2978	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	白土原	13c2	「よね」
2979	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	白土原	13c2	
2982	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	白土原	13c2	「十」
2877	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「十」
2881	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2882	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2883	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	明和	13c2-3	「上」
—	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	明和	13c2-3	
2890	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2891	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「一七？」
2892	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2913	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	明和	13c2-3	
2914	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	明和	13c2-3	
2921	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2922	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2923	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「三」

登録番号	調査区	遺構番号	器種名		時期	暦年代	釈読
2924	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2925	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2926	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2927	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2928	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「一」
2946	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	明和	13c2-3	
2947	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	明和	13c2-3	
2951	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2952	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「一」
2953	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「上」
2954	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2955	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2956	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2962	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	明和	13c2-3	「とへ（べ）」
2963	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	明和	13c2-3	「に」
2969	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「田」
2970	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「二」
2971	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	
2884	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「あん」
2885	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
2886	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
2893	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「○」
2894	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「十」
2896	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
2948	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	
2964	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「まヵ□」
2965	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	
2972	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「よね」
2973	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
2980	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「二」
2941	10Ec	鎌倉街道整地層	古瀬戸	折縁中皿	中Ⅰ～Ⅱ期	13c4-14c1	花弁
2878	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	「十」
2887	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	
2895	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	
2929	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	
2957	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	
2966	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	大畑大洞新	14c2-3	「上」
2974	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	「十」
2975	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	「十」
2902	10Ec	鎌倉街道整地層	古瀬戸	中皿	後Ⅰ～Ⅱ期	14c3-15c1	
2983	10Ec	鎌倉街道整地層	古瀬戸	盤類	後Ⅰ～Ⅱ期	14c3-15c1	
2939	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	山茶碗	大洞東	14c4-15c1	
2901	10Ec	鎌倉街道整地層	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅲ期	15c1	
2958	10Ec	鎌倉街道整地層	古瀬戸	盤類	後Ⅲ期	15c1	国人クラス？の花押
2900	10Ec	鎌倉街道整地層	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅳ期古	15c2	幕府の奉行人クラス？の花押
2875	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	—	—	「三」
2876	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	—	—	「十」
2888	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	—	—	
2889	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	—	—	「十」or「×」
2915	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	—	—	「十」
2949	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	—	—	
2950	10Ec	鎌倉街道整地層	東濃型	小皿	—	—	
2985	10Ed	機械掘削	尾張型	山茶碗	6型式	13c2	
2986	10Ed	機械掘削	東濃型	小皿	—	—	「千？」
2988	10Ea1	検1	東濃型	山茶碗	大畑大洞新	14c2-3	
2989	10Ea1	検1	古瀬戸	平碗	後Ⅲ期	15c1	
2967	10Ec	検1	東濃型	山茶碗	丸石	12c4-13c1	
2991	10Ec	検1	東濃型	山茶碗	白土原	13c2	
2992	10Ec	検1	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅲ～Ⅳ期	15c1-4	
2993	10Ec	検1	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅲ～Ⅳ期	15c1-4	花押？
2994	10Ea2	検2	東濃型	小皿	大畑大洞古	13c4-14c1	「あん」
2995	10Ea2	検2	東濃型	山茶碗	—	—	「ち□」
2998	10Ed2	検2	尾張型	山茶碗	6型式	13c2	「○」
2999	10Ed2	検2	東濃型	山茶碗	白土原	13c2	
3000	10Ed2	検2	東濃型	山茶碗	明和	13c2-3	「よね」
3001	10Ed2	検2	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	「□のつ（津）」
3002	10Ed2	検2	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
3003	10Ed2	検2	東濃型	山茶碗	大洞東	14c4-15c1	
3004	10Ed2	検2	東濃型	山茶碗	大洞東	14c4-15c1	「□の」
3007	10Ed2	検2	古瀬戸	小鉢	後Ⅱ期	14c4-15c1	「一」
3005	10Ed2	検2	東濃型	山茶碗	脇之島	15c2	「上」
3006	10Ed2	検2	古瀬戸	卸皿	後Ⅲ期	15c1	「大こ□」
2996	10Eb2	検2	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅳ期	15c2-4	「十」
2997	10Ed2	検2	土師器	ロクロ皿	—	—	
3008	10Ea3	検3	東濃型	小皿	—	—	
3009	10Ea	トレンチ	東濃型	小皿	大畑大洞新	14c2-3	
3011	10Ec	トレンチ	東濃型	山茶碗	白土原	13c2	
3012	10Ec	トレンチ	古瀬戸	折縁小皿	後Ⅰ期	14c3	「あ万のはう（坊）也」
3010	10Ec	トレンチ	東濃型	山茶碗	脇之島	15c2	
3013	10Ed	トレンチ	古瀬戸	盤類	後Ⅲ期	15c1	「工」
3014	10E	—	東濃型	山茶碗	大畑大洞古	13c4-14c1	
3015	10E	—	東濃型	山茶碗	大洞東	14c4-15c1	
3016	10E	—	古瀬戸	小鉢	後Ⅲ期	15c1	「十」

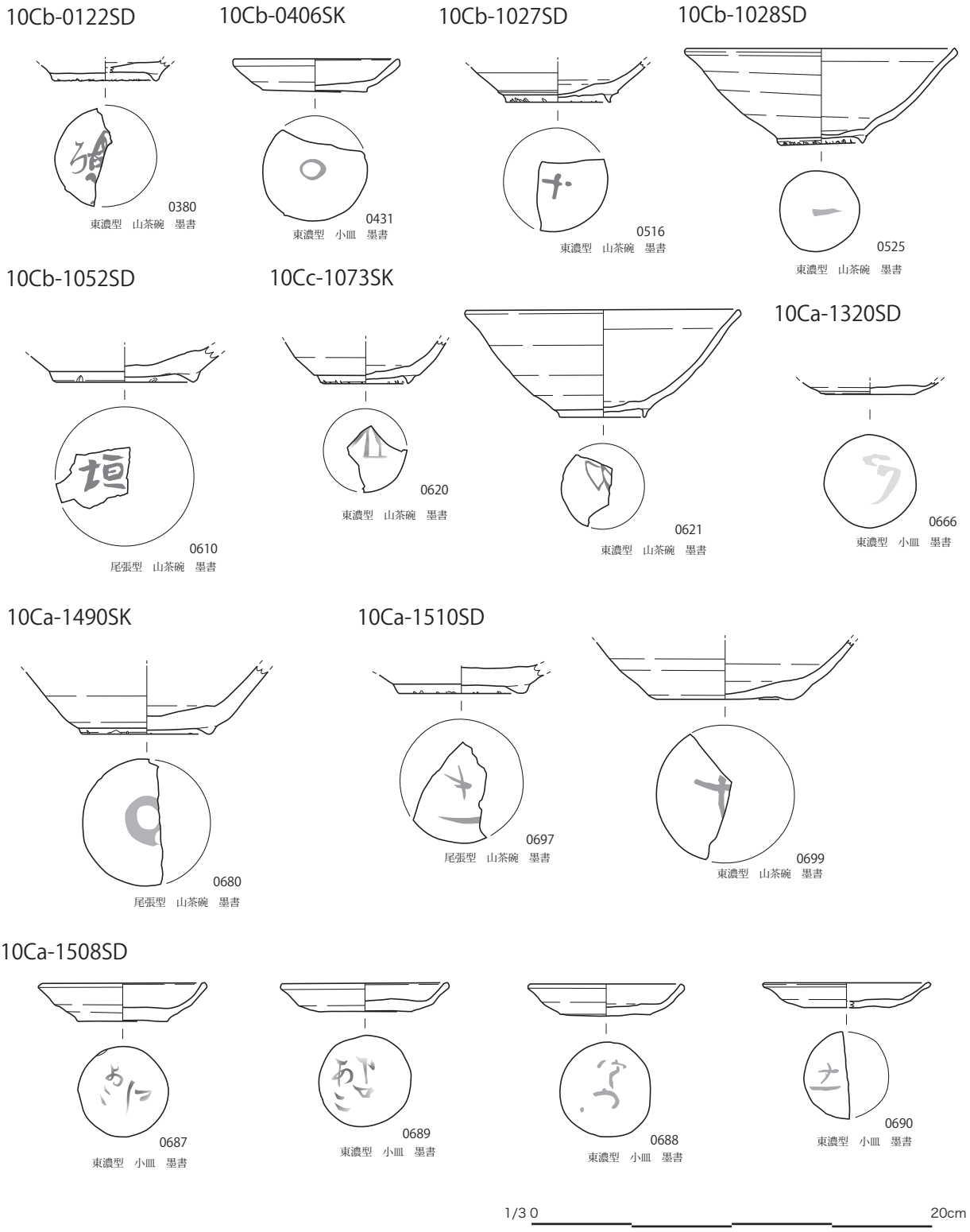


図 2-260　10C 区出土墨書土器実測図（1:3）

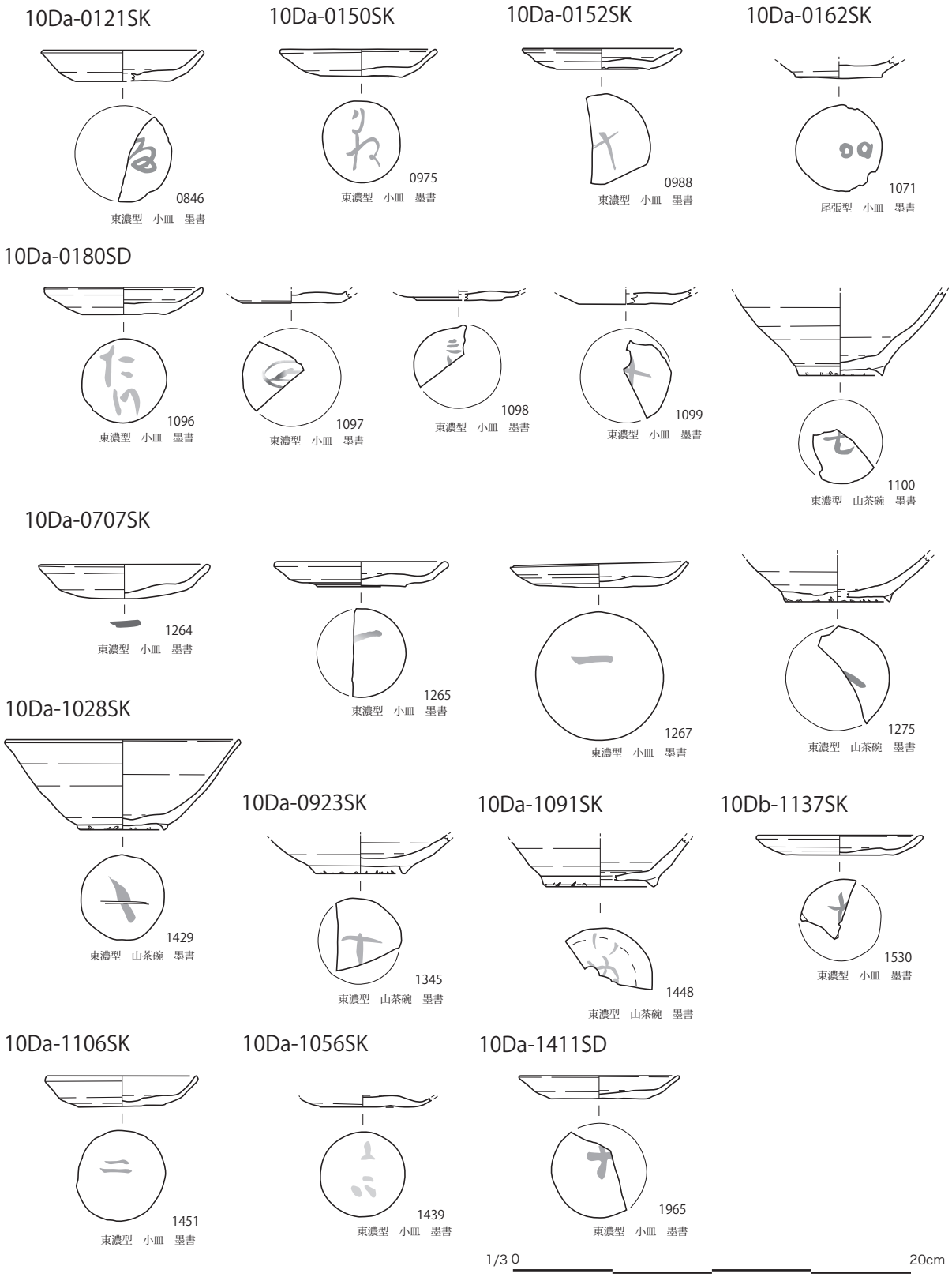
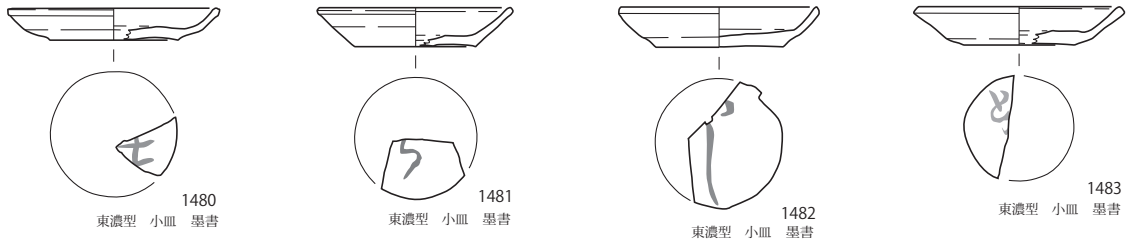


図 2-261　10D 区出土墨書土器実測図 -1（1:3）

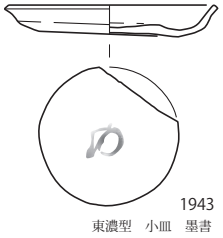
10Da-1117SD



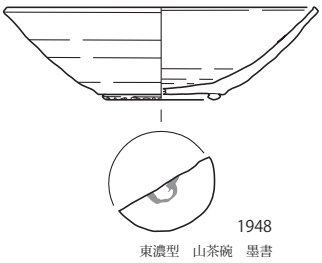
10Da-1250SD上層



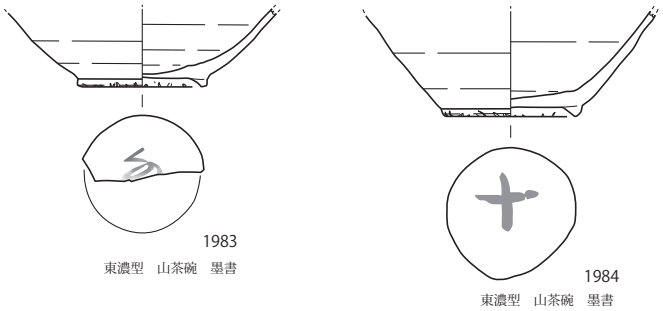
10Db-1290SK



10Db-1309SK



10Da-1436SD



10Da-1440SD

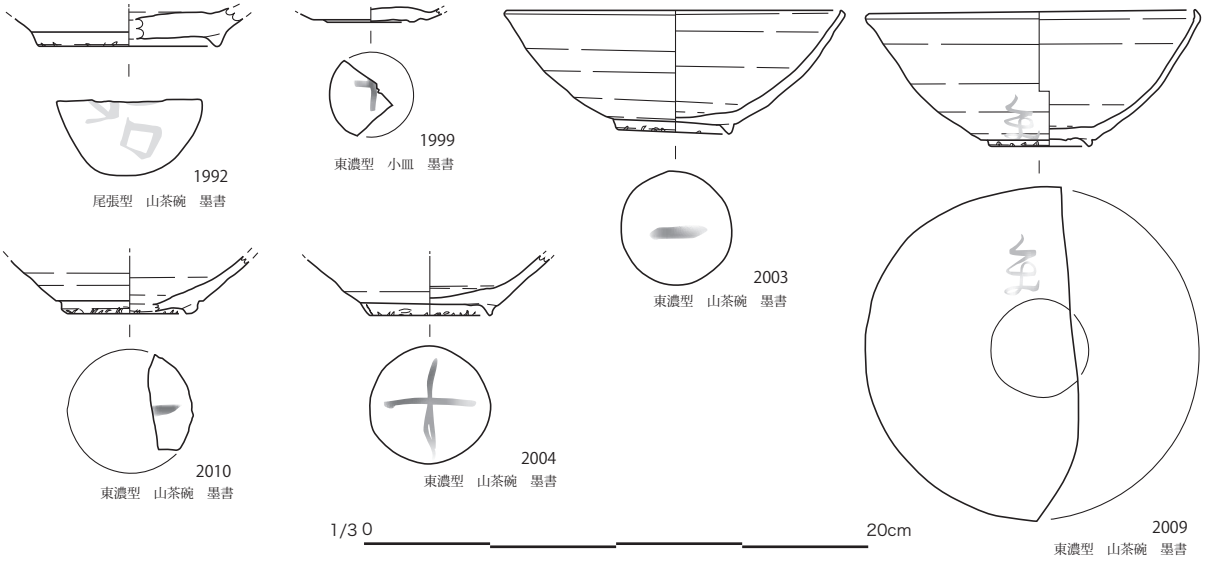
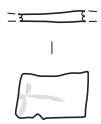


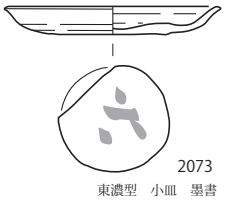
図 2-262　10D 区出土墨書土器実測図 -2（1:3）

10Da-1449SK

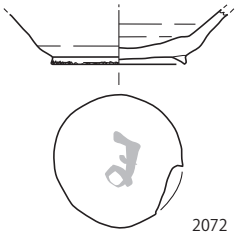


2025
東濃型　山茶碗　墨書

10Db-1608SK

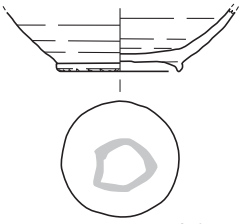


2073
東濃型　小皿　墨書



2072
東濃型　山茶碗　墨書

10Db-1619SK



2104
東濃型　山茶碗　墨書

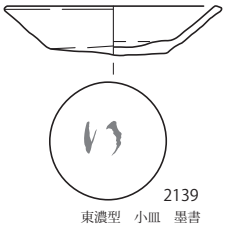
10Da-1705SK



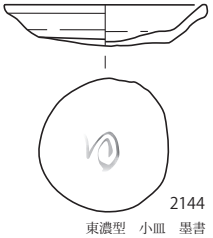
2137
東濃型　小皿　墨書



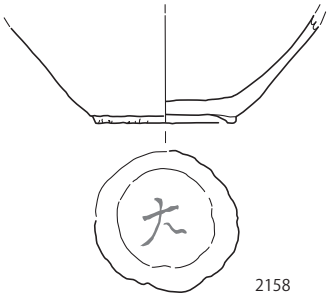
2138
東濃型　小皿　墨書



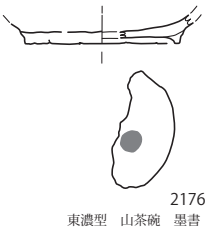
2139
東濃型　小皿　墨書



2144
東濃型　小皿　墨書

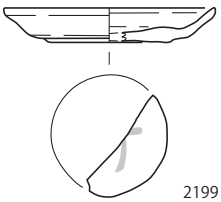


2158
東濃型　山茶碗　墨書



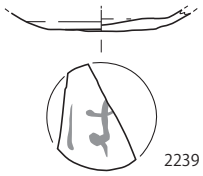
2176
東濃型　山茶碗　墨書

10Da-1710SD



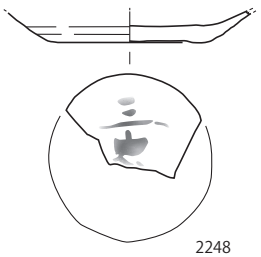
2199
東濃型　小皿　墨書

10Da-トレンチ



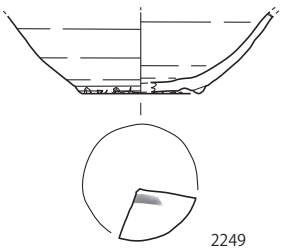
2239
東濃型　小皿　墨書

10Da-トレンチ2・3東



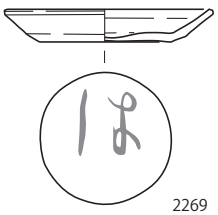
2248
土師器　ロクロ皿　墨書

10Da-トレンチ3

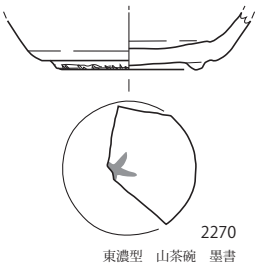


2249
東濃型　山茶碗　墨書

10Da-機械掘削

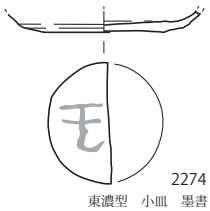


2269
東濃型　小皿　墨書

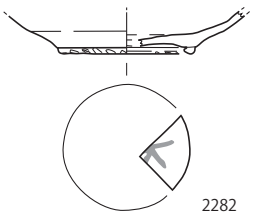


2270
東濃型　山茶碗　墨書

10D-検1



2274
東濃型　小皿　墨書

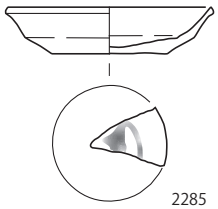


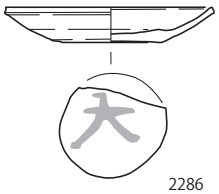
2282
東濃型　山茶碗　墨書

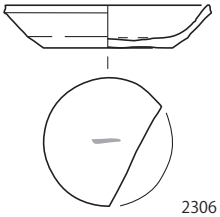
1/3 0　20cm

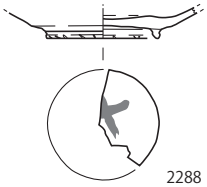
図 2-263　10D 区出土墨書土器実測図 -3（1:3）

10D-検2

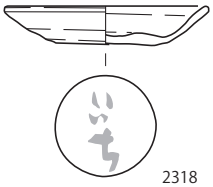

2285
東濃型　小皿　墨書

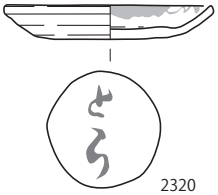

2286
東濃型　小皿　墨書

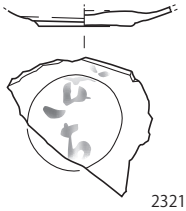

2306
東濃型　小皿　墨書

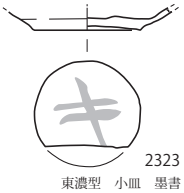

2288
東濃型　山茶碗　墨書

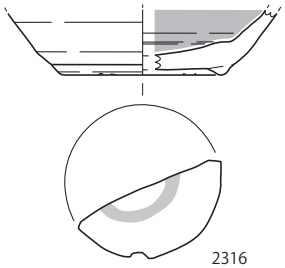
10D-検3

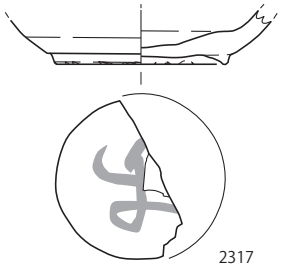

2318
東濃型　小皿　墨書

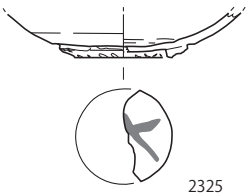

2320
東濃型　小皿　墨書

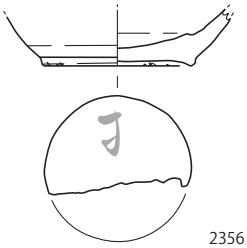

2321
東濃型　小皿　墨書


2323
東濃型　小皿　墨書

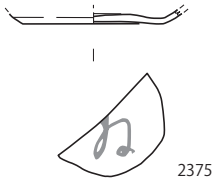

2316
尾張型　山茶碗　墨書


2317
尾張型　山茶碗　墨書

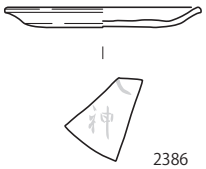

2325
東濃型　山茶碗　墨書


2356
尾張型　山茶碗　墨書

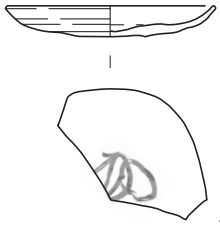
10Ec-0171SK


2375
東濃型　小皿　墨書

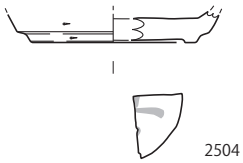
10Ec-0268SP


2386
東濃型　小皿　墨書

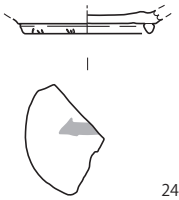
10Ec-0284SP

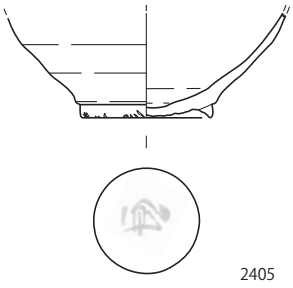

2388
東濃型　小皿　墨書

10Ec-0349SK

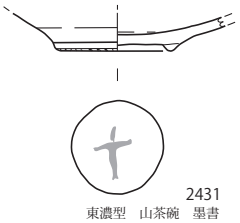

2504
古瀬戸　小鉢　墨書

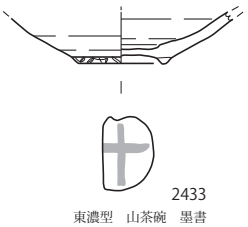
10Ec-0290SD


2404
東濃型　山茶碗　墨書


2405
東濃型　山茶碗　墨書

10Ec-0300SD


2431
東濃型　山茶碗　墨書


2433
東濃型　山茶碗　墨書

1/3 0　20cm

図 2-264　10D 区 -4・10E 区出土墨書土器実測図 -1（1:3）

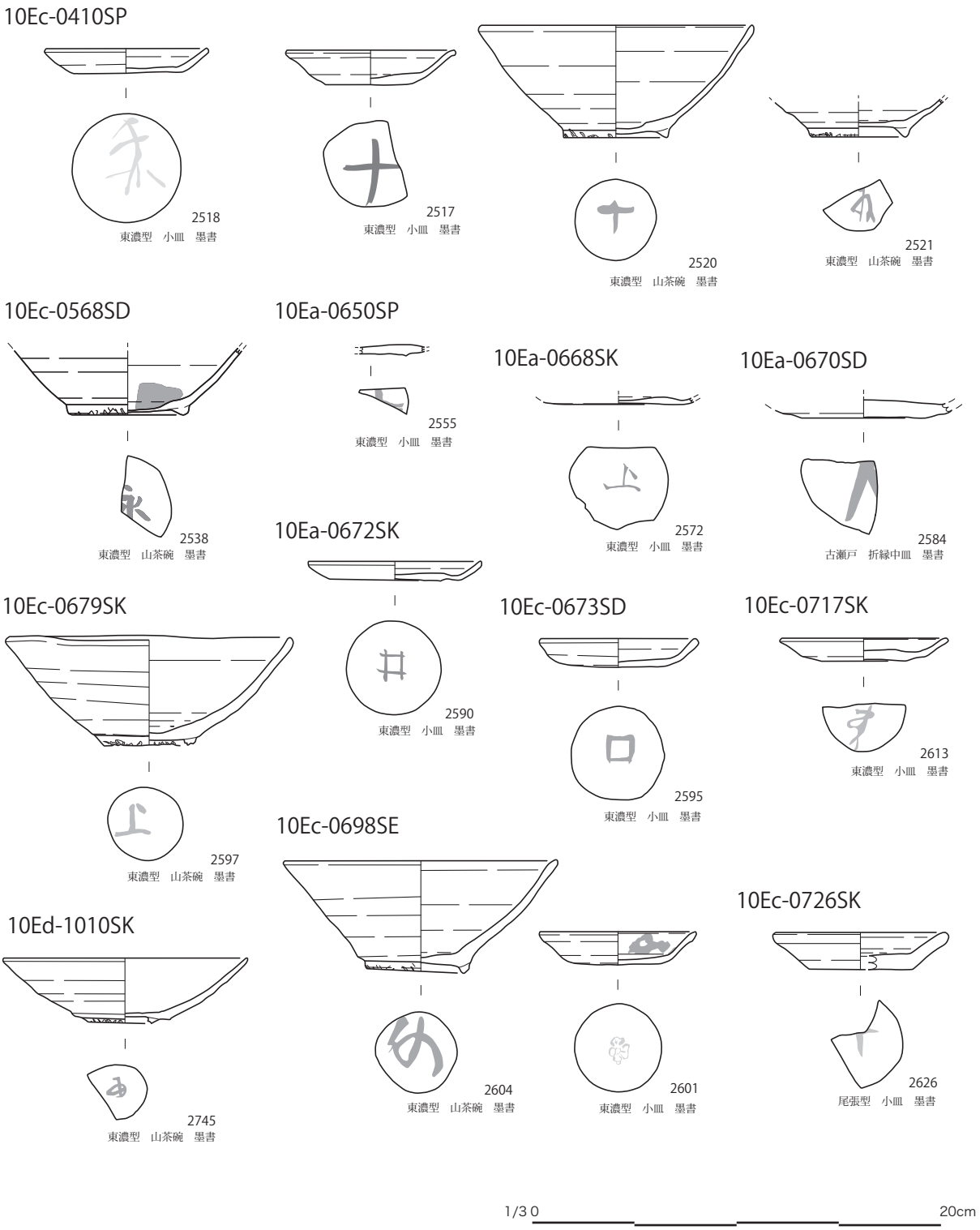


図 2-265　10E 区出土墨書土器実測図 -2（1:3）

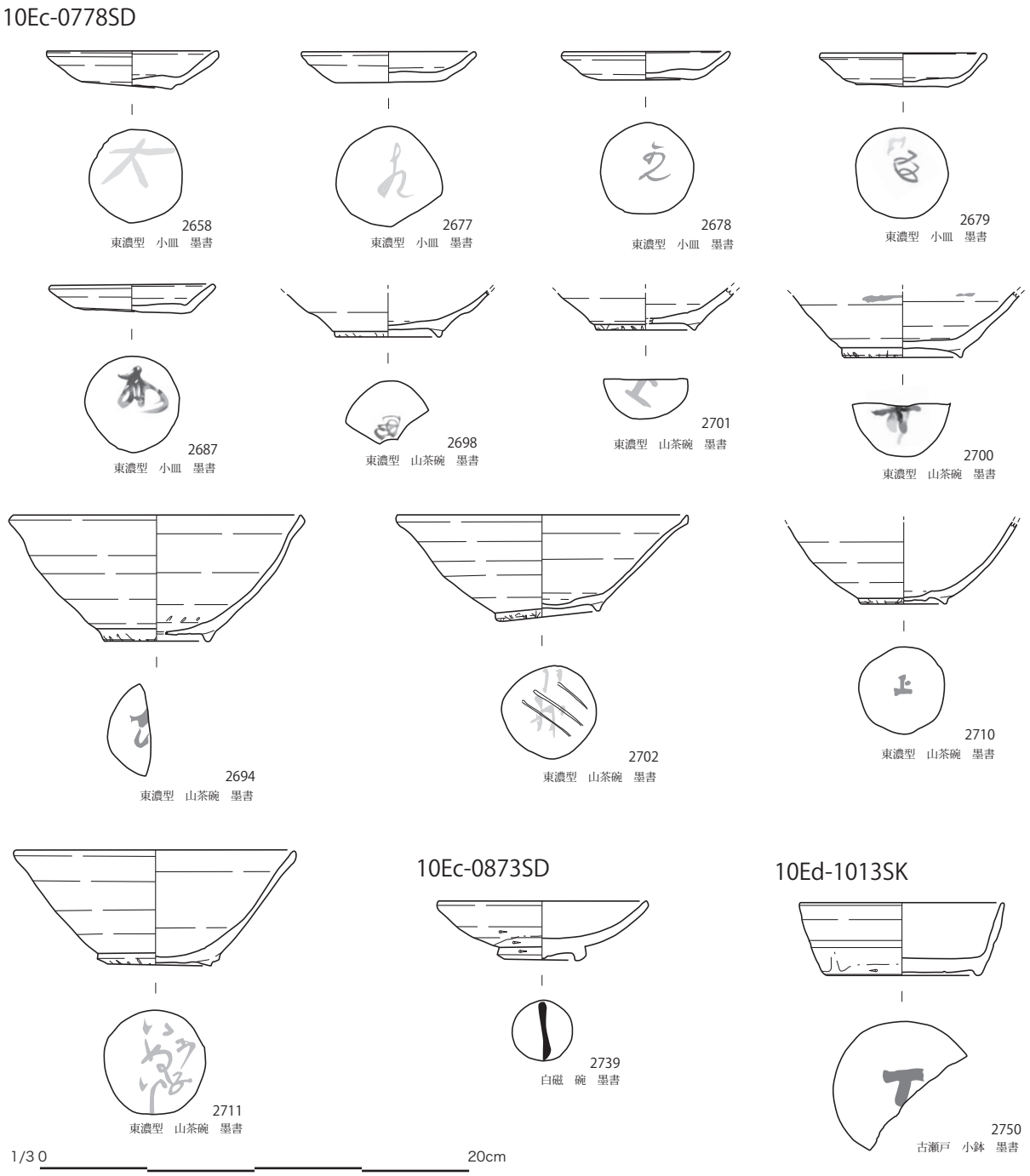
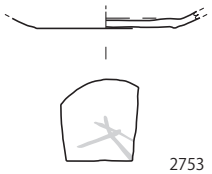


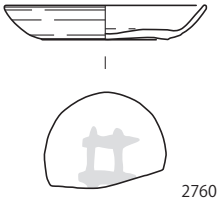
図 2-266　10E 区出土墨書土器実測図 -3（1:3）

10Ed-1061SP



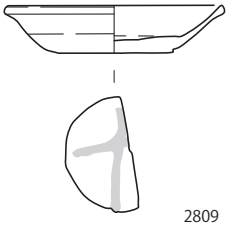
2753
東濃型　小皿　墨書

10Ed-1070SK

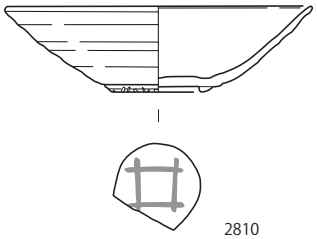


2760
東濃型　小皿　墨書

10Ed-1264SK

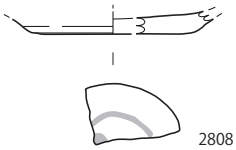


2809
東濃型　小皿　墨書



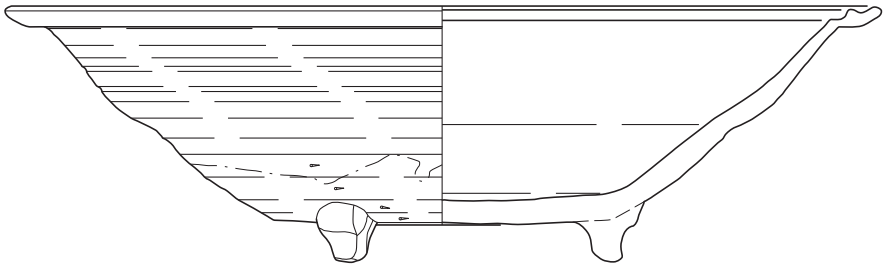
2810
東濃型　山茶碗　墨書

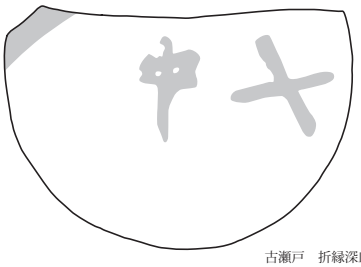
10Ed-1230SK



2808
古瀬戸　縁釉小皿　墨書

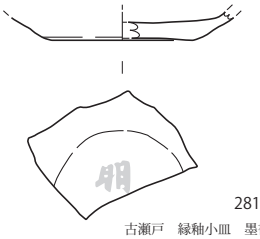
10Ed-1193SK





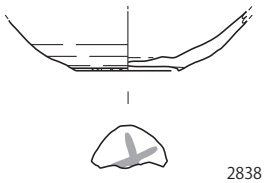
2805
古瀬戸　折縁深皿　墨書

10Ed-1280SD



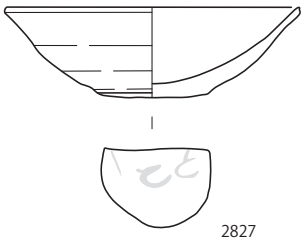
2814
古瀬戸　縁釉小皿　墨書

10Eb-1417SK

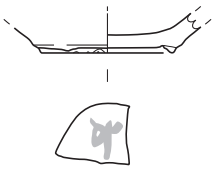


2838
東濃型　山茶碗　墨書

10Ed-1302SD



2827
東濃型　山茶碗　墨書



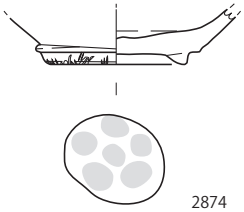
2826
東濃型　山茶碗　墨書

10Ed-1329SD



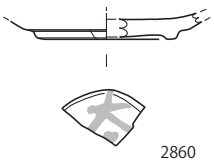
2835
古瀬戸　縁釉小皿　墨書

10Ed-1537SD



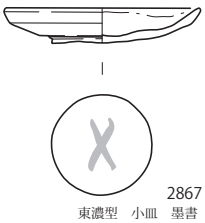
2874
東濃型　山茶碗　墨書

10Ed-1497SD



2860
古瀬戸　小鉢　墨書

10Ed-1499SE



2867
東濃型　小皿　墨書

1/3 0　20cm

図 2-267　10E 区出土墨書土器実測図 -4（1:3）

10E-トレンチ

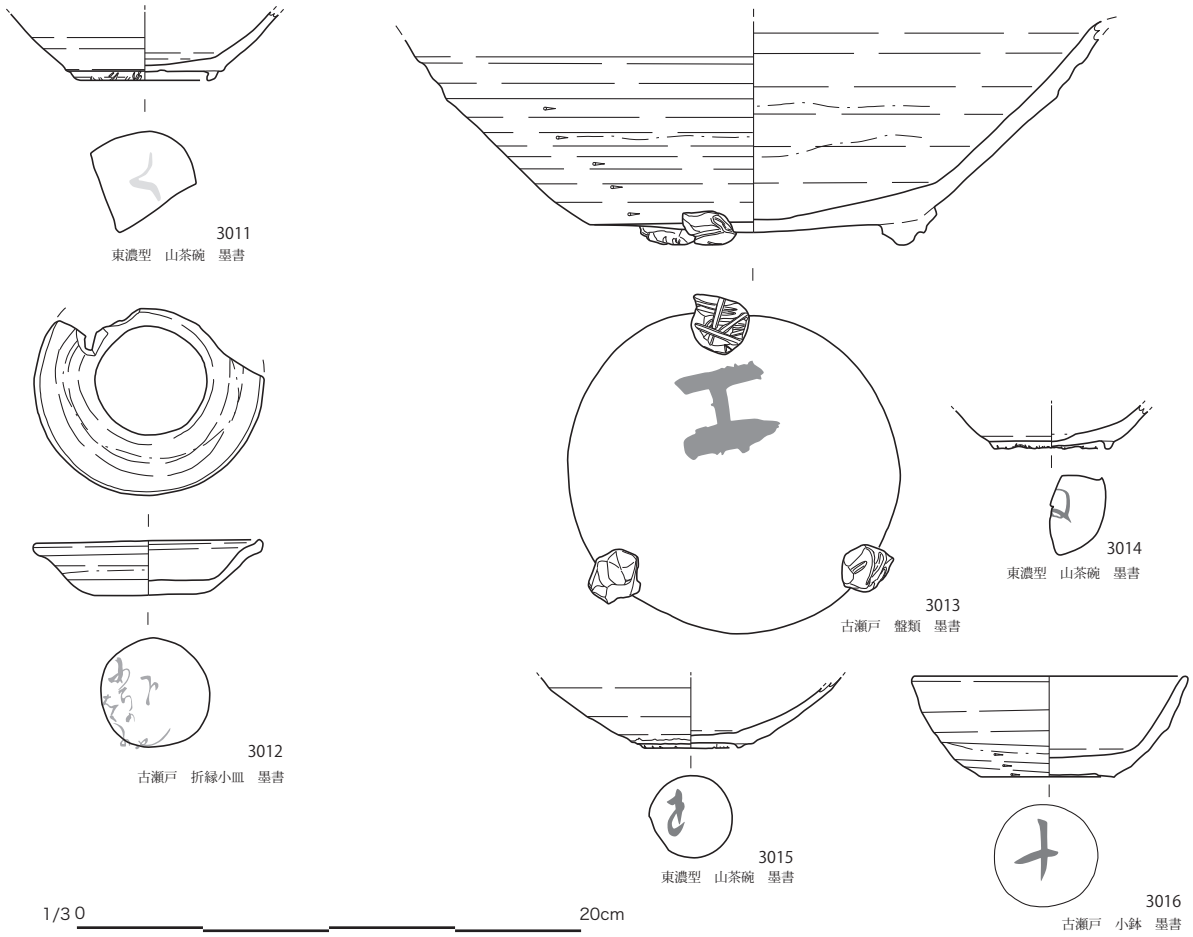


図 2-268　10E 区出土墨書土器実測図 -5（1:3）

10Ec-整地層（機械掘削 検出）-1

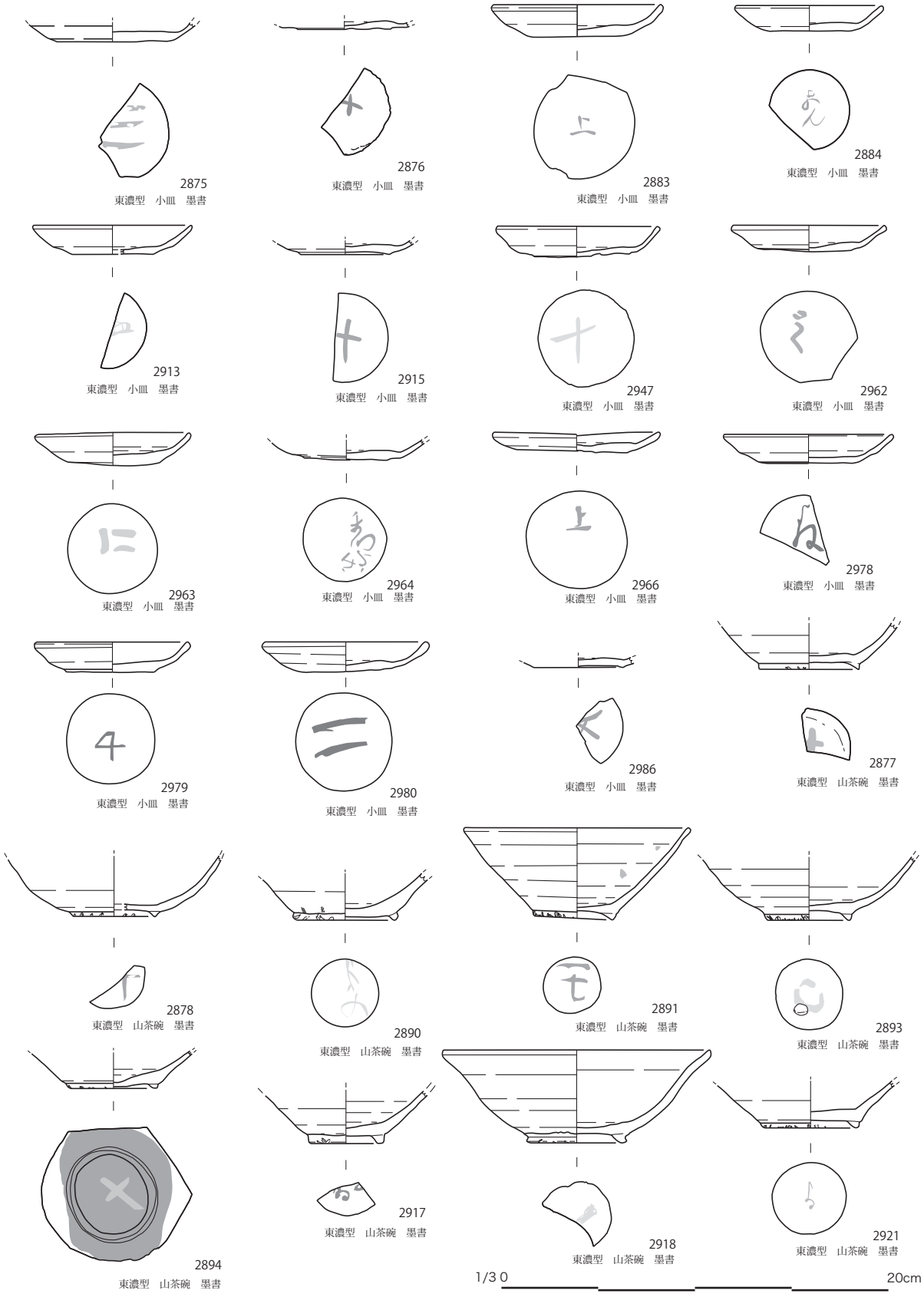


図 2-269　10E 区出土墨書土器実測図 -6（1:3）

10Ec-整地層（機械掘削 検出）-2

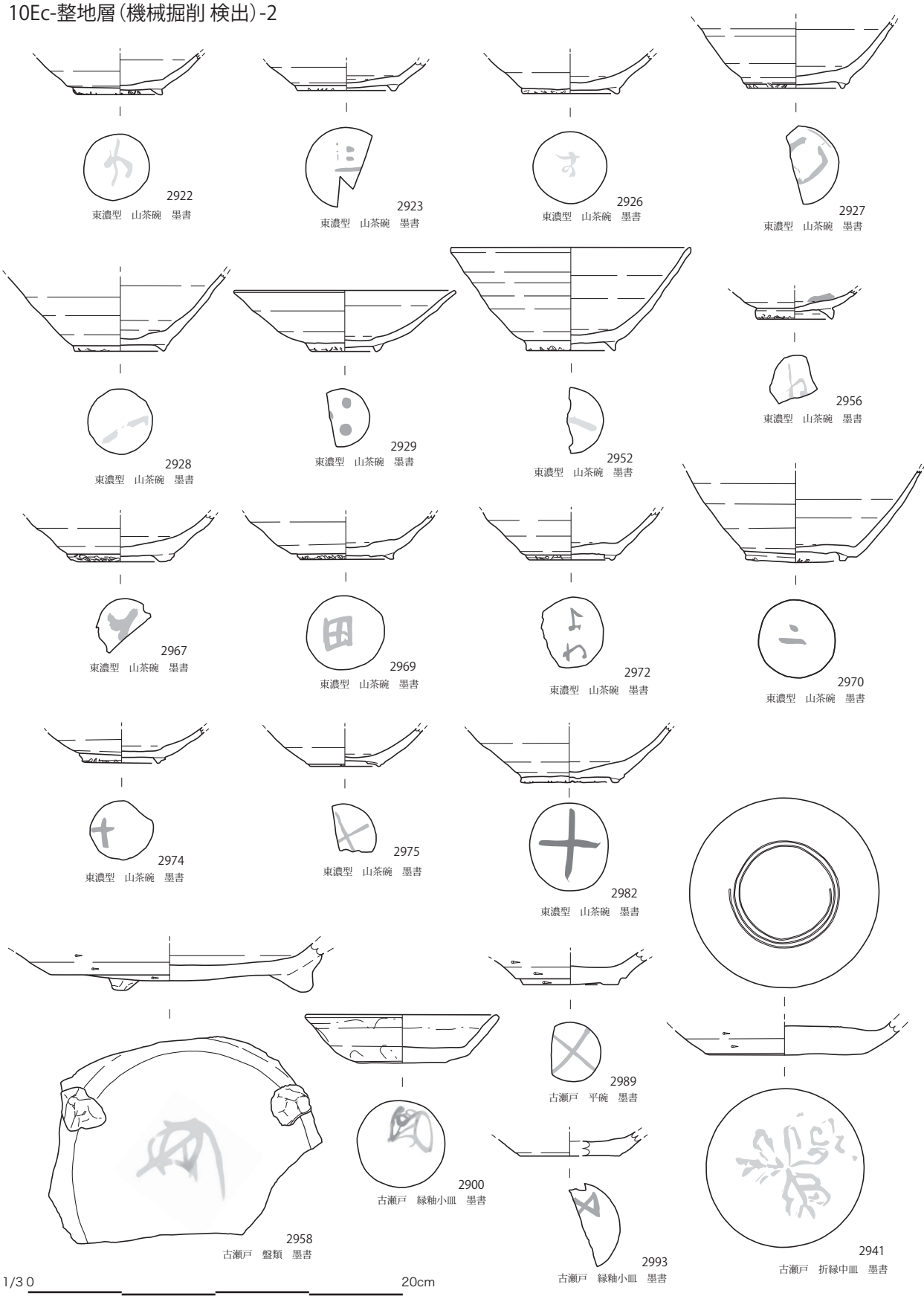


図 2-270　10E 区出土墨書土器実測図 -7（1:3）

10E-検2

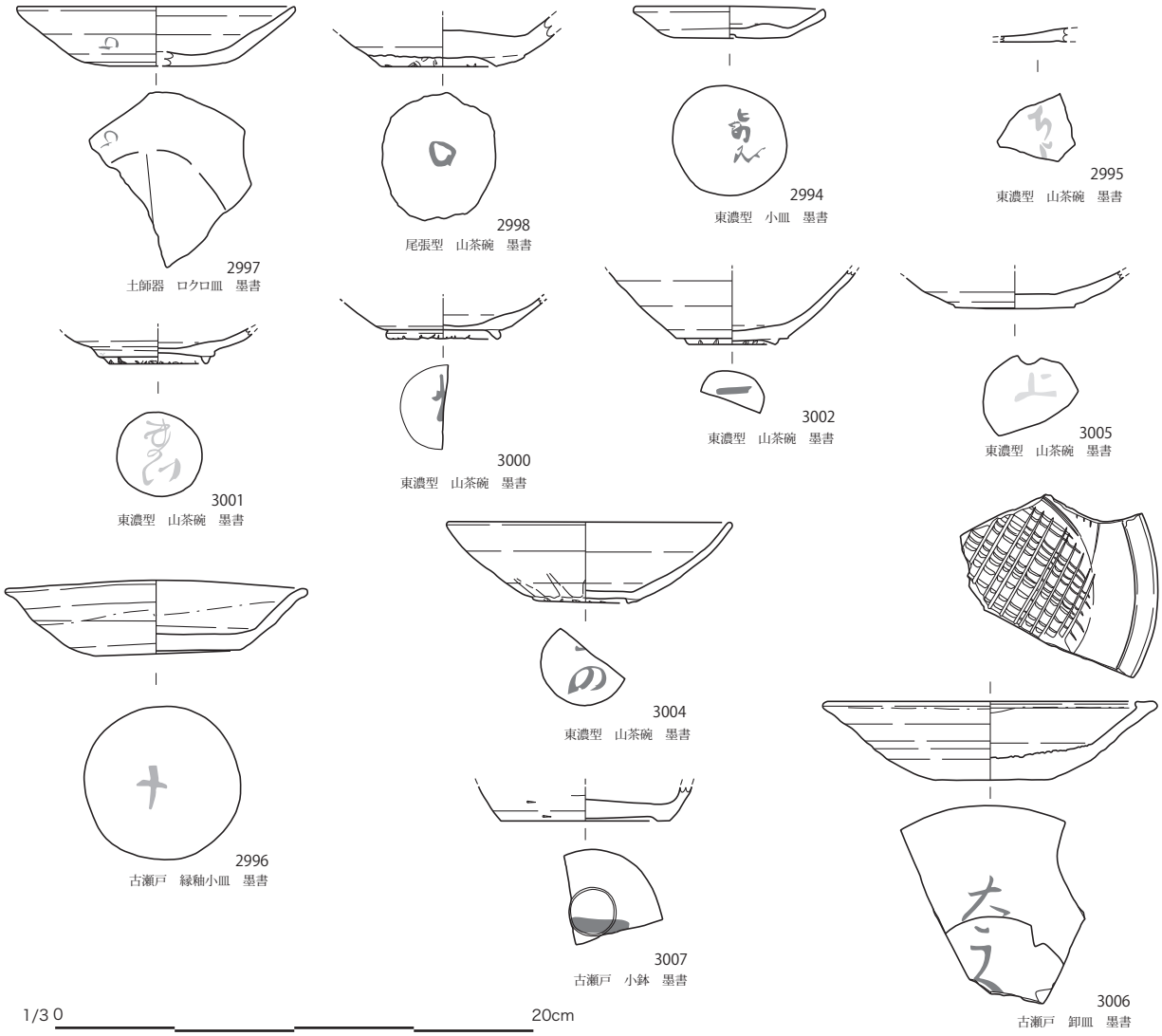


図 2-271　10E 区出土墨書土器実測図 -8（1:3）

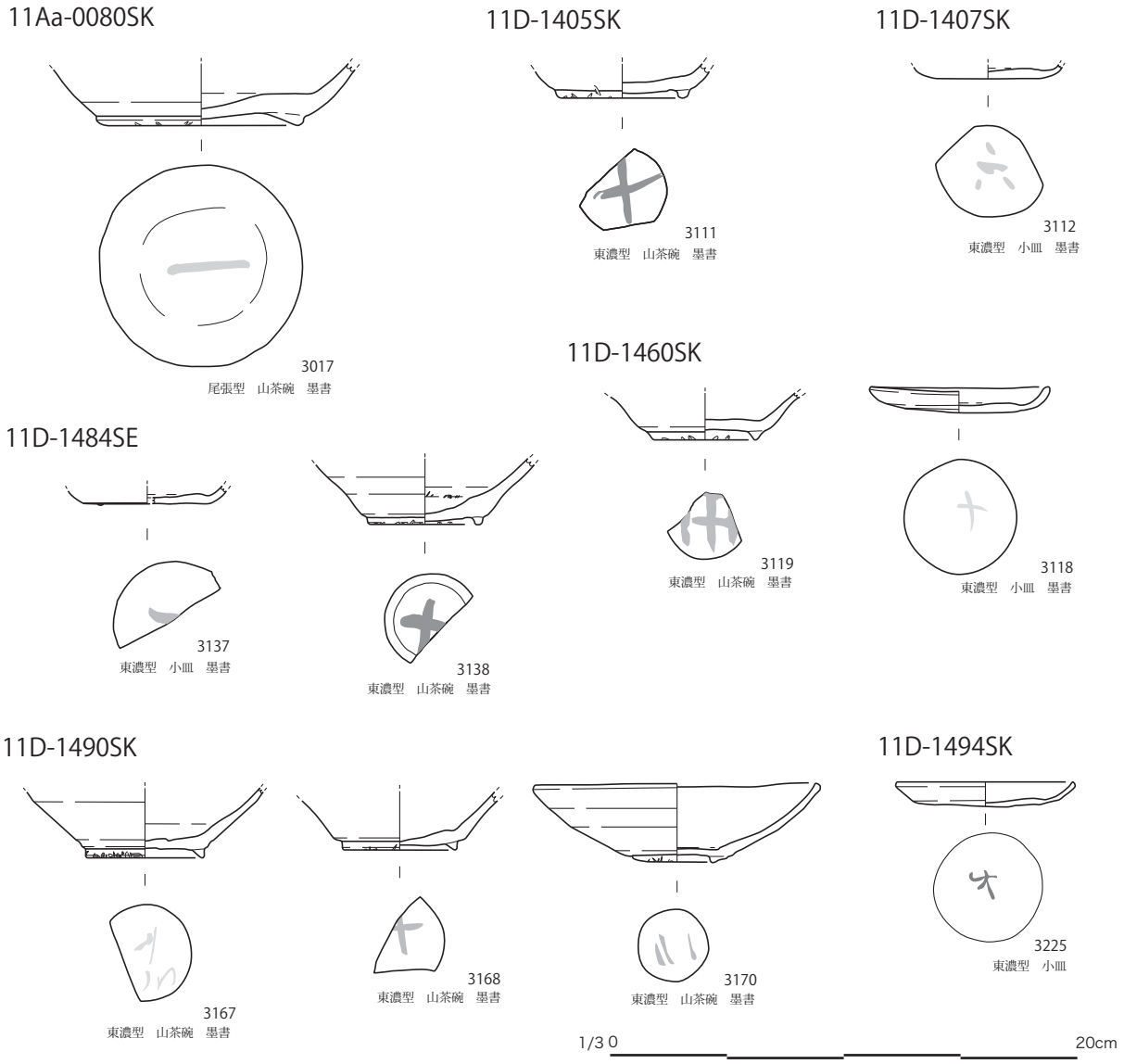


図 2-272　11A・11D 区出土墨書土器実測図（1:3）

8．瓦

下津宿遺跡では、平成22・23年度の発掘調査で総計34点の中世瓦が出土している（図2-273・274）。内訳は、（1）中世瓦としては通常サイズの瓦と（2）小型瓦がある。前者では軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦が出土しており、後者では小型軒丸瓦・小型軒平瓦・小型丸瓦が出土している。なお（1）・（2）ともに鬼瓦・面戸瓦・鳥衾などの道具瓦類は出土しなかった。これに加えて建築用途の陶製品である（3）塼も3点出土している。本節では（1）～（3）に分けて遺物を解説する。

（1）軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦

軒丸瓦（2815・2873）は2点ある。2815は左巻きの三巴文で、周囲に珠文が廻るが数は不明である。丸瓦部の接合方法も丸瓦欠損につき不明である。2873は珠文と外縁の一部のみであるが、三巴文の可能性が高い。ともに燻しはなく色調は灰褐色である。

軒平瓦（2816・2740）は2点ある。2816は連珠文であるが、珠文は輪郭線のみで表現する。瓦当接合方法は、平瓦の凸面側を斜めに面取りするもので、平瓦部が接合面で剥離欠損していることからこれが判明する。2740は唐草文であるが小片のため全形は不明。瓦当の接合方法は3と同じである。ともに燻しはなく色調は灰褐色である。

丸瓦（2483）は1点のみである。

平瓦は中世瓦中最多破片数があり23点ある。本遺跡出土の平瓦で特徴的な点として、成形時に入れた分割用切り込みによって焼成後破断されたものが確認できるだけで7点あり、切り込みを入れながらそこで分割しなかったもの(2824)が1点ある。分割することで幅約9.0cmの熨斗瓦として利用したものと考えられるが、全長のわかる資料はない。この他、切り込みもしくは分割痕の見えない破片も多数あるが（2911ほか）、後述するように、本遺跡では大半が熨斗瓦として使われた可能性が高い。

平瓦の製作技法は一枚作りである。凹凸両面をナデ調整しているため成形痕が多くないものの、凹面に糸切痕を認める傾向にある。一方、離れ砂は凸面で多く付着している。このことから成形最終段階で凹型成形台を使用したものと考えられ、分割用切り込みが凹面になされる点もこれに符合する。なお、焼成は灰褐色～黄褐色の色調で硬質である。意図的な燻しはなかったとみられ、2836・2977・2912で軽くあるいは一部に燻しがかかっている程度である。

（2）小型瓦

小型軒丸瓦（2412・2823）は2点ある。2412は瓦当のみである。直径6.6cmと通常サイズの6割程度の大きさである。珠文のない左巻き三巴文で、2823は瓦当以外ほぼ完存で全長12.2cm、丸瓦部の幅6.0cmである。文様の全体像は不明だが、2412と同文であると考えられる。施文は笵型でおこない、それに丸瓦を接合する。笵型には離れ砂を用いたとみられ、瓦当にだけ砂の付着を認める。丸瓦部の端部は若干萎ませて無段式とし、焼成前穿孔の釘穴がある。凸面は縦方向のナデ、凹面も同様に若干のナデをしており、凹面の布目痕はみえない。したがって厳密には型作りの痕跡は不明であるが、蒲鉾状の凸型成形台を使用したのであろう。また凹面側縁を面取りしており、小型ではあるが通常サイズのものとほぼ同じ成形工程である。焼成は硬質で、燻しは凸面全面にかかり黒褐色であるが、凹面はほとんどなく灰白色を呈する。

小型軒平瓦（2757）は1点ある。ほぼ完形である。瓦当幅9.5cm、全長8.5mである。瓦当文様は連珠文であるが、途中に間をとって2・3・2と配置される。小型軒丸瓦同様に瓦当にだけ離れ砂が付着する。平瓦部は粘土板素材であり凹面に糸切痕を認め縦方向指ナデ。凸面は全面横方向指ナデ。釘孔は焼成前の穿孔である。全体に燻し

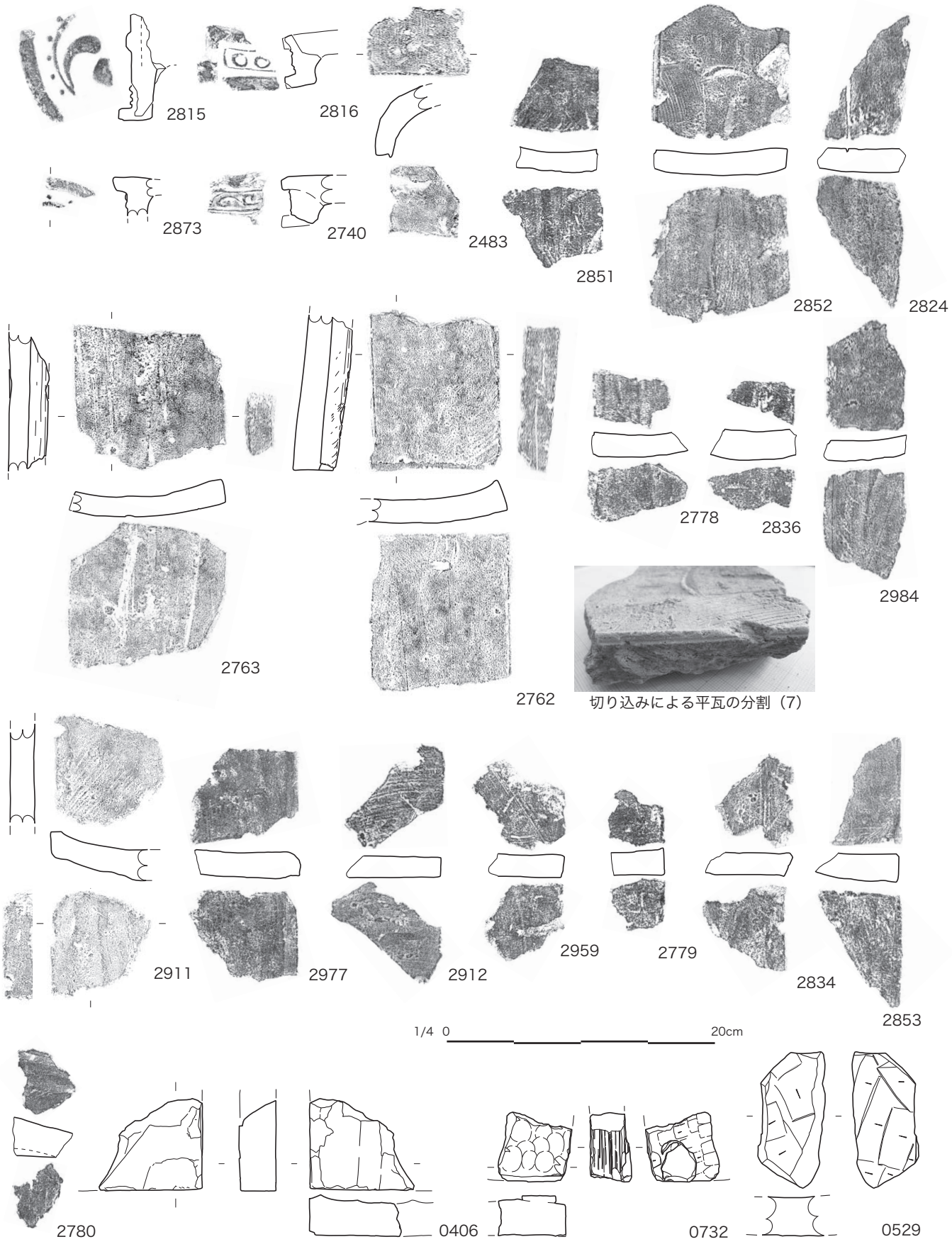


図 2-273　下津宿遺跡出土瓦実測図 -1（1:4）

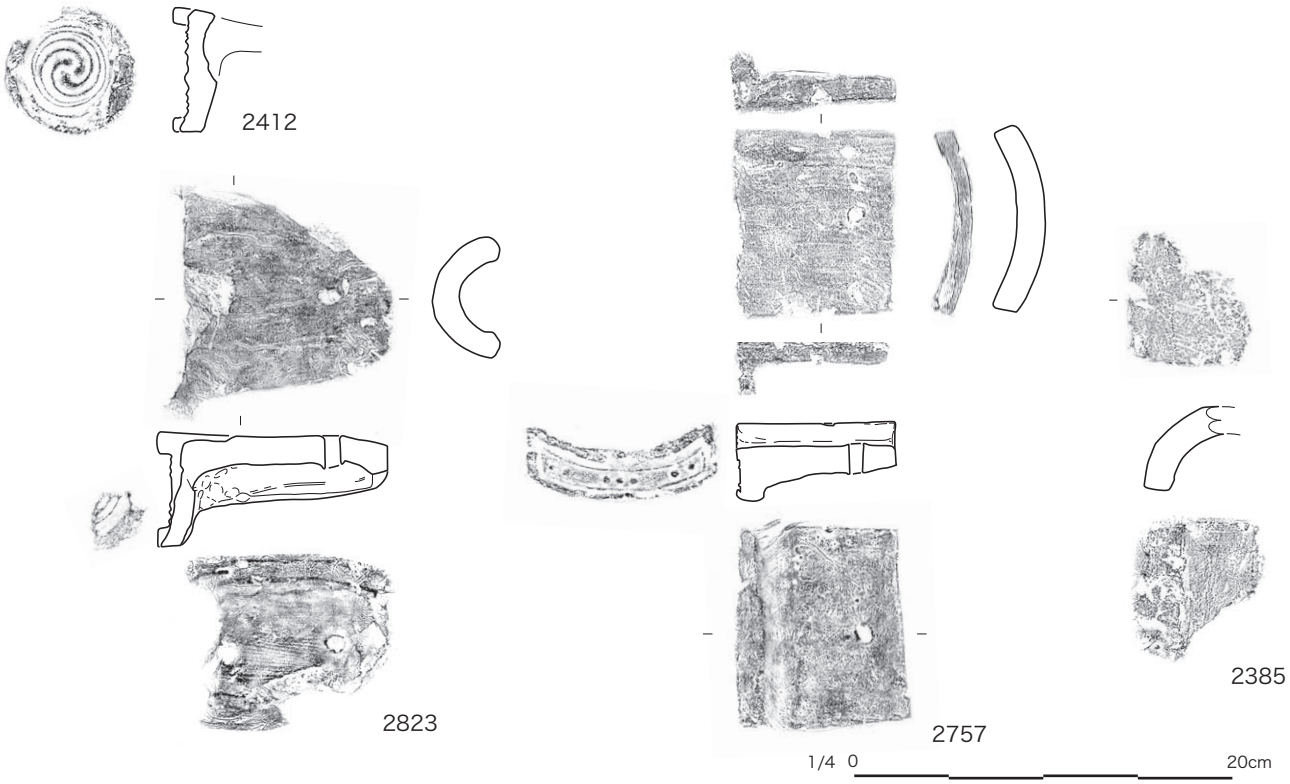


図 2-274　下津宿遺跡出土瓦実測図 -2（1:4）

がかかって色調は黒褐色である。

小型丸瓦（2385）はやや萎んだ無段式の端部である。そのため小型軒丸瓦の狭端部である可能性が高い。色調は黄褐色である。

以上のように小型瓦は全て軒瓦である可能性が高い。しかも端部を絞った形状から、これらは棟飾瓦であったと考えられる。

（3）塼

塼（0406・0732・0529）は 3 点出土している。板状の陶製品で、平瓦の約 2 倍近くの厚さ (2.6 ～ 2.8cm) がある。不定方向の指もしくはヘラ使用のナデ調整をする 0732 は隅部に突起を貼り付けたものだが意図は不明。焼成は、瓦が透水性を確保するために硬質ながらやや土師質な点があるのに対し、塼は山茶碗の焼成に近く一部は自然釉がかかっている点が大きな違いとなっている。

小 結

以上、瓦と塼について解説した。次に瓦の使用状況とその時期について、出土分布と種類構成の 2 点から考察しておきたい。

出土分布は、（1）・（2）ともに 10E 区内に限られる。詳細には 10Ed 区で 25 点と最多、次いで 10Ec 区の 7 点である。この状況から、瓦が廃棄後ほとんど拡散していないことが確認でき、概ね出土調査区に瓦葺き施設を想定することができる。当該調査区は鎌倉街道と推測される道路状遺構とその東側で、さらに東側は青木川旧河道によって限られる。したがって瓦葺き施設があったとしても比較的狭小な範囲である。一方、塼は 10Cb 区に限定される。これは地籍図から推測される寺院「不断光寺」の北縁に位置し、これとの関連が想定されよう。

さて瓦は、屋外使用という性格上、表土や検出面からの出土が多くなりがちであるが、10Ed 区

では、1070SK・1131SD・1280SD・1475SK などの溝や土坑から小片がしかも少数ずつの出土となっている。また広範囲に拡散していないことからも、瓦葺き施設廃絶後に大半が片付け・持ち去られたとみられる。したがって数量的な点からも廃棄後相当の時期を経たものが各遺構に紛れ込んだと考えるべきであろう。各遺構では、東濃産山茶碗や古瀬戸の鉢・皿類、土師器ロクロ皿などと共伴関係にあるものの、上記した理由から瓦廃棄時期もしくはそれ以降を示しているものと考え、瓦葺き施設の時期はそこから遡らせてみる必要がある。陶磁器類から導かれる各遺構の時期は 15 世紀代が中心になるが、瓦の製作・使用年代は 14 世紀代の可能性が高い。

次に瓦の種類構成から瓦葺き施設の想定を試みる。出土点数では熨斗瓦が大半を占めているが、先述した瓦の出土状況からみて、出土量比率が使用時の比率を示しているとはいいがたい。しかしながら同瓦が熨斗棟での使用を主とすることに加えて、棟飾瓦とみた小型瓦の存在がある。したがってこれらで構成される大棟のある建築の可能性が充分考えられるが、屋根全体が瓦葺きあるいは檜皮葺きなのかは不明とせざるを得ない。

9．金属製品

金属製品は鉄製品 752 点、銅製品 170 点、鋳造関連資料 21 点、鍛冶関連資料　1478 点がある。この中で、形態がわかる主要な鉄製品（釘は一部）と銅製品、鋳造関連資料と鍛冶関連資料を報告する（図 2-275 ～ 280）。

（1）　鉄製品（6001 ～ 6096・6099 ～ 6110）

鉄製品では、刀・刀子・ヤリガンナなどの刃物 19 点、小札 2 点、鉄鏃 6 点、容器 2 点、火打金 2 点、留金具・釣金具 5 点、杖状製品・筒状製品 2 点、リング状製品 3 点、把手状製品 1 点、鍋 6 点、釘 652 点、不明 52 点があり、特徴的な形態が残るものを取り上げた。

6001・6002 は小札と思われる板状製品で、6001 が幅 2.0cm で 4 つの小孔があり、6002 が幅 3.3cm で小孔が 5 つ確認でき 3 つ並びの二列の小孔になると思われるもので、板の端部付近の一つの隅にも 1 つの小孔がみられる。6003 ～ 6007 は鉄鏃と思われるもので、いずれも刃部と基部を欠損しているが、6004 と 6006 は柳葉形に近い征矢のタイプになるものであろう。6008 ～ 6020 は刀・刀子・ヤリガンナ等の刃物類で、6001 が刃部の一部ではあるが形態からヤリガンナと思われるもの、6008 ～ 6010・6012 ～ 6016 は刀子で、刃部の幅が 1.6cm ～ 2.6cm 程の細く、短い形態のもので、6016 は全体が残っており、切先から柄端までの長さが 20.6cm で、柄部の長さは 6.6cm である。6008 は刀子の柄部に銅板巻きが施されている。6017 ～ 6020 は刃部の幅が 3.0cm 前後の刀で、6017 は長さ 20cm 前後となる小刀で柄部に目釘孔が 1 つみられる。6018 も小刀と思われるもの、6019 と 6020 は長刀になるものと思われ、どちらも刃部の上に木質部が残存していた、6019 の柄部には目釘孔が 1 つ残る。6021 ～ 6023 はリング状製品で、6021・6022 は太さ 1.0cm の棒状品を折り曲げたようなもの、6023 は 6006 と伴出しており、6006 の鉄鏃の一部である可能性もある。6024 は環状部が貫通しない凹みのある鍵手状金具、6025 がラッパ状受け口管のものが 4 つ密着して出土しているもの、6026 が径 2.3cm の筒状製品、6027 が杖状製品の杖先部分と思われるものである。6028 ～ 6035 は棒状の形状不明製品で、断面が楕円形から長方形の扁平である 6028・6029・6031・6033・6035 と比較的厚みのある断面方形から長方形の 6030･6032･6034 があり、6028 は先端が尖る。6036 ～ 6042 は棒状ではあるがやや板状の形態をもつもので、6037・6041 は撥形に幅が変わる形のもの、6038 は端部が丸くおわるもの、6040 は何かの容器の足部や刃物類の一部になる可能性があるものである。6042 は断面長方形の棒を「コ」の字状に折り曲げた把

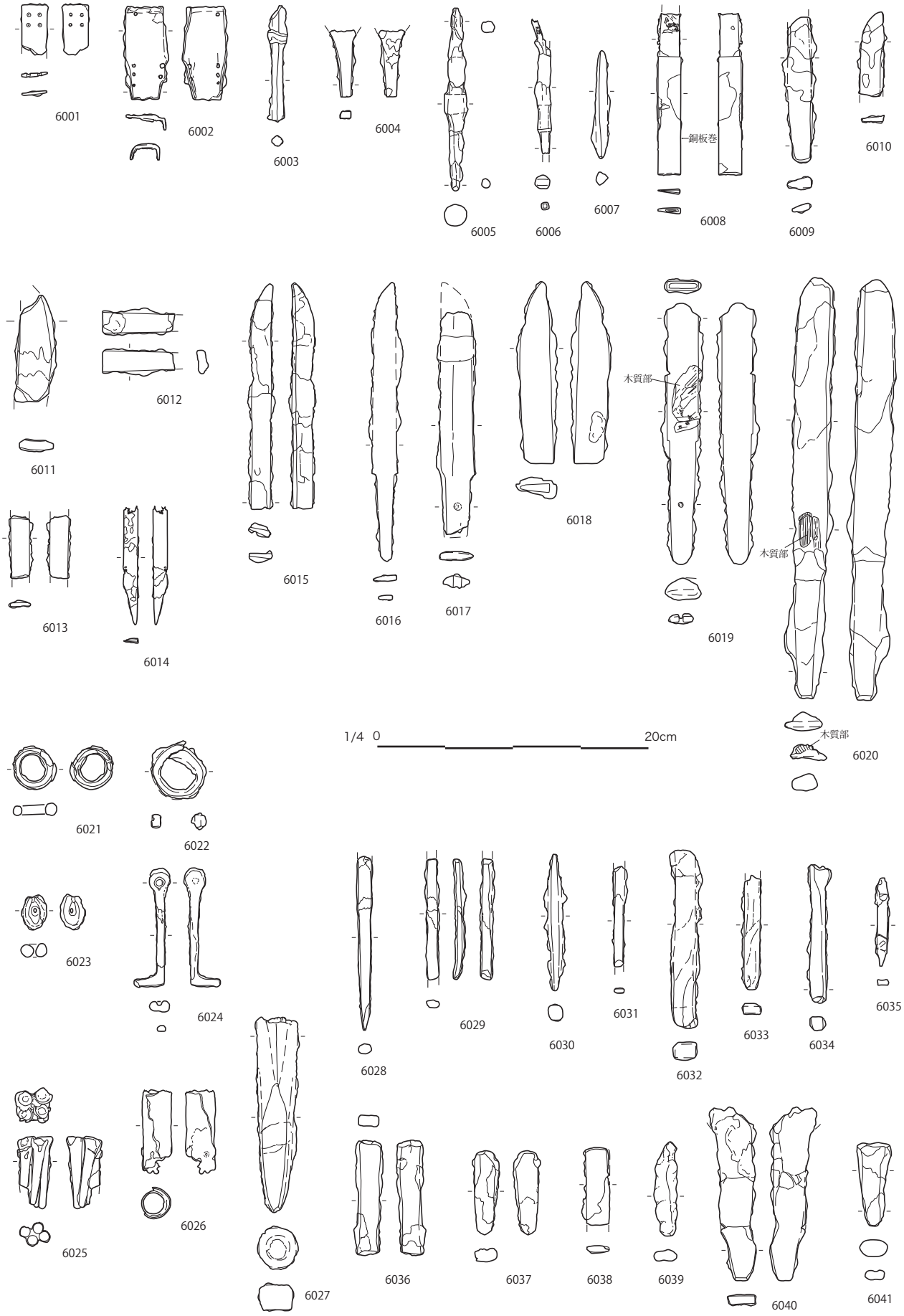


図 2-275　下津宿遺跡出土鉄製品実測図 -1（1:4）

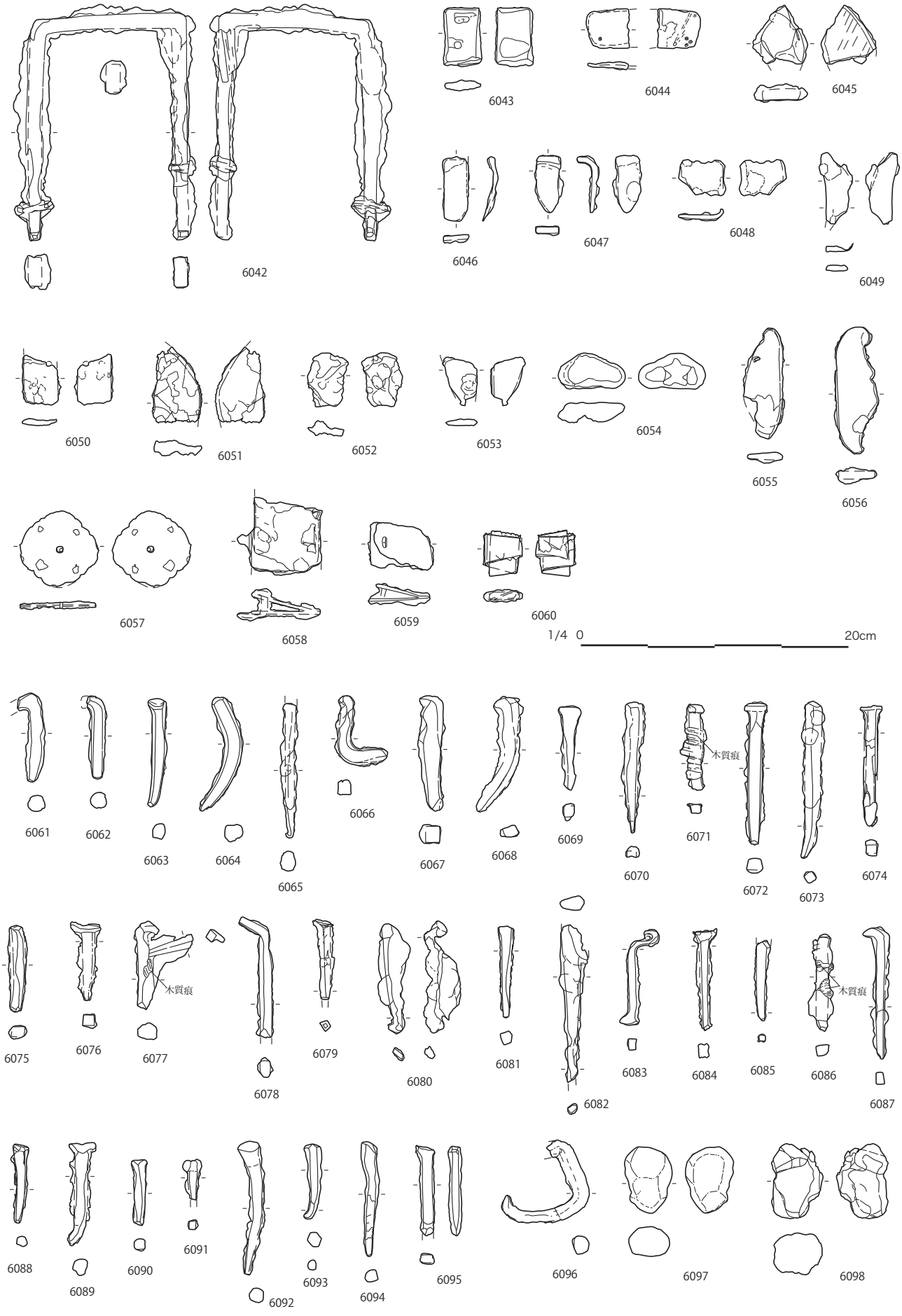


図 2-276　下津宿遺跡出土鉄製品実測図 -2（1:4）

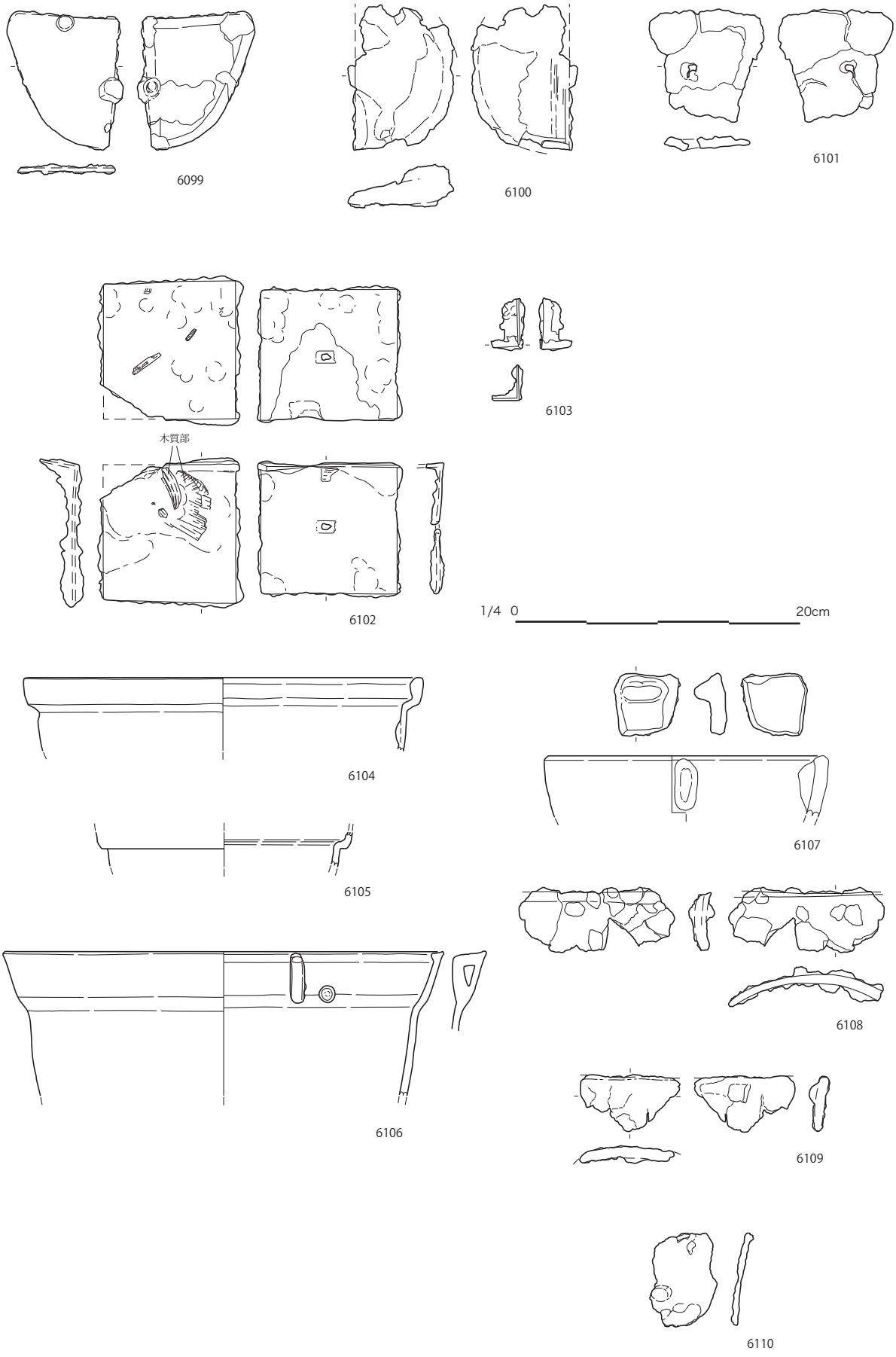


図 2-277　下津宿遺跡出土鉄製品実測図 -3（1:4）

手状製品で、幅 13.6cm、長さ 17.6cm で先端付近に長方形の板を通している。6043 ～ 6060 は板状製品で、6055・6056 の火打金と思われるものを除くと用途は不明である。その中で 6047 ～ 6049 は板の一端を小さく折り曲げたもの、6057 が隅丸方形の板状製品で 5 つの小孔があるもの、6058・6059 が板を鋭角に折り曲げて鋏のようなもので綴じたもの、6060 が幅 2.0cm ～ 3.5cm 程の板を折り返して巻いたものである。6061 ～ 6096 は釘で、曲がって出土するものが多いため、法量による分類は難しいが、6069・6093 のような長さ 6.0cm 前後の短いものから 6073 のように 10cm を超えるような長いものまであり、6076・6089 のように頭部が明確に作り出されているものと 6063・6083 のように端を折り曲げただけで頭部を作るもの、6070・6090 のようにやや先端より太くなるがあまり頭部を作らないものがみられる。6099 ～ 6101 は板状の製品で、6099・6010 が円形状の板で、6010 は容器の蓋か底板の可能性のあるものである。6102・6103 は同一個体の可能性のある方形容器で、6102 は一辺 10.4cm 前後の方形容器で一枚の板の中央に長方形の孔があけられている。6104 ～ 6110 は鋳物の鍋と思われるもので、6104 は口縁部径 28.0cm の受口口縁のもの、6105 が口縁部径 18.0cm 程の受口口縁のもの、6106 が内耳のある有段口縁の鍋で口縁部径 31.0cm をはかる。6107 ～ 6109 は内耳の痕跡がみられる鍋で、6107 は口縁部径 19cm 程である。6110 は鍋の体部片と思われる。

（2） **銅製品**（6111 ～ 6178）

銅製品では、銭貨 149 点、金具 11 点、筒状製品 1 点、不明 9 点がある。主要なものを取り上げる。

銅貨は 149 点出土し、多数が一括で出土したものと拓本がとれるものを抽出した（6111 ～ 6162）。銭種としては開元通寶（6132・6145・6150）、洪武通寶（6162）、永楽通寶（6115・6118・6128・6139・6140・6142・6147・6148・6159）、元豊通寶（6111・6119・6123・6137）、皇宋通寶（6114・6117・6121・6131・6134・6138）、景祐元寶（6146）、元祐通寶（6113・6120・6122・6126・6127・6135・6160・6161）、咸平元寶（6116・6143）、明道元寶（6124）、天禧通寶（6125）、天佑元寶（6129）、聖宋元寶（6130・6157）、政和通寶（6133・6144・6149）、天聖元寶（6136・6141）、熙寧元寶（6151・6155）、嘉祐通寶（6152）、淳化元寶（6153）、至道元寶（6154・6156）、景徳元寶（6158）、天符通寶（6153 と伴出）などがある。出土状況から一括に出土したものは 10Ba 区 327SK から 8 点（他に付近の包含層出土のもの 2 点を含めると 10 点、6111 ～ 6113）、10Ec 区 110SK から 28 点（6128 ～ 6150）が出土しており、葬送に関連する資料である可能性が高いものである。6163 ～ 6178 は金具類で、6163 は飾り金具の一部と思われるもの、6164 は飾り金具の装飾の一部と思われるもの、6165 は葉形の箱状のものの隅を留める金具で固定するための小孔がある。6166 は細いベルトの留金具と思われるもの、6163 は薄い板状の製品の角を飾る金具、6168 は宝珠形のつまみに小孔があいているもの、6169 は径 1.3cm、長さ 5.0cm の筒状製品、6170 は細く先が尖る形のもの、6171 は薄いベルト等の先を覆うような金具、6172 は突起が 7 つある葉形の飾り金具で裏面に突起がある。6173 は両端に小孔がある板状の飾り金具、6174 は 6163 のような製品の角部分を飾る金具、6175 ～ 6178 は板状の形状が不明なものである。

（3） **銅関連資料**（6179 ～ 6189）

鋳型・粘土塊 11 点、トリベ 4 点、銅滴 5 点、流動銅滓 1 点がある。

6179 ～ 6183 は礫状の銅滴で、不整形で長径 0.6cm ～ 2.0cm 程のものである。6184 は鋳型の外型の可能性があるもので、表面が黒色化していて、口縁部径が 24.0cm をはかる椀状のも

のである。6185 ～ 6189 はトリベと思われるもので、流動銅滓が口縁部付近に付着し、6186・6188 には緑錆がみられる。トリベの口縁部径は 6185 が 11.5cm、6186 が 18.0cm、6187 が 12.0cm、6188 が 11.5cm で、大型の 6186 と小型の 6185・6187・6188 に分かれる。

（4） 鍛冶関連資料（6097・6098・6190 ～ 6245）

椀型滓 699 点、流動鉄滓 115 点、鉄塊系遺物 47 点、含鉄遺物 578 点、鉄片 6 点、鞴の羽口 33 点がある。

6097 は礫状の含鉄遺物で、他に棒状のものと扁平なものがあり、製品には分類できないが、着磁があるものを取り上げており、元来は製品の一部や鍛冶等の素材であったものと考えられる。6098 は礫状の鉄塊系遺物で、着磁とメタル反応があるもので、表面がひび割れているのが特徴である。

6190 ～ 6194 は鞴の羽口で、先端に流動鉄滓が付着している。6190・6191 には緑錆がみられ、6192・6194 には白色石材が付着している。6195・6196 は礫状の粘土塊で、内部にスサ状の植物質痕がみられる。6197・6198 は炉壁片と思われる粘土塊で、6198 には流動鉄滓が付着している。

6199 ～ 6245 は鉄滓で、厚みを中心とした大きさと皿状に鉄滓が溜まった重複数から 4 つに分けた。従来、鉄滓が椀状に溜まった椀型滓と鉄滓が皿・椀状に溜まっておらず色調が黒色で質感が比較的重く気泡の少ない流動滓 A と鉄滓が皿・椀状に溜まっておらず色調が灰色で気泡が多く質感が軽い流動滓 B で分けているが、今回は同一の条件で考えた。

鉄滓 A 類（6199 ～ 6207）：白色石材をかむものが多く（6199・6200・6203・6204・6207）、長径が 2.6cm ～ 3.6cm の 3.0cm 前後、厚みが 1.0cm ～ 1.5cm 前後の小型鉄滓で、皿状に溜まる鉄滓の重複数は 1 ～ 2 回程のもの。小型の椀型滓（6200 ～ 6202・6205）と椀型に鉄滓が溜まっていない流動滓 A（6204・6206）・流動滓 B（6199・6203・6207）を含むもの。6202 には植物質痕が残る。

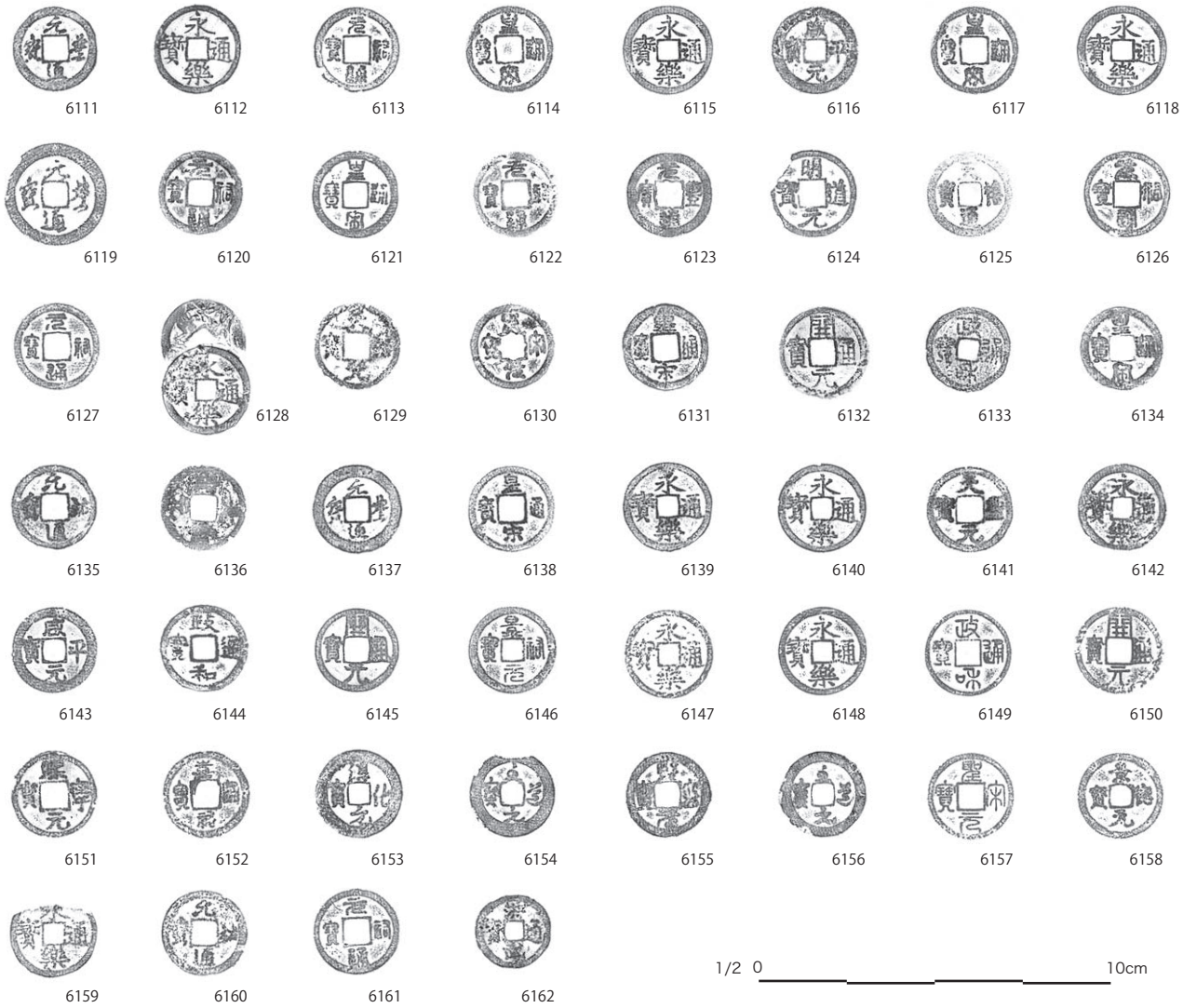
鉄滓 B 類（6208 ～ 6221）：白色石材をかむものは少なく（6219）、長径が 5.0cm ～ 6.0cm 前後、厚みが 1.7cm ～ 2.3cm 前後の比較的小型の鉄滓で、皿状に溜まる鉄滓の重複数は 3 ～ 4 回程のもの。鉄滓 B 類は椀型滓のみで、6210・6213・6219 には植物質痕が残り、6215 の下面には炉材が付着している。6213 は上面に微小な鍛造剥片が確認でき、6219 には鉄釘と思われる鉄製品をかみ込んでいる希少な類例である。

鉄滓 C 類（6222 ～ 6234）：白色石材をかむものは少なく（6222・6227・6231）、長径が 7.0cm 前後、厚みが 2.5cm ～ 3.0cm 前後の中型鉄滓で、皿状に溜まる鉄滓の重複数は 5 ～ 7 回程のもの。鉄滓 C 類も椀型滓のみで、6227・6230 には植物質痕が下面に残り、6226 の上面には炭化材がみられる。6231 の下面には炉材が付着している。またこのタイプの 6229・6231 では椀型滓の長辺の片側中程に送風による痕跡と思われる凹む部分が観察できる。

鉄滓 D 類（6235 ～ 6244）：白色石材をかむものは少なく、長径が 8.0cm ～ 10.0cm 前後、厚みが 3.5cm ～ 5.0cm 前後の大型鉄滓で、皿状に溜まる鉄滓の重複数は 10 回程の大型の椀型滓である。6242 の下面と 6244 の上・下面には植物質痕がみられ、6243 の上面には炭化材、同じ下面には炉材がみられる。またこのタイプの 6242 においても椀型滓の長辺の片側やや中程から偏ったところに送風による痕跡と思われる凹む部分が観察できる。

これらの分類によって分けられた鉄滓の大まかな量比を二分の一以上残る椀型滓の厚みでみると、鉄滓 A 類～鉄滓 C 類がほぼ 30％前後、鉄滓 D 類が 10％前後みられるようである。

あと他に 6245 は鞴の羽口付近に形成される炉壁滓になるものと思われる。



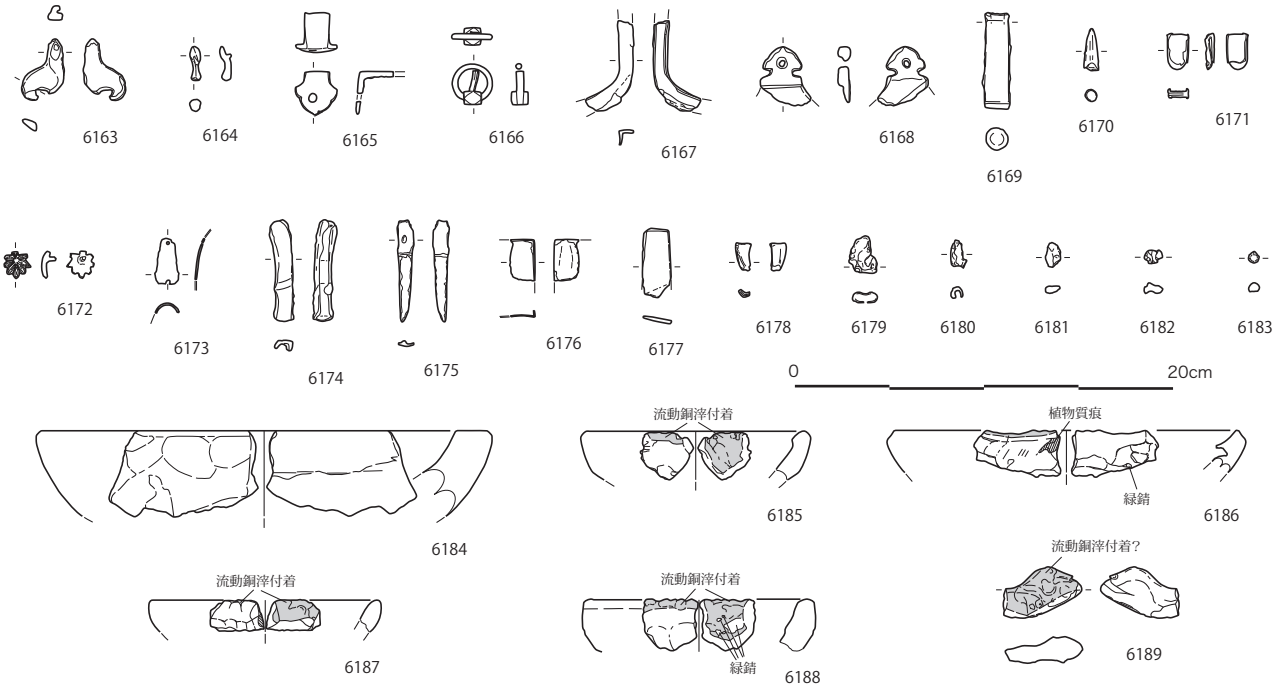


図 2-278　下津宿遺跡出土銅製品実測図（1:2）

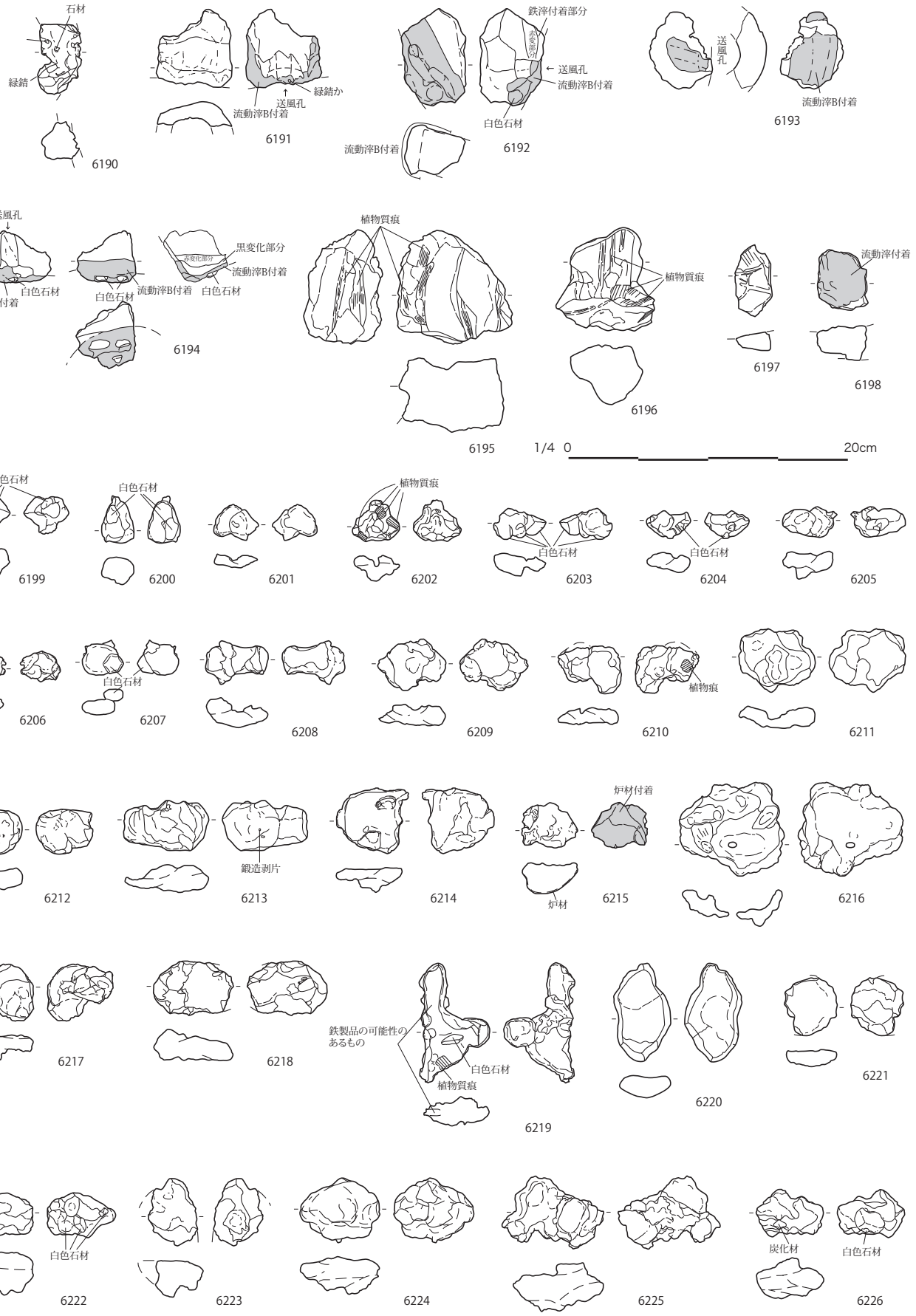


図 2-279　下津宿遺跡出土鉄滓実測図 -1（1:4）

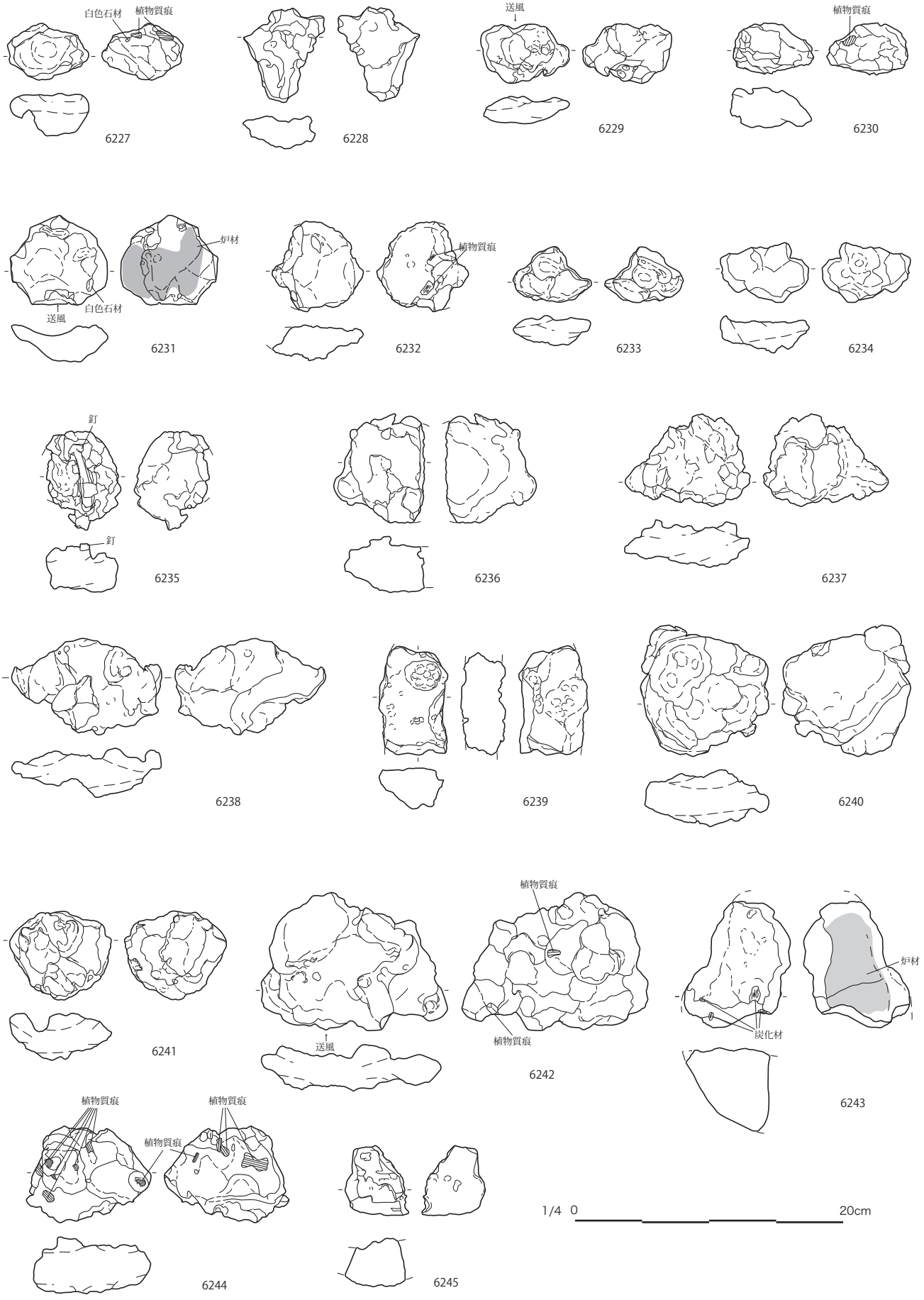


図 2-280　下津宿遺跡出土鉄滓実測図 -2（1:4）

第４章　自然科学分析

１．稲沢市、下津宿遺跡の地下層序と地形解析

鬼頭　剛

１．はじめに

下津宿遺跡の地形・地質環境を調べるため地形解析から現在の地形情報を、また各調査区にて実施した深掘および試錐調査によって地下層序を観察する機会を得た。その結果を報告する。

２．試料および分析方法

下津宿遺跡の周辺地形に関して、筆者は下津宿遺跡の調査地点から約 1.5 ～ 2km 西の長野北浦・塔の越遺跡（稲沢市長野・塔の越・治郎丸に所在）において地形解析を行なっている（鬼頭，2012）。本論ではその結果を基にして記載・考察を行なう。なお、等高線図の作成には愛知県稲沢市発行の「稲沢市都市計画基本図 (1/2500)」にプロットされた標高値を用いた。都市計画基本図には平成７年（1995 年）７月に撮影された空中写真により修正されたとの記載がある。

試錐調査は 2011 年（平成 23 年）に下津宿遺跡 10Eb 区で株式会社アーキジオに依頼し、油圧式ロータリー型試錐機を用いて孔径 φ86mm のオールコアで実施した。

放射性炭素年代測定は加速器質量分析（AMS）法により、測定を株式会社パレオ・ラボ（Code No.; PLD）に依頼した。

３．分析結果

遺跡周辺の等高線図

東西約 4.0km、南北約 2.3km の範囲全体では等高線間隔 0.2m で標高 3.2m から標高 6.8m までの等高線が描かれ、解析範囲全体では北東方向で標高が相対的に高く、南側で低い傾向がある（図 3-1）。解析範囲の現在の状況は、中央部を大江川が稲沢市国府宮町付近で東へ凸の軽微な蛇行をしながら南流し、北東方向に青木川が南へ流下する。図の西には名古屋鉄道名古屋本線が、東には東海道本線が通り、南側が名古屋市方面となる。

標高がもっとも高いところとして北東の稲沢市下津牛洗町に標高 7.0m が見られ、稲沢市下津長田町、下津片町、一宮市丹陽町から稲沢市下津本郷町、下津新町の一帯にかけて標高 6.0m を超えるところが認められる。いっぽう、標高のもっとも低いところとして南端の稲沢市高御堂町から長束町にかけて標高 3.5m 以下の低い地域が広がる。

ここでは調査地点周辺について、さらに詳しく地形要素をみてみる．図の東端、青木川の右岸にある稲沢市下津本郷町、下津新町にかけての標高 5.6 ～ 6.2m には、東西距離約 600m で西側に凸の舌状地形がみられ、この地形の上にちょうど下津宿遺跡の調査地点がある（図 3-1）。この舌状地形のさらに約 300m 西の下津北山町に至るまでには、周りよりも標高の高い緩斜面が広がっており、調査地点も含めれば東西方向に約 900m の尾根地形が認められる。

この尾根地形を挟んで北と南には谷地形がみられる。北には、北端の稲沢市赤池広畑町・下津光明寺町から下津蛇池町を通り、下津片町にいたる標高 5.4 ～ 6.6m で南北距離約 800m の谷地形と、一宮市丹陽町から稲沢市下津住吉町にいたる標高 4.8 ～ 6.4m で南北距離約 600m の谷地形が認められる。ところで、ちょうど東海道本線の西側一

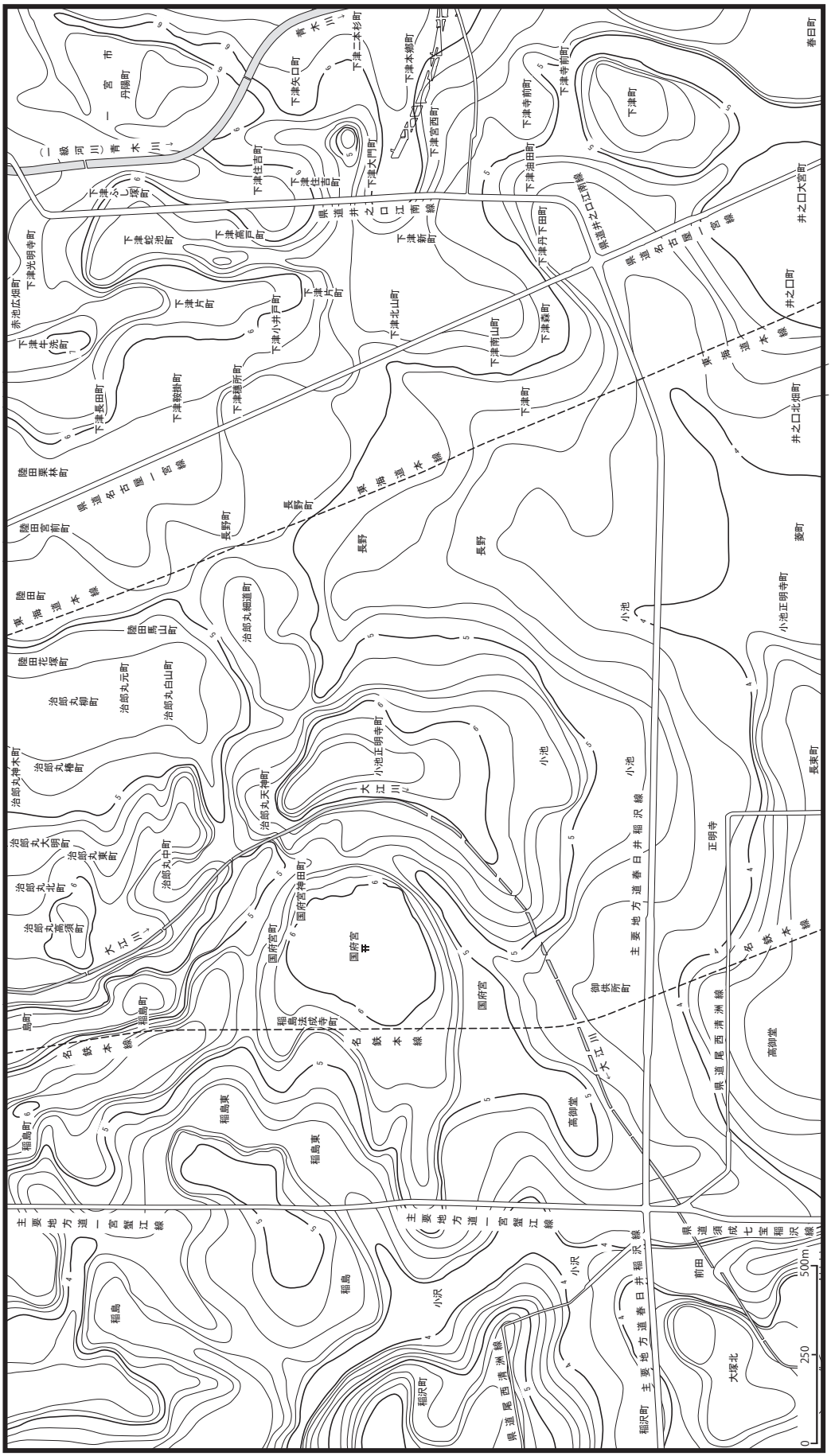


図 3-1　下津宿遺跡周辺の等高線図

図の東に調査区も配置（一部東端は入っていない）。
鬼頭（2012）を基に作成。

図 3-2　等高線図を基にした鳥瞰図
水平距離に比べて垂直方向を 100 倍に強調していることに注意。
図の東に調査区も配置（一部東端は入っていない）。
鬼頭 (2012) を基に作成。

帯には、北の稲沢市長野から南の小池正明寺町・長束町・菱町にいたる標高 3.2 ～ 5.2m で南北約 1.4km、東西約 900m の、解析範囲内で認められるもっとも大きな谷地形がみられる。先の 2 つの谷地形は下津片町・下津北山町で、この谷に合流する。いっぽう、調査地点の位置する舌状地形の南には、北の下津本郷町・下津宮西町を谷頭として南の長束町、小池正明寺町、菱町にいたる、標高 3.2 ～ 6m までの谷地形がみられる。この谷もまた、稲沢市長野から小池正明寺町・長束町・菱町にみられる大きな谷と合流する。これらの谷地形に挟まれて解析範囲の北には、周囲よりも標高が高く尾根状にほそ長い地形も認められ、北の稲沢市牛洗町から南の下津片町までに標高 4.4 ～ 7m で南北距離約 900m の尾根地形が、北の一宮市丹陽町から南の下津住吉町までには標高 4.4 ～ 6.6m で南北距離約 900m の尾根地形がみられた。

4．試錐層序と放射性炭素年代値

調査範囲のもっとも東端にある 10Eb 区にて、発掘終了後に地表（標高 6.60m）から深度 18.5m の試錐試料を得た。ここでは層相と採取した試料から得られた放射性炭素年代値のみを簡単に記す。地層は全体に砂勝ちで標高 -7.00 ～ 2.50m まで層厚 10cm から 1.5m までの極粗粒砂～中粒砂層が堆積する。砂層は基質にシルトや粘土といった細粒成分を含まず、淘汰良好である。いっぽう、細粒堆積物は標高 -10.00 ～ -7.50m までの試錐層序下部で卓越し、標高 -10.20 ～ -9.82m には黒褐色を呈する砂混じりシルト質粘土層が、標高 -8.64 ～ -7.69m にはオリーブ黒色の砂混じり粘土質シルト層が堆積した。層序上部では標高 2.50 ～ 2.76m に暗褐色の砂混じり粘土層がみられ、本層の標高 2.64m から採取した炭化材が 1064-968 cal yrs BP(PLD-20800）を、標高 4.72 ～ 5.10m の灰黄褐色の砂混じり粘土質シルト層から採取した炭化材（標高 4.74m）が 610-555 cal yrs BP(PLD-20799）の値を示した。

5．下津宿遺跡の立地環境

地形解析から下津宿遺跡の調査地点は、東の稲沢市下津本郷町から西の下津新町にかけてみられる西に凸の舌状地形（標高 5.6 ～ 6.2m）の上にあることがわかった。この舌状地形に関して、下津宿遺跡の東にある現在の青木川は北から南へ流下しており、下津宿遺跡のある舌状地形の方向とは直交する。現在の青木川の流下方向を考えれば、流路脇に形成される自然堤防は南北方向に並ぶはずであるが、下津宿遺跡の舌状地形は明らかに方向が異なった。ところで、調査地点の舌状地形を境として北と南に谷地形が認められ、それらは南北方向を向き、南に開いていた。これらはかつての流路を示している。下津宿遺跡の北では、北の稲沢市赤池広畑町付近から下津蛇池町を通り下津片町に至る流路と、北の一宮市丹陽町から稲沢市下津住吉町に至る 2 つの流路があったものと推定される。さらに、それらは稲沢市長野から小池正明寺町・長束町・菱町に至る、東海道本線の西側一帯に広がる大きな谷地形に合流していた。また、舌状地形を挟み南側にも下津本郷町・下津宮西町を谷頭として南の下津油田町・下津丹下田町を通り、菱町までに谷地形が認められた。この谷地形の存在から、かつてこの方向に水が流下していた時期があったものと推定される。洪水などであふれ出た砕屑物は舌状地形の上に堆積物を累積させるとともに、一時的に地表面を覆った水は、この谷の方向へ流下していったものと思われる。

さて、現在の青木川の流路は、等高線図からよみ取れる尾根状地形や谷地形と斜交し非調和的であり、解析範囲でみられる青木川は人工的に流路を規制されていると推定される。南北方向の現在の青木川や等高線図で確認できる谷地形に対して、それとはまったく異なる東西方向の舌状地形の存在は、かつては東西方向に自然堤防を形成するような時期があったものと思われる。その後、河川流路が変わるような堆積機構（システム）の変化が生じ、南北方向の河川からもたらされた堆積物によりヒトの生業に利用できる現在の

自然堤防が形成されたものと推定される。その形成年代について、調査地点東端（10Eb 区）で実施したボーリング資料から、標高 4.72 ～ 5.10m の灰黄褐色の砂混じり粘土質シルト層から採取した炭化材（標高 4.74m）は 610-555 cal yrs BP(PLD-20799）の値を示した。細粒堆積物が堆積しはじめるのは約 550 年～ 600 年前であることがわかり、そのころから現在へと続く自然堤防が形成され、ヒトが活動のできる低エネルギー環境へ移り変わったことがわかる。

6.　地形と調査区との対応関係

稲沢市下津本郷町から下津新町にかけては周りよりも相対的に標高の高い舌状地形がみられ、下津宿遺跡の調査区はその上にあった。ここでは等高線図からよみ取れる地形と各調査区との対応関係をさらに詳しく検討してみることとする。調査区全体は周囲よりも標高の高い場所にあるが、それぞれの調査区は軽微な地形の起伏の上にあることがよみ取れる。例えば、舌状地形を挟んで南には、下津本郷町・下津宮西町から稲沢市菱町までに至る谷地形がみられ、調査区の一部はその谷地形の谷頭にあたっている。それは調査区の西側から東へ向かって 11Bb 区・10Ba 区・10Bb 区・10Ca 区・10Cb 区・10Cc 区・10Da 区である。発掘調査では 10Ca 区・10Cb 区・10Cc 区・10Da 区において南北方向に長い溝遺構が検出されており、溝の内部を粗粒な砂層が埋めていた。洪水時にあふれ出した水は地形のより低い場所を目指す。地形解析から南北方向の谷地形の谷頭と思われる調査区において、谷の方向と同じ南北方向の溝が検出される結果とは調和的であり、洪水時の堆積物は谷地形に集中して流下したはずであり、それがちょうど砂層によって埋められた溝となって 10Ca 区・10Cb 区・10Cc 区・10Da 区で確認されたと考えられる。

いっぽう、調査区を西から東へ 10Aa 区～ 11Ba 区と、間を置いて 11D 区～ 10Ee 区は舌状地形の凸面の上にあることがわかった。これらの調査区において、もっとも西端の 10Aa 区・10Ab 区にのみ 15 世紀（IV 期）ころと推定される南北方向、および東西方向の溝が検出されているものの、他の調査区では溝などは検出されないという特徴がみられた。なお、等高線図において舌状地形の上にあたっている 10Ec 区において井戸（0349SK・0395SK）が検出されている。この地点は谷地形から舌状地形へと標高を次第に増加させる傾斜変換点にあたっており、井戸を掘削するには適した場所であったと思われる。

また、調査区の東寄りにある 10Db 区・11D 区・10Ea 区・10Ec 区・10Ee 区付近を南北方向に横切り、調査区の北東において東から西へゆるく屈曲する方向に鎌倉街道が推定されている（図 4-7）。これに関して等高線図をみると、舌状地形の北と南には谷地形が存在し、北ないし南には道そのものを通すことはできない。ところが、標高 6m の等高線を目安にするとわかりやすいが、舌状地形の北側にみられる谷地形を等高線が東から西へ回り込んでいることがわかる（図 3-1・2）。推定される鎌倉街道と標高 6m 以上の等高線とは対応し、道があるとすればこの経路しかありえないことがわかる。加えて、調査地点から西をながめた場合、同じ標高 6m 以上の等高線は約 1.7 ～ 2.1km 西方の稲沢市小池正明寺町と国府宮町でみられる、標高 6m 前後の閉曲線で囲まれた地域しかなく、調査区から西を遠望した際にはこれらの地域が視界に入ったことであろう。

このように、等高線図からよみ取れる地形的な特徴と考古学的な発掘調査の所見とは調和的であり、地形の軽微な起伏を利用したヒトの活動が行なわれていたことを示すものである。

謝 辞

本論を作成するにあたり、試錐調査では株式会社アーキジオに、鳥瞰図の作成では国際文化財株式会社に、放射性炭素年代測定では株式会社パレオ・ラボ AMS 年代測定グループの伊藤　茂氏・安　昭炫氏・佐藤正教氏・廣田正史氏・山形秀樹氏・小林紘一氏・Zaur Lomatatidze 氏・Ineza Jorjoliani 氏・竹原弘展氏・中村賢太郎氏にお世

話になった。試料の整理・保管と図面の作成では整理補助員の鈴木好美氏にお手伝いいただいた。記して厚くお礼申し上げます。

引用文献

鬼頭　剛 , 2012, 長野北浦・塔の越遺跡の地下層序と表層地形解析 , 愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 171 集 長野北浦遺跡・塔の越遺跡 , 愛知県埋蔵文化財センター , 225-234.

2．下津宿遺跡出土木材の樹種同定

黒沼保子（パレオ・ラボ）

1．はじめに

下津宿遺跡は、稲沢市下津本郷町および下津宮西町に所在する中世の遺跡である。遺跡から出土した木材の樹種同定結果を報告する。

2．試料と方法

試料は、井戸遺構から出土した井戸枠や井戸枠構築材などの板材である。10Ca 区の 1960SE から 101 点、10Cb 区の 1108SE から 95 点、10Ec 区の整地層から 1 点、0665SK から 10 点、0665SK から 18 点、0698SE から 65 点、0900SE から 27 点、0901SE から 81 点、10Ed 区の 1550SE から 3 点、11D 区の 1484SE から 15 点の、計 416 点である。

試料から、剃刀を用いて 3 断面（横断面・接線断面･放射断面）の切片を採取し､ガムクロラールで封入してプレパラートを作製、光学顕微鏡で木材組織の観察および同定を行った。

3．結果

針葉樹のマツ属複維管束亜属、コウヤマキ、スギ、ヒノキ、サワラの 5 分類群とタケ亜科の、計 6 分類群が確認された。遺構別の樹種構成を表 3-1 に示す。結果は第 2 章の木製品図版中に記載している。

遺構別では、10Ca 区の 1960SE 出土材では、コウヤマキ、ヒノキ、サワラ、スギ、タケ亜科が確認された。調査区 10Cb 区の 1108SE ではコウヤマキとスギ、ヒノキが確認された。10Ec 区の整地層の出土材はコウヤマキ、0665SK ではコウヤマキ、スギ、ヒノキとサワラが確認された。また、0900SE ではマツ属複維管束亜属、スギ、ヒノキ、サワラが確認された。0901SE ではコウヤマキ、スギ、ヒノキ、サワラが確認された。なお、0901SE のほぞ付きの材は、本体およびほぞ共に 5 点ともすべてコウヤマキであった。0698SE ではコウヤマキとスギが確認された。10Ed 区の 1550SE と、11D 区の 1484SE の出土材はすべてヒノキであった。

以下に、同定根拠となった木材組織の特徴を記載し、光学顕微鏡写真を図 3-3 に示す。

(1) マツ属複維管束亜属 *Pinus* subgen. *Diploxylon* マツ科 図 3-3 1a-1c(No.256)

仮道管、垂直・水平樹脂道、放射組織、放射仮道管からなる針葉樹である。早材から晩材への移行はやや急で、晩材部は広い。大型の樹脂道を薄壁のエピセリウム細胞が囲んでいる。分野壁孔は窓状で、放射仮道管の水平壁は内側向きに鋸歯状に肥厚する。

マツ属複維管束亜属は暖帯から温帯下部に分布する常緑高木で、アカマツとクロマツがある。材は油気が多く、靭性が大きい。

表 3-1 遺構別の樹種構成

調査区	10Ca区	10Cb区	10Ec区						10Ed区	11D区	
分類群 ＼ 遺構	1960SE	1108SE	機械掘削 1e層南西	0665SK	0665SK下層	0900SE	0901SE	0698SE	1550SE	1484SE	計
マツ属複維管束亜属						1					1
コウヤマキ	57	30	1	2	4		63	41			198
スギ	7	35		4	2	5	4				57
ヒノキ	25	30		5	8	12	10	24	3	15	132
サワラ	11			2	1	9	4				27
タケ亜科	1										1
計	101	95	1	13	15	27	81	65	3	15	416

(2) コウヤマキ　*Sciadopitys verticillata* (Thunb.) Siebold et Zucc.　コウヤマキ科　図 3-3　2a-2c(No.37)

仮道管と放射組織からなる針葉樹である。早材から晩材への移行は比較的緩やかで、晩材部の幅がきわめて狭い。分野壁孔は窓状である。

コウヤマキは福島県以南の温帯から暖帯上部に生育する常緑針葉高木である。耐朽性・耐湿性が強く、強靱で微香がある。

(3) スギ　*Cryptomeria japonica* (L.f.) D.Don　スギ科　図 3-3　3a-3c(No.88)

仮道管、放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行はやや急か穏やかで、晩材部の幅は広い。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔は大型のスギ型で、1 分野に通常 2 個並ぶ。

スギは暖帯・温帯下部に生育する常緑高木である。材は比較的軽軟で切削加工は容易、割裂性は大きい。

(4) ヒノキ　*Chamaecyparis obtusa* (Siebold et Zucc.) Endl.　ヒノキ科　図3-3　4a-4c(No.230)

仮道管、放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行は緩やかである。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔はトウヒ型～ヒノキ型で 1 分野に 2 個存在する。

ヒノキは福島県以南の温帯から暖帯に分布する常緑高木である。材は加工容易で割裂性が大きく、耐朽性・耐湿性が著しく高く狂いが少ない。

(5) サワラ　*Chamaecyparis pisifera* (Siebold et Zucc.) Endl.　ヒノキ科　図 3-3　5a-5c(No.59-2)

仮道管、放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行はやや急である。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔はやや大型でヒノキ型からスギ型、1 分野に普通 2 個存在する。

サワラは岩手県以南の温帯山中に生育する常緑高木である。材の耐朽性・保存性は中庸だが、水湿にはよく耐える傾向がある。

(6) タケ亜科 Gramineae Subfam. Bambusoideae　イネ科　図 3-3　6a(No.61-6)

柔細胞と維管束で構成される単子葉類で、維管束が柔細胞中に散在する不斉中心柱である。二次肥大成長を行わないため木本とはいえないが、高木化するために木材のように用いられる。

タケ・ササの仲間で 12 属が含まれるが、稈の組織のみから属や種を識別するのは難しい。

4. まとめ

今回の試料は、タケ亜科が 1 点確認された他はすべて針葉樹であり、特にコウヤマキとヒノキが多用されていた。1960SE、0901SE、0689SE では特にコウヤマキが多用される傾向がみられた。1108SE、0665SK ではコウヤマキ、スギ、ヒノキがほぼ同じ割合で使用されていたが、0900SE ではコウヤマキはみられなかった。1550SE と 1484SE の試料はスギのみ確認された。全体では、コウヤマキおよびヒノキとサワラを含むヒノキ属を中心とする樹種構成の遺構が多いが、1550SE や 1484SE ではスギのみであるなど異なる樹種構成を示す遺構もみられた。

針葉樹は全般に木理直通で割裂性も大きいため、製材しやすい。本遺跡で多く用いられていたコウヤマキは、保存性ではヒノキ属に劣るが、水湿に強いため水場での利用に適している。またコウヤマキは、陰樹で耐陰性は強いが生長の遅い樹木であり、水はけの良い肥沃な土地に生育する。コウヤマキの樹皮はマキハダといわれ、水桶や井戸側などの隙間の充填物として広く使われた（平井，1996）。

本遺跡の試料はいずれも井戸枠や井戸構築材であり、水場での利用に適した材が用いられたと推測される。また 0901SE の井戸枠では、ほぞが付属している木材が 5 点確認され、本体とほぞはいずれもコウヤマキであった。0901SE は全体的にコウヤマキが多用されているが、スギやヒノキ属も確認されており、使用する部位によって樹種を選択していた可能性も考えられる。

愛知県内では、清洲城下町遺跡において中世～近世の遺構から出土した木製品の樹種同定が行わ

れており、井戸側・曲物・建築材・下駄材・木簡などの木製品にはヒノキを中心とするヒノキ属、結桶にはサワラが多く利用されていた（植田・堀木，2002）。ヒノキ属の多用は本遺跡と共通するが、コウヤマキが使用されていない点で、本遺跡の木材利用傾向とは異なっている。

引用文献

平井信二 ,1996, 木の大百科．394p，朝倉書店.

植田弥生・堀木真美子 ,2002, 清洲城下町遺跡出土木製品樹種同定．愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター編「清洲城下町遺跡Ⅷ」：302-322，愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター.

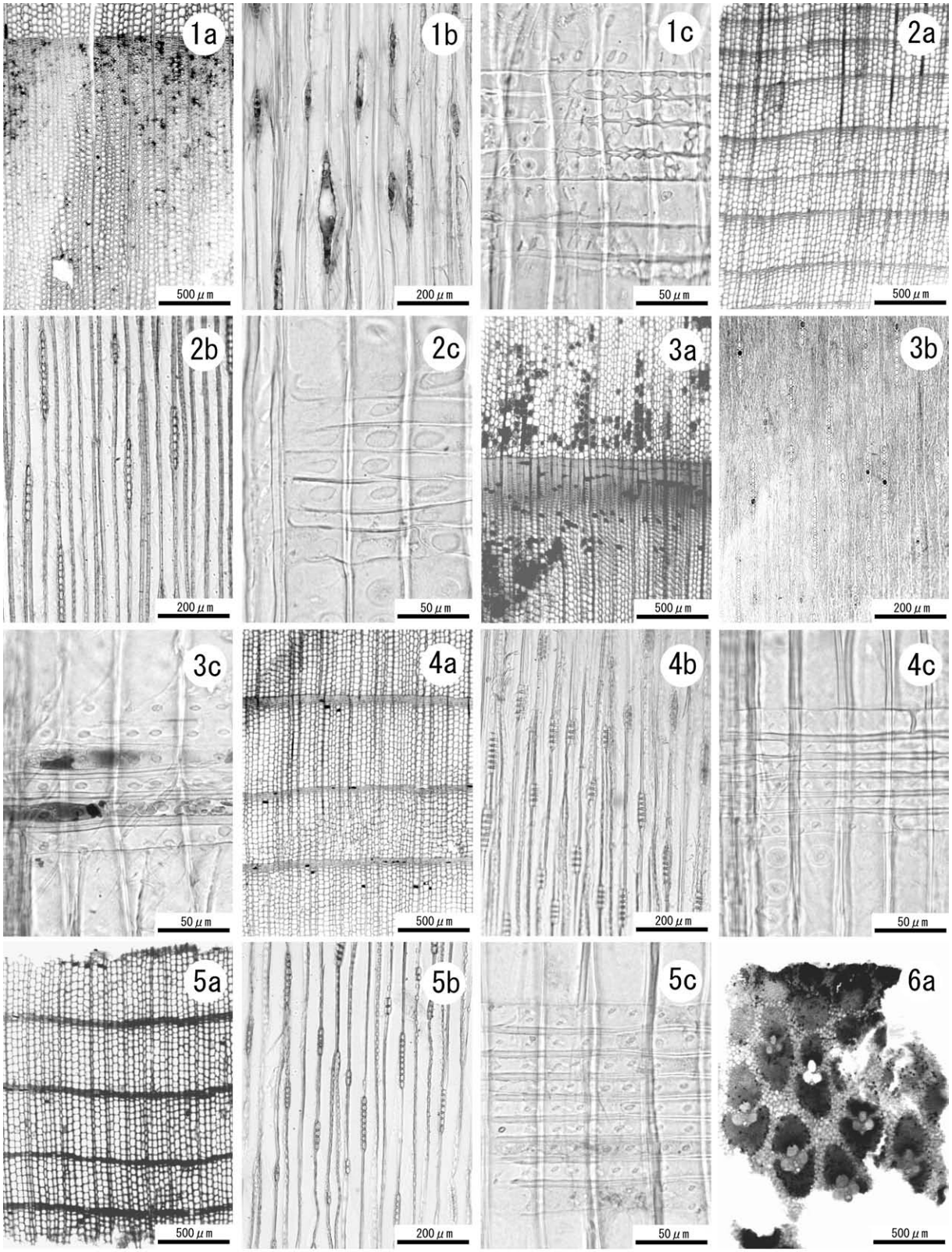


図 3-3　下津宿遺跡出土木材の光学顕微鏡写真

1a-1c. マツ属複維管束亜属、2a-2c. コウヤマキ（5152）、3a-3c. スギ（5046）、4a-4c. ヒノキ（5257）、
5a-5c. サワラ（5160）、6a. タケ亜科（5170）　a: 横断面、b: 接線断面、c: 放射断面

第５章　総括

1. 下津宿遺跡の遺構変遷とその歴史的意義

１．はじめに

これまで下津では、愛知県埋蔵文化財センターによる下津北山遺跡・下津新町遺跡や稲沢市教育委員会による下津城跡など、比較的北あるいは西寄りの地域での調査が多く、なかなか詳細がつかめないままに、さまざまな下津地域の復元案が公表されてきた（鈴木 2006・鵜飼ほか 2009 など）。

今回、ようやく下津の中心域において、南北に伸びる微高地を横断するような発掘調査を実施したことにより、これまで静止画のように復元されてきた下津が、古代末から中世後期にかけて、いくつかの段階を経ながら大きく変貌していったことが、わずかながらだが明らかとなった。

２．遺構の変遷

今回の発掘調査で確認できた遺構群については、おおむねⅠ～Ⅵ期に分けて変遷を考えることが可能である（表 4-1・図 4-5 ～ 6）。

Ⅰ期：東山 72 号窯式期～尾張型山茶碗５型式（東濃型窯洞・古瀬戸前Ⅰ期）

11Aa 区と 10・11B 区に遺構が存在するが、掘立柱建物や竪穴建物とわずかな土坑など、きわめて限定的である。ただ、当該期の遺物そのものは、10Ca ～ Ed 区からも出土しているので、本来はもっと広範囲に遺構群が展開していたが、Ⅱ期以降の遺構掘削によって破壊されて遺存していないだけの可能性もある。

Ⅱ期：尾張型山茶碗６型式（東濃型白土原・古瀬戸前Ⅱ期）～尾張型山茶碗９型式（東濃型大畑大洞新段階・古瀬戸後Ⅰ期）

この時期より、10Aa 区から 10Ed 区にかけて遺構が形成される。

10Ca・11D・10Ec・10Ed 区に井戸が築かれ、主として南北方向の溝で区割りがなされるとともに、10Ca 区では青木川の破堤による洪水の痕跡とみられる溝が数条、調査区の中央を南北に横切っている。後述するように、この時期より 10Da 区で大量の供膳具廃棄、10Db・11D・10Ea 区で鍛冶・漆など手工業生産に関わる遺物が出土するようになる。D 区の南には「不断光寺」という小字名が残っており、同名の寺院があったと考えられている。廃棄土坑群と手工業生産工房区は、南に位置する不断光寺に関わる可能性が高い。

なお 10Ca 区以外では、Ⅱ -1 期（尾張型６型式・白土原～尾張型８型式・大畑大洞古段階）と、Ⅱ -2 期（尾張型９型式・大畑大洞新段階）に分けることができる。一切の文献資料に登場しないこの「不断光寺」の創建年代はⅡ -1 期（13 世紀第２～ 14 世紀第１四半期）に想定しておきたい。

Ⅲ期：尾張型 10 型式（東濃型大洞東・古瀬戸後Ⅱ～Ⅲ期）

この時期 A・B 区ではほとんど遺構がなくなる。

C 区に方一丁（約 100m）の大溝で囲まれた屋敷地が出現する。屋敷地の西端には方形縦板組みの井戸が築かれ、多数の柱穴が認められる。10Da 区から 11D 区にかけての供膳具廃棄、11D 区から 10Ea 区にかけての鍛冶・漆関連工房区も維持されている。10Ec 区では、桶組みの井戸 0901・0900SE が築かれる。

Ⅳ期：東濃型山茶碗脇之島・古瀬戸後Ⅳ期古段階

この時期、最も広範囲に遺構が展開する。

10C 区では溝の再掘削がなされつつ、方形の屋敷地が維持される。屋敷地の西を区画する大溝には大量の土師器供膳具が廃棄される。さらに A

表 4-1　下津宿遺跡の遺構変遷と歴史的事象

時期区分	暦年代	A区	B区	C区	D区	E区	下津の歴史
Ⅰ期	10c～13c 第1四半期	11Aa-0164SD 11Aa-0181SD 11Aa-0080SK 11Aa-0097SK 11Aa-0103SK 11Aa-0132SK 11Aa-0167SP 11Aa-0202SB	10Ba-0330SK 10Bb-0014SK 10Bb-0096SK 11Bb-0103SP 11Ba-2023SI 11Ba-2047SK 11Ba-2030SP 11Bb-2187SP				1181年 源行家、墨俣合戦で平家に敗れ、折戸に陣を構える 1221年 承久の乱で、北条時房が赤池宿に到着する 右馬允明長下津河を渡れず、幕府側に捕らえられる
Ⅱ-1期	13c第2～ 14c第1四半期	10Aa-0151SD 10Aa-0128SK 10Ab-0267SK	11Bb-2153SK	10Ca-1501SD 10Ca-1508SD 10Ca-1510SD 10Ca-1964SD 10Ca-1740SD 10Ca-1333SX 10Ca-1961SE 10Ca-1490SK 10Ca-1304SP 10Cb-1008SD	10Da-1411SD 10Da-1435SD 10Da-1436SD 10Da-1501SK 10Da-1705SK 10Da-1028SK 10Db-0389SD 10Db-1608SK 11D-1484SE	10Ea-0672SK 10Ec-0778SD 10Ec-0872SD 10Ec-0410SP 10Ed-1307SD 10Ed-1499SE 10Ed-1070SK	1239年 曩謨寺（国府山阿弥陀寺の前身）創建（1336年説もあり） 1262年 西大寺の僧叡尊、折戸宿で中食をとる 1270年 下津ノ宿 1279年 阿仏尼おりどを通る 1314年 下津五日市の地頭代、大成荘乱入について訴えられる
Ⅱ-2期	14c第2～ 第3四半期			10Cb-1016SD 10Cb・Cc-1027SD 10Cb-1025SK 10Cb-1107SK 10Cb-1069SX 10Cc-1073SK	10Da-0707SK 10Da-1000SK 11D-1496SK	10Ec-0698SE	1335年 足利尊氏、関東に向かう途中、下津に宿泊 1338年 幕府（北朝方）と北畠顕家（南朝方）が下津で戦う 1347年 頓乗寺創建 1348年 妙興寺創建 1360年 尾張国 下津御厨
Ⅲ期	14c第4～ 15c第1四半期		11Bb-2142SK	10Ca-0001SD下層 10Ca-1345SD 10Ca-1960SE 10Cb・Cc-1027SD 10Cb-0111SD	10Da-1005SK 11D-1460SK 11D-1490SK 11D-1491SK 11D-1507SK 11D-1508SK 11D-1521SK	10Ec-0568SD 10Ec-0901SE 10Ec-0900SE 10Ec-0248SK 10Ec-0289SP 10Ed-1497SD	1388年 足利義満、富士遊覧の途中、頓乗寺に宿泊 1394年 正眼寺成立 1397年 国衙下津市の名がみえる 1400年 織田常竹下津に居館 1411年 下津に守護所が存在 1418年 正徹、下津に10日間滞在する 1419年 織田信継、一保薬師堂に定燈田を寄進
Ⅳ期	15c第2四半期	10Aa-0002SD 10Aa-0100SD 10Aa-0127SD 10Aa-0150SD 10Aa-0021SK 10Ab-0270SD 10Ab-0240SK	10Bb-0012SD 11Bb-2129SD 11Bb-2060SK (11Ba-2001SD) (11Bb-2058SD)	10Ca-0001SD中層 10Ca-1320SD下層 10Ca-1245SD 10Cb-1029SD 10Cb-1028SD 10Cb-1038SD 10Cb-0122SD 10Cb-0110SK 10Cb-1108SE 10Cb-1071SK	10Da-1440SD 10Da-1530SD 10Da-1256SD 10Da-0130SK 10Da-0170SK 10Da-0686SK 10Db-1264SK 11D-1324SK	10Ea-0670SD 10Ea-0489SK 10Ec-0665SK 10Ed-1013SK 10Ed-1458SK	1432年 足利義教、富士山遊覧の途中、下津に宿泊 1443年 充行下津住吉薬師堂坊主職事
Ⅴ期	15c第3～ 第4四半期			10Ca-0001SD上層 10Ca-1320SD 10Ca-1347SD 10Ca-1246SD 10Ca-1300SD 10Ca-0002SD 10Cb・Cc-1072SD 10Cb・Cc-1052SD 10Cb・Cc-0120SD 10Cb・Cc-0130SD 10Cb-0125SD 10Cb-0129SD 10Cb-0135SD	10Da-1550SD 10Da-1840SD 10Da-1109SD 10Da-1450SD 10Da-1117SD 10Da-1441SD 10Da-1540SD 10Da-1720SD 10Da-1430SD 10Da-1710SD 10Da-0180SD 10Da-1056SD 10Da-1250SD 10Da-0127SK 10Da-0970SK 10Db-1612SD	10Ea・Ec-0290SD 10Ea-0613SD 10Ea-0632SK 10Ec-0873SD 10Ec-0720SK 10Ed-1131SD 10Ed-1280SD 10Ed-1287SD 10Ed-1193SK	1451年 守護代織田敏広、下津城に居る 1466年 守護代織田敏広、下津の防備を固める 1471年 円光寺が炎焼する 1475年 守護斯波義廉、下津城に下向する 1476年 守護代織田敏定、下津城を落とす 1478年 織田敏定と織田敏広の争いに美濃国守護代斎藤妙椿が介入、敏定と清須で争う、守護所が清須に移る 1485年 法華堂（のちの妙長寺）創建
Ⅵ期	15c第4～ 17c初頭				10Da・Db-0001SD 10Da-0002SD 10Da-0688SD 10Db-1231SD	10Ea・Ec-0300SD 10Ea-0017SK 10Ec-0349SK 10Ec-0395SK	1524年 円光寺が炎焼する 1529年 広幢寺創建 1531年 法華堂が妙長寺となる 1541年 円通寺が川井村から移転 太田清蔵、下津城に拠る 岐阜街道が成立

区からB区にかけてのエリアにおいても縦横に大溝が走り、C区以上の大型屋敷地が展開する可能性を想起させる。また、C区屋敷地の東（不断光寺寺域内）には桶組みの井戸1108SEが築かれ、10Da区では供膳具廃棄土坑群の南に東西方向の大溝が掘削され始める。鍛冶関連の工房区はやや縮小する傾向にある。10Ec区の0900SEはおよそこの時期に埋め立てられたことが、井戸枠内に廃棄された応永廿五（1418）年銘の宝篋印塔からわかる。

Ⅴ期：東濃型山茶碗生田・古瀬戸後Ⅳ期新段階

Ⅳ期後半からこのⅤ期にかけての、最も大きな変化は、10Ea・Ec区西半部に鎌倉街道が付設されたことである。0900SEの埋め立てはこれに伴うもので、さらにその上に盛り土をして路面幅約15mの道を整備している。側溝は東側（0290SD）のみに掘削される。道は北でやや西に振れる南北方向に走り、それとともに、多くの遺構がこの鎌倉街道に面して展開するようになる。この鎌倉街道の設定によって、不断光寺の寺域は西に40m近く狭められる。

A・B区では当該期の遺構は皆無となるが、C区の屋敷地は以前として残る。10Da区の東西溝は短期間に幾度も再掘削がなされるとともに、南北方向にも区画溝が掘削される。供膳具廃棄はこの時期まで続く。鍛冶関連の工房区はこの時期に鎌倉街道東側の10Ec・Ed区に移る。

Ⅵ期：大窯１期～４期後半

年表にあるとおり1478年に守護所が清須に移転して以降、急激に遺構が減少する。A～C区では当該期の遺構が確認できず、鎌倉街道に面したD・E区のみで、この時期の遺物が出土する。鎌倉街道の東側溝は再掘削され、0300SDとなる。

1600年には鎌倉街道が廃され、この地域の主要交通路は約30m西の岐阜街道へと移る。これによって、鎌倉街道の側溝から出土する遺物は大窯４期後半までとなっている。

３．手工業関連遺物の出土状況

本遺跡では、刀や銭貨などの金属製品とともに、鍛冶関連遺物が大量に出土している（図4-1）。

蔭山誠一によると銅製品の出土状況は、10Ba区東側（0327SK・0206SK）、10Ca区西側と東側、10Cb区の西側から中央部、10Da区から11D区、10Db区東端部、10Ea区西側、10Ec東側から10Ed区にかけて分布しており、10Ec区0110SKで多数の銅銭が一括で出土以外は出土した調査区に散在して出土する傾向が見られる。

銅関連遺物では10Da区に銅滴２点、10Db区にてトリベ３点、11D区にてトリベ１点、10Ea区にてトリベ１点、10Ed区にて銅滴３点、鋳型２点、粘土塊３点が出土しているのみで、10Da区から10Db区にかけての付近と10Ed区中央部付近（1113SK・1131SD・1192SKから出土）で銅製品の加工が小規模に行われたものと思われる。時期は古瀬戸後Ⅳ期古段階の遺物が出土している。10Db区1264SKにおいてトリベが出土していることから、15世紀第２～第３四半期に中心があるものと思われる。

鉄製品・鍛冶関連遺物は10Aa区0047SD付近、10Ba区南西部、10Bb区、10Ca区西側地点、10Cb区中央部から東側、10Da区・10Db区・11D区・10Ea区～10Ed区において分布している。このなかで、10Da区中央部、11D区・10Db区東端部から10Ea区・10Ec区西側から中央部にかけての地点、10Ed区南側の地点において多数の鉄製品・鍛冶関連遺物が出土しており、これらの地点では鉄製品の生産が盛んに営まれたものと考えられる。鍛冶関連遺物はII-1期（13世紀第２四半期～14世紀第１四半期）の11D区1184SEからVI期（15世紀第４四半期～17世紀初頭）の10Ea・Ec区0300SDまで出土していることから、鎌倉時代から室町時代を中心に連綿と営まれたと考えられる。鉄製品で興味深いのは10Da区1028SK出土の刀子6016、10Ec区0778SD出土の刀6019、10Ca区1490SK出土の刀6020はII-1期（13世紀第２四半期～14世紀第１四半期）の遺構から出土したもので、鎌倉時代の良好な資料である。

また発掘調査時に鍛冶関連遺構の可能性があ

銅製品・銅関連遺物



鉄製品・含鉄遺物・鉄塊系遺物



椀型滓・流動滓 A・流動滓 B・羽口・炉壁・粘土塊

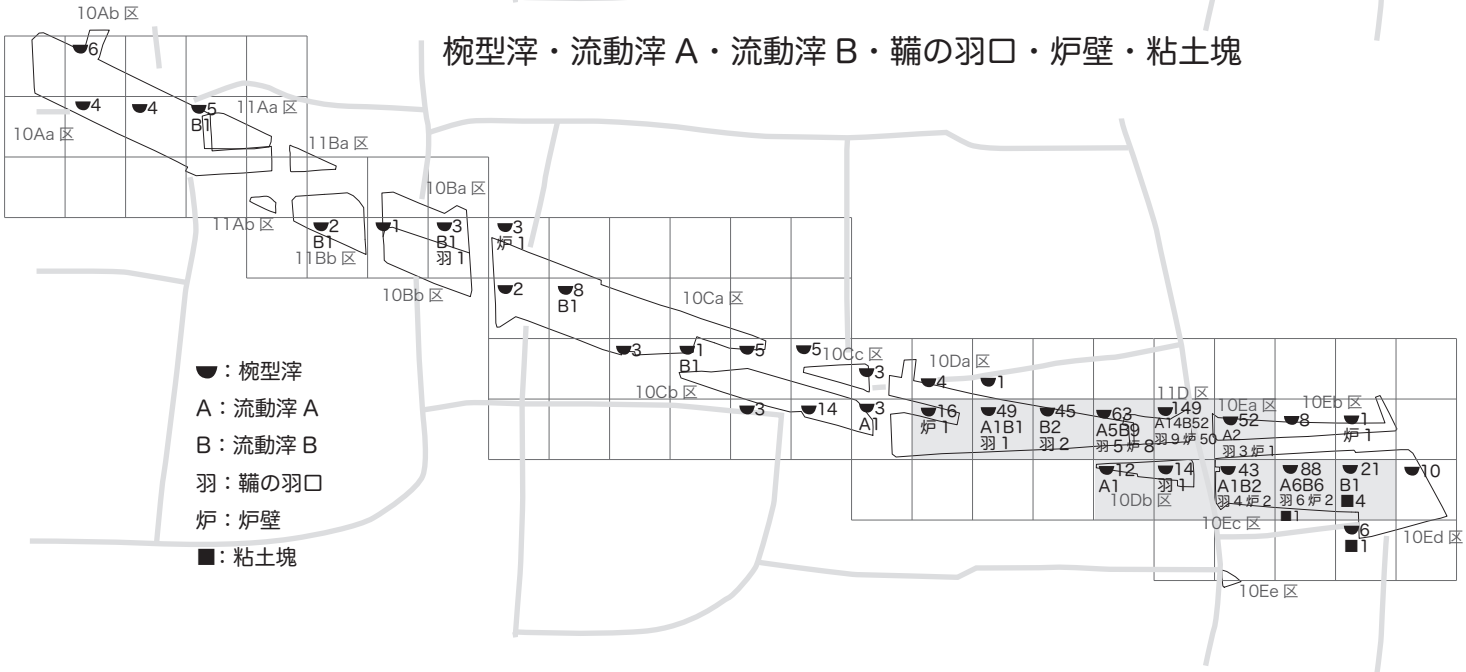


図 4-1　金属製品・鍛冶関連遺物の出土地点分布図（1:2,500）

漆付土器時期別出土地点

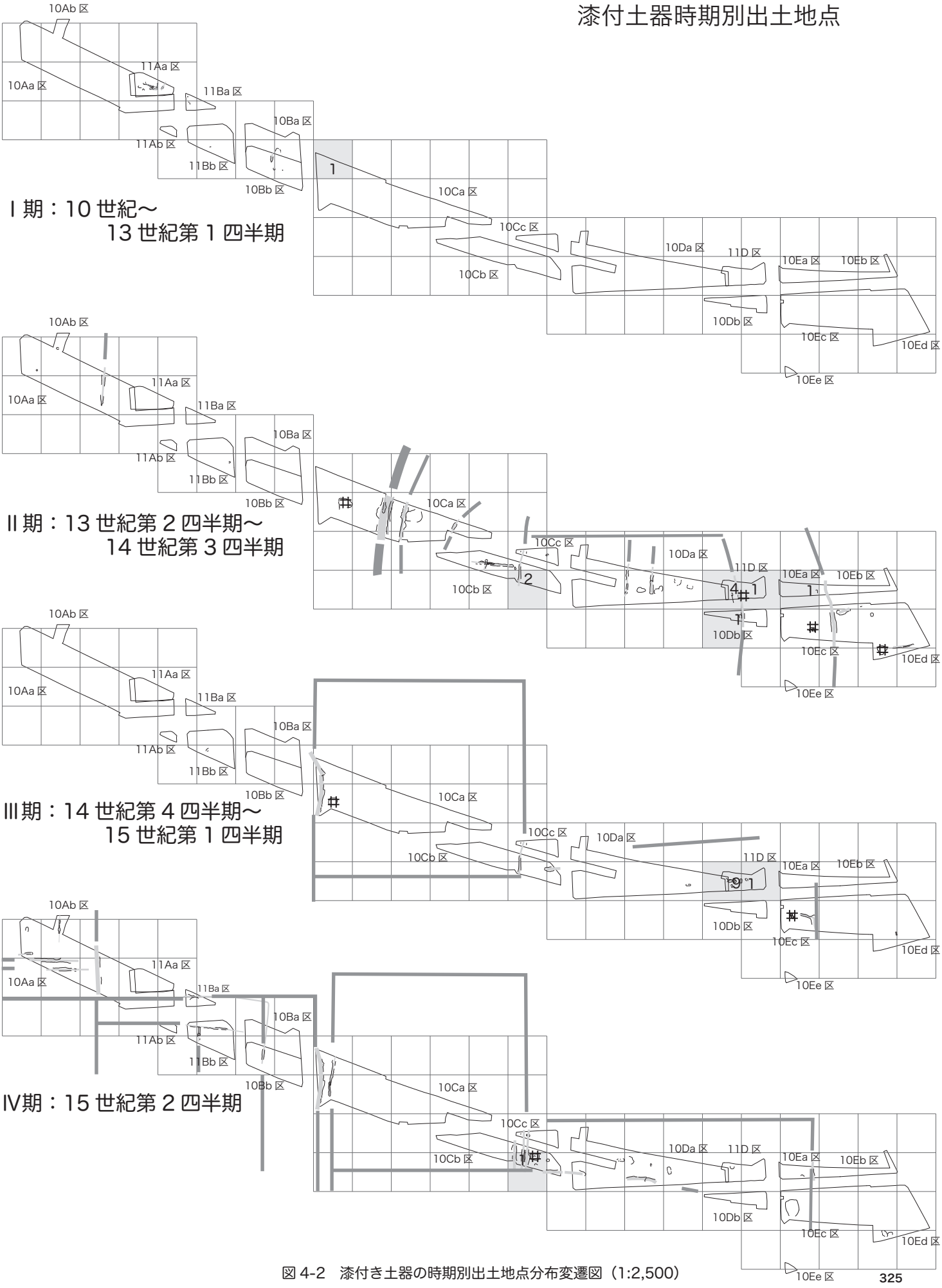


図 4-2　漆付き土器の時期別出土地点分布変遷図（1:2,500）

るものとして、11D 区においてⅢ期（14 世紀第 4 半期～ 15 世紀第 1 四半期）～Ⅳ期（15 世紀第 2 四半期）の 1324SK・1460SK・1490SK・1491SK・1496SK・1507SK・1521SK などについて埋土の土壌フローテーションを行った。その結果、鍛冶作業の痕跡となる鍛造剥片・粒状滓の他、当時の食生活をうかがえるオオムギ・コメ・マメ類などの炭化種実と淡水魚・小動物の骨・歯などが採集できた。

漆が付着した山茶碗についても、11D 区とその付近に集中することから、蔭山の考察による金属製品の工房区と同じエリアで用いられたことがわかる。ただし時期的には、後述する墨書土器と同様、13 世紀第 2 四半期～ 15 世紀第 1 四半期に出土量のピークがあり、遺構の分布状況から果敢が得られる本遺跡の全盛期（15 世紀第 2 ～第 4 四半期）とはずれる傾向が認められる。

4．墨書土器の出土状況から考えられること

本遺跡では、332 点もの墨書土器が出土している。ただその時期的なピークはⅡ -1 期（13 世紀第 2 四半期～ 14 世紀第 1 四半期）にあり、Ⅳ・Ⅴ期（15 世紀第 2 ～第 4 四半期）はごくわずかである（図 4-3）。

出土地点は 10Ec 区と 10Da 区が圧倒的に多い。このうち 10Ec 区は鎌倉街道整地層中のものと 0778SD から出土したものが大半である。10Da 区は、おおむね供膳具廃棄土坑群から出土している（図 4-4）。

このように見かけ上の遺跡の全盛期と墨書土器の所属時期が大きくずれる現象は興味深い。例えば C 区に方一丁の屋敷地が出現するのはⅢ期だが、すでにⅡ期の段階には刀が出土した池状遺構 1490SK や井戸 1691SE などがあることから、今回の調査区以外では、13 世紀代に遺構が広範囲に展開していた可能性がきわめて高い。

このことは、表 4-1 の右側に付けた下津の歴史からも裏付けることができる。11Da 区の供膳具廃棄土坑群の存在から、不断光寺の創建をⅡ期に想定したが、この不断光寺より 250m 南に位置する曩謨寺（現･阿弥陀寺）の創建が 13 世紀中葉、さらに 14 世紀中葉には頓乗寺が建立されている。

このうち阿弥陀寺は山号が国府山阿弥陀寺と称されること、さらに曩謨寺寺地の北西には東国府・西国府という字名が残る点も注目される。また､14 世紀末の『三宝院文書』には「下津国衙市」なる名称が認められることから、古代末期～中世前期にはこの下津宿遺跡付近に国衙そのものが移転してきた可能性も想定しておく必要があろう。

国衙の存在そのものは想像の域を超えないが、Ⅱ -1 期よりⅡ -2 期にかけて、何らかの国衙権力との関与もあって、下津に急激に寺院が集中し始めるとともに、京と東国を結ぶ宿場としての町並みを整えていったと考えられる。

5．守護所の出現とⅢ～Ⅴ期の変革

前述の遺構変遷で述べたように、Ⅲ期には C 区で方一丁の屋敷地が不断光寺の北西側に出現する。そしてⅣ期には A・B 区にも巨大な屋敷地があったと想定している。

文献上、15 世紀初頭には「守護所」や守護代が居住する「居館」があったこと、さらに 15 世紀後半には「下津城」に守護代織田敏広がいたことがわかっている（表 4-1）。

後者の「下津城」が、現在の下津城跡であることは改めて論を待たない。この下津城跡の調査では 15 世紀初頭に溯る遺構は確認されていないが、当該期の遺物が出土していることから、調査を担当した北條献示は「下津城」と「守護所」が同じ位置にあったと想定している（稲沢市教育委員会 1988・北條 2006）。

また鈴木正貴は、足利義満が富士遊覧の際に頓乗寺に宿泊していることから、当初の守護所は頓乗寺が兼ねていたと想定している。

今回の調査で守護所そのものと断定できる遺構がみつかった訳ではないが、10Ec 区の鎌倉街道整地層中の墨書土器（15 世紀第 2 四半期）で幕府奉行人クラスの花押が確認されたことから、比較的近傍に存在した可能性も想定しておく必要が

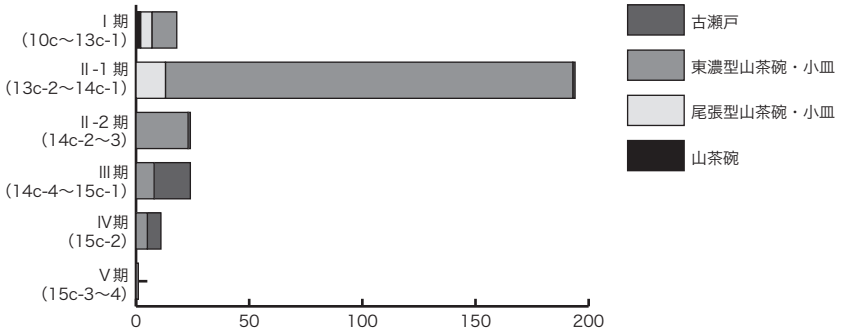


図 4-3　墨書土器の時期別出土量グラフ

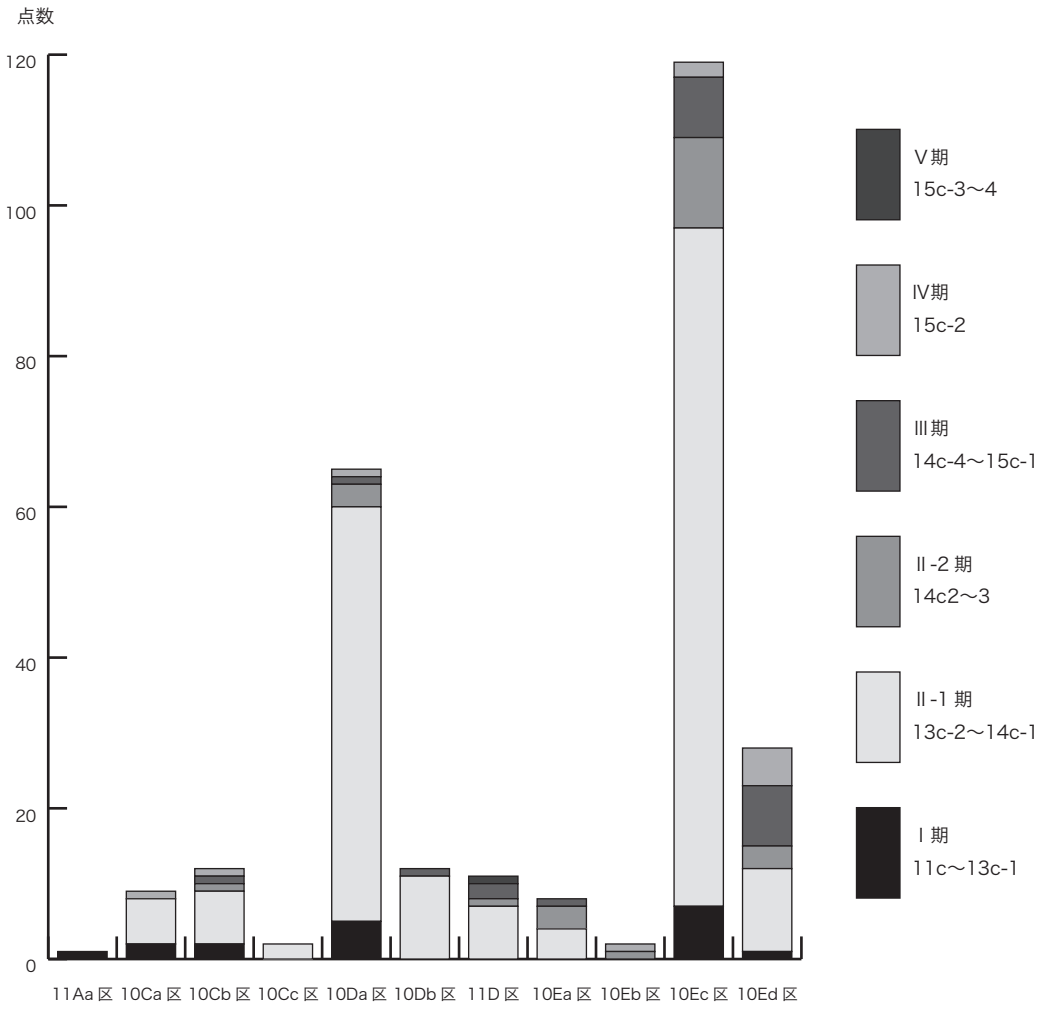


図 4-4　墨書土器の調査区別出土量グラフ

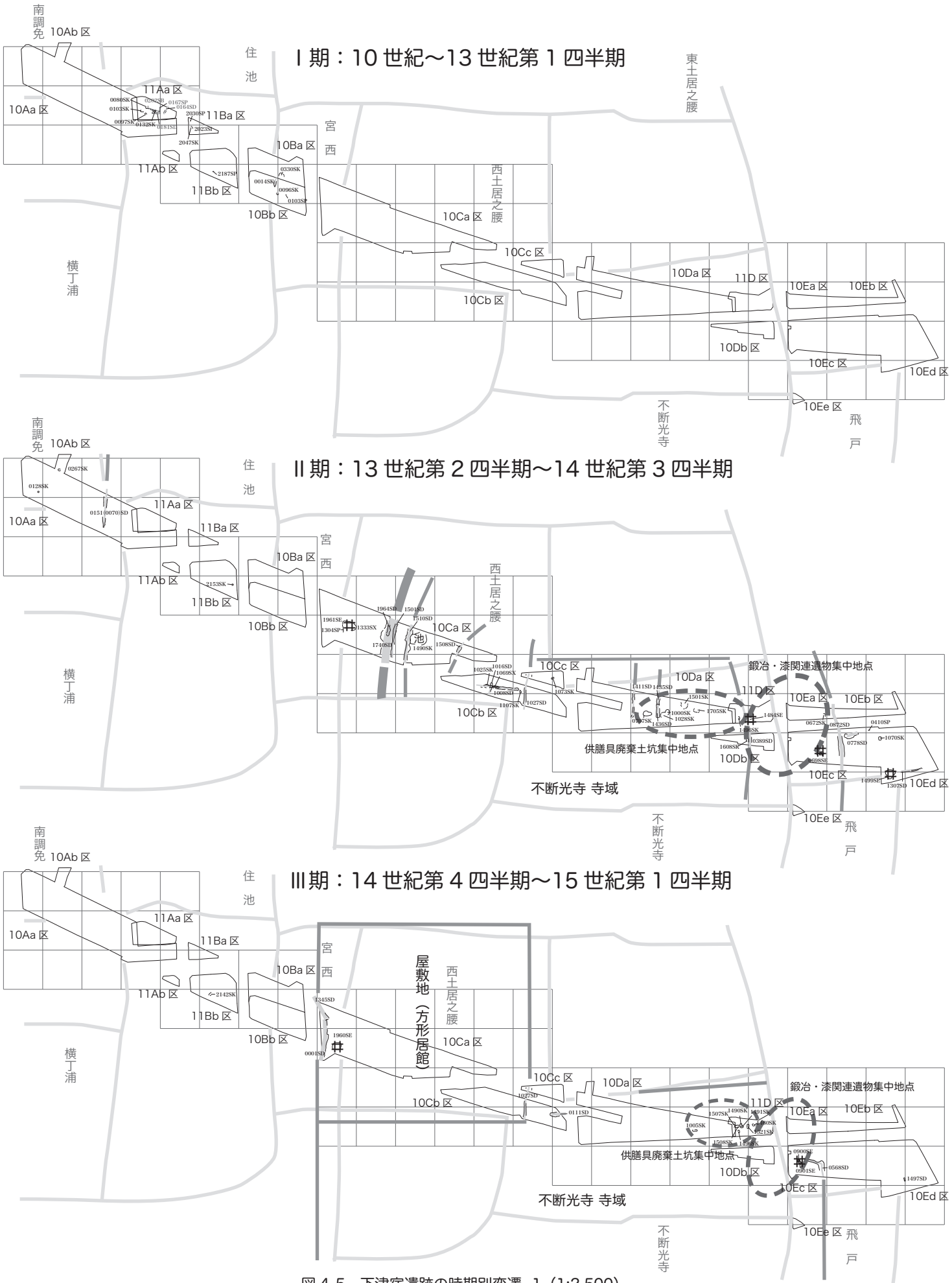


図 4-5　下津宿遺跡の時期別変遷 -1（1:2,500）

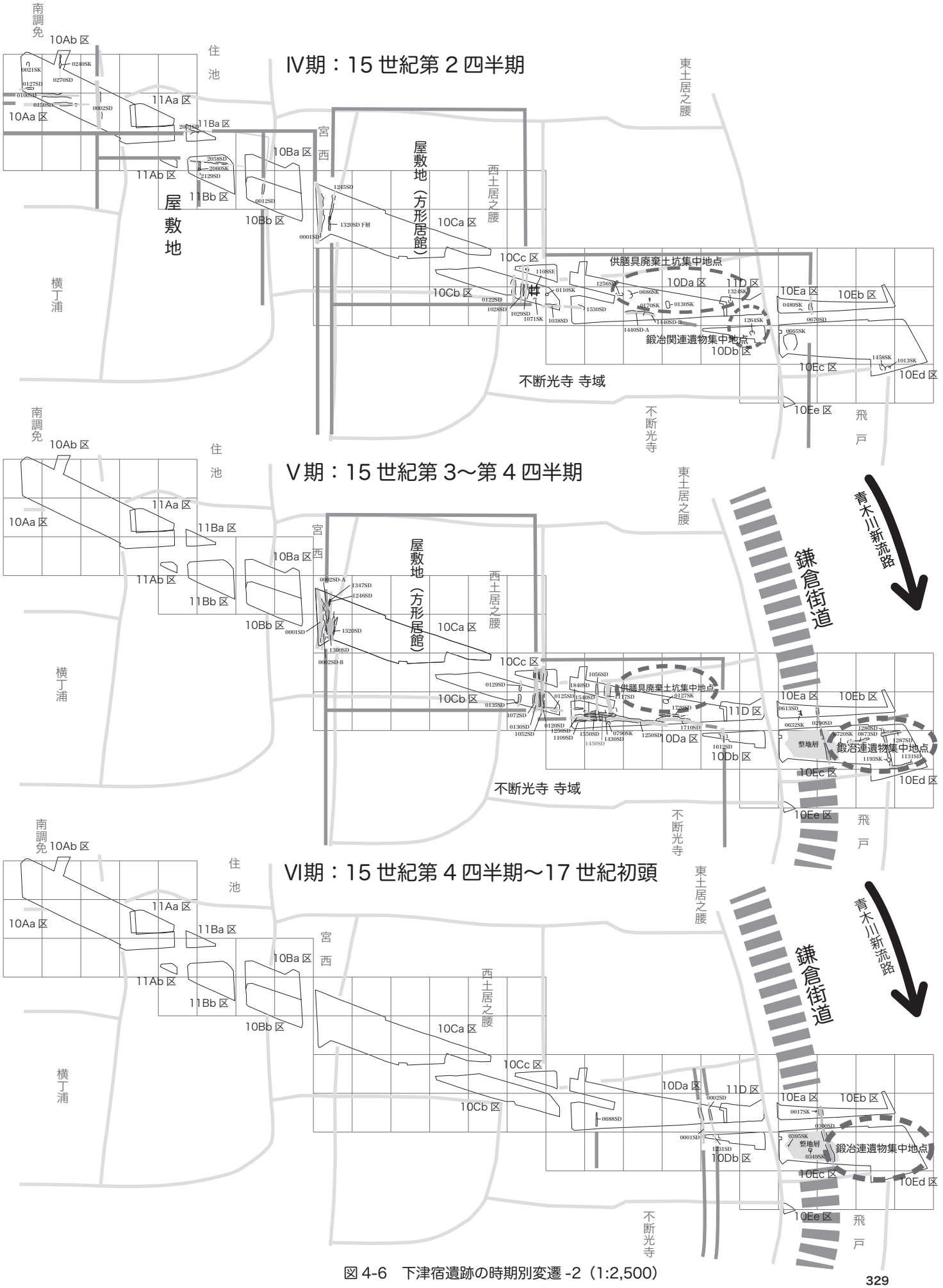


図 4-6　下津宿遺跡の時期別変遷 -2（1:2,500）


九日市場
下津城
頓乗寺
薬師堂
下津新町遺跡
青木川旧流路（下津河）
330
下津宿

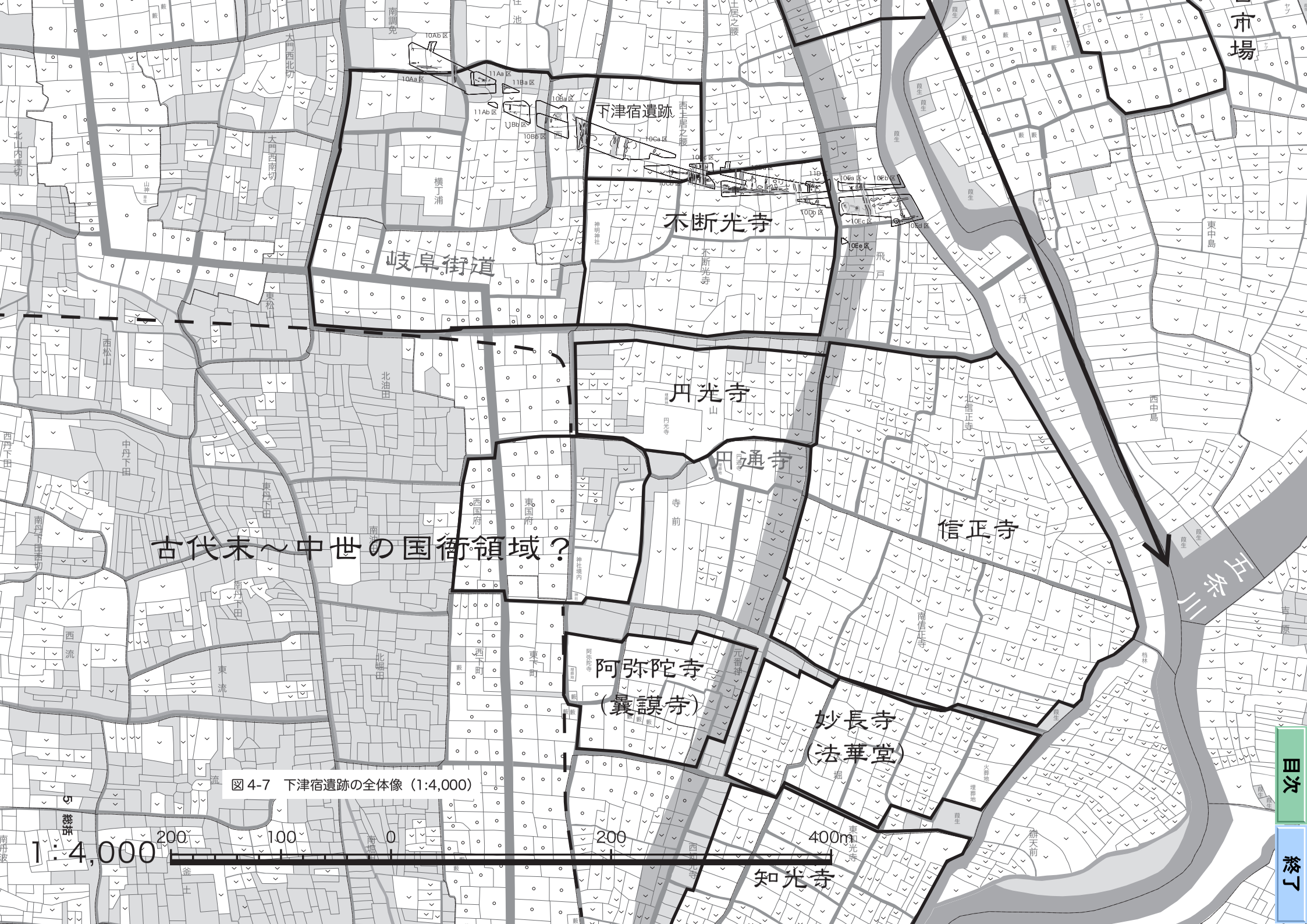


図 4-7　下津宿遺跡の全体像（1:4,000）

ある。すなわち、今後は「守護所」と「下津城」はいったん別のものとしたうえで研究を進めていくべきであろう。

位置はともかく、文献上「守護所」はⅢ期（15世紀第1四半期）に現れ、続くⅣ期（15世紀第2四半期）には巨大な屋敷地がA・B区に形成される。続くⅤ期(15世紀第3～第4四半期)には、巨大屋敷地が廃絶するとともに、不断光寺の寺地東端を削って鎌倉街道が整備される。

図4-7の地籍図を見ると、今回10Ea・Ec区で確認した鎌倉街道の道幅とほぼ同じ幅の畠の地割が住吉神社の南から知光寺の東まで伸びていることがわかる。そして、北から頓乗寺・(広幢寺)・薬師堂・不断光寺・円光寺・(円通寺)・信正寺・曩謨寺・妙長寺・知光寺がすべてこの鎌倉街道に面していることが、すでに榎原雅治によって指摘されている（榎原2008)。さらに榎原は、鎌倉街道に沿って並んだこれらの寺院が宿泊施設を兼ねていたこと、そしてこの景観が有名な「尾張国富田庄絵図」に描かれた中世萱津宿（愛知県あま市・名古屋市中川区）にきわめて似ていることを明らかにしている。

ここで問題となるのが、この鎌倉街道と、その東を流れる青木川の関係である。

2009年に書かれた「中世下津宿を考える」で地形分析をおこなった鬼頭剛によると、現在の下津城跡から五条川へと合流する現在の青木川の流路は、周辺より1m以上高い微高地を分断していることから、自然に形成された流路ではなく、人為的に開鑿された可能性を指摘している。

そして鎌倉街道は、この現・青木川にほぼ並行して築かれていることから、下津の西を流れる青木川の本来の流路（これが1221年の承久の乱に関連して『沙石集』に出てくる下津河か？）を五条川に合流するよう、およそ250mに渡って付け替えたのも、このⅣ～Ⅴ期であったと想定することができる。

こういった一連の大土木工事は、守護所の成立と、それにに伴う公権力の行使があって初めて可能な大事業であったといえよう。

6．まとめ

本遺跡は10～13世紀第1四半期頃から遺構の形成が始まり、13世紀中葉から14世紀代にかけて寺院が集中して築かれた。そしてこの寺院の集中は、国衙移転に伴う可能性が考えられる。

この時期、宿場としての景観が整うようになるとともに、宿泊施設施設を兼ねた寺院では、たびたび貴人への饗宴がおこなわれたことが、不断光寺寺域の供膳具廃棄土坑群からわかる。また、不断光寺寺域の一画では、鍛冶や漆などの手工業生産もおこなわれていた。

14世紀第4四半期～15世紀第1四半期にはC区に方一丁の屋敷地が出現し、続く第2四半期にはさらに巨大な屋敷地、そして第3四半期には青木川の付け替えと幅15mの鎌倉街道の付設が同時におこなわれた。そして、これら大土木工事には、従来の国衙権力に替わって守護ないしは守護代が主導したと考えられる。

その後、15世紀第4四半期には守護所が清須に移転するとともに、鎌倉街道を残して周辺は急速に寂れ、岐阜街道ができる17世紀初頭にはすっかり畠が広がる農村風景へと変わっていったと思われる。

下津宿遺跡は稲沢市域のみならず、青木川を超えて五日市場・九日市場のある一宮市域へも広がっていることは歴史的にも明らかである。今後はより広範囲での保存と緻密な調査を求めたい。

引用文献

稲沢市教育委員会 1988『下津城跡発掘調査報告書（Ⅳ)』
鵜飼雅弘・蔭山誠一・鬼頭剛・鈴木正貴・松田訓 2009「中世下津宿を考える」『研究紀要』第10号、愛知県埋蔵文化財センター
榎原雅治 2008『中世の東海道をゆく』中公新書
鈴木正貴 2006「織田信長の都市づくりの源流」『守護所と戦国城下町』高志書院
北條献示 2006「下津」『守護所と戦国城下町』高志書院

下津宿遺跡の土師器皿の変遷（素描）

ここでは今回出土した土師器皿類の変遷を検討する。

1．土師器皿の分類

下津宿遺跡から出土した土師器皿は、その調整技法からロクロ調整皿と非ロクロ調整皿に大別され、後者の非ロクロ調整皿は外型成形皿と非外型成形皿に分類される。本書の遺物の紹介では主にこの大別を用いて説明しているが、ここでは形状も加味した区分を行い、主要な土師器皿を下記の14類17種に細別した。

土師器皿Ａ類

手づくね成形による非ロクロ調整皿のうち、大形で体部から口縁部にかけて直立気味に直線的に開くもので、上位に横ナデ調整が施される。

土師器皿Ｂ類

手づくね成形による非ロクロ調整皿のうち、大形で直立気味に開く体部が途中でわずかに外側に屈曲し口縁部に至るもので、内面上位にやや強めの横ナデ調整が施される。

土師器皿Ｃ類

手づくね成形による非ロクロ調整皿のうち、土師器皿Ｂ類と同様に大形で直立気味に開く体部がわずかに外側に屈曲し口縁部に至るもので、特に底部の器壁が薄いものをＣ類と区分する。

土師器皿Ｄ類

手づくね形成による非ロクロ調整皿のうち、大形で体部から口縁部にかけて逆ハの字状に直線的に開くもので、口縁端部内面に強い横ナデ調整が施される。内面のナデ調整の範囲から３類に細分できる。

土師器皿Ｄ１類　口縁端部内面のナデ調整の範囲の幅が広くなるもの。

土師器皿Ｄ２類　口縁端部内面のナデ調整の範囲の幅が中程度になるもの。

土師器皿Ｄ３類　口縁端部内面のナデ調整の範囲の幅が狭くなるもの。

土師器皿Ｅ類

手づくね成形による非ロクロ調整皿のうち、大形で丸みを帯びた体部から口縁部にかけて外反して開くもので、口縁端部内面に強く横ナデ調整が施されて受け口状になっている。

土師器皿Ｆ類

手づくね成形による非ロクロ調整皿のうち、小形で底部中央が大きく上方に突出するもので、「へそ皿」と称されるタイプである。

土師器皿Ｇ類

手づくね成形による非ロクロ調整皿のうち、小形で体部が逆ハの字状に開くもので、体部から口縁部にかけて横ナデ調整が施される。

土師器皿Ｈ類

手づくね成形による小形非ロクロ調整皿のうち、底部と体部の境界部の内面にやや強く横ナデ調整が施されるもので、体部が逆ハの字状に開く。

土師器皿Ｉ類

手づくね成形による非ロクロ調整皿のうち、小形で体部から口縁部の外側がやや強く横ナデ調整されて外反気味に開くものである。

土師器皿Ｊ類

外型成形による非ロクロ調整皿であり、口縁部外面に型端部の痕跡と思われる段差がみられ口縁端部が肥厚する。型の端からはみ出る口縁端部の形状から２類に細分できる。

土師器皿Ｊ１類　口縁端部外側の横ナデ調整の範囲が広いもの。

土師器皿Ｊ２類　口縁端部外側の横ナデ調整の範囲が狭いもの。

土師器皿Ｋ類

体部から口縁端部にかけて逆ハの字状に開くロクロ調整皿のうち、体部下端の底部との境界付近でヘラケズリ調整が施されるもので、結果としてやや丸底風となる。

土師器皿Ｌ類

体部から口縁端部にかけて逆ハの字状に開くロクロ調整皿のうち、ヘラケズリ調整が認められないもので、結果として底部外縁部に明瞭な稜線がみられる。

土師器皿M類

大形ロクロ調整皿のうち、体部上方から口縁部にかけて緩やかに外反するもので、ヘラケズリ調整は認められない。

土師器皿N類

小形ロクロ調整皿。体部上方から口縁部にかけて緩やかに外反するもので、ヘラケズリ調整は認められない。

2．土師器皿の編年案

次に上記14類の分類をもとに、供伴する陶磁器類や遺構の検出状況なども検討して、土師器皿の様相を5期7段階に区分して整理した。

下津宿遺跡土師器皿1期

A類とG類と少量のF類が出土する段階である。大きく2法量の皿が認められる時期と思われ、形状は深めで口縁部の横ナデ調整が丁寧でかつ範囲が広い特徴を持つ。10Da区1705SK出土遺物、10Ec区0778SD出土遺物が該当する。

下津宿遺跡土師器皿2期

B類とC類とH類が出現する段階である。確認はできないがF類も伴う可能性が高く、A類はその割合が減少するようである。この段階の土師器皿の形状は、全体に体部が緩く外折して口縁部に至る特徴が認められる。10Da区1000SK出土遺物、10Da区0707SK出土遺物、10Da区1008SK出土遺物、10Da区1005SK出土遺物、11D区1496SK出土遺物などが該当する。

下津宿遺跡土師器皿3期

D類とI類とJ類が出現する段階である。G類とH類と少量のF類などが依然として供伴し、極めて大形のE類が少量伴う場合も確認される。D類の形状から2段階に細分ができそうである。

下津宿遺跡土師器皿3期1段階　D1類が認められる段階である。10Cb区0111SD出土遺物が該当する。11D区1508SK出土遺物もこの段階に相当するかもしれない。

下津宿遺跡土師器皿3期2段階　D2類が認められる段階である。10Da区1256SD出土遺物などが該当する。

下津宿遺跡土師器皿第4段階　K類・L類・M類といったロクロ調整皿が出現する段階で、中世前期の非ロクロ調整皿のみで構成されるという土師器皿様相が大きく変換する段階と位置づけられる。G類とH類とJ類などが依然として供伴し、D3類なども確認される。ロクロ調整皿の形状から2段階に細分できる。

下津宿遺跡土師器皿4期

下津宿遺跡土師器皿4期1段階　K類が認められる段階である。10Ab区0270SD出土遺物・10Cb区1108SE出土遺物・10Da区0170SK出土遺物が該当する。L類とM類が伴う資料群よりも古く位置づけたのは、K類が前段階から存在するD類を模倣したものと思われ、相対的に古いと推定したためである。

下津宿遺跡土師器皿4期2段階　L類・M類・N類が認められる段階である。L類が伴う資料として10Ca区1300SD出土遺物・10Da区0130SK出土遺物・10Da区0127SK出土遺物が該当する。L類・M類の出現時期の前後関係の推定は現状では判断できていない。

下津宿遺跡土師器皿5期

ほぼI類のみが出土する段階。土師器皿の出土量が著しく減少する段階と位置づけられる。10Ed区1193SK出土遺物、10Ec区0873SD出土遺物、10Ec区0300SD出土遺物が該当する。

次に土師器皿の段階区分と遺構の時期区分との対応関係を整理して年代を推定したい。

下津宿遺跡土師器皿1期

10Ec区0778SDと10Da区1705SKは両者とも遺構時期区分のⅡ－1期に該当する。供伴する陶器類から13世紀第2四半期から14世紀第1四半期に位置づけられる。

下津宿遺跡土師器皿2期

10Da区1000SKと10Da区0707SKは遺構時期区分のⅡ－2期に、10Da区1008SK・

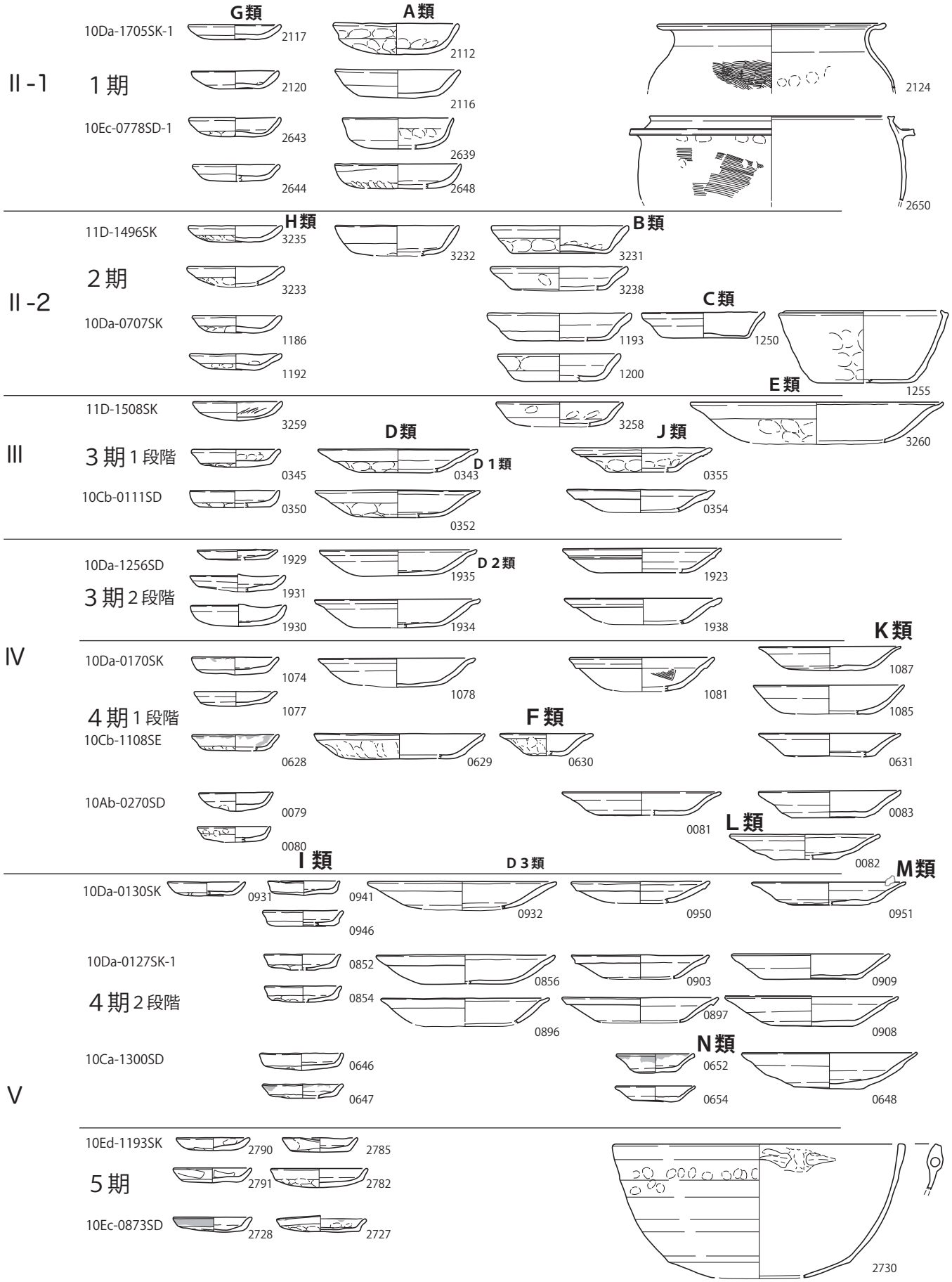


図 4-8　下津宿遺跡出土土師器皿の編年（1:4）

10 D a 区 1005 S K・11 D区 1496 S Kは遺構時期区分のⅢ期に相当する。供伴する陶器類から 14 世紀第 1 四半期から 15 世紀第 1 四半期に位置づけられる。

下津宿遺跡土師器皿３期１段階

10 C b 区 0111 S Dと 11 D区 1508 S Kは遺構時期区分のⅢ期に相当する。供伴する陶器類から 14 世紀第 4 四半期から 15 世紀第 1 四半期に位置づけられる。出土遺物もこの段階に相当するかもしれない。

下津宿遺跡土師器皿３期２段階

10 D a 区 1256 S Dは遺構時期区分のⅣ期に相当する。供伴する陶器類から 15 世紀第 2 四半期に位置づけられ、その中でも比較的に古相を示していると思われる。

下津宿遺跡土師器皿４期１段階

10 A b 区 0270 S D・10 D a 区 0170 S K・10 C b 区 1108 S Eは遺構時期区分のⅣ期に相当する。供伴する陶器類から 15 世紀第 2 四半期に位置づけられ、その中でも比較的に新相を示していると思われる。

下津宿遺跡土師器皿４期２段階

10 A a 区 0021 S Kと 10 D a 区 0130 S Kは遺構時期区分のⅣ期に、10 D a 区 0127 S Kは遺構時期区分のⅤ期に該当する。供伴する陶器類から 15 世紀第 3 四半期に位置づけられる。

下津宿遺跡土師器皿５期

10 E d 区 1193 S Kと 10 E c 区 0873 S Dは遺構時期区分のⅤ期に、10 E c 区 0300 S Dは遺構時期区分のⅥ期に相当する。供伴する陶器類から 15 世紀第 4 四半期に位置づけられる。

3．まとめ

以上のように下津宿遺跡の土師器皿を概観すると、２期で外折する土師器皿、３期で外型成形土師器皿、４期でロクロ調整土師器皿がそれぞれ出現しており、最後の５期で土師器皿の減退期を迎えるという変遷に整理できる。特に、３期と４期では特大の土師器皿を伴うなど多法量にわたる一括資料が認められる特徴がある。これが 14 世紀第４四半期～ 15 世紀第３四半期という下津に守護所が存在した時期と重複することが注目されよう。

また、中世中期から後期にかけての尾張低地部におけるロクロ調整土師器皿の再出現の時期は、これまで資料の制約の問題などから 15 世紀後葉と位置づけられてきた。これは清須城や岩倉城など 1470 年代に城郭や城下町が発展し始めた遺跡と中世前期から継続する集落遺跡の出土資料を主な分析対象としてきたため、15 世紀前半の良好な資料に恵まれなかったことに起因する。今回、下津宿遺跡の土師器皿の分析の結果、尾張低地部におけるロクロ調整土師器皿の再出現の時期は、これまでの認識よりもやや遡り、15 世紀第２四半期頃と推定されることが判明した。

遺構写真図版1

A区 上面



10Aa区上面全景西から



11Aa区上面全景南から

遺構写真図版2

A区　上面



11Ab区全景西から



10Aa区 0021SK 全景南から



10Aa区 0021SK 遺物出土状況西から



10Aa区 0047SD 西から

遺構写真図版3

A区　下面



10Aa区下面全景西から



10Ab区下面全景南から

遺構写真図版4

A区　下面



11Aa区下面全景東から



10Aa区 0090/0100/0150SD 全景東から



10Aa区 0090/0100SD セクション東から



10Aa区 0090/0150SD 断面南東から



10Aa区 0127SD 東から



10Aa区 0151SD 北から



10Ab区 0270SD 北から



11Aa区 0202SB 東から



11Aa区 0166SP 南から



11Aa区 0167SP 遺物出土状況南から



11Aa区 0169SP 南から



11Aa区 0173SP 南から



11Aa区 0176SP 南から

遺構写真図版6

B区　上面



10Ba区上面全景北から



10Bb区上面全景北から



11Ba区 2023SI 西から



10Ba区下面東半部東から



10Ba区下面西半部西から

遺構写真図版8

B区　下面



10Bb区下面全景北から



11Bb区下面全景西から



11Ba区 2001SD 西から



11Bb区 2123SK 南から



11Ba区 2153SK 北から

遺構写真図版９

C区　上面



10C区上面全景



10Cb区上面全景東から

遺構写真図版10

C区　上面



10Cb区上面西半部東から



10Ca区上面西半部柱穴群南西から

遺構写真図版11

C区 上面



10Cb区上面東半部大溝群東から



10Ca区 0001SD セクション南西から



10Ca区 0001SD 遺物出土状況南西から



10Cb区0110SK/0111SD東から



10Cb区 0120/0130SD 北から



10Cb区 0122SD 北から

遺構写真図版12

C区　下面



10Ca区下面全景東から



10Cb/Cc区下面全景東から



10Cb区下面東半部東から



10Cc区下面大溝群西から



10Ca区下面西半部大溝群北から

遺構写真図版14

C区　下面



10Ca区下面西半部大溝群南から



10Cb区 1108SE 南から



10Cb区 1108SE 南西から



10Cb区 1108SE 南東から



10Cb区 1108SE 南西から

遺構写真図版15

C区 下面



10Ca区 1300SD 遺物出土状況南西から



10Ca区 1300/1320SD セクション北から



10Ca区 1245SD セクション北から



10Ca区 1304SP 遺物出土状況南から



10Ca区 1490SK 北東から



10Ca区 1490SK 遺物出土状況



10Ca区 1960SE 北から



10Ca区 1510SD ほか南東から



10Ca区 1960SE 北から



10Ca区 1961/1966SE 西から



10Ca区 1960SE 西から



10Ca区 1960SE 北から



10Ca区最下層長胴甕出土状況南西から

遺構写真図版16

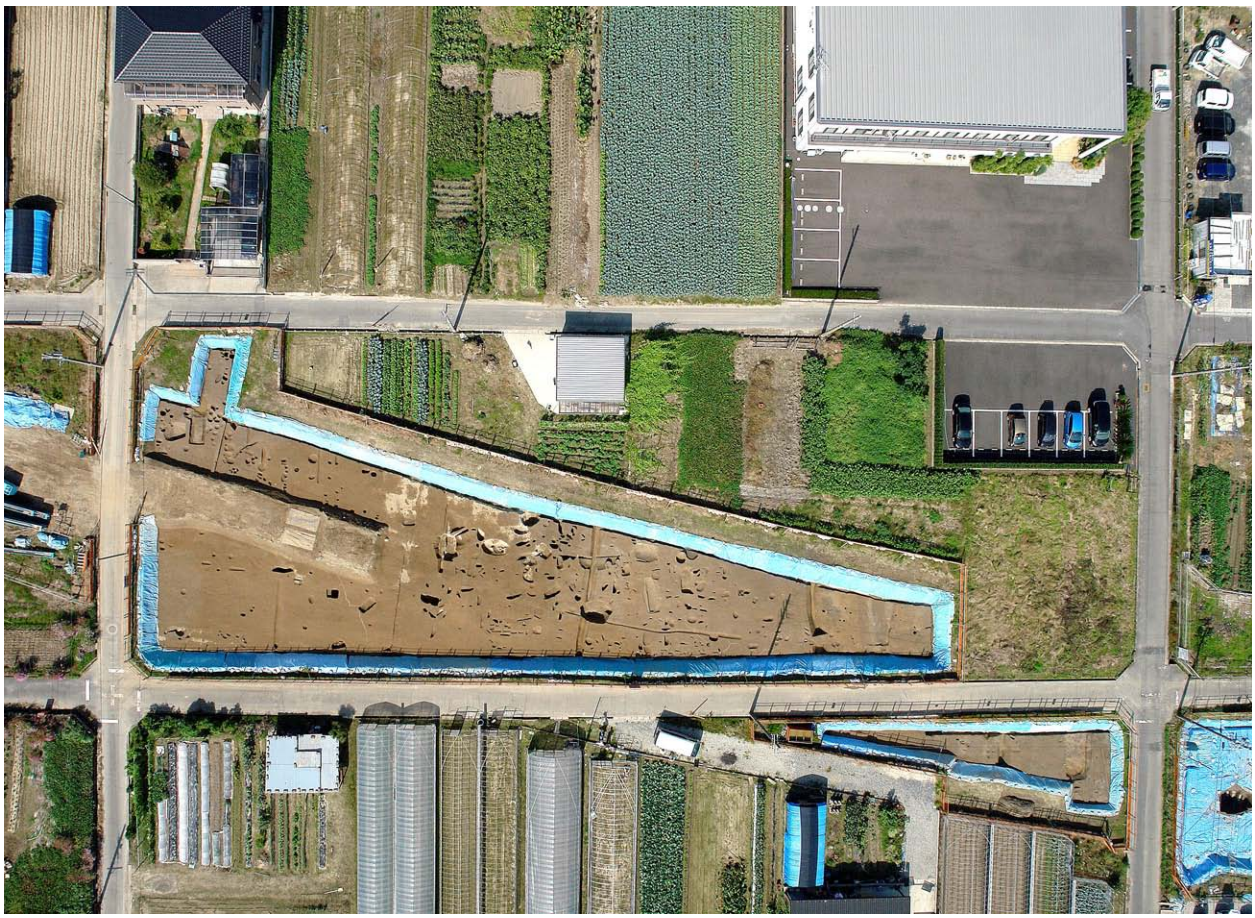
D区　最上面



11D区最上面全景西から



10Da区 最上面全景西から



10D区上面全景



10Db区上面全景東から

遺構写真図版18

D区　最上面・上面



11D区上面全景南から



10Da区最上面畠畝溝北東から



10Da区 0001SD 南から



10Da区 0127SK 南西から



10Da区 0127SK 南から



10Da区 0127SK 南から



10Da区 0127SK セクション南から



10Da区 0130SK 北西から



10Da区 0130SK 北西から



10Da区 0161/0435SK 北西から



10Da区 0161/0435/0440SK
セクション西から



10Da区 0170SK 北東から



10Da区 0161SK 北から



10Db区 0389SD 南西から



10Da区 0440SK 北から



10Da区 0435SK 北から

遺構写真図版20

D区　中面



11D区中面全景西から



10Da区 0537SK 北東から



10Da区 0600SK 南東から



10Da区 0707SK セクション
南東から



10Da区 0707SK 南から



10Da区 0790SK 北から



11D区 1324SK 南から



10Da区下面全景



10Db区下面全景



10Da区下面調査区東端 東から

遺構写真図版22

D区　下面



10Db区下面東半部
東から



10Db区下面東半部
北から

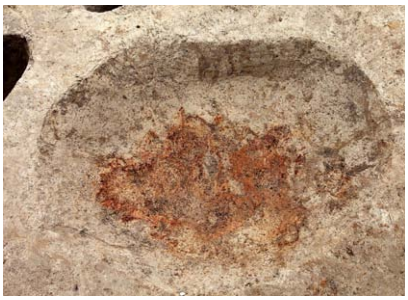


10Db区下面東半部
南東から


11D区下面全景南から


11D区下面全景西から


10Da区 1005SK
南東から


11D区 1414SK 南から


11D区 1460SK 北から


11D区 1490SK 西から


11D区 1491SK 北から

遺構写真図版24

D区　下面


10Db区下面大型土坑群北東から


10Db区 1231SD 北西から


10Db区 1400SD ほか 南東から


10Da区 1250/1550SD 西から


10Da区 1250SD 西から


10Da区 1250SD ほか北東から


10Da区 1250/1530SD 東から


10Da区 1250SD ほか北東から


10Da区 1250SD ほか南西から


10Da区 1440SD 北西から



10Ea区上面全景東から



10Eb区上面全景西から

遺構写真図版26

E区　上面



10Ea/Ec区上面全景東から



10Ec区上面東半部南から



10Ed区上面全景北西から



10Ec区推定鎌倉街道南東から



10Ec区上面鎌倉街道北東から



10Ee区全景北東から

遺構写真図版28

E区 上面



10Ec区上面鎌倉街道整地層南から



10Ea区 0300SD 北から



10Ec区 0300SD 北から



10Ec区面 0300SD 南から



10Ec区 0110SK 南から



10Ec区 0110SK 北から



10Ec区 0248SK 南から



10Ec区 0248SK 南から



10Ea区下面全景東から



10Eb区下面全景西から



10Ec区下面全景南から

遺構写真図版30

E区　下面



10Ec区下面全景東から



10Ed区下面全景北西から



10Ec区下面 0698SE 北から



10Ec区下面 0698SE 北から



10Ec区下面 0698SE 北から



10Ec区下面 0698SE 北から



10Ec区下面 0698SE 北から



10Ec区下面 0698SE 北から



10Ec区下面 0778SD 西から



10Ea区下面 0833SK 南から

遺構写真図版32

E区 下面



10Ec区0900/0901SE 東から



10Ec区0900/0901SE 東から



10Ec区0900/0901SE 東から



10Ec区0900/0901SE 検出状況北東から



10Ec区 0900SE 南から



10Ec区 0901SE 南から



10Ed区 1499SE
南西から



10Ed区 1499SE 北から



10Ed区 1131/1133SD 西から

10Aa区 0070SD


0018


0019


0023

10Aa区 0127SD


0040


0041


0042


0045

11Bb区 2129SD


3035


3038


3040


0056

10Bb区 0012SD


0092

10Ca区 0001SD


0132


0147


0149

遺物写真図版2

C区 土器（2）

10Ca区 0001SD


0151


0153


0203

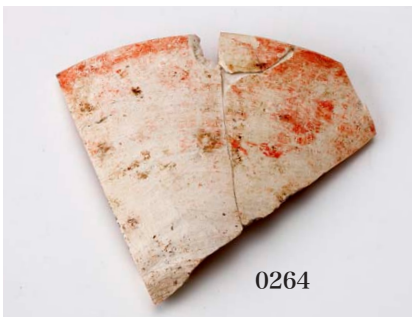

0208


0235


0261


0262




0264


0268


0270


0273


0296


0274

10Ca区下層確認砂層


0729


0299


0278


0302


0308

10Ca区 1510SD


0696

10Ca区 1960SE・1960SE 枠内上層


0716

10Cb・Cb区 0409SK・1008SD


0444

10Cb区 0110SK


0319

10Cb区 0122SD


0371


0376

10Cb区 1008SD


0481


0482


0483


0485


0486


0488


0498 0499 0500 0501

10Cb区 1029SD


0584


0582


0587


0599


0597

10Cc区 1096SK


0603 0604


0605 0606


0626

遺物写真図版4

D区 土器（1）

10Da区 0001SD


0803


0808


0811

10Da区 0127SK


0873


0924

10Da区 0130SK


0951


0925


0928


0962


0929


0930

10Da区 0161SK−1


0992


0998


1000


1002


1033


1035


1036


1039


1040


1041


1042


1044

10Da区 0161SK−2




1063


1067


1065

10Da区 0161SK3・4層


1057

10Da区 0170SK


1074


1075


1077


1078

10Da区 0170SK 中層


1079

10Da区 0200SK


1115

10Da区 0600SK




1168

10Da区 0150SK


0984

10Da区 0402SK 等


10Da区0402SK
1129


11D区1327SK
3110


11D区1508SK
3268


10Ca区1510SD
0703

10Da区 0707SK


1202


1203


1204


1211


1212


1214


1238


1239


1240


1241


1242


1243

遺物写真図版6

D区 土器（3）

10Da区 0707SK


1244


1246


1247


1249


1250


1255


1266


1276


1297


1269


1298

1299

10Da区 0790SK


1308


1309


1310


1311


1312


1313


1314


1318


1319


1322


1324


1325


1326


1327


1333

10Da区 0905SK


1341


1331

10Da区 1000SK−1


1392


1395


1377

10Da区 1000SK−2


1398


1399

10Da区 1047SK


1435

10Da区 1117SD


1455


1520

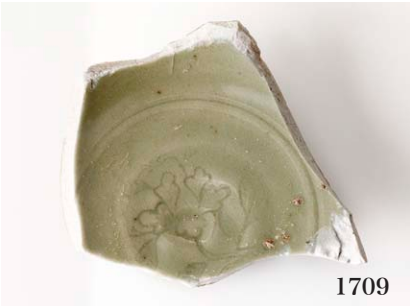

1505


1510

10Da区 1250SD




1704


1709

10Da区 1250SD 上層


1877


1865


1860

10Da区 1256SD


1933


1899


1906

10Da区 1440SD


1989


1991


2000


1995


1997

遺物写真図版8

D区 土器 (5)

10Da区 1705SK


2111


2121


2122


2124


2130


2134


2140


2146


2148


2150


2151


2155


2156


2154


2169

10Db区 1203SK


1532

10Db区 1231SD


1550


1570

10Db区 1231SD 下層


1621




1567

10Db区 1231SD 上層




1591


1616

11D区 1324SK


3091


3094


3100


3101

11D区 1462SP




3125

11D区 1490SK－1


3139


3141


3142




3143


3160


3147


3161


3163


3169


3171

遺物写真図版10

D区 土器

（7）

11D区 1490SK−2


3172


3177


3178


3176


3180


3181

11D区 1491SK


3185


3187


3189


3192


3194


3195


3196


3198


3200


3205


3208


3209

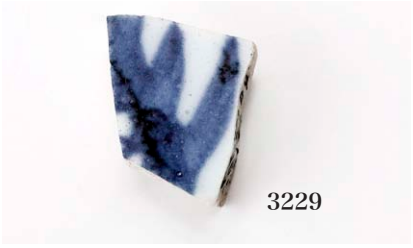

3211


3217


3210


3212

11D区 1494SK


3229

11D区 1496SK


3239

11D区 1507SK


3256

11D区 1521SK




3276


3278


3284


3285


3286


3287


3290


3291


3292


3293


3295


3296


3297

遺物写真図版12

E区 土器（1）

10Ea区 0290SD


2397




2412

10Ec区 0300SD


2413


2415


2458


2435


2439


2428


2444


2464


2456


2448


2481


2457

10Ea区 0300SD 下層


2485

10Ea区 0832SK


2718

10Ec区 0714SK


2612

10Ec区 0248SK


2385

10Ec区 0677SK


2596

10Ec区 0688SK


2599

10Ec区 0720SK


2621

10Ec区 0778SD−1


2638


2643


2646


2656


2657


2654


2659


2660


2661


2662


2663


2666


2667


2668


2670


2669


2671


2672


2673


2674


2675


2680


2681


2684


2685


2686


2693


2697


2703

遺物写真図版14

E区 土器（3）

10Ec区 0778SD−2


2704


2707


2712

10Ec区 0873SD


2714


2740



10Ec区整地層


2906




2911


2937


2938

10Ed区 1069SK


2757



10Ed区 1070SK




2762




2763

10Ed区 1131SD


2767


2768


2772


2774


2775


2773

10Ed区 1193SK


2797


2796


2793


2794


2799


2804


2795

10Ed区 1280SD




2815


2818




2816



10Ed区 1287SD


2820


2821


2823


2862

10Ed区 1499SE


2871


2870


2865

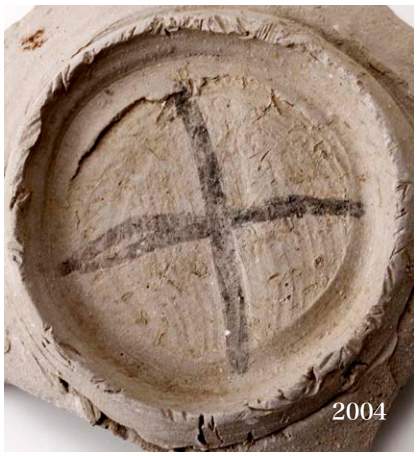

2866

遺物写真図版16

墨書土器（1）

10Da区 1440SD

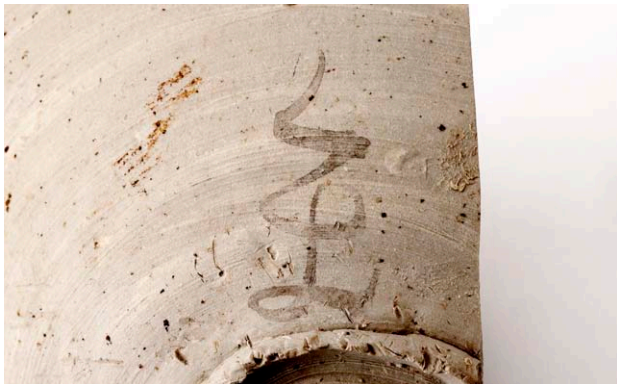




10Da区 1117SD







10Da区 1705SK















11D区 1490SK


3170



10Ea区 0672SK


2590



10Ec区トレンチ


3012



10Ec区整地層


2978


2980




2979




2972


2974


2982

遺物写真図版18

墨書土器（3）

10Ec区整地層





















10Ec区 0300SD



10Ec区 0410SP







10Ec区 0778SD－1



















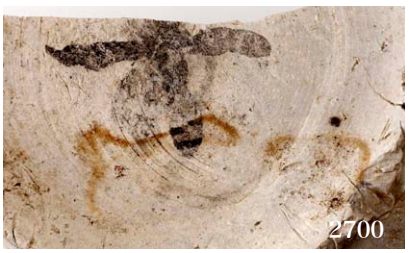


遺物写真図版20

墨書土器（5）

10Ec区 0778SD−2















10Ec区 0873SD





10Ed区 1193SK





10Ed区 1499SE





10Ba区検１


4006


4005

10Ca区 1361SP


4023

10Ca区 1501SD


4025

10Cb区 0111SD


4008

10Cb区 0130SD


4013

10Cb区トレンチ


4027

10Cb区 1027SD


4017

10Cb区検２


4030

10Da区 0190SD


4035

10Da区 0425SK


4041

10Da区 1710SD


4071

10Da区トレンチ


4072

10Da区検２


4076




4078


4079


4080

遺物写真図版22

石器（2）

10Da区 1000SK





10Da区 1117SD



10Da区 1440SD



10Da区検 3



10Db区検 1



10Db区 1262SP



10Db区 1292SK



10Db区 1334SK



10Db区 1454SK



10Db区 1555SK



11D区 1490SK



10Db区検 2





10Ec区整地層
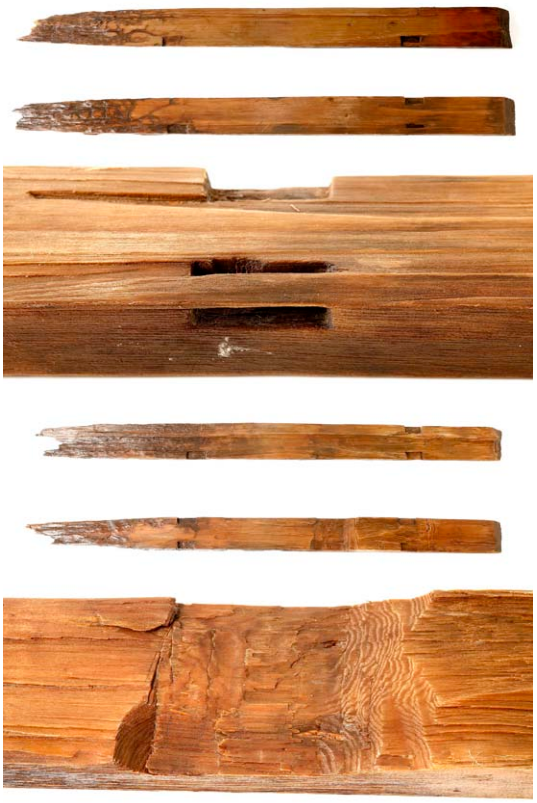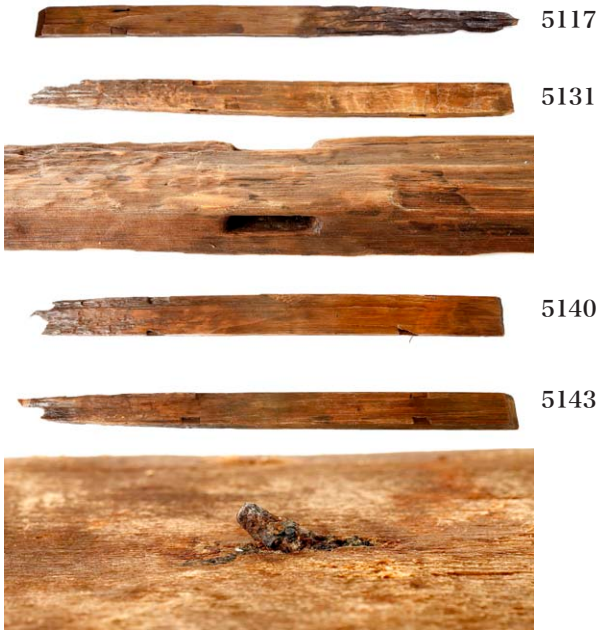


10Ec区 0392SK





10Ca区 1960SE


5115
5120
5132
5135


5117
5131
5140
5143


5154
5157
5156
5155


5155
5156
5157

10Cb区 1108SE-1


5042
5043


5044
5045
5046



遺物写真図版24

木製品（2）

10Cb区 1108SE-2



5077 5078 5084

10Ec区 0665SK 下層



5368



5364



5365

10Ec区 0698SE



5171





5174





5178



5189





5187



5201



5216



5217



5219



5218



5220



5221



5222



5223



5224



5225



5226



5227



5228



5229

10Ec区 0900SE－1



5235



5236



5237



5238



10Ec区 0900SE−2


5242


5253

10Ec区 0901SE


5262


5263


5264




5265






5267






5270


5271








5272




5273




5334


5336


5340

遺物写真図版26

金属製品（1）


6001


6002


6008


6010


6016


6015


6018


6020


6025


6019


6024


6027


6056


6042


6057


6077


6104 外面


6104 内面


6102


6106


6111 6112


6113


6134


6435


6128 6132 6133 6131 6129 6130


6136


6137


6138


6139


6140


6141


6142


6143


6145


6147 6146


6148


6149


6150


6163


6165


6166

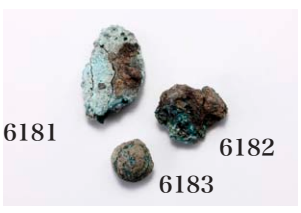

6167


6168


6169


6172


6173


6181 6182 6183


6188 6185 6187 6189 6186


6193 6194 6192 6191 6190


6184 6195 6196


6235


6219

ふりがな	おりづしゅくいせき
書　　名	下津宿遺跡
副 書 名	
巻　　次	
シリーズ名	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第 175 集
編著者名	樋上　昇・鈴木正貴・鬼頭　剛・蔭山誠一・永井邦仁・鵜飼雅弘・黒沼保子
編集機関	公益財団法人　愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター
所 在 地	〒498-0017　愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24　TEL 0567(67)4161
発行年月日	西暦 2013 年 3 月 31 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
おりづしゅく 下津宿	あいちけんいなざわし 愛知県稲沢市 おりづみやにしちょう 下津宮西町 おりづほんごうちょう 下津本郷町	23220	090001	35 度 25 分 53 秒	136 度 83 分 20 秒	2010.5.1 ～ 2011.3.18 2011.4.18 ～ 2011.6.29	8,830	県道 名古屋 豊山 稲沢線 建設

所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
下津宿遺跡	集落跡	平安～ 室町時代	掘立柱建物、竪穴建物、 道路状遺構、溝、土坑	山茶碗、古瀬戸、 白磁、青磁、青白磁、 宝篋印塔、五輪塔、 井戸枠、曲物底板	中世鎌倉街道と 推定される 道状遺構、 応永 25 年の 紀年銘をもつ 宝篋印塔

文書番号	発掘届出：埋文（21 埋セ第 147-1 号） 発掘届出：県教委（22 教生第 196 号） 完了報告（22 埋セ第 268 号） 文化財認定（23 教生第 96 号） 発掘届出：埋文（22 埋セ第 261 号） 発掘届出：県教委（22 教生第 2792 号） 完了報告（23 埋セ第 52 号） 文化財認定（23 教生第 1617 号）

要　　約	室町期に尾張守護所が置かれた遺跡の調査。平安後期から遺構の形成が始まり、15 世紀第 2 四半期～第 3 四半期にかけて、鎌倉街道が整備される。これに伴い大溝で区画された都市的景観が出現することが明らかとなった。この鎌倉街道の造成土で埋め立てられた井戸から応永 25 年の紀年銘をもつ宝篋印塔が出土した。

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第 175 集

下津宿遺跡

2013 年 3 月 31 日

編集・発行　公益財団法人　愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
印刷　サンメッセ株式会社